

中国文献珍本丛书

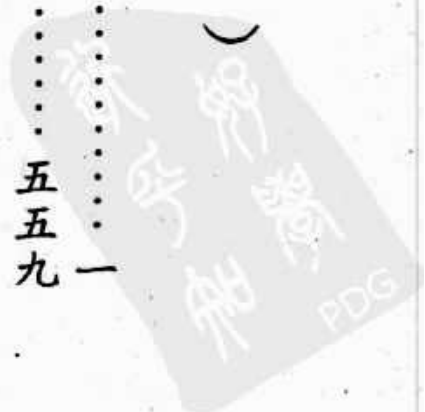
伪满洲国史料



PDG

伪满洲国史料目录(二十一)

满洲帝国国务院文库藏书目录·····一
满洲地质学物语·····五五九



康德五年末現在

滿洲帝國
國務院文庫藏書目錄

國務院總務廳官房文書科



序 言

本文庫ハ建國初頭法制局統計處ニ於テ將來政務參考圖書館トナスコトヲ
目途ニ開設セラレ康徳四年一月、政府機構改革ノ結果統計處ヨリ秘書處ニ
移管、新ニ國務院文庫ト指稱セラル、コトニ決定、更ニ同年七月秘書處廢止
ト同時ニ官房設置セラル、ヤ官房文書科ノ管理ニ屬スルコト、ナレリ。

其ノ間文庫ノ使命達成ニ一路邁進、廣ク内外古今ニ互リ參考資料ノ蒐集保
管ニ努メ政務運用ニ資スベク微力ヲ致シツ、今日ニ及ベリ。然レドモ限ラレ
タル豫算、人員ヲ以テシテハ到底満足ナル結果ハ望ミ得ベクモナク、猶遺憾
ノ點多ク願ミテ忸怩タルモノヲ禁ジ得ヌ次第ナリ。茲ニ印刷目錄ヲ刊行セン
所以ノモノハ本文庫ノ狀況ヲ明カニシ一般政務ノ振興ニ寄與スルコト更ニ
大ナランコトヲ庶幾スルト共ニ内外有志ノ本文庫ニ對スル熱心ナル協力ヲ
獲ントスルニ在リ。尙種々ノ事情ニ依リ本目錄ノ作製ヲ急ギタル關係上漢籍
及歐文圖書ノ校正充分ナラザルノ虞ナシトセズ利用者諸賢ノ御叱正ヲ仰ガ
ントス。

康徳六年九月

官房文書科長識

凡 例

1. 本目録ハ康德五年末現在ニ於ケル文庫所蔵圖書約四萬冊ヲ分類整理セル一般滿日文圖書、漢籍及歐文圖書ノ三篇ヨリナリ、卷末ニ文庫備付ノ定期刊行物並ニ書名索引、著者名索引ヲ附セリ。
1. 分類法ハ卷首ニ附シアル表ノ如ク便宜的十進分類法トモ謂フベキモノニシテ漢籍ハ別ニ四庫分類ヲ基礎トセル特別ノ分類法ニ據レリ。
1. 書名索引ハ一般圖書及漢籍ニ限り、著者名索引ハ一般圖書ノ分ノミ之ヲ作成シ、歐文圖書ノ索引ハ之ヲ省略セリ。
1. 書名ノ下ニ冊數ノ附記シアルハ上中下若クハ數冊ヨリ成ルモノニシテ複本ハ本目録ニ登載セズ。
1. 歐文圖書目録中きやびたりぜーしょんノ不統一ハ諸種ノ都合上已ムヲ得ザリシニヨル。



分 類 表

	(總文頁)	頁		(總文頁)	頁
0 法 制	(325)	1	114 國際政治及行政.....	(332)	33
000.1 一般法令彙.....		1	115 立法(包含選舉·政黨).....	(332)	33
000.2 辭書·書目.....		3	119 政治論叢.....	(333)	31
000.3 叢書·全集.....		4	12 行 政	(333)	34
000.4 年 鑑.....		14	120 行政一般.....		34
000.5 統 計.....		14	121 警察行政.....		36
000.9 其 他.....		14	122 保育行政.....		36
001 法律學.....		15	123 法政(工業所有權.....388)		36
002 法制史.....		15	124 地方行政.....		38
009 習慣及習慣調查.....		15	125 都市行政.....		41
01 法律一般		16	128 戶籍及戶籍法.....		44
011 憲 法.....		17	129 關東州、滿鐵附屬地行政.....		45
012 民 法.....		18	13 官廳事項	(334)	45
013 刑 法.....		19	131 宮內府、內務府.....		45
014 商 法.....		20	132 參議府.....		45
015 訴訟關係諸法.....		22	133 立法院.....		45
016 國際法.....		22	134 國務院.....		45
017 判決例.....		23	135 國務院各部.....		45
02 法務一般	(326)	24	136 監獄院.....		45
03 宮廷事項	(326)	25	137 法院、檢察廳.....		45
04 旗 章		25	138 地方官公署.....		45
05 儀 禮		25	139 官吏一般事項.....		46
06 恩 賞		26	14 各國官廳事項		47
1 政治·外交·軍事		27	141 日 本.....		47
11 政治一般	(326)	27	142 民 國.....		47
110 總 記.....		27	143 蘇 聯.....		47
110.1 法 規.....		27	144 其他諸邦.....		47
110.2 辭書·書目.....		27	15 外 交	(336)	48
110.3 叢書·全集.....		27	150 總 記.....		48
110.4 年 鑑.....		28	150.1 法規(包含條約彙).....		48
110.5 統 計.....		28	150.2 辭書·書目.....		48
110.9 政治事情.....		28	150.3 叢書·全集.....		48
111 政治學一般.....	(330)	31	150.4 年 鑑.....		48
112 政治史.....	(332)	32	150.5 統 計.....		48
113 國家學·國家學說.....	(332)	33	150.9 其 他.....		48
			151 外交史.....		49
			152 國際聯盟.....		49

分 類 表

157	極東問題、太平洋問題	49	185.4	"	意國	
158	居留地、租借地、商埠地	50	185.5	"	其他	
16	國際關係	(339) 51	166	美國對外關係		
	(國際經濟會議..... 212.4)		166.1	美國對法國		
	(國際勞動會議..... 637)		166.2	"	德國	
	(軍縮會議..... 178)		166.3	"	意國	
160	國際關係一般	51	166.4	"	其他	
161	滿洲國對外關係	51	167	法國對外關係		
161.1	滿洲國對日本		167.1	法國對意國		
161.2	"	民國	167.2	"	意國	
161.3	"	蘇聯	167.3	"	其他	
161.4	"	英國	168	德國對外關係		
161.5	"	美國	168.1	德國對意國		
161.6	"	法國	168.2	"	其他	
161.7	"	德國	169	意國對外關係		
161.8	"	意國		及其他諸國關係		
161.9	"	其他	17	軍事	(342) 53	
162	日本對外關係	52	170	總 記	53	
162.1	日本對民國		170.1	法 規	54	
162.2	"	蘇聯	170.2	海軍・海軍		
162.3	"	英國	170.3	海軍・空軍		
162.4	"	美國	170.4	年 鑑	51	
162.5	"	法國	170.5	統 計		
162.6	"	德國	170.6	其 他	54	
162.7	"	意國	171	軍事學一般	54	
162.8	"	其他	172	國防、軍備(包含動員)	54	
163	民國對外關係	53	173	統帥、軍政	54	
163.1	民國對蘇聯		174	兵器、軍需品	54	
163.2	"	英國	175	空 軍	54	
163.3	"	美國	176	陸 軍	54	
163.4	"	法國	177	海 軍	54	
163.5	"	德國	179	軍縮會議	56	
163.6	"	意國	2	經濟・財政・商業	(343) 57	
163.7	"	其他	20	經濟一般	57	
164	蘇聯對外關係	53	200	總 記	57	
164.1	蘇聯對英國		200.1	法 規	57	
164.2	"	美國	200.2	海軍・海軍	57	
164.3	"	法國	200.3	海軍・空軍	58	
164.4	"	德國	200.4	年 鑑	53	
164.5	"	意國	200.5	統 計	60	
164.6	"	其他	200.6	其 他	61	
165	英國對外關係		201	經濟學	69	
165.1	英國對美國					
165.2	"	法國				
165.3	"	德國				

分 類 表

202	經濟史	71	221	財政學	87
203	經濟政策	71	222	財政史	88
204	經濟施設	75	223	財政政策	89
204.1	商工會議所		224	歲計	89
204.2	調査研究機關		225	公債	91
204.3	商務官		226	租稅	91
204.4	博覽會・共進會		227	關稅(包含保稅倉庫)	95
204.9	其他		228	官業、官公有財產	97
205	協同組合、產業組合	76	229	戰債、賠償	97
	(信用組合……234)				
205.1	生産組合		23	金融	(350) 97
205.2	消費組合		230	總記	97
206	同業組合	76	230.1	法規	97
207	經營經濟、企業經濟	76	230.2	辭書・書目	97
207.1	企業		230.3	叢書・全集	97
207.2	企業聯合、企業合同(カルテル、トラス ト、コンツェルン)		230.4	年鑑	99
207.3	組合(總)		230.5	統計	99
207.4	會社(總)		230.9	其他	99
207.5	事務管理		231	金融理論	100
207.9	其他		232	金融史	101
208	景氣變動、恐慌	79	233	金融政策	101
209	資源、國富、國民所得	80	234	信用制度及機關	101
			234.1	銀行	101
21	世界經濟	82	234.2	錢銀業	101
211	世界經濟一般	82	234.3	庶民金融	101
212	國際經濟關係	83	234.4	信託業	103
212.1	國際投資		234.5	郵便儲蓄	103
212.2	合辦事業		234.6	信用調查	
212.3	利權		234.9	其他	
212.4	國際經濟會議		235	證券	101
	(國際通商會議……18)		235.1	手形	
	(國際勞動會議……637)		235.2	株券	
212.5	國際收支、國際貨幣		235.3	債券	
212.9	其他		235.9	其他	
22	財政	(348) 84	236	爲替	104
220	總記	84	237	資金、投資	105
220.1	法規	84	237.1	預金	
220.2	辭書・書目	84	237.2	資本金	
220.3	叢書・全集	84	237.3	借款(借入金)	
220.4	年鑑	84	237.4	社債	
220.5	統計	85	237.9	其他	
220.9	地方財政	85	238	利息	105
	各國財政事情	85	24	貨幣	(351) 105
			240	總記	

分 類 表

240.1	法規	105	274.2	倉庫	116
240.2	辭書·書目	105		(保險倉庫..... 227)	
240.3	叢書·全集	105		(農產倉庫..... 316.4)	
240.4	年鑑	105	274.3	市及市場	116
240.5	統計	105	274.4	小販、卸賣、仲介	116
240.9	其他	105	274.5	輸出入組合	116
241	貨幣理論	106	274.6	商會	116
242	貨幣史	107	274.9	其他	116
243	貨幣政策及制度	107	275	商業經營	116
244	鑄貨、紙幣(包含郵帖)	108	275.1	商店經營(包含廣告)	116
245	地金銀	108	275.2	商業勞務	116
25	物價	(352)109	275.3	商業金融	116
26	保險	(352)110	275.4	商業會計、簿記	116
260	總記		275.9	其他	116
260.1	法規		276	商品(包含商品學)	116
260.2	辭書·書目		277	相場、投機	117
260.3	叢書·全集		278	貿易	117
260.4	年鑑		278.4	年鑑	118
260.5	統計		278.5	統計	118
260.9	其他		278.9	貿易市場	119
261	保險學		28	會計·簿記	(355)122
262	保險政策		3	產業	(355)124
263	各種保險		300	總記	124
	(社會保險..... 818)		300.1	法規	124
	(勞務保險..... 831)		300.2	辭書·書目	124
	(商業保險..... 303)		300.3	叢書·全集	124
263.1	生命保險		300.4	年鑑	124
263.2	損害保險		300.5	統計	125
263.3	火災保險		300.9	其他	125
263.4	海上保險		301	產業史	127
263.9	其他		302	產業政策	127
27	商業	(352)111	303	產業保險	127
270	總記	111	305	產業組合	128
270.1	法規	111	309	度量衡	129
270.2	辭書·書目	111	31	農業	(357)129
270.3	叢書·全集	111	310	總記	129
270.4	年鑑	111	310.1	法規	129
270.5	統計	111	310.2	辭書·書目	129
270.9	其他	112	310.3	叢書·全集	129
271	商學	114	310.4	年鑑	129
272	商業史	114	310.5	統計	130
273	商業政策	114	310.9	其他	130
274	商業機關及配給組織	115	311	農學	132
274.1	交易所(取引所)				

分 類 表

312 農業史.....	133	323 苗圃、育種、種苗.....	147
313 農業政策.....(357)	133	324 作物被害.....	147
314 農地.....(357)	133	325 園藝.....	147
314.1 開墾.....	:	325.1 經濟園藝.....	:
314.2 耕地整理.....	:	325.2 果樹.....	:
314.3 農業水利.....	:	325.3 蔬菜.....	:
314.9 其他.....	:	325.4 花卉.....	:
315 農業經營.....(357)	134	325.5 加工園藝.....	:
315.1 農家經濟.....	135	325.6 溫室.....	:
315.2 小作.....	139	325.7 造園.....	:
315.3 農法、農具.....	135	325.8 其他.....	:
315.4 農業勞動.....	135	33 蠶業.....(358)	147
315.5 農業金融.....	137	330 總記.....	:
315.6 農業保險.....	137	330.1 法規.....	:
315.7 農業會計.....	137	330.2 辭書·書目.....	:
315.8 其他.....	137	330.3 叢書·全集.....	:
316 農事諸機關.....	137	330.4 年鑑.....	:
316.1 農會.....	:	330.5 統計.....	:
316.2 農業組合.....	:	330.8 其他.....	:
316.3 農事試驗機關.....	:	331 蠶絲學.....	:
316.4 農業倉庫.....	:	332 蠶業政策.....	148
316.9 其他.....	:	333 蠶業經營.....	148
317 肥料及肥料問題.....	138	333.1 家畜飼料.....	:
318 農村及農村問題.....	138	333.2 作物營養.....	:
32 農作物. 附、園藝.....	142	333.3 栽桑.....	:
(加工農作物.....33)		333.4 蠶室、器具.....	:
321 普通農作物.....(358)	143	333.9 其他.....	:
321.1 大豆.....	143	34 畜產業.....	148
321.2 其他豆類.....	143	340 總記.....	148
321.3 高粱.....	143	340.1 法規.....	:
321.4 粟.....	143	340.2 辭書·書目.....	:
321.5 玉蜀黍.....	143	340.3 叢書·全集.....	:
321.6 米.....	143	340.4 年鑑.....	:
321.7 麥.....	144	340.5 統計.....	:
321.8 落花生.....	144	340.9 其他.....	:
321.9 其他.....	:	341 畜產學.....	:
322 特別農作物.....	145	342 畜產政策.....	:
322.1 棉花.....	:	343 畜產經營.....	149
322.2 麻.....	:	343.1 牧場.....	:
322.3 甜菜、甘蔗.....	:	343.2 畜產飼料.....	:
322.4 烟草.....	:	343.9 其他.....	:
322.5 膠粟.....	:	344 畜產諸機關.....	:
322.6 茶.....	:	344.1 畜產室.....	:
322.7 咖啡.....	:	344.2 畜產組合.....	:
322.8 其他.....	:		

分 類 表

344.3	畜產試驗機關	356.4	樹 液	
344.9	其 他	356.5	研 究	
345	養 畜	149	356.8	食、藥用森林植物
345.1	牛	356.9	其 他	
345.2	馬	357	森林災害	
345.3	騾、驢	358	狩 獵	
345.4	綿 羊	36	水產業	
345.5	山 羊	151	360	總 記
345.6	駱 駝	360.1	法 規	
345.7	豚	360.2	叢書・書目	
345.9	其 他	360.3	叢書・全集	
346	畜產物	360.4	年 鑑	
	(加工畜產物……39)	360.5	統 計	
346.1	獸 乳	360.9	其 他	
346.2	獸 肉	361	水產學	
346.3	獸 毛	151	362	水產政策
346.4	獸 骨	363	水產經營	
346.9	其 他	363.1	漁 船	
347	養禽、養蜂、養兔	363.2	養 殖	
348	屠 獸	363.3	漁 船	
35	林 業 附、狩獵	363.4	漁 具	
150	350	363.5	漁場・漁區	
350	總 記	363.9	其 他	
350.1	法 規	364	水產諸機關	
350.2	叢書・書目	151	365	水產物
350.3	叢書・全集		(加工水產物……39)	
350.4	年 鑑	365.1	魚 類	
350.5	統 計	365.2	海 蝦	
350.9	其 他	365.3	海 藻	
351	林 學	365.4	貝 介	
150	352	365.9	其 他	
352	林業行政	150	366	鹽
353	林 地	152	37	鑛 業
354	林業經營	(358)152	370	總 記
354.1	林野整理	370.1	法 規	
354.2	植林、造林	370.2	叢書・書目	
354.9	其 他	370.3	叢書・全集	
355	林業諸機關	370.4	年 鑑	
355.1	山林會	370.5	統 計	
355.2	山林組合	370.9	其 他	
355.3	山林試驗機關	152	371	鑛山學
355.9	其 他	154	372	鑛業政策
356	林產物	155	373	鑛業經營
	(加工林產物……39)			
356.1	樹 木			
356.2	竹 類			
356.3	樹 皮			

分 類 表

374	鑛業諸機關	
375	鑛產物一般	
376	金屬鑛物、精鍊 155	
	(加工金屬.....39)		
376.1	金、銀、白金	
376.2	白金鑛	
376.3	銀 鑛	
376.4	鐵 鑛	
376.5	銅 鑛	
376.6	亞鉛鑛	
376.7	滿銻礦	
376.8	輕金屬	
376.9	其 他	
377	非金屬鑛物 156	
	(加工非金屬.....39)		
377.1	石炭、油母頁岩	
377.2	石 油	
377.3	黑 鉛	
377.4	耐火粘土	
377.5	菱苦土	
377.6	石灰石、石灰石	
377.7	石材、砂石(砂利)	
377.8	天然青礬、岩鹽	
377.9	其 他	
378	鑛 泉	
38	工 業(359)156	
380	總 記 156	
380.1	法 規 157	
380.2	辭書・書目 157	
380.3	叢書・全集 157	
380.4	年 鑑 158	
380.5	統 計	
380.9	其 他 158	
381	工 學 (包含工業史) 158	
382	工業政策 160	
383	工業經營 160	
384	工業諸機關 160	
385	工場及工場問題 160	
386	原 料 162	
387	燃料及動力 162	
388	工業所有權 163	
388.1	發明特許、實用新案	
388.2	意匠、商標	
388.9	其 他	
39	各種工業	
391	纖維工業(359)163	
391.1	生 絲	
391.2	絹織物	
391.3	綿 絲	
391.4	絨織物	
391.5	毛絲、毛織物	
391.6	麻織物	
391.7	莫大小	
391.8	交織物	
391.9	其 他	
392	化學工業 164	
392.1	人造肥料	
392.2	工業藥品	
392.3	鋼 寸	
392.4	漂染製品	
392.5	石鹼、化製品	
392.6	紙	
392.7	人 絹	
392.8	セルロイド	
392.9	其 他	
393	油脂工業 165	
393.1	大豆油(包含油坊)	
393.2	豆餅(豆粕)	
393.3	其他植物油	
393.4	動物油	
393.5	蠟	
393.9	其 他	
394	窯 業 165	
394.1	磚(煉瓦)瓦、土管	
394.2	水泥(セメント)	
394.3	玻璃(硝子)	
394.4	瓷器(陶磁器)	
394.9	其 他	
395	飲食料品工業 165	
395.1	粉(砂糖)	
395.2	粉 粉	
395.3	乳肉加工品	
395.4	酒精、酒精飲料	
395.5	酒(燗酒)	
395.6	調味料	
395.7	製冰、冷藏	
395.8	罐頭(罐詰)	
395.9	其 他	
396	金屬工業 165	

分 類 表

(續前 375)

396.1	器 備
396.2	鑛 金
396.3	製造金屬器具
396.9	其 他
397	機械製造工業	167
397.1	農 業 用
397.2	鐵 業 用
397.3	紡 織 用
397.4	土 木 理 髮 用
397.5	電 氣、瓦 斯 用
397.6	運 輸、運 送 用
397.7	印 刷 用
397.9	其 他
398	電 氣 及 瓦 斯 工 業	167
398.1	電 氣 工 業
398.2	瓦 斯 工 業
399	其 他 工 業	169
399.1	製 材
399.2	皮 革
399.3	印 刷
399.9	其 他

4 交通·通信·土木(360)170

41	交 通	170
410	總 記	170
410.1	法 規	170
410.2	辭 書·書 目
410.3	叢 書·全 集
410.4	年 鑑	170
410.5	統 計	170
410.9	其 他	170
411	交 通 理 論	170
412	交 通 史	170
413	交 通 政 策	171
413.1	陸 運 政 策
413.2	鐵 道 政 策
413.3	水 運 政 策
413.4	空 運 政 策
414	會 議、協 定
414.1	陸 運
414.2	鐵 道
414.3	水 運
414.4	空 運

415	旅 客 施 設	170
415.1	旅 行 旅 社
415.2	旅 館
415.3	旅 券
415.9	其 他
416	運 輸

42 陸 運(361)171

420	總 記
420.1	法 規
420.2	辭 書·書 目
420.3	叢 書·全 集
420.4	年 鑑
420.5	統 計
420.9	其 他
421	道 路 交 通	171
421.1	橋 梁、隧 道
421.2	電 車
421.3	馬 車 鐵 道、鋼 索 鐵 道
421.4	自 動 車
421.5	荷 馬 車、荷 車
421.8	客 馬 車、洋 車
421.9	其 他

43 鐵 道(361)172

430	總 記	172
430.1	法 規	172
430.2	辭 書·書 目
430.3	叢 書·全 集
430.4	年 鑑	172
430.5	統 計	172
430.9	其 他	172
431	營 業、經 理	174
432	輸 送	174
433	車 輛、線 路	176
434	運 貨、貨 率	176
435	從 事 員	176
436	技 術	176
437	國 鐵	176
438	滿 鐵	177
439	北 鐵	178

44 水 運(362)178

440	總 記	178
440.1	法 規	178

分 類 表

440.2	辭書・書目	467	信號
440.3	叢書・全集	47	土木・建築	(362)183
440.4	年鑑	470	總記
440.5	統計	470.1	法規
440.9	其他	178	470.2	辭書・書目
441	營業、經理	470.3	叢書・全集
442	輸送	470.4	年鑑
443	船舶	179	470.5	統計
444	航路、航路標識	179	470.9	其他	179
445	運賃、貨率	179	471	土木並建築工學
446	港灣、港灣施設	179	472	材料
447	海運	180	473	施工
448	河川、運河、湖沼	180	474	設計、圖繪	183
45	空運	181	475	測量
450	總記	181	479	都市建設、都市計畫	183
450.1	法規	48	土木	184
450.2	辭書・書目	481	鐵道	184
450.3	叢書・全集	482	道路、橋梁	184
450.4	年鑑	483	運河、港灣
450.5	統計	484	治水	184
450.9	其他	484.1	堤防
451	營業、經理	484.2	浚深
452	輸送	484.3	排水
453	航空機	485	上下水道	185
454	航空路、航空標識	49	建築	185
455	飛行場	491	東洋建築	185
456	運賃、貨率	492	西洋建築
459	其他	493	衛生工程	185
46	通信	(362)181		(包含暖房、換氣、照明)	
460	總記	181	5	土地・人口・移植民・	
460.1	法規	181	統計	(362)186	
460.2	辭書・書目	51	土地	186
460.3	叢書・全集		(農地..... 314)	
460.4	年鑑	181		(牧地..... 343.1)	
460.5	統計	182		(林地..... 353)	
460.9	其他	182	510	總記	186
461	通信政策	182	510.1	法規	186
462	郵便	183	510.2	辭書・書目
463	電信	183	510.3	叢書・全集
464	電話	183	510.4	年鑑
465	ラヂオ			
466	簿書場			

510.5 統計	186	61 社會	203
510.9 其他	186	610 總記	203
511 土地制度	187	610.1 法規	
512 土地政策	188	610.2 辭書·書目	
513 地價	188	610.3 叢書·全庫	
52 人口 附、食糧問題	(362)188	610.4 年鑑	
520 總記	188	610.5 統計	
520.1 法規		610.9 其他	
520.2 辭書·書目		611 社會學	204
520.3 叢書·全庫		612 社會史	204
520.4 年鑑		613 社會政策	205
520.5 統計	188	614 社會組織、社會制度	205
520.9 其他	100	615 社會思想	206
521 人口理論	190	616 社會團體及運動	206
522 人口政策	191	616.1 共產主義團體及運動	
523 人口問題	191	616.2 非共產主義團體及運動	
524 國勢調查、戶口調查	192	616.3 使用人組合及運動	
529 食糧問題一般	193	616.4 婦女團體及運動	
53 移植民	(364)194	616.5 秘密結社	
530 總記	194	616.9 其他	
530.1 法規	194	617 民族及人種問題	207
530.2 辭書·書目		618 社會保險	
530.3 叢書·全庫		62 社會問題及社會事業	(371)208
530.4 年鑑		621 生活問題	208
530.5 統計	194	621.1 生活改善	
530.9 其他	194	621.2 住宅、宅地	
531 移植民問題	196	621.3 家計、生計	
532 移植民政策	196	621.4 救濟、救貧	
533 植民地行政	196	621.5 儲保事業	
534 移植民史	197	621.6 方面委員	
54 統計一般	(365)197	621.9 其他	
540 總記	197	622 職業問題及事業	209
540.1 法規		622.1 職業紹介	
540.2 辭書·書目		622.2 職業指導、授產	
540.3 叢書·全庫		622.3 失業	
540.4 年鑑		622.9 其他	
540.5 統計		623 階級問題、融和協調事業	
540.9 其他		624 家族及兩性問題	210
541 統計理論	200	625 保護問題及事業	211
542 統計機關	202	625.1 婦人	
6 社會·勞働	(368)203	625.2 兒童	
		625.3 老人	
		625.4 不具廢疾者	

625.9 其他.....	211	71 教育.....(377)231	
626 犯罪及犯罪人.....	211	710 總記.....	231
627 矯風問題及事業.....		710.1 法規.....	231
628 共濟事業.....	211	710.2 叢書·書目.....	231
629 阿片及阿片問題.....	211	710.3 叢書·全集.....	
63 勞 働.....(372)212		710.4 年鑑.....	231
630 總記.....	212	710.5 統計.....	233
630.1 法規.....	212	710.8 學校案內.....	233
630.2 叢書·書目.....	212	710.9 其他.....	233
630.3 叢書·全集.....	212	711 教育學.....	234
630.4 年鑑.....	213	712 教育史.....	234
630.5 統計.....	213	713 教育政策.....	234
630.9 其他.....	213	714 學校教育.....	235
631 勞働政策.....	214	714.1 初等教育.....	
632 勞働者及勞働問題.....	214	714.2 中等教育.....	
633 勞働組合及運動.....	215	714.3 高等教育.....	
634 勞働爭議.....	215	714.4 專門教育.....	
635 勞働條件.....	216	714.5 師範教育.....	
636 勞働契約及協約.....	216	714.6 特殊教育.....	
637 國際勞働會議.....	217	714.7 補習學校.....	
7 文化·教育·宗教.....(374)218		714.8 私 秘.....	
70 文 化.....	218	714.9 其他.....	
700 總記.....	218	715 留學生.....	236
700.1 法規.....	218	716 社會教育.....	236
700.2 叢書·書目.....	219	716.1 公民教育、成人教育.....	
700.3 叢書·全集.....	219	716.2 少年團、青年團.....	
700.4 年鑑.....	224	716.3 博物館.....	
700.5 統計.....		716.4 圖書館.....	
700.9 其他.....	221	716.5 映畫教育.....	
701 文化理論.....	226	716.9 其他.....	
702 文化史.....	226	718 教科書.....	237
703 文化政策.....	227	72 體 育.....	238
704 文化事業並運動.....		720 總記.....	238
705 出版物並出版機關.....	227	720.1 法規.....	
705.1 一般書目.....	227	720.2 叢書·書目.....	
705.2 雜 誌.....		720.3 叢書·全集.....	
705.3 新聞.....	230	720.4 年鑑.....	
705.4 其他.....		720.5 統計.....	
706 宣傳並宣傳機關.....	230	720.9 其他.....	
707 各國研究並批判.....	230	721 體操、教練.....	
		722 運動並競技.....	238
		722.1 陸 上.....	
		722.2 水 上.....	
		722.3 水上、雪中.....	

122.4 登山.....	76 美術·音樂.....(379)246
122.5 露宿(キャンピング).....	77 演劇·映畫..... 246
122.9 其他.....	78 遊藝·娛樂..... 247
723 體育團體..... 238	8 醫事·衛生·理學.....(380)248
724 國際競技.....	81 醫學·藥學..... 248
729 其他.....	82 衛生·保健..... 248
73 宗教.....(377)238	83 理 學..... 248
730 總 記..... 238	831 數 學..... 249
730.1 法 規..... 238	832 物理學..... 250
730.2 辭書·書目..... 238	833 化 學..... 250
730.3 叢書·全集.....	834 天文學..... 250
730.4 年 鑑.....	835 地文學..... 250
730.5 統 計.....	836 博物學..... 251
730.9 其 他..... 238	839 其 他.....
731 宗教學..... 239	9 地理·歷史.....(361)253
732 宗教史..... 239	91 地 理..... 253
733 宗教政策..... 239	910 總 記..... 253
734 佛 教..... 239	910.1 法 規..... 253
735 基督教.....	910.2 辭書·書目..... 253
736 回 教..... 239	910.3 叢書·全集..... 253
737 喇嘛教..... 240	910.4 年 鑑..... 255
738 道教其他..... 240	910.5 統 計..... 255
74 哲 學.....(378)240	910.9 其 他..... 255
740 總 記..... 240	911 地理學..... 256
740.1 法 規..... 240	911.1 人文地理學.....
740.2 辭書·書目..... 240	聚落地理學.....
740.3 叢書·全集.....	人口地理學.....
740.4 年 鑑.....	民族地理學.....
740.5 統 計.....	經濟地理學.....
740.9 其 他.....	農業地理學.....
741 東洋哲學(漢籍另分類)..... 240	交通地理學.....
741.1 支那哲學..... 240	政治地理學.....
741.2 日本哲學..... 240	歷史地理學.....
741.3 印度哲學.....	911.2 自然地理學.....
742 西洋哲學.....	地球物理學.....
743 論理學..... 241	地 形 學.....
744 倫理學..... 241	海 洋 學.....
745 心理學..... 241	氣 候 學.....
746 思想論..... 241	
749 其 他.....	
75 文學·語學.....(378)241	

分 類 表

數理地理學.....	958 考古學.....
生物地理學.....	96 世界史(385)281
動物地理學.....	960 總 記..... 281
植物地理學.....	961 滿洲國史..... 282
912 地圖、海圖..... 258	962 日本史..... 283
913 山嶽、河川、海洋、湖沼、溫泉..... 259	963 民國史..... 287
914 探險、調查、發見..... 259	964 東洋史一般..... 288
915 史蹟、名勝、天然記念物..... 260	965 西洋史一般..... 291
916 天 災..... 260	97 傳記 附、人名錄、人名辭典(388)291
92 滿洲國地誌(383)260	970 總 記..... 291
920 總 記..... 260	971 叢 傳.....
921 舊奉天省..... 268	972 各 傳.....
922 舊吉林省..... 269	978 人名錄、人名辭典.....
923 舊黑龍江省..... 270	99 世界各國年報·年鑑(389)293
924 舊熱河省..... 271	990 總 記.....
925 舊興安省..... 271	991 滿洲國.....
926 舊北滿特別區..... 272	992 日 本.....
927 特別市..... 272	993 民 國.....
929 關東州、滿鐵附屬地.....	994 蘇 聯.....
93 世界地誌(383)273	995 英 國.....
930 總 記..... 273	996 米 國.....
931 日 本..... 273	997 佛 國.....
932 民 國..... 274	998 獨 逸.....
933 其他亞細亞洲..... 276	999 伊國其他.....
934 歐羅巴洲.....	
935 北亞米利加洲.....	
936 南亞米利加洲.....	
937 阿弗利加洲.....	
938 大洋洲.....	
939 兩極地方.....	
94 風俗·習慣(385)279	
940 總 記.....	
941 滿洲國風俗、習慣.....	
942 東洋風俗、習慣.....	
943 西洋風俗、習慣.....	
95 歷 史(385)280	
950 總 記..... 280	
951 歷史學.....	
952 史料.....	



國別記號

A	滿洲帝國	K	伊太利王國
B	日本帝國	L	亞細亞洲
C	中華民國	M	歐羅巴洲
D	蘇聯邦共和國	N	北亞米利加洲
E	英吉利	P	南亞米利加洲
F	米國合衆國	Q	阿弗利加洲
G	佛蘭西共和國	R	大洋洲
H	獨逸共和國	S	兩 極
		Z	世界一般



1 經部	296	綏遠省	313
10 群經總義類	296	江西省	313
11 易類	296	四川省	313
12 書類	:	新疆省	313
13 詩類	:	32 河渠	313
14 禮類	296	33 邊防	313
15 春秋類	296	34 山川	313
16 孝經類	296	35 古蹟遊記	:
17 四書類	296	36 雜記	314
171 論語	:	37 外紀	314
172 孟子	:	38 時令	314
173 大學	:	39 其他	314
174 中庸	:	4 政法部	314
18 樂類	:	40 詔令、奏議	314
19 小學類	:	41 法令	315
191 訓詁	296	42 職官	317
192 字彙	296	43 儀制	317
193 韻學	297	44 軍政	318
2 史部	297	45 通制	318
20 正史類	297	46 邦計	318
21 編年類	298	47 考工	320
22 紀事本末類	298	48 其他	320
23 別史類	298	5 子部	321
24 雜史類	299	50 儒家類	:
25 傳記類	299	51 道家類	:
26 史鈔類	300	52 雜家類	321
27 載記類	300	(兵家法家農家醫家其他)	
28 史評類	:	53 天文算數類	:
29 其他	300	54 藝術類	321
3 地理部	300	55 譜錄類	321
30 總志	300	56 類書類	321
31 都會郡縣	301	57 小說家類	321
河北省	304	58 釋家類	:
山東省	307	59 其他	:
山西省	310	6 集部	321
陝西省	311	60 楚辭類	:
安徽省	312	61 別集類	321
江蘇省	312	62 總集類	322
察哈爾省	312	63 詩文評類	322

漢籍分類表

64 詞曲類.....	:	72 金石.....	:
69 其他.....	:	8 叢書部.....	323
7 目錄部.....	322	9 雜書部.....	324
71 書目.....	322		



編者名 費 名 發行所 整理番號

0 法 制

【000.1 一般法令・法規】

編者名	費 名	發行所	整理番號
國務院法制局	滿洲國法令輯覽 大同1	編 所	000.1— 1
—	(加除式)9册 康2	滿洲行政學會	000.1— 2
帝國法規出版社	現行法規全書 (加除式)大正11	編 所	000.1— 3
	第1册 イロハ索引		
	第2册 第1類 憲法及關係法規		
	第2類 帝國議會、裁判所、檢査院		
	第3册 第3類 官制及官印		
	第4册 第4類 官 吏(上)		
	第5册 第4類 —— (下)		
	第5類 勳位、王公華族及庶表		
	第6册 第6類 民法、商法及關係法規		
	第7類 刑法及關係法規		
	第7册 第8類 民事、刑事訴訟法		
	第9類 行政訴訟、訴訟及請願		
	第10類 地方制度		
	第8册 第11類 警察衛生及監獄(上)		
	第9册 第11類 —— (下)		
	第12類 社會事業、渡航、移住組合		
	第10册 第13類 教育、天象、曆時及祭日		
	第11册 第14類 社寺、宗教		
	第15類 土地、森林治水及水道		
	第12册 第16類 産業及交易(上)		
	第13册 第16類 —— (下)		
	第14册 第17類 交通通信及電氣(上)		
	第15册 第17類 —— (下)		
	第16册 第18類 財 政(上)		
	第17册 第18類 —— (下)		



【 0 法 制】

編者名	書名	發行所	整理番號
	第18册 第19類 兵 事(上)		
	第19册 第19類 —— (下)		
	第20册 第20類 外 交(上)		
	第21册 第20類 —— (下)		
末弘殿太郎等	現代法令全集 昭10-12	日本評論社	000.1— 4
	第1卷 皇室篇、憲政篇		
	第2卷 官 職 篇		
	第3,4卷 財 政 篇 上、下		
	第5卷 地方篇、教育篇		
	第6卷 兵 事 篇		
	第7卷 土 木 篇		
	第8卷 交 通 篇		
	第9卷 通 信 篇		
	第10卷 宗教篇、社會篇		
	第11卷 警察篇、衛生篇		
	第12卷 裁判篇、刑事篇		
	第13卷 民 事 篇		
	第14-16卷 經 濟 篇 上、中、下		
	第17卷 國 際 篇		
	第18卷 總 索 引		
	第19-21卷 追 錄		
北原松太郎	新法令集 昭13	現行法令出版社	000.1— 5
內閣印刷局	法令全書 131册 國歷3-昭5	編 所	000.1— 6
—	— 32册 大正12-昭7	—	000.1— 7
井上圓三	日本制裁法規 4版 昭8	清水書店	000.1— 8
濱岡福松	東三省地方法令 (民國18年公布) 昭8	滿鐵調查課	000.1— 9
仁井田 陞	唐令拾遺 昭5	東方文化學院	000.1— 10
國民政府法制局	國民政府現行法規 2册 民18,19	編 所	000.1— 11
早稻田大學	日本法令年表 昭9	—	000.1— 12

編者姓名	書名	發行所	整理番號
滿鐵哈爾濱事務所	支那法規類纂 北滿監第1輯 大正14	編 所	000.1—14
關 東 公 署	東北五省區地方法令 (民國19年公布) 昭6	滿鐵調查課	000.1—15
朝鮮總督府	朝鮮法令輯覽 3册 昭7 上下尾錄	帝國地方行政學	000.1—17
商務印書館	中華民國現行法規大全 民23	編 所	000.1—18
印書局官醫科	法令輯覽 15册 民5	—	000.1—19
增島六一郎	日本法令索引總覽 2册 昭3	弘文社	000.1—21
汪谷若三郎	現行法規制度要覽 加除式 昭8	廣文社	000.1—22
蒙政部	蒙政部法規類纂 2册 康1	編 所	000.1—31
野野澤	警察犯處罰令釋義 昭10	廣松堂	000.1—33
司法部民事司	提存關係法令集	編 所	000.1—34
民國立法院編譯處	中華民國法規彙編 9册 民23	—	000.1—36
—	— 4册 民24	—	000.1—37
廣 編 社	檢察警察法規總覽 康5	滿洲司法協會	000.1—38
國民政府	國民政府法規彙編 8册 民20	編 所	000.1—30
大同印書館	滿洲制裁法規類纂 4册 康4	—	000.1—41
小川久雄	滿洲制裁法規 康4	大同印書館	000.1—42
高田貞男等	特別法規判例總覽 3册 昭12	帝國判例法規出版社	000.1—43
【000.2 辭 典】			
渡部萬藏	コンサイス法律辭典 昭8	松山房	000.2—1
(民) 編譯處	法律大辭典 上、下冊編 民25	商務印書館	000.2—2
司法部	法律用語辭典 康3	編 所	000.2—3
法學醫院編輯部	法律經濟語辭典 昭12	—	000.2—4
我 要 榮	岩波法律學小辭典 昭19	—	000.2—5
(民) 余正東等	法律政治經濟大辭典 民21	—	000.2—6
井上折次	最新獨和法律經濟辭典 6版 昭6	東海堂	000.2—7
渡部萬藏	法律辭書 8版 昭6	本野刊行會	000.2—8
(民) 朱采真	中國法律大辭典 2版 民21	世界書局	000.2—9
東川總治	支那法制大辭典 增訂 昭8	松 茂 堂	000.2—10

【0 法 制】

編・著者名	題 名	發 行 所	裝 訂 冊 數
(民)汪 翰 章 等	法 律 大 辭 典 1版2冊	大 東 亞 局	000.2—11
末 弘 嚴 太 郎 等	法 律 學 辭 典 5冊 2版 昭9	岩 波 書 店	000.2—12
南 信 好	法 政 經 濟 商 業 辭 典 2版 昭4	春 陽 堂	000.2—13
	【000.3 叢 書】		
末 弘 嚴 太 郎 等	現 代 法 學 全 集 昭3—6	日 本 評 論 社	000.3—1
	第 1 卷		
	法 學 入 門 (穗積重遠)		
	大 日 本 帝 國 憲 法 講 義 (上杉慎吉)		
	行 政 法 (野村淳治)		
	民 法 總 則 (我妻 榮)		
	勞 働 法 (孫田秀春)		
	法 律 講 話 (牧野英一)		
	法 學 問 答 (末弘嚴太郎)		
	第 2 卷		
	法 學 入 門 (完) (穗積重遠)		
	大 日 本 帝 國 憲 法 講 義 (2) (上杉慎吉)		
	行 政 法 總 論 (2) (野村淳治)		
	民 法 總 則 (2) (我妻 榮)		
	勞 働 法 (完) (孫田秀春)		
	法 學 問 答 (2) (末弘嚴太郎)		
	第 3 卷		
	大 日 本 帝 國 憲 法 講 義 (完) (上杉慎吉)		
	行 政 法 總 論 (3) (野村淳治)		
	民 法 總 則 (3) (我妻 榮)		
	地 方 自 治 制 (完) (杉村章三郎)		
	判 例 小 話 (穗積重遠)		
	法 學 問 答 (3) (末弘嚴太郎)		
	第 4 卷		
	民 法 總 則 (4完) (我妻 榮)		
	契 約 概 論 (完) (三浦信三)		

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
末弘嚴太郎等	暴力行爲等處罰法(完)(池田 克)	日本評論社	000.3— 1
	判 例 小 話(2)(穗積重遠)		
	法 學 問 答(4)(末弘嚴太郎)		
	第 5 卷		
	債 權 總 論(1)(末弘嚴太郎)		
	國際法の基本觀念(完)(立作太郎)		
	刑 事 訴 訟 法(完)(小野清一郎)		
	工 場 抵 當 法(完)(栗栖越夫)		
	判 例 小 話(3)(穗積重遠)		
	法 學 問 答(5)(末弘嚴太郎)		
	第 6 卷		
	債 權 總 論(2)(末弘嚴太郎)		
	手 形 法(1)(田中耕太郎)		
	少 年 法(完)(岩村通世)		
	山 林 法(完)(藺部一郎)		
	判 例 小 話(4)(穗積重遠)		
	第 7 卷		
	手 形 法(2)(田中耕太郎)		
	行 政 總 論(4)(野村淳治)		
	電 話 法(完)(藤原保明)		
	判 例 小 話(5)(穗積重遠)		
	第 8 卷		
	債 權 總 論(3)(末弘嚴太郎)		
	手 形 法(3完)(田中耕太郎)		
	辯 護 士 法(長島 毅)		
	道 路 法(丹羽七郎)		
	判 例 小 話(6)(穗積重遠)		
	第 9 卷		
	債 權 總 論(4)(末弘嚴太郎)		
	行 政 裁 判 法(完)(美濃部達吉)		
	地 方 稅 法(完)(田中耕太郎)		
	判 例 小 話(7)(穗積重遠)		



編・著者名	題	名	發行所	整理時數
末弘殿太郎等	第10卷	刑法總論(完)(瀧川幸辰) 債權總論(5)(末弘殿太郎) 契約各論(1)(三浦信三) 判例小話(8)(穂積重遠)	日本評論社	0003
	第11卷	債權總論(6)(末弘殿太郎) 契約各論(2)(三浦信三) 會計法(完)(廣瀬登作) 鐵道營業法(完)(佐竹三吾) 判例小話(9)(穂積重遠)		
	第12卷	債權總論(7完)(末弘殿太郎) 契約各論(3)(三浦信三) 裁判所構成法(完)(長島 毅) 非訟事件手續法(完)(中島弘通) 判例小話(10)(穂積重遠)		
	第13卷	合 社 法(1)(松本潔治) 契約各論(4)(三浦信三) 戶籍法及寄留法(完)(鬼頭豊隆) 判例小話(11)(穂積重遠)		
	第14卷	合 社 法(2)(松本潔治) 行政法總論(5)(野村淳治) 契約各論(5)(三浦信三) 電氣事業法及瓦斯事業法(完)(遠藤後一) 判例小話(12)(穂積重遠)		
	第15卷	民事訴訟法(1)(菊井維大) 合 社 法(3)(松本潔治) 衆議院議員選舉法(完)(宮澤俊彦)		

編・著者名	題名	刊行所	整理番號
末弘毅太郎等	行刑法規(完)(正木 堯) 判例小話(13)(穂積重遠)	日本評論社	000.3— 1
	第16卷		
	海 法(完)(松波仁一郎)		
	民事訴訟法(2)(菊井維大)		
	平時國際公法(1)(立作太郎)		
	第17卷		
	民事訴訟法(3)(菊井維大)		
	平時國際公法(2)(立作太郎)		
	銀行法(1)(入江 昂)		
	第18卷		
	平時國際公法(3)(立作太郎)		
	城 業 法(完)(平田慶吉)		
	第19卷		
	平時國際公法(完)(立作太郎)		
	不動産登記法(完)(杉之原舜一)		
	銀行法(完)(入江 昂)		
	第20卷		
	破 産 法(1)(加藤正治)		
	親 族 法(1)(穂積重遠)		
	物 權 法(1)(我妻 榮)		
	第21卷		
	物 權 法(2)(我妻 榮)		
	保險契約法(完)(青山衆司)		
	健康保險法(完)(清水 玄)		
	第22卷		
	親 族 法(2)(穂積重遠)		
	物 權 法(3)(我妻 榮)		
	破 産 法(2)(加藤正治)		
	法 制 史(三浦周行)		



【目 次】

編・著者名	冊 名	發 行 所	整理番號
末 弘 嚴 大 郎 等	第23卷	日 本 評 論 社	0003— 1
	保 險 業 法 (南 正 樹)		
	取 引 所 法 (岸 信 介)		
	稅 法 (星 野 直 樹)		
	擔 保 附 社 債 信 託 法 (栗 栖 越 夫)		
	第24卷		
	信 託 法 及 信 託 業 法 (三 淵 忠 彦)		
	陪 審 法 (大 森 洪 太)		
	河 川 法 (岡 田 文 秀)		
	第25卷		
	戰 時 國 際 公 法 (立 作 太 郎)		
	土 地 收 用 法 (武 井 群 剛)		
	衛 生 行 政 法 (山 田 準 次 郎)		
	第26卷		
	戰 時 國 際 公 法 (完) (立 作 太 郎)		
	海 商 法 (烏 賀 陽 然 良)		
	第27卷		
破 產 法 (完) (加 藤 正 治)			
海 商 法 (完) (烏 賀 陽 然 良)			
親 族 法 (3) (德 積 重 遠)			
教 育 行 政 法 (武 部 欽 一)			
郡 市 計 畫 法 (丹 羽 七 郎)			
刑 法 各 論 (龍 川 幸 辰)			
第28卷			
刑 法 各 論 (完) (龍 川 幸 辰)			
法 律 講 話 (2) (牧 野 英 一)			
行 政 法 總 論 (6) (野 村 淳 治)			
社 會 行 政 (1) (藤 野 惠)			
親 族 法 (4) (德 積 重 遠)			
農 業 法 (1) (野 間 海 造)			

編者名	題 名	發 行 所	整理卷數
末弘毅太郎等	人事訴訟手續法 (3) (大森洪太)	日本評論社	000.3— 1
	著作權法 (4) (樺村專一)		
	法律學概論 (2) (田中耕太郎)		
	第32卷		
	和 語 法 (完) (加藤正治)		
	特 許 法 (2) (安達祥三)		
	漁 業 法 (2) (石黒武重)		
	競 賣 法 (1) (若松三郎)		
	第33卷		
	商 法 總 則 (2) (竹田 省)		
	農 業 法 (5) (野間海造)		
	國 際 私 法 (3) (山田三良)		
	相 續 法 (1) (穗積重遠)		
	人事訴訟手續法 (4) (大森洪太)		
	著作權法 (5完) (樺村專一)		
	法律學概論 (3) (田中耕太郎)		
	第34卷		
	相 續 法 (2) (穗積重遠)		
	新 聞 紙 法 (1) (樺村專一)		
	信託法 (事務管理不當解除) (1) (我妻 榮)		
	特 許 法 (3完) (安達祥三)		
	國 際 私 法 (4) (山田三良)		
	法律學概論 (4) (田中耕太郎)		
	漁 業 法 (3) (石黒武重)		
	第35卷		
	人 事 訴 訟 法 (5完) (大森洪太)		
	相 續 法 (3) (穗積重遠)		
	新 聞 紙 法 (2完) (樺村專一)		
	農 業 法 (6) (野間海造)		
	實用新案法 (完) (安達祥三)		



編・著者名	書名	發行所	整理番號
末弘殿太郎等	産業組合法(完)(孫田秀春)	日本評論社	000.3— 1
	第29卷		
	法律講話(3)(牧野英一)		
	社會行政(3)(藤野 惠)		
	著作權法(1)(椋村專一)		
	農業法(2)(野間海造)		
	行政法總論(完)(野村淳治)		
	物權法(4)(我妻 榮)		
	第30卷		
	國際私法(1)(山田三良)		
	法律講話(4)(牧野英一)		
	人事訴訟法手続(1)(大森洪太)		
	著作權法(2)(椋村專一)		
	漁業法(1)(石黒武重)		
	法學問答(6)(末弘殿太郎)		
	治安維持法(1)(風早八十二)		
	農業法(3)(野間海造)		
	物權法(5)(我妻 榮)		
	第31卷		
	親族法(完)(穗積重遠)		
	法律講話(完)(牧野英一)		
	法學問答(7)(末弘殿太郎)		
	商法總則(1)(竹田 省)		
	法律學概論(1)(田中耕太郎)		
	人事訴訟手続法(2)(大森洪太)		
	物權法(完)(我妻 榮)		
	農業法(4)(野間海造)		
	特許法(1)(安達祥三)		
	第32卷		
	國際私法(2)(山田三良)		

編・著者名	冊 名	發 行 所	整理番號
末弘嚴太郎等	意 匠 法 (完) (安達祥三) 法律學概論 (5) (田中耕太郎) 漁 業 法 (4) (石黒武重)	日本評論社	0003—1
	第36卷		
	國 際 私 法 (5) (山田三良) 相 續 法 (4) (穂積重遠) 法律學概論 (6) (田中耕太郎) 漁 業 法 (5完) (石黒武重) 出 版 法 (完) (櫻村專一) 商 標 法 (完) (安達祥三) 強 制 執 行 法 (1) (加藤正治)		
	第37卷		
	相 續 法 (5完) (穂積重遠) 農 業 法 (7完) (野間海遠) 強 制 執 行 法 (2) (加藤正治) 競 賣 法 (2完) (岩松三郎) 行政法各論拾遺 (警察行政法) (野村淳治) 債 權 法 (不法行爲)(2) (我妻 榮) 治 安 維 持 法 (1) (三宅正太郎)		
	第38卷		
	商 行 爲 法 (完) (竹田 省) 法律學概論 (7完) (田中耕太郎) 治 安 維 持 法 (2完) (三宅正太郎) 調 停 法 (完) (穂積重遠) 民 事 訴 訟 法 (4完) (菊井維大) 債 權 法 (不法行爲) (3完) (我妻 榮)		
	第39卷		
	強 制 執 行 法 (3完) (加藤正治) 國 際 私 法 (完) (山田三良) 總 索 引 (編輯部)		



【註 釋】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
滿洲帝國司法研究會	新法律全集 略12 第1卷 民法總則(岩崎二郎) 第2卷 物 權 法(編所) 第3卷 債 權 法(林鳳麟) 第4卷 債 權 各 論(—) 第5卷 商人法・運送法・倉庫法 (野口榮一郎) 第6卷 會 社 法(未刊) 第7卷 手形法・小切手法・海商法(未刊) 第8卷 民事訴訟法(菊井三郎) 第9卷 強制執行法(未刊) 第10卷 刑法總則(尾坂俊夫) 第11卷 刑法分則(恒次重義) 第12卷 刑事訴訟法(編所)	東光書院	000.3— 3
末弘嚴太郎等	新法學全集 略11 第 1 卷 憲 法 第 2-6 卷 行 政 法 第 7-13 卷 民 法 第 14-17 卷 商 法 第 18-20 卷 刑 事 法 第 21-24 卷 民 事 訴 訟 法 第 25-27 卷 國 際 法 第 28-31 卷 諸 法 別 卷 總 索 引	日本評論社	000.3— 4
(民) 王 孫 黎 百 五 齊	實用法律叢書 民24-25 1 中華民國調政時期約法(民・阮毅成) 2 民法總則(民・胡長清) 3-4 民法債(民・周新民) 5 民法物權(民・柯凌漢) 6 民法親屬(民・陶震曾) 7 民法繼承(民・徐百齊)	商務印書館	000.3— 5

編·著者名	書 名	發 行 所	整理番號			
(民) 王 效 文 胡 養 深 王 孝 通 徐 石 松 郭 杏 邨 孫 紹 康 陶 亞 東 梁 仁 傑 查 良 鑑 王 叔 明 潘 序 倫	8. 公 司 法 (民·王效文)	商 務 印 書 館	000.3— 5			
	9. 票 據 法 (民·胡養深)					
	10. 海 商 法 (民·王孝通)					
	11. 保 險 法					
	12-13. 刑 法 (民·徐石松)					
	14-15. 民 事 訴 訟 法 (民·郭杏邨)					
	16. 刑 事 訴 訟 法 (民·孫紹康)					
	17. 土 地 法					
	18. 破 產 法 (民·陶亞東)					
	19. 違 警 罰 法					
	20. 法 院 組 織 法 (民·梁仁傑)					
	21. 民 事 訴 訟 強 制 執 行 法 (民·查良鑑)					
	22. 商 標 法 (民·王叔明)					
	23. 公 司 登 記 規 則 (民·潘序倫)					
	上 海 法 學 編 譯 社			現 行 法 律 釋 義 叢 書 民 ²⁶	會 文 堂 新 記 測 局	000.3— 6
				1. 約 法 釋 義 (民·吳經熊, 金鳴盛)		
				2. 民 法 總 則 釋 義 (民·史尚寬)		
				3. 民 法 債 編 通 則 釋 義 (民·洪文瀾)		
				4-5. 民 法 債 編 分 則 釋 義 (上、下) (民·季手文)		
				6. 民 法 物 權 釋 義 (民·華懋生)		
				7. 民 法 親 屬 釋 義 (民·黃右昌)		
				8. 民 法 繼 承 釋 義 (民·劉鐘英)		
				9-10. 土 地 法 釋 義 (民·李之屏)		
11. 公 司 法 釋 義 (民·翁敬堂)						
12. 票 據 法 釋 義 (民·王效文)						
13. 海 商 法 釋 義 (—)						
14. 保 險 法 釋 義 (—)						
15-16. 刑 法 總 則 釋 義 (民·俞承修)						
17-18. 刑 法 分 則 釋 義 (—)						
19-20. 民 事 訴 訟 法 釋 義 (民·郭衡)						



【 法 制 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
上海法學翻譯社	21-22. 刑事訴訟法釋義 (民・戴修瓊)	會文堂新記書局	000.3— 6
	23. 破産法釋義 (民・丁元普)		
	24. 強制執行法釋義 (民・霍曾澤)		
	25. 法院組織法釋義 (民・鄭保華)		
	26. 訴願法釋義 (民・徐家齊)		
	鳥賀陽然良	現代外國法典 昭13	有 要 閣
	獨逸民法		
	獨逸商法		
	獨逸民事訴訟法		
	佛蘭西民法		
	佛蘭西商法		
	英 米 法		
	國際私法		
	工業所有權法		
	(別卷)總索引		
【000.4 年 鑑】			
日本評論社	法律年鑑 4册昭10-13	編 所	000.4— 1
【000.9 其 他】			
(露)クルイレンコ著 大竹 郎 吉 譯	ソヴェート法並に國家の哲學的基礎 昭10	ロシヤ研究所	000.9— 1
司法省調査課	ナチスの法制及び立法綱要 昭11	編 所	000.9— 2
戸 倉 廣	羅馬法の世界史的使命 昭12	巖 松 堂	000.9— 3
高 橋 平 郎	法律上の滿蒙 大正6	大 陸 社	000.9— 4
(露)マゲロウスキ著 山之内 一 郎 譯	ソヴェート法論 昭8-7	希 望 閣	000.9— 5
	(1) 國法、行政法、財政法		
	(2) 婚姻及親族法、經濟法		
	(3) 勞働法、土地法		
	(4) 刑法、監獄法、裁判法、參考書目		
滿洲、太平洋問題 調査準備會	滿洲ニ於ケル日本ノ法權 昭6	編 所	000.9— 6
英 讀 部 達 吉	公法と私法 昭10	日 本 評 論 社	000.9— 7

[0 法 制]

編・著者名	書名	發行所	整理番號
滿鐵調査課	滿蒙諸慣習概要 大正9	滿蒙文化協會	000—10
東亞經濟調査局	滿蒙慣習法ノ研究 昭10	編 所	000—11
龜 淵 龍 長	滿蒙慣習概要、土地商租 昭4	滿鐵調査課	000—12
滿鐵調査課	滿洲慣習調査報告 3册 昭10	大同印書館	000—13
關東都督府臨時土地調査部	關東州土地舊慣提要 大正7	編 所	000—14
滿鐵資料課	關東廳ノ法廷ニ現ヘレタル支那ノ民事慣習 上下 昭9	—	000—15
台灣總督府法務課	民法對照 臺灣人事公業慣習研究 4版 昭6	—	000—16
總務廳統計處	奉天省民事別慣習調査ニ就テ 康1	—	009—17
—	吉黑兩省ノ民事慣習調査ニ就テ 康1	—	000—18
民國司法行政部	中華民現 民商事習慣調査報告書 3册 民10	—	000—19
司法省調査課	德川民事慣例集 不動産ノ部・動産ノ部 時代(司法資料第192-205) 昭10-11	—	009—20
司法部民事司	關東廳ノ法廷ニ現ヘレタル支那ノ民事慣習 康3	—	000—21
司 法 省	日本商事慣例類集 昭7	白 東 社	009—22

[01 法 律]

帝國地方行政學會	滿洲國六法全書 昭8	編 所	010—1
巖 松 堂	新體 六 法 全 書 昭8-9	—	010—2
野村 潤 太 郎	新案 朝 鮮 六 法 昭8	松 山 房	010—3
法學編譯社	珍袖 六 法 全 書 民22	會 文 堂	010—4
榮 田 義 彦	事務 六 法 全 書 昭7	常 盤 書 房	010—5
(民) 郭 周 定 簡 枚	理由 六 法 判 解 彙 編 民22	會 文 堂	010—6
法 政 學 社	現行六法法令全書 2版 民21	廣 益 書 局	010—7
(民) 朱 方	現行六法全書 民22	法 政 學 社	010—8
末 川 博	六 法 全 書 昭7.10.11	岩 波 書 店	010—12
小 野 清 一 郎 馬 鹿 三 郎	特輯 六 法 全 書 昭10	三 省 堂	010—15
行 政 學 會	最新 滿洲帝國六法全書 康3-4	編 所	010—17
中 根 不 羅 雄 等	滿洲新六法 康4	行 政 學 會	010—21
○			
石 澤 俊 義	公法學の諸問題 2册 昭9	有 斐 閣	010.1—1

編・著者名	書名	發行所	整理番號
安田正徳	水の法律	松山房	010.1—2
島津喜孝	憲法判例問題法理 公法要論 昭13	東京國書會社	010.1—3
日高巳雄	滿洲國公法大意 昭8	松山房	010.1—4
安田正徳	水利權	—	010.1—5
【 011 憲 法】			
上杉慎吉	憲法述義 10版 昭4	有斐閣	011—1
原武	中華民國憲法 昭4	商議調查課	011—2
(民) 吳宗慈	中華民國憲法史 民13	東方時報館	011—3
美濃部達吉	憲法撮要 5版 昭8	有斐閣	011—4
商務印書館	憲法研究專號 民11	編所	011—5
土橋友四郎	日本憲法比較對照世界各國憲法 大正14	有斐閣	011—6
(民) 潘大逵	中國憲法史綱要 民22	商務印書館	011—7
宮澤俊義 中二 義郎	中華民國憲法草案 昭10	中華民國法新研究會	011—8
(民) 潘國藩	中華民國憲法史 民24	商務印書館	011—9
清水澄	帝國憲法講義 7版 昭10	松華堂	011—10
明治政治史研究會	憲法解釋資料 昭11	ナウカ社	011—11
高澤俊義	憲法關係法規集 昭11	—	011—12
沈璣 碩	各國憲法之比較 康3	廣德圖書印刷所	011—13
伊藤博文	憲法資料 3册 昭9	秘書廳發行會	011—14
納生俊久	帝國憲法制定の精神、歐米各國學者政治家の評論 昭10	皇道會	011—15
(民) 吳毓公	中國制憲史 2册 民26	商務印書館	011—16
佐藤丑次郎	帝國憲法講義 昭12	有斐閣	011—17
大野健也	皇國憲法學 昭12	聚松堂	011—18
山崎又次郎	帝國憲法要論 昭13	岩波書店	011—19
秘書廳發行會	伊藤博文公修正憲法稿本 昭12	編所	011—20
鹽橋八重	修正憲法提要 昭11	有斐閣	011—21
黑田覺	帝國憲法講義案 昭11	弘文堂	011—22
田畑忍	帝國憲法講義 昭11	日本評論社	011—23

[0 法 制]

編・著者名	書名	發行所	整理番號
寬 克 登	大日本帝國憲法の根本義 昭12	岩波書店	011—21
里 見 岸 雄	國體憲法講義 昭13	錦正社	011—25
上 杉 慎 吉	帝國憲法逐條講義 昭13	日本評論社	011—26
美濃部 達吉	日本憲法 昭10	有斐閣	011—27
—	憲法講話 大正9	—	011—28
上 杉 慎 吉	憲法讀本 昭13	日本評論社	011—29
○			
滿鐵調査課	民國約法與國會 大正12	編 所	011—P1
民國立法院編譯處	中華民國憲法草案 民24	會 文 堂	011—P2
[012 民 法]			
鳩 山 秀 夫	日本民法總論 昭7	岩波書店	012—1
—	日本債權法 昭7	—	012—2
—	日本債權法各論 2冊 昭7	—	012—3
穂 積 重 遠	親 族 法 昭8	—	012—4
—	相續法大意 昭7	—	012—5
中華民國法制研究會	中華民國民法總則 昭8	中 央 大 學	012—6
—	中華民國民法 債權・總則・各則 昭8	—	012—7
(民)朱 采 眞 編	民法親屬集解 民21	世 界 醫 局	012—8
山 田 弘 之	中華民國民法對譯 總則、債、物權編、親族 相續編 (滿鐵調査資料第137・186) 2冊 昭5	滿鐵調査課	012—9
田 中 忠 夫	支那物權慣習論 大正14	日 本 堂	012—10
(民)胡 長 清	中華民國民法總論 民22	商 務 印 書 館	012—11
司 法 省	日本民事慣例類集 民7	編 所	012—12
(民)張 虛 白	女子財產繼承權詳解 民13	法 政 學 社	012—14
高 藤 喜 八 郎	民法親族編 法律學說判例總覽第5卷之2 昭10	法 律 評 論 社	012—15
小 池 隆 一	準契約及事務管理の研究 昭10	清 水 醫 店	012—16
民國司法部	中華民國民事統計年報 第1・2次 民6-7	編 所	012—17
滿鐵臺灣經濟調査會	臺灣親族相續令 第1-3草案 明44—大正3	—	012—18
(民)胡 長 清	中國繼承法論 民21	法 律 評 論 社	012—19

編・著者名	書名	發行所	整理番號
廣岡光治	露西亞民法 昭4	巖松堂	012—20
青川大二郎	身元保證法釋義 昭8	大同書院	012—23
榮田磯彦	不動産登記及戶籍寄留法規 (特別法規判例學說全集第3) 昭8	常盤書房	013—25
司法省民事局	日本帝國司法省 民事統計年報 第55 昭6	編所	012—28
岩田新	判例婚姻豫約法解說 昭10	有斐閣	012—29
和田宇一	夫婦財產法ノ批判 昭10	大同書院	012—30
(民)劉鴻漸	中華民國物權法論 民22	朝陽學院	012—31
中川善之助	親族相續判例總評 昭10	岩波書店	012—32
我妻榮	民法總則 昭10	—	012—33
末弘嚴太郎	民法講話 3冊 昭6-7	—	012—35
中根不器雄	滿洲民法 總則要旨物權要旨 昭12	大學書房	012—37
水本信夫	借地法 (學說實例總論) 昭3	大同書院	012—38
—	借家法 (學說實例總論) 昭5	—	012—39
我妻榮	擔保物權法 昭12	岩波書店	012—40
—	債權法講義案 昭13	—	012—41
—	親族法、相續法講義案 昭13	—	012—42
石田文次郎	物權法論 昭13	有斐閣	012—43
雄佐慶夫	民法概論 總則編 昭12	—	012—45
櫻積道遠	民法總論 改訂 昭8	—	012—46
末川博	民法大意 昭13	弘文堂	012—47

○

升巴育吉 建國一周年ニ際シ再ヒ身分登記法ノ實施ヲ提唱ス 大同2 012—P2

【013 刑法】

廣岡光治譯	露西亞刑法 昭4	巖松堂	013—1
岡安總督調查課	蒙古律令 (調査資料3) 康1	編所	013—3
中華民國法制研究會	中華民國刑法總則 昭8	中央大學	013—3
阪塚敏夫	刑法論攻 昭9	松華堂	013—4

【 0 法 制】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
中華民國法制研究會	中華民國刑法 分則 2册 昭9-10	中央大學	013— 6
(民)老 邁 春	刑法釋義 民國24	老邁春事務所	013— 7
吳 漫 部 達 寺	公用收用法原理 昭11	有 斐 閣	013— 8
(民)徐 步 垣	刑法義例 民21	中 華 書 局	013— 9
蒙古事情研究會	前清欽定理藩院則例譯註 刑罰編 昭12	編 所	013— 10
司法省調査課	米國エター州に於ける不定刑宣告猶豫及 假釋放に關する調査 (司法資料第190) 昭9	—	013— 11
—	刑事政策 犯罪學を基礎とする (司法資料第230) 昭11	—	013— 12
—	英國の刑事裁判 (司法資料第212) 昭11	—	013— 13
—	獨逸刑法提要 (司法資料第196) 昭10	—	013— 14
—	德川禁令考 (司法資料第173, 180, 183) 昭7-9	—	013— 15
—	德川時代裁判事例 刑事ノ部(司法資料第231) 昭11	—	013— 16
—	捜査事務に就て (司法資料第179) 昭8	—	013— 17
—	一九三〇年獨逸刑法草案並に現行獨逸刑法典 (司法資料第191) 昭10	—	013— 18
—	米國に於ける指紋採取法 (司法資料第210) 昭11	—	013— 19
—	ナチスの刑法 (司法資料第184) 昭9	—	013— 20
—	取締法規違反の定型 (司法資料第189) 昭9	—	013— 21
—	一九三五年六月二十八日の獨逸刑法改正法並 刑事訴訟法及裁判所構成法を改正條件と各 理由書 (司法資料第223) 昭12	—	013— 22
—	伊太利刑法典 (司法資料第198) 昭10	—	013— 23
—	中華民國刑法、刑事訴訟法 (司法資料第202) 昭10	—	013— 24
牧 野 英 一	日本刑法 昭12	有 斐 閣	013— 25
高 窪 喜 八 郎	刑法各論篇 (法律學說判例總覽第15の2) 昭11	法 律 評 論 社	013— 26
小 野 湖 一 郎	刑法講義 昭13	有 斐 閣	013— 27
牧 野 英 一	刑法と社會思潮	—	013— 28
—	刑法研究 7册 昭9-	—	013— 29
○			
商務印書館	中華民國刑法 2版 民20	編 所	013— 1'1
【 014 商 法】			
中華民國法制研究會	中華民國會社法 昭8	中 央 大 學	014— 3

編者名	書名	發行所	整理番號
(民) 王 孝 通	中國海商法論 民29	世界書局	014— 3
野 津 務	商 法 大 要 第1分册 昭9	有 斐 閣	014— 4
中華民國法制研究會	中華民國手形法 昭9	中 央 大 學	014— 5
野 津 務	商法總則 第1部序論 第2部營業論 昭9	有 斐 閣	014— 6
國際聯盟事務局東京支局	手形法國際統一と我商法改正 昭7	森 山 書 店	014— 7
松 本 蒸 治	日本會社法論 昭10	廣 松 堂	014— 8
山 尾 崎 三	手 形 法 研 究 昭10	岩 波 書 店	014— 9
大 瀨 信 泉	手形及小切手法 昭10	廣 松 堂	014— 10
商 工 省 貿 易 局	輸出組合關係法規 昭11	編 所	014— 11
鳥 賀 陽 然 良	商 法 研 究 4册 昭11	有 斐 閣	014— 12
中華民國法制研究會	中華民國海商法 昭11	中 央 大 學	014— 13
司 法 省 調 查 課	一九三〇年獨逸國株式會社法及株式合資會社 法草案並說明書 (司法資料第22) 昭11	編 所	014— 14
田 中 耕 太 郎	會 社 法 概 論 昭11	岩 波 書 店	014— 15
松 本 蒸 治	商 法 大 意 改版 昭11	—	014— 16
中 根 不 羅 雄	破 產 法 例 解 昭10	兩 效 社	014— 17
田 中 耕 太 郎	商 行 爲 法 講 義 要 領 昭10	東 京 帝 大	014— 18
佐 々 禮	日 本 新 會 社 法 2册 昭13	中 央 書 房	014— 20
桑 田 龍 藏	新 會 社 法 精 解 昭13	チ ン セ ン 社	014— 21
井 野 春 樹	各 國 商 標 法 提 要 昭2	廣 松 堂	014— 22
鳥 賀 陽 然 良	商 法 總 論 昭13	弘 文 堂	014— 23
松 本 蒸 治	會 社 法 講 義 昭13	廣 松 堂	014— 24
○			
商 務 印 書 館	海 商 法 民19	編 所	011— P1
—	公 司 法 民19	—	014— P2
遼 寧 省 實 業 廳	遼 寧 省 商 業 公 司 施 行 附 則 註 册	—	014— P3
遼 寧 省 政 府	遼 寧 省 工 廠 暫 行 規 則 註 册	—	014— P4
—	公 司 登 記 規 則 民20	—	014— P5
商 務 印 書 館	商 會 法 民19	—	014— P7

【 法 制】

編・著者名 書 名 發行所 整理番號

【 015 訴 訟 法】

胡 麻 本 葛 一	露西亞民事訴訟法 昭3	巖 松 堂	015— 1
中華民國法制研究會	中華民國民事訴訟法 昭9	中 央 大 學	015— 2
山 田 正 三	日本民事訴訟法論 2冊 昭10	弘 文 堂	015— 3
勅使河原直三郎	民事訴訟法概論 昭9	巖 松 堂	015— 4
清 水 孝 藏	刑事訴訟法理論 昭10	—	015— 5
牧 野 英 一	刑 事 訴 訟 法 昭10	有 斐 閣	015— 6
胡 麻 本 葛 一	最新ソグエート刑事訴訟法 昭10	自 治 刊 行 社	015— 7
司 法 省 調 査 課	一九三〇年獨逸新民事訴訟法草案並に説明書 (司法資料第178) 昭8	編 所	015— 8
—	佛國刑事訴訟法 (司法資料第206) 昭11	—	015— 9
—	ユーゴスラヴキヤ新民事訴訟法 (司法資料第203) 昭10	—	015— 10
—	ドイツに於ける刑事訴訟法手續並に行刑制度 の改正について (司法資料第217) 昭11	—	015— 11
小 野 清 一 郎	刑事訴訟法講義 昭12	有 斐 閣	015— 12
中 島 英 次	非訟事件學說判決實例綜攬 昭12	文 英 社	015— 13
岩 本 勇 次 郎	強 制 執 行 法 總則編 昭12	巖 松 堂	015— 14
吉 川 大 二 郎	保全處分の研究 昭12	弘 文 堂	015— 15
花 井 卓 藏	訟 庭 論 草 3冊 昭5	春 秋 社	015— 16
宮 本 英 節	刑事訴訟法大綱 昭12	松 華 堂	015— 17
司 法 部 民 事 司	民事訴訟記録 康3	編 所	015— 1

○

商 務 印 書 館	民 事 訴 訟 法 民20	編 所	015— P1
—	中華民國刑事訴訟法 2版 民30	—	015— P3

【 016 國 際 法】

横 田 喜 三 郎	國際判例研究 昭8	有 斐 閣	016—
立 作 太 郎	戰時國際法論 3版 昭8	日 本 評 論 社	016— 2
—	平時國際法論 3版 昭8	—	016— 3
(民) 周 緯	新國際公法 2冊 民19	商 務 印 書 館	016— 4
立 作 太 郎	時局國際法論 昭9	日 本 評 論 社	016— 5

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
(露)コロヰヰン譯 米村正一	過渡期國際法 昭8	改 造 社	016— 6
天野 德 也	國 際 法 學 2冊 昭7-8	巖 松 堂	016— 7
田 岡 良 一	空襲と國際法 昭12	—	016— 8
(露)バスカーニス譯 山之内一郎	ソヴェート國際法概論 昭13	改 造 社	016— 9
山 田 三 良	國 際 私 法 3冊 昭7-9	有 斐 閣	016— 10
(民)岡 慶 生	國 際 法 大 綱 (大學叢書) 民24	商 務 印 書 館	016— 11
横 田 喜 三 郎	國 際 法 2冊 昭11	有 斐 閣	016— 12
福 井 康 雄	國 際 不 法 行 爲 論 昭11	泰 北 帝 大	016— 13
水 垣 進	國 際 法 に 於 け る 國 家 責 任 論 昭13	有 斐 閣	016— 14
民 政 部 警 務 司	世界各國 國 籍 法 資 料 集 成 康2	編 所	016— 15
兒 玉 敬 介	國 籍 法 論 昭8	廣 隆 社	016— 16
○			
法 學 討 論 委 員 會	國 籍 法 及 國 籍 法 施 行 細 則 法 律 適 用 條 例 民14	—	016— P1
【 017 判 例 集】			
英 法 部 達 吉	評註 公 法 判 例 大 系 2冊 昭8	有 斐 閣	017— 1
—	公 法 判 例 評 釋 昭和九年度 昭10	—	017— 2
關 東 都 府 高 等 法 院	關 東 都 府 高 等 法 院 民 刑 事 判 決 例 大正4	編 所	017— 3
船 田 享 二	判 例 と 理 論 昭10	刀 瓦 書 院	017— 4
大 審 院	大 審 院 判 決 錄 民事部 1-27 刑事部 1-27 明23-大正10	編 所	017— 5
帝 國 判 例 法 規 出 版 社	判 例 總 覽 昭11-13	—	017— 6
	1- 3 特 別 法 商 事 及 產 業 編		
	4- 5 — 公 法 編		
	6- 7 — 刑 事 編		
	8- 9 — 民 事 手 續 編		
	10-16 刑 法 判 例 總 覽		
	17-19 刑 事 訴 訟 判 例 總 覽		
	20-23 新 民 事 訴 訟 法 判 例 總 覽		
	24 民 法 判 例 總 覽 債 權		
	25-26 商 法 手 形 法 小 切 手 法 判 例 總 覽		
	27 綜 合 登 記 質 務 總 覽		

【 0 法 則】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
大 審 院	大審院民事判例集 19册 大正13-	法 曹 會	017— 7
—	大審院刑事判例集 20册 大正13-	—	017— 8

【 02 法 務】

司 法 部 總 務 司	全國司法會議記錄 第1-7次 大同-昭5	編 所	020— 1
臺灣總督府法務課	司法事務集計表 昭7	—	020— 2
上海法學編譯社	中華民國司法法令大全 民23	會 文 堂	020— 3
(民) 吳 頌 泉	治 外 法 權 民18	商 務 印 書 館	020— 4
岸 田 英 治	滿洲國法權問題の考察 昭9	順 文 書 院	020— 5
司 法 省 行 刑 局	日本帝國司法省行刑統計年報 第31-36 期0-11	編 所	020— 6
司 法 部 總 務 司	[滿洲國]司法資料 大同2	—	020— 7

- 第 1 類 憲 法
- 第 2 類 官 制
- 第 3 類 官 規
- 第 4 類 審 判
- 第 5 類 民 事
- 第 6 類 刑 事
- 第 7 類 監 獄
- 第 8 類 非訟事件
- 第 9 類 律 師
- 第 10 類 外 交
- 第 11 類 公文公報
- 第 12 類 服制禮儀
- 第 13 類 統計報告
- 第 14 類 會 計
- 第 15 類 官產交通
- 第 16 類 戒 嚴
- 第 17 類 行政訴訟
- 第 18 類 選舉訴訟
- 第 19 類 代 籍
- 第 20 類 問 事
- 第 21 類 雜 錄 補 編

司 法 省 刑 事 局	日本帝國司法省 刑事統計年報 第56-60 昭7-11	編 所	020— 8
內 閣 統 計 局	刑事被告人=關スル統計材料 大正9	—	020— 9
法 權 討 論 委 員 會	考 查 司 法 記 民13	—	020— 10
(民) 黃 敦 漢	各級法院司法行政實務類編	商 務 印 書 館	020— 11
古 賀 元 吉	支那及滿洲に於ける治外法權撤廢問題 昭8	日 支 問 題 研 究 會	020— 12
司 法 部 秘 書 科	奉派赴日考察司法記錄 2册 大同2	編 所	020— 13
廣 瀬 孝 雄	關東州に於ける司法 大正2	京 都 法 學 會	020— 14
總 務 廳 情 報 處	治外法權撤廢並滿洲附屬地行政權ノ調整乃至 移讓=對スル滿洲國側ノ準備 廣8	編 所	020— 15

【 0 法 則】

編・著者名	書名	年	發行所	整理番號
【 001 法 律 學】				
恒 藤 嘉	法の基本問題	昭11	岩波書店	001— 1
穂 積 重 遠	法理學大綱	大正13	—	001— 2
高 柳 賢 三	法律哲學原論	昭11	—	001— 3
司法省調査課	佛國法學通論 (司法資料 225)	昭12	編 所	001— 4
(民) 熊 毅	法學通論	民13	公債書局	001— 5
牧 野 英 一	法律ニ於ケル倫理ト技術	昭	有斐閣	001— 6
【 002 法 制 史】				
(民) 楊 炯 烈	中國法律發達史	民19	商務印書館	002— 1
東 川 德 治	支那法制史論	大正4	臨時臺灣舊慣 調査會	002— 2
伊 藤 博 文	秘書 新纂 法制關係資料	2冊 昭9	秘書類纂刊行會	002— 3
(民) 青 森 胡	法治通史	3冊 民7	—	002— 4
(民) 陳 顯 遠	中國法制史 (大學叢書)	民23	商務印書館	002— 5
瀧 本 誠 一	日本法制經濟史	昭10	福田書房	002— 6
桑 原 隲 藏	支那法制史論叢	昭10	弘文堂	002— 7
(民) 于 恩 德	中國禁煙法令變遷史	民23	中華書局	002— 8
仁 井 田 隆	唐宋法律文書ノ研究	昭13	東方文化學究	002— 10
中 野 登 美 雄	國法及國法史の研究	昭4	敬文堂	002— 11
【 009 舊 慣 調 査】				
臨時舊慣調査會	臨時臺灣舊慣調査會第一部調査報告書附錄參 考書	第1-2回 明36, 39, 40	編 所	009— 1
—	同第一部調査報告書	第1回 明36, 39	—	009— 2
—	同第一部調査報告書	第2回第1-2巻3冊 明39	—	009— 3
臨時臺灣土地調査局	臺灣舊慣制度調査一斑	明34	—	009— 4
韓國不動產法調査會	慣習調査問題		—	009— 5
朝鮮總督府	[朝鮮] 慣習調査報告書	明46	—	009— 6
手島兵次郎	臺灣慣習大要	大正2	臺灣總督府	009— 7
興安總督調査科	蒙古民族の慣習法	明3	編 所	009— 8
及川三男	文獻ヨリ見タル清朝時代ヨリ民國時代ニ互ル 蒙地ニ對スル各種取締令ト禁令	康1	—	009— 9

【 0 法 制】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
司法部總務司	司法統計年報 大同二年度 康3	編 所	020—16
—	法院組織法並附屬法令 康3	—	020—17
(民)老 邁 春	大理院・最高法院・司法院解釋類編 民20	老邁春事務所	020—18
—	司法院解釋類編續編 民22	—	020—19
—	司法院解釋類編第2次續編 民25	—	020—19
總務廳情報處	治外法權撤廢の實績 康3	編 所	020—20
請 願 調 査 課	支那に於ける治外法權撤廢問題 大正15	—	020—21
司法省調査課	獨逸裁判所構成法及同刑事訴訟法 (司法資料第193) 昭10	—	020—22
—	英國に於ける裁判と警察 (司法資料第186) 昭9	—	020—23
總務廳情報處	領事裁判權に對する司法部の整理概況 康4	—	020—24
司法部調査科	滿洲帝國司法要覽 第1.2次 康3-4	—	020—25
司法協會	滿洲帝國最高法院判例要覽 康4	嚴 松 堂	020—26
司法部	全國律師會長副會長會議錄 康5	編 所	020—27
—	監獄長會議錄 第1-4次 康5	—	020—28
司法省調査課	司法資料 51冊 大正10-昭7	—	020—29

○

司法部總務司	司法便覽 康2	編 所	020—P1
—	全國司法會議議案 第3次 大同2	—	020—P2
—	司法部重要實施事項重要計畫事項 大同1	—	020—P3
請 願 調 査 課	奉天省に於ける司法制度 昭2	—	020—P4
民政部警務司	治外法權概説 康2	—	020—P5
司法部	司法制度整備概況 康3	—	020—P6
總務廳情報處	滿洲國大系第32輯司法 康4	—	020—P7

【 03 宮 廷 事 項】

酒 卷 芳 男	皇室制度講話 昭9	岩 波 書 店	030—1
總務廳情報處	即位大典紀念寫真冊 康1	編 所	030—3
有 賀 長 堪	皇室制度稿本 大正1	日 清 印 刷 會 社	030—3
聖 德 奉 贊 會	聖上御盛德錄 8版 昭9	編 所	030—4

【 0 法 制】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
田 中 万 逸	皇 宮	相 愛 會	030— 5
馬 場 書 族	秩父御名代宮殿下御奉迎記念寫真貼 昭10	弘 文 堂	030— 6
水 島 周 平	仰ギマツル明治天皇ノ御聖德 昭10	皇 德 奉 贊 會	030— 7
中 保 興 作	滿 洲 國 皇 帝 昭10	日 本 評 論 社	030— 8
總務廳情報處	扈從訪日恭記 康3	編 所	030— 9
藤 田 貞 次 郎	皇室皇族聖媛 昭11	通 信 社	030— 10
伊 藤 博 文	皇室制度資料 2册 昭11	秘 書 類 纂 刊 行 會	030— 11
山 田 好 文	滿洲國皇帝を迎へ奉りて 昭10	海 外 之 日 本 社	030— 12
沈 瑞 麟	皇上乾德恭記 康3	宮 內 府	030— 13
總務廳情報處	皇帝陛下御訪日ニ關スル記録 康3	編 所	030— 14

○

總務廳情報處	大典ニ關スル講話資料 大同3	編 所	030— P1
巴 奈 縣 公 署	扈從訪日恭紀要纂 康4	—	030— P2
總務廳情報處	皇帝訪日與友邦日本 康3	—	030— P3
日 滿 實 業 協 會	滿洲國皇帝陛下奉迎報告書 昭10	—	030— P4
總務廳情報處	皇帝訪日紀念寫真帳 康2	—	030— P5
—	回鑾訓民詔書講義 日滿文 2册 康3	—	030— P6

【 06 恩 賞】

平 井 希 昌 譯	萬國勳章略誌 (1)	受 德 堂	060— 1
恩 賞 局	滿洲帝國勳章鑑 康4	編 所	060— 3

○

大 藏 省 理 財 局	米國に於ける恩賞法案 大正11	編 所	060— P1
-------------	-----------------	-----	---------

編・著者名 題 名 発行所 整理番號

1 政治・外交・軍事

[11 政治 總記]

高 岡 啓 三	獨裁政と法律思想 昭13	河 出 書 房	110— 1
牧 野 武 夫	議會政治讀本 昭9	中 央 公 論 社	110— 2
○			
全 國 産 聯	國家主義團體一覽 昭7	編 所	110—P1
請 農 調 査 隊	東三省官憲の施政内情 昭3	—	110—P2
黑 龍 江 省	黑龍江省實施政綱概要 大同1	—	110—P3
自 治 指 導 部	自治指導部條例 自治指導部評議會章程 民20	—	110—P4
—	自治指導部條例 縣自治指導員辦公須知 民20	—	110—P5
黑 龍 江 省	黑龍江省鄉老會議記錄 大同1	—	110—P6
全 國 經 濟 調 査 機 關 聯 合 會	全國經濟調査 定時總會講演集 昭7	—	110—P9
(民) 錦 松 秋	西 康 建 省 記 民1	公 記 印 刷 局	110— P12
(民) 于 燕 芳	制 奴 議 撮 民17	中 央 大 學 圖 書 館	110— P13
(民) 魯 嗣 香	東 北 視 察 記 (天津民報所載) 民22	總 務 廳 情 報 處	110— P15
小 笠 原 省 三	朝鮮及朝鮮人問題の一轉機に際して 昭9	—	110— P16
明 欣 伯	明 仁 鑑	—	110— P20

[1102 辭 典]

經濟知識社	政治經濟新問題辭典 昭12	編 所	110.2— 1
(民) 趙 明 高	英漢政治法律商業教育辭典 4版 民20	新 華 印 書 局	110.2— 2
支那問題研究所	支那問題辭典 昭4	編 所	110.2— 3

[1103 叢 書]

ナウカ社	世界政治經濟情報 8册 昭10-11	編 所	110.3— 1
伊 藤 博 文	秘 書 類 纂 昭10-12	秘 書 類 纂 刊 行 會	110.3— 2
	第 1-2 編 法制關係資料		
	第 3-5 編 財政資料		
	第 6 編 官制關係資料		

【1 政 治】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
	第 7 編 臺灣資料		
	第 8 編 實業・工業資料		
	第 9-11 編 憲法資料		
	第 12 編 兵政關係資料		
	第 13-14 編 帝國議會資料		
	第 15-17 編 朝鮮交渉資料		
	第 18-20 編 外交篇		
	第 21-22 編 帝室制度資料		
	第 23-29 編 雜 纂		
	【110.4 年 鑑】		
張 秀 哲	國民政府重要政治外交年表 昭10	日支問題研究会	110.4— 1
外務省調査部	ソ聯邦重要事項誌 1937年度 昭13	編 所	110.4— 2
東京政治經濟研究所	日本政治經濟年鑑 昭7	岩波書店	110.4— 3
東亞經濟調査局	支那政治經濟年史 昭7	先 進 社	110.4— 4
笠原直造	蘇聯邦年鑑 1937年度 昭12	日華通信社	110.4— 5
日本政治經濟研究所	日本政治經濟年鑑 昭10	日本評論社	110.4— 6
東京政治經濟研究所	世界政治經濟年鑑 昭6	編 所	110.4— 7
—	世界と日本 (世界政治經濟年鑑ノ改題) 昭9	—	110.4— 7
	【110.9 政 治 事 情】		
東亞經濟調査局	滿蒙政治經濟提要 (經濟學全集第25) 昭7	改 造 社	110.9— 1
	【 A 滿 洲 國】		
日滿實業協會	建設途上の滿洲國 昭9	編 所	110.9—A1
田村幸策	滿洲國出現の合理性 (日本國際協會叢第171) 昭11	日本國際協會	110.9—A2
滿鐵調査課	滿洲政治經濟事情 昭5-6	編 所	110.9—A3
總務廳情報處	滿洲建國の真意義 康4	—	110.9—A4
米野豊實	滿洲國は躍進す 昭11	滿洲日日新聞社	110.9—A5
外 交 部	滿洲國施政概要 康1	編 所	110.9—A P1

【 政 治 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
國 務 院	[滿洲國]施政綱要 康1	編 所	110.9-A P2
中央宣傳小委員會	滿洲國當前問題之檢討 康1	—	110.9-A P3
外 交 部	滿洲國之獨立地位 大印	—	110.9-A P4
沈 茲 龍 七	滿洲國盛興ノ天意 大印	—	110.9-A P5
【 B 日 本 】			
池 田 英 代 二	新日本の展望 昭11	國民教育會	110.9—B1
大 串 鬼 代 夫	日本の勃興と政治の轉換 昭13	第一出版社	110.9—B2
三 枝 茂 智	雄邦日本東亞復興 昭13	島 村 影 店	110.9—B3
(民) 金 長 祐	日 本 政 府 (大學叢書) 民26	商務印書館	110.9—B4
藤 澤 親 雄	大陸經綸の指導原理 昭13	第一出版社	110.9—B5
野 依 秀 一	戰時・戰後の見方 昭13	秀 文 閣	110.9—B6
朝鮮總督府	躍進朝鮮の意氣と針路 昭10	編 所	110.9—B7
【 C 支 那 】			
東亞經濟調查局	支那ソヴェート運動の研究 昭9	編 所	110.9—C1
日滿實業協會	山西省政建設十年計畫 昭10	—	110.9—C2
矢 野 仁 一	近代支那の政治及文化 大正15	イデア學院	110.9—C3
田 中 忠 夫	現代支那の基本的認識 昭11	學 藝 社	110.9—C4
清 田 峰 太 郎	現代支那の政治機構と其の構成分子 昭11	—	110.9—C5
櫻 野 健 一	北 支 の 政 情 昭11	日支問題研究會	110.9—C6
(民) 野 季 陶	西 北 民22	新亞細亞學會	110.9—C7
藤 枝 丈 夫	現代支那の根本問題 昭11	泰 山 房	110.9—C8
太 田 宇 之 助	新支那の誕生 昭12	日 本 評 論 社	110.9—C9
(民) 李 蘆 洲	南京黨政府の秕政 民26	廣 報 社	110.9—C10
東亞經濟調查局	支那に於ける英國の帝國主義 昭2	編 所	110.9—C11
貴島外交研究室	排外支那の解剖 昭12	國際經濟研究所	110.9—C12
渡 邊 野 乾 一	現代支那の政治と人物 昭12	改 題 社	110.9—C13
小 林 知 治	爆彈北支を語る 昭12	太 陽 閣	110.9—C14
藤 原 綱 次 郎	支 那 の 全 貌 昭12	信 正 社	110.9—C15

【I 政 治】

編・著者名	書 名	年 次	発 行 所	整理番號	
滿洲評論社	再分割の危機に立つ支那	昭11	編 所	110.9— C16	
及川恒忠	支那政治組織の研究	昭8	啓成社	110.9— C17	
藤枝丈夫	支那問題總論	昭12	般文閣	110.9— C18	
(民)黎照寰	中國國民黨政策 2版	民18	商務印書館	110.9— C19	
日華實業協會	支那近代の政治經濟	昭6	外交時報社	110.9— C20	
大阪商議	多端なる支那	昭7	編 所	110.9— C21	
内藤乾吉	支 那 論	昭13	創元社	110.9— C23	
冀察政務委員會	冀察政務委員會公報	1-25期	民28	中華書局	110.9— C23

○

全國經聯	支那政治經濟の實相に就て	昭10	編 所	110.9— C P1
------	--------------	-----	-----	-------------

【D 蘇 聯】

大藏公望	ソグエート聯邦の實相	昭4	講 談 社	110.9— D1
露西亞通信社	サウエート現勢資料	昭5-9	編 所	110.9— D2
ロシア問題研究所譯	ソグエート五ヶ年計畫原案	3版 昭5	ナウカ社	110.9— D3
—	ソグエート五ヶ年計畫の總結果	昭8	—	110.9— D4
—	[第二]五ヶ年計畫の全貌	昭9	—	110.9— D5
高橋利雄	實地踏査 蘇聯邦を語る	昭9	改 造 社	110.9— D6
外務省調査部	ソ聯邦の政治及經濟組織 (附、ソ聯邦政府及共產黨の組織及職員一覽表)昭10	昭10	日本國際協會	110.9— D7
新居格	真 相 ソ 聯	昭12	豐文書院	110.9— D8
大内 俊	ロシアはどう出るか	昭12	大 毎	110.9— D9
勝野金政	ソグエート滞在記	昭12	千倉書房	110.9— D10

○

全國經聯	ソグイエット聯邦の近狀	昭11	編 所	110.9— D P1
------	-------------	-----	-----	-------------

【英・米・佛】

田畑爲彦	英吉利政治經濟研究	昭9	立命館出版部	110.9— E1
—	米國政治經濟研究	昭9	—	110.9— F1
大山卯次郎	米國の政治組織及其活動	昭5	國際聯盟支局	110.9— F2
田畑爲彦	佛蘭西政治經濟研究	昭9	立命館出版部	110.9— G1

編・著者名	書名	発行所	整理番號
【獨 伊】			
田 畑 爲 齊	獨逸政治經濟研究 昭9	立命館出版部	110.9—H1
(民) 西 堀 晴	希特勒與新德意志 民20	黎明書局	110.9—H2
士 方 成 興	ファツシズム 昭7	岩波書店	110.9—K1
(民) 重 保・保 重	法西斯主義與新意大利 2版 民22	黎明書局	110.9—K2
【M 蒙 古】			
蒙 藏 院	蒙藏院召集蒙事會議議事錄 民13	編 所	110.9—M2
(民) 劉 蔭 溥	治蒙芻言	—	110.9—M3
蒙 藏 委 員 會	蒙古會議彙編 民19	—	110.9—M4
(民) 黃 奮 生	內蒙盟前自治運動紀實	中華書局	110.9—M5
【111 政治學一般】			
(民) 李 漢 章	中國古代政治哲學批判 民20	新生命書局	111— 1
(民) 陶 希 聖	中國政治思想史 3冊 民21-22	新生命書局	111— 2
(民) 陳 安 仁	中國政治思想史大綱 民21	商務印書館	111— 3
高 橋 情 吾	政治科學原論 昭12	有 斐 閣	111— 4
松 庄 原 司 安 登	世界政治論 昭12	叢 文 閣	111— 5
石 田 正 七	政治學史 大正15	文 信 社	111— 6
佐 藤 丑 次 郎	政 治 學 昭11	有 斐 閣	111— 8
田 村 龍 治	行政學と法律學 昭3	弘 文 堂	111— 10
矢 部 貞 治	政治學講義要旨 昭13	—	111— 11
今 中 次 郎	政治統制論 昭13	日 本 評 論 社	111— 12
田 村 龍 治	行政機構の基礎原理 昭13	弘 文 堂	111— 13
藤 澤 貞 雄	日本民族の政治哲學 昭12	叢 然 堂	111— 14
杉 森 孝 次 郎	行動政治哲學 昭12	中 央 公 論 社	111— 15
藤 澤 貞 雄	近代政治思想と皇道 昭13	青年教育普及會	111— 16
(獨) ハンス・ケルゼン 著 西 島 芳 二 譯	民主政治と獨裁政治 昭11	岩 波 書 店	111— 17
東京經濟調查局	マルクス主義政治論の解釋上の係争問題 昭3	編 所	111— 18
藤 孝 齊	鄭總理大臣王道講演集 康1	編 文 盛 印 書 局	111— 19

【1 政 治】

編・著者名	書 名	年	發 行 所	整理番號
高野孝青 著 野村瑞峯 譯	王道政治指導原理、孔教新編釋義	昭9	澁川母子園	111—20

○

總務廳情報處	王道主義研究資料 3冊 大正2		編 所	111—P1
高 孝 青	王道管窺 版1		總務廳情報處	111—P2
高 孝 青 著 佐藤知松 訳	王道學 版2		—	111—P3

【112 政 治 史】

坪井九馬三	最近政治外交史 4冊 昭3-1		富山房	112—1
堀山政造	政治及政治史研究 昭10		岩波書店	112—2
伊藤博文	秘書類纂 幕 1冊 昭11		本館刊行會	112—3
西村雄三郎	東洋封建制史論 昭11		白揚社	112—4
澁川武治	滿洲事變の世界史的意義 昭11		大陸政策研究所	112—5
伊藤博文	秘書類纂 朝鮮交渉資料 3冊 昭11		本館刊行會	412—6
朝鮮總督府	〔朝鮮總督府〕施政二十五年史 昭10		編 所	112—7
牧 健 二	日本封建制度成立史 昭10		弘文堂	112—8
渡邊幾太郎	明治天皇と立憲政治 昭12		政経書房	112—9
東亞經濟調査局	問島問題の経緯 昭6		編 所	112—10
後藤英男	民國十四年度に於ける奉派入關小史 大正15		滿鐵調査課	112—11
臺灣總督府	臺灣蕃政史 明37		編 所	112—12
尾崎行雄	日本憲政史と語る 3冊 昭13		モナス	112—13
(民)陶希聖・沈巨源	秦漢政治制度 2版 長26		商務印書館	112—14
船田享二	羅馬元首政の起源と本質 昭11		岩波書店	112—15
滿鐵調査課	奉直關係論 大正14		編 所	112—16

【113 國 家 學】

高田保馬	國家と階級 昭9		岩波書店	113—1
清宮四郎	ケルゼン—般國家學 昭11		—	113—2
尾高朝雄	國家構造論 昭11		—	113—3
佐治謙讓	國家法人説の崩壊 昭11		日本評論社	113—4
大谷英隆	日本國體論 昭12		巖松堂	113—5

〔 1 政 治 〕

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
丸 島 兼 三 郎 譯	ナチス準戰時國家體制 昭12	千 倉 勇 房	113— 6
遠 藤 隆 吉	國 體 論 大正13	巖 松 堂	113— 7
奥 田 寛 太 郎	比 較 國 體 論 昭10	刀 江 書 院	113— 8
阿 部 市 五 郎	チエレーン生活形態としての國家 昭12	聚 文 閣	113— 9
原 田 鋼	歐米に於ける主權概念の歴史及再構成 昭9	有 斐 閣	113— 10
橋 山 專 太 郎	世界史上の支那 昭13	刀 江 書 院	113— 11
大 西 邦 辰 譯 水 垣 進	イエリネツク一般國家學 昭7	敬 文 堂	113— 12
嶋 山 政 道 編	國 家 學 論 集 昭13	有 斐 閣	113— 13
佐 治 謙 譯	日本學としての日本國家學 昭13	第 一 書 房	113— 14
(獨)ハンス・ハビグ著 中 野 登 美 雄 譯	國 家 原 理 提 要 昭2	巖 松 堂	113— 15
船 田 享 二	國 家 の 研 究 昭9	刀 江 書 院	113— 16

○

橋 本 棧	建 國 大 綱 私 案 民20		113— P1
-------	-----------------	--	---------

〔 114 國際政治・國際行政 〕

(民) 樊 仲 雲	一 九 三 二 年 之 國 際 政 治 民13	新 生 命 書 局	114— 1
衆 議 院 事 務 局	列 國 議 會 同 盟 並 同 日 本 議 員 團 概 要 昭11	編 所	114— 2
嶋 山 政 道	國 際 政 治 と 國 際 行 政 昭3	巖 松 堂	114— 3
外 務 省 情 報 部	國 際 時 事 解 說 昭12	編 所	114— 4

〔 115 立 法 〕

貴 族 院 事 務 局	貴 族 院 要 覽 3冊 昭7-8	編 所	115— 1
本 書 刊 行 會	大 日 本 帝 國 議 會 誌 1-54議會 18冊 大正15-昭5	—	115— 2
衆 議 院 事 務 局	衆 議 院 議 事 摘 要 63-72回 昭7-12	—	115— 3
(民) 吳 敬 恆 等	中 國 國 民 黨 史 2版 民16	商 務 印 書 館	115— 4
衆 議 院 事 務 局	衆 議 院 報 告 69-73回 昭11-13	編 所	115— 5
吉 井 喜 實	選 舉 制 度 昭11	常 盤 書 房	115— 6
衆 議 院 事 務 局	衆 議 院 議 員 總 選 舉 一 覽 第19-20回 昭11-13	編 所	115— 7
—	衆 議 院 議 員 略 歷 第1-10回 總 選 舉 昭11	—	115— 8
—	衆 議 院 議 員 當 選 回 數 調 第1-19回 總 選 舉 昭11	—	115— 9

【1 政 治】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
衆議院事務局	衆議院先例彙纂 昭12	編 所	115—10
大藏省管轄管財局	帝國議會議事堂竣工式典記錄 昭12	—	115—11
衆議院事務局	衆議院委員會先例彙纂 昭12	—	115—12
—	衆議院要覽 甲、乙 昭12	—	115—13
深尾逸雄 講	帝國議會五十年史 1-96回 昭10	本國刊行會	115—14
民國立法院編譯處	各國選舉法選編 民26	商務印書館	115—15
秋 永 監	一八六七年の選舉法改正と自由主義 昭11	臺北帝大	115—16

【119 政治論叢一般】

資源整備調査局	國策參謀本部設置案 民9	東京堂	119—1
池田秀雄	滿洲統治論 昭9	日本評論社	119—2
河瀬龍雄	滿洲建設の標識 昭10	三省堂	119—3
協和會	全國聯合協議會記錄 康3-4年度 康4-5	編 所	119—4
(譯)クロバトキン著 大井包孝譯	滿蒙處分論 大正3	民友社	119—5
(民)孔憲通	五院政府研究集 民10	逓通司局	119—6
鮑 觀 設	鮑觀澄建國講演輯錄 大同2	國權出版印刷社	119—7
駿川武治	我大陸經營失敗の真相 昭10	兵書出版所	119—8
奥村喜和男	日本政治の革新 昭13	育生堂	119—9
高橋清吾	現代政治の諸問題 昭12	有斐閣	119—10
協和會奉天省本部	奉天省聯合協議會要綱 康5	編 所	119—11
石丸 顯 太	共產ロシア抹殺論 昭13	春秋社	119—12

○

嶋井元義	滿洲國に於ける日本の意義 大同1	編 所	119—P1
如 綱 社	南方國策論 2版 昭9	—	119—P2
小山貞知	滿洲國よゝ大同世界へ 昭9	滿洲評論社	119—P3
滿洲國通信社	黎明大亞細亞 康5	編 所	119—P4
日滿實業協會	滿洲に於ける現下重要諸問題に就て 昭10	—	119—P5

【12 行政 一般】

英通部通旨	行政法撮要 改訂4版 昭9	有斐閣	120—1
-------	---------------	-----	-------

【政 治】

編·著者名	書 名	發 行 所	整理番號
長尾景德	臺灣行政法大意 2版大正12	杉田書店	120— 2
臨時臺灣調查會	清國行政法 <small>臨時臺灣調查報告 第1部 第1-6卷 明43-大正4</small>	編 所	120— 2
渡邊宗太郎	日本行政法 2册 2版昭10	弘文堂	120— 4
堀山政道	行政學原論 第1分册昭11	日本評論社	120— 5
臺灣總督府	清國行政法 (複製) 7册 昭11	巖松堂	120— 6
(民)張金鑑	行政學之理論與實際 (大學叢書) 民25	商務印書館	120— 8
(元)張彥清著 安岡正為譯	為政三部書 <small>〔原書名「三事(廟堂·風憲·牧民)忠告」〕 昭13</small>	文賢社	120— 9
邊疆政教制度研究會	清代邊政通考 民23	編 所	120— 10
美濃部達吉	日本行政法 (上) 昭11	有斐閣	120— 13
野村淳治	行政法總論 (上) 昭11	日本評論社	120— 14
法律研究學會	行政法各論解說 昭13	敬文堂	120— 15
美濃部達吉	行政法 2册 昭13	岩波書店	120— 16
	【120.1 法規】		
上海法學編譯社	中華民國行政法令大全 2册 民33	編 所	120.1— 2
杉村章三郎	行政法規提要 昭8	良醫普及會	120.1— 3
(民)余紹宋、歐陽暉	行政法規 民8	北京司法公報所	120.1— 4
民國內務部	內政法規彙編 民20	編 所	120.1— 6
	【120.3 叢書】		
良醫普及會	自治研究全集 9册 昭5	編 所	120.3— 1
總務廳情報處	省政彙覽 日文康2-4	—	120.3— 2
	第1輯 吉林省篇		
	第2輯 龍江省篇		
	第3輯 黑河省篇		
	第4輯 三江省篇		
	第5輯 濱江省篇		
	第6輯 閩島省篇		
	第7輯 安東省篇		
	第8輯 奉天省篇		
	第9輯 錦州省篇		

【行政】

編者名	書名	發行所	整理番號
總務廳情報處	省政彙覽 語文 6册 康2-4	編所	120.3—3
【120.4 年 鑑】			
民政部	民政年報 第1-3次 康1-3	編所	120.4—1
統監府	韓國施政年報 明治三九—四二年 明41—43	—	120.4—2
朝鮮總督府	朝鮮總督府施政年報 昭34—昭41 明44—昭42	—	120.4—2
民國內政部	內政年鑑 4册 民25	商務印書館	120.4—4
【120.5 統計】			
內務省	內務省統計報告 第四六—四九回 昭9-13	編所	120.5—1
民國內政部	內務統計地方表式 民2	—	120.5—2
民政部	〔民政部〕統計年報 第一—二次 2册 康2-3	—	120.5—3
【120.9 其他】			
民政部總務司	蒙務行政ノ沿革 大同2	編所	120.9—1
總務廳情報處	改擬蒙旗行政制度紀念特刊 康1	—	120.9—2
朝鮮總督府	朝鮮統治三年間成績 大正3	—	120.9—3
滿洲國國務院	事變前に於ける東北四省行政機構 昭7	滿鐵調查課	120.9—4
民政部	吉黑兩省蒙旗行政調查書 康1	編所	120.9—5
日本行政視察團	日本行政視察日誌 康1	—	120.9—7
(滿) 島吉符	蒙政摘要 宣統3	—	120.9—8
日滿實業協會	〔日滿實業協會〕康德二年施設概要 昭11	—	120.9—11
民政部	民政部各省公署東渡行政視察團報告書 康3	—	120.9—12
蒙政部	興安各省省長會議議事錄 第一回 康3	—	120.9—13
臨時地方制度調查會	道ノ沿革ニ就テ 康1	—	120.9—14
朝鮮總督府	朝鮮施政に關する論告訓示並演述集 自大正11年7月—至昭和12年3月 2册 昭2-12	—	120.9—17
【121 警察行政】			
民政部警務司	滿洲國警察概要 4册 大同2-康5	編所	121—1
臺灣總督府	臺灣總督府警察沿革誌 昭9	—	121—2
奉天省公署	奉天省警務輯覽 大同2	—	121—3
奉天省警務處	奉天各縣現行警察章程 民15	—	121—4

【 政 治 】

編・著者名	書 名	發 行 所	裝 冊 番 號
坂 栗 文 保	警察豫算提要 2版 昭7	警 察 協 會	121— 5
(民) 于 珍	奉天全省警甲報告書 2册 民11	編 所	121— 6
內務省警保局	警察統計報告 第7回 昭7	—	121— 7
田 村 豐	現行警察法汎論 2版 昭5	大 學 書 房	121— 8
東省特別區警察總管理處	特警統計年鑑 民國十九年 民20	編 所	121— 9
東省特警秘書室	東省特別區警察總管理處統計報告 民20	—	121— 10
東省特別區路警處	東省特別區路警處統計書 民國十八年 民20	—	121— 11
朝鮮總督府)	朝鮮警察概要 昭8	—	121— 12
滿 鐵	南滿地方支那警察制度附錄參考書	—	121— 13
(民) 趙 志 嘉	最新警察全書 民18	世 界 書 局	121— 14
臺北刑務所	[臺北]刑務所要覽 昭7	編 所	121— 15
關東廳警務局	[關東廳]警察統計書 昭和7年度 昭9	—	121— 16
(民) 王 家 駒	奉天全省警察報告書 2册 民9	奉天省警務處	121— 17
西野省三、白松淵樹	警察行政・衛生行政(自治行政叢書第8) 昭10	常 盤 書 房	121— 18
(民) 內 政 部	中國警察行政 民21	商 務 印 書 館	121— 19
(民) 趙 明 坤	中國外事警察 民21	—	121— 20
(民) 劉 貞、談 鳳 池	中國都市交通警察 民24	—	121— 21
民政部警務司	保甲制度論 康3	編 所	121— 22
宋 光 高 義	高等警察要論 昭10	日 本 評 論 社	121— 23
民政部警務司	大禮警衛警備錄 康1	編 所	121— 24
—	保甲制度概說 康1	—	121— 25
關東軍參謀部	最近に於ける滿洲國の治安 昭12	—	121— 26
民政部警務司	治安肅正工作概況書 康3	—	121— 27
首都警察廳	首都警察廳例規彙 康1	滿洲行政學會	121— 28
松 井 茂	警察讀本 昭12	日 本 評 論 社	121— 29
瀧 池 慎 三	警察行政研究 昭1	松 澤 堂	121— 30
安東省警務廳	鑑識資料編 康5	編 所	121— 31
首都警察廳	[首都警察廳]管内狀況 康1	—	121— 32

【 政 治 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
(民) 關 鈞 天	中國保甲制度 民24	商務印書館	121—33
○			
山 田 弘 之	奉天省吉林省に於ける警察保衛團鄉村制度	滿鐵調査課	121—P1
自治指導部	各縣警察處組織參考條例各縣警察隊組織參考條例 民21	關 所	121—P2
—	齊滿蒙警察制度考 民20	—	121—P3
吉林省政府	吉林省各縣保衛團暫行簡章 民18	—	121—P4
民政部警務司	滿洲國警察職員階級別一覽表 大甲3	—	121—P5
中央警察學校	中央警察學校一覽 康1	—	121—P6
民政部警務司	保甲制度 康1	—	121—P7
國務廳情報處	警察權の撤廢移讓に関する準備概況	—	121—P8

【 124 地 方 行 政 】

(民) 尹 仲 材	地方自治學與村制學之紀元 民18	大中書局	124—1
擁 關 茂	地方自治制講話 昭7	帝國地方行政學會	124—2
普 益 書 局	縣政大全 民19	世界書局	124—4
民治研究社	縣政彙編 2册 民18	江東書局	124—5
坂 加 千 秋 丸 藤 野 於 菟	地方行政 (自治行政叢書第4-5) 2册 昭10-11	常經書局	124—6
(民) 謝 宇 恒	縣政建設 民21	神州國光社	124—8
藤 崎 嘉 郎	北支自治運動の推移 昭11	日滿實業協會	124—14
渡邊宗太郎	地方自治の本質 昭10	弘文堂	124—19
(民) 楊 天 龍	鄉村自治 民20	大東書局	124—20
(民) 賈 堅 志	區政大全 3册 民22	上海法律事務所	124—21
鳩 山 政 道	地方行政論 昭12	日本評論社	124—23
西 田 卯 八	地方自治の改造 昭7	滋 松 堂	124—25
安 井 英 二	地方自治の研究 昭0	良書普及會	124—30
菊 池 慎 三	地方自治と東京市政 昭3	—	124—31
擁 關 茂	地方制度改正大意 昭4	—	124—32
安 井 英 二	地方制度講話 昭10	—	124—33
擁 關 茂	地方制度解説 大正15	—	124—34

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
○			
(民) 楊 開 道	鄉約制度的研究 民20	燕 京 大 學	124—P1
民 政 部 總 務 司	縣區村制度ノ事變前ニ於ケル狀態 大同2	編 所	124—P3
總 務 廳 情 報 處	改變地方行政制度紀念特刊 康1	—	124—P4
民 政 部	地方行政制度改革紀念特刊 康1	—	124—P5
—	各縣臨時改組辦法 大同2	—	124—P6
關 東 區 內 務 局	會 制 度 ノ 要 旨 昭5	—	124—P8
【124.1 地 方 法 令】			
民 政 部	滿洲國地方例規輯覽 2册 康1	滿洲行政學會	124.1— 1
榮 田 義 彦	府縣市町村法規總攬 昭7	國 松 堂	124.1— 2
(民) 王 均 安	現行地方自治法規釋義 民22	世 界 書 局	124.1— 3
良 醫 普 及 會	市制町村制實例總覽 昭10	編 所	124.1— 4
—	地方制度輯攬 加除式 昭13	—	124.1— 5
大 塚 辰 治	市町村例規提要 昭3	良 醫 普 及 會	124.1— 6
—	市 町 村 條 例 昭12	—	124.1— 7
安 東 省 公 署	地方制度關係法令輯覽 康5	編 所	124.1— 8
奉 天 省 公 署	奉天單行法令彙存 3册 民8	—	124.1— 9
閩 島 省 公 署	閩島省例規集 康4	滿洲行政學會	124.1— 10
吉 林 省 政 府	吉林省政府單行章則彙編 2册 民18-19	編 所	124.1— 11
廣 江 省 公 署	廣江省例規集 康5	滿洲行政學會	124.1— 12
奉 天 省 公 署	奉天省令規輯覽 康4	—	124.1— 13
—	[奉天省公署]例規集 (經込式)	編 所	124.1— 14
樺 川 縣 公 署	樺川縣單行法規彙編 康4	—	124.1— 15
西 豐 縣 公 署	西豐縣公署例規集 康4	—	124.1— 16
巴 彥 縣 公 署	巴彥縣公署規則集 康3	—	124.1— 17
商 務 印 書 館	自 治 法 規 民20	—	124.1— 18
【124.4 地 方 年 鑑】			
遼 源 縣 公 署	遼源縣行政年報 康5	編 所	124.4— 1

[1 政 治]

編者姓名	冊 名	發 行 所	版 次 冊 數
吉林省公署	吉林省政務年鑑 康4	編 所	1244— 2
敦化縣公署	敦化縣年報 大同3	—	1244— 3
[1245 地 方 統 計]			
熱河省公署	熱河省統計要覽 康2	編 所	1245— 1
雙陽縣公署	雙陽縣統計表 康3	—	1245— 2
浙江省民政廳	浙江民政統計特刊 民19	—	1245— 3
河北省政府	河北省省政統計概要 民19	—	1245— 4
吉林省政府	吉林省政府全體職員統計表 民19	—	1245— 5
—	吉林省政府革新成績之統計材料報告表 民19	—	1245— 6
黑龍江省公署	民國三年度 黑龍江政務報告統計表 民5	—	1245— 7
西安縣公署	[西安縣]統計彙刊 康1	—	1245— 8
輝南縣公署	[輝南縣]統計彙誌 康2	—	1245— 9
開魯縣公署	開魯縣統計彙編 康2	—	1245— 10
綏遠省政府	綏遠省政府行政報告 民國二〇—二一 民25	—	1245— 11
方正縣公署	三江省方正縣統計報告書 康德元年度 康2	—	1245— 12
營口縣公署	[營口縣]統計彙纂 康2	—	1245— 13
鐵嶺縣公署	[鐵嶺縣]統計彙編 康德元—三年度 康1-4	—	1245— 14
瀋陽縣公署	[瀋陽縣]統計彙編 康2	—	1245— 15
遼中縣公署	[遼中縣]統計彙刊 康2	—	1245— 16
海城縣公署	海城縣統計彙刊 康5	—	1245— 17
撫順縣公署	[撫順縣]統計彙刊 康2-4	—	1245— 18
西豐縣公署	奉天省西豐縣統計彙編 康2-4	—	1245— 19
東豐縣公署	[東豐縣]統計彙刊 康2	—	1245— 20
吉林省公署	[吉林省]統計年報 康3	—	1245— 21
奉天省公署	奉天省統計年報 康5	—	1245— 22
[1247 地 方 政 情]			
黑龍江省公署	黑龍江省施政大綱三年計畫書 大同3	編 所	1247— 1
吉林省政府	吉林省政府行政會議紀要 民19	—	1247— 2

[1 政 治]

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
遼寧省政府	遼寧省政府委員會議事錄 增 民30-23	編 所	124.7— 3
黑龍江省	新國真諦省政方策 大同 ¹	—	124.7— 4
奉天省公署	奉天省縣長會議議事錄 康 ²	—	124.7— 5
雙陽縣公署	街村制育成概況 康 ¹	—	124.7— 6
伊通縣公署	[伊通縣]縣政概況 康 ³	—	124.7— 7
海龍縣公署	海龍縣概況 康 ¹	—	124.7— 8
延吉縣公署	[延吉縣]縣政一瞥 康 ³	—	124.7— 9
拜泉縣公署	龍江省拜泉縣政概要 康 ¹	—	124.7— 10
瀋陽縣公署	瀋陽縣政概況 康 ³	—	124.7— 11
興京縣公署	[興京縣]政況概要 康 ³	—	124.7— 12
臨江縣公署	[臨江縣]一般狀況 康 ²	—	124.7— 13
青龍縣公署	青龍縣一般狀況 康 ³	—	124.7— 14
隆化縣公署	隆化縣一般狀況 康 ¹	—	124.7— 15
阿城縣公署	阿城縣政一般狀況 康 ³	—	124.7— 16
肇東縣公署	肇東縣一般狀況 康 ³	—	124.7— 17
興城縣公署	[興城縣]縣政概況 康 ²⁻⁴	—	124.7— 18
康平縣公署	康平縣行政報告書 3册 康 ³	—	124.7— 22
克東縣公署	克東縣政概要 康 ⁴	—	124.7— 24
吉林省公署	新吉林省概況 康 ³	—	124.7— 25
[124.9 共	他]		
東京市政調査會	英國自治制度の特質 康 ²	編 所	124.9— 1
滿鐵調査課	東省特別區行政一般 昭 ⁵	—	124.9— 3
鎮平縣公署	鎮平縣自治概況 民 ²³	村治月刊社	124.9— 4
民政部	區村便覽 康 ²	編 所	124.9— 5
東京市政調査會	英國自治制度の歴史的考察 昭 ³	—	124.9— 6
路 通 院	清國地方事情 昭 ⁴²	—	124.9— 8
[125 都	市]		
(民)陸丹林	市政全書 4版 民 ¹⁸	道路建設協會	125— 1

【政 治】

編者名	書名	発行所	整理番号
(民) 黄修甲	市政學綱要 民15	商務印書館	125— 2
【125.1 都市法規類】			
瀋陽市政公所	瀋陽市政公所章則彙編 民18	編 所	125.1— 1
東省特別區	東省特別區市政管理局章則輯覽	—	125.1— 2
哈爾濱特別市公署	哈爾濱特別市例規暫定類集 康3	—	125.1— 3
—	[哈爾濱特別市]法令輯 大同3	—	125.1— 4
—	[哈爾濱特別市]法令摘要 大同3	—	125.1— 5
奉天市公署	[奉天市]例規類集 康5	滿洲行政學會	125.1— 6
上海市政府	上海市公用局行政管理實況 民20	編 所	125.1— 7
哈爾濱特別市公署	哈爾濱特別市例規類集 康4	滿洲行政學會	125.1— 8
齊々哈爾市公署	齊々哈爾市例規類集 康4	—	125.1— 9
地方改良協會	市町村事務令規 2版 昭5	良書普及會	125.1— 10
村田 福次郎	市町村事務提要 昭13	—	125.1— 11
扶 間 茂	市町村の自治權 昭13	—	125.1— 12
商務印書館	市 組 織 法 民19	—	125.1— 13
【125.3 叢 書】			
東京市政調査會	市政調査資料 9册 大正13-昭4	編 所	125.3— 1
	第 4 號 クリーブランド市土地評價法		
	第 5 號 ビーアド博士東京復興に關する 意見		
	第 7 號 地 域 制		
	第 9 號 地 帯 收 用		
	第 10 號 イギリスの田園都市		
	第 11 號 都市の結核問題		
	第 13 號 米國に於ける市政調査		
	第 15 號 東京都制に關する諸案		
	第 16 號 市政に於ける委員會制及支配人 制		
東京市政調査會	都市問題パンフレット 6册 昭4-5	編 所	125.3— 2
	第 5. 市營事業の本質 (關一)		

【政 治】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理書號
	第 6. 都市の塵芥処分問題(藤原九十郎)		
	第 8. 市會に關する制度改善議案		
	第 9. 都市の屎尿処分問題(藤原九十郎)		
	第 12. 大都市制度論(池田宏・次田大三郎)		
	第 15. 東京市に於ける時の問題大都市問題と市町村の統計(池田宏)		
東京市政調査會	市政調査叢書 9册 大正13-昭8 帝都の制度に關する調査資料 我等の東京 婦人の觀た東京市政 都市の保健行政組織 ビーアド博士講演集 東京市會總選舉に關する各方面の意見 東京市町内會に關する調査 小市民は東京に何を希望してゐるか 普選に依る最初の市會議員選舉	編 所	125.3— 3
東京市政調査會	市民賞論文集 昭3 都市自治權の擴張に就て(松尾楸) 都市産業教育論(佐久間虎雄) 東京市と文化的施設(福島靜雄) 東京市の交通問題(吉村弘義) 復興後の市街電車に就て(入江弘) 自由勞働者の失業と其對策を論ず (宇田川令三)	編 所	125.3— 4
【125.4 都 市 年 鑑】			
哈爾濱特別市公署	哈爾濱特別市市勢年鑑 第1-3次 庚3	編 所	125.4— 1
東京市統計課	東京市勢提要 第20回 2册 昭8-10	—	125.4— 3
東京市政調査會	日本都市年鑑 4册 昭6-11	—	125.4— 3
哈爾濱特別市	哈爾濱特別市市政報告書 4册 民20	—	125.4— 4
大道弘雄	最新日本都市總覽 昭9	朝日新聞社	125.4— 5
毎日新聞社	日本都市大觀 昭8	編 所	125.4— 6

【1 政 治】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
【125.5 都 市 統 計】			
東京市役所	東京市統計年表 第31-33回 昭10-12	編 所	125.5— 1
(民) 羅 志 如	統計表中之上海 民21	—	125.5— 2
瀋陽市政公署	瀋陽市政統計彙刊 2-4期 民19-20	—	125.5— 3
東京市役所	東京市市勢統計原表 6册 昭7	—	125.5— 4
奉天市公署	奉天市市政統計彙刊 5册 大同1-康2	—	125.5— 5
—	奉天市統計年報 第1回 康4	—	125.5— 7
吉林省公署	吉林省勢統計年報 康5	—	125.5— 8
【125.9 都 市 事 情】			
新京特別市公署	新京市政概要 康1	編 所	125.9— 1
奉天市政公署	奉天市政公署行政會議總紀錄 大同1	—	125.9— 2
哈爾濱特別市公署	大哈爾濱特別市ノ現況 康3	—	125.9— 3
—	哈爾濱市政ノ沿革及現狀 大同3	—	125.9— 4
民 政 部	大哈爾濱市ノ建設 大同3	—	125.9— 5
(濟) 李 潤 恩	賓州府政書 宣統3	商務印書館	125.9— 6
立 法 院	治 藩 記 2册 康1	編 所	125.9— 7
奉天市公署	大奉天市事情總覽 康3	—	125.9— 8
東京市役所	[東京]市政概要 昭7	—	125.9— 9
上海市政府	上海市公用局行政管理實況 民20	—	125.9— 10
東省特別區	東省特別區 市政概要 民19 市政管理現局	—	125.9— 11
漢口市政府	漢口市政概況 民23	—	125.9— 12
(民) 張 金 鑑	美國之市行政 民26	正 中 國 局	125.9— 13
【 128 戶 籍 及 戶 籍 法 】			
戶籍學協會	戶 籍 法 典 昭8	編 所	128— 1
福井才一郎	現行 戶籍法令輯覽 2版 昭6	明 倫 館	128— 2
廣 內 茂 芳	戶籍事務提要 2版 昭4	良 書 普及會	128— 3
關 宏 二 郎	戶 籍 制 度 (自治行政叢書 第13)	常 誠 財 房	128— 4
福井才一郎	全國控訴院地方區裁判所管内戶籍事務協議會 決議要錄 昭7	明 倫 館	128— 5

【 1 政 治】

編者名	書名	發行所	整理番號
【 129 關東州滿鐵附屬地行政】			
滿鐵地方部	[滿鐵]地方經營梗概 大正14-昭13	編 所	129— 1
—	[滿鐵]地方經營統計年報 8冊 昭9-13年度	—	128— 2
關 東 廳	關東廳施政二十年史 大正15	—	129— 3
—	1900-1901年 = 於ケル關東州統治狀況 = 關スルアレキセフ總督ノ上奏文 昭9	—	129— 4
關 東 局	[關東局]局政一斑 昭10-13	—	129— 5
—	關東局統計書 第29 昭11	—	129— 6
滿 鐵	滿洲鐵道沿線諸機關及施設一覽表 昭8-11	—	129— 7
關 東 局	關東局施政三十年業績調查資料 昭13	—	129— 8
【 130 官 廳 事 項】			
關 實	滿洲國公文作法解説 昭8	大 阪 屋 誠	130— 3
誠 森 正	現行滿洲帝國公文提要 康3	滿洲行政學會	130— 4
村 上 正 雄	滿洲國官公署名鑑 康2	大同印書館	130— 5
文 政 部	滿洲國公文作法解説 大印3	編 所	130— 6
國務院法制局	滿洲國政府組織便覽 大印2	—	130— 7
○			
立 法 院	立法院年刊 大印2	編 所	133— 1
○			
民 政 部	民政部要覽 康3	編 所	135— 1
司 法 部	司法制度整備概況 康3	—	135— 2
經 濟 部	經濟施設概要 康1	—	135— 3
交 通 部	交通部要覽 康3	—	135— 4
國 道 局	國道局事業概況書 康2-3	—	135— 5
地 區 整 理 局	土地局史 康1	—	135— 6
○			
監 察 院	監察制度考察 康2	編 所	136— 1
○			
北滿特別區公署	北滿特別區公署要覽 昭9	編 所	138— 1

【政 治】

編者名	書名	發行所	整理番號
奉天省公署	奉天省公署要覽 大同2-康3	編 所	139— 2
浙江省稅務監督署	浙江省稅務監督署所轄稅捐局管內概要 康3	—	139— 3
奉天省公署	奉天省公署實業廳要覽 大同2	—	139— 4
—	奉天實業廳管理機關章程並契約集 大同2	—	139— 5
○			
吉林省公署	吉林省縣治人員訓練所所員必携	編 所	139— 1
	吉林本省人文地理 自然部		
	— 人文部		
	各國地方自治制度		
	政治學概要		
	地方自治概要		
	現行地方自治制度		
	市政概要		
	社會學		
	經濟學		
	警察要義、衛生行政		
	法學常識		
	現行行政法規		
	農村問題		
	軍事訓練		
	統計學		
	公文程式		
	地方自治實施法		
(民)金 寶 三	吏治管見類鈔 2册 民11	華新印刷局	139— 2
黑龍江省公署	黑龍江省職員錄 民15	編 所	139— 3
人事興信所	滿洲國名士錄 10版 昭9	—	139— 4
總務廳人事處	滿洲國官吏錄 8册 大同2—康6	—	139— 5
殖 業 部	產業部職員錄 康4	—	139— 6
司 法 部	司法部職員錄 康4	法 會 會	139— 7
多 田 商 會	滿洲官民職員錄 昭9	編 所	139— 8

編者名	書名	發行所	整理番號
【 141 各國官廳事項】			
高木三郎	宮內省恩給令要義 昭8	良書普及會	141— 1
良書普及會	新編 恩給法並關係法規 昭8	—	141— 2
樋貝詮三	改正 恩給法解說 4版 昭8	—	141— 3
—	新 恩給法釋義 2册 7版 大正15	—	141— 4
上原秋三	改正 恩給法精解 昭8	岩波書店	141— 5
關東廳	[關東廳]職員錄 昭8	滿洲文化協會	141— 6
門田重雄	改正 恩給法通解 昭9	實文館	141— 7
內閣印刷局	職 員 錄 11册 昭7-13	編 所	141— 8
有光金兵衛	公文例規及公文例 昭9	良書普及會	141— 9
大藏省	營繕管財局營繕事業年報 大正14-昭和5年度 昭9-11	編 所	141— 10
伊藤野文	精選 官制關係資料 昭10	本署刊行會	141— 11
小中村漢矩	日本官職制度沿革史 昭10	東學社	141— 12
臺灣總督府	臺灣總督府職員錄 昭9-12	臺灣時報社	141— 13
商工行政調查會	商工省要覽 昭13	高山書院	141— 14
沼佐國次	厚生省讀本 昭13	行政讀本刊行會	141— 15
安澤喜一郎	官廳契約規定論 昭13	交通農學社	141— 16
水田一生	恩給法の解説 昭13	モナス	141— 17
目治郎	書式大全 改版 昭12	編 所	141— 18
○			
(民) 草中如	清代考試制度 民20	黎明書局	142— 1
(民) 張毅·殷	公文程式與保管 民23	商務印書館	142— 2
民國法制局	中央官制沿革表	—	142— 3
北支每日社	支那政府組織 明38	編 所	142— 4
上海法學編譯社	現行標點公文程式詳解 民23	—	142— 5
(民) 朱劍芒	國民政府公文程式大觀 6册 6版 民20	世界書局	142— 6
中華法學社	公文程式全書 民19	錦章社	142— 7
(民) 張盛白	新制公文程式 2版 民23	宏益書局	142— 8

[15 外 交]

編・著者名	書 名	發 行 所	註 冊 番 號
[15 外 交]			
全 國 經 聯	最近の外交問題に就て 昭9	編 所	150— 1
堤 京	廣田外相の拜米外交を擧て 昭9	正 興 社	150— 2
皆 川 靜 彦	外 交 と は 昭11	學 而 書 院	150— 3
外 務 省	大日本外交文書 5冊 昭11-13	日 本 國 際 協 會	150— 4
鹿 島 守 之 助	現 代 の 外 交 昭12	外 交 時 報 社	150— 5
松 原 一 雄	滿洲事變と不戰條約國際聯盟 3版 昭7	九 菁	150— 6
外 交 部	外交部公表集 6冊 大同1-連1	編 所	150— 7
佐 藤 忠 雄	日 本 外 交 論 昭13	國 際 經 濟 研 究 所	150— 8
○			
村 田 政 郎	北支に關する日支關係條約 昭10	學 藝 社	150.1— 1
外 交 部	條 約 集 康3	編 所	150.1— 2
東 亞 經 濟 調 查 局	露國亞細亞諸國との條約 大正11	—	150.1— 3
滿 鐵 調 査 課	日支通商航海條約改訂問題 昭4	—	50.1— 4
立 作 太 郎	國 際 條 約 集 4版 昭12	外 交 時 報 社	150.1— 5
松 田 道 一	國 際 平 和 關 係 條 約 集 昭7	—	150.1— 6
支 那 研 究 社	日 支 關 係 條 約 總 覽 大正5	編 所	150.1— 7
廣 松 堂	滿洲帝國治外法權關係條約集 昭9	—	150.1— 8
外 交 時 報 社	支那及び滿洲關係條約及公文集 昭9	—	150.1— 9
外 務 省	日支間並支那=關スル日本及他國間ノ條約 大正12	—	150.1— 10
—	英米佛露ノ各國及支那間ノ條約 大正13	—	150.1— 11
總 務 廳 情 報 處	日滿條約關係資料 康3	—	150.1— 12
外 交 時 報 社	支那關係條約集 昭5	—	150.1— 13
外 務 局	滿洲國與德意志國間修好條約 康5	—	150.1— 14
總 務 廳 情 報 處	治外法權撤廢に關する日滿條約關係資料 康3	—	150.1— 15
○			
民 國 外 交 部	中 英 法 外 交 辭 典 民14	編 所	150.2— 1
○			
(民) 薛 代 強 等	中 國 外 交 年 鑑 民25	編 所	150.1— 1

編・著者名	書名	發行所	整理番號
外務省	外務省年報 2册 昭5	編 所	150.4— 2
○			
(民) 張 鳳 麟	雲南外交問題 民26	商務印書館	150.9— 1
[151 外 交 史]			
齋 藤 良 節	近世 東洋外交史序説 2版 昭3	廣 松 堂	151— 1
福 田 幾 雄	支那外交史論 昭8	—	151— 2
塚 原 茂 樹	滿洲事變外交史 昭7	金 池 堂	151— 3
(民) 新 廷 誠	近代中國外交史資料輯要 2册 民20-23	商務印書館	151— 4
伊 藤 博 文	橋 本 外 交 篇 昭9-10	本 書 刊 行 會	151— 5
(民) 長 野 勤 彦	日支外交六十年史 4册 昭8-9	建 設 社	151— 6
(譯) 山 田 義 雄	滿洲ニオケル露國ノ利權外交史 昭9	鶴 石 社	151— 7
松 原 一 雄	外交及外交史研究 4版 昭6	九 番 館	151— 8
(譯) 江 島 定 吉	支那制覇戦トアメリカ 昭11	ナ ウ カ 社	151— 9
滿 鐵 北 京 公 所	英支西藏問題交渉略史 大正15	編 所	151— 10
西 田 均	最近世界外交史 3册 昭9-11	明 治 國 書 會 社	151— 11
○			
國 際 聯 盟 協 會	國 際 聯 盟 便 覽 昭9	編 所	152— 1
聯 盟 事 務 局	國 際 聯 盟 に 於 ける 日 支 問 題 議 事 錄 昭7	—	152— 2
[157 極 東 問 題]			
(民) 岡 良 英	最近太平洋問題 民21	太 平 洋 學 會	157— 1
(民) 野 田 甫	呼倫貝爾問題 民20	大 東 亞 學 局	157— 2
(民) 草 企 實	西 藏 問 題 民22	—	157— 3
—	滿 蒙 問 題 民20	—	157— 4
(英) コライト-著 (民) 須 明 治 譯	國 際 競 争 中 之 滿 洲 民19	華 僑 學 局	157— 5
阿 比 留 乾 二	國 際 問 題 ヲ リ 見 タ ル 滿 蒙 昭8	滿 洲 文 化 協 會	157— 6
(民) 陶 希 聖	中 國 問 題 之 回 顧 與 展 望 民19	新 生 命 學 局	157— 7
(民) 草 企 實	雲 南 問 題 民20	大 東 亞 學 局	157— 8
新 天 地 社	滿 洲 問 題 の 基 調	編 所	157— 9

[15 外 文]

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
	太平洋會議と滿蒙問題 (武田熾雄)		
	滿洲に於ける日本の文化的貢獻 (高橋源一)		
	滿蒙經濟發展に對する日本の寄與 (阿部 勇)		
	滿蒙治安と日本 (田中 眞)		
	特殊權益の歴史的考察 (竹田哲馬)		
	滿洲に於ける日本人の居住營業權の概観 (板倉眞吾)		
	治外法權撤廢問題 (秋澤風一)		
	滿洲に於ける日本の通信權益 (平野 博)		
	關東州租借地關稅制度小論 (英石隆爾)		
	日支鐵道問題の鳥瞰 (星田信國)		
	滿蒙の農牧林業 (岡川榮藏)		
	支那割金融機關と東三省の財界(安藤松之助)		
	東三省財政に關する一考察 (中清義久)		
	銀價の慘落と支那の幣制問題 (南地龍吾)		
	滿 洲 華 工 論 (武野雄一)		
	滿洲に對する支那移住民 (栗本 豐)		
	支那新鑛業法と滿蒙に於ける我鑛山企業 (上加世田成法)		
櫻 岡 啓 齊 (民) 湯 關 和 隆	東省刮目論 民19	商務印書館	157— 10
英 修 道	滿洲國と門戶開放問題 昭9	日本國際協會	157— 11
嵯 操	朝鮮問題を通して見たる滿蒙問題 昭7	大 海 堂	157— 12
矢 内 原 忠 雄	滿 洲 問 題 昭9	岩 波 書 店	157— 13
樋 田 操 雄	滿洲ニ於ケル國際爭鬪 昭10	森 山 書 店	157— 14
三 枝 茂 智	極東外交論策 昭9	斯 文 醫 院	157— 15
赤 松 祐 之	太 平 洋 問 題 昭12	日 本 國 際 協 會	157— 17
【 158 居留地 租借地】			
(民) 翁 正 廣 瑞	上海公共租界制度 民23	中國科學公司	158— 1
滿 鐵 調 査 課	上海外國居留地行政概論 大正15	編 所	158— 2
朝 鮮 總 督 府	在朝鮮居留地關係取極書	—	158— 4
樋 田 操 雄	支 那 租 界 論 昭9	春 明 男 莊	158— 5

[15 外 交]

編・著者名	書名	発行所	整理番號
奉天商埠局	第一次奉天省城商埠局報告書 民12-17	編 所	158— 6
土地局	商埠地關係法規集 康1	—	158— 7
○			
水谷 國一	支那に於ける外國租界回收問題 昭5	滿鐵調査課	158—P1
商務印書館	上海公共租界根本章程 民15	編 所	158—P2
【 16 國際關係一般】			
外務省	國際事情 8冊4版 昭2-9	良藥堂	160— 1
松原 一雄	國際關係通鑑 4冊 昭3-6	國際聯盟協會	160— 2
外務省	國際事情 昭9	編 所	160— 3
日本國際問題調査會	日本國際年鑑 1935—1936 2冊 昭10-11	河出書房	160— 4
—	國際問題研究 昭11	立命館	160— 5
赤松 結之	昭和10-11年の國際情勢 2冊 昭11-12	日本國際協會	160— 6
外交部	國際事情及評論 康4	編 所	160— 7
小玉 興一	ソ聯、英、米、佛侵略の跡を顧みて 昭13	一二三館	160— 8
(佛)ジョルジ・ボノー	世界的見地より見たる滿洲問題 昭7	大阪商會	160— 9
全、國、經、界	伊エ紛争と歐洲政局 昭19	編 所	160— 10
【 161 滿洲國對外關係】			
沼田 頼輔	日滿ノ古代國交 昭8	明治書院	161— 1
堀山 政造	日滿關係ノ研究 昭8	新文書院	161— 2
(編)スチーブ・グリフツ 著 (訳)王光新譯 (譯)ロマンノフ著 滿鐵研究所譯	美國與滿洲問題 民18	中譯書局	161— 3
(譯)ヴェ・ア・ヴァン 滿鐵研究所譯	露西亞帝國滿洲侵略史 昭9	ナウカ社	161— 4
—	列強對滿工作史(上) 日清戰爭より 昭9 世界大戰まで	—	161— 5
—	(下) 世界大戰より 昭10 最近まで	—	161— 6
(譯)ウエ、オプザイン 著 川田秀雄譯	近世露滿蒙關係史 昭10	福田書房	161— 6
外務省情報部	滿洲事變及上海事件關係公表集 昭19	編 所	161— 7
賀 藤 武	滿蒙國境問題ノ解剖 昭10	—	161— 8
船 橋 岩 吉	前滿洲開國ト日本 昭11	熊平商店	161— 9
岸 田 英 治	滿蒙の風雲を衝く 昭11	滿洲評論社	161— 10

【 15 外 文】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
阿比留乾二	國際的に見たる我國の滿洲に於ける特殊地位 昭3	滿洲法政學院	161—11
○			
滿鐵調査課	支那の東艦回收運動前後の北滿に於ける露國の勢力	編 所	161—P1
總務廳情報處	慶祝承認周年紀念大會錄 大同2	—	161—P2
—	慶祝承認二周年紀念特刊 康1	—	161—P3
—	慶祝承認周年紀念畫冊 大同2	—	161—P4
村田照三	日滿關係の將來に處すべき對策管見 昭9	—	161—P5
國務院	大同二年九月十五日 承認周年紀念日 講演要項	編 所	161—P6
沈紫龍七	日滿兩國の特殊關係に就て 康3	總 務 廳	161—P8
—	關於日滿兩國的特殊關係 康3	—	161—P9
日滿實業協會	日滿支提携に關する座談會記事 昭10	—	161—P11

【 162 日本對外關係】

布勢信平	滿蒙權益要錄 昭7	精 文 館	162—1
國際聯盟事務局	國際聯盟日支紛爭調查委員會報告書 昭7	編 所	162—3
外務省譯	日支紛爭に關する國際聯盟調查委員會の報告 昭7	—	162—4
國際聯盟協會	リットン報告書 昭8	—	162—5
國際聯盟事務局	國際聯盟理事會並に總會に於ける日支紛爭の議事經過詳錄 昭8	—	162—6
故宮博物院	清宣統朝中日交涉資料 6卷 民23	—	162—7
土屋 謙 雄 譯	ペルリ提督日本遠征記 (上) 昭10	弘 文 莊	162—10
對支功勞者會	對支回顧錄 2册 昭11	編 所	162—12
米野豐實	日獨防共協定の意義 昭12	滿洲日日新聞社	162—14
花田仲之助	寄 中 國 書 昭13	第 一 出 版 社	162—16
松岡洋右	日獨防共協定の意義 昭12	—	162—17
○			
大連商議	滿洲事變前に於ける我權益侵害事例 昭7	編 所	162—P1
芦田均	極東に於ける露西亞の準備工作 昭9	全 國 經 研	162—P2
滿鐵調査課	日本の滿洲に於ける施設が動因となりて支那の施設が改善されたるものありや 昭4	編 所	162—P3
—	滿蒙に於て我權益の蹂躪せられたる事例 昭4	—	162—P4

【 17 軍 事 】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
(民) 徐道鄰	日本は敵か味方か 昭10	東亞垂業協會	162—P5
日本經濟聯盟會	佐藤駐佛大使歡迎茶會演說筆錄 昭9	編 所	162—P6
全國經濟	中國北支鐵路 駱同氏を中心とする座談會	—	162—P7
—	北支問題の經過と將來 昭10	—	162—P8

【 163 民國對外關係 】

(海) 克拉諾香 (民) 陳 注 一譯	中俄邊境之新關係 民21	新 亞 洲 出 局	163— 1
牧、野 翼 智	支那ノ外交關係 大正9	外 交 時 報 社	163— 2
松 西 良 重	最近支那國際關係 昭7	國 際 聯 盟 協 會	163— 3
張 秀 世	國民政府ノ外交及外交行政 昭10	日 支 問 題 研 究 會	163— 4
入 江 啓 四 郎	中國に於ける外國人の地位 昭12	東 京 堂	163— 5
(民) 顧 維 鈞	外人在華之地位 民1	外 交 部	163— 6
(民) 吳 錫 良	國民革命中之華北國際五大問題 民18	商 務 印 書 館	163— 7
顧 維 鈞	支那國際關係概論 8版 昭4	國 際 聯 盟 協 會	163— 8
滿 鐵 經 濟 調 査 會	支那ホイコットの研究 昭10	編 所	163— 9
高 木 陸 郎	北支那ニ於ケル列國ノ權益 昭11	泰 華 社	163— 10
滿 鐵 調 査 課	近代支那關係ノ研究 大正11	滿 洲 日 新 報 社	163— 11
高 橋 二 郎	支那をめぐる日、ソ、英、米 昭11	今 日 の 問 題 社	163— 12
滿 鐵 調 査 課	支那の對外關係 昭9	編 所	163— 13

○

外 交 部	復交前後ノ露支關係並中國共產軍ノ現状大綱	編 所	163—P1
東 亞 産 業 協 會	英國の四川侵略と劉湘の五千萬元借款の真相 康1	—	163—P2
滿 鐵 經 濟 調 査 會	支那に於ける外國人の地位 昭10	—	163—P3

【 164 蘇聯對外關係 】

(民) 黎 孤 島	俄人東侵史 民18	商 務 印 書 館	164— 1
入 江 啓 四 郎	支那邊疆ト英露角逐 昭10	ナ ウ カ 社	164— 2

17 軍 事

(民) 前 浩	新式標點軍用公文程式 民23	會 文 堂	170— 1
(民) 藤 森	海陸空軍公文程式 民22	—	170— 2

【17軍 事】

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
軍 政 部	礎 大陣 ²	編 所	170— 3
	○		
日 高 己 雄	軍機保護法 昭13	羽田書店	170.1— 1
編 所	軍事法規 昭13	日本評論社	170.1— 2
	○		
遊 就 館	[遊就館]年報 昭12	編 所	170.1— 1
	○		
R. W. ローウアン著 和田篤嘉譯	スパイ撲滅讀本 昭12	金 江 堂	170.8— 1
北 村 小 松	國際間諜暗躍秘録 昭13	東海出版社	170.8— 2
ウィリアム・バットン著 須田九一譯	「日本人は甘い」とスパイは囃く 昭13	普 及 社	170.8— 3
	○		
滿洲國防空協會	防護團員必携 廣 ⁴	編 所	170.9— 1
(民) 櫻 鷗 輝	指揮同盟軍 民 ²²	啓 智 書 局	170.9— 2
三 島 康 夫	赤 軍 昭12	中央公論社	170.9— 3
軍 政 部	建國軍事美談集 2冊 大陣 ²	編 所	170.9— 4

【171 軍 事 學】

小 松 孝 彰	近代戦とプロパガンダ 昭13	春 秋 社	171— 1
伊 豆 公 夫 松 下 芳 男	日本軍事發達史 昭13	三 笠 書 房	171— 2

【172 國 防 軍 備】

櫻 井 忠 温	國防大辭典 昭7	中外産業調査會	172— 1
資 源 局	米國總動員計畫 6版 昭8	栗 田 書 店	172— 2
—	再軍備經濟觀 昭9	編 所	172— 3
大 場 彌 平	防空讀本 昭12	信 成 社	172— 4
資 源 局	世界大戰に於ける米國總動員概説 昭9	松 山 房	172— 6
堀 田 一 甫	國家總動員法の解説 昭13	秋 聲 園	172— 7
長 島 又 男	國家總動員法と國民生活 昭13	生 活 社	172— 8
金 原 啓 之 助	國防經濟論 昭13	日 本 評 論 社	172— 9
堀 三 也	國家總動員の準備に就て 昭8	全 國 經 聯	172— 10

[17 軍 事]

編・著者名	書名	発行所	整理頁数
滿洲防空協會	國土防空と平時準備に就て 康1	編 所	173—11
東洋文化協會	日支大事變と帝國の國防 昭10	新聞解放社	173—13
皇國振興會	皇國の軍備と國勢 昭9	編 所	172—13

[173 統帥・軍政]

池田 純 久	軍 事 行 政 昭9 (自治行政叢書第12)	常 經 書 房	173—1
伊 藤 博 文	秘 書 類 兵政關係資料 昭10	本 書 刊 行 會	173—2

○

陸 軍 省	徵兵制六十周年に當り徵兵制の沿革を總び其將來に及ぶ 昭7	編 所	173—P1
-------	------------------------------	-----	--------

[174 兵器・軍需品]

資源整備調査局	列強軍需資源論 昭10	岩 波 書 店	174—1
滿洲原防圖書院	刀劍の話・遼陽の沿革 昭11	編 所	174—2
中 村 隆 野	化學兵器の理論と實際 昭13	理 化 學 術 院	174—3
實 木 保	兵 器 讀 本 昭12	日 本 評 論 社	174—4
岩 井 良 太 郎	戰 争 と 財 閥 昭13	千 倉 書 房	174—5
資源整備調査局	軍事産業資料 昭11	編 所	174—6

[175 空 軍]

檢 閲 放 空	軍用航空と民間航空 昭13	有 斐 閣	175—1
愛國機「問島號」獻納期成委員會	愛國機「問島號」獻納誌 昭12	編 編	175—P1

[176 陸 軍]

陸 軍 省	陸軍省統計年報 第38-40回 昭3-11	編 所	176—1
大 久 保 弘 一	陸 軍 讀 本 昭13	日 本 評 論 社	176—2
軍 政 部	陪觀大演習報告 康1	編 所	176—P1

[177 海 軍]

海 軍 省	昭和元年度海軍省年報 昭5	編 所	177—1
—	海軍省年報編纂規則別冊 昭8	—	177—2

○

海 軍 省	參 考 用 圖 表 昭6	編 所	177—P1
—	支那專變に於ける帝國海軍の行動 昭13	—	177—P3

〔 17 軍 事 〕

編・著者名	書名	發行所	整理番號
海軍省	列國海軍の情勢 昭18	編所	177—P3
〔 179 軍縮會議 〕			
海軍軍事普及部	一般軍縮會議經過概説 (其ノ五) 昭18	編所	179—P1



【2. 經濟】

編・著者名 題 名 發 行 所 整理番號

2 經濟・財政・商業

【20 經濟一般】

東京朝日新聞社	經濟新話 2册 昭10-11	經濟知識社	200— 1
太田正孝	經濟讀本 昭6	日本評論社	200— 2
作田莊一	現代國民經濟の趨勢 昭8	青年教育普及會	200— 3
太田正孝	物の經濟 昭12	中央公論社	200— 4
木村増太郎	經濟通話 昭8	好文閣	200— 5
日本工俱	最近經濟の重要問題 2册 昭0-11	一元社	200— 6
日大 日経エコノミスト	最近經濟界の展望 昭11	大村書店	200— 7
市川健兒	最近經濟問題解説 昭13	同文館	200— 8
土方成実	國民經濟讀本 昭12	日本評論社	200— 9

【200.1 法規】

田中耕太郎	經濟法令集 昭6	改造社	200.1— 1
日経財経研究会	ナチス經濟法 昭12	日本評論社	200.1— 2
峯村光郎	戦時國家の經濟法 昭12	千倉書房	200.1— 3
經濟新聞社	戦時經濟法令集 昭13	編 所	200.1— 4

○

新系商工公會	經濟關係法令並佈告集 康5	編 所	200.1— P1
--------	---------------	-----	-----------

【200.2 辭典・書目】

岡野一郎	支那經濟辭典 昭6	東洋書館協會	200.2— 1
經濟學辭典編纂委員會	經濟學辭典 改訂 昭9	改 造 社	200.2— 2
滿洲經濟調查會	滿洲經濟統計文獻目錄 昭8	編 所	200.2— 3
大阪商大	經濟學辭典 7册 昭6-11	岩波書店	200.2— 4
宮脇賢之介	滿洲支那經濟辭典 昭10	大阪屋 社	200.2— 5
大阪商大	經濟學文獻大鑑 3册 昭9	丸	200.2— 6
中島、島、渡、清、高、田、仁、太、郎	新編 商業經濟辭典 昭8	研 究 社	200.2— 7
高垣寅次郎	商業經濟辭典 昭13	日本評論社	200.2— 8

【 2 題 目】

編・著者名	題 目	名	發 行 所	整理號碼
日本經濟史研究所	日本經濟史辭典	2冊 昭11	日本評論社	200.2— 9
東 北 帝 大	經濟資料一覽	昭6	編 所	200.2— 10
【200.3 叢書・全集】				
日 本 評 論 社	現代經濟學全集	昭3-7	編 所	200.3— 1
	第1卷 經濟學總論	(土方成實)		
	第2卷 經濟原論	(小泉信三)		
	第4卷 マルクス經濟學	(高島栗之)		
	第5卷 歐洲經濟史	(本位田幹男)		
	第6卷 日本經濟史	(本庄須治郎・眞正 巖)		
	第7卷 經濟學史	(高橋誠一郎)		
	第9卷 社會問題各論	(林突末夫)		
	第10卷 貨幣論	(樺爪明男)		
	第11卷 貨幣制度	(高橋誠一郎・荒木光太郎)		
	第13卷 景氣變動論	(高田保馬)		
	第14卷 金融論	(牧野晴智)		
	第15卷 農業政策	(藤田 總)		
	第16卷 工業政策	(小島精一)		
	交通政策	(增井幸雄)		
	第17卷 商業政策	(上田直次郎)		
	第18卷 財政學	(神戶正雄)		
	第19卷 保險學要論	(小島昌太郎)		
	第20卷 統計學	(沙見三郎)		
	第21卷 商業問題	(內池繁吉・河澤 遇) (向井義松・楠本慶吉)		
	第22卷 土地經濟論	(河田剛郎)		
	人口論	(永井 亨)		
	植民政策	(金井一郎)		
	第23卷 會計學	(高瀬莊太郎)		
	第24卷 經營經濟學	(中西寅雄)		
	第25卷 日本經濟圖表	(高橋誠一郎)		
	第26卷 世界經濟圖表	(—)		

[2 冊]

編・著者名	書名	発行所	整理番號
(民) 馬寅初	經濟叢書社 馬寅初演講集 4册 民13-17	商務印書館	200.3— 2
—	馬寅初經濟論文集 民21	—	200.3— 3
野 地 一	對華經濟資料 4册 昭11-12	日文問題研究會	200.3— 4
(露) コンスタンチン・ボボフ著 宮田 散彌 譯	日本資本主義發展史 昭12 (日本經濟譯本1)	叢 文 閣	200.3— 5
日本評論社	新經濟全集 昭9	編 所	200.3— 6
	經濟參謀本部論 (松井春生)		
	世界經濟論 (生島寅治郎)		
改 造 社	戰時準戰時經濟講座 昭12	編 所	200.3— 7
	世界經濟の體制 (加田哲二・橋本勝彦)		
	原料經濟 (佐藤 弘)		
	經濟統制 (波多野輝)		
	輕工業 (吉田 寛)		
	金融統制と貿易政策 (金原賢之助・濱田恒一)		
	人的資源研究 (野坂義孝)		
	支那滿洲經濟研究 (東亞經濟調査局)		
重 光 山 苑	滿洲帝國經濟全集 昭5	編 所	200.3— 8
	租 稅 論 (前) (田村敏雄)		
[200.4 年 鑑]			
(民) 實 業 部	中國經濟年鑑 6册 民23-24	商務印書館	200.4— 1
東洋經濟新報社	日本經濟年報 34册 昭5-13	編 所	200.4— 2
—	經濟年鑑 自第16回 至第22回 6册 昭7-13	—	200.4— 3
朝日新聞經濟部	朝日經濟年史 4册 昭7-10	—	200.4— 4
大 連 商 議	昭和六年大連經濟年史 昭7	—	200.4— 5
全 國 經 聯	日本經濟年誌 昭和6-12年版 昭7-12	先 進 社	200.4— 6
支那經濟事情研究會	支那經濟年報 昭10-11	改 造 社	200.4— 7
經 濟 年 報 社	日本經濟四季年報 5册 昭10-11	叢 文 閣	200.4— 8
中 央 銀 行	經濟金融概況年報 昭2	編 所	200.4— 9
滿 鐵 調 査 課	滿洲經濟年報 1933- 7册 昭9-14	改 造 社	200.4— 10
ダイヤモンド社	經濟統計年鑑 4册 昭10-13	編 所	200.4— 11

【 2 覽 濟】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
大通商議	滿洲經濟統計年報 4冊 昭11-12	編 所	200.4—13
東京商議	支那經濟年報 2冊 昭11-12	改 造 社	200.4—13
滿鐵經濟調查會	滿洲經濟統計年報 昭9	編 所	200.4—14
中央銀行調查課	經濟金融統計年報 康2-3	—	200.4—15
大阪商大	大阪商科大學經濟研究年報 10冊 昭7-11	—	200.4—16
長谷川 潔	北滿經濟統計年報 昭11	哈爾濱商議	200.4—17
內外經濟協會	內外經濟四季報 昭12	一 元 社	200.4—18
北支經濟通信社	北支經濟年鑑 昭13	編 所	200.4—19
奉天商議	奉天經濟統計年報 昭14	—	200.4—20
哈爾濱商工公會	哈爾濱經濟年鑑 康5	—	200.4—21
支那經濟年報刊行會	支那經濟年報 第1輯- 昭13	—	200.4—22
滿鐵哈爾濱事務所	東支鐵道經濟年鑑 1933年度 大正13	—	200.4—23
【200.5 統計】			
朝日新聞社	日本經濟統計總觀 2版 昭5	編 所	200.5—1
(米)R.デービス 野川虎三譯 藤本幸太郎	經濟統計綱要 2版 大正15	山 海 堂	200.5—2
日本銀行調查局	經濟統計 4版 昭5	清 水 書 店	200.5—3
有澤廣己 高橋正雄	外國經濟統計 5冊 昭7-11	編 所	200.5—4
有澤廣己	世界經濟統計圖表 1冊	改 造 社	200.5—5
日本銀行調查局	日本經濟統計圖表 3冊 昭7	—	200.5—6
神戶商大	本邦經濟統計 5冊 昭7-11	編 所	200.5—7
關東總督府	重要經濟統計 昭8	—	200.5—8
野川虎三	滿蒙經濟統計圖表 大正7	—	200.5—9
拓殖銀行	經濟循環期ノ統計的研究 昭3	大 隆 閣	200.5—10
滿鐵經濟調查會	北海道及樺太經濟統計要覽 2冊 昭3-6	編 所	200.5—11
社會調查所	滿洲經濟統計 6冊 昭2-9	—	200.5—12
大連商議	中國之經濟地位 民20	—	200.5—13
靜岡商議	滿洲經濟圖表 4冊 昭5-12	—	200.5—14
	靜岡市經濟統計一斑 昭7	—	200.5—15

【 2 經 済 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
大 連 商 議	滿洲經濟統計年報 3冊 昭9-11	編 所	200.5— 16
上海銀行週報社	經 濟 統 計 10冊 民13-22	—	200.5— 17
島 田 勇 滿 松 浦 滿	滿洲經濟統計圖表 昭9	滿 鐵 經 調	200.5— 18
田 村 市 郎	經 濟 統 計 學 2版 昭7	日 本 評 論 社	200.5— 19
猪 間 敏 一	經濟圖表の見方書き方使ひ方 3冊 昭5	東 洋 經 済 新 報 社	200.5— 20
政治經濟研究所	經濟調査の仕方 昭5	日 本 評 論 社	200.5— 21
豊 崎 總	經濟統計ノ作り方ト見方 昭12	高 陽 醫 院	200.5— 23
三菱經濟研究所	本邦事業成績分析 2冊 昭10	編 所	200.5— 23
有 澤 廣 己 雄 高 橋 正 雄	世界經濟統計圖表 昭9	改 造 社	200.5— 24
猪 間 敏 一	日本經濟圖表 昭5	日 本 評 論 社	200.5— 26
(民) 王 敏 雲	經濟統計摘要 民9	友 聯 中 西 印 字 館	200.5— 27
○			
朝 群 銀 行	鮮滿經濟統計要覽 大正10	編 所	200.5— P1
【200.9 其 他】			
ダイヤモンド社	經濟記事の基礎知識 55版 昭8	編 所	200.9— 1
(民) 橋 本 鴻	經濟新聞讀法 民22	衆 明 書 局	200.9— 2
京 都 帝 大	山本博士 還暦祝賀 記念論文集 昭9	編 所	200.9— 3
	尙書の虞夏書に見はれたる經濟思想 (山島論治)		
	酒の専賣に就て (神戸正雄)		
	マルクスの認識論原理 (木田庄太郎)		
	植民の世界史的意義 (高田保局)		
	農事生産に於ける水平的分化と垂直的分 化 (八木芳之助)		
	我國工業に於ける小企業の殘存に関する一 研究 (大塚一郎)		
	資本蓄積率の差異と固定資本 (柴田 敏)		
	中央銀行兌換準備檢討 (松岡孝兒)		
	貨幣需要と貨幣の流通速度 (中谷 實)		
	植民地時代米國の土地保有制度 (堀江保藏)		
	米國の對我馬投資とその影響 (長田三郎)		

〔 2 頁 表 〕

著者名	書名	発行所	整理番号
	免稅點以下の小額所得者 (汐見三郎) 經營學の基礎概念たる資本企業及經濟 (小島昌太郎)		
	世界科學に就て (作田莊一)		
	漁村更生策に於ける問題 (鎌川虎三)		
	人口粗密の原因觀 (財部靜治)		
	徳川時代に於ける植民的思想 (本庄榮治郎)		
	ヘーゲル市民社會論と經濟學 (石川興二)		
	恐慌と蓄積と植民 (谷口吉應)		
	北海道鱈魚業に現存の漁場貸借關係 (岡本清造)		
	我國に於ける植民政策學の發達 (金持一郎)		
	クレルウキアに就て (若木 禮)		
	山本英越乃博士年譜及著書論文目錄 (高木眞助)		
東京經濟調查局	經濟資料 34冊 大正4-306	編 所	200.9— 4
東洋經濟新報社	經濟手帳 昭10	—	200.9— 6
高田保馬	經濟と勢力 昭11	日本評論社	200.9— 12
京都帝大 神戸博士 遊歴硯寶	記念論文集 昭12	有 斐 閣	200.9— 13
	滿洲移民の特異性と掃蕩問題 (山本英越乃)		
	農家の負債と負擔能力 (河田順郎)		
	現代社會學に於けるパレト社會學の地位 (米田庄太郎)		
	幕末の商稅論 (本庄榮治郎)		
	實際政策と政策原則 (作田莊一)		
	維新の詔に於ける變革の國是 (石川興二)		
	シュレーデルの王室金庫論 (小山田小七)		
	アダムスミスに於ける自由主義社會の理念的 構造に就いて (中川興之助)		
	工場内労働者教育事業の目的 (大塚一朗)		
	アフタリヨンの貨幣心理說に就いて (松岡孝兒)		
	明治初年の官營産業に就いて (福江保藏)		
	財政學の基本問題 (大谷政敏)		
	取引所實物化論と短期清算取引の應用に就 いて (今西庄次郎)		
	貨幣の中立性に關する一考察 (中谷 實)		

編・著者名	書名	発行所	整理番號
	リストの國民生産力説 (白杉庄一郎)		
	財政學と經濟政策論との交流 (島 基隆)		
	生産の構造と貿易 (松井 清)		
	租税の農業に及ぼす影響 (山岡亮一)		
	再保険と共同保険との接近 (佐藤重平)		
	耕地管理組合に就て (八木秀之助)		
	熊澤蕃山研究序説 (原正 康)		
	水産經濟學と其課題 (總川虎三)		
	輸入制限と國內物價との關係 (谷口吉彦)		
	昭和の税制改革 (竹見三郎)		
	自然利子論 (高田厚馬)		
	財政學者の鐵道經濟に関する研究論著に就いて (武藤長藏)		
	現段階に於ける租税體系 (土方成美)		
	支那南北橋 (財部靜治)		
	赤字公債の消化 (小島昌太郎)		
木村 孫 八 郎	新聞經濟面の讀み方 昭13	栗田書店	200.9—14
○			
全 國 評 聯	(全邦經濟調査會) 定時總會講演集 第14-15回 2册 昭9-9	編 所	200.9—P1
—	世界廻遊所感 昭10	—	200.9—P4
安川雄之助	訪暹經濟使節所感 昭11	日本經濟	200.9—P5
【各國經濟事情】			
【 A 滿 洲 國】			
關東都督府	滿蒙經濟要覽 大正6	編 所	200.9—A1
大阪商議	滿蒙經濟の實相 昭7	—	200.9—A2
滿洲文化協會	滿洲經濟指針 昭8	—	200.9—A3
東京市役所	滿蒙經濟調査書 昭8	—	200.9—A4
關東都督府	滿蒙調査復命書 2册 大正4	—	200.9—A5
鐵路總局	瀋海鐵路背後地ノ經濟事情 昭8	—	200.9—A6
鐵路總局	奉山鐵路沿線及背後地經濟事情 昭9	—	200.9—A7

【 2 經 濟 】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
滿洲正金銀行	齊克、四洮、洮昂鐵道沿線經濟事情 昭7	編 所	200.9—A 8
中 村 橋 一	經濟方面ヨリ見タル呼倫貝爾事情 昭4	滿 鐵	200.9—A 9
滿鐵調査課	巴爾虎(呼倫貝爾)ノ經濟概觀 昭5	大 塚	200.9—A 10
中 國 銀 行	東三省經濟調查錄 庚8	編 所	200.9—A 11
滿鐵調査課	南滿洲經濟調查資料 5册 明13	—	200.9—A 12
—	北滿經濟調查資料 2册 明13	—	200.9—A 13
—	滿蒙交界地方調查資料 2册 大正3-4	—	200.9—A 14
—	東滿鐵道南部沿線地方經濟調查資料 大正6	—	200.9—A 15
本溪縣公署	本溪縣經濟調查(商農編) 2册 大同1-2	—	200.9—A 16
滿鐵調査課	本溪湖城廠間經濟調查資料 大正4	—	200.9—A 17
—	錦州府管内經濟調查資料 明42	—	200.9—A 18
—	吉林東南部經濟調查資料 明44	—	200.9—A 19
—	松花江沿岸地方經濟事情 大正10	—	200.9—A 20
—	松花江、黑龍江及兩江沿岸經濟調查資料 明43	—	200.9—A 21
滿鐵調査課	[滿鐵]附屬地居住者私經濟報告5册 昭9-11	—	200.9—A 22
關東都督府	滿蒙經濟事情 自第1號 至第23號 4册 大正6-8	編 所	200.9—A 23
飯 野 龍 次	滿蒙經濟ノ實勢 昭9	平 凡 社	200.9—A 24
高 橋 龜 吉	滿洲經濟ト日本經濟 昭9	千 倉 書 房	200.9—A 25
滿鐵調査課	齊齊哈爾、法南及び伯都訥地方經濟事情 大正11	編 所	200.9—A 26
鐵 路 總 局	多倫、貝子廟並大板上廟會事情 昭10	—	200.9—A 27
—	京圖線及背後地經濟事情 昭10	—	200.9—A 28
—	圖寧、寧佳、林密線及背後地概況 昭10	—	200.9—A 29
—	齊北、平齊沿線經濟事情 昭10	—	200.9—A 30
(民)許興顯著 松浦佳三譯	滿洲經濟ト日本帝國主義 昭10	白 揚 社	200.9—A 31
滿鐵經濟調查會	呼倫貝爾河流域地方經濟事情 昭10	編 所	200.9—A 32
滿鐵經濟調查會	吉林省內三姓、勃利地方經濟事情 昭10	—	200.9—A 33
鐵 路 總 局	寧佳線林虎線ノ經濟的價值 昭2	—	200.9—A 34
財 政 部	滿支國境經濟事情 2册 庚3	—	200.9—A 35

【 2 編 目 】

編・著者名	題 名	発 行 所	整理番號
安 東 商 議	安東經濟事情 昭11	編 所	200.9-A 36
國 口 弘	動く滿洲經濟 昭12	ダイヤモンド社	200.9-A 37
滿洲調査課	滿洲に於ける外人經濟勢力狀況 大正13	編 所	200.9-A 38
天奉商工公會	奉天經濟事情 昭5	—	200.9-A 39
滿洲事情案内所	滿洲經濟地圖 昭11	川 珠 堂	200.9-A 40
○			
全 國 經 聯	滿洲視察報告座談會 昭7	編 所	200.9-A P1
京 城 商 議	滿洲國經濟調査報告書 滿洲大博覽會視察報告書 昭8	—	200.9-A P2
滿洲經濟事情案内所	國都・新京經濟事情 昭8	滿洲文化協會	200.9-A P3
滿 鐵 經 調	熱河省經濟の現状と其將來 昭8	編 所	200.9-A P4
滿洲經濟事情案内所	奉天線、錦縣經濟事情 昭8	滿洲文化協會	200.9-A P5
日滿實業協會	朝鮮支那滿洲事情懇談會記事 岩手縣に於ける滿洲事情懇談會記事	編 所	200.9-A P7
【 B 日 本 】			
東京經濟新報社	日本戰時經濟の全貌 昭7	編 所	200.9-B1
朝鮮總督府	朝鮮の經濟事情 2冊 昭10-11	大 海 堂	200.9-B2
朝鮮總督府鐵道局	豆滿江流域經濟事情 2冊 昭13	編 所	200.9-B3
臨時台灣經濟調查會	[臺灣]經濟資料報告 昭13	—	200.9-B4
下關商業學校	關門地方經濟調査 3冊 昭10-8	—	200.9-B5
石 橋 浩 山	我國最近の經濟と財政 昭9	平 凡 社	200.9-B6
(英) ジ・オーチヤ — 下 著 經濟情勢研究會譯	日本の經濟的發展 昭9	殿 文 閣	200.9-B7
日本經濟研究會譯	日本經濟研究 昭10	—	200.9-B8
東亞產業協會	長江流域に於ける日本の經濟現勢と列國商權 の消長 2冊 昭10	編 所	200.9-B9
勝 田 貞 次	日本資本主義の次の發展 昭11	千 倉 書 房	200.9-B 11
東亞經濟調査局	長江流域に於ける日本の經濟的地位 昭13	編 所	200.9-B 12
(英) コンスタンチン・ 川 田 秀 雄 譯	日本經濟講話 3冊 昭13	白 揚 社	200.9-B 13
高 橋 龜 吉	現代臺灣經濟論 昭12	千 倉 書 房	200.9-B 14
—	日本經濟の飛躍と世界危機の前途 昭13	—	200.9-B 15
石 橋 浩 山	激變中の日本經濟 昭13	東 洋 經 濟	200.9-B 16

【 2 經 濟】

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
高橋龜吉	戦争と日本経済力 昭12	千倉書局	200.9-B 17
東京商工會議所	財界時事問題 昭13	森山書房	200.9-B 18
中外産業調査會	中堅財閥の新研究 (註釋) 昭13	編 所	200.9-B 19
常 誠 一 郎	鐵鋼財閥物語 昭13	政治知識社	200.9-B 20

○

長岡 德 治	我國民經濟の目標と國民の態度 昭7	東京講演會	200.9-BP1
日本經濟聯盟會	大阪大會演說筆錄 昭9	編 所	200.9-BP2
鳩 誠 之 助	訪日中華民國經濟視察團歡迎晚餐會に於ける演說 昭10	日 本 經 觀	200.9-BP3
神 戶 商 議	財界の推移 5册 昭8	編 所	200.9-BP4

【 C 民 國】

中國經濟學社	中國經濟問題 3版 民18	編 所	200.9-C1
(民) 嚴 國 峰	中國經濟問題研究 民20	新生命書局	200.9-C2
(民) 任 曙	中國經濟研究緒論 民21	神州國光社	200.9-C3
(民) 朱 其 暉	中國經濟危機及其前途 民21	新生命書局	200.9-C4
(英) マジャール 著 (民) 徐 公 達 譯	中國經濟大綱 民22	—	200.9-C5
(民) 朱 其 暉	中國社會的經濟結構 民20	—	200.9-C6
(民) 潘 東 周 等 著 田 中 忠 夫 譯	支那經濟論 昭7	中央公論社	200.9-C7

支那經濟の性質 (潘東周)

支那資本主義の支那經濟に於ける地位、發展及將來 (王學文)

支那經濟問題研究 (嚴國峰)

支那經濟の性質 (伯虎)

支那經濟研究に對する研究 (夢飛)

支那經濟の性質問題に關する研究 (劉夢賢)

支那經濟研究 (任曙)

支那經濟の分析とその展望 (劉國圖)

第三期に於ける支那經濟 (我澤民)

支那經濟問題 (赤田)

(民) クワイフット 著
平野 繁太郎 譯

解體過程にある支那の經濟と社會 3册 昭9

中央公論社

200.9-C8

編・著者名	書名	発行所	整理番號
木村増太郎	支那の經濟と財政 大正12	大阪屋號	200.9—C9
(民) 楊 燕 溥著 彭 登 不 譯	支那經濟記事解説 昭9	東亞同文會	200.9—C 10
録 相 題	南北支那及滿洲視察報告書 大正8	滿鐵銀行	200.9—C 11
(露) カラミソフ著 (民) 王 正 譯	中國西北部之經濟狀況 民22	商務印書館	200.9—C 12
建設委員會調查所	杭州市經濟調査 民21	編 所	200.9—C 13
東亞産業協會	上海を中心とせる最近中文經濟事情 康1	—	200.9—C 14
(民) 潘 鼎	中國經濟論戰 民21	長城書店	200.9—C 15
(英) H. P. F. 著 田 中 忠 夫 譯	支那問題概論 昭9	文化集團社	200.9—C 16
安 藤 英 夫	支那各省經濟事情 3冊 昭10	編 所	200.9—C 17
日本國際協會	山東省經濟調査資料 3冊 昭10	—	200.9—C 18
滿鐵經濟調	支那經濟發展ノ基礎ト段階 昭10	—	200.9—C 19
(獨) ウィットフ著 オーゲル 譯	支那ノ經濟恐慌ニ關スル調査 昭10	—	200.9—C 20
東亞經濟調査局譯	察哈爾經濟調査録 民22	新中國經濟學會	200.9—C 21
東京商調	支那經濟讀本 昭10	ナツカ社	200.9—C 22
(民) 李 延 聖 楊 聖 賢	支那經濟現勢講話 昭10	學 藝 社	200.9—C 23
(民) 杜 魯 人	北支那經濟概論 昭10	—	200.9—C 24
(民) 孫 理 仁 等 著 支那經濟研究會譯	支那經濟ノ崩壊ト日本 昭11	千 倉 書 房	200.9—C 25
田 中 忠 夫	歸綏縣一般經濟事情 昭11	編 所	200.9—C 26
高 橋 龜 吉	支那經濟ノ崩壊過程ト方法論 昭11	學 藝 社	200.9—C 27
滿鐵天津事務所	包頭一般經濟事情 昭11	編 所	200.9—C 28
田 中 忠 夫	北支那經濟事情 昭11	日支問題研究會	200.9—C 29
滿鐵天津事務所	中米諸國ノ經濟事情 昭11	編 所	200.9—C 30
姫 野 德 一	中華民國20年水災區域經濟調査 民21	—	200.9—C 31
商工省貿易局	察綏蒙民經濟的解剖 民24	商務印書館	200.9—C 32
民國金陵大學	支那經濟事情講話 昭11	森 山 書 店	200.9—C 33
(民) 賀 揚 靈	支那資本機構 財閥 政權 昭12	叢 文 社	200.9—C 34
東京商調	支那經濟恐慌論 昭12	改 造 社	200.9—C 35
濱 田 峰 太 郎	支那經濟讀本 昭12	學 藝 社	200.9—C 35
木村増太郎			
(民) 王 漢 彰 著 田 中 忠 夫 譯			

【2 經 済】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
(民) 方顯廷等	支那經濟建設の全貌 昭12	日本國際協會	200.9-C 37
高木陸郎	北支經濟案内 昭13	今日の問題社	200.9-C 38
大浦商讀	北支經濟圖說 昭13	日滿實業協會	200.9-C 39
勝田貞次	中南支經濟總觀 昭13	千倉書房	200.9-C 40
(民) 千家駒等	廣西省經濟概況 民25	商務印書館	200.9-C 41
小島精一	北支經濟讀本 昭12	千倉書房	200.9-C 42
—	支那經濟讀本 昭13	—	200.9-C 43
滿鐵產業部	北支那經濟綜觀 昭13	日本評論社	200.9-C 44
山上金男	浙江財閥論 昭13	—	200.9-C 45
國際經濟學會	北支經濟開發の根本問題 昭13	刀江書院	200.9-C 46
○			
東亞產業協會	聯盟技術合作と支那經濟の前途 昭9	編 所	200.9-C P1
【 D 蘇 聯】			
滿鐵調査課	勞農露國の生産と消費 昭3	大 毎	200.9-D1
—	西比利の行政經濟事情 2册 昭4	—	200.9-D2
—	西部西伯利亞經濟調査資料 昭4	編 所	200.9-D3
—	西比利亞經濟狀態と日露貿易資料大正5	—	200.9-D4
東亞經濟調査局	新經濟政策實施以後のロシア經濟大正14	—	200.9-D5
直井武夫	躍進ソグエート經濟讀本 昭12	春 秋 社	200.9-D6
【E・F 英 米】			
松山晋二郎	英國經濟事情 昭10	日本經濟	200.9-EP1
全國經濟	英國最近の經濟情勢 昭11	編 所	200.9-EP2
○			
早稻田商學同好會	最近アメリカ經濟の研究 昭9	編 所	200.9-F1
各國經濟研究會	アメリカ經濟及經濟政策 昭10	改 造 社	200.9-F2
淺 宮 政 夫	轉換期に於けるアメリカ經濟の解剖 昭9	丁 酉 社	200.9-F3
日本國際協會	米國社會經濟組織の變革 昭11	編 所	200.9-F4
日本經濟	歐米最近の經濟事情 昭11	—	200.9-F5

【 2 經 濟】

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
○			
全 國 經 聯	最近のアメリカ財界事情 昭7	編 所	200.9—FP1
藤原綱次郎	米國、加奈陀の旅より歸りて 昭10	日 本 經 聯	200.9—FP2
【 II 獨 逸 其 他】			
黒 岩 貞 雄	新興ナチス經濟通信 昭12	翠 秋 社	200.9—H1
秋 澤 修 二	ナチスの經濟と哲學 昭12	白 揚 社	200.9—H2
東亞經濟調査局	獨逸に於ける公團體の經濟的活動 昭9	編 所	200.9—H P 1
(英) ボール・アイ ンチツヒ著 宮田保郎譯	ファッシズムの經濟組織 昭8	東 京 書 房	200.9—K1
横濱正金銀行	スタン (Sudan) 經濟事情 昭10	編 所	200.9—L P 1
—	イラク (Iraq) 經濟事情 昭10	—	200.9—L P 2
—	パレスタインの近情、シリアの近情希臘及近 東地方見聞録	—	200.9—M P 1
藤 北 高 尚	爪哇經濟界の現況と蘭領東印度の原始産業並 に其取引概観 昭5	—	200.9—R1
津 島 寿 一	最近の歐米經濟事情に就て 昭9	日 本 經 聯	200.9—Z P 1
全 國 經 聯	歐米經濟界の印象 昭9	編 所	200.9—Z P 2
【 201 經 濟 學】			
田 崎 仁 義	支那古代經濟思想及制度 増補4版 昭7	内 外 出 版 社	201— 1
(民) 甘 乃 光	先秦經濟思想史 3版 民19	商 務 印 書 館	201— 2
高 田 保 馬	經 濟 原 理 (理論經濟學叢書第3) 昭8	日 本 評 論 社	201— 3
(英) レオン・ワルラス著 手塚壽郎譯	純粹經濟學要論 昭9	森 山 書 房	201— 4
(英) フランソワ・ケネー著 増井幸雄譯	ケネエ經濟表 昭8	岩 波 書 店	201— 5
戸田正雄 ソグニト・ムルタス著 夏草川二郎譯	アジア的生產様式ニ就テ 昭9	白 揚 社	201— 6
渡 邊 一 郎	經濟學說ノ史的研究 昭10	三 省 堂	201— 7
田 邊 忠 男	經 濟 原 論 (上中) 2册 昭10	明 善 社	201— 8
渡 多 野 勝	現代經濟學論 昭10	改 造 社	201— 9
山 崎 宗 直	經 濟 學 通 論 昭11	有 明 堂	201— 10
(英) ジョセフ・シュム 木村隆慶譯	シュムペーター理論經濟學ノ本質ト主要内 容 昭11	日 本 評 論 社	201— 11
安 土 方 成 実	經 濟 學 昭11	—	201— 12
南 開 大 學	論華北經濟及其前途 民25	編 所	201— 13

【 2 編 演 】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
東北帝大	研究經濟學 5冊 昭9-11 年報	岩波書店	201—14
日本學術振興會	日滿經濟統制と農業移民 昭10	總 所	201—15
東亞經濟調査局	經濟哲學序説 大正15 (經濟資料12の8)	—	201—16
—	經濟哲學の二問題 大正14 (經濟資料11の6)	—	201—17
(英) ジョセフ・シュム ペーター 著 中山伊知郎 譯	シユムペーター—經濟發展の理論 昭12	岩波書店	101—18
池田信行	經營經濟學と社會理念 昭12	森山書店	201—19
真木傳五郎	經濟思想の革命 昭11	—	201—20
(民) 伍純武	社會經濟學 民25	商務印書館	201—21
勝田貞次	戰爭と經濟學 昭13	春秋社	201—22
(獨) フリードリッ ヒ・リスト著 谷口吉彦等譯	國民經濟學體系 昭13	改造社	201—24
佐々木吉郎	經營經濟學の成立 昭12	巖松堂	201—25
(民) 關 純 編	經 濟 學 民17	商務印書館	201—26
(英) 史 綱 著 (民) 關 純 譯	經濟學說史 民24	—	201—27
河田 嗣 郎	經濟學原理 昭13	日本評論社	201—28
杉村 廣 毅	經濟哲學通論 昭13	理想社	201—29
山田 文 雄	工業經濟學 昭13	巖松堂	201—30
(英) ジョセフ・シュム ペーター 著 戸田 嘉 雄 譯	國民經濟、國民經濟學及び方法 昭13	有斐閣	201—31
(佛) 基 特 著 (民) 王 建 龍 譯	基特經濟學 民23	商務印書館	201—32
作田 莊 一	自然經濟と意志經濟 昭13	弘文堂	201—33
田崎 仁 著 (民) 王 學 文 譯	中國古代經濟思想及制度 民25	商務印書館	201—34
高橋 誠 一 郎 著 (民) 伊 藤 子 譯	經濟學前史 2冊 民25	—	201—35
(獨) F. List 著 (民) 王 開 化 譯	國家經濟學 民24	—	201—36
(民) 孫 寶 三 著 社 費 俊 譯	經濟學概論 民26	—	201—37
雜波 田 春 夫	國家と經濟 2冊 昭13	日本評論社	201—38
宮田 喜代藏	生活經濟學研究 昭13	—	201—39
青 山 秀 夫	獨占の經濟理論 昭12	—	201—40
渡 多 野 朋	價值學說史 昭12-13	巖松堂	201—41

第1卷 正統學派の價值學說

著者名	書名	発行所	整理番號
	第2巻 埃國學派の價值學說		201—43
	第3巻 折衷學派の價值學說		201—44
中山 伊知郎	均衡理論と資本理論 昭13	岩波書店	201—43
渡多野 朋	經濟學入門 昭13	日本評論社	201—44
金子 弘	獨逸經濟學の道 昭13	三友堂	201—45
【 202 經濟 史 】			
滿鐵調査課	ソヴェート聯邦經濟十年史 昭14	大 橋	202— 1
小野 武男	郷土經濟史研究提要 昭9	時 潮 社	202— 2
(米) H. フォーナー	亞米利加經濟史講話 昭8	東 洋 社	202— 3
佐藤 精一	日本近代經濟史序説 トシヤノ近代ヨーロッパ經濟史 昭8	松 堂	202— 4
高崎 力哉	アツシュレエ英國經濟組織ノ史的考察 昭9	森山書店	202— 5
(英) アツシュレエ	アツシュレエ英國經濟組織ノ史的考察 昭9	森山書店	202— 5
(民) 阿 孟 和	中國近代經濟史研究集刊 3冊 民21-22	社會調查所	202— 6
滿鐵調査課	滿洲經濟ノ發達 昭7	橋 本 所	202— 7
奉天 關 顯	奉天經濟十年誌 大正7	社會調查所	202— 8
石 橋 浩 山	最近ノ日本經濟史 昭9	平 凡 社	202— 9
田 崎 仁 義	一般經濟史 (原始經濟時代) 昭9	甲文堂書店	202— 10
(獨) ウィットフ	支那經濟史研究 昭10	殷 文 閣	202— 11
横川 次郎	中國現代經濟史 民20	良友圖書公司	202— 12
(民) 滿 師 毅	露西亞社會經濟史 昭11	東 洋 社	202— 13
小林 良 正	經濟十年史 昭11	大 村 書 店	202— 14
東日 大 毎	大阪經濟史研究 (大阪大研究叢書第9-6) 昭10	甲 文 堂	202— 15
香野 和 太 郎	近代資本制發達史 昭12	東 洋 社	202— 17
石 井 敬 人	英國經濟史要 昭13	日本評論社	202— 18
本位 田 祥 男	支那社會經濟史分析 昭13	白 揚 社	202— 19
(民) ナヤオ・ナ	經濟史研究 昭13	三 省 堂	202— 20
佐藤 愛 三	社會經濟史 民20	滿 鐵 印 刷 館	202— 21
本位 田 祥 男	日本經濟史概説 昭13	日本評論社	202— 22

【 203 經濟 政策 】

【 2 經 濟 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
武田 勝一	統制經濟の基本理論 昭8	敬文堂	203— 1
小島 精一	非常時統制經濟論 昭8	日本評論社	203— 2
改 造 社	日本統制經濟全集 昭8-9	編 所	203— 3
	第1卷 統制經濟原理 (向井龍松)		
	第2卷 通貨信用統制批判 (笠信太郎)		
	第3卷 價格統制論 (河合良成)		
	第4卷 統制經濟財政論 (井藤半彌)		
	第5卷 日本經濟統制論 (高橋龜吉)		
	第7卷 統制經濟政治機構 (土方成実)		
	第8卷 日滿統制經濟 (小島精一)		
	第9卷 統制經濟批判 (猪俣厚雨雄)		
	第10卷 統制經濟論總觀 (向坂逸郎)		
森 武 夫	戦時統制經濟論 昭8	日本評論社	203— 4
大 蔵 公 衆	日滿統制經濟論 昭8	—	203— 5
野村合名會社	ニユデイルの構成 昭9	編 所	203— 6
(獨) ボロツク 著 森 符 克 巳 譯	ソヴェト聯邦計畫經濟史論 昭7	同人社書店	203— 7
大 報 日 報 日 エコノミスト	滿蒙の經濟建設 昭7	先 進 社	203— 8
	(1) 過去20年間滿洲人口增加狀態調		
	(2) 過去20年間に於ける滿蒙移住並自然 增加人口推定		
	(3) 滿洲の總面積と人口密度		
	(4) 滿洲の地方別人口分布狀態		
	(5) 過去33年間在滿蒙本邦人及外國人人口 變動表		
	(6) 最近9年間滿蒙在住外國人國籍別變 動表		
	(7) 滿洲の人口と耕地の分布狀態		
	(8) 滿洲の耕地面積調査表		
	(9) 滿洲の總面積と耕地面積との割合		
	(10) 滿洲及中國各省別自作、小作、自作 兼小作農家戸數		
	(11) 滿洲主要農作物作付面積明細表		
	(12) 最近6年間滿洲農產物生産度及作付 面積變動指數對照表		

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
	(13) 滿洲に於ける穀物の生産消費剩餘の關係		
	(14) 支那農民の農業經營費及家計費		
	(15) 關東州内各地農耕地平均資質價格調		
	(16) 南滿洲主要都市勞働賃銀一覽表		
	(17) 大連勞働賃銀累年指數		
	(18) 大連卸賣物價指數		
	(19) 滿蒙資源調査		
	(20) 南滿洲各鐵產物產額		
	(21) 滿蒙既設鐵道の收支狀態		
	(22) 滿蒙に於ける未完鐵道一覽表		
	(23) 在滿洲日本人側主要銀行業況一覽表		
	(24) 滿洲に於ける日人の投資一覽表		
東京商調	アメリカの新經濟政策と金融統制 昭10	廣松堂	203— 9
東亞經調	獨逸の國家企業 昭8	編 所	203— 10
(民)馬寅初	中國經濟改造 3版 民24	商務印書館	203— 11
全國產聯譯	獨逸ノ經濟國家管理ニ關スル緊急法規 2冊 昭7	編 所	203— 14
東亞經調	ナチスの經濟政策 昭10	—	203— 15
慶應義塾	イギリスの經濟及經濟政策 昭10	改 造 社	203— 16
日滿實業協會	滿洲國經濟政策ノ現在ト將來ニ就テ 滿支貿易ノ現狀並ニ將來 昭10	編 所	203— 17
—	日滿統制經濟ニ就テ 昭10	—	203— 18
大村 增太郎	日滿支經濟論 昭11	時 潮 社	203— 19
慶應義塾	大英ブロック經濟及經濟政策 昭11	改 造 社	203— 20
小島 晴一	自由ト統制 昭11	千倉書房	203— 21
鈴木 應久	統制經濟ト景氣ノ動向 昭11	養山書店	203— 22
東日大 日經エコノミスト	統制經濟讀本	一 元 社	203— 23
栗 橋 越夫	經濟ノ統制ト新立法 昭11	改 造 社	203— 24
小 濱 重雄	戰時經濟方策論 昭11	資源經濟調查會	203— 25
北澤 新次郎	各國經濟統制の實態 昭11	千倉書房	203— 26
有 澤 廣巳	戰爭と經濟 昭12	日本評論社	203— 27

【 2 冊 目 】

編・著者名	書名	年次	発行所	整理番號
小島 晴一	日滿經濟五ヶ年計畫	昭13	華秋社	203—28
岩井 貞太郎	戰時經濟の基礎知識	昭12	千倉書房	203—29
外務省調査部	獨逸經濟政策の根本問題	昭12	日本國際協會	203—30
波多野 鼎	我國の戰時經濟	昭12	日本評論社	203—31
有澤 廣巳	經濟統制下の日本	昭12	改選社	203—32
藤岡 啓	戰時經濟體制と其前途	昭12	大福閣	203—33
() フォンシュバン 著 白谷 忠三 譯	列強の戰時經濟政策	昭12	育生社	203—34
大村、東 日社	戰時體制讀本	昭12	一元社	203—35
熊田 克郎	現代經濟總動員	昭13	春秋社	203—35
本位田 祥男	統制經濟の理論	昭13	日本評論社	203—37
千倉書房	日本經濟政策大系	昭13	編者 所	203—38
	(1) 日本經濟政策 (土方成業)			
	(2) 日本人口政策 (上田貞次郎)			
	(8) 日本商業政策 (向井麗松)			
	(4) 日本貿易政策 (谷口吉彦)			
	(5) 日本財政政策 (汐見三郎)			
	(6) 日本資源政策 (松井聖生)			
	(7) 日本物價政策 (高橋龜吉)			
福谷 善一	日本經濟及經濟政策	昭13	一元社	203—38
小島 晴一	ナチス新統制經濟讀本	昭13	千倉書房	203—40
原田 莊一	日本國家主義と經濟統制	昭13	實業教育普及會	203—41
渡辺 武夫	戰時經濟論	昭13	日本評論社	203—42
岩井 貞太郎	長期戰時經濟體制	昭13	千倉書房	203—43
() エルンスト・ 石田 健一 著	現代國防經濟論	昭13	育生社	203—44
福谷 善一	戰時貿易、爲替、物價論	昭13	改選社	203—45
東洋經濟新報社	日本經濟の戰時編成	昭13	編者 所	203—47
東京商工	各國統制經濟に関する調査 (イタリー及ドイツ)	昭11	編者 所	203—48
高橋 龜吉	長期戰下の財政經濟	昭13	千倉書房	203—49
小 大 毅	獨逸國防經濟論	昭13	南田書店	203—50

[2 課 測]

著者名	題 名	發 行 所	整理番號
小 島 剛 一	國 營 と 民 營 昭11	千 倉 書 房	203— 51
高 橋 龜 吉	戰 時 經 濟 統 制 の 現 段 階 と 其 前 途 昭13	—	203— 53
實 屋 興 宣	戰 時 下 の 經 濟 生 活 昭13	今 日 の 問 題 社	203— 53
小 濱 重 雄	日 本 經 濟 の 軍 事 的 形 態 昭13	松 山 房	203— 54
沼 佐 隆 次	經 濟 警 察 は ど う 運 用 さ れ る か 昭13	政 治 知 識 社	203— 55
商 工 行 政 調 査 會	物 資 制 限 の 法 規 と 解 說 昭13	高 橋 書 院	203— 56
經 新 聞 社	總 動 員 物 資 の 話 昭13	東 亞 書 院	203— 57
(譯) 西 村 雄 三 譯 實 田 直 治	獨 逸 の 戰 時 經 濟 昭13	白 揚 社	203— 58
實 田 直 治	事 變 と 經 濟 戰 昭13	松 山 房	203— 59
村 上 計 二 郎	非 常 時 對 應 轉 業 と 轉 職 昭13	實 業 之 日 本 社	203— 60
企 畫 院	佛、英、伊、智、米、諸 國 に 於 け る 戰 時 經 濟 の 國 家 組 織 昭13	編 所	203— 61
金 原 賢 之 助	日 本 戰 時 經 濟 政 策 昭13	千 倉 書 房	203— 62
飯 川 謙 夫	經 濟 支 那 の 開 發 昭13	廣 益 堂	203— 63
松 山 茂 二 郎	ソ ヴ ェ ー ト 經 濟 研 究 昭13	日 本 評 論 社	203— 64
高 橋 龜 吉	戰 時 經 濟 講 話 昭13	—	203— 65
中 外 商 業 新 報 社	戰 時 經 濟 の 現 狀 と 將 來 昭13	—	203— 66
○			
滿 洲 事 務 業 內 所	滿 洲 國 企 業 統 制 の 現 況 昭9	編 所	203— P1
實 業 整 備 調 査 局	日 滿 經 濟 ブ ロ ッ ク の 再 吟 味 昭8	—	203— P2
三 菱 經 濟 研 究 所	我 財 界 の 現 狀 と 其 對 策 昭7	—	203— P3
全 國 經 聯	計 畫 經 濟 に 就 て 昭7	—	203— P4
滿 鐵 經 調	對 滿 經 濟 政 策 に 關 する 各 種 意 見 昭7	—	203— P5
日 滿 實 業 協 會	日 滿 經 濟 提 携 方 策 と 其 の 批 判 昭10	—	203— P6
犬 飼 時 男	經 濟 維 新 原 則 昭11	國 策 產 業 協 會	203— P7
[204 經 濟 施 設]			
大 連 商 調	[大 連 商 工 會 議 所] 事 務 報 告 昭7	編 所	204— 1
長 岡 市 役 所	上 越 線 全 通 記 念 博 覽 會 誌 昭7	—	204— 2
日 滿 實 業 協 會	[日 滿 實 業 協 會] 事 業 報 告 書 昭10	—	204— 3

【 1 經 濟 】

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
富山市役所	日滿産業大博覽會誌 昭12	編 所	204— 4
日本經濟聯盟會	國際商業會議所總會報告 昭8	—	204—P1
【 305 協 同 組 合 】			
(民) 侯 哲 荃	消費合作原理 民18	大 東 書 局	205— 1
澤 村 康	ロシアの協同組合 昭8	日 本 評 論 社	205— 2
民國中央統計處	全國合作社統計 民23	編 所	205— 3
(民) 于 樹 德	消費合作社之理論與實際 民21	中 華 書 局	205— 4
(民) 侯 哲 荃	消費合作經營論 民19	太 平 洋 書 店	205— 5
(民) 于 樹 德	合作社之理論與經營 民23	中 華 書 局	205— 6
本位田祥男	協同組合研究 昭11	高 橋 書 院	205— 7
東亞經濟調查局	ロシアに於ける協同組合 昭8	編 所	205— 8
高田一治	ボランタリー、チェーンの研究 昭13	トウシン社	205— 9
(英) エヌ・バルウ著 賀川健彦譯	協同組合保險論 昭13	順 文 閣	205— 10
○			
滿洲消費聯合研究會	消費組合研究 第一輯 昭7	編 所	205—P1
【 206 同 業 組 合 】			
根 岸 信	支那ギルトの研究 昭7	新 文 社	206— 1
【 207 經營經濟・企業經濟】			
(民) 藤 原 憲	企業的結合 民18	大 東 書 局	207— 1
野本錦之助譯 野瀬新藏	決算報告書のウォール式見方企業財政の比率 分析 昭8	森 山 書 店	207— 2
内閣統計局	企業の發展と資本の集積 昭4	編 所	207— 3
上野陽一	事業統制圖表 2冊 昭4-9	同 文 館	207— 4
馬場敬治	經營學の基礎的諸問題 昭9	日 本 評 論 社	207— 5
(民) 王 世 穎	合作事業 民23	叢 明 書 局	207— 6
(民) 伍 玉 璣	中國合作運動小史 民 18	—	207— 13
—	經營學年報 昭10	—	207— 19
上野陽一	事業統制論 8版 昭8	同 文 館	207— 20
—	テラー全集 2冊 昭7-8	—	207— 21

【 2 巻 目 】

著者名	書名	発行所	整理番号
藤田敬三	カルテル闘争論 昭11	甲文堂	207—25
大隅健一朗	企業合同法の研究 昭10	弘文堂	207—29
増地龍治郎	企業形態論 昭9	千倉野村	207—30
小林新	経営統計 昭8	—	207—31
滿鐵臨時經濟調査会	在滿法人現状調査要覽 昭4	編 所	207—35
春 秋 社	日本コンツエレン全書 昭12-13	—	207—36
	1. 日本財閥論 (高橋龜吉、青山二郎)		
	2. 三井コンツエレン讀本 (和田日出吉)		
	3. 三菱コンツエレン讀本 (岩井長太郎)		
	4. 住友コンツエレン讀本 (西野嘉興)		
	5. 安田コンツエレン讀本 (小汀利得)		
	6. 日産コンツエレン讀本 (和田日出吉)		
	7. 滿鐵コンツエレン讀本 (小島晴一)		
	8. 證券財閥讀本 (栗林正修)		
	9. 淺野、渡澤、大川、古江コンツエレン讀本 (西野入彦一)		
	10. 川崎、河池コンツエレン讀本 (藤田貞次)		
	11. 新興コンツエレン讀本 (三宅晴暉)		
	12. 財界人物讀本 (鈴木茂三郎)		
	13. 電力コンツエレン讀本 (三宅晴暉)		
	14. 生保コンツエレン讀本 (高畑五一)		
	15. 製糖コンツエレン讀本 (小野文英)		
	16. 紡績コンツエレン讀本 (和田日出吉)		
	17. 西川、大原、伊藤、片倉コンツエレン讀本 (木村繁、三宅晴暉)		
	18. 産業組合讀本 (賀川鹽登、山崎勉治)		
東亞經濟調査会	本邦企業集権ノ現勢 2册 大正14-15 (經濟資料第13の10, 12の4)	編 所	207—37
藤原銀次郎	事業學、人間學 昭13	今日の問題社	207—38
石山智男	ダイヤモンド實務知識 昭12	ダイヤモンド社	207—40
(株)慶應義塾 (長)金陵大學譯	實用運銷合作 民28	商務印書館	207—41
哈爾濱北滿經濟調査会	極東蘇聯企業一覽 昭12	編 所	207—42
工業經濟研究會	カルテル研究 昭9	森山書店	207—44

[2 經 濟]

編・著者名	書 名	冊 数	発行所	整理番號
西野嘉一郎	事業財政分析觀察法	3版 昭9	高陽書院	207—45
淺野 良	企業の實務知識	昭13	春潮社	207—46
馬場敬治	經濟學研究	昭7	森山書店	207—48
經營經濟研究會	經 營	5册 昭13	—	207—51
安井英二	公營事業論	昭9	良醫普及會	207—62
○				
商 工 省	會社統計表	11册 大正12-昭7	編 所	207—7
東洋經濟新報社	東洋株式會社年鑑	第10-16回 7册 昭7-13	—	207—9
—	會社かがみ	2册 昭8-10	—	207—10
東京府調査課	東京府會社要覽	昭7	—	207—11
兵庫縣內務部	兵庫縣會社一覽	4册 昭8-10	—	207—12
滿蒙評論社	滿洲事業會社總覽	昭9	—	207—14
大阪商船	大阪商船株式會社60年史	昭9	—	207—15
財政部理財司	政府出資關係諸公司章程類集	昭1	—	207—16
東亞勸業	東亞勸業株式會社拾年史	昭8	—	207—18
滿鐵計畫部	滿洲主要會社定款表	2册 昭9-12	—	207—22
東洋經濟新報社	關西主要會社ノ解剖	2册 昭10-11	—	207—23
安東商調	安東ニ於ケル會社及工場一覽表	昭10	—	207—24
西野嘉一郎	近代株式會社論(持株會社ノ研究)	昭10	森山書店	207—26
阪田清三	野村證券株式會社10年史	昭11	野村證券會社	207—27
滿鐵經濟調	滿洲會社考課表集成	2册 昭11-12	編 所	207—32
増地關治郎	我カ國株式會社ニ於ケル株式分散ト支配	昭11	同 文 館	207—33
財政部理財司	政府出資主要會社關係法令定款集	昭3	編 所	207—34
實 業 部	特殊會社法及定款要覽	昭3	—	207—38
滿鐵經濟調	株式會社本質論	昭5	鐵 松 堂	207—43
大塚久雄	株式會社發生史論	昭13	有 聲 閣	207—47
東洋經濟新報社	會社四季報	昭13	編 所	207—49
—	西日本主要會社ノ解剖	昭13	—	207—53

[2 題 演]

編・著者名	書 名	発行所	整理番号
大村 聖 友	株式会社設立、清算、實務必携 昭13	東 葉 堂	207— 54
島 田 晋 作	会社篇(上)重工業、海運業 昭13 (戦時體制經濟全案)	學 藝 社	207— 55
【パンフレット】			
滿洲事柄案内所	在滿主要會社一覽 昭9	編 所	207— P1
日滿實業協會	滿洲事變後新設されたる滿洲關係會社 昭9-10	—	207— P2
全 國 産 務	作業に就いての興味 昭9	—	207— P3
經濟新聞社	會 社 年 鑑 昭10	—	207— P4
滿洲經濟研究會	滿洲新設會社一覽 昭9	—	207— P5
前 島 秀 博	滿洲主要新設會社目錄見啓集 昭10	講 社	207— P6
石 山 哲 男	ポケット會社要覽 昭11	ダイヤモンド社	207— P7
—	コンサイス諸會社職員錄 昭11	—	207— P8
新 京 商 報	新京總領事館管内會社調 昭11	編 所	207— P9
哈爾濱商品陳列館	北滿に於ける露人及外人關係事業大正14	—	207— P10
東洋經濟新報社	戦時體制下の會社はどうなるか 昭13	—	207— P11
—	中部日本の事業と會社 昭13	—	207— P12
—	躍進會社の再検討 昭13	—	207— P13
ダイヤモンド社	時局會社の検討 昭13	—	207— P14
【 208 景 氣 變 動 】			
東洋經濟新報社	景氣轉換ノ可能性 昭7	編 所	208— 1
野村證券會社	經濟界季節的變動ノ研究 大正15	大同醫院	208— 2
—	經濟界景氣變動の研究 3冊 昭8	—	208— 3
(*)アルヴィン・H・ ハンセン 著 小川 鶴太郎 譯	景 氣 循 環 論 昭8	日 本 評 論 社	208— 4
田 村 市 郎	我國ノ景氣循環ト景氣指數 昭5	文 精 堂	208— 5
(獨) エフ・アー・ ハイエク 著 野村 證券 譯	貨幣ト景氣變動 昭9	高 橋 醫 院	208— 6
世界景氣研究會	世界景氣ノ分析 3冊 昭8-9	叢 文 閣	208— 7
小 島 研 一	金融恐慌論 昭8	千 倉 書 房	208— 8
世界經濟研究會	世界恐慌四ヶ年ノ總決算 昭9	大 誠 堂	208— 10
經濟批判會	國際信用恐慌インフレーションへの途 昭7	叢 文 閣	208— 11

〔 2 選 要 〕

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
山 村 市 郎	景氣豫測ノ方法 昭9	大同書院	208—12
渡 多 野 鼎	景 氣 論 昭9	千倉書房	208—13
東 京 商 議	世界景氣年報 (1934-1935) 3册 昭10	改 造 社	208—14
豐 崎 益	景氣論序説 昭10	高 陽 書 院	208—15
高 橋 次 郎	景氣政策批判 昭11	—	208—15
後 藤 一 平	新シイ景氣循環理論ト株價騰落 昭11	學 藝 社	208—17
大 毎 日 日 エコノミスト	景 氣 讀 本 昭11	一 元 社	208—18
郡 菊 之 助	景氣指數論 昭11	巖 松 堂	208—19
岸 忠 助	景氣論通説 昭11	—	208—20
梁 月 敏 之	シュビートホフ景氣理論 昭11	廣 文 閣	208—21
豐 崎 益	景氣豫測法研究 昭7	大 同 書 院	208—22
木 村 挿 入 郎	戦時體制下の景氣觀 昭12	太 陽 閣	208—23

○

名 古 屋 高 商	景氣循環ノ調査研究 (其一) 昭6	編 所	208—P1
-----------	-------------------	-----	--------

〔 209 資 源・國 富 〕

資 源 局	列國資源提要 第1-3號 3册 昭9-11	編 所	209— 1
參 謀 本 部	滿蒙資源要覽 昭7	兵 用 國 務 會 社	209— 2
工 業 化 學 會	滿洲ノ資源ト化學工業 昭8	九 善 株 式 會 社	209— 3
滿 洲 政 務 會	滿洲建國ト五省ノ富源 昭7	滿 洲 通 信 社	209— 4
東 亞 經 理	本邦需給資源總覽 昭6	編 所	209— 5
國 勢 社	本邦重要資源需給要覽 昭9	—	209— 6
滿 鐵 經 理	ソグエト聯邦ノ資源ト産業 (亞麻編、石油編、毛皮編) 6册 昭9	大 阪 毎 日 新 聞 社	209— 7
矢 野 恒 大	日本國勢圖會 3册 昭7-10	日 本 評 論 社	209— 8
東 洋 經 濟 新 報 社	明治大正國勢總覽 昭4	編 所	209— 9
內 閣 統 計 局	昭和五年國富調査報告 昭8	—	209—10
國 勢 院	戦前戦後ニ於ケル國富統計 大正10	—	209—11
土 方 成 興	國民所得ノ構成 2册 昭8-11	日 本 評 論 社	209—12
汐 見 三 郎	國民所得ノ分配 昭8	有 斐 閣	209—13

【 2 課 調】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
滿鐵經調	滿洲國國民所得並ニ國富計算書 昭8	編 所	309—14
東京市役所	東京市民ノ所得調査 昭8	—	309—15
資源局	資源資料要録 (官公報・外國之部) 昭9-11	—	309—16
內閣統計局	昭和五年國民所得調査報告 昭9	—	309—17
(露) コンスタンチ ン・ボボフ著 ロシア問題研究所譯 五十子宇平	日本ノ技術的經濟的基礎 昭10	ナウカ社	309—18
資源局	北支那ノ天然資源 昭10	學 藝 社	309—19
安 源 局	帝國資源總覽 第一號 昭10	編 所	309—20
中 川 友 長	國富及國民所得 昭10	東洋出版社	309—21
京城商議	朝鮮に於ける工業資源調査 昭11	編 所	309—22
資源局	米國總動員概説 昭9	松 山 房	309—23
滿鐵調査課	滿蒙より何を期すべきか 昭4	編 所	309—24
朝鮮銀行調査課	朝鮮ノ石炭及發電水力 大正7	—	309—25
滿鐵農務課	日本の需要より見たる滿蒙の農畜林産資源 昭7	—	309—26
總務廳統計處	東邊道資源概況 康4	—	309—27
滿鐵調査課	露領極東の資源と産業 昭8	—	309—28
石 山 哲 男	資源 北支 讀本 昭12	ダイヤモンド社	309—29
馬場敏太郎	北支八省の資源 昭12	實業之日本社	309—30
伍 堂 卓 雄	國防資源論 昭13	日本評論社	309—31
資源整備調査局	列強軍需資源論 昭12	巖 松 堂	309—32
資 源 局	米國總動員計畫 昭9	栗 田 書 房	309—33
馬 場 敏 太 郎	中支の資源と貿易 昭13	實業之日本社	309—34
日 蘇 通 信 社	ソヴェート聯邦資源地圖 昭13	編 所	309—35
國際經濟研究會	資源獲得と植民地再分割論 昭13	—	309—36
廣 田 春 吉	資源支那大觀 昭13	東亞經濟 文化研究會	309—37
○			
内外産業資料調査會	滿洲國資源提要 昭7	編 所	309—P1
滿蒙資源館	[滿蒙資源館]要覽 9冊 昭4-9	—	309—P2
滿鐵經調	國民所得及國富ニ關スル研究 (特ニ滿洲國ニ 於ケル場合ノ考察) 昭9	—	309—P4

【 2 冊 演 】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
佐賀縣統計課	[佐賀]縣民ノ所得 昭7	編 所	209—P8
内務省土木局	港灣資源調査規則 昭10	—	209—P7
横濱正金銀行	英領馬來ニ於ケル重要資源ノ調査 昭10	—	209—P8
滿洲事情案内所	滿洲國産業資源ト其ノ開發 昭9	—	209—P9
滿鐵東京支社	滿洲資源産業觀察便覽 昭12	—	209—P10

【 211 世界經濟一般】

(露)イ・ヴァルガ著 經濟批判會譯	世界經濟年報 1937-38 31册 昭5-11	廣 文 閣	211— 1
(英)リルケーン著 坂本三吉譯	世界經濟年表 昭6	春 秋 社	211— 2
東洋經濟新報社	世界經濟年鑑 1934-35 3册 昭9	編 所	211— 3
國 際 聯 盟	世界經濟概觀 1931-32年 昭8	森 山 書 店	211— 4
小 島 精 一	世界經濟總觀 昭5	千 倉 書 房	211— 5
橋 谷 善 一	世界經濟學要論 昭7	森 山 書 店	211— 6
作 田 莊 一	世界經濟學 (經濟學全集第00) 昭8	改 造 社	211— 7
(英)アイ・ハットン著 渡 邊 達 譯	世界經濟新體系論 昭8	千 倉 書 房	211— 8
(英)リルケーン著 東京政經研究所譯	世界經濟回復 昭8	岩 波 書 店	211— 9
慶應義塾大學	恐慌ノ新段階ト世界經濟ノ動向 昭9	森 山 書 店	211— 10
(獨)エルンスト・ ワヘゲマン著 小島昌太郎譯	世界經濟機構ト景氣變動 昭7	雄 風 館	211— 11
三菱經濟研究所	世界經濟不況ノ現状及對策 昭7	編 所	211— 12
國際聯盟事務局	世界經濟不況ノ過程並ニ様相 昭7	森 山 書 店	211— 13
世界情勢研究會	世界經濟ト世界政治 3册 昭8	廣 文 閣	211— 14
津 島 壽 一	世界經濟ト國際貸借 昭6	東京金融研究會	211— 15
東 京 商 學	世界經濟統計 2册 昭9	編 所	211— 16
三菱經濟研究所	世界經濟ノ現勢 3版 昭9	—	211— 17
高 橋 正 雄	世界經濟ノ基礎知識 昭9	東 洋 出 版 社	211— 18
財 政 部	滿支國境經濟事情 昭10	編 所	211— 19
(佛)アフタリオン著 水田清等譯	金ト世界經濟 昭11	時 潮 社	211— 20
外務省調査部	世界經濟年報 昭12	登 龍 閣	211— 21
(露)イ・ヴァルガ著 廣文閣編輯部譯	世界經濟・景氣年報 昭12	編 所	211— 22

編・著者名	題	年	發 行 所	整理番號
小 島 精 一	鮮・滿・支新興經濟	昭13	春 秋 社	211—23
【 212 國際經濟關係】				
(民) 何 思 淵	國際經濟政策	民10	商務印書館	212— 1
正 井 敬 次	國際經濟論	昭9	甲文堂書店	212— 2
谷 口 齊 彦	國際經濟ノ理論ト問題	昭9	千倉書房	212— 3
大 阪 范 日	國際經濟要覽	昭8	編 所	212— 4
春日井 麻	國際金融各論	昭8	文 雅 堂	212— 5
三 上 安 美	滿蒙ニ於ケル日本ノ投資狀態	昭8	滿鐵調查課	212— 6
(英) シー・エフ・ レーマー 東亞經濟調查 中 島 宗 一	列國ノ對支投資 (經濟資料第168) 3册	昭9	東亞經濟	212— 7
東亞經濟調查 中 島 宗 一	滿蒙ニ於ケル各國ノ合辦事業	3册大正14	滿鐵調查課	212— 8
東亞經濟調查 編 所	世界計畫經濟會議報告書	3册昭8	編 所	212— 9
日本外事協會	世界經濟會議	昭8	—	212— 10
滿鐵經濟調查 編 所	滿洲經濟ト日本及列國經濟トノ關係	昭7	—	212— 11
日本經濟聯盟	最近日本及英帝國經濟關係ノ經過	3册昭8	—	212— 12
東亞經濟調查 編 所	長江流域ニ於ケル日本ノ經濟的地位	昭2	—	212— 13
日本經濟聯盟	南阿聯邦ノ國情ト本邦トノ經濟關係	昭9	—	212— 14
東亞經濟調查 編 所	支那ニ於ケル國際財團	昭3	—	212— 15
(民) 劉 大 鈞	外人在華投資統計	民21	中國太平洋 國際學會	212— 16
(露) イ・ヴァルガ 世界經濟研究會譯 國際政經研究會譯	國際經濟ノ諸問題	昭9	世界經濟研究會	212— 17
國際政經研究會譯	國際經濟時報	第1編昭10	福 田 書 房	212— 18
服 部 文 四 郎	國際經濟ト金融	昭10	明 善 社	212— 19
猪 谷 善 一	日滿支經濟論	昭10	官 報 書 房	212— 20
東京商工議 會	日滿支經濟問題講話	昭11	鳳 樓 堂	212— 21
外務省調查部	オタワ英帝國經濟會議ノ考察	昭11	日 本 國 際 協 會	212— 22
國際經濟學會	國際經濟研究	昭11	官 報 書 房	212— 23
原 勝	支那ニ於ケル列強ノ工作トソノ經濟勢力	昭11	保 福 社	212— 24
滿鐵經濟調查 編 所	支那法令ニ於ケル外國投資ノ制限 (經濟資料第104) 昭11	昭11	編 所	212— 25
全國經濟調查 編 所	日比ノ經濟關係トダダアオ問題	昭11	—	212— 26

【 22 財 政】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
赤松裕之	國際經濟關係現下ノ容相 昭11	日本國際協會	212—27
三菱經濟研究所	太平洋に於ける國際經濟關係 昭12	編 所	212—28
東京商議	東亞經濟問題 昭13	—	212—29
(株)ラヂオ・マシナ・キヤ 増井光三 譯	國際資本移動論 昭13	日本評論社	212—30
三田同窓會編 (民)熊得三 譯	國際經濟戰略 民24	商務印書館	212—31
○			
滿鐵調査課	滿洲ト支那本部トノ關係 昭4	編 所	212—P1
—	南滿洲=於ケル支那人ノ經濟的對外關係、南 滿洲=於ケル支那人ノ繁榮狀況 昭4	—	212—P2
—	滿蒙=於ケル日本ノ投資額滿蒙=於ケル世界 各國ノ投資額 昭4	—	212—P3
預正金銀行	英印比率問題ノ歷史的背景 昭9	—	212—P4
百應安人	中南米諸國ト日本トノ經濟關係 昭10	日本評論	212—P5
全國總聯	日蘭會商ト蘭領印度ノ情勢 昭10	編 所	212—P6
日滿實業協會	貿易上ヨリ觀クル滿洲國國際收支ノ將來 昭10	—	212—P7

22 財 政

【 220 總 記】

下村 宏	財政讀本 2版 昭1	日本評論社	220—1
土方成興	— 昭12	—	220—2

【220.1 法規・書目】

大塚辰治	市町村財務規程 昭5	良野普及會	220.1—1
民政部地方司	地方財務例規輯覽 康1	編 所	220.1—2
(民)季介如	山東財政法規彙編 民9	—	220.1—3
財 政 部	財政部法令例規輯覽 1-3 康3	滿洲行政學會	220.1—4
勝 正 應	稅 法 類 纂 昭11	平 凡 社	220.1—5
松倉恒次郎	市町村財務總覽 昭13	良野普及會	220.1—6
大塚辰治	市町村財務規程 昭10	—	220.1—7

○

滿鐵產業部	露文 滿洲支那財政金融關係資料邦譯目錄 昭12 英文	編 所	220.2—1
-------	-------------------------------	-----	---------

【220.4 年 鑑】

[22 財 政]

編者名	書名	發行所	整理番號
大藏省	大藏省年報 第56-61回 6册 昭36-17	編 所	220.4— 1
大藏省主稅局	主稅局統計年報 第37回 昭7	—	220.1— 2
度支部大臣官房	度支部統計年報 第1-2回 昭2-3	—	220.4— 3
奉天省財政廳	奉天省財政統計年鑑 昭7-17	—	220.1— 4
遼寧省財政廳	遼寧省財政統計年鑑 昭17	—	220.4— 4
河北財政特派員公署	河北財政特派員公署年鑑 2册 昭20-21	—	220.1— 5
財 政 部	各省區歷年財政彙覽 4册 昭10	—	220.4— 6
(民) 孔祥熙	財 政 年 鑑 3册 昭24	商務印書館	220.4— 7
天津特別市	[天津特別市]財政年鑑 昭19	編 所	220.4— 8
【220.5 統 計】			
東京市政調查會	東京市財政統計諸表 昭2	編 所	220.5— 1
汐見三郎	財 政 統 計 昭5	日本評論社	220.5— 2
國務院主計處	— 昭4	編 所	220.5— 3
【220.8 地 方 財 政】			
長安百治	地方財政調整論 2版 昭3	良書普及會	220.8— 2
高砂恒三郎	地方財政調整問題 昭10	甲 文 堂	220.8— 3
【220.9 各國財政事情】			
【 A 滿 洲 國】			
滿鐵調查課	奉天省財政一斑 (宣統3年度奉天省預算案說明書) 大正2	編 所	220.9—A1
—	奉天省ノ財政 (滿鐵調查資料第74) 昭3	—	220.9—A2
—	吉林省ノ財政 (— 第82) 昭3	—	220.9—A3
—	黑龍江省ノ財政 (— 第149) 昭5	—	220.9—A4
—	黑龍江省財政一斑並現行稅制 (調查報告書第8) 大正9	—	220.9—A5
神戶正雄	滿洲國ノ財政經濟 昭7	立 命 館	220.9—A6
哈爾濱特別市	哈爾濱特別市政局ノ財政 (調查資料第6) 大同2	編 所	220.9—A7
民政部	地方財政概要 3册 昭1-3	—	220.9—A8
姜 英 藩	滿洲地方財政綱要 2册 昭4	益 智 書 店	220.9—A9
滿鐵調查課	吉林省東北部松花江沿岸地方經濟事情 大正10	編 所	220.9—A 10

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番号
巴 彥 縣 公 署	[巴彥縣]財務概況 昭4	編 所	220.9-A 11
主 計 處	財 政 現 況 昭4	—	220.9-A 12
○			
鈴 木 總	滿洲國財政に觀る王道政治 昭8	滿洲華僑案內所	220.9-A P 1
日滿實業協會	滿洲國財政狀態の概要及內國稅徵收事務の現況 昭9	編 所	220.9-A P 2
哈爾濱特別市公署	松浦市政財政ニ關スル調査 大昭3	—	220.9-A P 5
—	濱江市政籌備處財政ニ關スル調査 大昭3	—	220.9-A P 6
財 政 部	隨同軍隊分布配置期中地方財務機關特別調査計畫書 大同2	—	220.9-A P 7
【 B 日 本】			
大 藏 省	大藏省調査資料 (第1-20卷) 38册 明44-昭5	編 所	220.9-B 1
岡 部 勇	日 本 財 政 論 昭8	改 造 社	220.9-B 2
東洋經濟新報社	明治大正財政詳覽 2版 昭4	編 所	220.9-B 3
內務省地方局	地方財政概要 (大正6-7年度) 2册 大正7-8	—	220.9-B 4
臺灣總督府	臺灣地方財政概要 昭7	—	220.9-B 5
東京市政調査會	東京市ノ區財政ニ關スル調査 昭6	—	220.9-B 6
大阪市役所	大阪市財政要覽 第14回 昭6	—	220.9-B 7
神 戶 正 雄	非常時ノ財源問題 昭8	立 命 館	220.9-B 8
岡 部 賢 一	非常時財政讀本 昭9	中央公論社	220.9-B 9
鈴 木 利 貞	馬場財政ト財界ノ前途 昭11	日本評論社	220.9-B 10
伊 藤 博 文	秘藏 財政資料 昭11	本 醫 刊 行 會	220.9-B 11
朝鮮總督府	朝鮮地方財政要覽 2册 昭12-13	編 所	220.9-B 12
牧 野 塚 智	日 本 財 政 論 昭13	日 本 評 論 社	220.9-B 13
太 田 正 孝	日 本 財 政 論 昭6	唯 風 館	220.9-B 14
田 中 廣 太 郎	最新 地方財政要覽 昭13	良 醫 普 及 會	220.9-B 15
三 好 重 夫	地方財政の實際問題 昭9	—	220.9-B 16
○			
樺 太 廳	樺太町村財政一斑 昭11	編 所	220.9-B P 1
【 C 支 那】			

[22 財 政]

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
經濟學會	財政説明書(各省別) 20册 光緒34	編 所	220.9—C1
木村増太郎	支那財政論 昭3	大阪展號	220.9—C2
滿鐵調査課	最近支那財政概説 昭4	編 所	220.9—C3
(民) 關 庭 生	中國今日之財政 民20	世界書局	220.9—C4
(民) 李 耀 時	國地財政劃分問題 民18	—	220.9—C5
吉 田 虎 雄	支那財政經濟一斑 昭11	華 藝 社	220.9—C6
東亞經濟調査局	支那國民政府の財政 昭11	編 所	220.9—C7
小林幾次郎	支那財政經濟論 昭13	豐 文 閣	220.9—C8
天津市財政局	財 政 彙 刊 民34	編 所	220.9—C9
全國財政會議秘書處	第二次全國財政會議彙編 民30	—	220.9—C10
○			
中 濱 義 久	國民政府の財政報告 2册 昭5-6	滿鐵調査課	220.9—CP1
【 M 獨 逸 】			
東京市政調査會	ウイン市財政事情 大正13	編 所	220.9—M1
【 221 財 政 學 】			
井 庭 半 彌	財政學原理財政政策總論 2版 昭8	巖 松 堂	221— 1
北 崎 進	新財政學要義 3版 昭7	—	221— 2
青 木 得 三	地方財政ノ理論 昭9	—	221— 3
大 内 兵 衛	財政學大綱 上中巻 3版 昭8-9	岩 波 書 店	221— 4
神 戶 正 雄	財 政 學 (改訂増補) 昭10	弘 文 堂	221— 5
牧 野 輝 管	財 政 概 論 昭10	日 本 評 論 社	221— 6
土 方 成 美	財政學原理 昭10	東 洋 出 版 社	221— 7
—	財政學ノ基礎概念 昭3	岩 波 書 店	221— 8
永 田 清	現代財政學の理論 昭12	—	221— 9
安 藤 春 夫	國家經濟と公債經濟 昭11	同 文 館	221— 10
(米) 植 克 主 編 (民) 竹 通 先 譯	市 財 政 學 (經濟叢書) 民20	商 務 印 書 館	221— 11
(民) 井 文 敬	財 政 學 (大學叢書) 民24	—	221— 13
李 耀 時	財政學原理 民24	—	221— 13

【 22 財 政】

編・著者名	書	名	發 行 所	整理番號
【 222 財 政 史】				
(民)常乃真	中國財政制度史	(經濟叢書)民19	世界書局	222— 1
滿鐵調查課	民國財政史	2册大正14	編 所	222— 2
(民)買士毅	民國續財政史	上册民19	商務印書館	222— 3
(民)險式圭	中國財政史略	2版民18	—	222— 4
小林丑三郎 助 三 之 三	國家財政史統計學汎論	2册明43	實 文 館	222— 5
(民)買士毅	民國財政史	民13	商務印書館	222— 6
—	民國續財政史	(1-7)民31-33	—	222— 7
滿鐵經調	清朝經費ノ研究	(經濟資料第06)昭10	編 所	222— 8
大 藏 省	明治大正財政史	昭13	財政經濟學會	222— 9
	第 2 卷 會 計 制 度			
	第 3-5 卷 歲 計 (上中下)			
	第 6-7 卷 內 國 稅 (上下)			
	第 8 卷 關 稅			
	第 9-10 卷 專 賣 (上下)			
	第 11-12 卷 國 債 (上下)			
	第 14-16 卷 銀 行 (上中下)			
大 藏 省	日清日露兩戰役及世界大戰に於ける我が戰時 財政	昭12	千倉書房	222— 10
—	明治財政史	昭13	財政經濟學會	222— 11
	第 1 卷 緒言、財政機關、會計法規 (一)			
	第 2 卷 會計法規 (二)			
	第 3 卷 會計法規 (三) 豫算決算			
	第 4 卷 國庫出納			
	第 5 卷 租 稅 (一)			
	第 6 卷 租 稅 (二)			
	第 7 卷 租 稅 (三) 葉煙草專賣			
	第 8 卷 國 債 (一)			
	第 9 卷 國 債 (二) 準備金			
	第 10 卷 豫算、恩賞諸祿、罹災救助			

【 22 附 政】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
	第11卷 通 貨(一)		
	第12卷 通 貨(二) 銀行(一)		
	第13卷 銀 行(二)		
	第14卷 銀 行(三)		
	第15卷 凡例、總目錄、索引、附錄		
大 藏 省	日本財政經濟資料 第1-10編 大正13-14	財政經濟學會	222— 12
【 223 財 政 政 策】			
松 岡 秀 雄 木 村 清 司	財 務 行 政 (自治行政叢書第9) 2冊 昭10-12	常 盤 書 房	223— 1
井 藤 半 彌	國 家 財 政 概 論 昭10	—	223— 2
高 島 佐 一 郎	危 機 財 政 と 金 融 統 制 昭12	千 倉 書 房	223— 3
大 藏 省	大 戰 中 の 英 國 財 政 及 當 初 の 經 濟 政 策 昭12	—	223— 4
(民) 胡 善 恒	財 務 行 政 論 (大學叢書) 民23	商 務 印 書 館	223— 5
大 藏 省	大 戰 當 初 の 獨 逸 財 政 經 濟 政 策 昭12	千 倉 書 房	223— 6
沙 見 三 郎	日 本 財 政 々 策 昭13	—	223— 7
塚 田 一 雨	戰 時 財 政 と 金 融 統 制 昭12	太 陽 閣	223— 8
(獨) マーラー-ホー 石 井 忠 雄	國 家 財 政 の 戰 備 と 作 戰 昭13	慶 應 書 房	223— 9
三 好 重 夫	地 方 財 政 改 革 論 昭8	良 書 堂 及 會	223— 10
高 木 壽 一	戰 時 財 政 論 昭9	日 本 評 論 社	223— 11
【 224 歲 計】			
鈴 木 敬 發	帝 國 歲 計 沿 革 史 (第1-2卷) 大正4-9	歐 陽 閣	224— 1
古 川 榮 一	豫 算 統 制 論 昭8	森 山 書 店	224— 2
(民) 吳 貫 因	中 國 豫 算 與 財 務 行 政 及 監 督 民21	建 華 書 局	224— 3
臺 灣 總 督 府	臺 灣 總 督 府 臺 灣 官 設 鐵 道 用 品 資 金 特 別 會 計 歲 入 歲 出 豫 定 計 算 書 各 目 明 細 書 昭9	編 者 所	224— 4
—	臺 灣 總 督 府 特 別 會 計 豫 算 參 考 書 昭8	—	224— 5
民 國 財 政 整 理 會	暫 編 各 省 區 國 家 歲 入 歲 出 預 算 分 表 3冊 民14	—	224— 6
—	暫 編 債 款 歲 出 預 算 專 表 民14	—	224— 7
—	暫 編 各 海 常 關 歲 入 歲 出 預 算 專 表 民14	—	224— 8
—	暫 編 鹽 務 歲 入 歲 出 預 算 專 表 民14	—	224— 9

【 22 財 政 】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
民國財政整理會	暫編交通部所管路電郵航四政特別會計歲入歲出預算表 民14	編 所	224—10
—	暫編財政部所管各局廠特別會計歲入歲出預算表 民14	—	224—11
—	暫編中央直接收入支出預算專表 民14	—	224—12
—	暫編中央各機關各部經費國家歲出預算分表 民14	—	224—13
—	暫編國家預算總案 民14	—	224—14
—	暫編中央各部各機關歲入預算分表 民14	—	224—15
—	暫編中央各部各機關歲入預算分表 民14	—	224—16
—	暫編國家歲出預算總表 民14	—	224—17
—	暫編國家歲入預算總表 民14	—	224—18
—	財政整理會經過情形及辦理一切事宜提要 民16	—	224—19
國務院總務廳	大同元年度歲入歲出總預算 大同元	—	224—20
奉天省公署	宣統三年度奉天省預算案 宣統3	—	224—21
長谷川安兵衛	豫算統制ノ研究 昭7	森山書店	224—22
滿鐵地方部	各區公費歲入出決算表 3冊 昭5-7	編 所	224—23
會計檢査院	帝國決算統計 5冊 昭8-12	—	224—24
國務院總務廳	薪俸預算調書 大同2	—	224—25
高 越 卓	豫算編成ノ理論ト實際 昭9	盛義堂書店	224—26
國務院總務廳	一般會計歲入歲出預算各目明細書 8冊大同2-康3	編 所	224—27
—	一般會計追加預算第1號各目明細書 康1-3	—	224—28
—	特別會計歲入歲出預算各目明細書 6冊大同2-康3	—	224—29
—	各特別會計預算 2冊 康1-5	—	224—30
大 塚 省	昭和9-10年度豫算の解説 昭9-10	—	224—31
(長) 巴 子 著	各國預算制度 (經濟叢書) 民25	商務印書館	224—32
國務院總務廳	康德元一五年度總預算 康1-5	編 所	224—33
—	康德元年度歲入歲出總決算各特別會計決算 康1	—	224—34
大 塚 辰 治	市町村の豫算 昭10	泉野普及會	224—35
青 木 得 三	歲入歲出詳論 昭13	廣 松 堂	224—36

○

編・著者名	書名	発行所	整理番號
農林大臣官房	道府縣勸業費豫算 3冊 昭9-10	編 所	224—P1
農政部地方司	各市歳入歳出決算 大同元年度 昭2	—	224—P2
—	縣歳入歳出豫算 大同元年 昭2	—	224—P3
滿洲國通信社	康德五年度豫算の話 康5	—	224—P4
松田令輔	康德元年度豫算=就テ 康1	國務院總務廳	224—P5

【 225 公 債 ・ 國 債 】

山一證券株式會社	公債年鑑 昭和7年度 昭8	編 所	225—1
(民) 餘仲雄	美國退還庚子賠款餘額經過情形 民14	商務印書館	225—2
高久 駿	支那ノ國債ニ關スル統計 大正13	滿鐵調査課	225—3
中 須 義 久	支那ノ對外交通經濟借款 昭5	—	225—4
—	支那ノ對外政治借款 昭4	—	225—5
民國財政整理會	財政部經營無確實擔保外債表 民14	—	225—6
日本興業銀行	全國公債社債明細表 (昭27-42回) 7冊 昭26-31	編 所	225—7
(民) 于家駒	中國的內債 民22	社會調查所	225—8
中 須 義 久	支那內國公債事情 4冊 昭5	滿鐵調査課	225—9
大藏省理財局	國債統計年報 昭和8年度 昭9	編 所	225—10
田村 幸 策	支那外債史論 昭10	外交時報社	225—11
高橋 龜 吉	現代公債政策 昭12	千倉書房	225—12
水谷 平 吉	市町村公債 昭9	學堂普及會	225—13
○	財政對策研究	—	—
大藏省理財局	國債額明細表 昭8	編 所	225—14
大阪商議	赤字公債消化ノ基調ト其動向 昭14	—	225—15

【 226 租 稅 】

【 總 論 】

滿鐵調査課	露國農民の課稅及其他負擔重度の研究 昭9	編 所	226—1
片岡 政 一	稅務會計 4版 昭7	關山書店	226—2
滿鐵調査課	滿洲に於ける農民の租稅負擔と農村機構 昭9	編 所	226—3
船田 勇	稅務會計 昭9	東京財政學堂	226—4

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
神 戸 正 雄	租 税 研 究 第1-10巻 昭10	弘文堂書店	226— 5
(民) 徐 嗣 耀	比 較 租 税 (經濟叢書) 民19	商務印書館	226— 6
土 方 成 英	租 税 論 講 義 昭13	有 斐 閣	226— 7
井 藤 半 彌	租 税 原 則 學 說 の 構 造 と 生 成 昭10	康 松 堂	226— 8
勝 正 重	新 税 の 話 昭13	千 倉 書 房	226— 9
吉 田 麗 之 助 等	新 税 精 解 支那事變特別税法 昭13	森 山 書 店	226— 10
勝 正 重	企 業 と 租 税 昭5	千 倉 書 房	226— 11
大 畑 文 七	租 税 國 家 論 昭9	有 斐 閣	226— 12
(民) 李 耀 時	中 國 稅 制 論 民18	世 界 書 局	226— 13
神 戸 正 雄	增 稅 及 整 稅 論 昭10	立 命 館	226— 14
高 島 佐 一 郎	租 税、公 債、通 貨 新 論 昭10	千 倉 書 房	226— 15
藤 塚 林 平	滿 洲 國 の 租 税 と 專 賣 昭5	大 學 書 房	226— 17
高 橋 龜 吉	稅 制 と 産 業 壓 迫 昭13	千 倉 書 房	226— 18
臨時產業調査局	稅 租 公 課 篇 昭4	編 所	226— 22
【226.1 法規・制度】			
滿 鐵 經 理	滿 洲 國 現 行 租 稅 制 度 昭5	編 所	226.1— 1
朝鮮總督府	各 國 植 民 地 租 稅 制 度 概 要 大正15	—	226.1— 2
哈爾濱特別市公署	市 稅 徵 收 規 則 輯 (調查資料第3) 大同3	—	226.1— 3
岡 田 直 策	國 稅 徵 收 法 精 解 昭9	森 山 書 店	226.1— 4
財政部稅務司	現 行 租 稅 法 規 3册 大同1-2	編 所	226.1— 5
朝鮮總督府	朝 鮮 稅 務 法 規 提 要 昭10	朝鮮財務協會	226.1— 6
全 國 經 聯	稅 制 改 革 に 就 いて 昭11	編 所	226.1— 7
日本租稅研究會	租 稅 法 規 昭10	文 情 社	226.1— 8
中 村 國 男	改 正 稅 法 早 わ か り 昭11	顯 役 堂	226.1— 9
大 連 商 議	滿 洲 國 國 稅 制 度 提 要 昭13	編 所	226.1— 10
片 岡 政 一	北 支 事 件 特 別 稅 法 釋 義 昭12	文 情 社	226.1— 11
經 濟 部	勤 勞 所 得 稅 關 係 法 規 昭4	編 所	226.1— 12
—	自 由 職 業 稅 關 係 法 規 昭4	—	226.1— 13

編・著者名	書名	發行所	整理番號
藤 正 憲	日本稅制改革史 昭13	千倉書房	226.1—14
沙 尾 三 郎	各國所得稅制論 昭9-11	有斐閣	226.1—15
內 務 局	地方稅關係法令類纂 昭5	編 所	226.1—16
【226.2 租 稅 史】			
臺灣總督府土地調查局	清 賦 一 斑 明33	編 所	226.2—1
朝 國 會	大日本租稅志 3冊 昭2	—	226.2—2
臺灣土地調查局	大租取調書 昭97	—	226.2—3
(民) 李 景 明	修改稅則始末記 2冊 民8	經濟學會	226.2—4
(民) 雷 鎮 暉	北平稅捐考略 民21	社會調查所	226.2—5
滿 鐵 經 調	支那稅制の沿革 昭8	編 所	226.2—6
野 津 高 次 郎	米國稅制發達史 昭14	有斐閣	226.2—7
【226.4 年 鑑】			
應江稅務監督署	稅務統計年報 大同1-2年度 2冊 昭2	編 所	226.4—1
財政部稅務司	稅務統計年報書 第1-4冊 4冊 昭3-4	—	226.4—3
臺灣總督府	[臺灣]稅務年報 昭7	—	226.4—3
【226.5 統 計】			
滿鐵臨時經調	帝國植民地課稅一覽 昭4	編 所	226.5—1
札幌稅務監督局	[札幌]稅務統計書 昭8	—	226.5—2
廣島稅務監督局	[廣島] — 昭5	—	226.5—3
東京稅務監督局	[東京] — 昭6	—	226.5—4
大阪稅務監督局	[大阪] — 昭6	—	226.5—5
名古屋稅務監督局	[名古屋] — 昭8	—	226.5—6
熊本稅務監督局	[熊本] — 昭6	—	226.5—7
仙臺稅務監督局	[仙臺] — 昭8	—	226.5—8
民國財政整理會	各省區釐金收數表 民14	—	226.5—10
滿 鐵 經 調	滿洲國邦人課稅情況 (經調資料第89) 昭10	—	226.5—11
財政部稅務司	稅務統計臺賬編製規程 昭2	—	226.5—12
【226.7 地 方 稅】			

編者姓名	書名	發行所	整理冊數
田中廣太郎	地方税制講話 昭2	農林省及會社	226.7—1
—	地方税研究 昭2	農林省及會社	226.7—2
—	市町村税戸數割正義 昭9	農林省及會社	226.7—3
谷口壽太郎	地方税通義 昭10	東洋出版社	226.7—4
吉林省公署	吉林省各縣保甲費徵收率及徵收方法概況 昭3—	編者所	226.7—15
內務部	地方税關係法令類纂 昭5	農林省及會社	226.7—6
【226.8 地稅・田賦】			
吉林省清理田賦局	吉林省清理田賦局報告書 民13	編者所	226.8—1
清野調查員	支那に於ける地租制度問題黑龍江航運に關する調査 (調査資料第9) 大正7	農林省及會社	226.8—2
東京市政調査會	土地増價税と土地未改良價格税の研究 大正13	農林省及會社	226.8—3
東京市政調査會編 (民) 鄭紹先譯	各國地價稅制度 民18	農林省及會社	226.8—4
(民) 王先強	中國地價稅問題 民20	神州國光社	226.8—5
支那駐屯軍調査部	冀東防共自治政府所轄地區田賦一覽表 昭11	編者所	226.8—6
(民) 劉應元	兩宋田賦制度 民23	新生命書局	226.8—7
(民) 顧佐齊	中國田賦問題 民24	商務印書館	226.8—8
(民) 馮軍德・李俊	河北省定縣之田賦 (地方財政叢刊第3種) 民25	商務印書館	226.8—9
—	河北省定縣之田房契稅 民25	商務印書館	226.8—10
(民) 陳正誥	中國各省的地租 民25	商務印書館	226.8—11
(民) 葛國鼎等	江蘇武進南通田賦調查報告 民23	民國參謀本部	226.8—12
民國中央大學	田賦附加稅調查 民24	商務印書館	226.8—13
大阪商大	我國最近の地租問題 昭7	編者所	226.8—14
經濟部稅務司	土地關係課稅法規類集 康5	編者所	226.8—15
(民) 晏才傑	田賦芻議 民4	北京共和印刷局	226.8—16
【226.9 其他】			
(民) 王顯光	中國釐金問題 2版 民14	商務印書館	226.9—1
(民) 傅厚培	營業稅問題 民20	木東書局	226.9—2
北平市營業稅征收處	北平市營業稅特刊 民20	編者所	226.9—3
(民) 羅玉東	中國釐金史 民25	商務印書館	226.9—4

編・著者名	書名	發行所	整理番號
	○		
滿鐵經濟調查部	滿洲國現行內國稅々率表 昭8	編 所	226—P1
自治指導部	奉天省地方稅(縣)收入實績調查表 民30	—	226—P2
奉天市政公署	奉天市政公署捐費租稅明細表解	—	226—P3
奉天省政府	奉天省政府租稅制度並民國20年度豫算	—	226—P4
滿鐵調查課	滿鐵附屬地内に於ける支那側不當課稅 昭4	—	226—P5
東京市政調査會	都市財政ニ於ケル特別賦課問題 大正14	—	226—P6
仙臺稅務監督局	[仙臺稅務監督局]管内稅務一斑 昭6	—	226—P7
滿鐵調查課	釐金稅に就て 昭4	—	226—P8
—	中國の稅收政費及債務 大正13	—	226—P9
營口縣稅務局	納稅須知 原元	—	226—P10
外交部	哈爾濱に於ける治外法權國民の課稅問題 大正9	—	226—P11
哈爾濱特別市公署	哈爾濱市現行市稅々率表(國幣) 大正9	—	226—P12
大連商關	關東州輸出入植物取締規則、地方稅法、屠宰場法、計量法、酒稅法、家鹽自用酒稅法 昭10	—	226—P13
經濟部	勤勞所得稅ノ徵收納付手續便覽 昭13	—	226—P14
—	勤勞所得稅之徵收繳納手續便覽 原5	—	226—P15
—	滿洲國現行內國稅制度便覽 原5	—	226—P16

【 227 關 稅】

三奈木重則	滿洲國稅關ト輸出入貨物ノ通關手續 昭9	大 阪 屋 誠	227— 1
岡 一 郎	滿洲國稅關輸入稅則 3冊 昭8	—	227— 2
—	滿洲國稅關輸出稅則 2冊 昭8	—	227— 3
—	滿洲國稅關輸入稅率一覽 昭7	—	227— 4
日本經濟調查會	關稅問題調查資料 昭7	編 所	227— 5
關稅東京支局	國際關稅問題 昭7	—	227— 6
東京經濟調查會	日滿關稅政策ノ研究 (經濟資料第186) 昭8	—	227— 7
(民)江恒源	中國關稅史料 民30	中 華 書 局	227— 8
高橋松一郎	支那關稅制度論 4版 昭4	內 外 出 版 會 社	227— 9
(民)賈士毅	關稅與國權 3冊 民18-19	商 務 印 書 館	227— 10

【 22 附 政】

編著者名	書名	發行所	整理番號
(民) 金 葆 光	海關權與民國前途 民17	編 所	227—11
(民) 華 民	中國海關之實際狀況 民23	神州國光社	227—12
(民) 岸 野 原 序 編	海 關 通 志 2冊 民6	商務印書館	227—13
根 岸 信	支那特別關稅會議ノ研究 大正15	白雲館書店	227—14
(民) 黃 錫 銓 等	海關常關地址道里表 民不明	北京稅務處	227—15
(民) 楊 德 森	中國海關制度沿革 民14	商務印書館	227—16
上海總稅務司	中華民國海關進口稅々則 民22	編 所	227—17
日滿實業協會	滿洲ニ於ケル關稅及鐵道運費ニ就テ 昭10	—	227—18
外務省調查部	各國複關稅制度ニ關スル調査 昭10	日本國際協會	227—19
大連商議	關東州ノ關稅制度 昭10	編 所	227—20
滿 貫 晉 次	關 稅 及 稅 關 大正13	巖 松 堂	227—21
東 亞 經 調	我 國 ノ 關 稅 大正15	編 所	227—22
大連商議	滿洲國輸出入稅率表 昭12	—	227—23
經 濟 部	輸出入稅率新舊對照表 昭6	—	227—24
小 林 行 昌	稅 關 論 昭12	巖 松 堂	227—25
經 濟 部	輸 入 稅 率 表 (稅對品目入) 昭4	編 所	227—26
—	輸 出 入 稅 率 表 昭4	—	227—27
外 務 省	歐洲諸國に於ける關稅制度 昭10	日本國際協會	227—28
經 濟 部	關 稅 法 令 集 昭5	編 所	227—29
外 務 省	世界各國の關稅改正と通商政策 昭13	國際經濟研究所	227—30
平 田 五 郎	滿洲に於ける支那の特殊關稅制度 昭9	滿鐵調查課	227—31
經 濟 部	滿洲國課稅輸出入品詳細統計 昭5	編 所	227—32
○			
大連商議	關東州稅制度改正方ニ關スル建議書 昭7	編 所	227—P1
中 濱 義 久	最近に於ける列國の對支關稅關係 昭3	滿鐵調查課	227—P2
滿鐵調查課	支那關稅定率表 昭4	編 所	227—P3
滿鐵經調	支那稅關制度要綱 昭7	—	227—P4
日滿實協	滿洲國稅關通關事務に就て 昭9	—	227—P5

編・著者名	書名	頁	発行所	整理番號
滿洲日報社	滿洲國關稅の則	康1	編 所	227—P6
日 経 實 協	關東州特惠關稅法の實績	昭10	—	227—P7

【228 官業官公有財産】

滿 鐵 經 調	滿洲國官公有財産	昭9	編 所	228—1
臺灣總督府專賣局	臺灣專賣法規	2册 昭9	—	228—2
專 賣 局	專賣局年報	第32回 昭6	—	228—3
臺灣總督府專賣局	專賣事業第參拾年報	昭7	—	228—4
多 田 喜 一	國有財産制度論	昭13	財 務 協 會	228—5
汐 見 三 郎	專賣及官公業論	昭10	日 本 評 論 社	228—6
山 田 春 雄	國有財産法釋義	康5	東 光 醫 苑	228—7

○

專 賣 總 署	石油專賣制度と石油ノ概念	康3	編 所	228—P4
---------	--------------	----	-----	--------

【229 戦 供 賠償】

岡 野 監 記	賠償及び戦債問題	昭7	義 山 書 房	229—1
---------	----------	----	---------	-------

23 金 融

【230 總 記】

外務省通商局	世界金融概観	昭14	タイムス出版社	230—1
經濟批判會譯編	金融市場の世界的動搖	昭8	豐 文 閣	230—2
金 原 野 之 助	國際金融總論 (世界經濟問題叢書第1)	昭6	岡 文 館	230—3
—	金融の常識	昭13	千 倉 書 房	230—4

【230.1 法 規】

大 連 商 議	滿洲國金融機關其他ニ關スル法令	昭8	滿洲日報社	230.1—1
東 京 商 議	獨佛兩國ノ爲替管理並資本逃避防止ニ關スル法令	昭7	編 所	230.1—2
中 村 重 夫	金融法典	昭11	南 郊 社	230.1—3

【230.2 辭 書】

銀行研究社	金融辭典	10版 昭7	文 雅 堂	230.2—1
日本評論社	金融大辭典	3册 昭9	編 所	230.2—2

【230.3 全 集】

編・著者名	書	名	發 行 所	整理番號
改 造 社	現代金融經濟全集	昭10-11	編 所	230.3— 1
	第1卷	金融論 (福沢明男)		
	第2卷	輸出信用補償論		
	第3卷	不動産金融要論 (杉本正幸)		
	第4卷	企業金融論 (不破要一朗)		
	第5卷	中小商工業、庶民金融論 (井關孝雄)		
	第6卷	我國の國債 (大竹虎雄)		
	第7卷	我國の國債各論 (—)		
	第8卷	金融統制論 (高橋鳳吉)		
	第9卷	公社債株式論 (栗橋越夫)		
	第10卷	國際金融論 (井川忠雄)		
	第11卷	世界恐慌と財政 (阿部 勇)		
	第12卷	日本金融史 (石橋蓮山)		
	第13卷	日本金融市場論 (大島堅清)		
	第14卷	日本の季節金融 (森田優三)		
	第15卷	米國金融組織論 (今野源八郎)		
	第16卷	伊太利金融制度論 (十島盛次)		
	第17卷	起債市場論 (額田清三)		
	第18卷	中央銀行、日本銀行論 (田中金町)		
	第19卷	普通銀行、貯蓄銀行論 (野崎龍七)		
	第20卷	特種金融機關論 (青木得三)		
	第21卷	預金部論 (小川輝太郎)		
	第22卷	信託金融論 (吳 文朝)		
	第23卷	保險會社金融論 (石坂憲三)		
	第24卷	證券取引所論 (藤田敏太郎)		
	第25卷	銀行取引法 (林尾一雄)		
	第26卷	貨幣論 (服部文四郎)		
	第27卷	世界貨幣制上の若干問題 (金原喜之助)		
	第28卷	通貨管理政策史論 (高島生一郎)		
	第29卷	外國爲替、爲替市場論 (山崎晴純)		

著者名 題 名 發行所 整理番號

- 第30卷 滿支幣制改革問題 (坂本光太郎)
- 第31卷 物價水準の理論 (北山富久二郎)
- 第32卷 景氣論 (豐崎 登)
- 第33卷 明治銀行史 (明石照男)
- 第34卷 貨幣金融統計資料解説 (編輯部)
- 第35卷 金融市場金利論 (三浦 實)

【230.4 年 鑑・統計】

上海商業儲蓄銀行	金融商事年報 民21	編 所	230.4— 1
	○		
日本双葉銀行	金融經濟統計 昭11	編 所	230.5— 1
	【230.9 其 他】		
安 藤 松 之 助	滿洲國ニ於ケル通貨ト金融ノ概要 昭5	滿鐵調査課	230.9— 1
滿洲商賈聯合會	滿洲金融改善調査資料 大正15	編 所	230.9— 2
滿洲中央銀行	經濟金融概況 大正2	—	230.9— 3
金融整理委員會	東三省金融整理委員會報告書 民30	—	230.9— 4
(民) 侯 蘭 彤	東三省金融概論 民30	太平洋國際學會	230.9— 5
山 室 察 文	我國ノ金融市場 2版 昭3	日本評論社	230.9— 6
大藏省理財局	金融事項參考書 5冊 昭6-13	內閣印刷局	230.9— 7
東京市政調査會	都市金融ノ概況 2版 昭3	編 所	230.9— 8
朝鮮總督府	朝鮮金融事項參考書 昭5	—	230.9— 9
西 戶 計 太	朝鮮金融經濟研究叢書 昭7	大東學會	230.9— 10
臺灣總督府	臺灣ノ金融 昭5	編 所	230.9— 11
外務省通商局	支那金融事情	—	230.9— 12
(民) 曲 殿 元	中國之金融與匯兌 民19	大東書局	230.9— 13
(民) 朱 彬 元	世界金融狀況 民19	—	230.9— 16
西村勝太郎	紐育金融市場研究 昭6	大同書院	230.9— 17
(民) 佐 槐 草	東三省金融幣制論 民4	京華印書局	230.9— 18
笠 原 博	滿洲ノ金融機關ト通貨 大正8	滿鐵產業研究所	230.9— 19

【 23 金 融】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番号
東亞同文館	清國商業慣習及金融事情 明37	編 所	230.9— 20
金融經濟社	滿洲ノ通貨問題ト金融事情 昭11	—	230.9— 21
大阪商大	大阪ニ於ケル中小商工業金融調査 4冊 昭9-11	—	230.9— 22
金融合作社聯合會	金融合作社管内經濟事情 康5	—	230.9— 23
日本勸業銀行	金融經濟情報 昭11	—	230.9— 25

○

日本勸業銀行	昭和十年度不動産抵當個人間貸借狀況調査 昭10	編 所	230.9— 1'1
村井貞清	金融合作社叢本 康5	滿洲行政學會	230.9— P2
金融合作社聯合會	金融合作社の全貌	編 所	230.9— 1'3

【 231 金 融 理 論】

小林 新	金融經濟大綱 昭9	泰 文 社	231— 1
石 登 良 夫	金融統計論 大正16	文 雅 堂	231— 2
塚 本 文 治	金融財政一般數理 昭8	松 邑 三 松 堂	231— 3
小 島 昌 大 郎	金融機構論 昭9	雄 風 館	231— 4
瀧 口 義 敏	現代金融論—金融及産業に就て 昭8	東 京 書 房	231— 5
中 谷 實	預金通貨ノ研究 昭8	有 斐 閣	231— 6
高 島 佐 一 郎	金融景氣トソノ限界 昭8	千 倉 書 房	231— 7
西 川 壽 一	財政金融ト關稅制度 昭和 大正14	日 本 書 店	231— 8
吉 田 寛	ケーンズ金融理論概説 昭8	高 原 書 店	231— 9
(民) 丁 岳 長	最新上海金融論 民20	世 界 書 局	231— 10
(民) 張 輯 頤	中國金融論 民22	商 務 印 書 館	231— 11
吉 田 寛	ケーンズ金融理論ト管理通貨 昭9	森 山 書 店	231— 12
(民) 陳 啓 溥	楊著中國金融論 民20	黎 明 書 店	231— 13
杉 本 正 幸	不動産金融機關論 昭11	嚴 松 堂	231— 14
高 橋 龜 吉	統制金融ト自由金融 昭11	千 倉 書 房	231— 15
島 本 見 一 健 正	獨逸金融組織論 昭10	有 斐 閣	231— 16
高 橋 龜 吉	日本金融論 昭9	東 洋 經 濟 出 版 部	231— 17
沖 中 慎 幸	動的金融論 昭13	千 倉 書 房	231— 18

編・著者名	書名	発行年	発行所	整理番號
牧野 輝智	新金融論	昭13	日本評論社	231—21
○				
大口 昇六	財政金融ノ前途ニ就テ	昭7	全國新聞	231—17
【232 金融史】				
(長) 藤 啓 順	最近上海金融史	3版 2勝 民21	黎明書店	232—1
本多 龍雄	金融外交史序説	昭9	滿鐵經濟調査	232—2
春日 井 眞	貨幣金融及物價ノ史的研究	昭2	文雅堂	232—3
濱田 峰太郎	中國最近金融史	昭11	東洋經濟新報社	232—4
【233 金融政策】				
小島 昌太郎	日本金融工作論	昭8	千倉書局	233—1
ダイヤモンド社	インフレ景氣の進行と株式	昭9	編 所	233—2
細野 孝一	各國インフレーション形態の研究	昭3	千倉書局	233—3
矢野 氏太郎	佛蘭西インフレノ全貌	昭8	泰山書店	233—4
全 國 報 聯	シヤハト指導下のライヒスバンク政策	昭11	編 所	233—5
大阪 商 大	金輸出解禁問題	昭4	—	233—6
○				
全 國 新聞	日本インフレーションと世界經濟會議とそれから	昭8	編 所	233—17
【234 信用制度及機關】				
平 謙 幸雄	小額金融制度論	昭9	東京書局	234—1
東京市政調査會	小額信用制度の研究	3版 大正13	編 所	234—2
日本 銀行	獨逸ニ於ケル不動産金融制度	昭2	—	234—3
—	佛蘭西ニ於ケル不動産金融制度	大正15	—	234—4
春日 井 眞	佛蘭西ノ金融組織	昭2	文雅堂	234—5
(英) シェンクス 官 田 龍 郎	ソグイエート信用制度	昭9	ナウカ社	234—6
(米) アムリカ 金融 研究	アメリカ金融制度改革論	昭10	泰山書店	234—7
金融合作社聯合會	金融合作社業務統計	2勝 昭2-4	編 所	234—8
【234.1 銀行】				
銀行研究社	銀行關係法令集	大正14	文雅堂	234.1—1

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
橫濱正金銀行	米國加州銀行法 昭7	編 所	234.1— 2
大藏省銀行局	銀行總覽 昭8	內閣印刷局	234.1— 3
金融研究會	銀行集中ノ大勢 (米國、英國ノ節) 2册 昭5-6	編 所	234.1— 4
坂田謙吉	各國植民地銀行制度 (調査資料第145) 昭5	滿鐵調査課	234.1— 5
藤井謙	支那銀行關係規定集 昭8	—	234.1— 6
松崎壽	銀行及金融 昭8	文雅堂	234.1— 7
(米)パーデウス著 東京銀行集會所譯	準備銀行ト金融市場 昭4	編 所	234.1— 8
大藏省銀行局	銀行局年報 第55-60次 昭5-11	內閣印刷局	234.1— 9
藤井謙	滿洲ニ於ケル支那銀行ノ概要 (調査資料第120) 昭5	滿鐵調査課	234.1— 10
(米)柯克 譯 (民)政 譯	美國聯合準備銀行制度 民19	中華書局	234.1— 11
(米)レイ・エヴァード著 附 鄭龍音譯	支那國立銀行ニ關スル研究 大正14	滿鐵調査課	234.1— 12
(民)榮 龍 文	中央銀行制度概論 民20	大東書局	234.1— 13
(民)陳 清 華 譯	中央銀行概論 民20	商務印書館	234.1— 14
(民)馬 寅 初	中華銀行論 民20	—	234.1— 15
(民)馬 葆 嬰	中華銀行史 3版 民12	—	234.1— 16
(民)卓 安 謀	京兆通縣農工銀行十年史 民16	大滋商店	234.1— 17
交 詢 社	全國主要銀行會社職員錄 昭9	編 所	234.1— 18
中國銀行總管理所	中國重要銀行最近十年營業概況研究 民23	—	234.1— 19
—	全國銀行年鑑 民23-25	—	234.1— 20
大藏省銀行局	全國銀行資產負債表 4册 昭10-11	—	234.1— 21
大連商銀	滿洲銀行會社年鑑 4册 昭10-13	—	234.1— 22
(民)吳 承 福	中國的銀行 民24	商務印書館	234.1— 23
橫濱正金銀行	米國聯邦準備法 昭11	編 所	234.1— 24
滿洲中央銀行	滿洲中央銀行各行現狀一覽表 昭5	—	234.1— 25
—	業務報告書 昭5	—	234.1— 26
經濟部金融司	滿洲國銀行總覽 昭5	—	234.1— 27
古 米 安 治	野村銀行二十年史 昭13	野村銀行	234.1— 28
橋 爪 明 男	銀行讀本 昭10	日本評論社	234.1— 29

[23 彙 融]

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
滿鐵調査課	支那銀行關係規定集 昭6	編 所	234.1—30
(民) 吳承福 王木英夫	支那銀行論 昭12	澁 文 閣	234.1—31
朝鮮銀行	朝鮮銀行二十五年史 昭9	編 所	234.1—32
○			
内閣印刷局	銀行法並ニ銀行法施行ニ關スル勅令及ビ省令 昭3	編 所	234.1—P1
財政部	貨幣滿洲中央銀行關係法規(日譯) 大昭1	—	234.1—P2
全國匯聯	佛蘭西銀行總裁ノ更迭ヲ繞リテ 昭10	—	234.1—P3
【234.2 錢 鈔 業】			
(民) 潘子豪	中國錢莊概要 民20	華 通 書 局	234.2—1
(民) 施伯珩	錢 莊 學 民20	商業珠算學社	234.2—2
【234.3 庶 民 金 融】			
山 根 應	金融組合要覽 昭6	朝鮮銀行 聯合協會	234.3—1
(民) 于國龍	信用合作社經營論 5版 民18	中 漢 書 局	234.3—2
(民) 王宗培	中國之合會 民20	中國合作學社	234.3—3
全國無盡業會所	全國無盡會社要覽 昭7	編 所	234.3—7
(民) 楊西孟	中國合會之研究 民24	商務印書館	234.3—8
日本勸業銀行	都市及農村に區別したる抵當債務設定高 大正15	編 所	234.3—9
京野正樹	ドイマー獨逸信用組合論 昭13	高 橋 書 院	234.3—10
○			
滿鐵調査課	支那に於ける無盡の慣習 昭3	編 所	234.3—P1
【234.4 信 託 業】			
廣田隆海	信託法概論 昭9	自 治 館	234.4—1
新庄 博	信託業論 昭14	千 金 野 房	234.4—2
【234.5 郵 便 儲 金】			
貯金局編	貯金局統計年報 第38-43回 昭7-13	編 所	234.5—1
—	郵便貯金郵便局別狀況表 昭7-9年度 昭8-11	—	234.5—3
—	郵便貯金府縣別職業別統計表 昭10	—	234.5—3
—	六十年間に於ける郵便貯金經濟史觀 昭10	—	234.5—4

[23 金 類]

編・著者名	書名	発行所	整理番號
	○		
貯金局編	町村ノ郵便貯金ヲ府縣別ニ比較ス 昭10	編 所	234.5—P1
	再ビ市ノ郵便貯金ヲ比較ス 昭10	—	231.5—P2
	○		
	[235 證 券]		
東京手形交換所	東京手形交換所一覽 昭7	編 所	235—1
出中忠夫	支那手形論 2版大正13	日本堂書店	235—2
横濱正金銀行	銀行實務ヨリ見タル英國手形解説 昭6	編 所	233—3
東京手形交換所	[東京手形交換所]年報 4册 昭6-9	—	235—4
民國中央銀行	中國債券彙編 民24	—	235—5
司法省調査課	一九一二年海牙に於ける爲替手形及約束手形に付ての審査員會會議記錄 財政資料第201 昭10	—	235—6
東洋經濟新報社	東洋經濟株界二十年 昭11-13	—	235—8
	○		
大阪手形交換所	大阪手形交換所交換成績一覽 昭7	編 所	235—P1
—	大阪手形交換所規約 昭7	—	235—P2
横濱手形交換所	横濱手形交換所報告 第64-66回 昭7-8	—	235—P3
大阪手形交換所	大阪手形交換所報告書 昭7 昭8	—	235—P4
神戸手形交換所	神戸手形交換所報告書 昭8-9	—	235—P5
商務印書館	票據法 民19	—	235—P6
石山賢吉 安田與四郎	株式相場ノ觀測法株式個々ノ選擇法 昭8	ダイヤモンド社	235—P7
	[236 爲 替]		
早坂喜一郎	銀價ト銀爲替 大正14	大阪屋號	236—1
(民) 岡實初	中國國外匯兌 民14	商務印書館	236—2
内田勝司	支那爲替論 2版大正14	廣松堂	236—3
井村源雄	支那ノ爲替ト金銀 10版大正13	上野出版協會	236—4
横濱正金銀行	戦後ノ「磅」爲替安定史 昭8	編 所	236—5
谷口吉彦	爲替理論ト爲替問題 昭8	千倉書房	236—7
(編) フォー 金原賢之助 青木剛夫	爲替相場ト物價 昭8	同文館	236—8
	外國爲替概論 3版 昭8	廣松堂	236—9

【 24 頁 冊】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
大口喜六等	外國爲替管理法ノ機能 昭8	季文閣書房	236—10
芳野國雄	貿易爲替計算ノ常識 昭9	千倉書房	236—13
鈴木益三	最近ノ外國爲替市場 昭10	一元社	236—14
金原賢之助	外國爲替ト金銀 4版 昭10	東洋出版社	236—15
大瀧爲八	銀・通貨爲替論 昭10	高陽書院	236—16
大島堅造	最近ノ爲替ト國際金融 昭10	一元社	236—17
松岡孝兒	金爲替本位制ノ研究 昭11	日本評論社	236—18
交通部總務司	儲匯編 廣3	編 所	236—19
小泉吾一	爲替清算協定概論 昭13	千倉書房	236—20
大瀧商廣	外國爲替管理貿易管理法規集 昭13	編 所	236—21
小林行昌	外國爲替ノ常識 昭13	千倉書房	236—23
○			
全國証券	我國ノ爲替問題 昭8	編 所	236—P1
大瀧商廣	外國爲替管理法規集 昭13	—	236—P2
【 237 資金・投資】			
中國國民經濟研究所	日本對派投資 民28	商務印書館	237—1
○			
日本興銀	株式會社資本調 昭9	編 所	237—P1
【 238 金 利】			
前田稻松	利廻計算ノ仕方 26版 昭8	經濟知識社	238—1
高城仙次郎	金利概論 昭4	銀松堂	238—2
高田伴馬	利子論研究 昭10	岩波書店	238—3
青木倫太郎	金利計算表 昭9	川瀧日蓮堂	238—4
○			
日本郵船	不動産抵當個人間貸借金利調 昭8-7	編 所	238—P1
全國証券	金利ノ前途感 昭9	—	238—P2
【 240 貨幣一般】			
山崎登次郎	貨幣讀本 昭8	日本評論社	240—1

(24 貨 幣)

編・著者名	書 名	發 行 所	販 理 番 號
(民) 泉 哲 庵	世界貨幣狀況 民19	大 東 書 局	240— 2
井 村 薫 雄	通貨の種別と金融 (支那地方経済大系4) 昭9	大 阪 屋 號	240— 3
木 村 暢 八 郎	圓・弗・磅・法の話 (各種通貨の基礎知識) 昭9	千 倉 書 房	240— 4
正 井 敏 次	貨幣と爲替 昭6	大 同 書 院	240— 5
山 崎 覺 次 郎	貨幣問題雜觀 昭8	有 斐 閣	240— 6
荒 木 光 太 郎	現代貨幣問題 昭10	改 造 社	240— 7
山 崎 覺 次 郎	貨幣瑣話 昭11	有 斐 閣	240— 8
○			
滿 鐵 經 調	滿洲各種紙幣流通額統計表 (經濟資料第61) 昭10	編 所	240.5— 1
(240.9 其 他]			
滿 鐵 調 査 課	中國に於ける輕貨銅元問題、内地取引所關係 法規の改正と在滿洲日本取引所 大正12	編 所	240.9— 1
日 本 國 際 協 會	通貨經濟會議の顛末 昭8	—	240.9— 2
國 際 聯 盟 事 務 局	通貨經濟會議報告 昭9	新 日 本 社	240.9— 3
滿 鐵 調 査 課	滿洲に於ける通貨及金融の概要 昭8	編 所	240.9— 4
吉 田 虎 雄	支那貨幣研究 昭8	大 阪 屋 號	240.9— 5
滿 洲 經 濟 研 究 會	滿洲通貨問題の研究並に資料 昭10	編 所	240.9— 6
有 本 邦 造	支那貨幣論 昭10	森 山 書 店	240.9— 7
井 村 薫 雄	世界の銀と支那の通貨 昭10	明 文 社	240.9— 8
(民) 劉 振 東	中國幣制改造問題與有限銀本位制 民23	商 務 印 書 館	240.9— 9
滿 洲 專 情 案 內 所	滿洲に於ける通貨金融の過去及現在 昭11	編 所	240.9— 10
根 岸 信	支那及滿洲の通貨と幣制改革 昭12	東 亞 同 文 館	240.9— 11
○			
滿 鐵 調 査 課	滿洲の通貨不信用の支那土着民及關係外國人 に及ぼせる影響 昭4	編 所	240.9— P1
[241 貨 幣 理 論]			
高 畑 實 次 郎	貨幣ノ本質 昭3	同 文 館	241— 1
青 木 得 三	貨幣論 昭4	廣 松 堂	241— 2
(獨)カール・カウツキー著 向 岡 敏 二 郎 譯	貨幣論 昭5	改 造 社	241— 3
春 日 井 薫	貨幣論講義 改訂版 昭6	文 雅 堂	241— 4

編・著者名	書名	発行所	整理番號
春日井 順	貨幣及金融原理 2冊 昭8-11	文雅堂	241— 5
—	貨幣學說研究 昭8	—	241— 6
手塚 壽 郎	國際貿易ニ於ケル貨幣ノ職分ト貨幣數量說 大正13	同文館	241— 7
武田 春 次 郎	管理通貨論 昭8	日本評論社	241— 8
(民) 手 堀 時	貨幣價值論 民19	世界書局	241— 9
春日井 順	不換紙幣通貨論 昭8	文雅堂	241— 10
(米) アーヴィン・ フイッシャー 著 森川 太 郎 譯	貨幣の幻覺 昭8	大同書院	241— 11
東京商 議	明日の貨幣 昭8	千倉書房	241— 13
高垣 寅 次 郎	貨幣の生成 昭8	同文館	241— 14
宮 下 忠 雄	カン支那通貨論 昭8	東亞同文書院	241— 15
高垣 寅 次 郎	貨幣の職能 4版 昭8	同文館	241— 16
工務部工務訪問局	金貴銀賤問題叢刊 民19	中央印刷局	241— 17
(獨) ニフ・ハイニケ著 野口 弘 毅 譯	景氣と貨幣 昭10	崑山野店	241— 18
正 井 敬 次	貨幣價值の研究 昭10	日本評論社	241— 19
高 橋 正 雄	ケインズ貨幣論の研究 昭11	南 郊 社	241— 20
田 畑 爲 彦	銀及通貨論 昭11	宮海書房	241— 21
岡 田 保	貨幣本質の諸問題 昭11	有 斐 閣	241— 22
【 242 貨 幣 史】			
滿鐵調查課	哈爾濱大洋流通史 (調査資料第90) 昭3	編 所	242— 1
田 政 一	伯國幣制と貨幣史の梗概 昭8	正金銀行	242— 2
(民) 張 家 驛	中華幣制史 民15	民 國 大 學	242— 3
廣 畑 茂	支那貨幣史錢莊考 昭8	發 咬 社	242— 4
滿鐵調查課	ソヴエト聯邦貨幣史 昭3	大友毎日新聞社	242— 5
財 政 部	滿洲貨幣史 康3	編 所	242— 6
—	滿洲幣制史料 康3	—	242— 7
廣 畑 茂	支那貨幣金融發達史 昭11	叢 文 閣	242— 8
【 243 貨幣政策及制度】			
金原 啓之助	世界經濟の動向と金本位制度 昭8	叢 校 堂	243— 1

[24 貨 幣]

編・著者名	書名	年	發行所	整理番號
(英) H. P. M. S. 著 車谷馬太郎 譯	金問題と戦後に於ける金本位制	昭7	岡文館	243— 2
安藤俊之助	滿洲幣制の現在及將來	昭7	滿洲文化協會	243— 5
(民) 安新陳	中國近代幣制問題彙編	民21	商務印書館	243— 7
(民) 關百益	東亞民族國幣概要	民19	中東書局	243— 8
通貨制度研究会	通貨制度研究会報告 第1編	昭9	編 所	243— 9
(米) E. W. F. 著 清瀨經濟研究所譯	アメリカ貨幣政策批判	昭9	泰山書店	243— 10
(民) 劉是執	中國幣政及生計問題	民9	北京琉璃廠	243— 11
深井英五	通貨調節論	昭8	日本評論社	243— 12
平尾彌五郎	貨幣政策と景氣變動	昭9	一元社	243— 13
川島富九	滿洲國幣制と大連銀市場	昭8	滿洲文化協會	313— 14
持川一郎	滿洲國通貨金融制度統一略史 (調査資料第108) 昭10	昭10	滿鐵調査課	213— 15
財政部	滿洲幣制年表	昭2	編 所	243— 16
東洋經濟新報社	金本位制の研究	昭7	—	243— 17
飯島福司	支那幣制の研究	昭12	有斐閣	243— 18
深井英五	金本位離脱後の通貨政策	昭13	千倉書房	243— 19

[244 鑄貨・紙幣]

造幣局	造貨局六十年史	昭8	編 所	244— 1
—	造幣局長年報書	第57-60 昭7-9	—	244— 2

○

兩輝龍書	滿洲貨幣相場集成	昭4	滿鐵調査課	244— P1
東亞產業協會	支那の紙幣	昭10	編 所	244— P2

[245 地金銀]

兩輝龍書	大連ヲ中心トシテ見タル銀市場ト銀相場ノ研究 (調査資料第112) 昭5	昭5	滿鐵調査課	245— 1
萩原貞雄	印度ノ金流出ニ就テ	昭8	正金銀行	245— 2
松岡孝兒	金問題研究	昭8	有斐閣	245— 3
滿鐵調査課	銀問題ノ大要	昭8	編 所	245— 4
(民) 谷春帆	銀之發達動態的研究	民21	郵政管理局	245— 5
(民) 陳德微	金貴銀賤風潮	民19	大東書局	245— 6

編・著者名	書名	発行所	整理番號
(民) 實 國 憲	金貨銀賤之根本的研究 民19	逓 通 郵 局	245— 8
有 本 邦 造	國際銀塊取引と其原價計算 昭9	森 山 書 店	245— 9
新聞聯合社	金 と 銀 1931年の問題 昭6	編 所	245— 10
國際聯盟東京事務局	國際聯盟金委員會最終報告書 昭7	森 山 書 店	245— 11
—	英米獨佛に於ける金移動問題 昭6	—	245— 12
(民) 區 季 聲	廣州之銀業 民21	經濟調査局	245— 13
(英)Aピノニツク著 伊丹佐一郎譯	銀 と 支 那 昭6	大 同 書 院	245— 14
新 倉 正 一	銀 經 濟 論 昭11	改 造 社	245— 15
立 野 斗 雨	金銀の將來と我對外政策 昭11	日本外事協會	245— 16
外務省調査部	銀 の 問 題 昭12	日本國際協會	245— 17
東亞經濟調査局	管口の過爐銀 (經濟資料第10の8) 大正13	編 所	245— 18
木村精八郎	金の經濟知識 昭13	千 倉 書 房	245— 19
○			
東亞產業協會	最近支那銀問題の検討 昭10	編 所	245— P1
【 250 物 價 一 般 】			
風 早 義 隆	物價統計論 3版 昭5	杉 山 書 店	250— 1
河 津 通	物價問題に就いて 4版 大正14	東京銀行協會所	250— 2
高 城 仙 次 郎	物 價 問 題 3版 昭4	丸 善 株 式 會 社	250— 3
(民) 金 國 實	物價指數淺説 民15-22	商 務 印 書 館	250— 4
商工省統計課	物價統計表 (昭和6-10年) 昭9-11	編 所	250— 5
河北省貿易廳	河北物價指數季刊 1-3 民20	—	250— 6
農商部總務廳	全國物價統計表 民國9-12年 民11-14	—	250— 7
關 東 廳	物價貨銀調査年報 昭和5-11年 昭7-12	—	250— 8
安 藤 松 之 助	滿洲參考物價統計 昭6	滿 洲 調 査 課	250— 9
—	滿洲物價調査 (調査資料第32) 昭4	—	250— 10
森 田 俊 三	物價指數の理論と實際 昭10	東 洋 出 版 社	250— 11
牧 野 塚 智	物 價 の 話 (朝日常識講座第7) 昭4	東京朝日新聞社	250— 12
三 宅 喜 二 郎	我が國ニ於ケル貨銀及物價ノ統計的研究 昭7	森 山 書 店	250— 13

[26 保 險]

編・著者名	冊 名	發 行 所	整理番號
總務廳統計課	塔賓物價統計表康德元年度 康3	編 所	250— 15
都 野 之 助	物價指數論 昭	岡 文 館	250— 16
(民) 馮 華 年	中國之指數	商 務 印 書 館	250— 17
高 城 仙 次 郎	物 價 問 題 昭4	九 濟 株 式 會 社	250— 18
中 澤 辨 次 郎	米價變動の智機 昭11	學 藝 社	250— 20
東 亞 經 關	支那ニ於ケル銀ト物價 昭11	編 所	250— 21
本 位 田 祥 男	農産物の價格統制 昭11	有 斐 閣	250— 22
日本學術振興會	米價の長期變動 昭10	編 所	250— 23
外務省通商局	最近世界生産と物價の動向 昭13	日 本 國 際 協 會	250— 24
豐 崎 隆	金利と物價 昭12	高 陽 書 院	250— 25
桑 原 哲	物 價 論 昭13	日 本 評 論 社	250— 26
(譯) シムラハト 山 邊 六 郎 譯	價 格 政 策 論 昭13	森 山 書 店	250— 28
[260 保 險]			
簡易保險局	簡易保險局統計年報 昭和5-9年度 昭7-11	編 所	260— 1
商工省保險部	保 險 年 鑑 昭和8年度 3册 昭9-10	—	260— 2
郵政總局	保 險 編 (交通法規類纂) 類5	—	260— 3
○			
大 阪 商 大	都市失業保險の過程 2册 昭9	編 所	260.0— 1
○			
酒 井 正 三 郎	保 險 經 營 學 昭	森 山 書 店	281— 1
○			
明 治 生 命	明治生命保險株式會社報告書 第51回 昭7	編 所	283— 1
帝 國 生 命	帝國生命保險株式會社報告書 第46回	—	283— 2
—	生命保險統計圖表 昭4	—	283— 3
廣 戶 彌 三 郎	海上保險體系 昭10	文 雅 堂	283— 4
滿 洲 生 命	[滿洲生命]營業報告書 第1回 康6	編 所	283— 5
東洋經濟新報社	生命保險會社の批判 昭13	—	283— 6

【 27 商 業】

編者名	書名	發行所	整理番號
末高信	生命保險論 昭12 ○	千倉書房	263.1—1
葛城照三 【 27 商 業】 【 270 總 記】	海上保險 昭13	巖松堂	263.4—1
松島兜夫	通商條約講話 昭12	國際經濟研究所	270.1—1
井野春昭	各國商標法提要 昭2	巖松堂	270.2—2
遼寧省政府編	商業註冊暫行規則 民17 ○	編 所	270.1—P1
中外商業新報 (民) 陸 稼 軒	市場用語解說 昭7 實用商業辭典 民24 ○	泰山書店 商務印書館	270.2—1 270.2—2
大連商議	滿洲商工年鑑 昭10 ○	編 所	270.4—1
商工省統計課	商工統計表 第1-6次 6冊 大正15-昭6	東京統計協會	270.5—1
東京商議	[東京商工會議所]統計年報 昭和6-11年度 昭7-11	編 所	270.5—2
大阪商議	[大阪商工會議所]統計年報 昭和7-12年度 昭8-13	—	270.5—3
京都商議	[京都商工會議所]統計年報 昭和6年度 昭7	—	270.5—4
橫濱商議	[橫濱商工會議所]年報 第20-23回 昭7-11	—	270.5—5
名古屋商議	[名古屋商工會議所]統計年報 昭和6-10年度 昭7-11	—	270.5—6
博多商議	[博多商工會議所]統計年報 昭和4-11年度 昭4-11	—	270.5—7
金澤商議	[金澤商工會議所]統計年報 昭和5-9年度 昭6-10	—	270.5—8
函館商議	[函館商工會議所]年報 昭和5年度 昭6	—	270.5—9
小樽商議	[小樽商工會議所]統計年報 昭和5-8年度 昭6-9	—	270.5—10
大連商議	[大連商工會議所]統計年報 昭和6-7年度 昭7-8	—	270.5—11
釜山商議	[釜山商工會議所]統計年報 昭和6-11年度 昭6-11	—	270.5—12
元山商議	[元山商工會議所]統計年報 昭和4-5年度 昭5-6	—	270.5—13

【 27 商 業】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
安 東 商 議	[安東商工會議所]統計年報 昭和9-10年度 昭9-11	編 所	270.5—14
鐵 嶺 商 議	[鐵嶺商工會議所]統計年報 昭和6-7年度 昭8	—	270.5—15
新 京 商 議	[新京商工會議所]統計年報 昭和7-9年度 昭9-11	—	270.5—16
臺 灣 總 督 府	臺灣商工統計年報 第11次 昭9	—	270.5—17
平 豫 府 商 議	[平豫商工會議所]統計年報 昭和6-7年度 昭9-7	—	270.5—18
松 山 商 議	[松山商工會議所]統計年報 第3次 昭7	—	270.5—19
商 工 省 統 計 課	商工省統計表 昭和6-10年度 昭9-11	—	270.5—20
京 畿 道 商 議	商工水産統計 昭和5年度 昭5	—	270.5—21
下 關 商 議	[下關商工會議所]統計年報 昭和5年度 昭5	—	270.5—22
藤 本 幸 太 郎	商業統計の常識 昭6	千 倉 書 房	270.5—23
關 東 局	關東局業態調査結果表 昭10	編 所	270.5—24
—	關東局業態調査記述編 昭11	—	270.5—25
奉 天 商 議	[奉天商工會議所]統計年報 昭11	—	270.5—26
○			
(民) 錢 永 源	商 標 彙 編 民20	商 標 彙 編 社	270.9—1
奉 天 市 商 會	商 業 彙 編 2冊 大同2-康3	編 所	270.9—2
神 戶 商 議	神戶商工情勢 昭10	—	270.9—3
東 亞 實 業 調 査 會	大日本商工發展錄 昭7	—	270.9—4
大 連 商 議	大連商工名錄 昭8	—	270.9—5
廣 島 商 議	[廣島]商工人名錄 昭9	—	270.9—6
金 澤 商 議	金澤商工人名錄 昭8	—	270.9—7
奉 天 興 信 所	滿洲華商名錄 第2回 昭8	—	270.9—8
滿 洲 通 信 社	日滿商工名鑑 昭8	—	270.9—9
東 亞 同 文 會	清國商業綜覽 5冊 昭8-11	九 書	270.9—10
奉 天 總 商 會	奉天省城商工名錄 民14	編 所	270.9—11
新 京 市 商 會 編	新京市商會會員彙編 3冊 大同2-康2	—	270.9—12
朝 日 新 聞 社	最近の海外新市場 2冊 昭7	—	270.9—13
滿 鐵 商 工 課	滿洲商工概覽 昭5	編 所	270.9—14

【 27 商 業】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
外務省	南滿洲ニ於ケル商業 明10	金 港 堂	270.9—15
慶尚南道公廳	慶南の商工 昭6	編 所	270.9—16
咸鏡南道廳	[咸鏡南道]商工業案內 昭4	—	270.9—17
臺灣總督府殖産局	臺灣ノ商工業 昭5	—	270.9—18
(民)池澤謙等	北平市工商業概況 民21	北平市社會局	270.9—19
滿鐵商工課	滿洲商工事情概要 昭7	編 所	270.9—20
—	商工施設梗概 大正15	—	270.9—21
佐藤四郎	滿洲國の娘々廟會と其市場研究 昭8	滿洲文化協會	270.9—22
武漢實業部	武漢之商工業 民21	編 所	270.9—23
長春市商會	長春市商會市會員行業分別調查冊 大同1	—	270.9—24
滿鐵商工課	滿洲商工事情 昭9	—	270.9—25
滿鐵哈爾濱事務所	北滿主要都市商工概覽 昭3	—	270.9—26
日滿實業協會 滿洲支分部	滿洲國人商工名錄 昭10	—	270.9—27
蒙 政 部	通遼、伊胡塔、錢家店、甘旗卡、商工業狀況 調查報告書 昭2	—	270.9—28
哈爾濱道外商會	哈爾濱特別市道外商號名簿 康2	—	270.9—29
日滿實業協會	日本海商業委員會議事錄 第1回 昭10	—	270.9—30
—	日本海商業委員會資料 第1-3輯 昭11	—	270.9—31
大連商工會議所	大連商工業案內 昭11-13	—	270.9—32
安東總商會	安東商工業題名錄 康1	—	270.9—33
莊國四郎	大連土木建築材料商組合提要 昭10	材 料 商 組 合	270.9—34
李 明 達	[哈爾濱特別市道外商會]會刊 康3	哈爾濱道外商會	270.9—35
司法部總務司	滿洲ニ於ケル合股 (司法資料第4) 康3	編 所	270.9—36
撫順實業協會	撫順商工要覽 昭11	—	270.9—37
濱江省工商視察團	濱江省工商視察團觀光目錄 康3	—	270.9—38
濱江省公署實業課	濱江省名縣旗商工概況 康3	—	270.9—39
哈爾濱鐵路局	哈爾濱ヲ中心トスル各國商工業ノ動向 昭11	—	270.9—40
小樽高商	小樽高等商業學校創立25週年紀念論文集 昭11	—	270.9—41
佐藤純吉	滿蒙商工發展錄 昭7	東亞實業調查會	270.9—42

【27 商 業】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
東 亞 經 調	在留支那貿易商 (經濟資料第14の3) 昭9	編 所	270.0—43
朝鮮總督府	朝鮮人の商業 大正14	—	270.9—44
—	市街地の商圈 (調査資料第11) 大正15	—	270.9—45
滿 鐵 臨 經	滿洲に於ける外商の勢力 昭4	—	270.9—46
鹿 井 厚	北滿に於ける各特産商の大豆取扱數量 昭4	滿鐵調査課	270.9—47
滿 鐵 臨 經	大連に於ける主要外商と其業態 昭9	—	270.9—48
安 東 商 調	安東商工名錄 昭10	編 所	270.9—49
滿鐵調査課	滿洲特産界に於ける官商の活躍 昭9	—	270.9—50

○

全 國 經 聯	世界新市場視察談 昭9	編 所	270.0—P1
正 野 友 彦	甘珠爾廟及び定期市 昭1	—	270.9—P2
滿鐵沈南公所	沈南商工事情 昭4	—	270.9—P3
釜 山 商 調	釜山商工業案内 2冊 昭9-10	—	270.9—P5
吉林省商工公所	吉林省城商工概要 昭9	—	270.9—P6
神 戸 市	神戸市商業調査速報 昭10	神 戸 商 議	270.9—P7
日滿實業協會	[日滿實業協會]會則及會員名簿 昭10	編 所	270.9—P8
日本經濟聯盟會	佛蘭西法=於ケル營業財産ノ法律的保護=就 テ 昭11	—	270.9—P9

【271 商 學】

廣 瀨 高 商	商 學 昭12	編 所	271—1
平 野 常 治	商業組織論 3版 昭12	時 潮 社	271—2

【272 商 業 史】

(民) 國 編	中國商業史 2版 民15	—	272—1
(民) 郵 行 興	中國商業史 民21	世 界 書 局	272—2
遠 藤 正 男	日本近世商業資本發達史論 昭11	日 本 評 論 社	272—3

【273 商 業 政 策】

全 國 經 聯	通商政策の趨向 昭9	編 所	273—1
高 嶺 明 雄 等	商 工 行 政 (自治行政叢書第17) 昭10	常 盤 書 院	273—2
外務省調査部	英國最近ノ通商政策 昭10	日 本 國 際 協 會	273—3

〔27 商 業〕

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
外務省調査部	各國通商の動向と日本 2冊 昭11-12	日本國際協會	273— 4
上田 貞次郎	最近商業政策 昭12	日本評論社	273— 5
○			
全 國 經 聯	日滿通商問題 昭11	編 所	273—P1
〔 274 商業機關及配給組織〕			
(北) ヴェーネル・スラウ 河原 茂太郎譯	市場組織論 昭9	杉山書店	274— 1
福井 敬太郎	市場論 (商業全集第12) 昭5	千倉書房	274— 2
藤田 國之助	取引所論 (商業全集第13) 昭5	—	274— 3
(民) 橋 蔭 溥	中國交易所論 民21	商務印書館	274— 4
露國大蔵省編 滿鐵調査課譯	獨逸行商人制度ノ研究ト獨逸貿易ノ振興ニ貢 獻セル朝鮮ノ諸機關 大正12	編 所	274— 5
東京株式取引所	東京株式取引所 昭7	—	274— 6
滿鐵調査課	滿洲ニ於ケル日本取引所 昭6	—	274— 7
岡 藤 征 三	滿洲ニ於ケル糧棧 (調査資料第151) 昭6	滿鐵調査課	274— 8
内 池 康 吉	市場經濟ト倉庫經濟 昭5	森山書店	274— 9
東京取引所	東京株式取引所史 昭8	編 所	274— 10
大友堂島米穀取引所	[大阪堂島米穀取引所]營業報告書 第113期 昭7	—	274— 11
大阪三品取引所	[大阪三品取引所]事業報告書 昭7	—	274— 12
岡 藤 征 三	滿洲ニ於ケル邦人倉庫業 (調査資料第117) 昭5	滿鐵調査課	274— 13
奉天取引所	[奉天取引所]年報 3冊 昭8-10	編 所	274— 14
大阪三品取引所	三品乃榮 昭7	—	273— 15
—	大阪三品取引所定款 昭7	—	274— 16
—	[大阪三品取引所]業務規程 昭5	—	274— 17
關東廳長春取引所	[關東廳長春取引所]年報 昭7	—	274— 18
東京株式取引所	[東京株式取引所]統計年報 昭9-11	—	274— 19
茶葉組合中央會議所	海外新販路茶市場調査報告 昭10	—	272— 20
商工省貿易局	本邦人商社ノ經營ニ係ル出商業取引 昭10	—	274— 21
向 井 麗 松	配給市場組織 昭10	丸善株式會社	274— 22
鈴木 保 良	配給組織ノ常識 昭11	千倉書房	274— 23

【27 商 業】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
滿鐵經濟調查局	事變後ニ於ケル糧棧ノ變革 (經濟資料第112) 昭11	編 所	274—24
臨時產業調查局	呼蘭縣城鎮商會事情 康3	—	274—25
小川 一 郎	北滿糧棧調査附表 昭12	北滿經濟調査所	274—26
新京特別市商會	新京特別市商會々員彙編 康4	編 所	274—28
臨時產業調查局	特産取引事情 康4	—	274—29
朝鮮總督府	朝鮮ノ市場經濟 昭4	—	274—30
臨時產業調査局	安東省に於ける商會 康4	—	274—31
小林 行 昌	倉 庫 論 昭12	松 堂	274—32
向井 梅 次	配 給 理 論 昭12	文 閣	274—33
滿洲特産中央會	歐洲に於ける滿洲大豆其ノ他取引事情	編 所	274—34
上野 鶴 一	購買管理、倉庫管理 昭13	千倉書房	274—35
松浦 誠 之	商業組合の話 昭13	昭和圖書會社	274—36
○			
神 戶 商 調	小賣商店並中小工業ノ自助策 昭10	編 所	274—P1
○			
新聞聯合社	英米ノ取引所 昭9	編 所	274.1—1
○			
朝鮮取引所	朝鮮取引所關係法規 昭6	編 所	274.1—P1
【275 商業 經營】			
全國商會	商店法ニ關スル調査 昭8	編 所	275—1
大連商會	大連市ニ於ケル營業分布ニ關スル調査 昭11	—	275—2
大阪商會	大阪市内主要商店街調査報告 昭11	—	275—3
井上 貞 親	商店法論 昭12	松 堂	275—4
【276 商 品】			
(民)同志聯	中國重要商品 民20	逓 傳 局	276—1
臺灣總督府	臺灣商品概説 昭7	編 所	276—2
馬場 謙 太郎	支那重要商品誌 昭3	禹 城 學 會	276—3
大阪府立貿易館 新京貿易分館	最近の滿洲に於ける商品傾向 昭11	編 所	276—4

【27 商 業】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
東 亞 經 調	世界人造絹絲の需給趨勢 (經濟資料第14の1) 昭3	編 所	276— 5
臨時產業調査局	煙草ニ關スル調査報告書 昭3	—	276— 6
—	海産物ニ關スル調査報告書 昭3	—	276— 7
—	小麦粉に關する調査報告書 昭3	—	276— 8
財 政 部	滿洲重要輸入商品價格構成表 昭12	—	276— 9
—	滿洲重要輸出商品價格構成表 昭12	—	276— 10
—	滿洲重要輸出商品價格構成調査集計表 昭12	—	276— 11
荻田才之助	重要貿易品の研究 大正14	巖 松 堂	276— 12
津田新太郎	化學商品辭典 昭10	岡 文 館	276— 13
西 依 六 八	商品學講義 昭7	九 義 堂	276— 14
小林行昌	商品配給論 昭12	巖 松 堂	276— 15
坂口武之助	高等商品學 昭10	三 省 堂	276— 16
白崎草一郎 佐久間哲三	商品の科學 昭13	國 勢 社	276— 17
加 藤 一	探察ヲ中心トスル重要商品ノ實際知識	巖 松 堂	276— 18
滿鐵調查課	撫順炭ノ販路 大正14	編 所	276— 19
○			
國 勢 社	商品年鑑 昭10	編 所	276— P1
全 國 兩 道	特産品案内 昭6	—	276— P2
【277 相 場 投 機】			
東洋經濟新報社	株界二十年 3冊 昭8-10	編 所	277— 1
安 達 太 郎	經濟市況ノ全知識 昭9	商況研究會	277— 2
滿鐵經濟課	上海銀元對日本圓裁定相場表 昭9	編 所	277— 3
滿鐵人事課	滿洲ニ於ケル銀建物價指數 昭4	—	277— 4
【278 貿 易】			
(米)グリフオン香 原 猛雄	外國貿易原論 昭4	大 同 醫 院	278— 1
尚工省貿易局	各國に於ける輸入制限 昭10	内外滿工時報社	278— 2
木村増太郎	支那南洋に對する企業貿易論 大正13	海外事情研究會	278— 3
手 塚 壽 郎	最惠國約款論 昭10	森 山 書 店	278— 4

【27 商 業】

編者名	書名	発行所	整理番號
谷口 青 彦	貿易統制の研究 昭10	有 斐 閣	278— 5
北野 大 吉	貿易思想史 昭11	官 報 局	278— 6
生島 廣 治 郎	現代の貿易と貿易政策 昭11	日 本 評 論 社	278— 7
楠 崎 敏 雄	貿易政策論 昭11	有 斐 閣	278— 8
濱 谷 國 藏	貿易會計 昭11	同 文 館	278— 9
上 坂 西 三	統一國際貿易規則の研究 昭11	有 朋 堂	278— 10
日 本 經 商	我國貿易統制に關する關係業者の意見並に 參考資料 昭11	編 者 所	278— 11
油 本 豐 吉	外國貿易政策 昭12	櫻 松 堂	278— 12
宮 川 貞 一 郎	新貿易方策と爲替 昭9	雄 風 館	278— 13
濱 谷 善 一	日本貿易論 昭13	科學工業社	278— 14
上 坂 西 三	貿易實務 昭13	泰 文 社	278— 15
【278.4 年 鑑】			
滿 洲 調 査 課	北支那貿易年報 大正8-昭和5年 22册 大正10-8	編 者 所	278.4— 1
滿 洲 經 理 課	滿洲貿易年報 昭和6年 昭7	—	278.4— 2
滿 洲 調 査 課	滿洲貿易詳細統計 大正14-昭和6年 7册 大正15-昭7	—	278.4— 3
經 濟 部 (財 政 部)	外國貿易統計年報 4册 大同3-昭3	—	278.4— 4
大 阪 市 經 理 部	支那貿易年報 民國18-19年 昭5-8	—	278.4— 5
函 館 稅 關	函館稅關外國貿易年表 6册 昭7-10	—	278.4— 6
滿 洲 貿易協會	世界貿易年鑑 昭8-13	—	278.4— 7
青 島 日 本 商 議	青島港貿易統計年報 4册 昭8-11	—	278.4— 8
臺 灣 總 督 府	臺灣貿易年報 2册 昭7-8	—	278.4— 9
朝 鮮 總 督 府	朝鮮貿易年報 5册 昭8-11	—	278.4— 10
大 阪 府 貿易館	大阪貿易彙纂 6册 昭8-11	—	278.4— 11
滿 洲 鐵 道 部	大連港貨物年報 4册 昭8-11	—	278.4— 12
滿 洲 經 理 課	北支那外國貿易統計年報 3册 昭10-11	—	278.4— 13
【278.5 統 計】			
東 京 商 議	中華民國外國貿易統計表 13册 昭4-9	編 者 所	278.5— 1
大 藏 省	外國貿易月表 昭8	—	278.5— 2

國・著者名	書名	發行所	整理番號
關東廳	關東州貿易統計 6册 昭8-11	編 所	278.5— 3
臺灣總督府	臺灣貿易三十年對照表 自明治30年 至大正14年 昭12	—	278.5— 4
經濟部 (財政部)	外國貿易統計月報 大同2	—	278.5— 5
漢口日本商會	漢口貿易經濟統計 昭5	—	278.5— 6
三井物產大連支店	滿蒙貿易統計總覽 1912-1919年 大正9	—	278.5— 7
(民) 孫始六等	六十五年來中國國際貿易統計 民20	—	278.5— 8
大阪市產業部	上海天津貿易統計 民國15年 昭2	—	278.5— 9
滿鐵鐵道部	大連港輸出統計 昭7	—	278.5— 10
日本總論協會	國際水產物並罐詰類貿易統計 昭8	—	278.5— 11
東京商會	中華民國及滿洲國貿易統計表 昭10	—	278.5— 12
滿工省貿易局	日埃貿易統計 昭10	—	278.5— 13
大阪府貿易館	世界貿易統計要覽 昭11	—	278.5— 14
滿工省貿易局	日印貿易統計 昭11	—	278.5— 15
滿鐵產業部	滿洲對北支貿易詳細統計 昭11	—	278.5— 16
外務省通商局	世界各國對外對日貿易統計 昭12	—	278.5— 17
大阪省	日本外國貿易四半期表 昭13	—	278.5— 18
民間實業部	最近三十四年來中國通商口岸對外貿易統計 民24	商務印書館	278.5— 19
(民) 唐有壬	最近中國對外貿易統計圖解 民20	中國銀行	278.5— 20
(民) 蔣正雅等	中日貿易統計 民22	中華書局	278.5— 21

[278.9 貿易 事情]

(民) 後厚培	世界貿易狀況 民19	大東書局	278.9— 1
國際聯盟事務局	最近世界貿易概觀 1932年度 昭8	編 所	278.9— 2
三菱經濟研究所	東洋及南洋諸國の國際貿易と日本の地位 昭8	—	278.9— 3
朝日新聞社	東亞貿易大觀 昭10	—	278.9— 4
滿工省貿易局	最近三年世界主要國外國貿易要覽 昭11	—	278.9— 5
—	日印支間貿易調整ニツイテ 昭11	—	278.9— 6
外務省通商局	世界各國對日貿易業者名鑑 昭12	國際經濟研究所	278.9— 7

[A 滿 洲 國]

【27 商 業】

編者姓名	題 名	発行所	整理番号
谷 村 武	南滿洲三港仲繼貿易 自大正10年 至大正13年 大正13	滿鐵調査課	278.9—A1
滿鐵哈爾濱事務所	蒙古貿易と東支鐵道 大正13	鐵 所	278.9—A2
滿鐵調査課	現在に於ける日滿通商狀況 昭4	—	278.9—A3
哈爾濱日本商議	滿洲里、海拉爾を中心とする蒙古貿易調査 昭4	—	278.9—A4
滿鐵調査課	大連港仲繼貿易振興委員會報告書 昭5	—	278.9—A5
大連商議	滿洲輸入本邦品と他國品との競争事情 昭7	—	278.9—A6
滿鐵天津事務所	冀東特殊貿易の實情 (北支經濟資料第18) 昭11	—	278.9—A7
滿洲興銀	滿洲貿易要覽 昭5	—	278.9—A8
【 B 日 本 】			
東 亞 經 典	在留支那貿易商 (經濟資料第14の3) 昭3	鐵 所	278.9—B1
金 澤 商 議	最近一ケ年に於ける金澤市輸入品調査 昭5	—	278.9—B2
臺灣總督府	臺灣貿易概覽 昭5	—	278.9—B3
新 義 州 税 關	[新義州税關]貿易要覽 6冊 昭5-11	—	278.9—B4
長 崎 税 關	[長崎税關]貿易要覽 昭7	—	278.9—B5
東京手形交換所	最近五年間外國貿易の趨勢 昭7	—	278.9—B6
橫 濱 税 關	橫濱港外國貿易概況 昭7	—	278.9—B7
釜 山 税 關	釜山港貿易概覽 5冊 昭7-11	—	278.9—B8
朝鮮總督府	朝鮮貿易要覽 2冊 昭7-8	—	278.9—B9
函 館 税 關	外國貿易概況 2冊 昭7-9	—	278.9—B10
神 戶 商 議	對英貿易概觀 昭3	—	278.9—B11
門 司 税 關	門司税關管内貿易趨勢 自大正11年 至昭和10年 5冊 昭7-11	—	278.9—B12
茶業組合中央會	日本茶貿易概觀 昭10	—	278.9—B13
商工省貿易局	本邦外國貿易狀況 2冊 昭10-11	—	278.9—B14
宮 田 保 郎	日本貿易島瞰圖 昭10	白 鶴 社	278.9—B15
函 館 税 關	函館税關管内主要輸出入品表 昭10	鐵 所	278.9—B16
外務省通商局	現下の我通商問題 昭11	日本國際協會	278.9—D17
【 C 民 國 】			
(民) 陳 重 民	今世中國貿易通志 民13	商務印書館	278.9—C1

【27 商 業】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
滿鐵調査課	最近支那主要港に於ける仲糧貿易と大連港 (調査資料第37) 大正13	編 所	278.9—C2
(民) 武 埜 伸	中國國際貿易史 民16	商務印書館	278.9—C3
—	中國國際貿易概論 民21	—	278.9—C4
東亞經濟調查	支那貿易の趨勢 (經濟資料第14の12, 16の3) 2冊 昭3-5	編 所	278.9—C5
民間實業部	民國31年 第1-4季貿易報告 民23	—	278.9—C6
青島日本商團	青島港貿易概況 昭7	—	278.9—C7
酒見健三	北支那の外國貿易と列國の商勢 昭10	學 藝 社	278.9—C8
【 D 蘇 聯】			
高橋克己譯	ソウエート聯邦の輸出入貿易 昭4	滿鐵調査課	278.9—D1
滿鐵調査課	ソウエート聯邦の國營貿易論 2冊 昭4	編 所	278.9—D2
—	一九二七年度に於けるソウエート聯邦の對東方諸國貿易 昭3	—	278.9—D3
—	蘇國の對外貿易 大正13	—	278.9—D4
【 T 其 他】			
商工省貿易局	東アフリカ經濟事情並ニ對日本貿易狀況 昭11	編 所	278.9—T1
—	モロツコ經濟事情並ニ日本トノ貿易事情 昭11	—	278.9—T2
—	シリア地方經濟事情並ニ日本トノ貿易事情 昭11	—	278.9—T3
—	イラク經濟事情並ニ日本トノ貿易事情 昭11	—	278.9—T4
—	パレスタイン經濟事情並ニ日本トノ貿易事情 昭11	—	278.9—T5
—	土耳其經濟事情並ニ日本トノ貿易事情 昭11	—	278.9—T6
—	南阿弗利加聯邦經濟事情並ニ貿易狀況 昭11	—	278.9—T7
【パンフレット】			
神戶商團	數字的ニ見テ最近通商關係 昭9	編 所	278—P1
日本經濟聯	日米通商評議會の成立 昭9	—	278—P2
神戶商團	日米貿易の推移 昭9	—	278—P3
櫻 潤 民 國	貿易統計の話 昭9	—	278—P4
橋本正金銀行	輸出關係の Rags 及 Wastes = 就テ 昭9	—	278—P5
輸出輸入同業會	過去十ヶ年間日英綿布輸出數量比較表、海外市場ニ於ケル各國綿布輸入狀況 昭10	—	278—P6
神戶商團	日滿日支貿易ノ現勢 昭10	—	278—P7

【20 會 計】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
商工省貿易局	日支貿易ノ概況 昭10	編 所	278—P8
—	最近三年本邦外國貿易要覽 昭11	—	278—P9
東京工業大學	日濠貿易ノ發展ト其將來性 昭11	—	278—P 10
滿洲特産中央會	製造の相互貿易機構と滿濠通商問題 昭4	—	278—P 11
神 戶 商 學	輸出貿易上の諸問題 昭9	—	278—P 12
【 280 會 計・簿 記】			
(民) 楊 萬 因	稽核帳目研究 民19	世界書局	290— 1
—	成本會計研究 民19	—	280— 2
岩 濤 五	會計實務誌 昭9	興 文 館	280— 3
巖 松 堂	會計法規集 昭5	編 所	280— 4
會計檢査院	檢査報告集 昭和5-8年度 3冊 昭3-10	—	280— 5
(民) 柳 家 源	中國政府會計論 2冊 民23	商務印書館	290— 6
(佛) W. B. LAWRENCE	成本會計 民23	—	280— 7
(民) 橋 本 健 造	支那會計學研究 昭5	大同書院	280— 8
長谷川安兵衛	標準原價の研究 昭9	森山書店	280— 9
—	原價會計學 2冊 4版 昭8	泰 文 社	280— 10
魚谷傳太郎	原價計算 5版 昭5	巖 松 堂	280— 11
塚 本 文 治	實務計算知識 2版 大正15	松島三松堂	280— 12
渡 邊 寅 二	貸借對照表の作成ト吟味 2版 昭7	雄 風 館	280— 13
小 宮 敏 郎	貸借對照表分析論 昭9	高 橋 書 院	280— 14
品 中 彌 一	勘定學說研究 昭11	森 山 書 店	280— 15
(民) 橋 本 健 造	政府會計 民23	商務印書館	280— 16
三 宅 則 義	會計學講義 昭9	泰 文 社	280— 17
藤 塚 鐵 岳	官廳簿記法精義 2冊 3版 昭8-9	日本法律研究會	280— 18
陶 山 顯 太郎	會計監査第一篇總論 昭5	大 同 書 院	280— 19
(民) 野 田 準	銀行會計 民23	商務印書館	280— 20
武 藤 榮 治 郎	會計法規通論 4版 昭10	興 文 館	280— 21
花 田 七 五 三	官廳會計 4版 昭10	東洋出版社	280— 22

編・著者名	書名	発行所	整理番號
廳務總主計課	會計例規類集 康2	編 所	280—23
太田哲三	財務諸表準則解説 昭9	高橋書院	280—24
長谷川安兵衛	原價會計概論 昭11	泰文社	280—26
木村和三部	銀行簿記論 (大阪商大研究叢書第4) 昭10	有斐閣	280—27
日本會計學會	評價總論 各論、學說研究 3冊 昭12	森山書店	280—28
帝國地方行政學會	會計法規輯覽 2冊 昭8	編 所	280—29
野田照夫	官廳簿記法通解 昭11	法學書院	280—30
伊藤正一	原價計算論 昭4	巖松堂	280—31
中島勝太郎	會計監査要論 昭7	—	280—32
土岐政敏	原價計算と價格政策の原理 昭10	東洋出版社	280—33
(民)王培華	中國事前審計制度 民25	正中書局	280—34
(民)施仁夫譯	陀氏成本會計 2冊 民27	商務印書館	280—35
井上運雄	簿記組織論 昭13	森山書店	280—36
吉田良三	間接費の研究 昭12	—	330—37
上野運輔	簿記原理 昭11	有斐閣	280—38
太田哲三	貸借對照表の作り方と見方 昭7	大阪屋號	280—39
平山慶次郎	會計法規義解 昭13	自治館	280—40
高瀬莊太郎	會計讀本 昭12	日本評論社	280—41
長谷川安兵衛	會計學 昭13	文泉堂	280—42
河出書房	經營計算全集 昭13	編 所	280—43



【 1 産 業 】

編者名 書 名 発行所 整理番號

3 産 業

【 300 産 業 一 般 】

(民) 朱 鷗 蓮	工商法詳解彙編 民23	世界書局	300.1— 1
實 業 部	實業部法令輯覽 民2	編 所	300.1— 2
資源部編纂局	軍事産業資料 昭10	編 所	300.2— 1
中 外 商 業	日本産業資料大系 12冊 大正15-昭2	編 所	300.3— 1
	1-3 農 業、林 業		
	4 水産業、鑛業		
	5-7 工 業		
	8-9 商 業		
	10 商業、運送業		
	11 運 送 業		
	12 制度、政策		
新 知 社	滿洲産業大系 5冊 昭8	—	300.3— 2
	第1-2卷 農 業 篇		
	第3-4卷 鑛 業 篇		
	第 5 卷 各種工業篇		
日 本 評 論 社	現代産業叢書 8冊 昭3-6	—	300.3— 3
	第1卷 農業、鑛業編		
	第2卷 金融、保險編		
	第3卷 商業、交通編		
	第4-5卷 工 業 編		
	第6卷 世界産業大觀		
	第7卷 日本經濟圖表		
	第8卷 世界經濟圖表		
東 京 市 役 所	東京市産業統計年鑑 第2-8回 6冊 昭7-12	編 所	300.4— 1

編者名	書名	発行所	整理番號
○			
參 謀 本 部	滿蒙産業統計圖表 昭7	兵用圖書會社	300.5— 1
滿鐵調査課	滿洲産業統計 昭和4-7年度 4册 昭5-9	編 所	300.5— 2
商工省統計課	商工統計質疑應答集 昭3	—	300.5— 3
大 阪 府	風水禍ニ因ル産業被害統計 昭10	—	300.5— 4
長 澤 謙 作	産業統計ノ理論及實務 12卷 昭3	統計友社	300.5— 5
滿洲實業館	滿洲産業圖解 昭12	編 所	300.5— 6
○			
大阪府内務部	大阪府生産統計の概要 昭8-10	編 所	300.5— P2
【300.9 各國産業事情】			
〔 A 滿 洲 國〕			
朝鮮統計監府	間島産業調査書 昭13	編 所	300.9—A1
明 志 閣	滿洲實業案	—	300.9—A2
峯 旗 良 充	吉林省産業ノ現状 昭4	滿鐵調査課	300.9—A3
田 中 末 廣	滿蒙ノ産業研究 昭3	大阪屋號	300.9—A4
關東都督府	滿蒙産業誌 大正5	民友社	300.9—A5
農商務省	東部內蒙古産業調査 2册 大正5	編 所	300.9—A6
興安總署	産業調査報告書(興安北分省三河地方及海拉爾河沿岸地方) 昭和	—	300.9—A7
丸 毛 信 勝	大滿洲國ノ産業 昭7	敎 堂	300.9—A8
滿鐵中央試驗所	滿洲産物分析試驗成績表 大正8	編 所	300.9—A9
滿洲特産中央會	滿洲特産關係海外情報 昭3	—	300.9—A 10
中 央 銀 行	佳木斯を中心とする河下特産事情 昭3	—	300.9—A 11
滿洲國情報社	眞實 滿洲之實業鑑 昭10	—	300.9—A 12
吉林省公署	吉林省産業施設概要 昭4	—	300.9—A 13
農 業 部	滿洲國産業概観 昭3	—	300.9—A 14
奉天省公署	農工商要覽 昭4	—	300.9—A 15
【 B 日 本】			
野村證券會社	我國主要産業の結構 昭5	編 所	300.9—B1

【 3 産 業 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
内外産業調査會	内外産業資料 昭7	編 所	300.9—B2
伊 藤 博 文	國産實業、工業資料 昭10	拓務省印刷行會	300.9—B3
青 森 縣	青森縣之産業 昭5	編 所	300.9—B4
日滿實業協會	日滿實業協會總會報告 第3回 昭10	—	300.9—B5
—	[日滿實業協會]事業報告 昭10	—	300.9—B6
三菱經濟研究所	日本の産業と貿易の發展 昭10	—	300.9—B7
北 海 道 廳	北海道の商工要覽 昭5	—	300.9—B8
東 亞 經 調	本邦基礎産業集中の現勢 (經濟資料第13の4) 昭2	—	300.9—B9
岩井良太郎	日本新興産業讀本 昭12	千倉書房	300.9—B 10
樺 新 聞 社	生産力擴充産業讀本 昭12	—	300.9—B 11
日滿實業協會	(日滿實業協會)理事会、評議員會議事録 昭2	—	300.9—B 12
【 C 民 國 】			
(民) 楊 大 金	近代中國實業通志 民23	中國日報社	300.9—C1
(民) 吳 承 洛	今世中國實業通志 2册 民22	商務印書館	300.9—C2
民國實業部	中國實業志 2册 民22	編 所	300.9—C3
(民) 朱 乃 康	中華民國產業組合運動史 昭11	高橋書院	300.9—C4
千石興太郎	中華民國の合作運動 昭11	産業組合中央會	300.9—C5
滿鐵天津事務所	山西省の産業と貿易概要 昭11	編 所	300.9—C6
民國交通部	中國通郵地方物産誌 民25	商務印書館	300.9—C7
【 D 蘇 聯 其 他 】			
滿鐵調査課	勞農露西亞の産業狀態と外國貿易の前途 昭4	編 所	300.9—D1
—	勞農露國の産業と電化計畫 昭2	—	300.9—D2
○			
日 印 協 會	印度産業貿易情勢 昭10	編 所	300.9—L1
○			
大山卯次郎	アメリカ産業の知識 昭9	非 凡 閣	300.9—N1
【パンフレット】			
香蘭店民政支署	産業案内 昭5	編 所	300.9—P1

【 3 産 業】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
産業團體聯合會	産業平和への道 昭6	編 所	300.9—P2
日本經濟聯盟	産業ノ不況ト失業防止 昭7	—	300.9—P3
—	英國産業聯盟派遣日本滿洲國使節團報告書 昭10	—	300.9—P4
釜山優良協會	釜山優良製品協會案内 昭10	—	300.9—P5
哈爾濱商品陳列館	黑河—漠河地方各縣事情並ニ主要産業概況 昭11	—	300.9—P6
鐵 路 總 局	滿洲産業開發ノ諸問題 康3	—	300.9—P7
—	國線沿線ノ産業開發ニ就テ 康3	—	300.9—P8

【 301 産 業 史】

東 亞 經 調	支那産業革命概觀 (經濟資料第15の7) 昭4	編 所	301— 1
---------	-------------------------	-----	--------

【 302 産 業 政 策】

(日)エー・ロイゾーン著 協 調 會 譯	新シキ産業指導精神 昭4	編 所	302— 1
(日)ラウエツェル著 協 調 會 譯	産業合理化ト社會政策 昭3	—	302— 2
協 調 會	英國産業ノ合理化問題 昭3	—	302— 3
商 工 省	各國産業助長施設概要 昭4	—	302— 4
滿 鐵 調 査 課	國民政府ノ産業政策 昭5	—	302— 5
資源整頓局	産業技術動員 昭10	—	302— 6
滿洲事情案内所	滿洲國の産業 昭10	—	302— 7
高 橋 龜 吉	現代中小商工業論 昭11	千倉書房	302— 8
東亞經濟調查局	國民黨の産業政策 (經濟資料第14の3) 昭2	編 所	302— 9
—	産業合理化の理論と實際 (經濟資料第15の4.5) 昭5	—	302— 10
上 野 陽 一	産業能率論 昭4	千倉書房	302— 11
藤 田 貞 次	戦時化學産業讀本 昭12	—	302— 12
小 沢 重 雄	戦時産業施設考 昭13	小沢實業研究所	302— 13
民國實業部	實業四年計畫 民22	商務印書館	302— 14

【パンフレット】

關東産業團體聯合會	産業に於ける人間の價値及人事管理の範圍 昭7	編 所	302—P1
滿洲國通信社	滿洲の産業革命 康5	—	302—P2

【3 産 業】

編・著者名	書 名	刊 行 所	整理番號
【305 産 業 組 合】			
(譯)エヌ・バル一著 大 館 良 一 譯	産業組合金融論 昭9	産業組合中央會	305— 1
小 平 耀 一	産 業 組 合 論 昭5	興 文 社	305— 2
農 林 省	産業組合要覽 昭7	編 所	305— 3
平 林 久 男	産業組合新講 昭10	成 運 堂	305— 4
(英)トーマス著 金門原賢之助譯	産 業 金 融 論 昭10	岡 文 館	305— 5
藤 田 七 郎	産業組合要論 昭10	三 省 堂	305— 6
小 倉 武 一	産業組合法解説 昭12	高 橋 書 院	305— 7
濱 田 儀 之 助	産業組合判例通牒處分例集 昭12	—	305— 8
立 田 信 夫	日本産業組合論 昭12	殿 文 閣	305— 9
滿 鐵 調 査 課	滿洲に於ける産業組合 大正14	編 所	305— 10
鶴 岡 操	世界産業組合中央聯合論 昭13	殿 文 閣	305— 11
産 組 問 題 研 究 會	産業組合問題研究會報告書 第3回 昭13	高 橋 書 院	305— 12
木 位 田 祥 男	産業組合政策と課税問題 昭13	岡 文 館	305— 13
○			
産 組 中 央 會	産業組合運動ト青年ノ任務 昭8	編 所	305— P1
協 調 會	産業組合及農會ノ教育的活動 昭7	—	305— P2
【309 度 量 衡】			
(日) 林 光 實 撰 滿 鐵 調 査 課	中 國 度 量 衡 民23	高 橋 印 書 館	309— 1
	東三省に於ける度量衡	編 所	309— 2
○			
商 務 印 書 館	度 量 衡 法 規 民19	編 所	309— P1
礦 産 局	— 康1-2	—	309— P2
神 戸 市 役 所	メートル法の促進と實行 昭8	—	309— P3
—	滿洲國に於ける度量衡とメートル法	—	309— P4
備 産 局	滿洲國新制度度量衡要義 康1-2	—	309— P5
—	度量衡法概要 康1	—	309— P6
計 器 公 司	滿洲計器股份有限公司内容 康1	—	309— P7

著者名	書名	発行所	整理番號
【310 農業 一般】			
佐藤寛次	日本農業通論 昭13	高橋書院	310—1
○			
森岡調査課	支那防穀令 (調査資料第16) 大正12	編 所	310.1—1
農商務省	諸外國ニ於ケル小農地設定ニ關スル法律 大正11	帝國議會	310.1—2
小林巳智次	農業法研究 昭12	有斐閣	310.1—3
石坂橋園	農業法規綱要 大正13	巖松堂	310.1—4
○			
遼寧農林廳	遼寧農林廳暫行農林例規	編 所	310.1—P1
遼 林 省	米穀法關係法規 昭6	—	310.1—P2
○			
川上三郎	和、英、獨 農學用語新辭典 昭9	太田堂	310.2—1
日本評論社	農業大辭典 2冊 昭9	編 所	310.2—2
佐藤寛次	農業小辭典 昭11	日本評論社	310.2—3
石川勝雄	最新農學用語辭典 昭13	大明堂	310.3—4
○			
(民) 編 呂	農業全書 3冊 昭12	新學會社	310.3—1
野 文 館	農藝相談叢書 昭12	編 所	310.3—2
	食用作物相談 (岩槻信治)		
	有毒農業相談 (森木哲七郎)		
	農産加工相談 (高尾武雄)		
	養鶏家禽相談 (伊藤輝吉)		
○			
日本農業研究會	日本農業年報 昭7-12	編 所	310.4—1
	第1輯 農業恐慌の全面的展望		
	第2輯 植民地農業問題特輯		
	第3輯 米穀問題特輯		
	第4輯 蠶糸業問題特輯		
	第5輯 農業政策批判		

【 3 農 業 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
	第6輯 農産物販賣統制問題		
	第7輯 農業恐慌五ヶ年		
	第8輯 農業租稅問題		
	第9輯 農業金融問題		
	第10輯 農業土地問題		
富 民 協 會	日本農業年鑑 4版 昭9	編 所	310.4— 2
帝 國 農 會	農 業 年 鑑 昭9	—	310.4— 3
興 務 社	— 昭10	—	310.4— 4
臺灣農友會	臺灣農業年報 昭6-7	—	310.4— 5
○			
農 林 省 統 計 課	農林省統計關係法規輯覽 (明治3年以降) 昭7	編 所	310.5— 1
—	農林省統計表 第1次大正15-昭11	統 計 協 會	310.5— 2
—	農林統計グラフ 昭11	編 所	310.5— 3
—	農林統計時報 第3號 昭9	—	310.5— 4
—	農林省累年統計表 自明治6年 至昭和4年 昭7	—	310.5— 5
滿 鐵 農 務 課	滿鐵附屬地農事統計 昭和6年度 昭9	—	310.5— 6
內 閣 統 計 局	農業調査結果報告 昭5	—	310.5— 7
民 國 農 商 部 統 計 課	農商統計表 第1次7冊 民9-12	—	310.5— 8
農 林 省 統 計 課	農林省統計關係法規 昭4	—	310.5— 9
恩 龍 江 省 公 署	農商統計表式	—	310.5— 10
實 業 部 農 務 司	滿洲國農業統計 康3	—	310.5— 11
農 務 局	農務統計表 明治12年度 昭11	白 塔 社	310.5— 12
○			
農 林 省 統 計 課	農林統計ノ乘 昭3	編 所	310.5— P1
—	農事統計表 昭和6-10 年度 昭6-11	—	310.5— P2
內 閣 統 計 局	農業調査從事員必携	—	310.5— P3
○			
聯 盟 事 務 局 東 京 支 局	世界農業恐慌 昭6	森 山 書 店	310.9— 1
農 林 省 農 務 局	本邦農業要覽 昭6	編 所	310.9— 2

【 3 度 集 】

編・著者名	題 名	發 行 所	發 行 番 號
(民) 吳 覺 農	世界農業狀況 民19	大 東 書 局	310.9— 3
三 箇 功	滿洲ノ農畜産業ノ現勢 昭7	滿洲文化協會	310.9— 4
外 務 省	極東露領ニ於ケル農業ノ概要 大正8	編 所	310.9— 5
東省鐵路經濟局	北 滿 農 業 民17	—	310.9— 6
岡 川 榮 藏	滿洲の農業 昭6	滿鐵調查課	310.9— 7
莊 村 秀 雄	南滿洲農業概要 明44	—	310.9— 8
千 坂 豐 治	滿洲農業の特質と日滿農業の比較研究 昭2	—	310.9— 9
(民) 王 寅 生 等	中國北部的兵差與農民	—	310.9— 10
(民) 陳 翰 笙	黑龍江流域的農民與地主 民18	編 所	310.9— 11
(民) 張 心 一	中國農業概況估計 民21	金 陵 大 學	310.9— 12
滿 松 佐 美 大 郎 牛 嶋 友 彦 譯	支那の農業と工業 昭10	岩 波 書 店	310.9— 13
東亞産業協會	北寧沿線ニ於ケル農業事情 昭10	編 所	310.9— 14
久 間 建 一	朝鮮農業ノ近代的様相 昭10	日 黑 書 店	310.9— 15
滿鐵調查課	山東省中部山地帯ニ於ケル農業事情 昭11	編 所	310.9— 16
滿鐵天津事務所	北支農業要覽 昭11	—	310.9— 17
戶 田 愷 太 郎	日本農業論 昭11	殿 文 閣	310.9— 18
東 畑 精 一	日本農業の展開過程 昭11	岩 波 書 店	310.9— 19
滿 鐵 哈 事	北 滿 の 農 業 昭3	編 所	310.9— 20
石 塚 敏	旱 地 農 業 昭8	朝 鮮 農 會	310.9— 21
—	歐米の農産と取引 昭5	—	310.9— 22
朝 鮮 農 會	朝鮮農務提要 昭8	編 所	310.9— 23
—	高等農事講習會講義錄 昭4	—	310.9— 24
滿 鐵 哈 事	海林地方に於ける水田業 (哈調資料第34) 大正13	—	310.9— 25
北 海 道 廳	北海道の農業 大正10	—	310.9— 26
滿鐵農務課	滿洲在來農業 昭10	—	310.9— 27
伊 藤 光 司	植 民 地 農 業 昭12	殿 文 閣	310.9— 28
近 藤 康 男	農産物生産費の研究 昭12	西ヶ風刊行會	310.9— 29
滿鐵農事試驗場	業績展示台並農機具演習覽會報告書 昭13	編 所	310.9— 30

【 3 農 業】

編者名	書名	発行所	整理番號
(英)ロフリング・バック著 國谷安夫等譯	支那の農業 昭13	改造社	310.9—31
大隈利學院	農事關係試驗研究機關懇談會連記録 康5	編 所	310.9—32
畜 業 部	主要農産物生産費 康4	—	310.9—33
經濟調查所	浙江之農業 民24	—	310.9—34

○

中央研究所	臺灣總督府中央研究所農業部要覽 昭6	編 所	310.9—P1
(民) 植 明 宙	臺灣的租佃制度(農村經濟參考資料之1) 民20	中央研究院	310.9—P2
野中時雄等	開墾と努力の需給ヨリ見ケル大正二十三年ニ於ケル滿洲農産額 大正14	滿鐵調査課	310.9—P3
鐵 路 總 局	滿洲の機械農業に就て 康3	編 所	310.9—P4

【 311 農 學】

近 藤 康 男	農業經濟論 昭9	時 潮 社	311—1
高 須 虎 六	農業經濟學大綱 昭6	養 賢 堂	311—2
河 津 通	農業經濟ノ諸問題 昭6	日本評論社	311—3
河 田 嗣 郎	農業經濟學 7版 昭5	有 斐 閣	311—4
(露)カウツキエ著 向坂逸郎譯	農業經濟學 昭7	中央公論社	311—5
田 中 忠 夫	支那農業經濟ノ諸問題 昭10	學 蘭 社	311—6
水 原 高 農	創立二十五周年紀念論文集 昭7	編 所	311—7
—	水原高等農林學校學術報告 第3-4號 2冊 昭3-6	—	311—8
鳥 取 農 學 會	山田會長還曆祝賀紀念論文集 昭8	—	311—9
鳥 取 高 農	鳥取高等農業學校學術報告 昭9-10	—	311—11
東 浦 庄 治	日本農業概論 昭8	—	311—12
那 須 皓	農業經濟研究 9冊 大正14—昭8	岩 波 書 店	311—13
志 方 益 三	京都帝國大學滿蒙調査會報告 昭10	京 都 帝 大	311—14
(民) 廣 啓 宇	農 政 學 民20	黎明書局	311—15
小野寺 二郎	農學關係諸學會聯合大會講演集 昭6	漫 野 會	311—17
日本經濟研究所	日本農業研究 昭11	編 所	311—18
(米) 格 夫 著 (民) 沈 國 英 譯	農業研究統計法 民26	商務印書館	311—19

編者名	書名	發行所	整理番號
○			
浙江省公署	中小學校農業科實習指導要領 康3	編 所	311—P1
【 312 農 業 史】			
田代 蕨 吉	日本農業史(通稱一) 昭9	明 文 堂	312— 1
(民) 菊 雪 村	農民戰爭(中國歷史上的一) 民22	亞東圖書館	312— 2
香 菊 太 郎	世界農業史 昭9	明 文 堂	312— 3
小 野 武 夫	日本兵農史論 昭13	有 斐 閣	312— 4
【 313 農 業 政 策】			
水 井 彰 一	農業政策論 昭7	同 文 館	313— 1
(民) 草 間 若	農村復興之理論與實際 民23	商務印書館	313— 2
民 國 行 政 院	中國農業之改進 民23	—	313— 3
協 調 會	農村更生計畫ノ樹テ方 昭8	編 所	313— 4
中 澤 辨 次 郎	米穀統制經濟講話 昭11	學 藝 社	313— 5
滿 鐵 調 査 課	露領極東の農業と殖民問題 大正15	大 阪 毎 日	313— 7
農 業 部	農業政策審議委員會速記録 康4	編 所	313— 8
高 田 文 雄	戰時農村對策と戰後の經營 昭13	華 文 館	313— 9
○			
京 都 商 議	米 穀 問 題 昭7	編 所	313—P1
滿 鐵 經 調	滿洲農耕地生産力並ニ人口支持力ニ關スル研究 昭8	—	313—P2
雙 陽 縣 公 署	雙陽縣義倉概況 康4	—	313—P3
【 314 農 地】			
(民) 張 壽 鳴	中國歷代耕地問題 民21	新 生 命 醫 局	314— 1
駒 井 健 三	南滿洲農村土地及農家經濟の研究 大正5	滿 鐵 地 方 課	314— 2
黑 澤 讓 吾	滿洲の水田 昭7	滿 鐵 農 務 課	314— 3
(民) 黃 越 川	東三省水田誌 民19	中 華 書 局	314— 4
(民) 萬 潤 鼎	中國田制史 上 民23	南 京 醫 店	314— 5
澤 村 順	農業土地政策論 昭8	華 文 堂	314— 6
杉 本 正 幸	農地價格論 昭9	農 林 堂	314— 7

【 3 農 業 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
農 務 省	土地利用及開墾事業要覽 第1-6次 大正14	編 所	314— 8
農 林 省	開墾土地移住狀況調査 昭3	—	314— 10
興安區屯墾公署	興安區屯墾第一年工作概況 民19	—	314— 11
農 林 省 農 務 局	耕地擴張改良事業要覽 第5-7次 昭7	—	314— 12
—	讓外國=於ケル自作農地=關スル法律 昭2	—	314— 13
(民) 國 元 道	中國古田制考 民21-22	商 務 印 書 館	314— 15
黑 龍 江 省	黑龍江省墾務要覽 宣統1	編 所	314— 16
清 總 領 事 館	清朝時代=於ケル滿洲ノ農業關係 昭8	—	314— 17
小 峰 三 中 男	日本耕地價格の研究 昭8	高 橋 書 院	314— 18
(民) 李 積 新	墾 殖 學 民24	商 務 印 書 館	314— 19
(民) 陳 伯 誠	中國田制叢攷 民24	—	314— 20
農 林 省 農 務 局	舊滿時代ノ耕地擴張改良事業=關スル調査 昭3	編 所	314— 21
—	開墾地移住=關スル調査 昭5	—	314— 22
—	開墾地移住經營事例 昭3	—	314— 23
○			
滿 鐵 調 査 課	北米=於ケル灌溉事業 附滿洲ノ灌溉 昭4	編 所	314— P1
—	滿洲水田の話 大正15	—	314— P2
村・越 信 夫	吉敦鐵道沿線の水田 昭3	—	314— P3
滿 鐵 撫 順 課	滿洲ノ水田事業ト撫順米ノ考察 大正15	—	314— P4
滿 鐵 資 源 館	滿洲農產地帯分布圖 昭7-11	—	314— P5
(民) 趙 承 信	廣東新會慈溪土地分配調査 民30	燕 京 大 學	314— P6
○			
宮 城 縣	宮城縣廣瀨沼沿革史 昭3	編 所	314.3— 1
【 315 農 業 經 營 】			
橋 孝 三 郎	家族的獨立小農法 昭9	産 設 社	315— 1
木 下 通 敏	滿洲=於ケル農業經營ノ實際ト移民問題 昭9	其 文 書 院	315— 2
外 山 二 郎	滿洲農業氣象報告 昭9	滿 鐵 農 務 課	315— 3
朝 鮮 農 會	朝鮮=於ケル現行小作及管理契約證書實例集 昭9	編 所	315— 4

著者名	題 名	発行所	整理番號
滿鐵經濟	邦人農家勞働調査報告 昭9	編 所	315— 5
—	邦人移民農家經濟調査報告 昭10	—	315— 6
(譯) エル・マ・ブヤル著 井上 則 九 譯	マヂヤール支那農業經濟論 昭10	學 園 社	315— 7
千葉縣印刷委員會	農業經營改善必行事項 昭10	編 所	315— 8
長野縣農會	農業經營改善事例 昭5	—	315— 9
千葉縣農會	農業經營事例 大正15	—	315— 10
北海道農會	農業經營設計の實例 昭5	—	315— 11
北海道廳	外人農家概況 第2次 昭2	—	315— 12
釜 尾 直 藏	農 業 經 營 昭10	滿洲農事協會	315— 13
農 林 省	農家小組合ニ關スル調査 昭5	編 所	315— 14
農業經濟學會	小作法批判 昭2	岩 波 書 店	315— 15
滿鐵經濟	邦人移民農家經濟調査報告 昭10	編 所	315— 16
滿鐵農務課	滿蒙ニ於ケル農業經營ノ研究 大正13	—	315— 17
臨時產業調查局	農家負債並ニ貸借關係篇 康4	—	315— 18
財 政 部	北滿ニ於ケル農業經濟收支表 昭12	—	315— 19
近 藤 三 雄	滿洲ニ於ケル農業金融 昭4	滿鐵調査課	315— 20
栗原 龜 七 郎	農家經濟ノ新研究 昭5	科學思想普及會	315— 21
柳 國 初 太 郎	小農經濟ト協同組合 昭13	日 本 評 論 社	315— 22
柳 田 均	日本農業經濟論 昭13	農 松 堂	315— 23
(譯) エル・マ・ブヤル著 早 川 二 郎 譯	支那の農業經濟 昭13	白 鷺 社	315— 24
○			
千 葉 豐 治	滿洲ノ氣象ト乾燥地農業 大正14	滿鐵調査課	315— P1
【315.1 農 家 經 濟】			
(民) 劉 大 鈞	我國佃農經濟狀況 民18	太 平 洋 書 店	315.1— 1
栗原 龜 七 郎	農家經濟の新研究 大正15	農 松 堂	315.1— 2
曹 剛 店 民 政 署	管内支那人ノ農家經濟 昭7	編 所	315.1— 3
滿鐵調査課	滿洲農家ノ生産ト消費 昭4	—	315.1— 4
—	北滿洲支那農民經濟 昭4	—	315.1— 5

【3 農 業】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
北海道農會	北海道農家負擔調查 大正14	編 所	315.1— 6
農 知 開 展 會	農家經濟調查 昭和3-9年度 昭5-11	—	315.1— 7
滿 鐵 經 調 (米) ロフシツグ・ 東亞經調編 長 野 縣 農 會	滿洲ニ於ケル農民ノ租稅負擔ト農村機構 昭8	—	315.1— 8
(米) ト 凱 著 (民) 張 麗 譯	支那農家經濟研究 2册 昭10	—	315.1— 9
臨時農業調查局	農家經濟調查 (大正13-昭和3) 昭5	—	315.1— 10
	中國農家經濟 2册 民25	商務印書館	315.1— 11
	農家經濟收支 康1	編 所	315.1— 12
○			
全 國 經 聯	我農村經濟ノ實相 昭10	編 所	315.1— P1
實業部農經司	簡易農家經濟調查日誌 大同2-3	—	315.1— P2
—	簡易農家經濟調查表 大同2-3	—	315.1— P3
【315.2 小 作】			
協 調 會	小作立法ニ關スル重要問題 昭6	編 所	315.2— 1
—	吾國過小農問題ト共同經營 昭7	—	315.2— 2
茂野信一等	臺灣ノ小作問題 昭3	吉村商會出版部	315.2— 3
朝鮮總督府	小作農民ニ關スル調査 昭3	編 所	315.2— 4
農林省農務局	小作調停年報 第2次 昭2	—	315.2— 5
廣 井 時 敏	小農ニ關スル研究 昭3	丸 善	315.2— 6
朝鮮總督府	朝鮮の小作慣習 昭1	編 所	315.2— 7
【パンフレット】			
日本勸業銀行	田畑賣買價格及賃賃料調 昭7	編 所	315.2— P1
—	田畑賣買價格及小作料調 昭8-10	—	315.2— P2
北 海 道 廳	北海道に於ける小作契約實例調査 大正14	—	315.2— P3
○			
滿鐵畜業試驗場	滿洲の在來農具 大正6	編 所	315.3— 1
○			
河 田 嗣 郎	農業勞働ト小作制 大正11	岩 波 書 店	315.4— 1
松村勝治郎	農家勞働調査報告書 昭9	編 調 會	315.4— 2

編者名	書名	發行所	整理番號
○			
滿鐵農務課	滿洲ニ於ケル農業金融 昭7	編 所	315.5— 1
(民) 韓 總 章	浙西農村借貸制度 民21	社會調查所	315.5— 2
(民) 王 志 華	農村金融制度論 民24	商務印書館	315.5— 3
石 坂 清 樹	農業金融論 昭13	農 文 閣	315.5— 4
民國中央銀行	中國農業金融概要 民25	商務印書館	315.5— 5
(民) 王 志 華	農業金融經營論 民25	—	315.5— 6
○			
中央銀行	黑龍江省春耕貸款手續 康1	編 所	315.5— P1
黑龍江省	黑龍江省特產貸款辦法其他 大同2	—	315.5— P2
○			
滿洲會農村課	農業保險ニ關スル調査 昭5	編 所	315.5— 1
○			
(民) 陳 振 驛	農業信用 民22	商務印書館	315.5— 1
[316 農事諸機關]			
農林省委務局	農會ニ關スル調査 昭8	帝國農會	316— 1
河 田 剛 郎	農業倉庫論 7版 昭4	弘 文 堂	316— 2
本位田耕男	歐州ニ於ケル農村協同組合 昭7	編 所	316— 3
(民) 侯 哲 荃	農村合作運動 民23	黎明書局	316— 4
(民) 張 綱 子	中國農村信用合作運動 民19	商務印書館	316— 5
(民) 劉 大 方	中國鄉村合作之理論與實施 2版 民21	中央書局	316— 6
鈴木小兵衛	滿洲の農業機構 昭10	白 楊 社	316— 7
入 本 芳 之 助	農村產業組合の研究 昭11	有 斐 閣	316— 8
長野縣農會	共同經營組合の實行成績 昭3	編 所	316— 9
駱 越 光 雄	朝鮮農業倉庫關係例規 昭5	朝鮮農會	316— 10
民國華洋農會	合作講習會講義集 民24	編 所	316— 11
澤 村 廣	農業團體論 昭11	日本評論社	316— 12
(民) 徐 潤 若	日本之農村合作與農業倉庫 民25	商務印書館	316— 13

【3 農 業】

編・著者名	題 名	年 代	發 行 所	整理番號
(民) 王 志 謙	農業倉庫論	民24	商務印書館	316—14
井上龜五郎	農業倉庫の經營	昭11	福 松 堂	316—15
○				
協 調 會	我國ニ於ケル農業委員會制度ノ話	昭8	編 所	316—P1
(民) 嚴 愷 敏	中國鄉村合作實際問題	民20	合 作 學 社	316—P2
農 業 部	縣農事合作社概要説明	昭4	編 所	316—P3
【317 肥料問題】				
尾崎史郎	肥料ノ常識	昭9	朝鮮農會	317—1
○				
臺灣總督府	肥料要覽	昭和6年昭8	編 所	317—P1
滿鐵調査課	臺灣ノ肥料狀況	昭3	—	317—P2
犬岡時男	肥料ハ高過ヤスカ	昭11	畜業協會	317—P3
【318 農村及農村問題】				
八木芳之助	農村問題研究	昭9	有 斐 閣	318—1
河田嗣郎	農村研究	3版昭4	弘 文 堂	318—2
田中忠夫	革命支那農村ノ實證的研究	昭5	衆 人 社	318—3
長 野 明	支那農民運動概	昭8	建 民 社	318—4
彌 師 寺 健 良	農村社會學	3版昭8	泰 文 館	318—5
滿鐵調査課	ソウエト農村ノ研究	昭3	編 所	318—6
(民) 湯 和 法	農村社會學大綱 (中國農村社會研究)	民21	黎明書局	318—7
(民) 王 怡 何	農村自衛研究	民21	自 學 院	318—8
滿鐵調査課	支那ノ動亂ト山東農村	昭5	編 所	318—9
協 調 會	最近ノ農民運動	昭8	—	318—11
世界書局	農村生活叢書	2-5版民21	—	318—12
	農村問題 (民、協開通)			
	農村社會 (民、協開通)			
	農村政策 (—)			
	農村經濟 (民、廣啓字、宗道庫)			

編著者名	題 名	発行所	整理番號
	農村自治 (民、機關)		
	農村組織 (—)		
	農村領袖 (—)		
	農村調査 (—)		
	農村建設 (—)		
	農民運動 (—)		
阿部 矢 二	米ヲ中心トシタル農村問題ト其對策 昭10	九 造 社	318—13
外務省調査部	北支農村救済ト植棉改進問題 昭10	日本國際協會	318—14
日滿實業協會	— 昭10	編 所	318—15
河田 嗣 郎	農 村 問 題 (社會問題叢書第8) 昭10	有 斐 閣	318—16
(民) 王 鏡 銘	華北農村問題的實際考察 民24	保 文 齋	318—17
中國農村經濟研究會	農 村 通 訊 民24	中 華 書 局	318—18
(民) 錢 亦 石 等	中國農村問題 民24	—	318—19
(民) 千家駒等	農村與都市 民24	—	318—20
鄉村工作討論會	鄉村建設實驗 (第1-2集) 2册 民23	—	318—21
千坂 高 興	農村ト農家組合 昭4	編 所	318—22
滿鐵天津事務所	河北省滄縣農村概況 昭11	—	318—23
—	北支那ニ於ケル棉作地農村事情 昭11	—	318—24
中國農村經濟研究會	中 國 農 村 民24	黎明書局	318—25
實業部農務司	指定農村振興方針 昭1	編 所	318—26
(英) ジョージ・D・ホー 池本 真三 夫 譯	フランス農村社會史 昭11	丸山會書店	318—27
松村 勝 次 郎	農 村 工 業 昭11	日本評論社	318—28
(民) 陳 翰 生 秀 佐 藤 愛 三 譯	南支那に於ける農村問題 昭11	廣 文 閣	318—30
鈴木 文 治	農村問題講話 大正13	科學普及會	318—31
我 妻 東 策	農村産業機構史 昭12	廣 文 閣	318—32
木 村 晴 二	農村協同資本の展開 昭12	—	318—33
那 須 皓 輔	農村問題と社會理想 昭13	岩波書店	318—34
—	新農村の基調 昭13	日本青年館	318—35
池 田 善 長	農村社會學研究 昭13	刀江書院	318—36

【3 農 業】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
鈴木榮太郎	農村社會學史 昭8	刀江醫院	318—37
村落社會學會	村落社會の研究法 昭13	—	318—38
協同聯合會	桜花縣農村協同組合方針大綱 昭13	滿洲評論社	318—39
佐藤大四郎	滿洲に於ける農村協同組合運動の建設 昭13	—	318—40
○			
(民) 萬 國 派	渥太華道上農民新村考查記略 民19	滿 京 大 學	318—P1
(民) 手 長 漢	515農村家庭之研究 民20	—	318—P2
文部省社會教育司	全國農村娛樂狀況 昭8	編 所	318—P3
協 調 會	農村實地調査の仕方 昭8	—	318—P4
東亞勸業會社	營口農村概観 昭9	—	318—P5
滿洲事情案内所	滿洲ニ於ケル農村聚落狀況耕作面積、地價 昭10	—	318—P6
滿 鐵 經 調	苛捐雜稅下の河北農村 昭11	—	318—P7
朝鮮總督府	農村振興運動の全貌 昭11	—	318—P8
【318.1 農 村 調 査】			
東京帝大農學部	農村生活の調査 昭8	編 所	318.1—1
農學學校長會	農村調査錄 3版 昭8	—	318.1—2
協 調 會	農村事情ニ關スル調査(第1-3輯) 大正13-14	—	318.1—3
民國行政院	浙江省農村調査 民23	商務印書館	318.1—4
—	河南省農村調査 民23	—	318.1—5
—	陝西省農村調査 民23	—	318.1—6
—	江蘇省農村調査 民23	—	318.1—7
—	雲南省農村調査 民24	—	318.1—8
大 同 學 院	滿洲國鄉村社會實態調査抄 昭2	編 所	318.1—9
編 調 監 査 會	農村實態調査第2編 昭6	—	318.1—10
總務廳統計處	聚落調査報告 昭2	—	318.1—11
(民) 胃 心 哲	農村家庭調査 民24	商務印書館	318.1—12
(民) 馮 說	鄉村社會調査大綱 民23	平民教育促進會	318.1—13
臨時產業調査局	農村實態調査 (戶別調査之部) 昭和元年度 3册 昭2	編 所	318.1—14

編者姓名	書名	發行所	整理番號
	第1-2分冊 浙江省		
	第3分冊 龍江省		
臨時產業調查局	農村實態調查報告書 (戶別調查之部) 康總三年度	編 所	318.1—15
	第1分冊 瓊瑯、洗南、樟川、富錦縣		
	第2分冊 敦化、盤石、樺樹、延吉、莊河、鳳城縣		
	第4分冊 海龍、黑山、盤山、豐寧、寧城縣		
長野縣農會	農村負債調查 昭5	編 所	318.1—16
(民) 張 編 昌	農村社會調查 民23	黎明書局	318.1—17
大同學院	滿洲農村社會實態調查報告 康3	編 所	318.1—18
—	滿洲農村社會實態集計表一覽 康3	—	318.1—19
(民) 李 景 漢	北平郊外之鄉村家庭 民18	商務印書館	318.1—20
平民教育會	定縣農村工業調查統計圖 民25	編 所	318.1—21
(民) 張 世 文	定縣農村工業調查 民25	—	318.1—22
大東公司	河北省農村經濟調查書 昭12	—	318.1—23
臨時產業調查局	農村實態調查一般報告書 康4	—	318.1—25
	1-2 奉天省 梨樹縣		
	3-4 — 新民縣		
	5 — 西豐縣		
	6 — 遼中縣		
	7 — 蓋平縣		
	8 — 法庫縣		
	9 — 鐵嶺縣		
—	—	康4	318.1—26
	1 吉林省 延吉縣		
	2 — 敦化縣		
	3 — 伊通縣		
—	—	康4	318.1—27
	1 黑河省 瑯輝縣		
—	—	康4	318.1—28

【3 農 業】

編者名	冊名	發行所	整理番號
	1 錦州省 盤山縣		
	2 — 黑山縣		
臨時產粟調查局	農村實態調查一般報告書 康3	編 所	318.1—29
	1 熱河省 豐寧縣		
	2 — 寧城縣		
—	— 康3	—	318.1—30
	1 安東省 鳳城縣		
【318.2 農 村 經 濟】			
東 亞 經 調	支那近代農民經濟史研究 昭10	編 所	318.2—1
入 木 澤 善 次	農村經濟政策論 昭8	巖 松 堂	318.2—2
(民) 陳 翰 笙	封建社會的農村生產關係 民19	中央研究院	318.2—3
中澤 博次郎著 (民) 其林 伏伴譯	農村經濟研究 民22	爲 寶 書 局	318.2—4
(民) 李 錦 周	中國農村經濟實況 民17	文 化 學 社	318.2—5
(民) 陳 代 賢 彭 桂 扶	中國農村經濟研究 民23	國 光 社	318.2—6
(民) 古 葆	中國農村經濟問題 3版 民23	中 華 書 局	318.2—7
(民) 宗 秉	近代農村經濟的趨向 民20	中央研究院	318.2—8
木 村 晴 二	農村社會經濟史 昭6	白 鳩 社	318.2—9
(民) 湖 和 法	中國農村經濟資料 2册 民22-24	黎 明 書 局	318.2—10
(民) 賈 孝 方	山東舊濟南道屬農村經濟調查 民23	編 所	318.2—11
(民) 蔣 縝	農村經濟及合作 民24	黎 明 書 局	318.2—12
(民) 王 世 穎 胡 靜 遠	— 民24	—	318.2—13
(民) 謝 壽 儀 朱 澤 秀 夫 譯	支那農村經濟概論 昭12	叢 文 閣	318.2—14
近 藤 康 男	農民經濟の諸問題 昭9	日 本 評 論 社	318.2—15
—	煙草專賣制度と農民經濟 昭13	西 々 原 刊 行 會	318.2—16
臨時產粟調查局	農家の負債並に貸借關係篇 康4	編 所	318.2—17
【320 農作物一般】			
滿洲物產組合	滿洲重要物產統計年鑑 自明治13年至大正15年 3册	編 所	320—1
(民) 原 瑛 周	中國作物論 民13	商 務 印 書 館	320—2

【3 産 業】

編・著者名	題 名	発 行 所	整理番號
小 野 三 郎	日本農産要覽 (地圖と解説) 昭9	明 文 堂	320— 3
東 亞 經 済	滿洲物産の内地需要趨勢 (經濟資料第13の7) 昭2	編 所	320— 4
日本學術振興會	米穀需要法則の研究 昭10	—	320— 5
○			
復 報 公 報	復縣農産物品評會概況 第2次 昭3	編 所	320.9— 1
○			
滿 鐵 調 査 課	滿洲農産物收穫高豫想 第1-2回 3期 昭7-8	編 所	320.9— P1
滿洲農産調查聯合會	滿洲農産物收穫高豫想 昭和9-11年 6期 昭10-11	—	320.9— P2
實業部農務司	耕作狀況季報及縣農況報告要領 大同元	—	320.9— P3
—	作況季報、縣農況報告	—	320.9— P4
名 古 屋 高 商	本邦農産物ノ生産數量指數ニ就テ 昭2	—	320.9— P5
海 倫 縣 公 報	海倫縣農作物品評會概況 康1	—	320.9— P6
普 蘭 店 農 會	管内ニ於ケル主要農作物 昭7	—	320.9— P7
實業部農務司	滿洲農作物收穫量豫測 第1-3回 大同2-康2	—	320.9— P8
慶 遠 縣 公 報	黑河省愛輝縣農産品評會概況 第2次 康3	—	320.9— P10
興 國 調 査 課	滿洲農産物生産分布状態一覽表 康4	—	320.9— P11
【321 普通農作物】			
日本學術振興	朝鮮米穀經濟論 昭10	編 所	321— 1
—	米 穀 日 誌 昭10	—	321— 2
柴 野 和 喜 夫	米 穀 法 規 昭12	日 本 評 論 社	321— 3
鈴 木 直 二	米穀法制定の経緯資料 昭13	廣 松 堂	321— 4
【321.1 大 豆】			
滿 鐵 經 済	滿洲大豆品質等級査定ニ關スル調査 昭4	編 所	321.1— 1
中 東 滿 鐵 經 済 調 査 局	世界市場之黃豆 民19	—	321.1— 2
近 藤 三 雄	世界經濟ニ於ケル大豆ノ地位 昭5	滿 鐵 調 査 課	321.1— 3
滿 鐵 經 済	混保大豆規格調査 昭5	編 所	321.1— 4
日 滿 實 業 協 會	滿洲大豆暴落トノ對策 昭9	—	321.1— 5
岡 井 清 二	滿洲大豆及其製品 昭9	廣 松 堂	321.1— 6

【3 産 業】

編・著者名	題 名	発 行 所	整理番号
北 滿 經 調	舊東支鐵道ヲ中心トセル北滿大豆 康3	編 所	321.1— 7
滿 鐵 經 調	中國大豆生産統計表 昭11	—	321.1— 8
滿 鐵 臨 經	大豆に關する調査報告書 昭1	—	321.1— 9
○			
朝 鮮 銀 行	豌豆及菜豆ニ關スル調査	編 所	321.1— P1
農 林 省 農 務 局	豆 類 要 覽 昭7	—	321.1— P2
滿 鐵 經 調	改良大豆の普及獎勵事業 昭9	—	321.1— P3
滿 鐵 農 務 課	滿 洲 大 豆 5版 昭9	—	321.1— P4
哈爾濱特別市公署	滿洲大豆と北滿 康1	—	321.1— P5
- 【高 粱 其 他】			
熊 笹 興 堂 健 兒	滿洲高粱ニ關スル調査 大正14	滿 鐵 調 査 課	321.3— 1
三 木 昇 二	滿洲高粱研究 昭9	滿 洲 文 化 協 會	321.3— 2
○			
滿 鐵 臨 經	高粱稈蒐集調査報告書 昭9	編 所	321.3— P2
○			
大 西 健 吉	滿洲粟ノ鮮内事情 昭3	滿 鐵 調 査 課	321.4— 2
○			
熊 笹 興 堂 健 兒	滿洲包米ニ關スル調査 昭3	滿 鐵 調 査 課	321.5— 1
【321.6 米 類】			
上 海 商 業 儲 蓄 銀 行	米 (商品調査叢刊第1) 民20	編 所	321.6— 1
和 歌 山 高 商	米 の 調 査 昭9	—	321.6— 2
北 海 道 選 歴	北海道米麥統計表 昭10-11	—	321.6— 3
農 林 省 統 計 課	米 統 計 表 昭5-11 9册 昭10-13	—	321.6— 4
岡 川 榮 藏	滿洲米作論 大正12	大 阪 屋 藏	331.6— 5
馬 辰 高 農	加州ニ於ケル米作 大正13	編 所	321.6— 6
農 林 省 農 務 局	米 穀 要 覽 昭7	—	321.6— 7
大 阪 府 内 務 部	米麥基本調査結果表 第4回 昭7	—	321.6— 8
農 務 省 農 務 局	支那ノ米ニ關スル調査 大正9	—	321.6— 9

【 3 産 業 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
農林省統計課	道府縣別米累年統計表 自明治16年 至昭和10年 昭10	編 所	321.6—10
滿 洲 農 會	米穀ノ性狀ト貯藏 昭8	—	321.6—11
○			
山形縣總務部	山形縣米作統計 昭和9-10年 3册 昭9-11	編 所	321.6—P1
農林省統計課	米麥及蕪產額比較表 昭和3-7年 昭8	—	321.6—P3
—	米麥及蕪產額統計表 昭和9-10年 昭10-11	—	321.6—P4
大阪府總務部	米 統 計 昭11	—	321.6—P5
福井縣總務部	— 昭12	—	321.6—P6
【321.7 麥 〕			
東 亞 經 調	本邦ニ於ケル小麦ノ需給 昭8	編 所	321.7—1
○			
兵庫縣內務部	兵庫縣麥統計表 昭9	編 所	321.7—P1
農林省農務局	麥其他穀物要覽 昭7	—	321.7—P3
岩崎直記	日本移民ト北滿小麦作及製粉事業振興策ノ研究 廣2	日清製粉會社	321.7—P3
農林省統計課	麥 統 計 表 昭10	小松印刷所	321.7—P4
○			
青島店同業組合	落花生檢查事業概況 昭5	編 所	321.8—P1
【 322 特 用 農 作 物 】			
臺灣蔗作研究會	蔗作ニ關スル統計 大正12	編 所	322—1
慶南兩道棉作係	慶 南 ノ 棉 昭5	—	322—2
(民)曲直生	河北棉花之出產及販運 民20	商務印書館	322—3
茶業組合中央會	茶 業 統 計 2册 昭9-11	編 所	322—4
—	内外製茶統計 2册 昭7-8	—	322—5
—	近東及阿弗利加各地ニ於ケル茶業調查 昭7	—	322—6
上海商業儲蓄銀行	茶 ? (商品調查叢刊第4) 民20	—	322—7
—	棉 ? (— 第2) 民20	—	322—8
臺灣總督府	世界ニ於ケル苧麻產業 昭8	—	322—9
—	臺灣阿片志 大正15	—	322—10

【3 産 業】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
臺灣總督府	新嘉坡阿片、印度阿片 (其1-2) 昭8	編 所	322—11
—	波斯阿片、土耳其阿片 昭8	—	322—12
東亞産業協會	北寧鐵路沿線棉花試作成績 昭10	—	322—13
外務省調査部	支那ニ於ケル棉花獎勵誌 昭10	日本國際協會	322—14
大連商議	滿洲ノ棉花問題 昭10	編 所	322—15
滿鐵天津事務所	北支棉花ニ關スル一考察 (北支經濟資料第9) 昭11	—	322—16
—	河北省棉產概況 (北支經濟資料第14) 民國24年度 昭11	—	322—17
—	河北省通縣棉作試驗場成績報告 (北支經濟資料第16) 昭11	—	322—18
附 關 大 學	天津棉花運銷概況 民23	—	322—19
中 林 實 一 郎	朝鮮ニ於ケル甘藷栽培ノ實際 昭10	朝 鮮 農 會	322—20
加 藤 德 三 郎	茶業組合中央會議所統計年報 昭11	編 所	322—21
茶業組合中央會	海外製茶市場調査諸報告 昭11	—	322—22
茶業組合會	日本茶業史 昭11	—	322—23
東 亞 經 調	英領印度の棉業 (經濟資料第12ノ6) 大正15	—	322—24
—	生産機關の發達より觀たる支那棉業 (經濟資料第15ノ3) 昭4	—	322—25
滿 鐵 農 務 課	滿洲の棉花 昭3	—	322—26
河北棉產改進會	河北省棉產調査報告 民25	—	322—27
臨時產業調査局	熱河に於ける罌粟の耕種概要 康3	—	322—28
滿鐵北支事務局	天津棉花運銷概況 (北支經濟資料第19) 昭12	—	322—29
—	通縣棉作試驗場試驗成績概要 昭13	—	322—30
—	山東棉業調査報告 昭13	—	322—31
○			
農林省農務局	茶業要覽 (農事改良資料第21) 昭5	編 所	322—P1
農林省統計課	茶統計表 昭和6-10年4册 昭6-10	—	322—P2
臺灣總督府	臺灣茶業統計 昭7	—	322—P3
日滿實業協會	熱河ニ於ケル棉作ニ就テ滿洲ノ棉作ト 昭和九年ノ作柄ニ就テ 昭10	—	322—P4
滿 鐵 經 調	滿洲ニ於ケル亞麻事情 昭10	—	322—P5
京 城 商 調	朝鮮ニ於ケル棉花増産ノ急務並希望對策 昭9	—	322—P6

【 3 種 業】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
【 323 苗圃、育種、播苗】			
臨時農業調査局	耕種概要篇 康4	編 所	323— 1
水原高登	耕種畜産要綱 昭9	編 所	323—P1
【 324 作物被害】			
農林省統計課	農作物被害統計表 昭8	編 所	324— 1
朝鮮農會	棉ノ病虫害 昭10	—	324— 2
中山昌之介	朝鮮農作物主要害虫ト其ノ防除法 昭10	朝鮮農會	324— 3
農林省統計課	農作物農用地漁船及林野被害統計表 昭11	編 所	324— 4
岩手縣	岩手縣凶作誌 昭12	—	324— 5
【 325 園 藝】			
臺灣總督府	臺灣ノ柑橘産業 昭7	編 所	325— 1
谷川利哲	滿洲ノ果樹 大正5	滿洲地方院	325— 2
臺灣總督府	臺灣ノ芭蕉産業 昭7	編 所	325— 3
—	臺灣ノ鳳梨産業 昭7	—	325— 4
—	主要青果物統計 昭7-9年 3册 昭8-10	—	325— 5
和歌山高商	紀州蜜柑 昭9	—	325— 6
滿洲農務課	滿洲ノ果樹園經營 大正14	—	325— 7
蒼龜王	蔬菜園藝 昭11	農業進歩社	325— 8
宋香遠	果樹栽培基礎知識 昭13	—	325— 9
青陽店農會	蔬菜栽培便覽 昭元	編 所	325—P1
【 330 蠶 業 一 般】			
農林省蠶糸局	蠶糸業要覽 昭6	編 所	330— 1
農邊玄八	蠶糸統計論 大正3	大日本蠶糸會	330— 2
關本福三	蠶糸業統計 昭13	成興堂	330— 3
兵庫縣內務部	兵庫縣春蠶及桑畑統計表 2册 昭8-10	編 所	330—P1

【 3 産 業】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
山形縣知事官房	山形縣蠶桑統計 3册 昭9-11	編 所	330—P2
福井縣總務部	市町村の養蠶 昭12	—	330—P3
【 332 蠶 業 政 策】			
日本經濟聯盟會	蠶糸業對策調査資料 昭9	編 所	332— 1
平岡 隆之助	蠶糸業經濟の研究 昭13	有 斐 閣	332— 2
【 333 蠶 業 經 營】			
中根 勇吉	滿洲ニ於ケル柞蠶製糸業 大正12	滿鐵調査課	333— 1
三上 安美	滿洲の柞蠶 昭5	—	333— 2
○			
農林省統計課	蠶糸類及異綿統計表 6册 昭6-11	編 所	333—P1
安東 商 瀨	安東の柞蠶業 昭5	—	333—P2
滿鐵調査課	大連、安東兩港背後地ニ於ケル柞蠶業 大正14	—	333—P3
農林省統計課	繭 統 計 表 6册 昭7-10	—	333—P4
臨時産業調査局	莊河縣に於ける柞蠶事情 康3	—	333—P5
【 340 畜 産 業】			
農林省畜産局	本邦畜産要覽 第11.15.16次 3册 昭7	編 所	340— 1
(民) 賀 越 川	東三省畜産誌 民10	中 華 書 局	340— 2
滿鐵鐵道總局	呼倫貝爾畜産事情 昭13	編 所	340— 3
○			
遼寧省實業廳	實業部蜂種製造取締規則其他 民20	編 所	340.1—P1
馬 政 局	馬政局關係法規 康3	—	340.1—P2
○			
臺灣農友會	臺灣ノ畜産附臺灣畜産統計 昭4	編 所	340.9—P1
奥田 金 松	最近鐵嶺ニ發生セル肺疫ニ就テ 大正15	獸疫研究所	340.9—P2
井上 辰 藏	滿蒙ニ於ケル肺疫ニ就テ 大正15	—	340.9—P3
山 極 三 郎 等	牛肺疫ノ研究 第3.7.8號 昭5	—	340.9—P4
折 橋 一 夫 等	支那馬ニ於ケル鼻疽檢疫實驗 昭3	—	340.9—P5
奥田 金 松 等	南滿ニ於ケル稀有ナル鼻疽爆發例ニ就テ 昭5	—	340.9—P6

著者名	題 名	發 行 所	整理番號
井上辰雄 小野定雄	內蒙古奈曼旗下ニ於ケル住血吸虫ノ 分布ニ就テ 昭7	獸疫研究所	340.9—P7
井上辰雄等	東部內蒙古奈曼旗一帶ニ流行セル 口蹄疫ニ就テ 昭7	—	340.9—P8
【 343 畜産 經營】			
通達臨親	日本内地ニ於ケル家畜飼料ノ供給 昭4	編 所	343— 1
岡田三次郎	牧野概論 昭7	慶賢堂	343— 2
田村一郎	羊毛ノ供給ト滿洲細羊ノ將來 昭9-12	松山房	343— 3
【 345 養 畜】			
農林省畜産局	馬致統計 第5次 昭7	編 所	345— 2
(民)李秉燾	中國羊毛之品質 民29	商務印書館	345— 3
滿鐵天津事務所	山東の畜牛 (北支經濟資料第6) 昭11	編 所	345— 4
日本學術振興會	滿洲の牧羊 昭11	—	345— 5
岡本正行	細羊飼育精説 昭12	醫文館	345— 6
臨時畜産調査局	滿洲國(遼西省)家畜飼養戸數並頭數 昭3	編 所	345— 7
北滿道畜大	滿洲國に於ける畜牛と細羊 (滿鐵研究資料第35) 昭3	—	345— 8
鹿 葉 郎	肉畜供給に関する調査報告書 康2	—	345— 9
畜 鐵 王	細羊飼育法 昭13	農業進歩社	345— 10
○			
滿鐵鐵道課	鐵嶺ヲ中心トセル生牛及生肉 昭7	編 所	345—P1
農林省畜産局	家畜衛生統計 第5次 昭7	—	345—P2
滿鐵農務課	滿洲養豚手引 昭9	—	34 —P3
廣西正金銀行	天津ノ中心トシタル支那及滿洲國 羊毛ニ就テ 昭10	—	345—P4
生々木清嗣	役牛ノ體型ニ關スル生物測定學的考察 昭9	朝鮮農會	345—P5
【 346 畜 産 物】			
滿鐵農事試験場	滿蒙の皮革 大正14	編 所	346— 1
石井正勝	滿洲及北支那ニ於ケル獸骨ト骨粉 (調査資料第138) 昭5	滿鐵調査課	346— 2
滿鐵臨親	支那毛皮 (資料第10) 昭4	編 所	346— 3
—	支那羊毛 (資料第33) 昭5	—	346— 4
滿鐵天津事務所	北支那の羊毛 昭11	—	346— 6

【 3 鹿 業】

編・著者名 書 名 發 行 所 整理書號

【 347 養禽・養蜂・養兔】

愛知縣農會 養鷄ニ關スル經濟調査 2册 昭9-11 編 所 347— 1
 水野 肇 滿洲鳥類分布目錄 昭9 東京印刷會社 347— 2
 劉 啓 野 養鷄之秘訣 昭10 農業進步社 347— 3

○

兵庫縣內務部 兵庫縣家畜統計表 昭9 編 所 347— P1

【 350 林 業 一 般】

滿鐵調査課 南滿洲吉林附近ノ森林並ニ林業ニ就テ 大正15 編 所 350— 1
 帝國森林會 帝國林業綜覽 大正14 — 350— 2
 東 鐵 經 調 東 省 林 業 民20 — 350— 3
 東京工業大學 シベリア極東林產資源詳解 昭11 — 350— 4
 臺灣總督府 臺灣林業統計 昭8 — 350— 5
 東京營林局 東京營林局統計書 昭7 — 350— 6
 農 商 務 省 吉林省森林調査復命書 大正7 — 350— 7
 石上林二郎 北歐ノ林業ト製紙工業 2册 昭8 富士製紙 350— 8
 山田弘之 東三省森林法規類纂 大正15 滿鐵調査課 350— 9
 青森縣山林會 青森縣林業要覽 昭5 編 所 350— 10
 (民) 魏 輝 中國農林畜產分布圖 民24 商務印書館 350— 12

○

滿鐵調査課 吉林省之林業 昭3 編 所 350.9— 1
 — 露領極東の林業と林況 昭2 — 350.9— 2
 朝鮮總督府 朝鮮の林業 昭11 — 350.9— 3
 滿鐵調査課 吉林省東北部林業 大正9 滿鐵文化協會 350.9— 4

○

臺灣中央研究所 臺灣總督府 林業部要覽 昭7 編 所 350.9— P1
 中央研究所

○

(民) 曾 濟 頁 林業經濟學 民22 新 華 社 351— 1

【 3 歴 葉】

編者名	題 名	発行所	整理番號
○			
藤崎 昌 郎	滿洲森林ノ現況ト將來ノ林政 昭11	日滿實業協會	352— 1
田 中 長 茂	農 林 行 政 (自治行政叢書第15) 昭12	常 盤 書 房	352— 2
【 356 林 産 物】			
安 東 商 議	鴨綠江ノ木材ト滿洲ニ於ケル木材事情 昭5	編 所	356— 1
滿 鐵 臨 經	滿洲主要都市の木材需給狀況 (資料第27) 昭5	—	356— 2
野 崎 鳳	南滿ニ於ケル木炭ニ關スル調査 昭8	滿 鐵 探 査	356— 3
臺灣總督府	木 材 貿 易 表 大正2,13年以降 大正15-昭8	編 所	356— 4
東 亞 經 典	我國木材需給と米材滿洲材 昭7	—	356— 5
田 中 勝 吉	有用木材の性質及用途	丸 善	356— 6
(民) 廣 昭	中 國 木 材 學 良25	滿 務 印 書 館	356— 7
【 360 水 産 業 一 般】			
那 須 總	漁村經濟ノ研究 昭8	岩 波 書 店	360— 1
臺灣總督府	臺灣水産統計 昭8	編 所	360— 2
石 井 正 泰	滿洲の水産業 (滿洲産業叢書第4) 昭6	滿 鐵 調 査 課	360— 3
高 橋 基 市	黃渤海の漁業 (調査報告第23) 大正14	—	360— 4
—	旅順を漁港とする問題に就て 大正14	—	360— 5
○			
農林省水産局	漁船保險調査資料 昭4	編 所	360.5— P1
○			
關東州民政署	滿洲水産調査資料 昭9	編 所	360.9— 1
臨時產業調査局	松花江漁業調査報告 3册 昭4	—	360.9— 2
○			
神 谷 尚 志	水 産 學 全 集 15册 昭7-9	厚 生 閣	361— 1
○			
奉天漁業保護局	奉天漁業商船保護局要覽 大昭1	編 所	364— P1
○			
工 藤 武 夫	滿洲ニ於ケル水産物ノ需給 (調査資料第89) 昭4	滿 鐵 調 査 課	365— 1

【鹽業】

編者名	書名	發行所	整理番號
【366 鹽】			
石井正壽	關東州鹽業統計 自昭和元年 至昭和五年 5册 昭3-6	滿鐵調查課	366—1
—	關東州及滿洲國鹽業統計 自昭和七年 至昭和九年 3册 昭8-10	—	366—1
(民) 歐宗祐	中國鹽政小史 民10	商務印書館	366—2
民國鹽務署	全國場產調查報告書 淮北、兩湖、福建 3册 民3-5	編 所	366—3
鹽務雜誌社	鹽政叢刊 民10	—	366—4
民國鹽務署	中國鹽政沿革史 長蘆、福建、山東 5册 民3-4	—	366—5
(民) 凌文瀾	中國鹽業最近狀況 民2	鹽政討論社	366—6
吉黑樺區場	復州ニ於ケル鹽業調査 大同3	編 所	366—7
滿鐵調查課	關東州鹽田芒硝ニ關スル調査資料 (調査資料第148) 昭5	—	366—8
財政部稅務司	鹽務資料 5册 康1-2	—	366—9
專賣總局	鹽務調查書統計表 2册 康3-4	—	366—10
滿鐵經濟課	鹽業統計 昭11	—	366—12
民國鹽務署	鹽務法規 民10	—	366—13
財政部稅務司	鹽務法令 康3	—	366—14
○			
吉黑樺區場	關東州鹽業概觀 大同1	編 所	366—P1
—	朝鮮に於ける鹽政調査 大同1	—	366—P2
—	奉天省民鹽販賣制度調査 大同1	—	366—P3
—	滿洲國鹽務概觀 大同2	—	366—P4
—	營口及普蘭店ヲ中心トスル官鹽輸送狀況調査 大同1—	—	366—P5
—	呼倫貝爾鹽湖賣地調査、滿洲里ヲ中心トシテル密輸鹽調査 大同1	—	366—P6
【370 鑛業 一般】			
影山虎四郎	支那鑛業諸規定類纂 2版 大正9	大阪屋號	370.1—1
日滿實業協會	滿洲帝國鑛業法令 昭10	編 所	370.1—2
滿鐵天津事務所	現行支那鑛業關係法規 昭11	—	370.1—3
平田慶吉	鑛業法要義 昭12	有斐閣	370.1—4
滿鐵調查課	東三省關係鑛業法令	編 所	370.1—5

【3 産 業】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
中 村 喜 元	鑛業法令集 昭11	銀 松 堂	370.1— 6
佐 野 福 藏	朝鮮鑛業關係法規及出願手續並心得 昭13	松 山 房	370.1— 7
○			
興 國 局	重要鑛物資源資料目錄 昭11	興 國 局	370.3— 1
○			
水 館 純 次 郎	採 鑛 學 改版 昭11	九 龍 書	370.3— 1
	1 採鑛學通論		
	2 鑛山變災		
	3 採鑛用品		
	4 鑛山用器具及機械		
○			
滿鐵地質調査所	滿洲鑛産統計表 自昭和1年至昭和5年 昭6	編 者 所	370.5— P1
—	南滿洲鑛產地及鑛産統計一覽 昭4	—	370.5— P2
臺灣總督府	臺灣鑛業統計 第29回 昭6	—	370.5— P3
滿鐵地質調査所	滿洲主要鑛山出産額統計表 昭9	—	370.5— P4
[370.9 其 他]			
東省鐵路調査局	遠 東 鑛 業 民17	編 者 所	370.9— 1
臺灣總督府	臺灣の鑛業 昭6	—	370.9— 2
滿鐵經濟調査部	滿洲の鑛業 昭8	—	370.9— 3
濱 邊 巖 三	朝鮮の金鑛と重要鑛物 昭9	松 山 房	370.9— 4
坂 本 鏡 雄	滿洲の鑛産資源 昭7	滿洲文化協會	370.9— 5
鑛物整理委員會	河北鑛物彙刊 民19	編 者 所	370.9— 6
夏 亞 隆 調	極東の鑛産業 (經濟資料第14の6.11) 2册 昭3	—	370.9— 7
東京鑛産監督局	東京鑛産監督局管内鑛區一覽 昭和6-11年 6册 昭6-11	—	370.9— 8
大阪鑛産監督局	大阪鑛産監督局管内鑛區一覽 昭6-7	—	370.9— 9
仙臺鑛産監督局	仙臺鑛産監督局管内鑛區一覽 昭6-11	—	370.9— 10
民國地質調査所	中國鑛業紀要 3册 民10.13.21	—	370.9— 11

【3 産 業】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
(民) 關 瑛	中國十大鑛廠調查記 民5	商務印書館	370.9—13
商工省鑛産局	本邦鑛業ノ趨勢 昭8	編 所	370.9—13
(民) 實 著 島	中 國 鑛 産 民15	商務印書館	370.9—14
青 田 弟 彦	中立地帯鑛物調査報告 大正2	關東都督府	370.9—15
滿鐵天津事務所	北支那鑛業紀要 昭11	編 所	370.9—16
東京工業大學	シベリヤ極東地下燃料及ビ水力資源詳解 昭11	—	370.9—17
門 倉 三 熊	北滿金鑛資源 昭11	丸 善	370.9—18
民國編譯館	鑛物學名詞 民25	商務印書館	370.9—19
支那鑛業研究會	支那之鑛業 大正15	編 所	370.9—20
振鋼協同會	歐洲鐵鋼業調査報告 大正15	—	370.9—21
滿鐵調査課	吉會豫定線地方鑛山調査報告 昭5	—	370.9—22
小山 猛 男 譯	露領極東の鑛業利權	滿鐵調査課	370.9—23
臨時産業調査局	海外鑛務調査報告 第5.13次 2冊 大正7-13	編 所	370.9—24
山西省實業廳	山西鑛務志略 民9	—	370.9—25
大 橋 良 一	鑛物岩石鑑定要覽 昭12	太 陽 堂	370.9—26
小 山 一 郎	滿洲國及北支ノ金鑛及砂金 昭13	科學主義工業社	370.9—27
岩 崎 重 三	日本採鑛法 昭12	內田老鶴園	370.9—28
片 山 信 夫	鑛物資源便覽 昭12	大地書院	370.9—29
平 田 慶 吉	鑛害賠償責任論 昭7	日本評論社	370.9—30

○

滿鐵實業館	滿洲重要鑛産分布圖 昭7-12	編 所	370.9—P1
仙臺鑛山監督局	仙臺鑛山監督局管内鑛業一覽 4冊 昭6-10	—	370.9—P2
大阪鑛山監督局	大阪鑛山監督局管内鑛業一覽 昭5	—	370.9—P3

【371 鑛 山 學】

(民) 廣 宮 隆	冶 金 學 民16	商務印書館	371—1
木 下 龍 城	鑛物學概論 昭12	古今書院	371—2
岩 崎 重 三	日本鑛床學 昭11	內田老鶴園	371—3
江 川 三 男 治	採鑛必携 昭12	知 進 社	371—4

【 3 産 業 】

編・著者名	題 名	図 行 所	整理番號
○			
研 究 社	鑛 物 學 新訂 昭7	編 所	371—P1
○			
大 阪 商 大	本邦鐵鋼業と關稅 昭7	編 所	372— 1
【 373 鑛 業 經 營 】			
(民) 謝 家 榮 朱 啟 章	外人在華鑛業之援資 民31	國 際 學 會	373— 1
滿 鐵 地 質 課	滿洲に於ける鑛山勞働者 大正7	編 所	373— 2
本溪湖煤鐵公司	本溪湖煤鐵有限公司事業概要 大正8	—	373— 3
山 田 復 之 助	鑛山の開發と經營 昭13	内 田 老 鶴 園	373— 4
矢 部 茂	「アラスカ」及北米合衆國ニ於ケル砂金採取法 調査報告 昭9	滿鐵地質調査所	373— 5
三 菱 合 資 會 社	米國炭坑勞働事情 大正13	編 所	373— 6
○			
小 島 研 一	鐵鋼經濟讀本 7版 昭12	千 倉 書 房	373.1— 1
【 376 金 屬 鑛 物 ・ 精 鍊 】			
日 崎 憲 司	鐵鋼及石炭業に於ける企業組織 昭8	有 斐 閣	376— 1
枝 首 勇	本邦鐵鋼業の現勢 (經濟資料第182) 昭8	東 亞 經 濟	376— 2
(民) 吳 半 農	鐵 煤 及 石 油 民21	社 會 調 査 所	376— 3
滿 鐵 調 査 課	撫順炭の販路 (調査報告第24) 大正14	編 所	376— 4
日 滿 實 業 協 會	滿洲の採金に就て 昭10	—	376— 6
一 條 謙 吉	アルミニウム總覽、年鑑 昭12	金 物 時 代 社	376— 6
岩 崎 重 三	金 昭11	内 田 老 鶴 園	376— 7
高 橋 本 枝	アルミニウム及其の合金 昭12	工 業 圖 書 會 社	376— 8
渡 邊 萬 次 郎	金 銀 讀 本 昭9	日 本 評 論 社	376— 9
○			
八 幡 製 鐵 所	[八幡]製鐵所概要 昭7	編 所	376—P1
東 洋 協 會	鐵鋼業合同問題批判 昭7	—	376—P2
八 幡 製 鐵 所	鐵鑛ニ關スル統計 昭7	—	376—P3

【 3 産 業 】

編・著者名	題	名	発行所	整理番號
【 377 非金屬礦物 】				
滿鐵經濟	本邦及朝鮮ニ於ケル無煙炭ノ需給並滿洲産無煙炭ニ關スル調査	昭5	編 所	377— 1
東亞經濟	本邦ヲ中心トセル石炭需給	昭8	—	377— 2
滿鐵經濟	日本内地ニ於ケル撫順炭及本邦炭ニ關スル調査	昭5	—	377— 3
岩崎重三	石 炭	昭12	内田老鶴園	377— 4
佐藤廣胤	蒙古ノ天然曹達	大正11	滿鐵農務課	377— 5
岩田保次郎	用途別需要ヨリ觀ケル滿洲石炭ノ過去現在及將來 (調査資料第4) 昭10	昭10	滿鐵滿事部	377— 6
村田和也	石炭と石油	昭12	昭 兵 堂	377— 7
(民) 胡榮益	中國煤礦	民24	商務印書館	377— 8
内藤久寛	日本帝國の石油事業	大正14	撫順炭鐵	377— 9
東亞經濟	山西の石炭 (經濟資料第13の6) 昭12	昭12	編 所	377— 10
松澤傳太郎	石油便覽	大正13	石油時報社	377— 11
滿鐵撫順炭鐵	撫順炭ノ性質ト其用途	大正14	編 所	377— 12
小林久平	石油及其工業	2册 昭13	丸 善	377— 13
○				
大通新讀	滿洲地質炭引下ニ關スル要讀書大連港石炭輸入制限撤去ニ關スル建議書	昭7	編 所	377— P1
復縣公署	復州灣粘土公司及ニ煤礦公司ノ現況	大同4	—	377— P2
大倉勲彦	本溪湖純鉄鐵の發達と是が將來		編 者	377— P3
興安總署	熱河ニ於ケル蒙鹽ニ就テ (調査資料第2) 康1	康1	編 所	377— P5
全國經濟	世界石油界の情勢と現下の諸問題	昭10	—	377— P6
滿洲炭鐵會社	滿洲炭鐵株式會社概要	康0	—	377— P7
【 380 工業 一般 】				
(民) 侯厚培	世界工業狀況	民19	大東野局	380— 1
中國工商管理協會	工商問題之研究	民20	編 所	380— 2
協 調 會	全國工場礦山名簿	昭7	—	380— 3
安村義一	滿洲の新興工業 (滿鐵講座) 昭8	昭8	滿洲文化協會	380— 4
上海特別市社會局	上海之工業	民19	中 華 野 局	380— 5
(民) 德銘勳	中國工業問題	民17	新時代教育社	380— 6

編・著者名	書名	発行所	整理番號
林 突 末 夫	工業經濟概論 昭5	廣 松 堂	380— 7
日本勸業銀行	工業會社ニ關スル諸統計 昭8	編 所	380— 8
滿鐵調査課	滿洲工業勞働事情 (調査報告第22) 大正14	—	380— 9
神戸市役所	[神戸市]工業調査速報 昭9	—	380— 10
資源局	工業研究輯覽 第1-2號 2册 昭7-9	—	380— 11
(民) 調 査	中國都市工業化程度之統計分析 民23	商務印書館	380— 12
大阪府	工業調査書 昭11	編 所	380— 13
(英) ジョン・オー チヤード著 經濟情報研究會譯 滿鐵天津事務所	日本工業論 昭11 天津地方ニ於ケル製造工業 (北支經濟資料第15) 昭11	遊 文 閣 編 所	380— 15 380— 16
有 澤 廣 己	支那工業論 昭11	改 造 社	380— 17
滿鐵天津事務所	濟南ニ於ケル製造工業 (北支經濟資料第20) 昭11	編 所	380— 18
小 島 爾 一	日本重工業讀本 昭12	千 倉 書 房	380— 20
志 村 良 光	最新工業大意 昭12	工業圖書會社	380— 21
勝 田 貞 次	伸びる工業 昭12	今日の問題社	380— 22
商 工 省	日本標準規格 2册 昭12	工業調査協會	380— 23
中國軍事委員會	中國工業調查報告書 1-3 3册 民26	經濟統計研究所	380— 24
中 門 井 武 雄 男 多 葉 雄 男	新興代用品工業 昭13	橋 山 房	380— 25
(民) 劉 大 鈞 著 倉 持 大 博 譯	支那工業論 昭13	生 活 社	380— 26
(民) 方 蘭 廷 著 岡 崎 三 郎 譯	支那工業組織論 昭14	—	380— 27
○			
葛 優 美	工業所有權法 昭14	日本評論社	380.1— 1
○			
松 元 竹 二	最新工業大辭典 7-1 13册 昭12	非 凡 閣	380.2— 1
吉 村 兼 富	工業藥品大辭典 昭12	同 濟 堂	380.2— 2
小 林 久 平	工業化學語彙 2版 昭9	工業化學會	380.2— 3
貴 田 義 一	工業用語と略解 昭13	知 進 社	380.2— 4
○			
日本評論社	現代日本工業全集 昭10	編 所	380.3— 1

【3 産 業】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
	織 物 (齊藤俊吉等)		
	生 糸 (柳田啓三)		
	羊毛工業 (柳田健吉)		
	化學肥料 (石川一郎)		
	釀 造 (高橋慎造)		
	製粉工業 (正田貞一郎)		
	ゴ ム (齋藤正平)		
	建 築 (佐藤利器、櫻井良雄)		
	ガ ス (大島義清)		
○			
日本工業新聞社	工業年鑑 昭13	編 所	380.4— 1
○			
資 源 局	世界大戦中の佛國工業 昭9	編 所	380.9— 1
阿 部 勇	南滿工業事情 2册 大正15-昭3	滿鐵調査課	380.9— 2
滿洲事情案内所	滿洲工業事情 康5	編 所	380.9— 3
(露) グイシネフ著 田中長三郎譯	技術と軍事工業 昭13	白 揚 社	380.9— 4
小 島 精 一	ソヴェートの重工業 昭12	千倉書房	380.9— 5
大河内正敏	資本主義工業と科學主義工業 昭13	科學主義工業社	380.9— 6
日本工業新聞社	工業取引案内 昭13	編 所	380.9— 8
滿鐵産業部	日滿支に於ける工業製品供給状況調査 昭12	—	380.9— 9
○			
阿 部 勇	本邦の工業と滿洲の原料 昭3	滿鐵調査課	380.9— P1
臺灣中央試験所	工業部要覽 昭8	編 所	380.9— P3
名古屋高商	本邦製造業の生産數量指數 昭5	—	380.9— P4
滿鐵中央試験所	滿鐵中央試験所一覽 昭10	—	380.9— P5
【 381 工學・工業史】			
(民) 關 謙	中國新工業發展史大綱 民22	商務印書館	381— 1
高 橋 勉 吉	日本工業發展論 昭11	千倉書房	381— 2
倉 橋 國 治 郎	燃料工學最近の進歩 昭13	工業圖書會社	381— 3

編者名	書名	発行所	整理番號
加茂正雄	機械工学便覧 昭12	岩波書店	381—4
片山清吉	機關學獨習全書 2版 大正14	丸善	381—6
有原俊二	最新機關車工学 昭10	東洋電機協會	381—7
共立社	實用電氣工学講座 昭10	編所	381—10
	電氣磁氣基礎論 (鈴木松雄)		
	電子工学概論 (星合正治)		
	電氣回路論 (大槻 藩)		
	電氣磁氣測定 (神保成吉)		
	直 流 機 (關高周平)		
	交流機及變壓器 (磯野達一郎)		
	回轉變流機及整流機器 (尾本義一)		
	電氣機器設計及試驗法 (磯野達一郎)		
	水力發電所 (弘山尚直)		
	汽力及内燃力發電所 (新 文夫)		
	配電及送電 (加藤謙二)		
	屋内電氣設備 (市川繁彌)		
	照明、電燈及電熱 (山内二郎、中路幸謙)		
	電 氣 罐 道 (藤谷寛治)		
	電動機應用 (石山龍雄、土屋竹松)		
	有線電信電話 (大内誠三)		
	無線電信電話 (稻波季雄)		
	電氣事業法規 (加藤謙二)		
	齒切機械及齒切法 (門口良吉)		
大日本工業學會	機械工作實習指導 昭12	編 所	381—11
風 秀 太 郎	交 流 理 論 昭7	丸 善	381—13
水 野 敏 之 丞	理 論 電 氣 學 5册 昭9-12	—	381—18
ア ル ス	ア ル ス 工 學 全 集 昭13	編 所	381—14
	航空機材料 (石田四郎等)		
	鐵道線路の構造及強度 (小野誠兒)		
荒 川 文 六	電 氣 工 學 3册 昭12	丸 善	381—15

【3 産 業】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
大久保正夫	機械部分の設計 昭13	誠文堂	381—16
大友 博	航空發動機 昭13	丸 善	381—17
菅原晋雄	蒸 汽 機 昭13	工業圖書會社	381—18
青山秀三郎	採鑛冶金工學最近の進歩 昭13	—	381—19
五十嵐修藏	工作機械最近ノ進歩 昭13	—	381—20
神 藏 信 雄	航空發動機 昭13	—	381—21
定方金藏	電 氣 鍍 金 昭13	—	381—22
工業調査協會	航空機及航空發動機設計資料 昭13	—	381—23
木村 恆 行	寫真色素概論 昭13	—	381—24
西 隆	電氣工學ポケットブック 昭13	電氣學會	381—25
【382 工業 政策】			
有澤 廣 巳	日本工業統制論 昭13	有 硯 閣	382—1
河 津 通	工業と工業政策 昭13	—	382—2
藤原銀二郎	工業日本精神 昭13	上海日報社	382—3
北澤新次郎	工業經濟論	泰 文 社	382—4
山田文雄	工業政策 昭13	東京プリント會	382—5
【383 工業 經濟】			
協 調 會	工業保健及能率 大正13	編 所	383—1
伊 藤 久 秋	工業經濟理論 昭10	内外印刷會社	383—2
大 塚 一 朗	工業經濟學講義 2冊 昭10	弘 文 堂	383—3
大河内正敏	工業經營總論 昭11	千倉書房	383—4
鈴木 陽	工場寫真術 昭13	太 陽 堂	383—5
黒 澤 清	工業會計 昭13	千倉書房	383—6
(再) 土 岐 政 藏	標準工業會計圖解 昭13	同 文 館	383—7
【パンフレット】			
大阪市役所	本市に於ける朝鮮人工場勞働者 昭13	編 所	383—P1
(民) 藤 裕 壽	山東中興煤礦工人調査 民31	社會調査所	383—P3
商務印書館	工 會 法 民19	編 所	383—P3

【 1 查 覽 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
○			
河北省工業試驗所	河北省工業試驗所報告 第一次 民18	編 所	384— 1
【 385 工 場】			
大阪市社會部	工場労働雇傭關係 2版 大正13	編 所	385— 1
—	最近工場労働者問題 昭4	—	385— 2
製鐵所勞務部	製鐵所工場労働統計 昭2	—	385— 3
—	工場労働統計 昭5	—	385— 4
栗本 豊	支那工場事情 (調査資料第35) 昭3	滿鐵調査課	385— 5
社會局労働部	工場監督年報 第14.15回 2册 昭6	編 所	385— 6
協 調 會	本邦工場嶺山職長制度概要 2版 昭4	—	385— 7
臨時産業調査局	滿洲國工場統計 2册 康3	—	385— 8
商 工 省	全國工場通覽 2册 昭7-8	—	385— 9
奉天市公署	奉天市日滿工業工場名簿 康6	—	385— 10
協 調 會	工場ニ於ケル職長ノ任務及教養 昭6	—	385— 11
兵庫縣內務部	兵庫縣工場一覽 2册 昭10.10	—	385— 12
兵庫縣統計課	兵庫縣工場統計表 5册 昭7-11	—	385— 13
臺灣總督府	工場名簿 昭7	—	385— 14
滿鐵調査課	滿洲工場名簿 昭11	—	385— 15
商 工 省	工場統計表 11册 大正8-昭和4年	—	385— 16
資 源 局	河北省工場及事業場調査 昭5	—	385— 17
長永 義正	滿洲工場要覽 昭11	大連商議	385— 18
東亞經 調	工場委員制度研究 (經濟資料第11の10) 大正14	編 所	385— 20
東京府調査課	東京府工場要覽 昭9	—	385— 21
臨時産業調査局	滿洲國主要工場統計 康3年度 康4	—	385— 22
(譯) エルマン・スティーブ 嵐山 洋 青 譯	科學的工場組織の理論 昭13	東 學 社	385— 23
—	科學的工場經營の實際 昭13	—	385— 24
○			
商務印書館	工 廠 法 民19	編 所	385— P1

【3 産 業】

編・著者名	題 名	年 代	発 行 所	整理番號
滿鐵北支事務局	北支主要工場一覽表	昭13	編 所	385—P2
【386 原 料】				
小 瀨 重 雄	戦時原料保障	昭12	小瀨資源研究所	386— 1
兒 玉 吾 郎	鐵、鋼、鋼 材	昭12	ダイヤモンド社	386— 3
石 井 慶 雄	鐵 及 鋼	昭13	太 陽 堂	386— 3
外務省通商局	最近原料品取得問題	昭13	國 際 協 會	386— 4
【387 燃 料・動 力】				
東 亞 經 調	各國に於ける燃料問題 (經濟資料第11の3) 大正14		編 所	387— 1
弓 場 盛 吉	北滿洲の燃料問題	大正14	滿 鐵 哈 事	387— 2
小 島 精 一	燃料動力經濟讀本	昭12	千 倉 野 房	387— 3
吉 村 真 治	最新燃料の知識	昭12	誠 文 堂	387— 4
倉 橋 廣 治 郎	液體燃料工業最近の進歩	昭13	工業團體會社	387— 5
磯 部 洋 輔	石炭液化と代用燃料	昭13	三 省 堂	387— 6
○				
東京工業大學	滿蒙中央亞細亞燃料及水力資源解説	昭12	編 所	387—P1
【388 工 業 所 有 權】				
中 村 如 峰	我が工業所有權と滿洲國	昭8	滿洲文化協會	388— 1
藤 原 信 富 次 男	滿洲帝國特許發明法解説	昭8	行 政 學 會	388— 2
日本學術振興會	外國特許要覽	昭11-12	編 所	388— 3
	精密機械			
	金屬材料			
	電氣 (A) 強電			
	— (B) 弱電			
	航 空 機			
古 館 倫 也	支那に於ける外人の商標權 (調査資料第53) 大正15		滿 鐵 調 査 課	388— 4
日本學術振興會	精密機械=關スル外國特許要覽 第1-3號	昭9	編 所	388— 7
—	金屬材料=關スル外國特許要覽 第5-6號	昭10	—	388— 8
—	航空機=關スル外國特許要覽 第7-9號	昭10	—	388— 9
—	纖維加工=關スル外國特許要覽 第8-10號	昭10	—	388— 10

【工業】

編者姓名	書名	発行所	整理番號
特許局	特許局統計年報 第14次 昭6	編 所	388—P1
—	昭和六年ニ於ケル特許、實用新案意匠及商標ノ趨勢 昭7	—	388—P2
○			
【391 纖維工業】			
三上安興	滿洲の纖維工業 昭6	滿鐵調査課	391— 1
日本毛織會社	日本毛織三十年史 昭6	編 所	391— 2
濱野忠平	綿業ト國際經濟 昭6	文 雅 堂	391— 3
大日本紡績聯合會	綿絲紡績事情參考書 7册 昭7-11	編 所	391— 4
井村 廣 雄 著 (民) 周培 關 譯	中國之紡織業及其出品 民17	商務印書館	391— 5
全 國 産 聯	英國綿業ノ衰退ト其對策 昭9	編 所	391— 6
江蘇省實業廳	江蘇省紡織業狀況 民9	商務印書館	391— 7
小 川 透	滿洲ニ於ケル紡績業 (調査資料第18) 大正14	滿鐵調査課	391— 8
農林省總務局	全國製絲工場調査 第11次 昭4	編 所	391— 9
石 井 正 泰	滿洲ニ於ケル麻袋 昭5	滿鐵調査課	391— 10
(民) 王 子 謙	日本之綿紡織工業 民22	社會調査所	391— 11
(民) 方 顯 廷	天津地氈工業 民19	南開大學	391— 12
工 藤 武 雄	滿洲の莫大小工業 (調査資料第105) 昭4	滿鐵調査課	391— 14
(民) 方 顯 廷	天津製布工業 民20	南開大學	391— 15
—	天津針織工業 民20	—	391— 16
(高) フレダアフトレーニ 中 野 忠 夫 譯 石 田 晴 夫	極東ニ於ケル綿業 昭11	廣 文 閣	391— 17
滿鐵天津事務所	山東紡績業の概況 昭11	編 所	391— 18
—	山東の棉作 昭11	—	391— 19
商工省貿易局	海外諸國ニ於ケル人造絹織物事情 昭11	—	391— 20
—	ステーブル・ファイバ織物の調査 昭11	—	391— 21
財政經濟時報社	日本纖維工業總覽 昭11	—	391— 22
南開大學	華北鄉村織布工業與商人雇主制度 民24	—	391— 23
大河内正敏	農村の工業 昭10	岩 波 書 店	391— 24
森 山 二 郎	最新紡織原料論 昭8	工 政 會	391— 25

【 3 産 業 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
西田博太郎	繊維工業經營 昭11	千倉書房	391—26
東亞經濟	世界人絹業の發達と米國生糸及人絹の消費 (經濟資料第15の13) 昭4	編 所	391—27
—	米人の見たる日本の綿工業と其貿易 (經濟資料第15の9第16の1) 2册 昭4.5	—	391—28
名和統一	日本紡績業と原棉問題研究 昭12	大同書院	391—29
財政經濟時報社	日本纖維工業年鑑 昭12	編 所	391—30
販 業 部	綿布並に綿織物工業に関する調査書 廣4	—	391—31
厚木勝基	人 造 絹 絲 昭12	丸 善	391—32
日本紡織研究所	ステーブル・ファイバーの製造と應用 昭11	編 所	391—33
石倉新十郎	紡 績 原 論 昭12	藝 文 閣	391—34
○			
名古屋商	本邦紡績業經營調査 4册 昭3-5	編 所	391—P1
吉原運	麻袋調査 大綱1	—	391—P2
【 392 化 學 工 業 】			
(民)胡超然	工業藥品大全 坂民21	商務印書館	392—1
南雄龍曾	滿洲ニ於ケル燐寸工業 (調査資料第17) 大正12	滿鐵調査課	392—2
三上安美	滿洲ニ於ケル紙ノ需給ト製紙工業 (調査資料第111) 昭4	—	392—3
浙江省設計會	浙江之紙業 民19	編 所	392—4
滿鐵調査課	パルプ工業ニ關スル調査 大正13	—	392—5
石山曾男	化學工業ヲ語ル 昭11	ダイヤモンド社	392—6
東亞經濟	我國に於ける化學工業の發達 (經濟資料第13の2) 昭2	編 所	392—7
—	内地化學工業に對する滿洲の價値 (經濟資料第14の8) 昭3	—	392—8
厚木勝基	パルプ及紙 昭12	丸 善	392—9
西澤勇志智	工業化學讀本 昭12	太 陽 堂	392—10
伊木貞雄	人造液體燃料工業 昭12	工業調查會社	392—11
村田和也	石炭と石油 昭12	昭 晃 堂	392—12
大 槻 廣	香料と化粧品製造業 昭12	誠 文 堂	392—13
永井彰一郎	珪酸鹽工業 昭6	共 立 社	392—14
友田宜孝	化學機械學 昭12	—	392—15

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
酒見恒太郎	塗料製造と使用法 昭13	誠文堂	302—16
科學普及會	圖解化學工業 昭4	編 所	302—17
龜山直人	化學工業概論 昭13	日本評論社	302—18
○			
全國經聯	人絹の現状及將來 昭10	編 所	302—P1
【 333 油 脂 工 業】			
民國實業部	浙江桐油調查報告書 民22	編 所	303—1
安東商議	安東の豆粕 昭3	—	303—2
川合正勝	大豆油ヨリ見タル米國植物性油脂市場 昭11	特産中央會	303—3
滿洲特産中央會	米國新油脂課稅法ト日滿油脂貿易ノ將來 康3	—	303—4
上野誠一	油脂化學及油脂各論 昭13	九 書	303—5
○			
三 箇 功	豆粕の飼料化に就いての考察 2版 昭6	滿鐵調査課	303—P1
滿 鐵 臨 經	豆粕輸出試驗報告歐洲に於ける滿洲大豆工業の現況 昭4	編 所	303—P2
三 上 安 美	滿洲油坊現勢 (調査資料第135) 記述編 昭5	滿鐵調査課	303—P3
—	(調査資料第133 經調資料第98) 統計編 2册 昭5.10	—	303—P5
【 394 硝 業】			
滿 鐵 經 調	滿洲ニ於ケル硝子工業ト其ノ需給趨勢 昭9	編 所	394—1
原田健次郎	滿洲ニ於ケルセメント工業ト其ノ需給狀況 (調査資料第136) 昭5	滿鐵調査課	394—2
滿 鐵 經 調	滿洲ニ於ケル硝子器工業ト其ノ需給趨勢 (經調資料第108) 昭11	編 所	394—3
朝鮮總督府	朝鮮の硝業 大正15	—	394—4
上田廣太郎	硝 子 2版 昭10	工 政 會	394—5
○			
名古屋商	本邦陶磁器工業調査 昭0	編 所	394—P1
【 395 飲食料品工業】			
山下久四郎	砂糖年鑑 2册 昭7.9	砂 糖 協 會	395—1
滿 鐵 經 調	滿洲甜菜糖業 昭9	編 所	395—2
上海商業儲蓄銀行	糖 與 糖 業 民21	—	395—3

【3 産 業】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
安 村 義 一	滿洲ニ於ケル高粱酒釀造業 (調査資料第141) 昭5	滿鐵調査課	395— 4
臺灣製糖會社	事業沿革之概要 昭6	編 所	395— 5
大日本麥酒會社	大日本麥酒株式會社概覽 昭6	—	395— 6
臺灣總督府	臺灣糖業要覽 昭7	—	395— 7
滿洲經濟事情案內所	滿洲國ニ於ケル砂糖事情 昭8	—	395— 8
滿蒙文化協會	滿洲に於ける製粉業 大正13	—	395— 9
財政部稅務司	酒類製造者名簿 康2	—	395— 10
星 正 義	乳 學 2冊 昭6	明 文 堂	395— 11
實小 藤 遠 雄 島 正 秋	乳と乳製品の細菌學 昭13	西ヶ原刊行會	395— 13

○

日本興業銀行	本邦麥酒業の現状に就て 昭8	編 所	395— P1
農商務省農林局	糖 業 要 覽 大正14	—	395— P2

【396 金 屬 工 業】

滿鐵經調	ソ聯邦の製鐵業 昭11	編 所	396— 1
高 橋 本 技	アルミニウム及其合金 昭13	工業圖書會社	396— 2
山田良之助	金屬材料 3版 昭11	吉田工務所	396— 3
日本學術振興會	— 昭12	編 所	396— 4
石田四郎等	金屬材料ハンドブック 昭13	工業圖書會社	396— 5
渡邊昌太郎	日本鐵鋼業論 昭13	白 揚 社	396— 6
河 合 匡	金屬材料 昭13	共 立 社	396— 7
石 井 義 雄	電氣爐鑄鐵及製鐵法 昭13	太 陽 堂	396— 8
倉 橋 隆 次 郎	鑄 物 四 講 昭13	工業圖書會社	396— 9
村上武次郎等	特 殊 鋼 昭13	共 立 社	396— 10
長 氣 研 究 所	新興産業の基礎知識 昭13	春 秋 社	396— 11
	マグネシウム		
	非鐵金屬		
	特 殊 鋼		

[3 産 業]

編著者名	書名	発行所	整理番號
○			
村松 操 大 郎	製鐵用術語集 昭11	鋼鐵協會	396—P1
[397 機 械 工 業]			
上 野 市 社 會 局	上海之機械工業 長22	中華書局	397— 1
共 立 社	實地工作法講座 昭11-12	編 所	397— 2
	旋盤仕事 (山口實一)		
	ターレット旋盤及自動旋盤仕事 (原田隆一)		
	孔明け及中ぐり仕事 (三上新九郎)		
	ミリング仕事 (早坂 力)		
	研削仕事 (永澤謙三)		
	鋸切仕事 (山本信夫)		
	仕上及組立仕事 (松田和三、長澤寸実彦)		
	ゲージ及検査仕事 (長澤寸実彦)		
	切削仕事 (平林實雄)		
	平削盤、形削盤及堅削盤仕事 (山口朝忠)		
田 中 夏 芳 等	機械工作法 昭13	工業圖書會社	397— 3
工 業 調 査 會	機 械 辭 典 昭13	—	397— 4
○			
大 河 内 正 敏	農村の機械工業 昭13	科學主義工業社	397.1— 1
○			
久 次 米 三 夫	日滿技工の技能比較と滿洲國機械工業私見 昭10	北海通商大	397—P1
[398 電 氣 瓦 斯 工 業]			
東 京 市 政 調 査 會	我國主要都市ニ於ケル瓦斯事業報價契約 昭3	編 所	398— 1
—	我國主要都市ニ於ケル電氣事業報價契約 昭3	—	398— 2
東 邦 電 力 會 社	電氣事業報告書添附調表 昭6	—	398— 3
札 幌 通 信 局	[札幌通信局]管内電氣事業要覽 3冊 昭6-8	—	398— 4
基 礎 調 査 會	電氣事業要覽 第9.14回 2冊 昭7-12	—	398— 5
大 阪 通 信 局	電氣事業要覽 昭7	—	398— 6
滿 洲 電 業 會 社	社 業 統 計 昭2	—	398— 7

【 3 産 業 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番号
出 原 朝	滿洲ニ於ケル電氣事業概説 昭10	滿洲電業會社	398— 8
滿洲電業公司	中華民國ニ於ケル電氣事業 昭10	—	398— 9
—	中華民國電氣事業 昭10	—	398— 10
	卷 1 江蘇、浙江		
	卷 2 河北、山東		
	卷 3 福建、廣東、廣西		
	卷 4 山西、河南、安徽		
電氣新報社	電氣年報 昭11	編 所	398— 11
滿洲電氣協會	滿洲の電氣事業 昭10	—	398— 12
目 戸 繁 榮	最新實務電氣工學 昭11	協 政 社	398— 13
伊 藤 榮 三 郎	電氣術語新辭典 昭12	太 陽 堂	398— 14
中 川 元 治 朗	電氣事業評價の基礎	オ ー 人 社	398— 15
小 島 友 正	交流電氣機械 昭9	振 野 電	398— 16
通信省電氣局	電氣事業要覽 昭13	電 氣 協 會	398— 17
笑 作 新 六	電氣化學 昭8	共 立 社	398— 18
益 澤 元 治	電力問題講話 昭11	オ ー 人 社	398— 19
龜 山 直 人	電氣化學の理論及應用 昭11	丸 轉	398— 20
鈴 木 久 玉	光電管及光電池 昭13	工業圖書會社	398— 21
渡 邊 久 夫	外線工事 昭13	オ ー 人 社	398— 22
森 光 三	交流理論と過渡現象 昭13	尚 賢 堂	398— 23
上 村 山 雄 雄 茂	電氣冷房 昭13	太 陽 堂	398— 24
長 島 彌 治	電氣機械 昭13	工業圖書會社	398— 25
藤 梁 部	電氣周波數調査會議議事録 昭4	編 所	398— 26
桑 島 正 夫	電氣機器及用品ノ規格集 1-12 大正10-昭13	電氣工務委員會	398— 27
○			
實 源 周	本邦動力電化の趨勢 昭8	編 所	398— P1
市政調査會	瓦斯事業買収市營論 昭4	—	398— P2
滿洲電業會社	(滿洲電業株式會社)營業報告書 第1回 昭10	—	398— P3

		【 3 改 進 】	
編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
朝鮮銀行	朝鮮に於ける電気統制計畫と其歸趨 昭10	編 所	398—P4
滿洲電気協會	滿洲電気協會概要 康5	—	398—P5
—	滿洲電気協會會員名簿 康5	—	398—P6
【 399 其 他 】			
北滿經濟調査所	木材乾溜生産物ノ北滿ニ於ケル動向 康3	編 所	399— 1
日本動力協會	日本の發電所 中野日本照 昭12	—	399— 2



【4 交 通】

編・著者名 題 名 発行所 整理番号

4 交通・通信・土木・建築

【410 交通一般】

交 通 部	交通部法規類纂	5冊 康1	編 所	410.1— 1
—	交通法規類纂	康4	—	410.1— 2
	1 總務編			
	2 水運編			
	3 郵便編			
	4 電政編			

○

民 國 交 通 部	交通部統計年報	民國17年度 民20	編 所	410.4— 1
-----------	---------	------------	-----	----------

○

滿 鐵 調 査 課	滿蒙交通統計	昭和三年度 昭5	編 所	410.5— 1
東 京 市 役 所	東京市交通調査統計表	大正15	—	410.5— 2
滿 鐵 經 理 課	滿洲交通統計集成	(經濟資料第60) 昭10	—	410.5— 3

○

鐵 道 學	鐵嶺を中心とする道路及遼河水運	昭7	編 所	410.9— 1
(民) 橋 野 明	世界交通狀況	民10	大 東 書 局	410.9— 2
民 國 經 濟 委 員 會	中國公路交通圖表彙覽	民24	編 所	410.9— 3
帝 國 鐵 道 協 會	交通統制に関する當選論文集	昭12	—	410.9— 4
滿 鐵 天 津 事 務 所	綏遠省の交通	(北支經濟資料第24) 昭11	—	410.9— 5

○

渡 邊 精 吉 郎	日本と北滿の新交通路		滿洲技術協會	410.9— P1
-----------	------------	--	--------	-----------

【411 交通理論】

佐 藤 敏 章	交通原論	昭5	硯 山 書 店	411— 1
小 島 昌 太 郎	交通經濟論	昭5	日 本 評 論 社	411— 2
東 京 市 役 所	東京市郊外に於ける交通機關ノ發展ト人口ノ增加	昭5	編 所	411— 3

【412 交通史】

(民) 張 鼎 煥	中西交通史料匯編	8冊 民19	輔 仁 大 學 圖 書 館	412— 1
-----------	----------	--------	---------------	--------

【4 文 編】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
(民) 郭 承 燧	明南京車駕司職掌 民23	商務印書館	412— 2
(民) 孫 師 毅	中國現代交通史 民20	—	412— 3
【413 交 通 政 策】			
滿鐵哈爾濱事務所	極東露領交通機關擴張十年計畫 昭4	編 所	413— 1
滿洲事情案內所	滿洲國の交通事情 昭10	—	413— 2
東亞經濟調查局	亞細亞露西亞鐵道政策 (經濟資料第15の1) 昭4	—	413— 3
【415 旅 客 施 設】			
臺灣總督府	臺灣鐵道旅行案内 昭7	編 所	415— 1
民國道路建設協會	中國公路旅行指南 民25	—	415— 2
滿洲觀光聯盟	滿洲觀光聯盟創立總會經過報告 昭12	—	415— 3
小 原 憲 綱	現行內國旅費規則詳解 昭12	法學醫院	415— 4
○			
外交部通商司	外國旅券及外國人入境旅券查證規則及同施行 細則 大同3	編 所	415— P1
—	關東州租借地滿鐵附屬地及國內定住外國人之 旅券查證暫行辦法 大同3	—	415— P2
鐵 路 總 局	四平街、齊齊哈爾、哈爾濱間鐵道案內 康1	—	415— P3
【420 陸 運 一 般】			
足 立 正 行	朝鮮滿洲陸運總覽 昭3	交通評論社	420— 1
○			
滿洲事情案內所	新京に於ける貨物集散機關 昭3	滿洲文化協會	420— P1
【421 道 路 交 通】			
島 田 孝 一	自動車運送ノ經濟學的研究 昭7	丸 蔭	421— 1
滿 鐵 臨 經	經濟上ヨリ觀タル滿蒙ノ道路 昭4	編 所	421— 2
—	滿蒙ニ於ケル荷馬車 昭3	—	421— 3
梅 崎 敏 雄	現代道路論 昭3	廣 松 堂	421— 4
(民) 陸 丹 林 等	道路全書 民18	民 國 道 路 建 設 協 會	421— 5
勳 川 良 輔 上之國 隆太郎	滿蒙ニ於ケル自動車輸送狀況 昭3	滿鐵調查課	421— 6
鐵 路 總 局	鐵路總局自動車線關係規定類抄 康3	—	421— 7
吳 康 欽 次郎	自動車講義 昭3	體 文 堂	421— 8

【4 文 通】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
慶陽縣公署	建國後道路行政概要 康4	編 所	421— 9
	【パンフレット】		
滿鐵設計係	旅大及金大間自動車輸送旅客統計 昭7	編 所	421— P1
自治指導部	奉天省に於ける自動車業の調査 昭7	—	421— P2
日本交通協會	自動車に関する統計 昭10	—	421— P3
	○		
(民) 岡 建	錢江水底隧道計劃 民23	編 所	421.1— 1
	○		
滿鐵產業部	滿洲に於ける自動車並自動自轉車の現勢調査 昭12	編 所	412.9— 1
	【430 鐵道 一般】		
星田信隆	滿蒙鐵道網と交通問題 (滿蒙講座) 昭7	滿洲文化協會	430— 1
—	滿蒙鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響 (調査資料第153) 昭6	滿鐵調査課	430— 2
(民) 謝 彬	中國鐵道史 民18	中華書局	430— 3
(民) 曾 觀 化	中國鐵路史 民13	編 者	430— 4
水雄鎮郎	植民地鐵道の世界經濟的及世界政策的的研究 昭6	日本評論社	430— 5
(民) 卓 宏 謀	包察鐵路建設與計劃 民22	編 者	430— 6
(民) 洪 瑞 濤	鐵路與公路 民24	交通雜誌社	430— 7
伊澤道雄	開拓鐵道論 昭12	春秋社	430— 8
	○		
滿鐵文書課	規定類纂 昭12	編 所	430.1— 1
交通部鐵路司	滿洲國私設鐵道關係法令の解説 康5	—	430.1— 2
	○		
札幌鐵道局	[札幌鐵道局]年報 昭5	編 所	430.4— 1
仙臺鐵道局	[仙臺鐵道局]年報 昭7	—	430.4— 2
大阪鐵道局	[大阪鐵道局]年報 昭7	—	430.4— 2
東京鐵道局	[東京鐵道局]年報 昭7	—	430.4— 4
朝鮮總督府	[朝鮮總督府鐵道局]年報 第1-54編 5册 昭7-12	—	430.4— 5
樺太廳鐵道事務所	[樺太廳鐵道事務所]年報 2册 昭6-7	—	430.4— 6

【4 文 編】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
名古屋鐵道局	[名古屋鐵道局]年報 5册 昭3-5	編 所	430.4— 7
臺灣總督府	臺灣總督府鐵道年報 4册 昭6	—	430.4— 8
鐵道省	鐵道省年報 6册 昭5-12	—	430.4— 9
—	鐵道局年報發行規程並同様式 大正6	—	430.4— 10
滿鐵鐵道部	[滿鐵]統計年報 14册 明42-昭10	—	430.4— 11
東支鐵道區調局	東支鐵道年報 1920年 昭3	—	430.4— 12
中東鐵路經理	中東鐵路統計年鑑 2册 民19-大同1	—	430.4— 14
—	東省鐵路統計年刊 3册 民16-18	—	430.4— 15
民國鐵道部	[民國]鐵道年鑑 民22	—	430.4— 16
鐵路總局	鐵路總局統計年報 康3	—	430.4— 17
哈爾濱鐵路局	舊北滿鐵路營業統計年報 康2	—	430.4— 18
○			
鐵道省	鐵道統計規則並同様式 2册 昭3	編 所	430.5— 1
—	鐵道統計資料 昭8-10	—	430.5— 2
—	世界各國鐵道統計 昭7	—	430.5— 3
—	統計上ヨリ見タル米國鐵道 昭10	—	430.5— 4
民國中央統計處	全國公路統計 民24	—	430.5— 5
滿鐵產業部	蘇聯邦鐵道統計集 昭11	—	430.5— 6
○			
滿鐵鐵道總局	鐵道總局統計便覽 昭13	編 所	430.5— P1
○			
滿鐵調查課	長春煙筒山間鐵道調查報告書 昭5	編 所	430.9— 1
滿鐵鐵道部	鐵道警護打合會議々事錄 大正15	—	430.9— 2
滿鐵調查課	太哈鐵道調查報告書 昭6	—	430.9— 3
—	朝鮮の私設鐵道 大正14	—	430.9— 4
中村謙介	敦化哈爾濱間鐵道豫定線踏査報告 昭4	滿鐵鐵道	430.9— 5
滿鐵調查課	支那に於ける鐵道問題 大正7	編 所	430.9— 6
—	新聞に傳へられる滿蒙の豫定鐵道 昭3	—	430.9— 7

【4 文 通】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
滿鐵調査課	滿蒙鐵道網の發達 昭6	編 所	430.9— 8
民國鐵道部	中國鐵道便覽 2版 民23	—	430.9— 9
滿鐵調査課	本溪湖鐵道調查報告書 2册 昭3	—	430.9— 10
上村哲彌	滿蒙の鐵道問題、商租問題に就て 昭3	滿鐵社員會	430.9— 11
興地學社	中華全國最新公路圖 民20	編 所	430.9— 12
平坂鐵路局	平 綏 綏 2册 民23-24	—	430.9— 13
(民) 卓 宏 謀	内蒙赤錦鐵路建設圖 民23	編 者	430.9— 14

【パンフレット】

泉田信隆	滿蒙に於ける鐵道の概要 昭4	滿鐵調査課	430.9— P1
臺灣總督府	臺灣の鐵道 昭6	編 所	430.9— P2
鐵道省	鐵道要覽 昭4	—	430.9— P3
滿鐵調査課	全國鐵路代表大會々議錄 大正14	—	430.9— P4
臺灣總督府	鐵道要覽 昭10-11)	—	430.9— P5
哈爾濱鐵路局	哈鐵概況 昭13	—	430.9— P6
總務廳情報處	北滿鐵路接收紀念特刊 廣2	—	430.9— P7

【431 營業・經理】

佐藤雄能	實用鐵道會計 昭6	同 文 館	431— 1
四洮鐵路局	四洮鐵路會計統計年報 民10-14	編 所	431— 2
民國交通部	國有鐵路會計統計總報告 2册 民5-6	—	431— 3
東亞經濟調查局	獨逸國有鐵道會社研究 (經濟資料第14の10) 昭3	—	431— 4
—	L. M. S 鐵道會社と從事員の待遇 (經濟資料第13の11) 昭2	—	431— 5
山東鐵道會社	山東鐵道會社ニ關スル調查報告 大正4	—	431— 6
平 山 幸	鐵道財政の話 大正15	鐵道生活社	431— 7

滿鐵統計係	各國鐵道營業成績表 昭7	編 所	431— P1
-------	--------------	-----	---------

【432 輸 送】

鐵道省	主要貨物驛別統計年報 (東京) 2册 昭6-7	編 所	432— 1
—	— (大阪) 2册 昭6-7	—	432— 2

【 4 交 通 】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
鐵 道 省	主要貨物驛別統計年報 (札 幌) 2册 昭6-7	編 所	432— 3
—	— (門 司) 2册 昭6-7	—	432— 4
—	— (仙 臺) 2册 昭6-7	—	432— 5
—	— (名古屋) 2册 昭6-7	—	432— 6
—	東京鐵道局主要貨物統計年報 2册 昭6-7	—	432— 8
—	大阪—— 2册 昭6-7	—	432— 9
—	札幌—— 2册 昭6-7	—	432— 10
—	門司—— 2册 昭6-7	—	432— 11
—	仙臺—— 2册 昭6-7	—	432— 12
—	名古屋—— 2册 昭6-7	—	432— 13
滿 鐵 鐵 道 部	主要貨物年報 昭7	—	432— 14
滿 鐵 調 査 課	中東鐵路運輸統計 昭7	—	432— 15
鐵 道 省 運 輸 局	鐵道の貨物輸送試験成績 昭6-7	—	432— 16
	農産品の部		
	水産品の部		
	畜産品の部		
	活魚、野菜生果、米の部		
朝 鮮 鐵 道 督 府	朝鮮鐵道主要貨物=關スル各種統計表 昭6	編 所	432— 17
—	貨車行先調 昭6	—	432— 18
—	小口貨物輸送ノ現況 昭6	—	432— 20
交 通 商 業 社	全國鐵道貨物營業料程表 昭9	—	432— 21
滿 洲 書 院	滿洲鐵道運輸總覽 滿鐵調 昭9	滿 洲 プ レ ス 出 版 部	432— 22
日 滿 實 業 協 會	滿鐵貨物運賃調 昭9	編 所	432— 23
滿 鐵 鐵 道 總 局	驛別貨物運輸統計 昭13	—	432— 24
	○		
鐵 道 省	食料品ノ鐵道輸送 昭7	編 所	432— P1
滿 鐵 調 査 課	西比利鐵道ノ連絡運輸	—	432— P2
—	鐵道運送規程 昭6	—	432— P3

〔4 交 通〕

編・著者名	書 名	名	發 行 所	整理番號
名古屋鐵道局	驛別旅客收入取扱數量其他一覽	昭5	編 所	432—P4
〔433 車輛・線路〕				
鐵 道 省	日本全國鐵道線路行程	昭9	編 所	433—P1
〔434 運貨・貨率〕				
哈爾濱日本商議	社線及國線貨物運貨、料金要覽	昭11	編 所	434— 1
森 崎 嘉 郎	滿鐵及滿洲國有鐵道運貨改正ノ影響	昭11	日滿實業協會	434— 3
哈爾濱商工公會	滿洲國鐵道貨物運貨率表	康5	編 所	434— 4
○				
大 連 商 議	滿蒙鐵道特定運貨制定方ニ關スル建議	昭7	編 所	434—P1
滿鐵鐵道部	貨物運貨及料金規則附貨物特定運貨率表	昭7	—	434—P2
日滿實業協會	滿洲ニ於ケル鐵道運貨關稅ニ關スル報告	昭9	—	434—P3
〔435 從 事 員〕				
(民) 劉 心 鈺	華北鐵路工人工資統計	民18	社會調查所	435— 1
〔436 技 術〕				
滿鐵鐵道部	工作統計年報	昭5	編 所	436— 1
〔437 國 鐵〕				
瀋陽鐵路公司	瀋海鐵路公司十九年工作報告二十年進行計畫	民20	編 所	437— 1
東北交通委員會	東北鐵路統計	民20	—	437— 2
鐵 路 總 局	國線沿線鐵路愛護村現勢一覽	康1	—	437— 3
總務廳情報處	滿洲帝國國鐵沿線地方概況	康2	—	437— 4
滿洲事情案內所	滿洲國有鐵道沿線及背後地各縣概況	昭10	—	437— 5
滿鐵鐵道建設局	拉濱線建設工事寫真帖	昭9	—	437— 6
鐵 路 總 局	[鐵路總局]統計年報	康2	—	437— 7
—	國鐵沿線機關及施設一覽表	昭10	—	437— 8
—	熱河鐵道ノ經濟的價值	昭10	—	437— 9
—	滿洲國有鐵道ノ背後地資源	2册 昭11-12	—	437— 10
—	國線鐵道愛護村概要並愛護村現勢	昭12	—	437— 11
滿鐵鐵道建設局	敦圖線建設工事寫真帖	昭9	—	437— 13

【4 交 通】

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
滿鐵鐵道總局	京濱線及背後地經濟事情 昭13	—	437— 15
○			
鐵 路 總 局	日滿新交通路トシテノ拉濱線 廣1	編 所	437— P1
—	[鐵路總局]事業概要 2冊 廣2.5	—	437— P2
—	滿洲國鐵道經營の方針 昭12	—	437— P3
【438 滿 鐵】			
滿鐵文書課	規程類纂 通 規 昭5 11冊 營業、倉庫、埠頭、貨物、配車 營業、手小荷物、聯絡旅客 營業、聯絡貨物 運輸帳表 運 轉 電氣(通信、動力) 工 作 地 方 產業(殖産、販賣) 經理、會計	編 所	438— 1
滿鐵資料課	南滿洲鐵道株式會社營業一斑 2冊 昭7-9	編 所	438— 2
滿鐵人事課	職 員 錄 昭8	—	438— 3
—	社 員 錄 昭9-11	—	438— 4
滿鐵運輸課	驛 勢 一 般 其1-4 4冊 大正2	—	438— 5
滿鐵資料課	滿洲事變ト滿鐵 昭9	—	438— 7
滿 鐵	南滿洲鐵道株式會社三十年略史 昭12	—	438— 8
○			
滿鐵統計係	統計から見た最近五ヶ鐵道業態目表 昭7	編 所	438— P1
滿鐵調査課	滿鐵ノ概要 昭7	—	438— P2
大 岡 時 男	滿鐵改組断案 昭11	國策產業協會	438— P3
滿 鐵	滿鐵營業報告書 第35回 昭10	編 所	438— P4

【4 文 通】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理書號
滿 鐵	滿 鐵 要 覽 昭10	編 所	438—P5
[439 北	鐵]		
(民) 曾 志 陵	中東路交涉史 民20	北平建國圖書社	439— 1
(民) 王 余 杞	北寧鐵路之黃金時代 民20	星 雲 堂	439— 2
今村駐露財務官	東 清 鐵 道 大正7	外 務 省	439— 3
民國工商部	中東鐵路問題 民18	編 所	439— 4
(民) 王 景 春	中國鐵路借款合同全集 民5	鐵 路 協 會	439— 5
民國經濟調查局	東省鐵路概論 民17	編 所	439— 6
東省鐵路經調	北滿與東省鐵路 民16	—	439— 7
哈爾濱鐵路局	北鐵沿線概況 康2	—	439— 8
日滿實業協會	北鐵接收ガ北滿ニ及ボセル影響 昭10	—	439— 9
(民) 傅 角 今	中東鐵路問題之研究 民18	世 界 書 局	439— 10
石 原 龍 高	東支鐵道ヲ中心トスル露支勢力ノ消長 昭3	哈爾濱事務所	439— 11
總務廳情報處	北滿鐵路接收紀念特刊 康2	編 所	439— 12
	○		
滿鐵調查課	東支鐵道附屬地(現在東省特別區)ノ露治時代ト現在ノ比較 昭4	編 所	439— P1
—	東支鐵道會社概要	—	439— P2
—	東支鐵道ノ滿洲經濟界ニ及ボセル影響ト創業二十五年間ニ於ケル運賃改正ノ變遷 昭4	—	439— P3
—	東支鐵道土地課回收問題	—	439— P4
哈爾濱市政廳總所	東鐵補助金ニ關スル調査 大同2	—	439— P5
滿鐵調查課	東支鐵道商業部及經濟調查局ノ組織ト事業一斑 昭2	—	439— P6
—	東支鐵道ガ特殊ノ運賃政策ヲ取リタルコトガ北滿產業開發上其他如何ナル結果ヲ生ジタカ 昭4	—	439— P7
	【 440 水 運 一 般】		
通信省管船局	海 事 摘 要 昭3	編 所	440— 1
—	日 本 船 員 統 計 昭3	—	440— 2
朝鮮總督府	朝鮮河川調查年報 昭3-13	—	440— 3
海事會報社	海 事 年 鑑 昭3	—	440— 4
滿鐵哈爾濱事務所	松花江航行權問題ノ研究 大正13	—	440— 5

[4 交 通]

編・著者名	題 名	年	發 行 所	整理番號
交通部路政司	滿洲國水運法規	康2	編 所	440— 6
水 路 部	揚子江水路誌	大正16-昭3	—	440— 7
○				
(民) 鮑 明 鈞	外人在華沿岸及內河航行權	民21	中國太平洋 國際學會	440.1— P1
○				
滿 鐵 臨 經	松花江の水運	昭4	編 所	440.9— 1
○				
英 石 陸 壽	支那航行權概論 (調查資料第150)	昭6	滿鐵調査課	440.9— P1
營 口 商 議	營口港遼河ノ水運	昭7	編 所	440.9— P2
[443 船 舶]				
大 倉 一 郎	關東州ノ置籍船	大正13	滿鐵調査課	443— P1
交通部路政司	滿洲國船名錄	康2	編 所	443— P2
神 戶 市 役 所	船舶積量噸=就テ	昭7	—	443— P3
[444 航路・航路標識]				
燈 臺 局	日本燈臺表	昭6	編 所	444— 1
臺灣總督府	航路標識編	昭3	—	444— 2
選 信 省	船舶航路定限圖	昭6	—	444— 3
○				
英 石 陸 壽	北支那沿岸ノ航路網	昭3	編 所	444— P1
[445 運 賃]				
神 戶 市 役 所	船載貨物運賃計算ノ單位=就テ	昭3	編 所	445— P1
[446 港 灣 施 設]				
東 亞 同 文 會	支那開港場誌	大正11	編 所	446— 1
橫 濱 稅 關	橫濱港概覽	昭7	—	446— 2
門 司 商 議	門司港海事要覽	昭	—	446— 3
內務省土木局	大日本帝國港灣統計	昭7	—	446— 4
滿鐵哈爾濱事務所	數字上ヨリ觀タル滿鐵斯德商港	大正15	—	446— 5
福 山 鐵 廠	最近漢口港ノ港勢	大正13	滿鐵調査課	446— 6

【4 文 通】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
河畑勲左衛門	上 海 港 大正12	滿鐵調査課	445— 7
日滿實業協會	對滿商港トシテ見タル日本ノ諸港調 昭9	編 所	446— 8
滿鐵天津事務所	北支港灣要覽 昭11	—	446— 9
野 中 時 雄	北支港灣事情 昭11	滿 鐵	446— 10
榮 原 福 藏	唐宋貿易港研究 民24	商務印書館	446— 11
上海總浦總局	上 海 港 大 全 民19	編 所	446— 12
深 田 青 治	上 海 港 昭11	三井物産會社	446— 13
滿鐵調査課	大連港施設概要 昭3	編 所	446— 14
夷 石 隆 野	海運より見たる浦鹽斯德商港 昭6	滿鐵調査課	446— 15
鈴木雅次	港 灣 工 學 昭13	ア ル ス	446— 16
—	港 工 學 昭10	常 盤 書 局	446— 17
○			
營 口 商 會	滿蒙物資吞吐口トシテノ營口 昭7	編 所	446— P1
日滿實業協會	北 鮮 三 港 比 較 昭10	—	446— P2
【 447 海 運】			
日本郵船會社	海運及經濟調査報告 昭9-11	日本海運協會所	447— 1
夷 石 隆 野	支那ニ於ケル列國ノ海運勢力 (調査資料第114) 昭4	滿鐵調査課	447— 2
滿鐵調査課	南滿三港海運事情 (調査資料第88) 昭3	編 所	447— 3
通 信 省	海 運 概 況 昭6	—	447— 4
下 村 健 一	現 代 海 運 論 昭11	千 倉 書 房	447— 5
【 448 河川・運河・湖沼】			
山 下 康 雄	黑龍江及其支流ノ航運 4冊 大正13-昭3	滿鐵調査課	448— 1
滿鐵調査課	黑龍江系水路誌 3冊 大正13-昭4	編 所	448— 2
—	遼 河 水 運 明4	—	448— 3
哈爾濱市公署	松花江水運ト哈爾濱 康2	—	448— 4
日滿實業協會	遼河ト松花江 昭10	—	448— 5
成 田 精 雄	滿蘇國境額爾古納河調査誌 康2	北 滿 經 調	448— 6
矢 野 剛	運 河 論 昭10	巖 松 堂	448— 7

[46 通 信]

編・著者名	書名	発行所	整理番號
綏遠省政府	綏遠民生渠報告書 民20	編 所	448— 8
北滿鐵道	松花江を中心とする北滿水運の現状 昭11	—	448— 9
滿鐵商業部	北滿河川水運統計 昭11	—	448— 12
內務省河川課	河川法關係法規類集 昭11	—	448— 13

○

滿洲事情案内所	松 花 江 昭9-10	編 所	448—P1
—	遼 河 昭10	—	448—P2

[450 空 運 一 般]

逓 信 省	航空統計年報 第2回 昭8	編 所	450— 1
若井三子雄譯	盲目飛行の理論と實際 昭11	滿洲航空株式會社	450— 2
—	航空照明 昭11	—	450— 3
航空評議會	航空用語 昭11	帝國飛行協會	450— 4
高橋重治	日本航空史 3册 昭11	航空協會	450— 5
淺田禮三	航空殉職錄 3册 昭11	航空殉職協會	450— 6
滿洲航空株式會社	英國民間航空政策と英帝國航空路會社 廣4	編 所	450— 7
(民)鄭漢生	實用航空學 民24	商務印書館	450— 8
小川太一郎	航空讀本 昭13	日本評論社	450— 9

○

山名壽三	航空法論 1-3 昭7	有 斐 閣	450.1— 1
------	-------------	-------	----------

○

航空機工學局 航空機工學局	飛行機取扱法 昭13	東 亞 社	453— 2
------------------	------------	-------	--------

[460 通 信 一 般]

逓信省文書課	逓信省處務例規 昭8	編 所	460.1—P1
--------	------------	-----	----------

○

逓信省文書課	逓信省年報 昭8	編 所	460.4— 1
朝鮮總督府	朝鮮總督府逓信年報 6册 昭8-11	—	460.4— 2
滿洲電電	[滿洲電信電話會社]統計年報 昭9-11	—	460.4— 3

【46 通 信】

編者名	題 名	発行所	整理番號
○			
關 東 都 府	關東都府通信統計要覽 大正4	編 所	460.5— 1
關 東 廳	關東廳遞信統計要覽 昭9	—	460.5— 2
遞 信 省	通信統計要覽 昭7-11	—	460.5— 3
臺灣總督府	遞信統計要覽 昭7	—	460.5— 4
朝鮮總督府	朝鮮總督府遞信統計要覽 5冊 昭7-11	—	460.5— 5
大阪遞信局	[大阪遞信局]業務統計要覽 昭7	—	460.5— 6
札幌遞信局	[札幌遞信局]業務統計要覽 4冊 昭7-11	—	460.5— 7
廣島遞信局	[廣島遞信局]業務統計要覽 2冊 昭7-8	—	460.5— 8
熊本遞信局	[熊本遞信局]業務統計要覽 5冊 昭7-10	—	460.5— 9

○			
臺灣總督府交通局	通 信 概 覽 昭9	編 所	460.9— 1
遞 信 局	業 務 要 覽 昭7	—	460.9— 2
朝鮮總督府	朝鮮の遞信事業 5冊 昭7-11	—	460.9— 3
(民) 謝 彬	中國郵電航空史 民17	商務印書館	460.9— 4
(民) 周 傑 鳴	全國郵運航空實施計畫書 民19	東方印刷公司	460.9— 5
朝鮮總督府	遞 信 拾 遺 昭11	編 所	460.9— 6
札幌遞信局	北海道遞信事業概況 昭11	—	460.9— 7
中國通信社	資 料 通 信 6冊 昭10	—	460.9— 8

○			
全 國 經 務	世界ノ新聞通信網ニ就テ 昭11	編 所	460.9— P1

【461 通 信 政 策】

小 池 善 次 郎	遞 信 行 政 昭13 (自治行政叢書第18)	常 盤 書 房	461— 1
大 畑 源 一 郎	通信工學ポケットブック 康11	電 信 電 話 學 會	461— 2
郵 政 總 局	滿洲國通信區畫便覽 康5	編 所	461— 3

○			
自 治 指 導 部	支那側通信施設に關する調査 大同1	編 所	461— P1

【47 土 建】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
【462 郵 便】			
民國交通部	中華民國郵政事務總論 15冊 宣3-民15	編 所	462— 1
—	中國郵政統計專刊 民20	—	462— 2
—	郵政事務總記 民國10年 民18	—	462— 3
(民)張 傑 任	中國郵政 3冊 民34-25	商務印書館	462— 4
民國郵政總局	郵政事務年報 民國23年 民23	編 所	432— 5
郵政總局	郵政局所辦理事務便覽 康5	—	462— 6
—	郵政職員錄 康5	—	462— 7
哈爾濱郵政管理局	例規類纂 康5	—	462— 8
○			
交通部郵務司	郵政轉賬儲金利用法 康3	編 所	462— P1
—	振替儲金の利用法 康3	—	462— P2
奉天郵政管理局	職 員 錄 康5	—	462— P3
【463.464 電信・電話】			
滿洲電 電	我社ノ統計作成方法 昭11	編 所	463— 1
門 岡 迪 雄	無線電信電話概論 大正14	丸 善	463— 2
○			
滿洲電 電	滿洲電信電話株式會社概要 2冊 昭9-10	編 所	463— P1
○			
水野敏之熊	無線電話大要 昭2	丸 善	464— 1
【470 土 木 建築】			
須 藤 眞 金	建築用語新辭典 昭7	太 陽 堂 書 店	470.2— 1
○			
吉 林 省 公 署	工事標準仕様書 康4	編 所	470.9— 1
【474 設 計】			
(民) 梁 思 成	曲阜孔廟建築及其修葺計畫 民24	中國營造學社	474— 1
【479 都 市 計 畫】			
東京市政調查會	本邦都市計畫事業ト其財政 昭4	編 所	479— 1

【47 土 地】

編者名	題 名	種 行 所	整理番號
東京市政調査會	街 路 照 明 2冊 昭4	編 所	479— 2
阪 神 一 省	都 市 計 畫 (自治行政叢書第10) 昭9	常 設 書 房	479— 3
國務院國都建設局	國都建設事業關係法令集覽 康1	編 所	479— 4
東京市役所	帝都復興區劃整理誌 昭7	—	479— 5
上海市工務局	上海特別市工務局業務報告 民17	—	479— 6
中國造設協會	中 國 建 設 民35	—	479— 7
仲 野 照 久	美觀都市大鑑 昭11	內政俱樂部	479— 8

○

東京市政調査會	街 路 樹 大正14	編 所	479— P1
(英) フォームス著 東京市政調査會譯	現代都市計畫 昭2	—	479— P2
東京市政調査會	イギリスの都市計畫 2版 昭2	—	479— P3
設 部 建 設 局	國 都 大 新 京 3版 康1	—	479— P4
東京府學務部	東京府不良住宅地區改良事業報告書 昭9	—	479— P5
森 山 一 雄	國都建設批判及提言 大同2	—	479— P6

【480 土 木 一 般】

臺灣南道土木課	土 木 要 覽 昭6	編 所	480— 1
臺灣總督府	土 木 事 業 2冊 昭8-9	—	480— 2
東京市政調査會	受益者負擔制總覽 昭6	—	480— 3
臺灣總督府	土木事業統計年報 3冊 昭7-9	—	480— 4
滿 鐵 鐵 道 部	工 務 統 計 昭6	—	480— 5
(民) 劉 光 黎	中國土木行政 民6	內務部編譯處	480— 6
武 田 中 興 田 中 興 好	土 木 行 政 (自治行政叢書第9) 昭10	常 設 書 房	480— 7

【482 道 路】

(民) 關 鐵 山 等	晉級兵工築路年報 民24	晉級兵工築路 部 隊 部	482— 1
-------------	--------------	-----------------	--------

○

國 道 局	國道局過去一年ノ回顧ト將來ノ展望國道建設ノ地方ニ及ボス影響調査 康1	編 所	482— P1
-------	------------------------------------	-----	---------

【484 治 水】

上 水 協 議 會	上水道統計及報告 3冊 昭6	編 所	484— 1
-----------	----------------	-----	--------

[47 土 庫]

編・著者名	書名	發行所	整理番號
內務省	治水事業ニ關スル統計書 昭6	編 所	484— 2
(民) 宗受宇	淮河流域墜理與導淮問題 民23	宗山書局	484— 3
(民) 楊杜宇	導淮之根本問題 民20	新華圖書局	484— 4
(民) 汪胡敏	院淮工振紀實 民21	院淮工程局	484— 5
國民政府救濟委員會	國民政府救濟水災委員會察勘各區工程簡覽 民21	編 所	484— 6
民國濬浦局	濬浦局與濬浦工程 民13	—	484— 7
武井群剛	比較水法論 昭11	常盤野房	484— 8
朝鮮總督府	朝鮮直轄河川工事年報 2册 昭7-11	編 所	484— 9
哈爾濱特別市公署	甲戌哈爾濱防水紀錄 册3	—	484— 10
(民) 李曹田等	中國水利問題 2册 民26	商務印書館	484— 11
華北水利委員會	華北水利月刊 民28	編 所	484— 13
○			
東京市政調查會	下水道事業の經濟 昭6	編 所	485— P1
[490 建築]			
久恒治助	建築工事仕様及積算法 3册 昭11	鈴木書店	490— 1
○			
精鑛調査課	奉天昭陵調查報告 昭4	編 所	491— 1
大藏省管轄局	帝國議會議事堂建築報告書 2册 昭13	—	491— 2
○			
伊藤正文	建築保健工學 昭13	工業圖書會社	493— 1



【土 地】

編・著者名 書 名 發 行 所 整理番號

5 土地・人口・移植民・統計

【510 土地一般】

講 義 隨 筆	吉林省ニ於ケル土地整理ニ關スル法律	昭4	編 所	510.1— 1
—	黑龍江省植民ニ關スル省單行土地法令	昭5	—	510.1— 2
(民) 朱 采 眞	土地法釋義	民20	世 界 書 局	510.1— 3
恒 田 嘉 文	水ト土地ニ關スル判例	昭7	好 文 堂	510.1— 4
復 興 局	土地收用法講義	昭3	編 所	510.1— 5
(民) 壬 效 文	土地法論	民22	法 學 編 譯 社	510.1— 6
土 地 局	土地關係舊法規	5號 康1	編 所	510.1— 7
前 議 治	最新地租法要義	昭9	森 山 書 店	510.1— 8
(民) 吳 尙 禮	土地問題與土地法	民24	商 務 印 書 館	510.1— 9
小 栗 忠 七	土地區劃整理ノ歴史ト法制	昭10	澁 松 堂	510.1— 10
滿 鐵 調 査 課	勞農露國土地法の研究	昭2	大 阪 毎 日 新 聞 社	510.1— 11
終 希 會	ヘーデマン土地法要綱	康4	地 籍 整 理 局	510.1— 12
○				
商 務 印 書 館	土 地 法	民19	編 所	510.1— P1
土 地 局	商租關係法規集	康1	—	510.1— P2
○				
(民) 廣 通	土 地 問 題	民19	中 華 書 局	510.9— 1
(民) 草 植	土 地 經 濟 學	民21	黎 明 書 局	510.9— 2
內 閣 統 計 局	民有地ニ關スル統計材料	大正3	編 所	510.9— 3
總 督 府 土 地 調 査 局	朝鮮土地調查事業報告	大正7	—	510.9— 4
小 野 武 夫	土地經濟史考證	昭5	澁 松 堂	510.9— 5
(民) 殷 慶 夏	中國土地新方案	民23	正 中 書 局	510.9— 6
總 督 府 土 地 調 査 局	臨時土地調查局々報抄錄	大正2	編 所	510.9— 8
(民) 魏 國 清	中國土地問題之史的發展	民19	華 通 書 局	510.9— 9
那 須 皓	本邦土地利用ノ研究	昭8	岩 波 書 店	510.9— 10

【 5 土 地】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
野 間 知 一	南滿洲商租權問題 大正7	奉天印刷所	510.9—11
司 法 部	北滿特別區ニ於ケル土地問題 康2	編 所	510.9—12
土地村公有討論會	土地村公有問題言論集 民24	—	510.9—13
臨時產業調查局	土地改良地區調查書 12册 康3	—	510.9—14

第1號

倭青河水系 (三江省依蘭縣第4區)

牡丹江水系 (— 勃利縣第6區)

— (— — 林口)

東遼河水系 (奉天省雙山、遼源縣)

大凌河水系 (錦縣其他)

小凌河水系 (錦州省小凌河右岸)

穆稜河水系 (浙江省獨山縣第4區)

第2-6號

穆稜河水系 (浙江省)

浙江省民政廳	浙江省政府民政廳土地特刊 民17	編 所	510.9—15
地籍整理局	土地關係統計資料 康4	—	510.9—16
—	地籍整理事業概觀 康4	—	510.9—17
熱河省官房土地科	豐寧縣下ニ於ケル土地權利關係 康5	—	510.9—19
(米) ロフシグ・ ライツフ 著 岩田孝三 譯	支那土地利用地圖集成 昭13	東 學 社	510.9—20

○

松 木 徳	商租權概説 昭5	滿鐵調査課	510.9—P1
東京市政調査局	ドイツ都市に於ける土地區劃整理 大正15	編 所	510.9—P2
—	ドイツに於ける土地區劃整理の實例 大正13	—	510.9—P3
地籍整理局	地券様式彙集 康6	—	510.9—P4

【 511 土 地 制 度】

長 野 朗	支那土地制度研究 昭5	刀 江 醫 院	511—1
和 田 一 郎	朝鮮土地制度要論 大正9	朝鮮總督府	511—2
杉 本 吉 五 郎	關東州土地制度論 大正11	滿鐵調査課	511—3

[52 人 口]

編・著者名	書名	発行所	整理番號
(民) 陳登元	中國土地制度 民21	商務印書館	511—4
澤村康	中歐諸國ノ土地制度及ビ土地政策 昭6	改造社	511—5
臺灣土地調查局	臺灣土地慣行一斑 昭8	編所	511—6
長野朗著 (民) 陸環譯	中國土地制度研究 民22	新生命書局	511—7
田邊勝正	戰後歐洲ニ於ケル土地制度改革史論 昭10	協調會	511—8
押川一郎	熱河省凌源縣十五里堡ニ於ケル土地慣行 (經濟資料第101) 3册 昭10	滿鐵經濟	511—9
土地局	土地問題研究會記事 康2	編所	511—10
滿鐵經濟	華北地券(契)制度ノ研究 昭10	—	511—11
董原信雄	土地商租權概論 昭11	弘文堂	511—12
磯村英一	區ノ研究 昭11	市政人社	511—13
(民) 千原文 國傳文調	中國土地問題 民26	商務印書館	511—14
臺灣總督府	土地登記トルレンス氏制度 康4	編所	511—15
○			
不動産法調査會	韓國ニ於ケル土地ニ關スル權利一斑 光武11	編所	511—P1
酒沼三郎	土地制度整理の話 康6	滿洲國通信社	511—P2
○			
(民) 李如漢	地政獨議 民25	不 明	512—1
【 513 地 價 】			
向坂逸郎	地代論研究 昭8	改造社	513—1
高島雲之著 (民) 王亞南譯	地租思想史 民20	神州國光社	513—2
地籍整理局	全滿土地買賣價格並主要農產物收穫量調查表 康3	編所	513—3
杉本正幸	不動産の評價 昭12	巖谷堂	513—4
【 520 人 口 一 般 】			
內閣統計局	人口動態調査關係法規	編所	520.1—1
○			
岡崎文規	人口統計研究 大正14	有 雙 閣	520.5—1
內閣統計局	日本帝國人口動態統計 34册 昭5-昭12	編所	520.5—2
—	日本帝國人口動態統計摘要 3册 昭9-11	—	520.5—3

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
內閣統計局	現住人口靜態=關スル統計材料 大正9	編 所	520.5— 1
—	人口動態=關スル統計材料 大正9	—	520.5— 5
—	日本帝國死因統計 23册 明治30-31	—	520.5— 8
關 東 廳	關東廳管內現住人口統計 6册 昭7-11	—	520.5— 7
臺灣總督官房	臺灣現住人口統計 昭6	—	520.5— 8
關 東 廳	關東廳人口動態統計 9册 大正14-昭9	—	520.5— 9
臺灣總督官房	臺灣人口動態統計 2册 昭7-8	—	520.5— 10
外務省亞細亞局	支那在留本邦人及外國人人口統計表 4册 昭6-10	—	520.5— 11
內閣統計局	市町村別人口動態統計 昭3	—	520.5— 12
佛澤統計研究所	華族動態調查統計表 2册 昭3-9	—	520.5— 13
內閣統計局	癌=因ル死亡胃腸病=因ル死亡妊娠及産=因ル死亡統計 大正3	—	520.5—1—14
—	慢性傳染病=因ル死亡統計 大正3	—	520.5—2—11
—	急性傳染病=因ル死亡統計 大正3	—	520.5—3—14
—	腎臟炎=因ル死亡統計 大正3	—	520.5—4—14
內務省衛生局	小兒死亡統計 大正6	—	520.5—5—14
—	結核死亡統計 大正6	—	520.5—6—14
伊 藤 武 雄	支那大陸ノ人口及面積統計並ニ北京ノ市勢調査研究 大正13	滿鐵調査課	520.5— 15
關東廳調查課	昭和八年度海路=依ル滿洲へ上陸者及滿洲ヨリノ乗船者調査 昭8	編 所	520.5— 16
—	昭和八年中ノ人口動態概要及現在人口概要 昭8	—	520.5— 17
人口問題研究會	日本人口密度圖 昭9	刀江醫院	520.5— 18
森 數 四	人口統計論 昭10	東洋出版社	520.5— 19
簡易保險局	簡易生命保險ノ死亡率=關スル調査 昭10	編 所	520.5— 20
朝鮮總督府	朝鮮ノ人口統計 4册 昭10-12	—	520.5— 21
東京市役所	東京市人口統計 2册 昭10-11	—	520.5— 22
外務省亞細亞局	滿洲國及中華民國在留本邦人及外國人人口統計表 3册 昭9-12	—	520.5— 23
總務廳統計處	人口動態統計資料 5册 廣2-3	—	520.5— 24
關 東 局	關東局人口動態統計 3册 昭11	—	520.5— 26

[52 人 口]

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
岡崎文風	人口統計に於ける諸問題 昭9	立命館	520.5—27
○			
東京市役所	東京市人口動態統計速報 3册 昭10-11	編 所	520.5—P1
日滿實業協會	滿洲主要都市ニ於ケル日本人増加大勢數字ニ 現レタル新京ノ躍進概 昭10	—	520.5—P2
内閣統計局	産業別人口ノ比較 昭11	—	520.5—P3
○			
(民) 侯 厚 吉	世界人口狀況 民19	大東書局	520.9—1
(民) 陳 謙	中國人口密度圖 民24	商務印書館	520.9—2
阿部源一	人口、資源、植民地 昭12	巖松堂	520.9—3
○			
大阪府内務部	大阪府人口速報 3册 昭9-11	巖松堂	520.9—P1
兵庫縣内務部	兵庫縣ノ面積及人口 昭10	編 所	520.9—P2
【 521 人 口 理 論 】			
(英) マルサス	マルサス人口論 昭4	岩波書店	521—1
(英) マルサス	人 口 論 大正13	而立社	521—2
玉井 茂	人口思想史論 大正15	清水書店	521—3
林 嘉 海	人口理論(研究ト方法) 昭5	刀江醫院	521—4
青田秀夫	マルサス批判の發展 昭8	弘文堂	521—5
(民) 陳長淪	中國人口論 民17	商務印書館	521—6
(英) マルサス	マルサス人口論 大正14	弘文堂	521—7
永井 幸	日本人口論 昭4	巖松堂	521—8
南亮三郎	人口理論ト人口問題 昭10	千倉書房	521—9
—	人口法則ト生存權論 昭3	同文館	521—10
(民) 許仕廉	人口論綱要 民23	中華書局	521—12
南亮三郎	人口論發展史 昭11	三省堂	521—13
○			
川人定男	人口自然増加率ノ比較方法ニ就テ 昭8	滿洲醫大	521—P1
—	本邦並ニ歐米諸國ノ出生率死亡率及人口自然 増加率ノ比較考察 昭9	—	521—P2

[52 人 口]

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
〔 522 人 口 政 策 〕			
(民) 陳 長 諭	三民主義與人口政策 民22	商務印書館	522— 1
〔 523 人 口 問 題 〕			
朝鮮、南洋羣島他編	人口問題=關スル方策ノ參考案 昭3	編 所	523— 1
中國社會學社	中國人口問題 民21	世界書局	523— 2
矢内原忠雄	人 口 問 題 昭5	岩波書店	523— 3
滿鐵調査課	我國人口問題ト滿蒙 昭3	編 所	523— 4
上田貞次郎	日本人口問題研究 3册 昭8-13	協 同 會	523— 5
本田庄太郎	現代人口問題 大正13	弘 文 堂	523— 6
本庄榮治郎	人口及人口問題 昭5	日本評論社	523— 7
飯田茂三郎	支那人口問題研究 昭9	信 義 堂	523— 8
(民) 陳 天 爽	人口問題研究 1900	黎明書局	523— 9
人口調査問題調査會	人口問題=關スル調査項目及之=對スル方策ノ參考案 昭3	編 所	523— 10
滿鐵調査課	人口耕地及農産物ヨリ見ケル滿蒙ノ大勢 大正8	—	523— 13
(英) ユーソン 露 露 林 正 喜	人口問題ト國際政策 昭10	凡 進 社	523— 14
人口問題研究會	人 口 問 題 昭10	編 所	523— 15
—	人口問題講演集 (第2輯) 昭9	刀 江 書 院	523— 17
(民) 陳 達	人 口 問 題 民23	商務印書館	523— 18
近藤常次郎	日本ノ人口問題 昭10	南 郊 社	523— 19
人口問題研究會	支那人口問題研究 昭10	刀 江 書 院	523— 21
—	人口問題資料 昭9-10	編 所	523— 23
	我國人口問題の解決方針		
	人口問題講演集		
	ローマ國際人口會議資料		
	マルサス後百年紀念人口問題資料展覽會寫真集		
	マルサスに關する文献集		
	東北地方の人口に關する調査		
	東北地方の産業と人口		
	本邦人口増加の傾向及數量的變動に就て		

[52 人 口]

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
朝鮮總督府	朝鮮の人口現象 昭2	編 所	523—25
[524 國 勢 調 査]			
朝鮮總督府	朝鮮國勢調査報告 13冊 昭7-9	編 所	524—1
關 東 廳	關東廳國勢調査 6冊 昭8-9	—	524—2
樺 太 廳	[樺太廳]國勢調査 5冊 大正11-昭12	—	524—3
內閣統計局	國勢調査報告 大正9-昭5年度 8冊 昭3-6	—	524—4
韓 國 政 府	韓 國 戶 口 表 明40	—	524—5
臺灣總督府	臨時臺灣戶口調査 題末 第2次 大正4年 大正7	—	524—6
—	— 記述報文 大正7	—	524—7
—	— 集計原表 大正8	—	524—8
—	— 結果表 大正7	—	524—9
—	— 概覽表 大正8	—	524—10
—	臺灣國勢調査 大正8年8冊 大正11-昭9	—	524—11
	要覽表 大正11		
	集計原表 大正12		
	記述報文 大正13		
	題 末 書 昭2		
	結果概報 昭5		
	結果中間報 昭8		
	結果表 昭8		
內閣統計局	抽出方法に依る國勢調査結果の概観 第1.2冊 大正13-昭7	—	524—12
—	國勢調査參考書 大正13-昭7	—	524—13
—	各國國勢調査法規 昭10	—	524—14
—	國勢調査員必携	—	524—15
—	國勢調査ノ結果表章ニ用フベキ産業分類及職 業分類 昭6	—	524—16
大阪府總務部	國勢調査結果概要 昭11	—	524—17
(民)房福安	成府人口調査 民17	燕京大學	524—18
神戸市役所	國勢調査事務概要 昭6	編 所	524—19
東京市役所	東京市晝間移動人口 昭和5年度 昭8	—	524—20

編者姓名	書名	發行所	整理番號
東京市統計課	帝都中心地域晝間人口調查 昭5	編 所	524—21
	滿洲八旗戶口冊 2册 光緒30		524—22
(民) 王 七 蓮	民政部戶口調查及各家估計	—	524—23
警 政 部	蒙政部管內主要都市及村鎮戶口統計	—	524—24
總務廳統計課	現住戶口統計 大同1-2年 大同2-庚1	—	524—25
哈爾濱特別市公署	哈爾濱特別市戶口調查結果表 庚2	—	524—26
國 時 文 規	國 勢 調 查 論 昭10	東洋出版社	524—27
內閣統計局	國勢調查報告 昭和5年度 50册 昭10	編 所	524—33
○			
吉林省公署	清查韓人戶口辦法 民19	編 所	524—P1
內閣統計局	國 勢 調 查	—	524—P2
外務省通商局	在外本邦人國勢調查職業別人口表 昭6	—	524—P3
吉林省公署	吉林省各市縣編查戶口辦法	—	524—P4
東京市統計課	東京市ニ於ケル階級別出生率ノ調査 昭6	—	524—P5
(民) 張 振 桂	定縣大王銀村人口調查 民20	燕京大學	524—P6
(民) 許 士 康	中國北部人口的結構研究舉例 民20	—	524—P7
關 東 廳	國勢調查世帯及人口 昭6	編 所	524—P8
吉林省公署	吉林全省近五年住戶及人口比較表 民18	—	524—P9
民國行政院	人事登記暫行條例 民19	—	524—P10
新京特別市公署	新京特別市臨時戶口調查概要 大同2	—	524—P11
奉天警官講習所	調 查 戶 口 大同3	—	524—P12
哈爾濱特別市公署	即位大典紀念哈爾濱特別市戶口調查概要 庚1	—	524—P13
—	職業及產業分類表 庚1	—	524—P14
內閣統計局	國勢調查計畫準備ニ關スル件 昭10	—	524—P15
民政部警務司	各省廳縣別戶口統計表 庚1-3	—	524—P16
內閣統計局	列國國勢要覽 昭11	—	524—P18
滿洲統計協會	滿洲帝國現住戶口統計 庚3	—	524—P19

[529 食糧問題]

【 52 移 植 民】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
人口食糧問題調査會	食糧問題=關スル調査項目及食糧品ノ供給特 =生産増進方策ノ参考案 昭2	編 所	529— 1
朝鮮、南洋羣其他	食糧問題=關スル方策ノ参考案 昭3	—	529— 3
(民) 郎 肇 秀	中國民食史 民28	商務印書館	529— 3
(民) 湯 柳 堂	中國歷代民食政策史 民28	—	529— 4
(民) 廣 時 進	食料與人口 民22	—	529— 5
朝鮮、南洋羣其他	食糧品ノ需給推算生産及輸移出入ノ狀態並= 消費狀態=關スル調査 昭3	編 所	529— 6
東亞經濟調査局	本邦食糧問題と滿洲(經濟資料第13の10) 昭3	—	529— 7
—	本邦食糧問題と肥料 (經濟資料第11の4) 大正14	—	529— 8
實 業 局	米國戰時食糧政策 昭4	—	529— 9
(民) 栗 岡 修	世界糧食問題 民28	商務印書館	529— 1

【 530 移 植 民 一 般】

幣 原 坦	滿 洲 觀 大正6	資 文 館	530— 1
關 東 州 廳	愛 川 村 昭10	滿洲日日新聞社	530— 2
○			
拓 務 省	移植民關係法規 昭10	編 所	530.1— 1
傳 太 郎	移住關係法規拔萃 昭8	—	530.1— 2
○			
拓 務 省	拓務省統計概要 昭7	編 所	530.5— 1
—	拓務統計便覽 昭8	—	530.5— 3
—	拓務統計 昭8-13	—	530.5— 3
北滿經濟調査所	京濱線經由漢人移民調査報告 昭11	—	530.5— 4
○			
岩 淵 監 一	滿洲支那移民統計 昭5	滿鐵調査課	530.5— P1
○			
拓 務 省	拓務要覽 6册 昭2-13	編 所	530.8— 1
栗 本 豊	民國16—17年ノ滿洲出稼者 2册 昭2-4	滿鐵調査課	530.8— 2
—	民國18—19年滿洲出稼移民移地狀況 2册 昭5-6	—	530.8— 3
神 田 正 雄	南洋=於ケル支那人 大正15	—	530.8— 4

【 53 移 民 】

編・著者名	題 名	発 行 所	整理番號
東 亞 經 調	華 僑 (經濟資料第13の12) 昭2	編 所	530.9— 5
滿 鐵 調 査 隊	滿洲ニ於ケル邦人ノ現況 (經濟資料第100) 昭6	—	530.9— 6
(民) 調 査 隊	中國民族海外發展狀況 民18	—	530.9— 7
栗 本 豊	滿洲出稼移住漢民ノ數的考察 昭6	滿 鐵 調 査 隊	530.9— 8
中央職業紹介事務局	昭和三年中ニ於ケル道府縣外出稼者ニ關スル 調査概要 昭5	編 所	530.9— 9
民 政 部	在滿朝鮮人事情 大同2	—	530.9— 10
東京府社會課	滿洲國移民ニ關スル資料 昭9	—	530.9— 11
北海道廳移民課	北海道廳許可移民事業成績調 昭4	—	530.9— 12
米 野 豊 實	移住ノ榮滿洲ハ招ク 昭11	滿洲日日新聞社	530.9— 13
神 戶 商 團	華僑ノ現勢ト神戸ニ於ケル華僑 昭11	編 所	530.9— 14
外 務 省	在滿朝鮮人概況 3冊 昭9-11	—	530.9— 15
樺太廳農林部	樺太殖民の沿革 昭4	—	530.9— 16
東亞經濟調査局	伊太利移民の研究 (經濟資料第11の2) 大正14	—	530.9— 17
中央情報社	拓務及對滿鐵事詳錄 昭10	—	530.9— 18
朝鮮總督府	朝鮮に於ける内地人 大正13	—	530.9— 19
滿洲拓殖會社	移民團長會議々事錄 第1回 昭12	—	530.9— 20
日本農務振興會	滿蒙農業移民機關の事業及基金 昭18	—	530.9— 21
○			
吉林省公署	吉林省安撫外來難民情形紀要 民18	編 所	530.9— P1
滿 鐵 調 査 隊	在滿朝鮮人ノ現況 大正12	—	530.9— P2
—	南洋ニ於ケル支那人 大正15	—	530.9— P3
—	滿洲ニ對スル支那ノ植民 昭4	—	530.9— P4
朝鮮總督府	在滿朝鮮同胞ノ重要性 昭8	—	530.9— P5
小 河 正 儀	滿洲特別自衛移民ノ現況 昭8	編 者	530.9— P6
日滿實業協會	滿洲移民ノ實況 昭10	編 所	530.9— P7
拓 務 省	滿洲特別農業移民概況 昭10	—	530.9— P8
藤 井 寛 太郎	國策ト移民事業ノ重大性 昭8	編 者	530.9— P9
日滿實業協會	滿洲農業移民ト綿羊 昭11	編 所	530.9— P10

【 51 移 植 民 】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
滿洲拓殖公社	滿洲農業自由移民の榮 華	編 所	530.9— P11
能 勢 政 秀	日本人發展報告書 昭11	滿洲日日新聞社	530.9— P12

【 531 移 植 民 問 題 】

鎌 波 諒 治	滿蒙移植民問題 昭7	滿洲文化協會	531— 1
岸 谷 一 郎	支那農民ノ北滿植民ト其前途 昭8	滿鐵圖書課	531— 2
平 貞 敏	滿蒙移民問題 昭8	日本評論社	531— 3

○

滿鐵圖書課	支那官民ガ在滿鮮農ヲ追放シ其ノ耕地ヲ収牧 セシ事例 昭4	編 所	531— P1
—	支那國ノ對鮮人政策ニ對シ日本ノ執リケル處 置 昭4	—	531— P2
全 國 經 界	滿洲移民ノ重大性並ニ滿洲ノ集團移住地ニ就 テ 昭11	—	531— P3
北海道廳植民課	根室原野ニ於ケル移民ノ經濟狀況ニ對スル一 考察 昭4	—	531— P4

【 532 移 植 民 政 策 】

外務省通商局	滿洲拓殖策ノ研究 昭8	編 所	532— 1
清水 瀧 郎	植民地自治制度論 昭12	廣 松 堂	532— 2
稻 田 周 之 助	植民政策通解 昭9	—	532— 3
淺 見 登 郎	日本植民地統制論 昭4	—	532— 4
小 島 憲	植民政策綱要 昭9	東 洋 社	532— 7
東 郷 實	植民政策と民族心理 昭12	岩 波 書 店	532— 8
大 川 周 明	特許植民會社制度研究 昭2	寶 文 館	532— 9
(民) 廣 登	積極移民西北計畫 民23	民國鐵路協會	532— 10
水 埴 策 郎	滿洲農業移民十講 附13	地 人 書 館	532— 11
加 田 哲 二	現代の植民政策 昭14	慶 應 書 房	532— 12
若 木 禮 譯	ルース屬領統治論 昭12	龍 文 閣	532— 13
東亞經濟調查局	イギリスの印度統治 昭10	編 所	532— 14
朝鮮總督府	印度統治に對する批判 大正13	—	532— 15
—	舊獨領波蘭統治概觀 大正13	—	532— 16

○

滿洲事情案內所	滿洲百萬戶移民國策の全貌 附5	編 所	532— 17
---------	-----------------	-----	---------

[54 統 計]

編者名	書名	發行所	整理番號
【 534 移 植 民 史 】			
入江 寅次	邦人海外發展史 昭11	海外邦人史料會	534— 1
(民) 李長傳	中國殖民史 民28	商務印書館	534— 2
【 540 統 計 一 般 】			
林 元 龍	統計實務提要 昭3	帝國地方行政學會	540— 2
○			
內閣統計局	現行統計法規類抄 3版 昭2	編 所	540.1— 1
總務廳統計處	調查關係法規類抄 康5	—	540.1— 4
○			
吉林省公署	特別市及市生死統計暫行規則 民20	編 所	540.1— P1
(民) 曹世鏞	統計法規 民24	三民圖書公司	540.1— P2
○			
岡崎文規	統計研究文獻 大正14	有聲閣	540.2— 1
(民) 王仲武	漢譯統計名詞 民19	商務印書館	540.2— 2
○			
東京市立圖書館	主要統計書件名索引 昭9	編 所	540.2— P1
○			
東洋出版社	統計學全集 昭10	編 所	540.2— 1
	第1卷 統計學總論 (雄川虎三)		
	第2卷 數理統計學 (小倉金之助)		
	第3卷 人口統計論 (森 數頭)		
	第4卷 職業統計論 (友安亮一)		
	第5卷 產業統計論 (長畑健二)		
	第6卷 物價指數の理論と實際 (森田優三)		
	第7卷 失業統計論 (中山伊知郎)		
	第8卷 勞働統計論 (永谷良一)		
	第9卷 景氣觀測統計論 (高橋正雄)		
	第10卷 家計調查論 (石澤廣巳)		
	第11卷 國勢調查論 (岡崎文規)		

〔 54 統 計 〕

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
	第12卷 國富統計及國民所得統計 (中川友長)		
	第13卷 統計圖表の理論と實際 (猪俣謙一)		
	第14卷 統計資料 (藤田友作、華山偶興)		
財 文 閣	實務統計學全集 昭10-11 經營統計 (郡菊之助) 文化統計研究 (岡崎文組) 本邦統計資料解説 (鏡藤貞治) 統計法規 (岡崎文組)	編 所	540.3— 3
濟 南 市 政 府	[濟南市]統計資料 庚25 1 旅 館 業 2 澡 塘 業 3 理 髮 業 4 飯 館 業 5 漂 染 業 6 工 廠 7 銀 號 8 娛 樂 場 所 9 公 益 慈 善 團 體 10 宗 教 11 建 築 業 12 糧 業 13 棉 業 14 煤 炭 業	—	540.3— 3
滿洲統計協會	統計協會パンフレット 庚2	編 所	540.3— P1
總務廳統計處	統計叢書 庚 第1號 統計汎論 第2號 數理統計 第4號 人口統計 第5號 經濟統計	—	540.3— P2

編者姓名	書名	發行所	整理番號
	第7號 資源調查總論		
	○		
日本統計學會	日本統計學會年報 11冊 昭7-12	編 所	540.4—1
熱河省公署	熱河省統計要覽 昭2	—	540.4—2
內閣統計局	日本帝國統計摘要 第49-50回 2冊 昭10-11	—	540.4—3
—	日本帝國統計年鑑 第51-56回 5冊 昭10-12	—	540.4—4
南洋廳	南洋廳統計年鑑 4冊 昭8-11	行政學會	540.4—5
朝鮮總督府	朝鮮總督府統計年報 昭11-12	編 所	540.4—6
吉林省公署	吉林省統計年報 康德元年 民國3	—	540.4—7
民國統計局	中華民國統計提要 民25	—	540.4—8
	○		
順天府統計處	光緒33年順天府統計表 宣統2	編 所	540.5—1
	○		
內政 部	公務員辦理內政統計暫行考成規則 民19	編 所	540.5—P1
	○		
奉天省公署	定期報告例集 康4	編 所	540.9—1
關東廳	關東廳報告例 大正15	—	540.9—2
山梨縣廳	山梨縣報告例 昭3	—	540.9—3
內閣統計局	內閣統計講習會講演錄 4冊 昭1-7	省 政 地 方 行 政 廳 會	540.9—4
東京統計協會	全國統計大會講演錄 昭4	編 所	540.9—5
內務大臣官房	內務報告例 昭0-8	省 政 地 方 行 政 廳 會	540.9—6
朝鮮總督府	朝鮮總督府報告例別冊 昭0	編 所	540.9—7
臺灣總督府	臺灣總督府報告例 昭0	—	540.9—8
藤 瀨 之 助	統計餘談 昭10	叢 文 閣	540.9—10
滿 鐵 統 計	ソ聯邦重要統計集 2冊 昭9-11	編 所	540.9—12
佐 賀 縣	佐賀縣統計書 昭9-10	—	540.9—13
—	佐賀縣統計速報 昭10	—	540.9—14
三 重 縣	三重縣統計書 昭11	—	540.9—15

[54 統 計]

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
調停統計研究所	統計選集 昭11	編 所	540.9—16
和歌山縣	和歌山縣統計書 昭11	—	540.9—17
大阪府	大阪府統計書 昭12	—	540.9—18
富山縣	富山縣統計書 昭11	—	540.9—19
奈良縣	奈良縣統計書 昭11	—	540.9—20
岩手縣	岩手縣統計書 昭10	—	540.9—21
吉林省公署	吉林省公署定期報告例規輯覽 康3	—	540.9—22
東京府	東京府統計書 昭7-9	—	540.9—23
(民) 魏秉鈞	黑龍江省統計報告 第二次民5	黑龍江省公署	540.9—24
南洋群島	南洋群島の勢調査書 2册 昭12	編 所	540.9—26
兵庫縣	兵庫縣統計書 昭8-8	—	540.9—27
福井縣	福井縣統計書 昭12	—	540.9—28
冀察政務委員會	冀察調查統計叢刊 民25-26	—	540.9—29
福島縣總務部	福島縣第63回統計書 昭13	—	540.9—30

○

總務廳統計處	滿洲重要統計資料便覽 康4	編 所	540.9—P1
--------	---------------	-----	----------

[541 統 計 理 論]

峰川虎三	統計學概論 (岩波全書) 昭9	岩波書局	541—1
有澤廣巳等	統計學 (經濟學全集) 昭5	改造社	541—2
道家勇一郎	參考統計學 昭3	續松堂	541—3
二階堂保則	統計學大要 大正14	早稻田書文社	541—4
(獨) フランツ・ジ イジューグ 譯 竹田武男	應用統計學 大正14	有斐閣	541—5
成實清松	数理統計學概要 昭7	共立社	541—6
竹下清松	統計學原論 昭3	巖松堂	541—7
福本福三	統計法 昭4	明文堂	511—8
有澤廣巳	統計學講義案 昭8	明善社	541—9
(民) 藤崎機	統計方法 民28	大東書局	541—10
植山雅男	統計學 大正15	フイニツ クス出版社	541—11

【 54 統 計】

編・著者名	書名	年	発行所	整理番號
高野岩三郎	統計學研究	大正4	大倉書店	541—12
横山雅男	統計通論	大正11	有斐閣	541—13
森田儀三	統計概論	昭7	森山書店	541—14
(米) ウイルフオ ド・キャン 田村市郎	統計學要論	2版 昭3	銀行問題研究会	541—15
財部静治	ケトレーの研究	明44	京都法學會	541—16
雄川虎三	統計學研究	昭6	岩波書店	541—17
中川友長	統計研究法の基礎	昭3	日本評論社	541—18
小倉金之助	統計的研究法	3版 昭6	積善館	541—19
藤 菊之助	統計學講義	昭6	同文館	541—20
宗 藤 圭三	統計學原理	2版 昭3	弘文堂	541—21
雄川虎三	統計利用=於ケル基本問題	昭7	岩波書店	541—22
木村敏雄	統計法概要	昭7	培風館	541—23
森 數 樹	一般統計論	大正9	丸 善	541—24
(英) ボーレー 著 藤 菊之助 石井秀彦	統計原論	昭3	廣 益 堂	541—25
石井秀彦	統計圖表ノ描キ方	昭3	統計友社	541—26
最上敏孝	統計學大綱	昭6	華 華 社	541—27
鎌 隆 理 一 郎	統計學總論	昭3	巖 松 堂	541—28
(民) 金 岡 實	統計新論	民14	中 華 書 局	541—29
(民) 藤 崇 禮	戶籍統計	民23	商務印書館	541—30
(民) 王 仲 武	統計學原理及應用	3版 民19	—	541—31
(英) スミット 著 藤 隆 理 一 郎	統計學ト辯證法	昭11	—	541—32
(民) 藤 長 翁	統計論叢	民23	黎明書局	541—33
白 崎 孝 一	統計グラフの畫キ方	昭11	國 華 社	541—34
北 村 友 主	統計數學	昭8	高 岡 本 店	541—35
森 數 樹	統計學概論	2版 昭9	巖 松 堂	541—36
高 田 太 一	統計調査 (自治行政叢書第2) 昭9		常 盤 書 房	541—37
(民) 藤 其 男	統計學	民19	商務印書館	541—38
(米) 金 岡 實 (民) 藤 崇 禮	統計方法	2版 民20	—	541—39

[54 統 計]

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
郡 彌之助	統計學研究 昭5	同 文 館	541—40
(民) 府 啓 賢	統 計 學 2版 長21	兼 明 書 局	541—41
岡 崎 文 規	統計の中數値論 大正16	有 斐 閣	541—42
有 澤 廣 巳	統 計 學 (上下) 昭5	改 造 社	541—43
(民) 金 國 賈	統計學大綱 長25	商 務 印 書 館	541—44
(米) ホイツブル 漢 (民) 張 世 文 譯	生命統計學概論 長26	—	541—45
○			
總務廳統計處	統計學概論 (統計パンフレット第1) 廣2	編 所	541—P1
—	統計調査 (統計パンフレット第2) 廣2	—	541—P2
—	統計實務 (統計パンフレット第3) 廣2	—	541—P3
講 義 編 組	統計的認識と經濟統計ノ體系化 昭11	—	541—P4

[542 統 計 機 關]

國際統計協會	國際統計協會會議報告 第19回 昭8	編 所	542—1
○			
內閣統計局	國際統計協會便覽 昭5	編 所	542—P1
東京市役所	調査統計事務ニ關スル報告 昭7	—	542—P2

[6 社 會]

編・譯者名 書 名 發 行 所 整理番號

6 社 會・勞 動

[610 社 會 一 般]

國 本 文 編	社會法卜市民法 昭9	岩波書店	610.1— 1
熱 河 省 公 署	鴉片法及其他關係鴉片法令集 康4	編 所	610.1— 2
○			
社 會 思 想 社	社會科學大辭典 昭5	改 造 社	610.2— 1
○			
財 部 靜 治	社會統計論綱 大正14	改 造 社	610.5— 1
高 野 崑 三 郎	本邦社會統計論 昭8	—	610.5— 2
—	最近ノ本邦社會統計資料 大正13	大原社會問題 研 究 所	610.5— 3
—	社會統計學史研究 大正14	岡 人 社	610.5— 4
社 會 調 查 所	北平社會概況統計圖 民20	編 所	610.5— 5
(民) 曾 樂 平	社 會 統 計 民24	商 務 印 書 館	610.5— 6
(民) 毛 榮 壽	社會統計大綱 民22	發 明 書 局	610.5— 7
○			
大原社問研究所	大原社會問題研究所雜誌 第1-14號 大正12-昭7	編 所	610.9— 1
戶 田 貞 三	社 會 調 查 昭8	時 潮 社	610.9— 2
(民) 李 景 漢	實地社會調查方法 民22	編 所	610.9— 3
(民) 榮 弘	社會調查方法 民17	商 務 印 書 館	610.9— 4
(民) 李 景 漢	定縣社會概況調查 民22	商 務 印 書 館	610.9— 5
瓦 脇 賢 之 介	支那ノ新生ト民隱裸記 昭9	大 阪 屋	610.9— 6
伊 藤 武 雄	現代支那社會研究 昭2	岡 人 社	610.9— 7
後 藤 朝 太 郎	支那ノ社會相 大正15	雄 山 閣	610.9— 8
(民) 岡 谷 城	中國社會之現狀 民23	新 生 命 書 局	610.9— 9
(民) 陶 希 聖	中國社會現象拾零 民21	—	610.9— 10
—	中國社會與中國革命 2版 民20	—	610.9— 11
橋 本 謙	支那社會研究 昭11	日 本 評 論 社	610.9— 12

【 社 會 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
(民) 菅 心 吾	社會調査大綱 民22	中華書局	610.9—13
園 谷 弘	支那社會ノ測量 昭11	有斐閣	610.9—14
藤 波 田 春 夫	ゾムバルト獨逸社會主義 昭11	三省堂	610.9—15
吉 川 兼 光	全體主義の理論と實際 昭13	日本評論社	610.9—16
新 明 正 道	フアツシズムの社會觀 昭11	岩波書店	610.9—17
川 合 貞 吉	支那の民族性と社會 昭13	第二國民會	610.9—18
(民) 陳 通	南洋華僑與閩粵社會 民27	商務印書館	610.9—19
田 村 德 治	國際社會の將來と新國際主義 昭11	有斐閣	610.9—20
【 611 社 會 學 】			
(米) ソロキヤン 著 (民) 鐘 光 顯 譯	社會變動論 民21	世界書局	611—1
園 谷 弘	集團社會學原理 昭9	同文館	611—2
高 田 保 馬	社會關係の研究 大正15	岩波書店	611—3
新 明 正 道	社會學要講 昭10	弘文堂	611—4
高 田 保 馬	社會學原理 昭8	岩波書店	611—5
—	社會學概論 昭12	—	611—6
櫻 井 庄 太 郎	日本封建社會意識論 昭13	刀江醫院	611—7
【 612 社 會 史 】			
(民) 陶 希 聖 著 野 原 四 郎 譯	支那封建社會史 2冊 昭6	四溟書房	612—1
(民) 陶 希 聖	中國社會之史的分析 民20	新生命書局	612—2
(民) 園 谷 誠	中國社會之變化 民20	—	612—3
京城帝國大學	朝鮮社會經濟史研究 昭8	刀江醫院	612—4
	朝鮮に於ける近代資本主義の成立過程 (四方 博)		
	李朝末期の農林 (大内武次)		
	舊來の朝鮮農業社會についての研究の爲に (森谷克巳)		
	農村社會文化の起點としての土地調査事業 に就て (朴 文圭)		
稻 葉 岩 吉	支那社會史研究 大正11	大 塚 閣	612—5
(俄) 沙 波 諾 夫 著 (民) 李 季 譯	中國社會發展史 民21	新生命書局	612—6
(俄) コーキヤン 著 (民) 岑 紀 譯	中國古代社會 民23	黎明野局	612—7

編・著者名	書名	発行所	整理番別
(譯) サフアロフ著 早川二郎譯	支那社會史 昭9	白 鷲 社	612— 8
大 川 周 明	支那社會ノ史的分析 (經濟資料第15の11) 昭11	東亞經濟調査局	612— 9
森 谷 克 巳	支那社會經濟史 昭9	草 莽 社	612— 10
(民) 朱 其 華	中國近代社會史解剖 民22	新 華 出 版 社	612— 11
(民) 郭沫若著 藤枝丈夫譯	支那古代社會史 昭8	成 光 館	612— 12
(譯) パタロフスキ著 早川二郎譯	原始共產社會 昭10	白 鷲 社	612— 13
新 生 命 書 局	中國社會史叢書 民22-23	編 所	612— 14
	兩宋田賦制度 (劉 遵元)		
	中國中古時期的田賦制度 (一)		
	唐宋官私工業 (柳 詒徵)		
(民) 郭沫若著 藤枝丈夫譯	支那古代社會研究 昭10	東 亞 社	612— 15
(民) 陶希聖著 荒尾久譯	支那社會史講話 昭10	學 藝 社	612— 16
李 濟 源	朝鮮社會史叢本 昭11	白 鷲 社	612— 17
滿 鐵 調 査 課	中國秘密社會史 大正15	編 所	612— 18
(譯) サフアロフ著 早川二郎譯	近代支那社會史 昭12	白 鷲 社	612— 19
【 613 社 會 政 策 】			
協 調 會	各國ノ社會政策 昭5	編 所	613— 1
大 河 内 一 男	獨逸社會政策思想史 昭11	日 本 評 論 社	613— 3
河 合 榮 治 郎	社會政策原理 昭12	—	613— 4
柳 井 義 男	活動寫眞の保護と取締 昭4	有 斐 閣	613— 5
櫻 野 義 夫 持 水 義 夫	社 會 行 政 (自治行政叢書第11) 昭12	常 磐 書 局	613— 6
風 草 八 十 二	日 本 社 會 政 策 史 昭13	日 本 評 論 社	613— 7
【 614 社 會 組 織 ・ 制 度 】			
(民) 岡 谷 誠	中國社會之結構 民20	新 生 命 書 局	614— 1
松 本 滿 一 郎	社會集團ト社會階級 昭9	弘 文 堂	614— 2
長 野 朗	支那の社會組織 大正15	行 地 社	614— 3
小 野 武 夫	近代村落の研究 昭9	時 潮 社	614— 4
朝鮮總督府	朝鮮部落調査豫察報告 大正12	編 所	614— 5

【6 社 會】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
總務廳統計處	鄉村社會調查報告書 庚2	編 所	614— 6
總 賢 勇 彦	聚落形態論 昭10	古今醫院	614— 7
(民) 原 思 明	元代社會階級制度 庚27	哈佛燕京學社	614— 8
【615 社會思想】			
滿鐵調査課	滿洲に於ける赤化宣傳事情概要 昭2	編 所	615— 1
(獨) シュタイン著 協 調 會 譯	社會思想史 2版 昭2	—	615— 2
文部省社會教育局	壯丁思想調査 昭6	—	615— 3
東 亞 經 調	所有と社會主義 (經濟資料第15の+) 昭4	—	615— 4
(獨) ポリス・ウラデ ミルツォフ著 外務省調査部譯	蒙古社會制度史 昭12	日本國際協會	615— 5
朝鮮總督府	朝鮮の獨立思想及運動 大正13	編 所	615— 6
瀧 山 政 道	現代社會思想講話 昭13	高 島 醫 院	615— 7
【616 社會運動・團體】			
(獨) スビドフ・ウイラ著 滿鐵調査課譯	滿洲に於けるポリシエグイズム發達史 2册 昭3	大阪毎日新聞社	616— 1
宮 脇 賢 之 助	現代支那社會勞働運動研究 昭7	平 凡 社	616— 2
滿洲青年聯盟	滿洲青年聯盟史 昭8	編 所	616— 3
末 光 高 毅	支那ノ秘密結社ト慈善結社 昭7	滿洲評論社	616— 4
大瀨對支經濟考察	ソ聯邦ト支那滿洲ノ共產運動 昭9	新 光 社	616— 5
全 國 産 界	米國雇主ノ勞資關係觀ト其ノ實際 昭7	編 所	616— 6
—	獨逸雇主組合ノ歴史ト政策 昭7	—	616— 7
—	英獨米ニ於ケル雇主團體ト其ノ活動 昭6	—	616— 8
協 調 會 調 査 課	英米獨佛雇主組合 昭8	—	616— 9
小 山 貞 知	協和會とは何ぞや 昭12	滿洲評論社	616— 10
(英) ハフチスン著 後 藤 富 男 譯	世界大戰並に歐洲政局を語る猶太秘密力の裏 工作 昭13	政 經 畫 房	616— 12
山 口 重 次	滿洲帝國協和會指導要綱案 昭13	政 法 社	616— 13
百 々 巳 之 助 量 山 哲 夫	ヒットラー・ユーンゲント 昭13	刀 江 醫 院	616— 14
近 藤 春 暎	ナチスの青年運動 昭13	三 省 堂	616— 15
○			
青島市社會局	青島市社會局現行規程彙編	編 所	616.1— 1

編者名	書名	発行所	整理番號
○			
全國産聯	米國ニ於ケル雇主團體 昭7	編 所	616—P1
文 部 省	法 人 一 覽 昭7	—	616—1'2
協 和 會	滿洲國協和會之概要 大同3	—	616—1'3
【 617 民族及人種問題】			
滿鐵調査課	極東露領ニ於ケル黄色人種問題 昭4	大阪毎日新聞社	617— 1
(民) 栗 淑 俱	中國民族自救運動之最後覺悟 民22	中 華 書 局	617— 2
渡邊巳之次郎	回教民族ノ活動ト亞細亞ノ將來 大正13	大阪毎日新聞社	617— 3
滿鐵調査課	ソウエート政府ノ民族政策ニ關スル法規集 成 3册 昭5	—	617— 4
峰 原 良 充	吉林を中心として見たる滿洲民族變遷史 昭7	文 化 協 會	617— 5
須 佐 嘉 稱	西 蒙 古 部 族 考 昭9	栗 田 酒 店	617— 6
(米) ラファイモア著 後 藤 富 男 譯	滿洲ニ於ケル蒙古民族 昭10	善 隣 協 會	617— 7
(民) 渡 穂 盛	松花江下游的赫哲族 2册 民23	中 央 研 究 院	617— 8
(民) 趙履禮、高承祖	廣西凌雲瑤人調査報告 民18	—	617— 9
赤 松 祐 之	印 度 民 族 史 昭11	國 際 協 會	617— 10
高 田 保 馬	民 族 の 問 題 昭10	日 本 評 論 社	617— 11
押 川 一 郎	滿 蒙 民 族 志 昭11	滿 鐵 調 査 課	617— 12
松 岡 壽 八	現 代 人 種 問 題 研 究 昭10	丸 善	617— 13
赤 松 祐 之	蘭 領 印 度 民 族 史 昭11	國 際 協 會	617— 14
島 野 龍 藏	苗 族 調 査 報 告 民25	商 務 印 書 館	617— 15
中 村 福 登	ユダヤ民族の世界支配權獲得運動 昭13	滿 洲 評 論 社	617— 16
朝鮮總督府	朝 鮮 の 罪 業 大正15	編 所	617— 20
滿鐵人事課	在滿鮮人壓迫事情 昭2	—	617— 21
朝鮮總督府	英領印度の民族運動 昭6	—	617— 22
—	朝鮮人の思想と性格 昭2	—	617— 23
島 野 三 郎 等	露西亞諸民族の研究 昭5	大阪毎日新聞社	617— 24
朝鮮總督府	英領印度統治の現状と英國異民族統治政策の 批判 昭11	編 所	617— 25
—	問島韓民保護に關する施設 昭5	—	617— 27

【 社 會 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
滿洲事情案內所	滿洲國の現住民族 康6	編 所	617—29
亞細亞民族聯盟	亞細亞民族大會準備會報告書	—	617—30
○			
滿 鐵 調 査 課	蒙古民族自決運動 大正15	編 所	617—P1
○			
清 水 玄	社會保險要論 昭8	日本評論社	618—1

【 620 社會問題・社會事業 】

滿洲社會事業協會	滿洲社會事業要覽 昭6	編 所	620—1
—	滿洲社會事業年報 昭6-11	—	620—2
滿洲國中央社會事業聯合會	滿洲國社會事業概要 康1	—	620—3
東京府社會課	東京府管內社會事業施設要覽 昭9	—	620—4
東京市政調查會	東京市社會事業批判 昭3	—	620—5
簡易保險局	社會公共事業ニ關スル諸調査 4册 昭3	—	620—6
東京市統計課	浮浪者ニ關スル調査 大正15	—	620—7
臺灣總督府	臺灣社會事業要覽 昭6-8	—	620—8
(民) 柳 繁 夫	中國社會問題之理論與實際 民20	百 城 書 局	620—9
安 井 誠 一 郎	社會問題と社會事業 昭3	三 省 堂	620—10
社會事業研究所	日本社會事業大年表 昭11	刀 江 書 院	620—11
○			
青 森 縣	社會事業關係縣令規 昭6	編 所	620—P1
民 政 部	滿洲國中央社會事業聯合會章程並章程 大正15	—	620—P2
臺灣社會事業協會	精神病者と社會問題 昭6	—	620—P3

中央社會事業協會

社會事業年鑑 昭8

編 所 620.4—1

【 621 生 活 問 題 】

(民) 丁 同 力 譯	生活費指數之編製法 民18	商 務 印 書 館	621—1
(民) 馬 君 武	中國歷代生計政策批評 3版 民22	中 華 書 局	621—2
(民) 陶 孟 和	北平生活費之分析 民19	社 會 調 査 所	621—3

【 6 社 會 】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
東京市役所編	東京市在職者生計調査 昭7	編 所	621— 4
滿鐵調査課	滿鐵中國人生計調査 大正15	—	621— 5
協 調 會	俸給生活者、職工、生計調査報告 大正14	—	621— 6
內閣統計局	家計調査報告 大正15-昭和10年 6册 昭4-11	—	621— 7
(民) 橋 西 孟	生活費指數編製法 民20	商務印書館	621— 8
東京市政調査會	英國の住宅政策 昭2	編 所	621— 9
(民) 橋 西 孟	上海工人生活程度的一個研究 民19	社會調査所	621— 10
同 潤 會	[同潤會]事業報告 昭9	編 所	621— 11
朝鮮總督府	生活狀態調査 7册 昭4-9	—	621— 12
東京府社會課	水上生活者ノ生活現狀 昭8	—	621— 13
東京府學務部	要保護者ニ關スル調査 昭8	—	621— 14
大阪毎日新聞社	家 庭 毎 日 昭10	—	621— 16
總務廳統計處	新京特別市ニ於テ施行セル臨時家計調査概 要 康3	—	621— 17
(民) 河 象 峰	中國貧窮問題 民24	正 中 野 局	621— 18
滿鐵調査課	滿鐵中國人生計費調査 (調査報告第37.28) 大正15	編 所	621— 19
東 亞 經 調	生活標準問題研究 (經濟資料第13の1) 昭2	—	621— 20
○			
大阪市社會部	大阪市住宅年報 昭6	編 所	621— P1
內閣統計局	家計調査提要	—	621— P2
大阪市社會部	本市ニ於ケル朝鮮人ノ生計 昭6	—	621— P3
文 教 部	生 活 改 善 廣1	—	621— P4
○			
(民) 馬 君 武	中國歷代生計政策批評 民22	中 華 書 局	621.3— 1
【 622 職業問題・失業問題】			
協 調 會	英國ニ於ケル失業及其對策 昭6	編 所	622— 1
彦 根 高 商	職業調査ニ關スル若干ノ問題 昭8	—	622— 2
內閣統計局	失業統計調査報告 大正15	—	622— 3
岡 崎 文 規	職業統計問題研究 昭8	日 本 評 論 社	622— 4

【 6 社 會】

編者名	書名	發行所	整理番號
關 東 廳	關東廳業態調查結果表 昭4	編 所	622— 5
內閣統計局	國勢調査職業名鑑 昭6	—	622— 6
臺灣總督府	職業名字彙 大正11	—	622— 7
職業介紹事業協會	日本職業大系 (1-4) 昭9-11	—	622— 8
東京地方失業防止委員會	失業對策=關スル諸資料 昭8	—	622— 9
社會局	失業保險及失業救済=關スル各國制度概要 大正13	—	622— 10
緒方照雄	失業問題と救済施設 昭3	巖 松 堂	622— 11
中央職業紹介事務局	職業紹介法關係法規 昭6	編 所	622— 12
東京市役所	東京市職業紹介所求人事情調査 昭7	—	622— 13
—	東京市職業紹介所求職事情調査 昭6	—	622— 14
中央職業紹介事務局	職業紹介年報 昭5-9	—	622— 15
東京市社會局	英獨佛救貧法規 昭2	—	622— 17
糧食省救護院本部	關西風水禍罹災者就職斡旋事業誌 昭10	—	622— 18
滿鐵調査課	滿洲極東に於ける職業組合の組成 昭3	—	622— 19
○			
中央職業紹介事務局	職業紹介成績 昭6	編 所	622— P1
全國産學	米國ニ於ケル失業準備金制度 昭8	—	622— P2
—	米國失業保險問題 昭10	—	622— P3
厚生省	改正職業紹介法に就て 昭13	—	622— P4
【 624 家庭及兩性問題】			
清水泰次	支那の家族と村落の特質 昭2	文明協會	624— 1
(民) 島家鏡	西洋民族制度研究 3版 民10	商務印書館	624— 2
(民) 清光且	中國之家庭問題 民17	新月書店	624— 3
戶田貞三	家庭と婚姻 昭9	中文館	624— 4
文明協會	支那の家族と村落 昭3	文明書院	624— 5
戶田貞三	家族の研究 昭9	弘文堂	624— 6
河田嗣郎	家族制度研究 昭6	—	624— 7
水谷圓一	支那ニ於ケル家族制度 昭3	滿鐵調査課	624— 9

編・著者名	書名	發行所	整理番號
砂田實榮	日本家族制度史研究 2冊 大正15	中文館	624—10
東京市役所	家族統計 昭10	編所	624—11
(譯) イラスノコ 外岡茂十郎等譯	婚姻親族後見法 昭11	編檢堂	624—12
【625 婦人問題】			
中央職業紹介事務局	東京大阪兩市ニ於ケル職業婦人調査 昭2	編所	625—1
廣濟監獄小田原分監	少年受刑者ノ處遇及統計彙報 大正4-9	—	625—2
內務省社會局	歐米各國兒童保護ニ關スル法規 大正14	—	625—3
(民) 梅生	女性問題討論集 6冊 民23	新文化書社	625—4
(民) 陳夏原	中國婦女生活史 民16	商務印書館	625—5
東京市養育院	東京市養育院年報 第60回 昭7	編所	625—6
東京市政調査會	都市ニ於ケル妊産婦保護事業 昭3	—	625—7
○			
中央職業紹介事務局	少年職業紹介施設及取扱成績 昭7	編所	625—P1
奉天市同善堂	奉天市同善堂要覽 2冊 大同1-2	—	625—P2
【626 犯罪及犯罪人問題】			
合譯總督府	台灣犯罪統計 3冊 昭7-9	編所	626—1
(民) 張鏡予	北京司法部犯罪統計的分析 民17	—	626—2
【628 共濟事業】			
滿鐵人事課	共濟統計概要 昭8	編所	628—1
全國盛聯	職員ノ負傷疾病等ニ對スル救濟施設 昭9	—	628—2
遞信省保健課	遞信部內職員共濟組合事業概要 昭4	—	628—3
普濟會	普濟會施療班報告書 康4	—	628—5
【629 阿片及阿片問題】			
(民) 陳翰菴	難民の東北流亡 民19	中央研究院	629—2
關西聯盟協會	阿片問題ノ研究 昭3	編所	629—3
—	極東阿片問題 3版 昭8	—	629—4
野波靜雄	國際阿片問題 大正14	平凡社	629—5
臺灣總督府	臺灣阿片癮者ノ矯正 昭6	編所	629—6

[63 勞 働]

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
吉林省政府	吉林省拒毒工作經過情形紀要 民18	—	620— 7
(民) 韓 麗 會	禁吸鴉片煙偶議 宣統2	—	620— 8
外務省通商局	阿 片 問 題 大正10	—	620— 9
朝鮮警務總監部	阿片參考資料 大正8	—	620— 10
牛 窪 愛 之 遺	阿 片 禍 略8	廣 益 院	620— 11
高 島 幹 之 助	國際阿片問題ノ經緯 昭10	日本國際協會	620— 12
露 崎 喜 郎	滿洲國阿片制度ト阿片ノ概念 昭11	日滿實業協會	620— 13
(民) 梅 公 任	亡國滅種的鴉片烟禍 民24	民友書局	620— 14

○

東亞實業協會	上海ヲ中心トセル支那ノ阿片問題 昭9	編 所	620— P1
--------	--------------------	-----	---------

[630 勞 働 一 般]

孫 田 秀 春	我國勞働法規及判決例 大正15	清 水 書 店	630.1— 1
榮 田 義 彦	勞働法規及社會法規 (特別法規判例學說全集第1) 昭8	常 盤 書 局	630.1— 2
(民) 關 炳 元	中國勞働法令彙編 民21	法學編輯社	630.1— 3
東京市社會局	佛國勞働法典 大正13	編 所	630.1— 4
臺灣總督府	サラワク勞働法 (兩支那及南洋調査第178) 昭6	—	630.1— 5
日本工業俱樂部	勞働者災害扶助法案に關する 意見並參考資料 昭5	—	630.1— 6
(佛) ポールピワグ著 協 調 會 譯	勞 働 法 昭9	協 調 會	630.1— 7
(民) 陶 百 川	中國勞働法之理論與實際 民20	大 東 書 局	630.1— 8
津 田 龍 之 丞	勞働法原理 昭7	改 造 社	630.1— 9
胡 藤 本 葛 一 譯	ソグエト勞働法 昭10	ナ ヲ カ 社	630.1— 10
勞働法規研究會	勞働關係法規 昭4	三 田 書 房	630.1— 11
河 原 田 隆 吉	ナチス勞働法 昭11	協 調 會	630.1— 12
勞働事情調査所	官業勞務規程總覽 昭12	モ ナ ス	630.1— 13
木 村 清 司	勞働保護法 昭11	日 本 評 論 社	630.1— 14

○

民 國 實 業 部	中國勞動年鑑 第1-3次 3册 民17-23	編 所	630.4— 1
國際勞動局東京支局	國際勞動年鑑 3册 昭8-11	—	630.4— 2

編・著者名	書名	発行所	整理番號
協 議 會	勞 働 年 鑑 3冊 昭8-10	編 所	630.4— 3
—	海 外 勞 働 年 鑑 4冊 昭4-7	—	630.4— 4
大 原 社 會 問 題 研 究 所	日 本 勞 働 年 鑑 6冊 昭6-13	同 人 社	630.4— 5
國 際 勞 働 局 東 京 支 局	國 際 勞 働 局 局 長 年 報 2冊 昭9-10	編 所	630.4— 6
○			
關 東 廳 文 書 課	關 東 廳 勞 働 統 計 書 昭7	編 所	630.5— 1
內 閣 統 計 局	勞 働 統 計 實 地 調 查 報 告 5冊 昭5-7	—	630.5— 2
—	勞 働 統 計 實 地 調 查 提 要	—	630.5— 3
國 際 勞 工 局 著 (民) 丁 同 力 譯	工 人 意 外 遭 遇 統 計 法 民20	商 務 印 書 館	630.5— 4
滿 鐵 人 事 課	勞 働 統 計 論 昭6	編 所	630.5— 5
內 閣 統 計 局	勞 働 統 計 要 覽 9冊 大正15-昭9	—	630.5— 6
東 京 市 役 所	勞 働 統 計 實 地 調 查 結 果 概 要 昭9	—	630.5— 7
大 阪 府 內 務 部	勞 働 統 計 實 地 調 查 の 概 要 2冊 昭9.11	—	630.5— 8
香 點 園 著 (民) 李 致 遠 譯	勞 働 統 計 民20	商 務 印 書 館	630.5— 9
內 閣 統 計 局	勞 働 統 計 實 地 調 查 報 告 工 場 ノ 部 昭9	東 京 統 計 協 會	630.5— 10
東 京 市 役 所	東 京 市 及 近 郊 町 村 勞 働 統 計 實 際 調 查 昭三回 昭7	編 所	630.5— 11
水 谷 良 一	勞 働 統 計 論 昭13	東 洋 出 版 社	630.5— 13
○			
日 本 銀 行 調 査 局	勞 働 統 計 概 説 第 十 回 昭7	編 所	630.5— P3
○			
中 央 職 業 紹 介 事 務 局	職 業 別 勞 働 事 情 昭4	編 所	630.9— 1
(民) 丁 同 力	世 界 勞 働 狀 況 民19	大 東 醫 局	630.9— 2
協 調 會 調 査 課	各 國 勞 働 界 ノ 情 勢 3冊 昭3	編 所	630.9— 3
—	英 佛 ニ 於 ケル 勞 働 事 情 大正10	—	630.9— 4
朝 鮮 總 督 府	工 場 及 鑛 山 ニ 於 ケル 勞 働 狀 況 調 査 昭8	—	630.9— 5
田 中 有 年	南 滿 洲 ニ 於 ケル 支 那 勞 働 者 募 集 及 移 動 狀 況 昭4	滿 鐵 人 事 課	630.9— 6
滿 鐵 經 理 課	滿 洲 鑛 山 勞 働 事 情 昭10	編 所	630.9— 7
—	滿 洲 勞 働 事 情 綜 覽 昭11	滿 洲 文 化 協 會	630.9— 8

〔 63 勞 働 〕

編・著者名	題 名	年 代	發 行 所	整理番號
桐原 孫 見	勞務管理	昭12	千倉書房	630.9—10
關 東 局	關東局勞働調査結果表	昭13	編 所	630.9—11
三好 豊 太郎	新勞務管理	昭12	森山書店	630.9—12
野 饒 聖 等	生産と勞働	昭13	科學主義工業社	630.9—13

○

全 國 産 聯	國際勞働總會概況報告 第十七回	昭8	編 所	630.9—P1
—	國際勞働總會議題=關スル參考資料 第十七回	昭8	—	630.9—P2
—	臨時工問題=關スル參考資料	昭10	—	630.9—P3

〔 631. 勞 働 政 策 〕

内務省警保局	獨逸=於ケル勞働者ノ經營參與制度	大正4	編 所	631—2
協 調 會	我國=於ケル勞働委員會制度	大正15	—	631—3
東京地方失業防止委員會	獨逸勞働奉仕制度	昭9	—	631—4
淡路國治郎	人事管理	昭13	千倉書房	631—5
全 國 産 聯	人事管理に就て	昭8	編 所	631—6

〔 632 勞働者及勞働者問題 〕

西 川 喜 一	支那勞働者の現状と全國勞働爭議	大正13	日 本 堂	632—1
協 調 會	勞資協調の諸方法	昭5	編 所	632—2
生涯調査會	米國勞働者ノ生計狀態	明45	—	632—3
武 居 雄 一	勞働問題調査報告 (調査資料第4)	大正10	調査調査課	632—4
—	滿洲の苦力	昭8	調査課	632—5
青島守備軍民政部	山東ノ勞働者	大正10	編 所	632—6
協 調 會	全國工廠礦山勞働者教育協議會記錄	昭2	—	632—7
大阪市調査課	日僑勞働者問題	大正13	弘 文 堂	632—8
—	勞働者雇傭狀態	大正15	—	632—9
(民) 陳 運	中國勞工問題	民18	商務印書館	632—10
(民) 林 頌 河	塘沽工人調査	民19	北平社會調査所	632—12
小 山 清 次	支那勞働者研究	2版 大正8	東亞實業社	632—11

編者名	書名	発行所	整理番號
野中時雄	滿鐵各箇所使役華工調査報告 昭3	滿鐵臨經	632—15
(民) 藤原登	現代労働問題論叢 民23	實報合作社	632—17
高柳鉄一郎	労働者餘暇利用法 大正14	大阪毎日新聞社	632—18
朝鮮總督府	阪神京濱地方ノ朝鮮人労働者 大正13	編 所	632—19
【 633 労働組合・労働運動】			
(民) ハストリフ譯 協 調 會	獨逸労働組合運動史 大正15	編 所	633—1
協 調 會	労働組合及労働爭議統計 昭8-10	—	633—2
—	労働組合法案ノ沿革	—	633—3
東京商調	各國労働組合の法規と其の現勢 昭5	—	633—4
(民) ハストリフ譯 協 調 會	各國労働組合運動史 昭3	—	633—5
東京商調	労働組合法ニ關スル調査 昭5	—	633—6
協調會情報課	労働運動調査報告 3冊 大正11-12	—	633—7
—	米佛獨労働組合法制網要	—	633—9
東京市社會局	労働組合ニ關スル各國法令 昭7	—	633—10
○			
滿鐵人事課	滿洲ニ於ケル労働運動並ニ労働爭議 昭4	編 所	633—P1
—	滿洲に於ける労働運動の過去及現在 昭4	—	633—P2
全國産聯	英國の危機と労働組合 昭7	—	633—P3
—	日本労働組合會議ノ沿革ト現勢 昭7	—	633—P4
關 義 雄	中國労働運動 昭6	滿鐵人事課	633—P5
【 634 労働 争 議】			
日本工業俱樂部	最近ニ於ケル労働爭議ノ事例 昭5	編 所	634—1
協調會調査課	各國労働爭議統計 3版 昭6	—	634—2
東京市社會局	労働爭議ニ關スル各國法令 大正13	—	634—3
滿鐵調査課	支那ニ於ケル労働爭議調 大正14	—	634—4
上海市社會局	上海特別市勞資糾紛統計 民20	商務印書館	634—5
—	上海特別市罷工停業統計 民19	—	634—6
—	上海特別市罷工統計報告 民18	編 所	634—7

【 63 勞 働 】

編者名	書名	発行所	整理番号
内務省警保局	産業争議の調停及仲裁制度 大正9	編 所	634— 9
○			
田 中 有 年	過去十箇年間ニ於ケル南滿洲労働争議統計 昭3	滿鐵調査課	634— P1
全 國 産 聯	米國労働争議ニ對スル裁判所ノ禁止命令制限立法ニ付イテ 昭7	編 所	634— P2

【 635 勞 働 條 件 】

協 調 會	各國最低賃金關係法規集 昭3	編 所	635— 1
—	退職手當制度の現状 昭7	—	635— 2
—	従業員株式購入制度 昭3	—	635— 3
全 國 産 聯	我國ニ於ケル労働者退職手當制度ノ現状 昭7	—	635— 4
—	労働時間ト失業 昭3	—	635— 5
(米) グアーレル君 農商務省譯	歐米最低賃銀法 大正8	國産時報社	635— 6
社會政策學會	賃銀制度並純益分配制度 大正11	同 文 籍	635— 7
協 調 會	各國労働賃金統計 大正15	編 所	635— 8
商工省統計課	賃銀統計表 3冊 昭8-11	—	635— 9
上海市社會局	上海特別市工資指數之試編 民18	—	635— 10
全 國 産 聯	我國ニ於ケル解雇手當制度ノ現状 昭7	—	635— 11
三宅喜二郎	我國ニ於ケル賃銀及ビ物價ノ統計的研究 昭7	森山書房	635— 12
藤崎健一	中國人労働者ノ賃銀 昭4	滿鐵人事課	635— 13
手塚壽郎	フアルク賃銀の理論 昭13	森山書店	635— 14
滿鐵勞務課	内地及朝鮮に於ける工場賃銀制度の調査研究 昭5	編 所	635— 15

○

東京市社會局	賃銀保護ニ關スル外國法制 2冊 昭7-8	編 所	636— P1
農林省統計課	農作備賃銀統計表 3冊 昭8-11	—	636— P2
—	製絲職工及養蠶備賃銀統計表 2冊 昭6-8	—	636— P3
—	製絲職工賃銀統計表 昭6	—	636— P4
—	漁業者賃銀統計表 昭6	—	636— P5

【 636 勞働契約及協約 】

協 調 會	我國ニ於ケル團體交渉及團體協約 昭5	編 所	636— 1
-------	--------------------	-----	--------

		【 63 勞 働 】	
編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
民國工商部勞工司	各地勞資新舊合約類編 民19	編 所	637— 2
後 藤 清	勞働協約理論史 昭10	有 斐 閣	636— 3
中 村 萬 吉	勞働協約の法學的構成 大正15	巖 松 堂	636— 4
【 637 國際勞働會議 】			
東京市社會局	國際勞働機關關係法規 昭8	編 所	637— 1
(民)會 聘 約	國際勞工組織 民21	社會調查所	637— 2



【 文 化 】

編・著者名

著

名

發行所

發刊番號

7 文化・教育・宗教

【 700 文化一般 】

新 光 社 萬有科學大系 昭6-8

編 所 700— 1

正 篇

1. 天體と宇宙
2. 地球、人間、地球の歴史
3. 科學概論、進化論、生物相互關係、遺傳
4. 植物、植物の分類
5. 動 物
6. 人體生理、食物と營養、バクテリア
7. 礦物と岩石
8. 物 理
9. 化學、藥學
10. 海洋、氣象
11. 地 理
12. 人類及人種

續 篇

1. 化學工業
2. 電氣、化學工業、化學工學、染料と染織
3. 農學、家畜
4. 林業、水産
5. 鑛業、窯業
6. 寫眞、活動寫眞、印刷
7. 磁器と電氣、機械
8. 電信、電話、ラヂオ
9. 建築、庭園と公園
10. 都市計畫、築港
11. 道路、橋梁
12. 上下水道、水力電氣

編・著者名	題 名	発行所	整理番號
	13. 航空機		
	14. 自動車、鐵道		
	15. 兵器		
	16. 船舶		
	17. 醫學		
	18. 實驗心理學、社會衛生、體育學		
後藤朝太郎	支那文化の研究 大正14	富山房	700— 3
本莊可宗	世界文化年表 昭8	大東出版社	700— 3
東亞經濟調査局	歐文年鑑目錄 昭8	編 所	700— 4
京城帝大	朝鮮支那文化の研究 昭4	刀江醫院	700— 5
○			
滿鐵調査課	滿蒙の文化的開發と日本の寄與 昭4	編 所	700—P1
	【700.2 辭 典】		
平凡社	大百科事典 26冊 昭7-10	編 所	700.2— 1
(民) 廣 敬 果	新文化辭典 民12	商務印書館	700.2— 2
(民) 陳 輝 等	日用百科全書 2冊 民14	—	700.2— 3
近 藤 奎	支那學藝大辭彙 昭11	立 命 館	700.2— 4
三輪田元道	最新常識精典 昭12	致 文 社	700.2— 5
(民) 橋 家 駒	四庫大辭書 民24	詞 典 館	700.2— 6
	【700.3 叢 書】		
大阪朝日新聞社	朝日時局讀本 昭12	編 所	700.3— 1
	第1卷 移り行く支那		
	第2卷 現代政治の動向		
	第3卷 金本位没落の渦紋		
	第4卷 危機に立つ歐洲		
	第5卷 準戰時統制經濟		
	第6卷 革新政治下の米國		
	第7卷 植民地の再分割		
	第8卷 國際通商戰		



【文 化】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
	第9卷 國防と軍備		
	第10卷 戰時體制下のソ聯		
民國中央研究院	慶祝蔡元培先生六十五歲論文集	編 所	700.3— 2
(民) 王 雲 五	中國文化史叢書 民26	商務印書館	700.3— 3
	1. 中國經學史 (民、馬宗霍)		
	2. 中國理學史 (民、賀麟)		
	3. 中國田賦史 (民、陳登原)		
	4. 中國鹽政史 (民、曾仰豐)		
	5. 中國法律思想史 (民、楊鴻烈)		
	6. 中國政黨史 (民、楊幼敏)		
	7. 中國交通史 (民、白壽彝)		
	8. 中國南洋交通史 (民、馮承鈞)		
	9. 中國殖民史 (民、李長傳)		
	10. 中國婚姻史 (民、陳顯遠)		
	11. 中國文字學史 (民、胡廣安)		
	12. 中國算學史 (民、李 儼)		
	13. 中國度量衡史 (民、吳承洛)		
	14. 中國醫學史 (民、陳邦賢)		
	15. 中國商業史 (民、王孝通)		
	16. 中國陶瓷史 (民、吳仁敏、辛安潮)		
	17. 中國繪畫史 2册 (民、俞劍華)		
	18. 中國駢文史 (民、劉麟生)		
	19. 中國考古學史 (民、雷聚賢)		
	20. 中國民族史 (民、林惠祥)		
滿日文化協會	東方國民文庫 康4	編 所	700.3— 4
	第1編 新滿洲風土記 (藤山一雄)		
	第2編 戲曲、發明と自由戀愛 (武藏演男)		
	第3編 滿洲の森林と文化 (藤山一雄)		
松 誠 仁 一 郎	山岡博士教授二十五年記念論文集 昭12	中央大 學	700.3— 5
	第1卷 法 學 部		

編・著者名 _____ 名 _____ 發行所 _____ 整理番號 _____

犯罪構成事實と違法性 (島田武夫)
 吾が委任統治地たる南洋群島と吾が國との法律關係 (山名壽三)
 獨乙民法不當利得の場合の財産移轉の非間接性 (藤原重厚)
 明律と新律綱領 (會田巖治)
 出版權の讓渡に就て (東 季彥)
 公簿の私法的效力 (永田碩四郎)
 英法に於ける「相當期間」 (根本松男)
 最低賃銀決定に關する一考察 (加藤一雄)
 政治の基礎的理論 (藤井新一)

文 學 部

宇宙の有限性及無量性に就て (本田純二)
 監獄と言ふ文字の起源及其の變遷に就ての研究 (佐々木英夫)
 古來の家訓に現はれたる教神思想と時勢の推移を論ず (藤岡謙平)
 集團學說による社會主義への批判 (園谷 弘)
 現代社會の病的様相 (吉田勝致)
 祭政一致の古義 (山田孝雄)
 「愚管抄」の歴史哲學性 (松原 寛)
 英語熟語考 (磯村 賢)
 我が蒙國の精神 (高木 武)
 傳道學上に於ける教導作用 (小松雄道)
 宗教劃の諸形態とその現代化について (藤塚友一郎)
 人間存在の把住としての中今に就いて (編原 武)

商 經 學 部

軍艦商船の賠償統制 (松波仁一郎)
 人口を過して看たる日本の社會過程 (永井 辛)
 配給機構の變革と中小商業者問題 (井上貞藏)
 ワーゲマン貨幣理論の研究 (青木孝義)
 我國民間航空事業と其將來 (松葉榮置)
 經費の生産性 (小幡清金)



經營體の生活と合理性對非合理性
(宇尾野宗孝)

第2卷 齒 科

齒牙支持組織症の細菌性病因に就て
(佐藤通雄、下田 亮)

日本人咬傷の統計的研究 (押田 篤)

齒科臨床に觀らるゝ異常レントゲン不透明陰像に就て (船内 昇)

下顎突出の遺傳學的研究 (岩坂 宏)

齒槽膿漏症の細菌學的研究 (長瀬 幸)

芳香族「アミン」とフォルマリンとの縮合反應に就て (柳沼潤三)

モノアミン類の結晶學的試驗並に其化學構造との關係に就て (早川隆太郎)

結晶學に關する特殊計算
(早川隆太郎、押田 篤)

齒牙硬組織の化學的研究
(早川隆太郎、原田 一)

「結核感染を後發せる口蓋腫瘍」の一例
(尾形利二)

齒髓の血清化學的研究 (伊藤丈夫)

人口的血量増多と血壓との關係
(酒原六郎)

日本人の舌輪乳頭及其味蕾に關する研究
(松月芳郎)

醫 學 科

海猿腸壁の神經に就て (大久保清)

腎小體に就て (關府田敏一)

日本人腎小體の直徑、容積等に就て
(—)

腎動脈攣格例 (關府田敏一、大久保清)

筋破格例 (—)

瀉血に就ての實驗的研究 (井上産二郎)

東京及其附近徵兵検査時に於ける検査成績に就て (昭7)(森島俊一郎等)

日大病院に於ける胸部レントゲン像の統計 (阿部兼彦、堀江 幸)

工 學 部

道路橋設計に於ける二、三の事項
(成瀬勝武)

基礎杭の支持力に關する新考察
(富山潤三)

振動理論による構造物の耐震計算法
(河野龍夫)



編・著者名 題 名 発行所 整理番號

- 室内音響に於ける音色の變化に就て
(長倉謙介)
- 山形ラーメンの固有振動數計算に關する
一つの研究 (小野 龍)
- 觀覽席の断面形に關する研究 (船越義房)
- 金屬材料の疲勞研究上の二三の意見
(淺川勇吉、藤田 毅)
- 内燃機關氣筒内の燃焼速度 (藤田 毅)
- ポテンシャルを用ひて解き得る彈性體力
學の諸問題 (服部 鼎)
- 蒸氣減壓機に關する研究 (山野健郎)
- 導線管の内面摩擦抵抗を減ずる一考察
(田中萬次郎)
- 船舶用電力設備の交流化 (宇野高俊彦)
- 制御電極附放電管を使用したる逆變流器
と其應用 (大久保謙)
- 新型廣範圍直讀真空計 (高木 昇)
- ルーバー照明法に就て (新庄檢二)
- 電球検査用多面體光束計の新方式
(橋地伊三郎)
- 油中沿面コロナに就て (稻田金次郎)
- アミノ酸の研究 (山名寧曠)

日本精神文化大系
刊 行 會

日本精神文化大系 昭13

編 所 700.3— 6

第1卷 皇 皇 篇

吉 野 作 造

明治文化全集 昭2-5

日本評論社 700.3— 7

第1. 皇 皇 篇

第2. 正 史 篇 (上)

第3. — (下)

第4. 憲 政 篇

第5. 自由民權篇

第6. 外 交 篇

第7. 政 治 篇

第8. 法 律 篇

第9. 經 濟 篇

第10. 教 育 篇

第11. 宗 教 篇

第12. 文學藝術篇



【 文 化 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
	第13. 時事小説篇		
	第14. 翻譯文藝篇		
	第15. 思想篇		
	第16. 外國文化篇		
	第17. 新聞篇		
	第18. 雜誌篇		
	第19. 風俗篇		
	第20. 文明開化篇		
	第21. 社會篇		
	第22. 雜史篇		
	第23. 軍事篇、交通篇		
	第24. 科學篇		
本 田 關	非常時國民全集 昭9-9	中央公論社	700.3— 8
	第 1. 海 軍 篇		
	第 2. 外 交 篇		
	第 3. 經 濟 篇		
	第 4. 陸 軍 篇		
	第 5. 産 業 篇		
	第 6. 生 活 篇		
	第 7. 航 空 篇		
	【700.4 年 鑑】		
日本文化中央聯盟	日本文化團體年鑑 昭13	編 所	700.4— 2
	【700.9 其 他】		
(民) 哀 智 根	最新各界適用酬世全書 8冊 6版 民16	會文堂新記書局	700.9— 1
(民) 織 冷	交際全書 2冊 13版 民19	榮新書局	700.9— 2
ソ聯アガアミヤ組 岡邦雄大竹博吉譯	ソヴェト科學の達成 昭10	ナウカ社	700.9— 3
水 野 梅 嶺	滿洲文化を語る 昭10	支那時報社	700.9— 4
和 辻 行 郎	風土(人間學的考察) 昭10	岩波書店	700.9— 5
勝 泉 外 吉	アラユル會合ノ運用ニ必要ナ會談ノ仕方 昭10	青 雲 堂	700.9— 6
原 富 男	支那文化科學概説 昭11	職 業 社	700.9— 7

【 7 文 化 】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
日本學術振興會	日本學術振興會要覽 昭9	編 所	700.9— 8
日本國際問題調査會	世界政治、經濟、文化、社會總鑑 昭12	河 出 書 房	700.9— 9
滿蒙學術調査研究團	滿蒙學術調査研究團報告 第1次 11冊 昭10	編 所	700.9— 10
黒 板 勝 興	歐米文明記 明44	會 文 堂 書 店	700.9— 11
山 口 高 尚	山口高等商業學校改稱三十週年紀念論文集 昭10	東亞經濟研究會	700.9— 12
	品性の陶冶に關して (岡本一郎)		
	支那古姓の研究 (西山學久)		
	指數決定法としての算術平均の理論と滿洲國の物價調査について (近藤 義)		
	動産低當について (河村東洋)		
	十九世紀前半の英吉利文學批評(兼太利喜太)		
	護謨の國際生産統制に就て (木全省吾)		
	祝 酒 (今泉浦治郎)		
	民國以降に於ける支那語文運動(鐘ヶ江信光)		
	新時代の經營幹部 (山崎肥男)		
	公司法上の株式の得喪 (大本利一)		
	經濟學史上のコブルクス (向井 翠)		
	邦人の滿洲國移植民に就いて (木村彦一郎)		
	甲板積貨物の投票に就いて (石津 謙)		
	ブリス氏財政比率論 (栗林定治郎)		
	米國の銀政策に就いて (池永清行)		
	經營計理の體系と成果分割 (古川肇一)		
	獨乙に於ける株式會社改正立法上の基本觀念としての企業自體 (越井秀夫)		
	健全なる社會傳統 (菱川精一)		
	マージナル經濟學に於ける生物學的世界 (竹中梧一)		
	産業用品配給組織の特異性について (菊澤謙三)		
	中世日耳曼法の分裂に就いて (日御彦九郎)		
	代用液體燃料問題 (田中稻穂)		
	金融指標としての日本銀行週報 (二宮丁三)		
	個人主義の現代的意義と其の批評 (大野彌會次)		
	アソムミューラーと浪漫的普遍主義經濟學概説 (鶴岡伍介)		



〔7 文 化〕

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
文教部禮教司	通俗講演資料選輯 庚3	編 所	700.9—13
日本學術振興會	科學と社會 昭12	智大新聞社	700.9—14
大東文化學院	大東文化學院卒業生紀要 昭12	編 所	700.9—15
藤 山 一 雄	歸 去 來 抄 昭12	東 光 書 院	700.9—16
學徒至誠會	學徒至誠會派遣團報告 2册 昭12	編 所	700.9—18
清水 健 太郎	流 言 蜚 語 昭12	日 本 評 論 社	700.9—19
安 藤 德 壽	北支那文化便覽 昭13	生 活 社	700.9—20
東亞同文書院	千 山 萬 里 昭7	編 所	700.9—21
中 根 榮	上書式辭演說大集成 昭10	誠 文 堂	700.9—22
辻 善之助	日支文化の交流 昭12	創 元 社	700.9—24
大陸科學院	大陸科學院彙報 自第1卷 庚4—	編 所	700.9—27
—	大陸科學院要覽 2册 庚4.5	—	700.9—28
—	大陸科學院研究報告 自第1卷 庚4—	—	700.9—29
○			
調査資料協會	調査資料協會事業内容 昭7	編 所	700.9—P1
學徒至誠會	[學徒至誠會]會員名簿 昭12	—	700.9—P2
〔701 文 化 理 論〕			
(英)アイ・ヌホーフ譯 (民) 關 光 嗣 譯	文化進化論 民21	—	701—1
(米) ウォクスラ 譯 赤 堀 英 三 譯	人類と文化 昭6	—	701—2
(西) シュプランガー 著 小 塚 新一 郎 譯	文化哲學の諸問題 昭12	岩 波 書 局	701—4
平 川 健 夫	文化の消長と民族の運命 昭12	平 凡 社	701—5
〔702 文 化 史〕			
桑 原 臨 藏	東洋文明史論叢 昭9	弘 文 堂	702—1
羽 田 亨	西域文明史概論 3版 昭7	—	702—2
島 山 喜 一	滿鮮文化史觀 昭10	刀 江 書 院	702—3
衛 藤 利 夫	滿洲生活30年奉天の歌者クリステイの思出 昭10	大 阪 屋 號	702—4
(民) 林 西 軒	臺灣蕃族之原始文化 民19	國立中央研究院	702—5
神 尾 式 春	契丹佛教文化史考 昭12	滿洲文化協會	702—6

〔7 文 化〕

編・著者名	書名	発行所	整理番號
鳥居龍藏	遼の文化を探る 昭19	東洋館	702—7
間嶋万里	綜合文化史論 昭8	刀江書院	702—8
上野菊綱	東洋文化史概説 昭13	清教社	702—9

〔703 文化政策〕

近藤春雄	ナチスの文化統制 昭13	倉岡書房	703—2
------	--------------	------	-------

○

外務省	歐米人の支那に於ける文化事業 大正14	編 所	704—1
-----	---------------------	-----	-------

〔705 出版物・出版機關〕

天野敬太郎	本邦書誌の書誌 昭8	問宮商店	705—1
武田 熙	支那文献の解題とその研究法 昭6	大同館	705—2
(民) 渡 啓 明	中國圖書編目法 民23	商務印書館	705—3
林 靖 一	圖書の受入から配列まで 昭8	大阪屋號	705—4
桂 五十郎	漢籍解題 7版大正8	明治書院	705—5
田 中 敬	圖書學概論 大正13	富 山 房	705—6
(民) 玉 瀧 五	中外圖書統一分類法 民17	商務印書館	705—7
川 口 輝 武	書類整理の研究 昭6	マネジメント社	705—8
西 時 智	文書整理法の理論と實際 昭7	國 文 館	705—9
設 多 野 賢 一 藤 吉 光 長	研究 参考文献總覽 昭9	朝日書房	705—10
大阪毎日新聞社	校正の研究 昭4	編 所	705—11
林 靖 一	圖書保管法 變遷と失竊 昭13	大阪屋號	705—12
毛利宮彦	圖書の整理と運用の研究 昭11	圖書館事業 研究會	705—13
(民) 渡 啓 西	中國書院制度 民23	中華書局	705—14
森 清	日本十進分類法 昭10	問宮商店	705—15

〔一 般 書 目〕

内閣印刷局	官廳刊行圖書目錄 第1-14號 昭2-13	編 所	705.1—1
滿鐵奉天圖書館	滿洲關係和漢書件名目錄 昭7.10	—	705.1—2
滿鐵大連圖書館	滿鐵大連圖書館和漢圖書目錄 昭4-11	—	705.1—3

[7 文 化]

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
島 取 萬 景	和漢書分類目錄 昭6	編 所	705.1— 4
吉 林 省 公 署	[吉林省公署]圖書目錄 4册 大同1-康4	—	705.1— 5
奉 天 省 公 署	奉天省政府圖書目錄 大同1	—	705.1— 6
—	奉天省公署圖書目錄 大同1	—	705.1— 7
高 市 慶 雄	明治文獻目錄 昭7	日 本 評 論 社	705.1— 8
滿 鐵 資 料 課	東三省政府公報索引目錄 宣統1-民20 昭8	編 所	705.1— 9
朝 鮮 總 督 府	朝鮮總督府及所屬官署主要刊行圖書目錄 昭11	—	705.1— 10
民 政 部 警 務 司	發賣頒布禁止單行本目錄 康3	—	705.1— 11
興 安 局	興安局圖書目錄 康4	—	705.1— 12
東 京 警 務 商 組 合	出 版 年 鑑 3册 昭7-10	—	705.1— 13
東 方 文 化 學 院 京 都 研 究 所	東方文化學院京都研究所漢籍目錄 昭13	—	705.1— 14
全 國 經 聯	會員購讀外國新聞雜誌表 昭6	—	705.1— 15
錦 縣 公 署	錦縣公署舊卷目錄 康4	—	705.1— 16
大 分 高 等 商 業 學 校	年刊書目錄定期刊行目錄考課狀寄贈會社錄 昭11	—	705.1— 17
國 立 奉 天 圖 書 館	國立奉天圖書館版書目 大同3	—	705.1— 18
—	國立奉天圖書館藏書目錄 大同3	—	705.1— 19
帝 國 圖 書 館	帝國圖書館和漢圖書分類目錄 明治40	—	705.1— 20
—	帝國圖書館和漢圖書書名目錄 昭11	—	705.1— 20
滿 鐵 調 査 課	滿鐵調查課備附資料索引目錄 3册 昭3-9	—	705.1— 21
東 京 堂	出 版 年 鑑 3册 昭8-13	—	705.1— 22
奉 天、熱 河 省 公 署	舊奉天熱河省移交卷宗目錄	—	705.1— 23
日 本 銀 行	[日本銀行]圖書目錄 大正15	—	705.1— 24
滿 鐵 調 査 課	圖書分類目錄 昭13	—	705.1— 25
—	滿鐵刊行物目錄 昭5.11	—	705.1— 26
北 滿 經 濟 調 査 所	北滿經濟調查所資料分類表 康3	—	705.1— 27
—	江南圖書館善本書目	—	705.1— 28
滿 鐵 奉 天 圖 書 館	佐原文庫圖書分類目錄 昭11	—	705.1— 29
(蒙古) 博 明	西齋雜著二種 民23	—	705.1— 30

[7 文 化]

編者姓名	書名	發行所	整理番號
滿鐵新京圖書館	新京圖書館和漢圖書分類目錄 昭11	編 所	705.1—31
總務廳統計處	政府各官公署保存資料目錄 康2	—	705.1—32
尊經閣	尊經閣文庫漢籍分類目錄 2册 昭9-10	—	705.1—33
中東鐵路圖書館	中東鐵路圖書館圖書目錄 民30	—	705.1—34
臨時產業調查局	[臨時產業調查局]資料目錄 康1	—	705.1—36
立法院秘書處	資料彙報 康2	—	705.1—37
大同學院	大同學院圖書分類目錄 康2-4	—	705.1—38
財政部	[財政部]圖書目錄 康2	—	705.1—40
滿鐵調查課	資料彙存 大正1	—	705.1—41
民生部資料科	[民生部]圖書目錄 康5 康4.12 月末現在	—	705.1—43
司法部總務司	[司法部]圖書分類目錄 康2	—	705.1—44
大原社會問題研究所	定期刊行物一覽 昭11	—	705.1—45
(民)王重民等	清代文集篇目索引 民24	北京大學出版社	705.1—46
民政部	[民政部]資料分類目錄 康3	編 所	705.1—47
土地局	土地局圖書目錄 康3	—	705.1—48
國務院總務廳	官公署刊行圖書目錄 康3	—	705.1—49
東京出版協會	圖書分類目錄 昭11	—	705.1—50
京城帝國大學圖書館	和漢書書名目錄 昭11	—	705.1—51
東亞經濟調查局	新著資料目錄 昭11	—	705.1—52
華天國立圖書館	圖書分類目錄 康3	—	705.1—53
滿鐵本社	陳列品目錄 昭11	—	705.1—55
(民)朱士嘉	官書局書目彙編 民22	國立北平圖書館	705.1—56
北平圖書館	國學論文索引四編 民25	民間圖書館協會	705.1—57
外務局	[外務局]圖書分類目錄 康5	編 所	705.1—58
安東省公署	安東省公署圖書分類目錄 康5	—	705.1—59
上海自然科學研究所	[上海自然科學研究所]圖書雜誌分類目錄 昭11	—	705.1—60
衆議院事務局	衆議院圖書館圖書目錄 昭13	—	705.1—61
朝鮮總督府	朝鮮總督府圖書目錄 昭11	—	705.1—62

【7 文 化】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
○			
奉天圖書館	文朔閣四庫全書要略 大同2	編 所	705—P1.
滿鐵調査課	滿鐵調査課刊行書目 昭6	—	705—P3.
田 口 達	明治初中葉ノ滿洲文獻 昭10	大連圖書館	705—P4.
滿鐵哈爾濱圖書部	北鐵關係雜誌記事索引 昭9	編 所	705—P5.
三菱經濟研究所	雜誌商報新聞目錄 昭7	—	705—P6.
日比谷圖書館	原著譯書對照圖書目錄 昭6	—	705—P7.
【705.3 新聞】			
東亞經濟調査局	支那に於ける新聞發達小史 (經濟資料第13の3附録) 昭3	編 所	705.3— 1
千 原 卓 雄	新聞語辭典 昭12	栗 田 野 院	705.3— 2
後 尾 松 治	新聞學概論 昭5	廣 松 堂	705.3— 3
新聞研究所	日本新聞年鑑 昭13	編 所	705.3— 4
日本新聞協會	日本新聞協會二十年史 昭7	—	705.3— 5
(民) 船 敏 恒	外人在華的新聞事業 民21	中國太平洋學會	705.3— 6.
(民) 實 天 朗	中國新聞事業 3版 民21	現 代 書 局	705.3— 7
藤 村 亨 一	新聞法制論 昭9	日 本 評 論 社	705.3— 8
明治文化研究會	幕末明治新聞全集 5册 昭9	大 誠 堂	705.3— 9
【 706 宣傳並宣傳機關】			
中央宣傳小委員會	宣傳主任者會議錄 昭3	編 所	706— 1
神 田 幸 一	思想戰と宣傳 昭12	機 器 店	706— 2
大 塚 令 三	滿洲に於ける言論機關の現勢 大正15	編 所	706— 3.
高 塚 菊 二 郎	國家宣傳とジアナリズム統制 昭12	野 田 書 房	706— 4
小 山 栗 三	宣傳技術論 昭12	高 橋 書 院	706— 5.
【 707 各國研究並批判】			
塚 本 義 隆	ドイツ通信 昭7	新聞聯合社	707— 1
支 那 學 社	支 那 學 8册 大正15-昭11	弘 文 堂	707— 3
羽 田 亨	支那學論叢 大正15	—	707— 4
石 田 幹 之 助	歐人の支那研究 (現代史學大系第8) 昭7	共 立 社	707— 5

〔7 文 化〕

種・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
太平洋研究會編輯	日本研究叢書 昭10 第1輯 日本の經濟 (譯、エル・ジマン) 第2輯 日本の歴史 (譯、コンラード等) 第3輯 日本の政治 (譯、ニューキル等)	叢 文 閣	707— 6
兒 玉 瑞 一	米國新聞記者ノ見タ日本ト滿洲 昭10	日本新聞協會	707— 7
山 口 廣 一	支那研究論稿 昭11	青 年 書 局	707— 8
新月基金支那研究會	支 那 研 究 昭5	岩 波 書 局	707— 9
文 部 省	國體の本義 昭12	編 所	707— 10
安 藤 英 夫	ソ聯の日本研究 昭12	高 山 書 院	707— 11
堀 伏 高 信	大英帝國主義批判 昭12	千 倉 書 房	707— 12
村 上 知 行	支那及び支那人 昭12	中 央 公 論 社	707— 13
日本電報通信社	伊 太 利 亞 昭12	編 所	707— 14
編 校 文 夫	現代支那の根本問題 昭12	叢 文 閣	707— 15

〔710 教 育 一 般〕

民生部教育司	學校令及學校規程 康4	編 所	710.1— 1
○			
文部省專門學務局	高等諸學校ニ關スル法令 昭6	編 所	710.1— P1
○			
同 文 館	教育大辭典 3册 大正7	編 所	710.2— 1
○			
國民政府教育部	第一次中國教育年鑑 民23	開 明 書 店	710.4— 1
東省特別區教育廳	東省特別區十九年度教育年鑑 民20	編 所	710.4— 2
文 部 省 文 書 課	日本帝國文部省年報 28册 大正15—昭18	—	710.4— 3
臺灣總督府	臺灣學事一覽 昭8	—	710.4— 4
昌圖職業中學校	昌圖農科初級中學校一覽 昭2	—	710.4— 5
東京市統計課	東京市學事統計年報 昭9	—	710.4— 6
文 教 部	滿洲帝國文教部年鑑 4册 康1-5	—	710.4— 10
臺灣總督府	臺灣總督府學事年報 昭8	—	710.4— 11

【7 文 化】

編・著者名	書名	發行所	整理番號
朝鮮總督府	朝鮮諸學校一覽 昭10	編 所	710.4—12
○			
奉天省公署	奉天省教育統計表 大同3	編 所	710.5—1
	教育統計圖表 光緒33-34	—	710.5—2
民國教育部文書課	中華民國教育統計圖表 民2-3	—	710.5—3
民政部文教司	最近奉天省教育統計表 大同1	—	710.5—4
滿鐵學務課	學事統計表 昭10	—	710.5—5
文教部總務司	文教部報告例 康3	—	710.5—6
大阪府總務部	大阪府學事統計速報 昭11	—	710.5—7
文教部學務司	全國學校統計 康3	—	710.5—8
日本學術振興會	全國試驗研究調查機關要覽 昭10	—	710.5—9
文 教 部	學 事 統 計 康3	—	710.5—10
民 生 部	學校教育統計 康5	—	710.5—12
○			
文 部 省 文 書 課	文教統計摘要 昭4	編 所	710.5—P1
○			
東 北 學 院	東北學院一覽 2册 昭10.11	編 所	710.8—1
文部省專門學務局	高等諸學校一覽 昭6.12	—	710.8—2
鹿兒島高等農林學校	鹿兒島高等農林學校一覽 昭9.11	—	710.8—3
文部省實業學務局	實業學校一覽 昭6	—	710.8—4
東京外國語學校	東京外國語學校一覽 昭10	—	710.8—5
京城醫學專門學校	京城醫學專門學校一覽 昭8	—	710.8—6
關 西 學 院	關西學院一覽 昭12	—	710.8—7
大阪外國語學校	大阪外國語學校一覽 昭12	—	710.8—8
北海道帝國大學	北海道帝國大學一覽 2册 昭9.12	—	710.8—9
和歌山高等商業學校	和歌山高等商業學校一覽 昭10.11	—	710.8—10
大東文化學院	大東文化學院要覽 昭11	—	710.8—11
京都帝國大學	京都帝國大學一覽 昭11.12	—	710.8—12

[文 化]

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
大阪帝國大學	大阪帝國大學一覽 2冊 昭12.13	編 所	710.8—13
臺北高等商業學校	臺北高等商業學校一覽 昭11	—	710.8—14
學 習 院	學 習 院 一 覽 昭10	—	710.8—15
東京高等商船學校	東京高等商船學校一覽 2冊 昭11.13	—	710.8—16
長崎高等商業學校	長崎高等商業學校一覽 2冊 昭12.13	—	710.8—17
松本高等學校	松本高等學校一覽 昭13	—	710.8—18
九州帝國大學	九州帝國大學一覽 2冊 昭12.13	—	710.8—19
松山高等商業學校	松山高等商業學校一覽 昭12	—	710.8—20
東京工業大學	東京工業大學一覽 2冊 昭12.13	—	710.8—21
臺北大學專門部	臺北大學附屬農林專門部一覽 昭13	—	710.8—22
東北帝國大學	東北帝國大學一覽 昭13	—	710.8—23
京都帝國大學	京都帝國大學卒業生名簿 昭11	—	710.8—24
京城法學專門學校	京城法學專門學校一覽 昭13	—	710.8—25
○			
東京市政調查會	都市教育ノ研究 大正15	編 所	710.9—1
哈爾濱市教育會	哈 市 教 育 昭5	—	710.9—2
文部省專門學務局	高等學校卒業者ノ大學入學ニ關スル調 昭7	—	710.9—3
吉林省教育會	吉林省教育概要 庚4	—	710.9—4
吉林省公署	吉林省各縣學田狀況 庚1	—	710.9—5
奉天省公署	奉天省各縣教育視察報告書 大正8	—	710.9—6
(英) フラウザー著 段 巴 經 世 譯	サツエートロシアに於ける産業と教育 昭7	大 同 醫 院	710.9—7
新京特別市公署	新京特別市文教概況 庚1	編 所	710.9—8
鳥取農學會	鳥取農學會報 昭10	—	710.9—9
熱河省教育會	[熱河省]教育概覽 庚4	—	710.9—10
(民) 匯 紹 編	鄉村教育概論	大 東 醫 局	710.9—11
文 教 部	在滿朝鮮人教育調查表 庚3	編 所	710.9—12
雙城教育會	地方教育狀況調查報告書 庚2-4	—	710.9—13
—	雙 城 教 育 庚4	—	710.9—14

【 7 文 化】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
民 生 部	滿洲帝國學事要覽 康2.4	編 所	710.9—15
鳥取高等農林學校	鳥取高等農業學校學術報告 昭10.11	—	710.9—16
○			
文 部 省 文 書 課	本邦教育の概況 大正14	帝 國 地 方 行 政 學 會	710.9—P1
自 治 指 導 部	奉天省中心教育調査 大同1	編 所	710.9—P2
西 豐 縣 公 署	西豐縣學事要覽 康4	—	710.9—P3
臺 灣 總 督 府	文教の施設 昭7	—	710.9—P5
滿 鐵 學 務 課	滿鐵教育施設一覽表 昭7	—	710.9—P6
文 教 部	普及建國精神之教育資料 3冊 大同1-3	—	710.9—P7
—	教育廳長會議記錄 第1回 大同1	—	710.9—P8
滿 鐵 學 務 課	教育施設要覽 昭10	—	710.9—P9
【 711 教 育 學】			
(民) 羅 志 傑	教育統計學綱要 民20	文 化 學 社	711—1
入 澤 宗 野	現代ノ教育哲學 昭4	日 原 書 店	711—2
(民) 胡 毅	教育統計學初步 民22	大 東 書 局	711—3
【 712 教 育 史】			
(民) 羅 東 原	中國古代教育 民20	商 務 印 書 館	712—1
(民) 王 一 鵬	中國古代教育思潮 民23	—	712—2
【 713 教 育 政 策】			
帝 國 教 育 會	學制改革案 昭8	編 所	713—1
東 京 市 政 調 査 會	米國ノ都市教育組織 大正14	—	713—2
高 田 保 爾 小 笠 原 豊 光	教 育 行 政 昭9 (自治行政叢書第14)	常 盤 書 房	713—3
(民) 唐 文 粹	教學做合一之系統研究 民23	世 界 書 店	713—4
(民) 辛 會 經	地方教育行政 1933	碧 明 書 局	713—5
(民) 顧 序 登	中國學制史 民23	世 界 書 局	713—6
(民) 吳 麗 泉	生產教育之理論與實施 民22	百 城 書 局	713—7
朝 鮮 總 督 府	農山漁村に於ける中堅人物養成施設の概要 昭11	編 所	713—8
(編) シュプランガー 小 塚 新一 郎 譯	現代文化と國民教育 昭13	岩 波 書 店	713—9

【 文 化 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
田中耕太郎	教養と文化の基礎 昭13	岩波書店	713—10
熊平源藏	國勢の伸展と學校増設 昭13	華陽堂	713—11
○			
文部省普通學務局	兒童就學獎勵概況 昭6	編 所	713—P1
—	地方教育財政一斑 昭6	—	713—P2
—	地方學校職員待遇調査 昭6	—	713—P3
奉天省教育會	奉天省教育會章程 民13	—	713—P4
【 714 學 校 教 育 】			
文部省社會教育局	青年訓練資料 昭6	編 所	714—1
山東鄉村建設研究院	鄉農學校專號	—	714—2
文部省普通學務局	師範學校=關スル調査 昭6	—	714—3
—	全國高等女學校實科高等女學校=關スル諸調査 昭6	—	714—4
—	全國公立私立中學校=關スル諸調査 昭6	—	714—5
東京市政調査會	自治及修身教育批判 大正13	—	714—7
—	東京市ノ實業補習教育 昭3	—	714—8
文部省普通學務局	全國公立中學校高等女學校經費=關スル調査 昭7	—	714—9
(民)金 鼎 一	鄉村小學實際問題 2版 民23	黎明書局	714—10
(民)郭 人 全	鄉村小學行政 民23	—	714—11
西山 哲 治	小學校改善の實際的研究 大正8	開 發 社	714—13
長崎高等商業學校	長崎高等商業學校三十年史 昭10	編 所	714—14
○			
文部省社會教育局	實業補習學校=關スル諸調査 昭7	編 所	714—P1
—	青年訓練=關スル調査 昭7	—	714—P2
—	實業補習學校調査資料 昭7	—	714—P3
兵庫縣統計課	兵庫縣管内學校幼稚園教員養成所青年訓練所圖書館青年團婦人會一覽 昭6	—	714—P4
文部省社會教育局	青年訓練所關係法規及通牒解說 昭5	社會教育會	714—P5
—	實業補習教育關係法規並實業補習教育概況 昭6	—	714—P6
千葉縣統計課	學校生徒兒童身體檢查統計 昭7	編 所	714—P7

〔7 文 化〕

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
文部省普通學務局	兵役施行令第百條第三號ノ規定ニ依ル認定各種學校ニ關スル調査 昭6	編 所	714—P8
文部省體育課	全國學校看護婦に關する調査 昭6	—	714—P9
—	府縣別地方別公私立小學校中學校高等女學校生徒兒童身體檢查統計 昭6	—	714—P10
文部省統計課	全國學校診療施設ニ關スル調査 昭7	—	714—P11
文部省普通學務局	全國盲學校及聾啞學校ニ關スル調査 昭6	—	714—P12
文部省實業學務局	實業專門學校等入學志願者入學者ニ關スル調査 昭7	—	714—P13
文部省專門學務局	高等學校高等科入學者選拔ニ關スル調査 昭6	—	714—P14
—	高等諸學校統計 昭6	—	714—P15
文部省實業學務局	公立私立實業學校經費ニ關スル諸調査 昭7	—	714—P16
文部省普通學務局	全國私立中學校高等女學校實科高等女學校經費ニ關スル調査 昭6	—	714—P17
文部省統計課	學生生徒兒童身長體重胸圍平均累年比較 自明治30年至昭和11年 昭6	—	714—P18
吉林省公報	吉林省立學校校長會議錄 大同3	—	714—P19
日本經濟	全國實業專門學校長招待茶會ニ於ケル演說 昭11	—	714—P20
民生部教育司	滿洲帝國學校教育概要 廣4	—	714—P21
〔715 留 學 生〕			
駐日滿洲國大使館	滿洲國留日學生錄 昭13	編 所	715— 1
○			
文部省專門學務局	文部省在外研究員表 昭7	編 所	715—P1
〔716 社 會 教 育〕			
文部省社會教育司	成人教育母の講座勞務者教育實施概要 昭7	編 所	716— 1
—	映畫番組に關する調査 昭6	—	716— 2
—	壯丁教育調査概要 昭6	—	716— 3
東京市政調査會	公民教育研究 昭3	—	716— 4
(民) 甘 豫 源	鄉村民衆教育 民23	商務印書館	716— 5
(民) 孟 憲 成	民衆教育 民22	世界書局	716— 6
文部省禮教司	禮教資料彙輯 大同2	編 所	715— 7
關東廳內務局	關東廳社會教育要覽 昭8	—	716— 8
(民) 湯 紹 愷	圖書館學 3册 民22	商務印書館	716— 9

[7 文 化]

編・著者名	書名	發行所	整理番號
(民) 馬宗榮	現代圖書館序說 良17	商務印書館	716—11
	○		
文部省社會教育局	教育的觀覽施設一覽 昭6	編 所	716—P1
—	圖書館一覽 昭6	—	716—P2
文部省普通學務局	文部省推薦認定レコード目錄 第1-3輯 大正14-15	—	716—P3
—	文部省推薦映畫目錄 昭3	—	716—P4
文部省社會教育局	男女青年團體ニ關スル調査 昭6	—	716—P5
—	文部省表彰男女青年團名稱 昭6	—	716—P6
文 部 省	教育映畫研究資料 第15.7輯 4册 昭3-7	—	716—P7
滿洲國童子團	滿洲國童子團奉天省地方聯盟狀況 大同3	—	716—P8
—	第一屆滿洲國童子團指導者實修所記錄 大同2	—	716—P9
三島京道	日滿健兒工作 昭9	夏 學 社	716—P10
浙江省教育廳	鄉土教材參考資料 康3	編 所	716—P11
奉天圖書館	國立奉天圖書館概況 康1	—	716—P12

[718 教 科 書]

文 教 部	初級小學校用教科書 康3	編 所	718—1
	修 身 (1-4) 國 文 (1-7)		
	日 本 語 (1-2) 算 術 (1-4)		
	自 然 (1-4)		
—	高級小學校用教科書 康2	—	718—3
	修 身 (1-2) 論 語 (1-2)		
	孝 經 國 文 (1-3)		
	日 本 語 (1-2) 算 術 (1-2)		
	本國地理 世界地理		
	國 史 日 本 史		
	東 亞 史 自 然 (1-2)		
—	初級中學校用教科書 康2	—	718—4
	修 身 (1-3) 經 學 (1-3)		

〔7 文 化〕

編・著者名	書 名	編 行 所	整理番號
	大學中庸 孟子 (1-3)		
	國 文 (1-6) 日 本 語 (1-3)		
	英 語 (1-3) 日 本 地 理		
	世界地理 地 理 通 論		
	國 史 日 本 史		
	西 洋 史 生 物		
○			
文 教 部	初級小學校教科書教授書 康2	編 所	718.1— 1
	日 本 語 自 然 (1-2)		
	算 術 (1-2) 修 身		
奉天省教育廳	自然學習書 康1	—	718.1— 2
○			
〔720 體 育 一 般〕			
中華全國體協	最新各項運動規則 民23	教 育 書 店	720— 1
○			
滿 鐵 衛 生 課	日支學童ノ發育調査並二三ノ疾病調査成績 大正10	編 所	720.9— P1
文 部 省 體 育 課	全國體育デ-實施狀況調 昭5	—	720.9— P2
關東廳體育研究所	日滿生徒體力ニ關スル調査 昭8	—	720.9— P3
文 教 部	滿洲國體育聯絡會議記錄 第一回 大同2	—	720.9— P4
○			
〔722 運 動 並 競 技〕			
滿洲日日新聞社	滿洲運動年鑑 昭11	編 所	722— P1
瀋江省教育會	建國競技集 康1	—	722— P2
○			
文 部 省 體 育 課	本邦に於ける體育運動團體に關する調査 昭7	編 所	723— 1
○			
〔730 宗 教 一 般〕			
松 尾 爲 作	南滿洲ニ於ケル宗教概観 昭6	數化事業財團	730— 1
稻 村 盛 一	宗教改革と日本農民戰爭 昭12	改 造 社	730— 2
友 松 圓 諦	宗 教 讀 本 昭11	日 本 評 論 社	730— 3
○			
文 政 部	祀 孔 錄 大同2	編 所	730— P1

【 支 化】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
農生部社會司	滿洲宗教概要 庚5	編 所	730—1'3
	○		
帝國地方行政學會	現行神社法令類纂 昭11	編 所	730.1— 1
	○		
山 川 勲 市	神 祇 辭 典 昭7	平 凡 社	730.2— 1
下 中 興 三 郎	神 道 大 辭 典 昭13	—	730.3— 2
	○		
朝鮮總督府	朝鮮の鬼神民間信仰第一部 (調査資料第25) 昭4	編 所	730.9— 1
—	朝鮮の宗教及信仰 昭10	—	730.9— 3
—	朝鮮の類似宗教 (調査資料第42) 昭10	—	730.9— 3
—	朝鮮の占卦と豫言 (調査資料第37) 昭9	—	730.9— 4
—	朝鮮の巫覡民間信仰第三部 (調査資料第36) 昭7	—	730.9— 5
—	朝鮮の風水民間信仰第二部 (調査資料第31) 昭6	—	730.9— 6
靖國神社臨時大祭 委 員 會	靖國神社臨時大祭記念寫真帖 昭12	—	730.9— 7
濱江省教育廳	文廟祀典輯要 庚4	—	730.9— 8
	【 731 神 道 宗 教 學】		
河 野 省 三	神 道 の 研 究 昭11	森 江 書 店	731— 1
	【 733 宗 教 政 策】		
兒 玉 九 一 有 光 次 郎	神社行政、宗教行政 (自治行政叢書) 昭9	常 盤 書 房	733— 1
新 田 邦 達	宗教行政法要論 昭8	敬 文 堂	733— 2
	【 734 佛 教】		
矢 島 支 亮	支那佛道年譜 昭12	森 江 書 店	734— 1
	○		
佛教青年聯盟	汎太平洋佛教青年會大會準備經過概要 第2回 昭9	編 所	734— P1
	【 736 回 教】		
(民) 劉 一 雲	天方至聖實錄 2册 民13	—	736— 1
—	天 方 典 理 民13	中 華 書 局	736— 2
太 宰 松 三 郎	支那回教徒の研究 大正13	萬 葉 調 査 課	736— 3

【7 文 化】

編・著者名	書名	年	發行所	整理番號
外務省調査部	回教事情 昭13		改造社	736—4
【737 喇 嘛 教】				
石川嘉三郎	西藏蒙古秘密喇嘛教大觀 大正8		日蓮出版協會	737—1
蒙政部調査課	喇嘛廟及喇嘛教 昭3		編 所	737—2
○				
(佛) シヤパンヌ (民) 湯永鈞譯	摩尼教流行中國考 民22		商務印書館	738—1
天理教委員會	天理教綱要 昭7		天理教道友社	738—2
【740 哲 學】				
(露) イシチエニコ 廣島定吉譯	唯物論辭典 昭12		白 鶴 社	740.1—1
○				
三 木 清	現代哲學辭典 昭11		日本評論社	740.2—1
岩波書店	岩波哲學辭典 昭10		編 所	740.2—2
【741 東 洋 哲 學】				
(民) 陳 清 泉	諸子百家考 民21		商務印書館	741—1
(民) 江 永 註	近思錄集註 民22		—	741—2
(民) 周 子 同	經學歷史 民18		—	741—3
(民) 陳 彬 獻	經傳釋詞 民16		—	741—4
商務印書館	十三經 3册		—	741—5
馬場春吉	孔子聖蹟志 昭9		—	741—6
世界書局	四部精華 民23		編 所	741—7
關 文 侯	通志堂經解提要 4卷 2册 廣1		右 文 閣	741—8
(民) 賈 暉	論衡校釋 4册 民27		商務印書館	741—10
○				
渡邊秀方	支那哲學史概論 昭5		早大出版部	741.1—1
(民) 湯友綱	中國哲學史 2册 民31.25		商務印書館	741.1—2
宇野哲人	支那哲學史講話 昭12		大 同 館	741.1—3
○				
伊藤千鶴三	日本精神史論 昭12		進 教 社	741.2—1

編・著者名	書 名	行	發 行 所	整理番號
○				
天野 眞知	道理の感覺	昭12	岩波書店	743— 1
〔744 倫 理 學〕				
文 教 部	節孝褒獎錄	3册 大同2 康2.5	編 所	744— 1
—	御極大典褒揚節孝敬老合錄	康1	—	744— 2
賀川 豐彦	日本道德統計要覽	昭9	改 造 社	744— 3
佐 藤 象 助	日本孝子傳	昭9	孝子傳編纂所	744— 4
北小路 資武	明治孝節錄	4册 昭11	日本精神復興會	744— 5
三浦 源 作	東洋倫理學史	昭11	中興館書店	744— 7
朴 榮 誌	朝鮮同胞ニ對スル教訓	昭10	綴 著	744— 8
須地 悦太郎	滿洲國々民道德概論	昭13	拓 文 堂	744— 9
杉 浦 重 輝	倫理御進講草案	昭13	本 書 刊 行 會	744— 10
○				
文 教 部 禮 教 司	通 禮	康1	編 所	744— P1
〔745 心 理 學〕				
小野島 右左衛門	人間理解の根本問題	昭12	登 文 館	745— 1
〔746 思 想 論〕				
橋 本 鐘 元	兩宋思想述評	民22	商務印書館	746— 1
橋 本 鐘 元	支那思想研究	昭11	日本評論社	746— 2
三 枝 博 普	日本の思想文化	昭13	第 一 書 房	746— 3
淺 野 晃	東洋の理想	昭13	創 元 社	746— 4
佐藤 義 亮	日本國民思想讀本	昭13	新 潮 社	746— 5
(民) 佐 光 昭 輝	十九世紀歐洲思想史	2册 民16	商務印書館	746— 6
高橋 順 次郎	アジア民族の中心思想	昭13	大藏出版會社	746— 7
〔750 文 學・語 學〕				
橋 川 時 雄	滿洲文學興廢考	昭7	文字同盟社	750— 1
(民) 方 光 源	翻譯實習指導書	民10	世界書局	750— 2
橋 本 鐘 元	滿洲、支那、朝鮮	昭9	大 阪 屋 號	750— 3

【7 文 化】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
(民) 唐 荃 淵	大字本 寫信必讀 民4	大成書局	750—4
(民) 吳 巖 曾	開選 民用 普通新尺牘 民13	光 學 社	750—5
(民) 周 耀 弟	新註 分類尺牘大成 民6	陽 夏 齋 書 局	750—6
(民) 胡 懷 琛	標點符號使用法 4版 民21	世 界 書 局	750—7
金 九 經	滿洲語と漢語を混用したる歌本「吃螃蟹」	奉天圖書館	750—8
華 勉	官話指南談論新編應用問題並解答 昭6	大 阪 屋 號	750—9
國民文庫刊行會	國譯漢文大成 大正13—昭12	編 所	750—10

經子史部

- 第 1 卷 四書、孝經
- 第 2 卷 易經、書經
- 第 3 卷 詩 經
- 第 4 卷 禮 記
- 第 5-6 卷 春秋左傳
- 第 7 卷 老子、莊子、列子
- 第 8 卷 荀子、墨子
- 第 9 卷 韓非子、商子
- 第 10 卷 七書、鬼谷子、新語
- 第 11 卷 淮 南 子
- 第 12 卷 戰 國 策
- 第 13-16 卷 史 記
- 第 17 卷 國 語
- 第 18 卷 晏子、賈誼新書、公孫龍子
- 第 19 卷 管 子
- 第 20 卷 呂氏春秋

文 學 部

- 第 1 卷 楚 辭
- 第 2-4 卷 文 選
- 第 5 卷 唐 詩 選
- 第 6 卷 三 體 詩
- 第 7-8 卷 唐宋八家文

編者名 書名 發行所 整理番號

- 第 9 卷 西廂記、琵琶記
- 第 10 卷 還魂記、漢宮秋
- 第 11 卷 桃花扇
- 第 12 卷 晉唐小說
- 第 13 卷 剪燈新語、剪燈餘話、宣和遺事
- 第14-16卷 紅樓夢
- 第 17 卷 長生殿、燕子箋
- 第18-20卷 水滸傳

國民文庫刊行會 橫國譯漢文大成 昭11-13 編 所 750—11

經子史部

- 第 1-16卷 國譯資治通鑑
- 第17-18卷 資治通鑑日錄
- 第19-20卷 國譯廿二史劄記
- 第 21 卷 宋名臣言行錄
- 第 22 卷 國語貞觀政要
- 第23-24卷 國譯續通鑑論

文學部

- 第 1-3 卷 李太白詩集
- 第 4-7 卷 杜少陵詩集
- 第 8-9 卷 韓退之詩集
- 第10-13卷 白樂天詩集
- 第14-19卷 蘇東坡詩集
- 第20-23卷 高青邱詩集
- 第 24 卷 陶淵明集、王右丞集

李 仲 剛	現代華語讀本 昭7	大阪 隆 號	750—13
保 岡 孝 一	國 語 政 策 昭11	刀 江 書 院	750—13
安 藤 正 次 等	國 語 史 4册 昭11	—	750—14
飯 河 廣 雄	官話指南自修書 大正15	大 阪 隆 號	750—15
門 馬 常 次	文 語 東女漢譯軌範 光緒32	東 亞 公 司	750—16
山 田 孝 雄	敬語法の研究 大正13	寶 文 館	750—17

【7 文 化】

編・著者名	題 名	刊 行 所	整理番號
岡倉山三郎	應用言語學十回講話 明12	栢文社	750—18
市河保三 存稿	言 語 その本質發達及起源 昭3	岩波書店	750—19
中谷 武二	現代華語讀本詳解 昭6	大阪屋號	750—20
池廣 彌十郎	蒙古語作文基礎 康5	蒙古會館	750—21
山田 孝雄	假名遣の歴史 昭7	寶文館	750—22
小林 好日	日本文法史 昭11	刀江書院	750—23
村松 早苗	實用通信文精義 昭13	同文館	750—24
日語研究社	漢語註 日文尺牘大全 昭10	東京日報社	750—25
【750.1 辭 典】			
東川 德治	典 海 昭8	法政大學	750.1—1
服部 宇之吉	詳解 漢和大辭典 昭7	富山房	750.1—2
藤井 乙男	諺語大辭典 昭5	有朋堂	750.1—3
商務印書館	辭 源 3冊 民19	編 所	750.1—4
金澤 庄三郎	廣 辭 林 昭8	三省堂	750.1—5
(民) 朱 起鳳	辭 通 民20	開明書店	750.1—6
(民) 李炳衡等	韵 典 民23	北平民社	750.1—7
(清) 張玉體等	康熙辭典 康熙55	商務印書館	750.1—8
新村 出	辭 苑 昭10	博文館	750.1—9
群 成 社	大 字 典 100版 昭7	編 所	750.1—10
岡野 道明	字 源 147版 昭8	字源刊行會	750.1—11
朝鮮總督府	朝鮮語辭典 大正9	大和商會	750.1—12
下中 彌三郎	大 辭 典 20冊 昭9	平凡社	750.1—13
大 槻 文 彦	大 言 海 4冊 昭10-11	富山房	750.1—14
栗田 書店	隱語辭典 昭12	編 所	750.1—15
【750.2 華 語 辭 典】			
井 上 翠	支那語辭典 7版 昭7	文 求 堂	750.2—1
—	日華新辭典 昭6	—	750.2—2
宮 島 吉 誠助	支那語辭典 昭7	尙 文 堂	750.2—3

〔 1 文 化 〕

著者名	書名	冊数	発行年	発行所	整理番號
石山 福治	新支那大辭典	3册	昭9	文求堂	750.3—4
—	支那語大辭典		昭10	第一書房	750.3—5
飯田 久一郎	日華大辭典		昭13	未刊圖書刊行會	750.3—6
(民) 何若等	日華辭典		民23	右文閣	750.3—7
金武 兼欣 壽三	日華辭典	3版	昭5	文求堂	750.3—8
田中 清之助	注對華語辭典	4版	昭9	大阪屋號	750.3—9
〔750.3 蒙古語辭典〕					
(蒙) 赫穆精阿等	蒙和辭典		昭12	甲文堂	750.3—1
薩 軍 省	蒙古語大辭典	3册	昭11	雄行社	750.3—2
〔750.4 露語辭典〕					
島 野 三 郎	露和辭典		昭3	東亞經濟調査局	750.4—1
長 田 衛	露和大辭典		昭8	東京堂	750.4—2
渡邊 三武 郎夫	露和辭典		昭9	改進社	750.4—3
水谷 健行	露語熟語辭典		昭10	橋書店	750.4—4
(露) ボ、ボボロー	俄漢合璧增補字彙		1900	三共社	750.4—5
東亞經濟調査局	露和大辭典		昭8	白水社	750.4—6
入 杉 貞 利	露和辭典		昭10	岩波書店	750.4—7
鈴木 於菟平等	露和大辭典	2版	昭7	大倉書店	750.4—8
佐 藤 通 男	ソウエート略語辭典		昭8	白水社	750.4—9
外 村 史 郎	ロシア語辭典		昭8	巖塔書院	750.4—10
〔750.5 英語辭典〕					
三 省 堂	英和大辭典	120版	昭6	三省堂	750.5—1
岡 倉 山 三 郎	新英和大辭典	30版	昭10	研究社	750.5—2
(民) 實士復、江崎	英漢大辭典	2册	民23	商務印書館	750.5—3
三 省 堂	新コンサイス英和辭典	10版	昭9	三省堂	750.5—4
(民) 李 玉 汶	漢英新辭典		民23	商務印書館	750.5—5
市 川 三 吾 等	大英和辭典	72版	昭8	富山房	750.5—6
(民) 關 惠 隆 等	英華大辭典		民24	商務印書館	750.5—7

[7 文 化]

編・著者名	書名	発行所	整理番号
(民) 李登輝等	雙解英漢字典 民24	商務印書館	750.5—8
(民) 郭世文編	不換章氏大學字典 民12	—	750.5—9
瀧澤秀三郎	英和中辭典 昭11	岩波書店	750.5—10
武信由太郎	新和英大辭典 21版 昭8	研 究 社	750.5—11
竹原常太	スタンダード英和辭典 昭12	大 修 館	750.5—12
[750.6 佛 語 辭 典]			
山本直文等	雙解佛和大辭典 29版 昭7	白 水 社	750.6—1
九山順太郎	和佛辭典 19版 昭9	—	750.6—2
[750.7 獨 逸 語 辭 典]			
片山正雄	雙解獨和大辭典 9版 昭6	南 江 堂	750.7—1
登張信一郎	大獨日辭典 昭8	大 倉 書 店	750.7—2
柳田保之助	最新獨和辭典 67版 昭7	有 朋 堂	750.7—3
(獨) ウォールフムト 小田切良太郎	新註釋和獨辭典 42版 昭9	富 山 房	750.7—4
(民) 關 侃	德華大字典 民22	商務印書館	750.7—5
澤江 要 一 定	和獨辭典 昭10	南 山 堂	750.7—6
[760 美 術 音 樂]			
奉天圖書館	遼陵石刻集錄 2册	編 所	760—1
久保田圭右	製圖者必携 10版 昭7	九 審	760—2
瀧 沼 三 郎	訪日宣詔記念美術展覽會圖錄 第一回 展4	滿洲國通信社	760—3
靖國神社臨時大祭會 委 員	靖國神社臨時大祭紀念寫真帖 昭9	編 所	760—4
學徒連誼會	滿洲踏査記念寫真帖 昭9-10	—	760—5
東海通信社	大日本外地寫真帖 昭8	—	760—6
滿洲國通信社	修聘特使訪日記念寫真册 展1	—	760—7
國府田鏡造	工今工藝圖彙 3册 昭12	昭 文 社	760—9
○			
金澤商會	加賀の刺繍 昭10	編 所	760—P1
[770 演 劇 映 畫]			
(民) 趙長深	宋元戲文本事 民23	北新書局	770—1

【7 文 化】

編者名	書名	發行所	整理番號
高野幸雄	學校と活動寫真 大正13	内外出版社	770—2
長井翠聖	映畫音樂全般 昭6	學編堂	770—3
(民) 渡野清志	戲學彙考 2册 民23	大東書局	770—5
(民) 森基昭	獨幕劇 A B C 民17	世界書局	770—6
【780 遊藝 娛樂】			
文部省社會教育局	興行映畫調查 昭6	編 所	780—P1
文教部禮教司	全國鄉土娛樂狀況彙編 昭3	—	780—P2



【 8 醫 學 理 學 】

編・著者名 冊 名 發 行 所 整理番號

8 醫 事・衛 生・理 學

【 81 醫 事 】

台 北 醫 院	台北醫院年報 第35回 昭7	編 所	810— 1
(民) 謝 龜	中國醫學大辭典 2冊	商務印書館	810— 2
古 屋 芳 雄	醫學統計の理論と其應用 昭9	金原商店	810— 3
岡 文 館	醫學大辭書 4冊 明治43-45	編 所	810— 4
民國編譯館	發生學名詞 民20	商務印書館	810— 5

【 82 衛 生・保 健 】

台 灣 總 督 府	台灣衛生要覽 昭7	編 所	820— 1
滿 鐵 衛 生 課	滿鐵附屬地衛生概況 5冊 大正12-昭5	—	820— 2
內 務 省 衛 生 局	衛生局年報 昭6	—	820— 3
民 國 衛 生 部	中國衛生法規	—	820— 5
民 政 部 衛 生 司	滿洲帝國衛生法規	—	820— 6
—	民政部衛生例規輯覽 康3	—	820— 7
日 本 學 術 振 興 會	國民保健ニ關スル統計資料 昭12	—	820— 8
熊 谷 憲 一	健康保險法精義 昭12	廣 松 堂	820— 9
民 生 部 保 健 司	衛生法規類纂 康5	滿洲行政學會	820— 10

○

朝 鮮 總 督 府	朝鮮遞信部內職員及傭人衛生統計 昭7-10	編 所	820— P2
遞 信 省 保 健 課	遞信部內職員衛生統計 昭7.11	—	820— P3
久 保 田 晴 光	東部內蒙古の概況並に其醫事衛生事情 昭7	滿洲醫科大學	820— P4
帝 國 生 命	健康増進施設の實績 昭5	編 所	820— P5

● 【 830 理 學 一 般 】

(民) 陳 英 才 等	理 化 詞 典 民20	中 華 醫 局	830— 1
東 京 天 文 台	理 化 年 表 3冊 昭7-10	丸 善	830— 2

著者名	書名	発行所	整理番號
岩波書店	理化學辭典 昭10	岩波書店	830—3
(良) 辻其儀等	小學自然科詞書 民23	商務印書館	830—4
石原純	自然科學の世界像 昭13	岩波書店	830—5
【831 數 學】			
野澤正忠	理論計算尺精義 6版 大正14	丸 善	831—1
榮垣和三雄	實踐數學 昭9	—	831—3
谷村豐太郎	計算圖表學 昭4	—	831—4
小倉金之助	圖計算及圖表 6版 昭4	山海堂	831—5
林鳩慶 對一 鶴人 次郎	數學公算論 昭2	大倉書店	831—6
鳩慶鶴人 次郎	最小自乘法講義 昭4	物理學校	831—7
長澤武雄	實踐計算法 昭7	丸 善	831—8
田中增太郎	計算精表 昭6	形式洋書株式	831—9
龜田豐治 朗	確率論及ヒ其ノ應用 昭7	共立社	831—10
八木 誠 政明 小泉 清 一 郎	函數生物學 昭5	裳華房	831—11
渡邊 孫 一 郎	確 率 論 昭2	文政社	831—12
山田 陽 漢	訂正 最小自乘法 昭6	大倉書店	831—13
北村 友 圭	確率及最小自乘法 昭8	高岡本店	831—14
柏木好三郎	四桁の對數尺 昭5	丸 善	831—15
(國) エフ・グイ・ス 西本 慶 吉 (民) 橋 西 孟	がうす五桁の對數表及三角函數表 10版 昭6	三省堂	831—16
坂本文治	指數公式總論 民19	社會調查所	831—17
藤田外次郎等	實務計算表及其使用法 2版 昭4	松邑三松堂	831—18
岡 專 吉	數 學 公 式 24版 昭8	山 福 堂	831—19
中村清二	日本數學概説 昭8	岩波書店	831—20
林榮山 鶴本 一 彌	自然と數理 昭7	古今醫院	831—21
小平吉男	數 の 概 念 昭2	大倉書店	831—22
村林 專 元 助	計算法及び計算器械 昭6	岩波書店	831—23
關谷 本 清 力 吉	實用殊算講義 昭9	大 觀 堂	831—24
	神珍 數學公式要覽 2版 昭9	山 海 堂	831—25

[83 理 學]

編・著者名	書名	年	発行所	整理番號
前田梅松	解説實用利息計算表	昭9	經濟知識社	831—26
太極堂編輯部	數學ハンドブック	昭7	編 所	831—27

[832-833 物理・化學]

竹内 深	高等物理學	昭11	岩波書店	832—1
○				
橋本吉郎	和漢 英、現 化學用語新辭典	昭9	太極堂	832—1
岩永源作	横観無機化學	昭12	培風館	833—2
—	横観有機化學	昭8	—	833—3

[834 天 文 學]

平山清次	曆法及時法	昭8	恒星社	834—1
國立編譯館	天文學名詞	民23	商務印書館	834—2
中央觀象台	時 意 書	大同1-昭和5	編 所	834—3
關東廳觀測所	滿洲氣象報告	昭7-10	—	834—4
滿鐵哈爾濱事務所	北滿洲氣象報告	昭8	—	834—5
滿洲國中央觀象台	滿洲氣象資料	昭和 1905-1909	—	834—6
中國軍事委員會	中國之雨量	民25	中央氣象研究所	834—7
岡田實松	氣 候 學	昭13	岩波書店	834—8
中央觀象台	極東蘇聯氣象實況	第4號 昭和5	編 所	834—9

滿鐵調査課	支那降雨量の研究	昭5	編 所	834—Y1
-------	----------	----	-----	--------

[835 地 文 學]

(民) 杜其堡	地質礦物學大辭典	民19	商務印書館	835—1
滿鐵地質調査所	地質調査所要覽	昭9	編 所	835—2
陸 露 陸 次	滿洲の地質及鑛産	昭9	三省堂	835—3
地質調査所	地 質 彙 報	民19-21	編 所	835—4

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
(民) 孫 健 初	綏遠及察哈爾西南部地質誌 民23	地質調査所	835— 5
廣順工科大專	龍江省五大連池火山地質調查報文 昭11	編 所	835— 6
—	龍江省五大連池火山地形及地質圖 昭11	—	835— 7
滿鐵地質調査所	滿洲西北部の地質及地誌 昭12	—	835— 8
—	地質調査所報告 第89-93 昭12	—	835— 9
—	滿洲北東部の地質及地誌 昭12	—	835— 10
臨時產業調査局	各種資料ヨリ摘録セル滿洲土壤ノ諸性質ニ就テ 康3	—	835— 11
—	土壤型各論並ニ土性 康3	—	835— 12
—	濱江省密山及虎林地方土壤調査書 康3	—	835— 13
滿鐵地質調査所	滿洲北部の地質及地誌 昭12	—	835— 14
關東州廳土木部	關東州に於ける水源調査報告書 昭13	—	835— 15
大 村 一 藏	石油地質學通論 昭9	岩 波 書 店	835— 16
渡 邊 實	地質現象の新解析法 昭13	古 今 醫 院	835— 17

○

滿鐵地質調査所	吉林圖福地質說明書 昭7	編 所	835— P1
---------	--------------	-----	---------

【 836 博 物 學 】

(民) 吳 其 鎰	植物名實圖考 民9	商務印書館	836— 1
川 上 三 郎	和英獨動物學用語新辭典 昭5	太 陽 堂	836— 2
—	和英獨植物學用語新辭典 昭7	—	836— 3
上 田 常 吉	生物統計學 昭10	岩 波 書 店	836— 4
泊 尚 義	關東州昆虫目錄 昭11	南滿中等教育 研 究 會	836— 5
村 田 愷 啓	鮮滿動物通鑑 昭11	昌 白 醫 院	836— 6
荒 川 保 雄	衣虱の研究 昭9	荒川論文刊行會	836— 7
松 島 鑑	滿蒙植物誌 昭3-大正5	滿鐵農務課	836— 8
民國編譯館	細菌學免疫學名詞 民28	商務印書館	836— 9
滿鐵調査課	黑龍州の氣候、土壤、植物研究誌 2册 昭3	大 恒	836— 10
谷 岡 直 秀 岡 田 彌 一 郎	動物學辭典 昭10	岩 波 書 店	836— 11

【 理 學 】

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
早 田 文 藏	植物分類學 昭8	內田老鶴園	836—12
大 賀 一 郎	滿洲植物研究案內 昭8	滿洲教育 專門學校	836—13
村 越 三 千 男	植物辭典 昭13	中文館書店	836—14



編・著者名 書 名 發行所 整理番號

9 地 理 歷 史

【910 地 理 一 般】

【910.2 辭 書】

南 光 社	世界地名大辭典 4册 昭10	編 所	910.2— 1
日 本 外 事 協 會	滿洲地名辭典 昭8	—	910.2— 2
(民) 謝 壽 昌 等	中國古今地名大辭典 民20	—	910.2— 3
(民) 王 珉、茅 乃 文	中國地學論文索引 4册 民23	新 務 印 書 館	910.3— 4
(民) 王 益 隆	地 學 辭 書 民19	北 平 師 範 大 學	910.2— 5
朝 鮮 銀 行 調 查 課	蒙 古 地 名 辭 典 昭11	中 華 書 局	910.2— 6
山 崎 德 興	滿洲國地名大辭典 昭12	滿 洲 國 地 名 大 辭 典 刊 行 會	910.2— 7

【910.3 叢 書】

改 造 社	地理講座 日本篇 昭8—10	編 所	910.3— 1
	第1卷 樺太、北海道		
	第2卷 奧羽、關東		
	第3卷 中部、近畿		
	第4卷 中國、四國、九州		
	第5卷 臺灣、南洋羣島		
	第6卷 朝鮮、關東州		
	第7卷 總論日本篇 昭10		
	地理講座 外國篇 昭8—10		910.3— 2
	第1卷 アジアの概説と滿洲蒙古		
	第2卷 支 那		
	第3卷 南部アジア		
	第4卷 西部及ビ北部アジア		
	第5卷 東部及ビ北部ヨーロッパ		
	第6卷 中部及ビ南部ヨーロッパ		
	第7卷 西部ヨーロッパ		
	第8卷 北アメリカ		



【 地 理 】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
	第9卷 南アメリカ		
	第10卷 アメリカ及び大洋州兩極地方		
滿蒙叢書刊行會	滿蒙叢書 大正8—11	國 所	9103— 3
	第1卷 口北三廳志		
	第2卷 —— 北征錄、伏戎紀事、松亭行紀、塞北小鈔外6種		
	第3卷 盛京通鑑、盛京典制備考		
	第4卷 蒙務公積彙編、庫倫蒙俄卡倫		
	第5卷 龍沙紀略、黑龍江外記、黑龍江述略、卜魁城賦、蒙蒙蜀語		
	第9卷 濟陽日記		
	第17卷 蒙邊碩莪一		
岡井勇雄	滿蒙全集 昭13	滿蒙學校	9103— 4
	第1卷 滿洲篇		
	滿洲建國週原史略 (藤孝行)		
	滿洲國歷史講座 (岡田純太郎)		
	滿蒙地理講座 (遠藤壽俊)		
	地圖の讀方 (山内三吾)		
	滿洲國交通講座 (加藤兼三郎)		
	第2卷 滿洲篇		
	滿洲農業講座 (神田勝友)		
	滿蒙の家畜及畜産講座 (澤田壯吉)		
	滿蒙林業講座 (庄田作輔)		
	第3卷 滿洲篇		
	滿洲國商業講座 (井田正壽)		
	—— 工業講座 (洞見健三)		
	—— 礦産講座 (村上敏藏)		
	滿蒙水産講座 (齋藤正之)		
	第4卷 滿支篇		
	滿洲國國法講座 (山田健輔)		
	—— 軍事講座 (柴山敏四郎)		
	支那事情講座 (多賀万城)		



編・著者名	題 名	時 行 所	整理番號
	支那民情風俗講座 (後藤朝太郎)		
	滿洲の家屋建築 (山内三吾)		
	第5卷 北支篇		
	北支の政治及社會講座 (寺中隆介)		
	北支地理交通講座 (加藤兼三郎)		
	北支財政金融講座 (岡本吉之助)		
	北支資源講座 (五十子宇平)		
	北支の産業貿易と列國の利權講座 (古賀龍平)		
	【910.4 年 鑑】		
國 勢 社	世界地理年鑑 昭10	編 所	910.4—P1
—	日本地理年鑑 昭10	—	910.4—P2
	【910.5 統 計】		
山 本 龍 太 郎	日本地理統計總覽 昭8	古 今 書 院	910.5—1
	【910.9 其 他】		
藤 縣	藤縣鄉土志 光緒33	編 所	910.9—1
津 縣	莘縣鄉土志 宣統1	—	910.9—2
雙 山 縣	雙山鄉土志 宣統13	—	910.9—3
東 木 龍 七	郷土地理野帖 昭8	古 今 書 院	910.9—4
佐々木清治	郷土の地理的研究法 5版 昭8	中 興 館	910.9—5
三 浦 壽 尾	郷土地理の觀方 昭7	古 今 書 院	910.9—6
西 龜 正 夫	郷土地理の調べ方と實例 昭7	厚 生 閣	910.9—7
青 山 定 男	支那歷代地名要覽 昭8	東 方 文 化 學 院	910.9—8
柳 田 隆 男	地名の研究 昭11	古 今 書 院	910.9—9
松 村 榮 馬	滿洲國里程表 康3	大 阿 印 書 館	910.9—10
蒙 政 部 調 査 科	蒙古地名ノ解説 康2	編 所	910.9—11
滿 洲 事 務 案 內 所	滿洲地名考 康5	—	910.9—12
	○		
(民) 于 澤 潤	西域通道地名今釋	考 文 印 書 館	910.9—P1
研 究 社	地 理 概 說 昭4	編 所	910.9—P2

著者名	書名	発行所	整理番號
鐵道總局	滿洲地名索引 昭11	鐵道總局	910.9—P3
【911 地理學】			
(米)グリフィス・ア ーラー 著 重英功 譯	人種地理學、環境と人種 昭6	古今書院	911—1
及川 基之丞	日本人口地理 昭7	厚生閣	911—2
佐藤 弘	世界經濟地理 昭7	千倉書房	911—3
川西 正經	經濟地理學方法論 昭8	時潮社	911—4
綿貫 勇彦	聚落地理學 昭8	中興館	911—5
小川 孫治	人文地理學研究 昭6	古今書院	911—6
西島 正夫	人文地理學講義 2册 昭4—5	—	911—7
内田 寛一	初島の經濟地理に関する研究 昭9	中興館	911—8
—	經濟地域に関する諸問題の研究 昭9	—	911—9
西田 與四郎	世界の政治經濟地理的考察 昭8	古今書院	911—10
田中 憲	經濟地理の教養 昭4	—	911—11
(民)王金 紋	中國經濟地理 2册 民19	文化學社	911—12
香川 幹一	世界經濟地誌 昭7	有文書院	911—13
佐藤 弘等	世界政治經濟地理統計 昭6	共立社	911—14
佐藤 弘	經濟地理學概論 昭7	古今書院	911—15
黒正 顯	日本經濟地理學 第一分册 昭6	岩波書店	911—16
佐々木 重一郎	經濟地理研究 昭6	共立社	911—17
馬場 敏太郎	支那經濟地理誌 2版 昭3	禹城學會	911—18
小川 孫治	支那歴史地理研究 2册 昭4	弘文堂書房	911—19
(米)カールソン 著 河田 喜代助 譯	社會地理學 昭7	古今書院	911—20
桑山 安太郎 島崎 清一	最新産業地理 大正13	弘成會	911—21
佐藤 弘	政治經濟地理學 昭8	古今書院	911—22
川西 久男	ソヴェートロシア經濟地理 昭8	高陽書院	911—23
伊藤 光司	農業地理學 昭8	古今書院	911—24
淡川 廉一	經濟地理通論 昭6	弘文堂	911—25
大園 龜雄	現代産業地理講話 昭8	巖松堂	911—26

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
淡 川 康 一	交通地理學原理 昭8	弘 文 堂	911— 27
藤 田 元 春	世界商業交通地理 昭8	中 文 館	911— 28
菊 田 太 郎	生産立地論 昭8	古 今 醫 院	911— 29
辻 村 太 郎	地 形 學 昭8	—	911— 30
石 堀 五 郎	小川博士遺稿紀念史學地理學論叢 昭8	弘 文 堂	911— 31
小 田 内 通 敏	聚 落 ト 地 理 昭7	古 今 醫 院	911— 32
平 竹 傳 三	ソヴェート聯邦經濟地理 昭9	ナウカ社	911— 33
佐 藤 弘	人文地理六講 昭9	高 橋 醫 院	911— 34
(民) 張 其 時	人 地 學 論 叢 民21	鐘 山 書 局	911— 35
佐 藤 弘	産業地理管見 昭9	古 今 醫 院	911— 36
經濟地理研究會	世界經濟地理 昭9	叢 文 閣	911— 37
(英)セテューコフ著 經濟地理研究會譯	ソヴェートロシア經濟地理 昭9	—	911— 38
岡 本 弘 毅	經濟地理學の方法論 昭9	—	911— 39
佐 藤 弘	世界經濟地理講話 2版 昭10	古 今 醫 院	911— 40
別 枝 篤 彦	人文地理學通論 昭10	地 人 書 館	911— 41
(英)チョーノキ著 今岡十一郎譯	人文地理學ノ基礎知識 昭10	古 今 醫 院	911— 42
(佛)ブラッシュ著 山口貞夫譯	ブラッシュ人文地理學 昭8	—	911— 43
(民) 李 泰 葵	方 志 學 民24	商 務 印 書 館	911— 44
松 文 閣	經濟地理學講座 昭10	編 所	911— 45
	工業經濟地理 (川西正藏)		
	農業經濟地理 (青野四郎)		
	鑛業經濟地理 (西尾 滋)		
	プロツク經濟地理 (森 武夫)		
	經濟地理學文献總攬 (黒正 巖、菊田太郎)		
	畜産經濟地理 (宮坂信朗)		
(編) エム・イ・カザ —ニシ著野田健二譯	支那經濟地理 昭13	白 橋 社	911— 64
平 竹 傳 三	ソ聯戦時經濟地理 昭12	財 政 經 済 時 報 社	911— 47
岩 田 孝 三	國境政治地理 昭13	東 學 社	911— 48

【 8 地 理】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
(譯) コムアカデミ — 編經濟地理學會譯	世界經濟地理 昭11	叢 文 閣	911— 49
野 嶋 謙 太 郎	支那經濟の地理的背景 昭11	東亞同文書院	911— 50
(民) 張 賢 平	地圖學及地圖繪製法 民31	商務印書館	911— 51
宮 田 秀 郎	植 民 地 理 昭13	叢 文 閣	911— 52
堀 江 昌 一	支那經濟地理概論 昭13	日本評論社	911— 51
【 912 地 圖・海 圖】			
香 川 幹 一	略地圖描法 昭5	古今書院	912— 1
渡 邊 萬 次 郎	地圖と地形 昭8	新 光 社	912— 2
加賀谷文治郎	ブロックダイアグラムの描き方 昭6	古今書院	912— 3
小 川 孫 治	最新世界現勢地圖帖 昭8	新 光 社	912— 4
(民) 亞新地學社	河北分縣詳圖 2版 民22	編 所	912— 5
吉林省公署	吉林省行政全圖 民16	—	912— 6
國際學術評論社	大日本地名辭典並交通地圖大鑑 昭7-10	—	912— 7
(民) 沈 恩 綱	中等世界地圖表 民23	鐘 山 書 局	912— 8
(民) 丁文江等	中國分省新圖 3册 民23	申 報 館	912— 9
川 西 正 德	滿洲國經濟地理圖說 昭9	刀 江 書 院	912— 10
(清) 民 政 司	奉天省輿地全圖 宣統3	編 所	912— 11
(民) 丁文江等	中華民國新地圖 民23	申 報 館	912— 13
(清) 屠 寄	黑龍江輿地圖 (遼海觀察ノ内) 庚1	右 文 閣	912— 13
	奉天全省輿圖		912— 14
西 田 與 四 郎 橋 子 二 郎	日本地理圖集 昭9	東洋圖書會社	912— 15
藤 田 元 春	新日本圖帖 昭9	刀 江 書 院	912— 16
奉天民政司圖理科	長白府屬輿地全圖	編 所	912— 17
—	錦州府屬地全圖	—	912— 18
—	興京府屬輿地地圖	—	912— 19
—	洮南府屬輿地全圖	—	912— 20
—	鳳凰廳屬輿地全圖	—	912— 21

編・著者名	題名	発行所	整理番號
奉天民政司理部	營口輝南法庫莊河廳輿地全圖	編 所	912—22
九段書房	最新世界地圖 昭10	—	912—24
神山史也	滿洲國地貌大觀圖 昭10	アトラス社	912—26
(民) 藤甲榮	中國地理沿革圖 民23	日新興地學社	912—27
上海申報社	中國分省新圖 民23	編 所	912—28
滿鐵交通總局	滿洲國地圖 昭11	—	912—29
文教部	大滿洲帝國輿圖 康2	—	912—30
(民) 卓宏謀	蒙古鐵路交通礦產圖 民25	—	912—34
奉天郵政管理局	奉天郵政管理局管區郵政輿圖 2册 康3	—	912—36
滿鐵調査課	最新ソヴェート聯邦地圖 昭3	大阪毎日新聞社	912—37
日露通信社	ソヴェート聯邦大地圖 昭13	編 所	912—38
地形社	防共世界地圖 昭13	—	912—39
【913 山嶽・河川】			
野中時雄	山西省河川測量報告書 昭11	滿鐵天津事務所	913—1
【914 探險・調査・發見】			
鳥居龍藏	蒙古旅行 明14	博文館	914—1
(國) アーネート著 有富光門譯	滿蒙探險四十年 昭9	講談社	914—2
鳥居龍藏	滿蒙の探査 昭3	萬里閣書房	914—3
鳥井きみ子	土俗學上より觀たる蒙古 昭3	大經閣	914—4
遷洋義隊救災會	賑務報告書 5册 民15, 18—21	編 所	914—5
(民) 徐旭生	徐旭生西遊日記 3册 民19	—	914—6
(民) 顧執中、陸詒	到青海去 民24	商務印書館	914—7
大同學院	日本内地視察旅行感想集 康3	編 所	914—8
山本實彦	蒙 古 昭10	改造社	914—9
香蘭町教育會	滿 鮮 の 旅 昭3	編 所	914—10
小林一三	私の見たソヴェートロシア 昭11	東寶書店	914—11
(民) 王應楹	黃河視察日記 民23	新亞細亞學會	914—12
杉 道 助	大阪より滿鮮北支へ 昭11	滿支視察團	914—13

【 地 理 】

編・著者名	書 名	發 行 所	整理番號
大 同 學 院	日本視察旅行日記與感想集 康11	國 所	914—14
樺川縣公民館	南滿視察旅行報告書 康3	—	914—15
民政部警務司	保長甲長日本見學報告書 康3	—	914—16
東亞西藥協會	察哈爾事情調查報告書 康1	—	914—17
(民)長 江 秀 松 枝 茂 夫	中國の西北角 昭13	改 造 社	914—18
田 中 修 治	蒙古シベリヤ踏破記 昭13	三 笠 書 房	914—20
山形縣商工課	山形縣の觀光と物産 昭13	編 所	914—21
滿鐵大連圖書館	東 靺 紀 行 昭13	—	914—22

○

外 交 部	視 察 彙 刊 康1	編 所	914—P1
滿洲國童子團聯盟	滿洲國童子團訪日感想錄 大1	—	914—P2

【 915 史蹟・名勝・天然紀念物 】

(民)商 文 庫	北 陵 誌 略 民13	北陵公園管理處	915—1
池内 宏遠鏡研探隊	滿洲國安東省輯安縣高句麗遺蹟 昭11	滿日文化協會	915—2
民生部社會司	宗教及古蹟古物名勝天然紀念物要覽 康4	編 所	915—3
岡 場 春 吉	孔 子 聖 蹟 志 昭8	大東文化協會	915—4
八 木 雙 三 郎	滿 洲 舊 蹟 志 大正13	編 所	915—5

【 916 天災・天災救濟 】

哈爾濱濟理 水災救濟委員會	壬申哈爾濱水災紀實 康1	特別市公署	916—1
孫 鐵 臨 經	遼陽附近ヲ中心トスル太子河ノ流勢ト 洪水記錄 昭4	編 所	916—2
岩手縣知事官房	岩手縣昭和震災誌 昭9	—	916—3
滿鐵天津事務所	山東地方ノ黃河水災狀況 昭11	—	916—4
岡 山 縣	昭和九年風水害誌 昭10	—	916—5

○

北滿水災中央 救濟委員會	北滿水災狀況並救濟報告 大3	編 所	916—P1
-----------------	----------------	-----	--------

【 920 滿洲國地誌 】

編昌公司調查部	滿 蒙 通 覽 3册 大正7	大 阪 屋 號	920—1
大 同 學 院	滿洲國地方事情 2册 康元	大 同 印 書 館	920—2

[9 地 理]

編・者 著 名	書 名	登 行 所	整理番號
(明)任 浩 等	遼 東 志 大正1	華 經 閣	920— 3
滿 鐵 調 査 課	滿 蒙 要 覽 2版 2册 昭5	編 所	920— 4
滿 洲 日 報 社	滿 洲 國 の 全 貌 昭6	—	920— 5
田 中 秀 作	新 滿 洲 國 地 誌 昭7	古 今 書 院	920— 6
東 亞 經 濟 調 査 局	滿 洲 讀 本 5册 昭2—5	編 所	920— 7
譯 國 大 藏 省 編 中 野 二 郎 譯	滿 洲 通 誌 明39	東 亞 同 文 會	920— 8
東 京 帝 大	滿 鮮 地 理 歷 史 研 究 報 告 4册 大正4—7	編 所	920— 9
小 山 勝 清	新 滿 洲 國 讀 本 昭7	實 業 之 日 本 社	920— 10
縣 東 都 營 府	東 部 蒙 古 誌 3册 明41	編 所	920— 11
關 東 陸 軍 部	東 蒙 古 大正4	—	920— 12
朝 鮮 銀 行	熱 河 蒙 古 地 方 = 關 ス ル 調 査 大正6	—	920— 13
(民)周 志 暉	東 三 省 概 論 民20	商 務 印 書 館	920— 14
中 日 尚 農	滿 洲 國 讀 本 昭9	日 本 評 論 社	920— 15
滿 鐵 安 東 事 務 所	東 邊 道 各 縣 經 濟 調 査 報 告 書 (寬 甸、輯 安、桓 仁、通 化) 昭9	編 所	920— 16
滿 洲 事 務 案 內 所	蒙 古 事 情 概 要 昭10	—	920— 17
守 田 利 遠	滿 洲 地 誌 及 附 圖 4册 明39	丸 善	920— 18
滿 鐵	滿 蒙 紹 介 大正10	編 所	920— 19
滿 洲 文 化 協 會	滿 蒙 講 座 昭7	—	920— 20
	滿 洲 の 農 畜 産 業 の 現 勢 (三 浦 功)		
	滿 洲 帝 制 の 現 在 及 將 來 (安 藤 松 之 助)		
	滿 洲 文 化 の 發 展 (伊 藤 武 雄)		
	滿 蒙 鐵 道 網 と 交 通 問 題 (尾 田 信 隆)		
	國 際 問 題 より 見 たる 滿 蒙 (阿 比 留 乾 二)		
	滿 洲 の 新 興 工 業 (安 村 農 一)		
教 化 振 興 會	滿 蒙 講 座 昭8—9	立 命 館 出 版 部	920— 21
	第 1 卷		
	滿 洲 國 の 由 來 (矢 野 仁 一)		
	滿 洲 國 の 前 途 (末 廣 重)		
	滿 洲 國 施 政 の 根 本 方 針 (花 田 仲 之 助)		

- 創造精神に基く滿蒙の經營 (作田莊一)
 移民政策の根本方針 (山本美越乃)
 滿蒙の財政 (神戸正雄)
 明日の滿蒙經濟 (和田信夫)
 軍事上の見地よりする滿洲國の治安維持 (柳川重治)
 巴爾幹を見て滿洲國を偲ぶ (田中 稔)
 太平洋に於ける日本の發展 (中瀬古六郎)
 邦人滿蒙への發展と安價生活 (松浦有志太郎)
 玄米食に就て (二木謙三)
 滿蒙の風俗習慣 (木戸忠太郎)

第2卷

- 滿蒙の宗教 (牧野虎次)
 滿蒙と佛教 (常盤大定)
 禪と新國家 (緒岡 存)
 移植民精神と信仰 (青柳樂司)
 滿洲に於ける教化運動と禁酒 (高島本峰)
 信仰と體驗 (石川成章)
 時局と信仰 (大工原銀太郎)
 迷 信 (新城新藏)
 概念と體驗 (石川成章)
 勞作教育 (小西重直)
 國家觀念より見たる小學校の教育 (廣山榮次)
 滿蒙完成の原動力 (本間俊平)

第3卷

- 人籍と地籍 (中島玉吉)
 滿蒙の地理地質 (中村新太郎)
 滿蒙の氣象 (沼川忠夫)
 滿洲國の交通路 (瀧山 興)
 滿洲國の動物 (森 昌三)
 滿蒙の植物 (大賀一郎)
 滿蒙の森林 (市河三義)



編・著者名 _____ 名 _____ 發行所 _____ 整理番號 _____

第4卷

- 滿蒙の礦産資源 (村上飯藏)
- 滿蒙の製機業 (齋藤大吉)
- 滿蒙の化學工業 (中澤良夫)
- 滿蒙の天然資源と其利用に就て (鈴木太郎)
- 滿蒙の動力 (野田精一郎)
- 滿蒙の水道 (大井清一)
- 帝國・防と滿蒙 (森 桂)
- 新滿洲國と一燈閣 (西田天香)
- 第二滿蒙問題と社會の將來 (櫻部麗吾)
- 滿蒙講習會閉會の辭 (青柳榮町)
- 滿蒙講習會祝辭 (新城敏藏)
- 滿蒙講習會祝辭 (狗井健三)

大連商販
通商調査課

滿蒙事情 昭7
滿蒙全書 大正11-13

編 所 9:20—23
— 9:20—23

- 第1卷 地理及人口
 - 氣 象
 - 滿蒙ノ歴史
 - 現代滿蒙ノ諸民族
 - 滿蒙風俗略誌
 - 年中行事、言語
 - 滿蒙の宗教
 - 滿蒙の教育
- 第2卷 行 政
 - 國際關係
 - 財政、軍事
- 第3卷 農 業、林 業
 - 畜産業、水産業
- 第4卷 工 業、鑛 業
- 第5卷 商 業、交 通



編・著者名	書名	發行所	整理番號
	貨幣、金融		
	度量衡、保險		
	第6卷 法制		
	植民、移民		
	第7卷 目錄、索引		
黒田甲子郎	滿洲紀要 2册 明42--大正1	滿 儀	920—24
西 龜 正 夫	滿洲國中心支那地理 昭7	厚 生 閣	920—25
滿蒙研究會	滿蒙研究彙報 大正3—9	嚴 松 堂	920—26
日本外事協會	滿洲帝國總攬 昭9	三 省 堂	920—27
南洋滿洲中等教育研究會	滿洲事情 昭9	—	920—28
松 本 高	東蒙古ノ真相 大正3	兵 林 館	920—29
滿鐵哈爾濱事務所	北滿洲概観 昭9	編 所	920—30
橋 本 隆 彦	最新動態滿洲、支那地理 昭7	三 友 社	920—31
大同學院	滿洲國各縣視察報告 大2	編 所	920—32
山田久太郎	滿蒙都邑全誌 大正15	日清支那事情社	920—33
改 造 社	滿蒙事情總覽 昭7	編 所	920—34
外務省通商局	北 滿 洲 大正6	啓 成 社	920—35
盟 部 輯	滿 洲 大正3	政 教 社	920—36
(民) 餘 曠	東三省紀略 民4	商務印書館	920—37
淺野利三郎	滿蒙之歴史地理的研究 昭3	世界改造黨書行會	920—38
遼東兵站監督府	滿洲要覽 昭38	丸 善	920—39
總務廳情報處	滿洲國概覽 康1	編 所	920—40
張 麟 協 會	內蒙古 地理、産業、文化 昭10	日 本 公 論 社	920—41
田 原 豊	滿蒙の謎を解く 昭8	—	920—42
佐藤慶治郎	世界の焦點「滿洲國」 昭10	興亞自治會	920—43
眞 鍋 五 郎	拓け行く滿洲 昭10	亞細亞出版部	920—44
大同學院出版部	蘿北縣事情 康2	編 所	920—45
—	奇克縣事情 康2	—	920—46

【 地 理 】

編・著者名	題 名	種 行 所	整理番號
總務廳情報處	新 滿 洲 廣 ³	編 所	920—47
綏 中 縣 公 署	綏中縣一般狀況 廣 ²	—	920—48
訥 河 縣 公 署	訥河縣一般狀況 廣 ²	—	920—49
長 野 昭	滿 洲 概 本 昭 ¹¹	雄 股 社	920—50
羽 茂	海 疆 詳 誌 廣 ³	益 智 書 局	920—51
郭 氏 羅 斯 前 旗 公 署	郭爾羅斯前旗基本調查書 9册 廣 ³ (順德3年8月第1班調査)	編 所	920—52
國 松 久 彌	最近の滿洲國地誌 昭 ¹²	古 今 書 院	920—53
(民) 盛 印 堂 等	東 北 研 究 民 ²⁵	萬 寶 學 會	920—54
新 滿 洲 情 報 社	滿 洲 大 觀 昭 ¹⁰	編 所	920—56
國 總 務 公 署	額 穆 縣 一 般 狀 況 廣 ³	—	920—57
撫 遠 縣 公 署	撫 遠 縣 概 況 廣 ³	—	920—58
總 務 廳 情 報 處	滿 洲 帝 國 概 覽 廣 ³	明 文 社	920—59
成 星 岩 等	海 城 縣 誌 廣 ⁴	海 城 縣 公 署	927—61
滿 洲 事 務 案 內 所	滿 洲 事 務 案 內 所 資 料 集 成 昭 ¹²	編 所	920—62
滿 洲 帝 國 政 府	若 き 滿 洲 廣 ⁵	—	920—63
—	滿 洲 印 象 冊 ⁵	—	920—64
滿 洲 事 務 案 內 所	滿 洲 の 架 冊 ⁴	—	920—65
	○		
吳 市 役 所	滿 蒙 事 情 昭 ⁸	編 所	920—P1
滿 洲 事 務 案 內 所	滿 洲 國 の 自 然 昭 ⁹	—	920—P2
總 務 廳 情 報 處	滿 洲 國 大 觀 大 ²	—	920—P3
—	滿 洲 國 大 系 (滿文) 大同 ³ 廣 ³	—	920—P4
	執政起居紀要		
	監察、司法		
	軍事、治安		
	財政、金融、産業		
	交 通		

【 地 理 】

編・著者名 書 名 發 行 所 整理番號

文 化

地 方、都 市

外 交

法 制

施 政 概 要

滿洲國建設過程

滿洲帝國組織法

關於康德元年度豫算

產業篇(康德元年度)

財 政 金 融 篇

文 通 篇

文 化 篇

都市(特別市)篇

民 政 篇

外 交 篇

軍 政 篇

關於康德二年度豫算

民 政

關於康德三年度豫算

我國通貨政策與日滿匯兌安定問題

關於金融合作社

預 算

產 業

總務廳情報誌

滿洲國概觀

— 920—P5

—

躍進過程の滿洲帝國 康2

— 920—P6

—

滿洲帝國の現勢 康2

— 920—P7

—

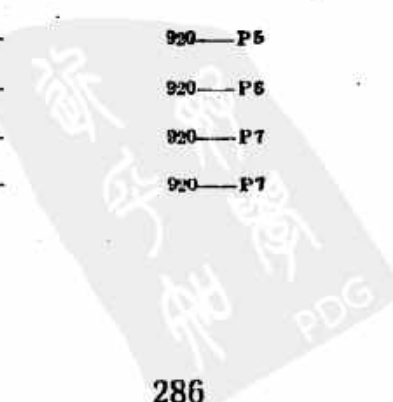
滿洲國大系(日文)大冊2 康3

— 920—P7

執政起居紀要

監 察、司 法

法 制



編・著者名 書 名 發行所 整理番號

軍 事、治 安
 産 業
 交 通
 文 化
 地 方
 郡 市
 外 交
 施 政 綱 要
 滿洲帝國組織法
 康徳元年度豫算=就テ
 産 業 篇
 財 政 金 融 篇
 司 法 制 度 篇
 交 通 篇
 文 化 篇
 郡市(特別市)
 民 政 篇
 外 交 篇
 軍 政 篇
 康徳二年度豫算=就テ
 民 政
 康徳三年度豫算=就テ
 我國通貨政策ト日滿爲替安定問題=就テ
 豫 算
 産 業
 外 交

・ 編 野 武 雄 滿洲地方志考 昭10
 高 崎 保 滿洲主要都市要覽 昭11
 總務廳情報課 滿洲帝國の現勢 康2
 滿洲移住協會 拓 け 滿 蒙 昭11

滿洲奉天圖書館 920—P8
 滿 國 920—P9
 編 所 920—P10
 — 920—P11

【 地 理 】

編·著者名	書 名	頁	刊 行 所	整理並誌
滿洲事情案內所	滿洲事情案所所要覽	廣 ⁵	編 所	930—P12
【 921 舊 奉 天 省 】				
大 同 學 院	奉天省各縣視察報告	大 ¹	編 所	921— 1
滿 鐵 商 工 課	南滿洲主要都市及其背後地	昭 ²	—	921— 2
大 同 學 院	奉天省復縣事情	康 ²	—	921— 3
—	—— 瀋陽縣事情	康 ²	—	921— 4
盤 山 縣 公 署	盤 山 縣 誌	康 ¹	—	921— 5
錦 州 省 公 署	錦 州 省 概 覽	康 ¹	—	921— 6
大 同 學 院	奉天省梨樹縣事情	2册 康 ²	—	921— 7
—	蓋 平 縣 事 情	康 ³	—	921— 8
—	奉天省柳河縣事情	康 ²	—	921— 9
—	錦 州 省 興 城 縣 事 情	康 ²	—	921— 10
—	昌 圖 縣 事 情	康 ²	—	921— 11
—	錦 州 省 義 縣 事 情	康 ³	—	921— 12
—	—— 彰武縣事情	康 ³	—	921— 13
—	—— 盤山縣事情	康 ³	—	921— 14
—	奉天省西豐縣事情	康 ³	—	921— 15
—	—— 東豐縣事情	康 ⁴	—	921— 16
—	—— 營口縣事情	康 ⁴	—	921— 17
依 蘭 縣 公 署	依蘭縣一般狀況	康 ³	—	921— 18
新 民 縣 公 署	新民縣一般狀況	康 ⁴	—	921— 19
西 安 縣 公 署	西安縣一般狀況	康 ⁴	—	921— 20
西 豐 縣 公 署	西豐縣一般狀況	康 ³	—	921— 21
輝 南 縣 公 署	輝南縣一般狀況	康 ⁵	—	921— 22
鏡 魏 公 署	鏡 縣 概 要	康 ⁵	—	921— 23
開 原 縣 公 署	開原縣一般狀況	康 ⁴	—	921— 24
○				
海 城 縣 公 署	海城縣地方事務概略	康 ¹	編 所	921—P1

編者名	書名	發行所	整理番號
大同學院	奉天省台安縣事情 大3	編 所	921—P2
寬甸縣公署	寬甸縣一般狀況 大3	—	921—P3
大同學院	奉天省本溪縣事情 大3	—	921—P4
—	— 黑山縣事情 大3	—	921—P5
—	— 盤山縣事情 大3	—	921—P6
—	開原縣事情 康1	—	921—P7
—	遼源縣事情 康1	—	921—P8
—	錦西縣事情 康1	—	921—P9
—	北鎮縣事情 康1	—	921—P10
—	長白縣事情 康1	—	921—P11
滿鐵關東地方事務所	開原要覽 昭9	—	921—P12
大同學院	奉天省濛江縣事情 康2	—	921—P13
錦縣公署	錦縣要覽 康4	—	921—P14
【922 西 吉 林 省】			
牛丸田 潤 憲 壽	最近問島事情 昭2	朝鮮及朝鮮人會	922— 1
問島省公署	問島省概況 康6	編 所	922— 2
大河原厚仁	滿洲の富源吉林省 大正6	滿東新報社	922— 3
滿鐵哈爾濱事務所	東寧縣事情 昭3	編 所	922— 4
(民)林 錫 甲	大中華吉林省地理志 民10	商務印書館	922— 5
大同學院	吉林省依蘭縣事情 康1	編 所	922— 6
方正縣公署	— 方正縣統計報告書 康1	—	922— 7
大同學院	— 雙陽縣事情 康2	—	922— 8
—	— 榆樹縣事情 康2	—	922— 9
—	— 長嶺縣事情 康2	—	922— 10
—	— 長春縣事情 康2	—	922— 11
新京鐵路局	問島地方概要 康2	—	922— 12
大同學院	扶餘縣事情 康1	—	922— 13
劉 興	吉林新志 康1	益智書局	922— 14

【 9 地 理 】

編・著者名	題 名	編 行 所	整理番號
大同學院	和龍縣事情	康3	922—15
吉林省公署	吉林省各縣略誌	康1	922—16
張一其軍	扶餘縣志	民13	922—17
伊通縣公署	伊通縣鄉土誌	康4	922—18
綏化縣公署	綏化縣一般狀況	康5	922—19
乾安縣公署	乾安縣一般狀況	康4	922—20
盤山縣公署	盤山縣鄉土誌	康4	922—21
	○		
吉林省公署	吉林省概說	大2	922—P1
滿洲事情案内所	扶餘縣事情	昭9	922—P2
(滿)李予丹	吉林輿地圖說	光21	922—P3
滿洲事情案内所	農安事情	昭9	922—P4
大同學院	吉林省樺甸縣事情	康2	922—P5
—	— 乾安縣事情	康2	922—P6
雙陽縣公署	雙陽縣鄉土誌	康4	922—P7
—	— 一般狀況	康4	922—P8
滿鐵交通總局	牡丹江の現勢	昭12	922—P9
	【 923 香 黑 龍 江 省 】		
大谷彌十次	黑龍江省	2册 大正13	923—1
—	黑龍江省其3黑河道 (調査報告書第11)	大正10	923—2
綏濱縣公署	三江省綏濱縣誌	康1	923—3
大同學院	龍江省洮南縣事情	康2	923—4
—	拜泉縣事情	康2	923—5
—	龍江省安廣縣事情	康3	923—6
—	濱江省呼蘭縣事情	2册 康3	923—7
—	三江省寶清縣事情	康3	923—8
—	龍江省富裕縣事情	康3	923—9
—	三江省通河縣事情	康3	923—10

編者姓名	書名	卷數	發行所	整理番號
大同學院	黑龍省烏雲縣事情	康3	編所	923—11
—	— 遜河縣事情	康3	—	923—12
—	— 佛山縣事情	康3	—	923—13
—	龍江省景星縣事情	康3	—	923—14
—	— 甘南縣事情	康3	—	923—15
—	濱江省郭爾羅斯後旗事情	康4	—	923—16
洮安縣公署	洮安縣志	康4	—	923—17
安廣縣公署	安廣縣概況	康5	—	923—18
○				
大同學院	黑龍江省東興縣事情	康1	編所	923—P1
—	龍江省龍鎮縣事情	康3	—	923—P2
—	— 克東縣事情	康2	—	923—P3
—	— 嫩江縣事情	康2	—	923—P4
—	— 杜爾伯特旗事情	康2	—	923—P5
【 924 熱 河 省 】				
滿洲文化協會	熱河事情	昭8	南光社	924—1
北滿太平洋	熱河	昭8	新光社	924—2
民政部	熱河省縣旗事情	康3	大同印刷館	924—3
大同學院	— 陸化縣事情	康3	編所	924—4
赤峰縣公署	赤峰縣地方事情	康4	—	924—5
關野卓一	熱河	昭13	東方文化學會	924—6
○				
大同學院	熱河省豐寧縣事情	康1	編所	924—P1
【 925 興 安 省 】				
東條經調	呼倫貝爾	昭18	編所	925—1
滿鐵哈爾濱事務所	政治的方面ヨリ見たル呼倫貝爾事情	昭9	—	925—2
興安總署	三河地方及吉拉林ノ概況	大同2	—	925—3
東本樓	興安屯墾區事情	昭4	滿鐵調查課	925—4

【 地 理 】

編・著者名	題 名	刊 行 所	整理番号
(民) 鄭 自 友 榮 統 新	呼倫貝爾概要 長20	東北文化社	925— 5
大 岡 翠 院	興安西省林西縣事情 康2	編 所	925— 6
—	— 奈曼旗事情 康3	—	925— 7
興安南省公署	興安南省概覽 康3	—	925— 8
○			
興 安 總 署	新興の興安省概要 康1	編 所	925— P1
興安東省公署	興安東省概観 康5	—	925— P2
【 926 北 滿 特 別 區 】			
哈爾濱特別市公署	東省特別區ニ關スル調査 大正2	編 所	926— 1
民 政 部	北滿沿烏蘇里地方	—	926— 2
【 927 特 別 市 】			
泉 原 治	長 春 事 情 大正1	編 者	927— 1
滿洲事情案内所	新 京 事 情 昭9	編 所	927— 2
新京日報社	新 京 事 情 昭9	—	927— 3
哈爾濱案内社	大 哈 爾 濱 案 內 昭8	—	927— 4
宇 山 兵 士	大 哈 爾 濱 大同2	—	927— 5
奉 天 市 公 署	大奉天市事情總覽 康3	—	927— 6
○			
哈爾濱市公署	哈爾濱特別市ノ素描 康1	編 所	927— P1
—	哈 爾 濱 康3	—	927— P2
—	哈爾濱特別市の概観 康3	—	927— P3
【 929 關 東 州 ・ 滿 鐵 附 屬 地 】			
福 田 牧 作	關 東 州 郷 土 誌 昭9	多 以 良 書 房	929— 1
關 東 廳	關 東 廳 要 覽 4册 昭7—10	編 所	929— 2
鎌 崎 嘉 郎	大 連 大正11	大 阪 屋 號	929— 3
關 東 廳	關 東 廳 統 計 要 覽 昭9	編 所	929— 4
關東州土地調査部	關 東 州 事 情 3册 大正12	—	929— 5
關 東 局	關 東 局 土 地 要 覽 昭11	—	929— 6

著者名	書名	発行所	整理番號
大同學院	大連市事情 昭和4	編 所	929—7
滿鐵調査課	營口の現勢 大正14	—	929—8
大連商工會事務所	經濟都市大連 昭和12	—	929—9
○			
瓦房店事務所	瓦房店要覽 大正13	編 所	929—P1
大連市役所	大 連 昭和6	—	929—P2
關 東 歷	關東廳々勢一斑 昭和7—10	—	929—P3
【 930 世界 地誌】			
鈴木利貞	南洋讀本 昭和9	日本評論社	930—1
岡松久彌	世界小國地誌 昭和12	古今醫院	930—2
外務省情報部	南太平洋讀本 昭和13	改 造 社	930—3
—	ソグエート讀本 昭和13	—	930—4
【 931 日 本】			
朝鮮總督府	朝鮮總概 昭和8	編 所	931—1
臺灣總督府	臺地事情 昭和8	—	931—2
朝鮮總督府	國境地方視察復命書 大正4	—	931—3
臺灣總督府	臺灣事情 昭和7	—	931—4
朝鮮總督府	朝鮮地誌資料 大正8	—	931—5
—	朝鮮事情 4册 昭和8—12	—	931—6
—	朝鮮要覽 昭和7	—	931—7
樺 太 廳	樺太要覽 2册 昭和5—6	—	931—8
朝鮮總督府	朝鮮の聚落 3册 昭和8	—	931—9
民衆時報社	臺灣特殊風景 昭和10	—	931—10
南洋協會	日本の南洋群島 昭和10	—	931—11
中澤辨次郎	輪中聚落地誌 昭和11	—	931—12
李 濟 照	朝鮮讀本 昭和11	日本農村問題 研究會	931—13
南洋廳	南洋群島要覽 昭和11—12	編 所	931—14
朝鮮總督府	朝鮮史のしるべ 昭和13	—	931—15

【 8 地 理 】

編・著者名	題 名	年 次	發 行 所	整理番號
朝鮮總督府	躍進朝鮮の意氣と針路	昭11	國 所	931—16
北海道廳	北海道概況	昭4	—	931—18
朝鮮總督府	外人の觀たる最近の朝鮮	昭7	—	931—19
—	伸び行く朝鮮	昭10	—	931—20
○				
岩手縣知事官房	岩手縣勢要覽	昭9	編 所	931—P1
大阪府	大阪府勢一覽	2册 昭10—11	—	931—P2
山形縣總務部	最近の山形縣勢	昭10	—	931—P3
青森縣	青森縣勢一覽	昭10	—	931—P4
—	統計上ヨリ觀タル青森縣ノ地位	昭10	—	931—P5
—	青森縣勢要覽	昭10	—	931—P6
富山縣總務部	國勢ヨリ觀タル富山縣ノ地位	昭11	—	931—P7
—	富山縣概觀	昭11	—	931—P8
—	富山縣勢要覽	昭11	—	931—P9
—	富山縣之景觀	昭11	—	931—P10
樺太廳	樺太廳治要覽	昭11	—	931—P11
奈良縣	大和の展望	昭11	—	931—P12

【 932 民 國 】

東亞同文會	支那省別全誌	大正6-9	編 所	932—1
	第1卷 廣東省	第2卷 廣西省		
	第3卷 雲南省	第4卷 山東省		
	第5卷 四川省	第6卷 甘肅省附新疆省		
	第7卷 陝西省	第8卷 河南省		
	第9卷 湖北省	第10卷 湖南省		
	第11卷 江西省	第12卷 安徽省		
	第13卷 浙江省	第14卷 福建省		
	第15卷 江蘇省	第16卷 貴州省		
	第17卷 山西省	第18卷 直隸省		
東亞實業社	支那研究叢書	9册 大正6-8	編 所	932—2

編・著者名	書名	發行所	整理番號
滿鐵	支那地名集 大正14	編所	932— 3
(民) 馮承鈞譯	東蒙古遼代舊城探考記 民21	—	932— 4
(譯) 中平亮 トマーチン著譯	現代新疆 昭10	滿鐵經調	932— 5
(滿) 關仲韓	新疆大記 光緒34	—	932— 6
東京地學協會	中支那及南支那 大正9	編所	932— 7
東亞產業協會	察哈爾蒙古の近情 昭9	—	932— 8
東亞經調	支那邊疆概觀 昭10	—	932— 9
村田政郎	蒙古と新疆 昭10	日本公論社	932— 10
滿洲事情案內所	北支那事情 昭10	編所	932— 11
滿鐵資料課	北支事情綜覽 昭11	—	932— 12
外務省情報部	支那地名集成 昭11	日本外事協會	932— 13
滿鐵大通圖書館	北支那文獻綜覽 昭11	編所	932— 14
(民) 梅心如	西康 民23	正中書局	932— 15
滿洲事情案內所	外蒙古事情 昭11	編所	932— 16
(民) 羅騰霄	濟南大觀 民23	濟南大觀出版社	932— 17
(民) 陳龍爲	西康問題 民10	中環書局	932— 18
長野朝	支那讀本 昭11	成設社	932— 19
書團協會調查部	外蒙古の現勢 昭11	日本公論社	932— 20
山本實彦	支那 昭11	改造社	932— 21
東洋事情研究會	冀東綜覽 昭11	編所	932— 22
神川正雄	四川省綜覽 昭11	東洋事情研究所	932— 23
東亞研究會	最新支那要覽 2冊 昭11—13	編所	932— 24
(民) 馮家昇	西北研究 民25	禹貢學會	932— 25
東洋事情研究會	北支通覽 昭12	編所	932— 26
(滿) 阮元等	重刊、廣東通志 民23	商務印書館	932— 27
(民) 王金鏡	西北地理 民21	立禮書局	932— 28
大橋哲哉	支那 昭12	白編社	932— 29
佐々木清治	北支那の地理 昭12	管文館	932— 30

【 地 域 】

編者名	書名	発行所	整理番號
(民) 吳 康 等	綏遠省分縣調查概要 民23	民衆教育館	932— 31
大久保 弘 一	赤色支那 昭13	高山書院	932— 32
(民) 王 煥 燾	首都志 2册 民24	正中書局	932— 33
後藤朝太郎	支那の理解 昭13	高橋書院	932— 34
有 光 社	新西域記 9册 昭12	編 所	932— 35
木村 敏 太郎	現代支那事情の研究 昭3	大阪屋號	912— 35
東亞問題研究會	蒙古要覽 昭13	三省堂	932— 37
【 933 其他亞細亞洲 】			
滿鐵調査課	亞細亞露西亞の住民 大正14	編 所	933— 1
長谷川 興三治	太平洋ヲ圍繞スル諸洲ノ地理 2版 昭3	—	933— 3
滿鐵調査課	ヤクウト共和國 昭5	大阪毎日新聞社	933— 4
(民) 劉 文 和	西行見聞記 民22	南京書店	933— 5
滿鐵調査課	外蒙共和國 2册 昭3	大阪毎日新聞社	933— 6
(蒙) 張 穆 石州 著 須 佐 嘉 稿	蒙古遊牧記 大正5	東亞實業社	933— 7
高 岡 大 輔	印度の真相 昭5	丸善株式會社	933— 8
遠 藤 壽 監	内外蒙古接壤地域附近一般調査 大正13	滿鐵調査課	933— 9
農 商 務 省	蒙 古 大正9	編 所	932— 10
網 佐 基 稿	西北外蒙古の今昔 昭4	費 文 館	933— 11
東亞同文會	蒙古及蒙古人 昭11	編 所	933— 12
玉 井 莊 雲	内外蒙古ノ概観 昭6	湖 外 社	933— 13
拍 原 孝 久 一 岡 田 純 一	蒙古地誌 3册 大正8	富 山 房	933— 14
(民) 卓 安 謀	最新蒙古鑑 民5	公 債 局	533— 15
(民) 馬 福 祥	蒙藏狀況 民20	蒙藏委員會	933— 16
(民) 周 正 明	蒙藏事紀略 民19	編 所	933— 17
中 目 尚 義	ロシヤ讀本 昭9	日本評論社	933— 18
著 譯 協 會	外蒙古の現勢 昭10	編 所	933— 19
—	フリヤート蒙古の全貌 昭10	—	933— 20
外務省調査部	中央亞細亞事情 昭10	日本國際協會	933— 21

編・著者名	書 名	発 行 所	整理番號
蒙政部調査科	蒙政部調査資料 大正13 第1輯 興安北分省三河地方及吉拉林ノ概況 第2輯 熱河に於ける蒙變に就て 第3輯 蒙 古 律 令 第5輯 新興の興安省概観 第6輯 蒙古地名の解説	編 行 所	933—22
佐藤 毅 胤 滿鐵經濟調査會	外蒙古赤化の真相 解 ^蒙 譯文 記述 ソ聯極東及外蒙調査資料 昭9 第1編 ソ聯極東地方要覽 第2編 ソ聯極東の運輸交通問題 第3編 モスコウ=イルクツク航空路の氣象 第4編 南ザバイカルの地形と土壤 第5編 シベリヤ經濟地理(上、下) 第6編 蘇城、オリガ聯合企業 第7編 蘇聯極東地方の自然地理及礦物資源に関する新資料 第8編 東部シベリアの自然地理及礦物資源に関する新資料 第9編 ソ聯極東及東部シベリアの自然資源と其利用に関する新資料 第10編 ビロビヂヤン(猶太人自治州)要覽 第11編 ブリヤート蒙古自治共和國現勢 第12編 外蒙調査資料 第13編 ソ聯極東地方人種誌 第14編 永久凍固層の研究 第15編 東部シベリヤ地方經濟要覽 第16編 外蒙古の食肉資源 第17編 東部シベリヤ地方の有色金屬鑛床 第18編 外 蒙 古 地 誌 第19編 新疆よりゴビ沙漠を横ぎる 第20編 シベリヤの炭田 第21編 北地航空路の研究 第22編 ソ聯極東の森林	北滿經濟調査所 編 行 所	933—23 933—24



【 地 理 】

編・著者名	題 名	発 行 所	整理番號
	第23編 西部蒙古族及滿洲族		
	第24編 アムダク、ブレイウダ、セテムジ ア四河★五調査資料		
	第25編 アムール、ヤクーツク幹線道路の 氷上滲出水		
	第26編 1932年度全ソ聯鐵道輸送統計		
	第27編 全ソ聯極東の水産及畜産		
	第28編 カザクスタン諸州概観		
	第29編 南部ヤクウテイヤ氣候、地形、土 壤、植物誌		
	第30編 全ソ聯鐵道貨物移動統計		
	第31編 東部シベリア地方自然地理概観		
	第32編 ソ領極東地域に於ける新建築材料		
	第33編 ソ聯極東の産金地(上、下)		
	第34編 ソ領亞細亞動力資源調査書(一)		
	第35編 蒙領北地事情		
滿洲事研案内所	滿蘇支邊境事情 昭11	編 所	933—25
—	まんしう事情 昭11	—	933—26
東亞經濟調査局	最近ノ比律賓 昭11	—	933—27
(民) 卓 宏 謙	蒙 古 鑑 民24	公 債 冊 局	933—28
滿鐵調査課	蒙領極東地誌 2册 昭2	大阪毎日新聞社	533—29
—	ソグエート聯邦總覽 5册 昭2	—	933—30
阪 森 唯 士	ソ聯現狀讀本 昭13	春 秋 社	933—31
上 床 國 夫	科學者の觀たソ聯邦 昭13	日 本 評 論 社	933—32
善 岡 協 會	蒙 古 大 觀 昭13	改 造 社	933—33
保 田 與 重 郎	蒙 疆 昭13	生 活 社	933—34
○			
遠 藤 啓 爾	東部内外蒙古調査報告 昭2	滿鐵調査課	933—P1
滿洲文化協會	外蒙古と自治内蒙古の現情 昭9	編 所	933—P2
外 交 部	極東露領の印象 大朝2	—	933—P3
日 報 通 信 社	ブラウダ、イズグエスチア社説集 昭8	—	933—P4

【 地 理 】

編・著者名	書 名	発行所	整理番號
【 934 歐 羅 巴 洲 】			
滿鐵調査課	勞農露國研究叢書 6冊 大正11-15	大阪毎日新聞社	934— 1
大竹 應 吉	新露西亞風土記 昭9	京 華 堂	931— 2
藤 彦 三 郎	隣邦 ロシヤ 昭12	斗 南 書 院	934— 3
滿鐵調査課	ヤクウト共和國 2冊 昭7.	大阪毎日新聞社	934— 4
佐 藤 定 勝	ロシヤ大觀 昭12	誠 文 堂	934— 5
○			
百々 正 雄	現代米國讀本 昭8	南 光 社	935— 1
○			
大阪商船會社	南米アルゼンチン 昭8	編 所	936— 1
石 黒 大 介	フイリッピン大觀 昭9	新興出版社	936— 2
【 940 風 俗 習 慣 】			
柳 田 綱 雄	郷土生活の研究法 昭10	刀 江 書 院	940— 1
○			
滿洲事情案内所	滿洲國の習俗 昭10	編 所	941— 1
細 谷 清	滿蒙傳説集 昭11	滿 蒙 社	941— 2
文 教 部	滿洲國禮俗調査彙編 昭9	編 所	941— 3
滿洲事情案内所	滿洲の傳説と民謡 昭5	—	941— 4
總務廳情報處	滿洲國假節日 昭3	—	941— P1
○			
外務省文化事業部	黑龍江省に於ける風土及土著族に関する調査 昭7	編 所	942— 1
小 泉 鐵	臺灣土俗誌 昭8	藝 設 社	942— 2
(民) 橋 岡 達	漢代婚喪禮俗考 民23	商 務 印 書 館	942— 3
(民) 松 本 周 彦 (民) 泉 欽 泰	東蒙風俗談 民17	—	942— 4
(民) 堀 兌 之	漢代風俗制度考 民17	廣 業 書 社	942— 5
(米) ジ・クレツン著 高 恒 助 次 郎 譯	支那滿洲風土記 昭10	日 本 外 事 協 會	942— 6
朝 鮮 總 督 府	部落祭 (朝鮮の郷土神祝) 昭12	編 所	942— 7
後 藤 朝 太郎	支那民族の展望 昭11	富 山 房	942— 8

【 95 歷 史 】

編・著者名	題 名	年 代	發 行 所	整理番號
綾 廣 朝 太 朗	支那趣味の話	昭2	大 阪 屋 號	912— 9
朝 鮮 總 督 府	朝鮮の服裝	昭3	編 所	912— 10
○				
滿 鐵 調 査 課	日本人の注意すべき支那交際上の習慣	昭4	編 所	912— P1
朝 鮮 總 督 府	朝鮮の年中行事	昭11	—	912— P2
【 950 歷 史 一 般 】				
池 内 宏	滿 鮮 史 研 究	昭8	岡 醫 院	950— 1
(民) 藤 勉 郎	中國史部目錄學	民19	商 務 印 書 館	950— 2
三省堂編輯所	世界年表	新訂68版 昭8	編 所	950— 3
神 田 茂	年代對照便覽並陰陽曆對照表	昭7	古 今 書 院	950— 4
(民) 左 舜 生	中國近百年史資料初編	2册 民20	中 華 書 局	950— 5
—	中國近百年史資料續編	2册 民22	—	950— 6
佐 藤 禮 治	滿蒙歷史地理辭典	昭10	富 山 房	950— 7
(民) 李 思 純	元 史 學	民20	中 華 書 局	950— 8
國立中央研究院	歷史語言研究所集刊	2册 民24	商 務 印 書 館	950— 9
(民) 江 紹 源	中國古代旅行之研究	民24	—	950— 10
(民) 陳 慶 麟	中國大事年表	民23	—	950— 12
(民) 章 猷 等	中華歷史地理大辭典	13册 民2	中 華 圖 書 館	950— 13
滿 鐵 調 査 課	奉 郭 戰 重 要 日 誌	大正15	編 所	950— 14
外 務 省 調 査 部	歐洲殊に露西亞における東洋研究史	昭12	—	950— 15
宮 尾 康 太 郎	支那事變戰史	2册 昭13	皇 德 萃 英 會	950— 16
平 野 時	支那事變の經過	昭13	誠 文 堂	950— 17
中央滿蒙協會	滿洲事變日録史	昭9	外 交 時 報 社	950— 18
信 夫 清 三 郎	日 清 戰 争	昭9	藤 田 書 房	950— 19
滿 洲 日 日 新 聞 社	支那事變の全貌	昭13	編 所	950— 20
○				
朝 鮮 總 督 府	朝鮮史編修會要覽	昭5	編 所	950— P1

編・著者名	書名	発行所	整理番號
中山久四郎	讀史廣記 昭8	草 葉 社	951— 1
(民) 孟 森	清朝前記 民19	商務印書館	952— 1
總務廳弘報處	支那事變講演放送集 康5	編 所	952— P1
東亞考古學會	內蒙古長城地帶 昭10	編 所	958— 1
ムウリイ・吾 (民) 馮承鈞譯	東蒙古遠代舊城探考記 民21	商務印書館	958— 2

【 960 世界史一般】

編 者 名	書名	発行所	整理番號
平 凡 社	世界歴史大系 昭8—11	編 所	960— 1
	第1卷 史前史 (大島正滿等)		
	第2卷 東洋考古學 (駒井知慶等)		
	第3卷 東洋古代史 (岡本増吉)		
	第4卷 東洋中世史 第1篇 (志田不動繁)		
	第5卷 — 第2篇 (三島 一、鈴木 俊)		
	第6卷 — 第3篇 (日野開三郎)		
	第7卷 — 第4篇 (有高 巖等)		
	第9卷 東洋近世史 第2篇 (松井 等)		
	第10卷 中央アジア史、印度史 (松田壽男等)		
	第11卷 朝鮮滿洲史 (矢野仁一、稻葉岩吉)		
	第13卷 日本史 第3篇 (秋山謙藏)		
	— 第3篇 (井野邊茂雄等)		
	第14卷 西洋古代史 第1篇 (杉 勇等)		
	第15卷 — 第2篇 (岡島誠太郎等)		
	第16卷 — 第3篇 (原 謙吉、林 武雄)		
	第17卷 西洋中世史 (高市豐雄)		
	第18卷 西洋近世史 第1篇 (大類伸等)		
	第19卷 — 第2篇 (阿武 賢、佐藤堅司)		
	第20卷 — 第3篇 (長 壽六)		
	第21卷 — 第4篇 (—)		
	第22卷 西洋最近世史 (山脇巖城)		

編・著者名	書名	發行所	整理並題
	第23卷 現代史 (村田四郎)		
	第25卷 史籍解題 (下中彌三郎)		
稻 新 岩 吉	光海君時代之滿鮮關係 昭8	大阪屋號	950— 2
(米) 吉 爾 斯 譯 (民) 吉 島 復 譯	羅 馬 文 化 民25	商務印書館	950— 3
(國) フニター 譯 岡 原 誠 譯	概觀世界近世史 昭11	—	960— 4
【 961 滿 洲 國 史】			
外 交 部	滿洲國民之總意 大同1	編 所	931— 1
稻 新 岩 吉	滿洲發達史 昭10	日本評論社	931— 2
滿鐵哈爾濱事務所	海古塔ヲ中心トセル東北部滿洲之沿革 大正14	編 所	961— 3
哈爾濱市公署	建國慶祝紀念 大同1	—	961— 4
岡 野 滋	史的觀點に立つ日滿關係と地理教育 昭8	日 風 書 店	931— 5
大 原 利 武	滿 洲 史 昭8	近 澤 書 店	961— 6
本 間 泰 次 郎	滿 洲 史 要 昭8	大 同 館	931— 7
舘 內 互 等	滿洲歷史地理 2册 大正2	滿 鐵	961— 8
總務廳情報局	即位大典慶祝大會紀念錄 康1	編 所	931— 9
(民) 嶋 斯 年 等	東 北 史 綱 民21	商務印書館	931— 10
(宋) 張 爾 禮	契 丹 國 志 民23	—	961— 11
滿洲文化研究會	滿洲建國正史 昭9	河 出 書 房	931— 12
南滿洲教育會	滿 洲 新 史 昭9	滿洲文化協會	961— 13
阪 本 箕 山	滿 洲 國 史 昭8	大日本文化協會	961— 14
及 川 儀 右 衛 門	滿 洲 通 史 昭10	傳 文 館	961— 15
矢 野 仁 一	滿 洲 國 歷 史 昭8	日 風 書 店	931— 16
歷史研究會	滿 洲 史 研 究 昭11	四 海 書 房	931— 17
川 江 水 峰	滿洲建國と滿洲上海大事變史 昭11	奉天日日新聞社	961— 18
○			
外交部宣化司	滿洲國建國之真諦 大同2	編 所	931— P1
直 轄 省 特 務 員 會 通 譯 團 觀 察 員 會	報 告 書 大同1	—	931— P2
—	嘉慶皇帝東巡謁陵圖 康1	—	961— P3

編・著者名	書名	発行所	整理番號
中央委員会	建國週年紀念 大同3	編 所	961—P4
—	建國一年回顧録 大同3	—	961—P5
藤 幸 吾	滿洲建國源流史略 大同1		961—P6
黑河省公署	帝制一週年建國三週年紀念特刊 康2	編 所	961—P7
國田 一 龜	宋徽宗皇帝の滿洲配流 昭12	滿鐵奉天圖書館	961—P8
【 962 日 本 史】			
有 恒 社	明治、大正、昭和 歴史資料全集 6冊 昭9 皇室篇 犯罪篇 災害篇 外交篇 戦役外患篇 暗殺篇	編 所	962— 1
東京帝大	讀史備要 昭8	内外書務會社	962— 2
太田 亮	漢韓史籍に關はれたる日韓古代史資料 昭3	磯部甲陽堂	962— 3
太政官修史館	明治史要 2冊 昭8	金 港 堂	962— 4
藤本尚則	明治大正國事年譜 昭2	忠 誠 堂	962— 5
朝比呂一知郎	明治、大正、昭和資料 近代日本史 昭9	資料近代史編所	962— 6
大澤米造	歷代文化皇國史大觀 昭9	奉天毎日新聞社	962— 7
滿川龜太郎	三國干涉以後 昭10	平 凡 社	962— 8
朝鮮總督府	朝 鮮 史 昭7—11	編 所	962— 9

第1編

第1卷 朝 鮮 資 料

第2卷 日 本 資 料

第3卷 支 那 資 料

第2編 自己巳新羅文武王九年
至乙未高麗太祖十八年

第3編

第1卷 自丙申高麗太祖十九年
至癸亥高麗宣宗元年

第2卷 自甲子高麗宣宗二年
至丙寅高麗毅宗元年



編・著者名 題 名 發行所 整理番號

- 第3卷 自丁卯高麗毅宗二年
至壬午高麗高宗十年
- 第4卷 自癸未高麗高宗十一年
至戊寅高麗忠烈王五年
- 第5卷 自己卯高麗忠烈王六年
至庚午高麗忠惠王元年
- 第6卷 自辛未高麗忠惠王二年
至甲寅高麗廢王元年
- 第7卷 自乙卯高麗廢王二年
至壬申高麗恭讓王四年

第4編

- 第1卷 自壬申朝鮮太祖元年
至庚寅朝鮮太宗十年
- 第2卷 自辛卯朝鮮太宗十一年
至癸卯朝鮮世宗五年
- 第3卷 自甲辰朝鮮世宗六年
至壬戌朝鮮世宗廿四年
- 第4卷 自癸亥朝鮮世宗廿五年
至丙戌朝鮮世祖十二年
- 第6卷 自戊午朝鮮燕山君四年
至乙亥朝鮮中宗十年
- 第7卷 自丙子朝鮮中宗十一年
至庚子朝鮮中宗卅五年

第5編

- 第1卷 自戊申朝鮮光海君即位年
至乙丑朝鮮仁祖三年
- 第2卷 自丙寅朝鮮仁祖四年
至丁丑朝鮮仁祖十五年
- 第3卷 自戊寅朝鮮仁祖十六年
至丁酉朝鮮孝宗八年



編・著者名	書名	發行所	整理番號
	第4卷 自戊戌朝鮮孝宗九年 至癸丑朝鮮顯宗十四年		
	第5卷 自甲寅朝鮮顯宗十五年 至己巳朝鮮肅宗十五年		
	第6卷 自庚午朝鮮肅宗十六年 至庚寅朝鮮肅宗卅六年		
	第7卷 自辛卯朝鮮肅宗卅七年 至丙午朝鮮英祖二年		
	第8卷 自丁未朝鮮英祖三年 至己巳朝鮮英祖廿五年		
	第6編		
	第1卷 自庚申朝鮮純祖即位年 至庚辰朝鮮純祖二十年		
	第2卷 自辛巳朝鮮純祖廿一年 至庚子朝鮮憲宗六年		
	第3卷 自辛丑朝鮮憲宗七年 至癸亥朝鮮哲宗十四年		
土 屋 謙 爾	資料 近代日本史 昭8	新京日報社	902—10
東洋文化協會	幕末、明治、大正 回顧八十年史 昭9	編 所	902—11
松 田 甲	日 鮮 史 話 9冊 昭6	朝鮮總督府	902—12
財政經濟學會	新聞集成 明治編年史 昭11—13	編 所	902—13
	第1卷 維新大變革期 文久3—明治6		
	第2卷 民論勃興期 明治8—9		
	第3卷 西陲擾亂期 明治9—11		
	第4卷 國會開設運動期 明治12—14		
	第5卷 民論大彈壓期 明治15—17		
	第6卷 減化政治期 明治18—20		
	第7卷 憲法發布期 明治21—23		
	第8卷 國會振蕩期 明治24—26		
	第9卷 日清戰爭期 明治27—29		

【 95 冊 史】

編者名	冊名	發行所	整理番號
	第10卷 東洋問題多難期 明治30—33		
	第11卷 北清事變期 明治33—35		
	第12卷 日露戰爭期 明治36—38		
	第13卷 戰後國勢動盪期 明治39—41		
	第14卷 日韓合邦期 明治42—45		
	第15卷 全卷索引		
南田 謹 作	日本外史 昭13	博正社	962—14
平安北道	平安北道史 昭13	編 所	962—15
總富 邦 一 郎	近世日本國民史 50冊 昭11	明治書院	962—16
	第1—3卷 織田時代		
	第4—6卷 豐臣時代		
	第7—9卷 朝鮮役		
	第10卷 桃山時代概觀		
	第11卷 關ヶ原役		
	第12卷 大阪役		
	第13卷 家康時代概觀		
	第14卷 鎖國篇		
	第15卷 統制篇		
	第16卷 思想篇		
	第17卷 政治篇		
	第18卷 義士篇		
	第19卷 世相篇		
	第20卷 元祿享保中間時代		
	第21卷 吉宗時代		
	第22卷 寶曆明和篇		
	第23卷 田沼時代		
	第24卷 松平定信時代		
	第25卷 幕末分解接近時代		
	第26卷 雄藩篇		
	第27卷 文政天保時代		

編・著者名	題	行 行 所	經理番號
	第 28 卷 天保改革篇		
	第 29 卷 幕府實力失墜時代		
	第 30 卷 彼理來航以前の形勢		
	第 31 卷 彼理來航及其當時		
	第 32 卷 神奈川條約締結篇		
	第 33 卷 日露英蘭條約締結篇		
	第 34 卷 孝明天皇初期世相篇		
	第 35 卷 公武合體篇		
	第 36 卷 朝幕背離篇		
	第 37 卷 安政條約締結篇		
	第 38 卷 朝幕交渉篇		
	第 39 卷 井伊直弼執政時代		
	第 40—42 卷 安政大獄		
	第 43 卷 櫻田時變		
	第 44 卷 開國初期篇		
	第 45 卷 久世安藤執政時代		
	第 46—48 卷 文久大勢一變		
	第 49 卷 尊皇攘夷篇		
	第 50 卷 攘夷實行篇		

藤井基太郎 明治維新史講話 昭13

雄山閣 962—17

【 963 民 國 史 】

林 應 麟	支那上代之研究	昭3
矢野仁一	清 朝 史	
岡崎文夫	魏晉南北朝通史	昭7
中山久四郎 根 椋 三	支那歷代年表	昭4
(民) 劉 大 伯	五十世紀中國歷年表	民22
(民) 關 一 山	清 代 通 史	民12
橋 本 岩 吉	最新支那史講話	近世之部 大正19
(民) 王 國 良	中國長城沿革攷	民9

光風館書店	963—1
早稻田大學	963—2
弘文堂書房	963—3
中文館	963—4
商務印書館	963—5
—	963—6
日本評論社	963—7
商務印書館	963—8

【 85 歷 史 】

著者名	書名	発行所	整理番號
西山 榮久	支那古代史 大正7	三省堂	962— 9
滿鐵調査課	中華民國第十一年史 大正13	編 所	963— 10
矢野 仁一	近代支那史 昭2	弘文堂書房	963— 11
松井 等	支那現代史 大正13	明善堂	963— 12
(民) 草 蘇	中華通史 2册 民22—23	商務印書館	963— 13
(民) 文 英	大唐西域記 民23	—	963— 14
(民) 夏 曾 佑	中國古代史 3册 民23	商務印書館	963— 15
(民) 馮 家 昇	遼史源流考與遼史初校 民23	哈爾濱東亞學院	963— 16
阪 島 忠 夫	支那古代史論 大正14	東洋文庫	963— 17
(民) 吳 敏 恒	義和團運動史 民20	商務印書館	963— 18
朝鮮研究會	元朝秘史註 大正5	編 所	963— 19
(民) 孟 森	三大疑案考實	—	963— 20
岡崎 文 夫	支那史概説 昭10	—	963— 21
(民) 方 維 九	蒙古概況與內蒙自治運動 民23	商務印書館	963— 22
矢野 仁一	近代蒙古史研究 昭10	弘文堂	963— 23
(譯) コロストウエフ 著 高山洋吉 譯	蒙古近世史 昭12	東 學 社	963— 24
藤 内 互	蒙古史研究 昭12	刀江書店	963— 25
市村 要次郎 川 龜 太郎	支那史 昭25	吉川米七	963— 26
風 間 皐	近世中華民國史 昭13	榮 文 閣	963— 27

○

清太祖武皇帝努兒哈奇實錄

963— 27

【 964 東洋史一般】

桑原博士遺稿
記念發賣會

桑原博士遺稿記念 東洋史論叢 昭6

弘文堂 964— 1

始建の征東行省と其發展とについて(池内 宏)

米國フリヤ美術館所蔵の象嵌粉蠟文銅洗
(池原末治)

六代帝位攻略 (岡崎文夫)

宋代の都市發達に就いて (加藤 肇)

後漢書襄楷傳の太平清領書について
(小泉司繁太)

編・著者名 _____ 題 _____ 名 _____ 發行所 _____ 整理番號 _____

- 銅體飲器考 (重松俊章)
 一條 製法 (清水泰次)
 林邑建國の始祖について (杉本直治郎)
 大唐西域記撰人辯機 (種 暹)
 漢千秋萬歲鏡 (廣田耕作)
 字の起源に就いて (墨淵喜三郎)
 支那學東漸私考 (武藤長平)
 七克力考 (和田 清)
 唐音の意義功用及び「華音の名師」岡島冠
 山について (中山久四郎)
 支那印度の木星紀年法の起源について
 (飯島忠夫)
 支那歴代煎茶考 (山下寅次)
 淨土寶珠集の撰者について (岩井大豊)
 蒙文丹珠爾記 (石濱純太郎)
 粟居同居の起源に就いての小考 (小竹文夫)
 讀 莊 私言 (武内廣雄)
 暹羅國行程及海路考 附、賈耽廣州
 通海夷道の一節 (藤田元春)
 宋の財政難と佛教 (塚本善隆)
 天台山に於ける道教と佛教 (井上以智雄)
 高麗風俗に及せる蒙古の影響に就いて
 (内藤周雄)
 大業傳に表れたる支那思想 (白鳥庫吉)
 李唐本後漢書の考察 (小川麻治)
 宋代の驛馬郵鋪 (曾我部肇雄)
 漢軍(烏真超哈)に就いて (浦 廣一)
 五經正義撰定策問 (鈴木虎雄)
 王安石の吏士合一策一行法を中心として
 (宮崎市定)
 中 唐 管 窺 (高瀬武治郎)
 燕化鏡考 (奥平洪昌)
 元代の農民生活について (高 瀬)
 元朝札魯忽赤考 (秋貞實造)
 生熟茶支給制度略考 (安部健夫)



編・著者名	書名	發行所	整理番號
	漢律略考 (小川茂樹)		
	颶風小説 (新村 出)		
	日本の史學と文化史 (西田直二郎)		
	僧團台講法の一瞥 (中村直壽)		
	高麗朝に於ける如婢に就いて (今石二三雄)		
	建州右衛の遷住地に就いて (高瀬 一)		
	支那首都計畫史上より考察したる長安城 (郭毅利氏)		
	女眞語研究の新資料 (石田幹之助)		
	三井寺所藏の唐通所に就いて (内藤虎次郎)		
	回鶻文摩尼教徒祈願文の斷簡 (羽田 亨)		
池 内 宏 等	白鳥博士遺稿記念 東洋史論叢 大正14	岩 波 書 店	964— 2
	後柏原天皇の御即位式に關する研究 (淺野長武)		
	日麗通商管見 (青山公亮)		
	高麗元宗朝の廢立事件と蒙古の高麗西北面 占領 (池内 宏)		
	敦煌發見「摩尼光佛教法儀略」に見えたる 二三の管語に就いて (石田幹之助)		
	支那天文學の組織及び其起源 (飯島忠夫)		
	銅鐸の化學成分に就て (柳原東治)		
	安西四鎮の建置と其の異同に就いて (大谷壽賀)		
	唐宋時代の商人組合「行」に就いて (加藤 繁)		
	ミヤマン教の世界觀に表はれたる佛教的要素 に就いて (岡下大要)		
	明末清初の回鶻 (桑田六郎)		
	歴史上より觀たる南北支那 (桑原隲麿)		
	支那古代殉送の風習に就いて (重松俊章)		
	明初の開墾と莊田の發生に就いて (清水嘉次)		
	古代日本の末子相続制度に就いて (白鳥 清)		
	朝鮮黨争の起因を論じて土賜との關係に及 ぶ (瀧野馬郎)		
	大金國志に見ゆる奚王の亂に就いて (鳥山啓一)		
	太一について (津田左甚吉)		
	古代支那吳誤吳音に就いて (中山久四郎)		
	支那古代の封建制度 (橋本增吉)		

編・著者名	題 名	發 行 所	整理番號
	回鶻譯本安瑟の俱舍論實義疏 (羽田 亨)		
	千秋節宴樂考 (原田淑人)		
	支那に傳ふる二三の Myth につきて (瀧田雙八)		
	蒙古の詐馬宴と只孫宴 (筋内 互)		
	明の太祖教育勅語に就いて (和田 清)		
中山久四郎 佐藤 謙	東洋の歴史 昭8	立川書店	964— 3
桑原隲藏	東洋史説苑 昭8	弘文堂	964— 4
生木三治郎	東洋諸民族の歴史 昭8	大同館	961— 5
矢野仁一	國民東洋史大綱 昭8	日根書店	964— 6
長村 繁	蒙古寇紀 昭6	文章院	961— 7
河野元三	蒙古史 昭7	早稻田大學	961— 8
(英) ドーソン著 田中孝一郎譯	ドーソン蒙古史 昭8	丸 壽	964— 9
(佛) シヤパン著 (民) 高永鈞譯	西突厥史料 民21	商務印書館	964— 10
東亞歴史協會	蒙古史 昭10	—	964— 11
(民) 高永鈞譯	多桑蒙古史 2冊 民25	—	964— 12
矢野仁一	東洋史大綱 昭13	日根書店	964— 13
日清文化協會	滿蒙史論叢 昭13	編 所	964— 14
	○		
(明) 徐 霖	黑韃事略 民15	東方學會	964— P1
關田 一 龜	東丹國人皇南奔ノ行迹	滿鐵奉天圖書館	961— P2
	【 965 西洋史一般】		
(露) ボクロースキ 一著 岡田宗司譯	ロシア史 昭9	學 藝 社	965— 1
(民) 岡 克 謙	新土耳其 民18	商務印書館	965— 2
(佛) 哈勒以著 (民) 湯以治譯	德國史綱 民21	—	965— 4
(米) 關 浩 著 (民) 胡 榮 譯	新 印 度 民19	—	965— 5
(米) 謝 昌 著 (民) 謝 昌 譯	新 波 斯 民19	—	965— 6
	【 970 傳 記】		
龜井高幸等	西洋人名辭典 昭7	岩波書店	970— 1

編者姓名	書名	發行所	整理番號
[979 人 名 錄]			
加藤 政吉 谷 佐 市	東三省官紳史 大正 ⁸	本書發行所	979— 1
タイムス社	中國及滿洲國人名地名便覽 英文對照 昭 ⁸	編 所	979— 2
淺野 松次郎	日本紳士錄 昭 ⁹	交 詢 社	979— 8
廣 藤 英 男	東三省主要官紳錄	滿 鐵 調 査 課	979— 4
大阪每日新聞社	現代日本人名錄 4册 昭 ⁸ -13	編 所	979— 5
(民) 吳 光 榮	歷代名人年譜 民 ²²	商務印書館	979— 6
明 文 社	滿洲國人名鑑 昭 ⁹	編 所	979— 7
矢 野 省 三	滿洲國職業別商工者名簿 昭 ⁹	日 滿 商 報 社	979— 9
人事興信所	人事興信錄 2册 昭 ⁹ -10	編 所	979— 10
外務省情報部	現代 中華民國 滿洲國 人名鑑 昭 ⁷	東 亞 同 文 會	979— 11
篠 野 三 郎	大衆人事錄 3册 昭 ⁹ -12	帝國協會探偵社	979— 13
慰勞委員會	滿洲建國殉職公務人員紀念錄 大 ²	編 所	979— 14
(民) 潘念之、張采苓	思想家大辭典 民 ³³	世 界 書 局	979— 15
天 海 謙 三 郎	中華民國實業名鑑 昭 ⁹	東 亞 同 文 會	979— 16
(民) 王 雲 五	外國人名地名表	商務印書館	979— 17
大阪每日新聞社	職名別日本人名選 2册 昭 ¹¹	編 所	979— 18
本 村 武 盛	在滿日滿人名錄 2册 昭 ¹¹	滿洲日日新聞社	979— 19
中 西 利 八	新日本人物大系 2册 昭 ¹¹	東 方 經 濟 學 會	979— 21
小 倉 知 正	北支那在留邦人官商錄 昭 ⁹	天 津 興 信 所	979— 22
○			
滿鐵情報課	國民政府重要職員表	編 所	979— P3
滿洲日日新聞社	在滿日滿人名錄	—	979— P3
[990 世界各國年鑑]			
伊 東 祐 毅	世界年鑑 第5回 明 ⁴²	博 文 館	990— 1
內閣統計局	列國國勢要覽 2册 昭 ⁸ -10	編 所	990— 2
國 勢 社	列國國勢年鑑 昭 ⁹	—	990— 3
日露貿易通信社	日露年鑑 昭 ⁵ -13	—	990— 4

編者姓名	書名	發行所	整理番號
[979 人 名 錄]			
加藤政吉 藤谷佐市	東三省官紳史 大正 ⁸	本書發行所	979— 1
タイムス社	中國及滿洲國人名地名便覽 英文對照 昭 ⁸	編 所	979— 2
淺野松次郎	日本紳士錄 昭 ⁹	交詢社	979— 8
廣藤英男	東三省主要官紳錄	滿鐵調查課	979— 4
大阪每日新聞社	現代日本人名錄 4册 昭 ⁸ -13	編 所	979— 5
(民)吳光榮	歷代名人年譜 民 ²²	商務印書館	979— 6
明文社	滿洲國人名鑑 昭 ⁹	編 所	979— 7
矢野省三	滿洲國職業別商工者名簿 昭 ⁹	日滿商報社	979— 9
人事興信所	人事興信錄 2册 昭 ⁹ -10	編 所	979— 10
外務省情報部	現代 ^{中華民國} 滿洲國人名鑑 昭 ⁷	東京同文會	979— 11
篠野三郎	大衆人事錄 3册 昭 ⁹ -12	帝國協會探偵社	979— 13
慰靈委員會	滿洲建國殉職公務人員紀念錄 大 ²	編 所	979— 14
(民)潘念之、張采苓	思想家大辭典 民 ³³	世界書局	979— 15
天海謙三郎	中華民國實業名鑑 昭 ⁹	東京同文會	979— 16
(民)王雲五	外國人名地名表	商務印書館	979— 17
大阪每日新聞社	職名別日本人名選 2册 昭 ¹¹	編 所	979— 18
本村武盛	在滿日滿人名錄 2册 昭 ¹¹	滿洲日日新聞社	979— 19
中西利八	新日本人物大系 2册 昭 ¹¹	東方經濟學會	979— 21
小倉知正	北支那在留邦人官商錄 昭 ⁹	天津興信所	979— 22
○			
滿鐵情報課	國民政府重要職員表	編 所	979— P3
滿洲日日新聞社	在滿日滿人名錄	—	979— P3
[990 世界各國年鑑]			
伊東祐毅	世界年鑑 第5回 明 ⁴²	博文館	990— 1
內閣統計局	列國國勢要覽 2册 昭 ⁸ -10	編 所	990— 2
國勢社	列國國勢年鑑 昭 ⁹	—	990— 3
日露貿易通信社	日露年鑑 昭 ⁵ -13	—	990— 4

【 98 年 圖】

編者名	書名	冊數	年次	發行所	整理番號
日蘇通信社	日蘇年鑑	8冊	昭5-13	丸善	990—4
內閣統計局	國際統計摘要	昭2		編所	990—5
國勢社	列國國勢年鑑	2冊	昭9-10	編所	990—P1

【 991 滿洲國年鑑】

國務院統計局	滿洲國年報	3冊	大同2-康4	編所	991—1
滿洲文化協會	滿蒙年鑑	昭7		—	991—3
佐藤四郎	滿洲國年鑑	大同3		滿洲野院	991—4
東北文化社	東北年鑑	民20		編所	991—5
滿洲日日新聞社	滿洲年鑑	3冊	昭10-13	—	991—6
滿洲國通信社	滿洲國現勢	4冊	康3-5	—	991—7
滿蒙協會	蒙古年鑑	昭11		—	991—8
滿鐵	滿洲概觀	昭11		—	991—9
哈爾濱市公報	哈爾濱市勢年鑑	康2		—	991—10
國務院統計局	滿洲帝國國勢グラフ	康4		—	991—11

【 992 日本年鑑】

朝日新聞社	朝日年鑑	8冊	昭6-13	編所	992—1
時事新報社	時事年鑑	7冊	昭6-13	—	992—2
國民新聞社	國民年鑑	5冊	昭8-13	—	992—3
大坂每日新聞社	每日年鑑	6冊	昭8-13	—	992—4
中央公論社	中央公論年報	3冊	昭9-11	—	992—5
滿洲日報社	滿日年鑑	昭9		—	992—6
改造社	改造年鑑	2冊	昭10-11	—	992—7
內務省文書課	日本帝國國勢一斑	5冊	昭6-13	一誠堂	992—8
關東都督府	關東都督府統計書	24冊	明10-昭9	—	992—10
日本探察問題調査會	日本年鑑	昭10		河出書房	992—11
櫻井治作	北海道樺太年鑑			小樽新聞社	992—12

【 88 年 鑑】

編・著者名	書名	発行所	整理番號
朝日新聞社	朝日東亞年報 昭13	—	992—14
【 993 民國年鑑】			
東亞同文會	支那年鑑 6冊 大正1 昭10	編 所	993—1
商務印書館	中國年鑑 民15	—	993—3
上海日報社	中國年鑑 3冊 昭7—11	—	993—4
新華書店	國民年鑑 民17	—	993—5
申報年鑑社	申報年鑑 5冊 民23—25	—	993—6
民國中央統計處	民國二十二年之建設 民23	—	993—7
湖南省政府	湖南年鑑 民25	編 所	993—9
【 994 蘇聯年鑑】			
蘇聯調查課	ソグエート聯邦年鑑 昭6.9	編 所	994—1
—	ソグエート聯邦國勢統計年史 昭5	—	994—2
—	蘇聯邦要覽 2冊 昭11—13	—	994—3
日蘇通信社	ソグエート聯邦統計年鑑 昭11	—	994—4
【 996 米國年鑑】			
國際問題調査會	北アメリカ年鑑 昭10	河出書房	996—1
—	南アメリカ年鑑 昭10	—	996—2
—	アフリカ年鑑 昭10	—	996—3
【 998 獨逸其他年鑑】			
日本電報通信社	獨逸大觀 昭11	編 所	998—1
○			
國際問題調査會	オセアニヤ年鑑 昭10	河出書房	999—1
—	ヨーロッパ年鑑 昭10	—	999—2
—	アジア年鑑 昭10	—	999—3

【漢 籍】

編·著者名 書 名 發 行 所 整理卷號

10 漢 籍 之 部

【 1 經 部】

(清) 端 麟 等	十三經注疏	156册 同治10	廣東書局	10— 3
(清) 陳 澧	漢儒通義	7卷 咸豐6		10— 4
(清) 黃 嗣 東	道學淵源錄	30册 光緒34		10— 5
○				
(清) 李 光 地	御纂周易折中	22卷 光緒14		11— 1
○				
(清) 尤 瑛	欽定禮記義疏	82卷 光緒14	江南書局	14— 1
(清) —	欽定儀禮義疏	49卷 光緒14	—	14— 2
(清) —	欽定周官義疏	48卷 光緒14	—	14— 3
○				
(清) 王 澐	欽定春秋傳說彙纂	38卷 光緒14	江南書局	15— 1
畢 鴻	十六國春秋	100卷		15— 2
○				
滿日文化協會	御注孝經	1册	編 所	16— 1
○				
滿日文化協會	四書集註直解	1册	編 所	17— 1
○				
(清) 謝 啓 昆	小學考	50卷 光緒14	浙江書局	191— 1
(民) 丁 仲 誥 編	說文解字詁林	66册 民20	醫學書局	191— 2
○				
	漢滿六部成語	6卷 道光22		192— 1
	滿文公文成語	5册 道光22		192— 2
庫籍整理處編	西夏國書字典音同一卷	56頁 康3	編 所	192— 5
(民) 段 玉 裁	段氏說文解字註	13册 民19	掃 葉 山 房	192— 6
(民) 周 鍾 麟	新體說文大字典	10册 民20	求 古 齋	192— 7

編·著者名	書名	卷數	編行所	整理番號
(民) 姚姬傳	姚氏故辭類纂	69卷	文瑞樓	193—8
(民) 王先謙	王氏續古文辭類	34卷 民18	—	192—9
李仲雨等	許氏說文解字	15卷 邦照3	—	192—10
○				
蘇元升等	佩文韻府	106卷 康熙50	掃葉山房	193—2
王預節等	韻府拾遺	106卷 康熙59	—	193—2
(清) 允祿等	欽定同文韻統	6卷 宣統2	—	193—3
【 2 史 部】				
(漢) 司馬遷	史記	130卷 光緒4	金書棧局	20—1
(漢) 班固	前漢書	120卷 同治8	—	20—2
(宋) 范曄 (晉) 司馬彪	後漢書	120卷 同治8	—	20—3
(晉) 陳壽	三國志	65卷 同治9	—	20—4
(唐) 房元齡等	晉書	133卷 同治10	—	20—5
(宋) 沈約	宋書	100卷 同治11	—	20—6
(宋) 魚子顯	南齊書	60卷 同治13	—	20—7
(唐) 魏思謙	梁書	56卷 同治11	—	20—8
(唐) 魏思謙	陳書	36卷 同治11	—	20—9
(北齊) 魏收	魏書	114卷 同治11	—	20—10
(唐) 李百藥	北齊書	50卷 同治13	—	20—11
(唐) 令狐德棻	周書	50卷 同治13	—	20—12
(唐) 魏徵	隋書	85卷 同治10	—	20—13
(唐) 李延壽	南史	80卷 同治11	—	20—14
—	北史	100卷 同治11	—	20—15
(五代後晉) 劉昫	舊唐書	200卷 同治11	—	20—16
(宋) 歐陽修等	唐書	225卷 同治12	—	20—17
(宋) 薛居正	舊五代史	150卷 同治11	—	21—18
(宋) 歐陽修	五代史	75卷 同治11	—	20—19
(元) 托克托等	宋史	496卷 光緒11	—	20—20

【清 編】

編者名	書名	卷數	年	發行所	整理番號
(元) 托克托等	遼史	116卷	同治13	金陵書局	10—21
—	金史	135卷	同治13	—	20—22
(明) 宋 源等	元史	210卷	同治13	—	20—23
(清) 張廷玉	明史	326卷	光緒3	—	20—24
(民) 何 郡 恣	新元史	258卷	民7	—	20—25
內 關	遼金元史語解	24卷	光緒3	江蘇書局	21—26
(清) 顧 鄂	遼史拾遺	24卷	光緒1	—	20—27
—	西藏史大綱	—	—	北京大學	20—28
(民) 趙爾巽等	清史稿	536卷	民16	清史館	20—29
(清) 鄭元震	二十一史約編	8册	康熙36	善成堂	20—30
曾 康	元書	20册	—	—	20—31
林 泰 輔	朝鮮史	5卷	明治25	吉川半七	20—32
○					
(清) 齊 召 南	歷代帝王年表	11冊	清光4	小田瑞仙館	21—1
(清) 楊 遠 曾 等	御批通鑑輯覽	119卷	光緒5	殿 版	21—2
(明) 王 在 晉	三朝遼事實錄	17卷	民20	江 國 圖	21—3
增 田 貞	皇朝聖典舉要	8卷	—	—	21—4
(清) 張 敦 頤	六朝事迹編類	光緒13	—	—	21—5
水 野 梅 曉 編	大清歷朝實錄	康熙4	—	大藏出版社	21—6
○					
(清) 魏 源	聖武記	14卷	道光26	古 微 堂	22—1
(宋) 徐 夢 莘	三朝北盟會編	250卷	光緒4	—	22—2
(清) 張 溥 等	五朝紀事本末	228卷	光緒24	思 賢 書 局	22—3
(民) 唐 邦 直	清皇室四譜	2册	民12	清 史 館	22—4
○					
(清) 王 先 謙	東 華 錄	424卷	光緒10	新成圖書公司	23—1
—	東 華 續 錄	100卷	光緒10	—	23—2
—	東 華 續 錄	80卷	—	—	23—4

編·著者名	書名	卷數	年代	發行所	整理番號
(清) 朱 壽朋	東華續錄	64卷	宣統1	集成圖書公司	23— 1
(清) 勅 撰	滿洲實錄	3册	民19	遼寧通志館	23— 5
(清) 葉 德輝校	元朝秘史	12卷	光緒33	觀古堂	23— 6
(民) 金 毓麟	渤海國志長編	22卷	民20	金氏千禧山館	23— 7
(清) 李 儒	尙 史	70卷	民14	省立教務工廠	23— 8
(清) 宋 宇文	大金國志	40卷	嘉慶2	冊原山房	23— 9
故宮文獻館	清太祖努爾哈齊實錄	2册	民20	編 所	23— 10
(民) 武進唐	蒙兀兒史記	28册	民20	精一官藏	23— 11
原籍整理	太祖高皇帝實錄稿本三種	4册	康熙2	編 所	23— 12
○					
(清) 于 敏中	國朝宮史	36卷	民14	東方學會	24— 1
(清) 豐 桂等	續國朝宮史	120卷	民21	故宮博物院	24— 2
(清) 何 秋濤	元聖武親征錄	1册	道光20		24— 3
(清) 阿 桂等	滿洲源流考	30卷	乾隆43	武英殿	24— 4
—	滿洲源流考	20卷	康熙1	大同學院出版部	24— 5
(清) 陸 錫熊	蒙古源流	4册	乾隆55		24— 6
—	蒙古源流箋證	2册	乾隆54		24— 7
(清) 彭 孫貽	平 冠 志	12卷	民國20	國立北平圖書館	24— 8
○					
(清) 潘 世恩	編纂外藩蒙古圖部王公表	10卷	道光10	殿 版	25— 1
(清) 國 史館	編纂外藩蒙古圖部王公傳		道光16	—	25— 2
(民) 金 學	滿洲老檔秘錄	2卷	民7	—	25— 3
(清) 國 史館	滿洲名臣傳	48卷	光緒刊	編 所	25— 4
—	漢名臣傳	32卷	光緒刊	—	25— 5
(清) 李 桓	國朝善獻類徵初編	720卷	光緒16	滿陰李氏刊	25— 6
(清) 阿 桂等	八旗氏族通譜輯要	乾隆57		武英殿	25— 7
(民) 黃 維翰	黑水先民傳	24卷	民11		25— 8
(清) 李 元度	國朝先正事略	同治8			25— 9

【漢 籍】

編·著者名	書名	卷數	編行所	整理番號
(清) 金 梁	光宣列傳	康熙1	蓬海書社	25—10
監察院總務處	于監察院長哀思錄	大同2	編 所	25—11
○				
庫籍整理處編	國朝史料拾零	康熙1	編 所	26—1
—	明季史料拾零	康熙1	—	26—2
(清) 劉 知 幾	史通削繁	道光13	芸 香 堂	26—3
國立中央研究院	明清史料	民24	商務印書館	26—4
(民) 王 國 維	蒙古史料校註	民15	青 華 學 校	26—5
○				
(清) 祁 韻 士	藩部要略	22卷 光緒10	浙 江 書 局	27—1
(民) 尚 秉 時	辛壬春秋	民13	李壬歷史編輯社	27—2
○				
(民) 蕭 一 山	近代秘密社會史	4册 民24	編 所	28—1
庫籍整理處	史料叢編	1—3 康熙2	—	28—2
—	大庫史料目錄	康熙1—2	—	28—3
(民) 孟 森	明元清系通紀	民23	—	28—4
(民) 尚 秉 和	歷代社會狀況史	—	—	28—5
朝鮮史編纂會	朝鮮史料叢刊	47—12	編 所	28—6
(民) 謝 國 楨	清開國史料考	民20	國立北平圖書館	28—7
—	晚明史籍考	民20	—	28—8
(清) 顧 炎 武	山東考古錄及續	光緒9	山 東 書 局	28—9
(民) 故宮博物院	史料旬刊	民19	編 所	28—10
張 蔚、潘 榮 臨	北平史蹟叢書	民26	松 筠 閣 書 莊	28—11
(清) 蔣 伊	臣 鑒 錄	康熙14	—	28—12
【 3 地 理 部 】				
鄂 河 通 世	支 那 通 史	5卷 明治30	大 日 本 國 書 社	30—1
(清) 顧 炎 武	天 下 郡 國 利 病 書	130卷 光緒5	大 日 本 國 書 社	30—2
(清) 顧 祖 禹	讀 史 方 輿 紀 要	130卷 光緒5	大 日 本 國 書 社	30—3

編者名	書名	卷數	刊行所	整理番號
(清) 錢 站	新觀注地理志	16卷 乾隆57	四 進 齋	30— 4
(清) 楊 丕 復	輿地沿革表	40卷 道光5		30— 5
(民) 許 震 鼎	許氏方輿考證稿	50册 民21	華 僑 閣	30— 6
(清) 殷 田 森	大清一統輿圖	32册 同治2	景 恒 樓	30— 7
(清) 楊 守 欽 魏 欽 猷	歷代輿地沿革險要圖	92册 光緒5		30— 8
(唐) 李 吉 甫	元和郡縣圖志	40卷 光緒6	金 陵 書 局	30— 9
(清) 洪 亮 吉	乾隆府廳州縣圖志	50卷 嘉慶7		30— 10
(清) 歐 陽 忞	輿地廣記	40卷 光緒25	廣 雅 書 局	30— 11
(清) 黃 沛 勳	西藏圖考	6册 光緒33		30— 12
(清) 俞 正 燾 等	小方壺齋輿地叢鈔	15函 光緒27		30— 13
(清) 李 輔	全 遼 志	6册 嘉靖16		30— 14
(清) 王 國 朝	新疆國界圖志	4册		30— 15
(清) 周 宅 仁	西域總志	4册 嘉慶8		30— 16
	衛藏通志	8册 光緒23		30— 17
彭 豐 泉	蜀 故	5册 乾隆38		30— 18
北 平 民 社	內 府 地 圖	民23		30— 19
鄭 代 鈞 繪 刊	亞洲北段地圖			30— 20
(清) 馮 敏 光	皇朝輿地略	同治2	寶 善 坊	30— 21
(民) 魏 應 麟	增訂吉林地理紀畧	民20		30— 22
(清) 董 恂	江北運程	咸豐10		30— 23
(清) 張 爾 奇	江蘇全省輿圖	光緒21	會 典 館	30— 24
浙 江 省	浙江全省輿圖並水陸道里記		編 所	30— 25
(民) 許 論	九 邊 圖 論	光緒16	知 不 足 齋	30— 26
(民) 朱 兆 麟	江西全省輿圖	光緒23		30— 27
(民) 桂 文 燾	廣 東 圖 說			30— 28
[31 部 會 郡 縣]				
(清) 吳 廷 燾	東三省沿革表	6卷 宣統1	退 耕 堂	31— 1
(清) 阿 桂 等	奉天省盛京通志	120卷 乾隆43	武 英 殿	31— 2

【續 編】

編者姓名	書名	冊數	發行所	整理番號
(清) 魏 儒	奉天省盛京通志	48卷 乾隆11	奉 天 府	31— 3
遼 陽 縣 公 署	奉天省遼陽縣志	40卷 民16	遼 陽 縣 公 署	31— 4
西 安 縣 公 署	奉天省西安縣志略	2册 宣統3	—	31— 5
(民) 李 毅 等	奉天省開原縣志	12卷 民18	開 原 縣 公 署	31— 6
(民) 蔣 齡 益 等	奉天省鐵嶺縣志	6册 民6	鐵 嶺 縣 公 署	31— 7
陳 德 鈺 等	鐵嶺街志及續	大同3	—	31— 8
雙 山 縣 公 署	奉天省雙山縣志	1册 民4	編 者 所	31— 19
—	奉天省雙山縣鄉土志略	民19	—	31— 30
(民) 魏 文 金	奉天省昌圖縣志	4册 民5	昌 圖 縣 公 署	31— 14
韓 宗 承 等	續修昌圖縣志	原址2	—	31— 268
(民) 曾 有 寬	瀋 陽 縣 志	15卷 民6	瀋 陽 縣 公 署	31— 15
(民) 王 郁 賢 等	奉天省蓋平縣志	16卷 民19	蓋 平 縣 公 署	31— 16
(民) 蘇 民 等	奉天省興京縣志	15卷 民14	興 京 縣 公 署	31— 17
張 偉 東 等	興 京 縣 志	康熙3	—	31— 202
(民) 張 博 惠	新 民 縣 志	18卷 民15	新 民 縣 公 署	31— 18
(民) 李 補 岳	奉天省遼中縣志	6卷 民19	遼 中 縣 公 署	31— 23
(民) 李 潤 等	奉天省東豐縣志	4卷 民30	東 豐 縣 公 署	31— 27
柳 河 縣 公 署	柳 河 縣 志	1卷 大同3	編 者 所	31— 30
王 慶 雲	奉天省營口縣志	2册 大同2	營 口 縣 公 署	31— 31
(民) 王 鶴 齡	錦 州 省 義 縣 志	19卷 民20	義 縣 公 署	31— 33
(清) 永 貞 編	奉天省遼陽鄉土志	1册 光緒34	遼 陽 縣 公 署	31— 205
(民) 李 紹 華 等	通 化 縣 志	4册 民16	通 化 縣 公 署	31— 198
邵 芳 錦	通 化 縣 志	康熙2	—	—
(民) 蔣 齡 益 等	安 東 省 鳳 城 縣 志	4册 民10	鳳 城 縣 公 署	31— 209
李 潤 等	奉天省梨樹縣志	2册 康熙1	梨 樹 縣 公 署	31— 213
黎 鏡 霖 等	奉天省撫順縣志	1册	撫 順 縣 公 署	31— 211
(清) 金 衍 海	奉天省海城縣志	1册 宣統1	海 城 縣 公 署	31— 215
(民) 趙 普 臣	吉 林 省 懷 德 縣 志	4册 民18	懷 德 縣 公 署	31— 216

編者姓名	書名	冊數	編行所	整理番號
孫 震 章	吉林省續修懷德縣志	2册 康熙1	懷德縣公署	81-2-218
—	懷德縣鄉土誌	1册 宣統1	—	31-217
(清) 陳 文 燁	奉天省奉化縣志	4册 光緒10	—	31-218
宋 翰 元	安東省莊河縣志	2册 康熙1	編 所	31-219
(民) 郝 玉 瑛	安東省岫巖縣志	4册 民17	岫巖縣公署	31-220
(清) 長 順 等	吉 林 通 志	122卷 民19	將軍公署	31-36
羅 英 韻	吉 林 外 記	10卷 光緒31	湘西村舍	31-37
(清) 李 子 丹	吉林輿地圖說	光緒 24	—	31-38
雙陽縣公署	雙陽縣鄉土志	1卷 民4	編 所	31-30
齊安縣公署	牡丹江省齊安縣志	4卷 民13	—	31-40
(民) 張 其 軍	吉林省扶餘縣志	1卷 民13	扶餘縣公署	31-41
(民) 張 鼎 銘 等	濱江省雙城縣志	15卷 民14	雙城縣公署	31-42
(民) 朱 友 強	吉林省農安縣志	8卷 民17	農安縣公署	31-43
—	三江省樺川縣志	6卷 民17	樺川縣公署	31-44
—	濱江省賓縣志	4卷 民18	賓縣縣公署	31-45
(民) 袁 繼 漢	牡丹江省齊安縣志	2卷 民16	齊安縣公署	31-46
羅 賢 曹 等	通化省臨江縣志	6册 康熙2	臨江縣公署	31-212
(民) 楊 步 勇	三江省依蘭縣志	1册 民9	依蘭縣公署	31-225
韓 大 光 等	三江省寶清縣志	康熙3	寶清縣公署	31-228
(清) 徐 宗 亮	黑龍江通略	6卷 光緒15	—	31-47
(清) 鄂 西 青	黑龍江外紀	8卷 光緒20	—	31-48
(清) 金 藻	黑龍江通志綱要	2册 光緒21	—	31-49
(民) 張 伯 英 等	黑龍江志稿	62卷 民22	黑龍江省政府	31-50
(民) 何 寅 等	濱江省呼蘭縣志	16卷 民19	呼蘭縣公署	31-51
(民) 孫 壽 圖	黑河省愛輝縣志	14卷 民9	愛輝縣公署	31-52
(民) 何 士 舉	龍江依安縣志	1卷 民19	依安縣公署	31-53
(民) 胡 鎮 海	濱江省綏化縣志	6册 民10	綏化縣公署	31-208
(民) 崔 福 坤 等	龍江訥河縣志	6册 民21	訥河縣公署	31-207

【續】

編·著者名	書名	卷數	發行所	整理番號
(清) 和坤等	欽定熱河志	120卷 順慶1	遠東醫社	31—54
(清) 郝忠	熱河省承德府志	84卷 道光11		31—55
(民) 孫慶章	錦州省朝陽縣志	36卷 民19	朝陽縣公署	31—56
孫廷璽等	熱河省赤峰縣志略	1册 大同2	赤峰縣公署	31—47
賈如龍等	錦州省阜新縣志	6册 順慶2	阜新縣公署	31—210
呂中濟等	——北鎮縣志	大同2	北鎮縣公署	31—19
(民) 范炳勳等	——綏中縣志	民18	綏中縣公署	31—20
席文霖等	——續綏中縣志	大同2	——	31—20
(民) 郭進等	——錦西縣志	民18	錦西縣公署	31—21
(民) 王紹武等	——臺安縣志	民19	臺安縣公署	31—24
馬晉田等	——彰武縣志	大同2	彰武縣公署	31—249
(民) 韓廣芳等	——興城縣志	民16	興城縣公署	31—250
(民) 于雲峯等	安東省安東縣志	民20	安東縣公署	31—26
	——懷仁(桓仁)縣志	宣統2	桓仁縣公署	31—
(民) 程廷恒	——寬甸縣志略	民4	寬甸縣公署	31—11
顧明述等	——桓仁縣志	廣4	桓仁縣公署	31—
(民) 張洪超等	通化省輯安縣志	民20	輯安縣公署	31—22
(民) 車煥文等	——撫松縣志	民19	撫松縣公署	31—25
(清) 張碩田	——輝南廳志	宣2	輝南縣公署	31—63
(民) 吳清華	——輯安縣鄉土誌	民4	輯安縣公署	31—267
【河北省之部】				
(清) 李鴻章等	畿輔通志	240册 光緒10	古運華池	31—K 61
(清) 張之洞等	光緒順天府志	130卷 光緒12		31—K 1
顧樂龍等	河北省靈壽縣志	10卷 順慶24		31—K 6
(清) 顧憲	河北省新城縣志	14卷 順慶32		31—K 7
(清) 鍾文英等	河北省井陘縣志	8卷 雍正8		31—K 8
(清) 吳廷燾	河北省天津縣志	24卷 乾隆4	天津編所	31—K 2
(清) 吳嘉元	續天津縣志	20卷 同治9	——	31—K 3

編·著者名	書名	卷數	刊行所	整理番號
(清) 張登高等	河北省易水志	18卷 乾隆12		31—K 9
(清) 張萬鈺等	河北省新州志	8卷 乾隆31		31—K10
(清) 劉和梅等	河北省臨榆縣志	84卷 隆乾21		31—K 4
(清) 吳泰來	河北省唐縣志	10卷 隆乾52		31—K11
—	河北省東鹿縣志	10卷 嘉慶4		31—K12
(清) 沈樂壽等	河北省開州志	8卷 嘉慶11		31—K13
(清) 陳桂	河北省南宮縣志	16卷 道光28		31—K 5
(清) 黃開運	河北省定州志	22卷 道光30		31—K14
(清) 何俊等	河北省大名府志	22卷 咸豐3		31—K20
(清) 韓振光	河北省遷安縣志	18卷 同治5		31—K15
(清) 孫崇檢等	河北省清苑縣志	16卷 同治12		31—K17
(民) 姚壽昌	—	民28	清苑縣公署	31—K18
(清) 張博德	河北省深城縣志	14卷 同治12		31—K16
(清) 方宗顯	河北省棗強縣志補正	5卷 同治13		31—K19
(清) 趙文選等	河北省正定縣志	46卷 光緒1		31—K21
—	河北省元氏縣志	14卷 光緒1		31—K22
(清) 韓志超等	河北省藁縣志	10卷 光緒2		31—K23
(清) 史夢蘭	河北省樂亭縣志	16卷 光緒3		31—K24
(清) 夏貽鈺	河北省永年縣志	40卷 光緒3		31—K25
(清) 曹銳	河北省獲鹿縣志	14卷 光緒7		31—K26
—	河北省故城縣志	12卷 光緒11		31—K27
(清) 黃可潤等	河北省無極縣志	10卷 光緒19		31—K28
(清) 吳思忠	河北省容城縣志	8卷 光緒22		31—K29
(清) 張傳斌	河北省趙州志	16卷 光緒23		31—K30
(清) 吳壽源	河北省藁津縣志	12卷 光緒25		31—K31
(清) 武常卿	新修南樂縣志	10卷 光緒29		31—K32
(清) 賈佩錦	河北省鹽山縣志	20卷 民5	鹽山縣公署	31—K33
(民) 李蘭增等	河北省文安縣志	12卷 民11		31—K34

【編 目】

編·著者名	書 名	卷 數	刊 行 所	整理番號
(民) 呂 維	河北省良鄉縣志	8卷 民13		31—K35
(民) 高 禮 官 等	河北省房山縣志	8卷 民17		31—K36
(民) 王 國 楨 等	河北省冀縣志	30卷 民18		31—K37
(民) 高 遵 章 等	河北省青縣志	16卷 民20		31—K38
(民) 洪 尊 第	河北省寶坻縣志	18卷 民6		31—K39
(清) 王 大 本 等	河北省深州志	18卷 光緒24		31—K40
(清) 王 燾	河北省邯鄲縣志	12卷 乾隆31		31—K41
(清) 萬 廷 蘭 等	河北省獻縣志	20卷 乾隆25		31—K42
	大名府續志	6卷 咸豐3		31—K20
(清) 何 松 琴 等	昌 黎 縣 志	4册 同治4		31—K43
(清) 沈 錫	薊 州 志	8册 道光11		31—K44
(清) 朱 克 閔 等	平 谷 縣 志	4册		31—K45
(民) 張 年 等	涪 縣 志	12册 民22		31—K46
(民) 梁 際 榮 等	廣 宗 縣 志	5册 民23		31—K47
(民) 周 存 培 等	涿 縣 志	4册 民25		31—K48
(清) 牛 觀 鼎 等	河北省豐潤縣志	光緒15		31—K49
(民) 陳 昌 源 等	—— 滿城縣志略	民20		31—K50
(民) 陳 式 鑑 等	—— 香河縣志	民25		31—K51
(清) 傅 修 等	—— 直隸遵化州志	乾隆59		31—K52
(清) 劉 炳 等	—— 任邱縣志	乾隆27		31—K53
(清) 王 駿 賢 等	—— 深澤縣志	咸豐11		31—K54
(民) 李 杏 德	—— 靜海縣志	民23		31—K55
(民) 李 鶴 冷	—— 高陽縣志	民24		31—K56
(清) 李 于 楨 等	—— 長垣縣志	嘉慶15		31—K57
(清) 潘 開 奇 等	—— 昌平州志	光緒11		31—K58
(清) 史 元 節 等	—— 安肅縣志	嘉慶13		31—K59
(清) 永 平 府 編	—— 永平府志	光緒2		31—K60
(民) 郭 鴻 鼎 等	—— 安次縣舊志四種合刊	民25		31—K61

【編 纂】

編·著者名	書 名	發行所	整理番號
(民) 張汝瀛等	河北省景縣新志 民23		31—K63
(民) 劉國森等	—— 南皮縣志 民21		31—K64
(民) 賈 廷 鼎	—— 固安文獻志 民17		31—K65
(民) 王 紹	—— 天津市概要 民23		31—K66
(民) 陳 宗 著	—— 燕都叢考 民18		31—K67
(民) 彭作楨等	—— 完縣新志 民23		31—K68
(民) 陳 泉	—— 三河縣志 民24		31—K69
(民) 吳寶銘等	—— 三河縣新志 民24		31—K70

【山東省 之 部】

(清) 王命新等	山東省汶上縣志 8卷 康熙53		31—ST 4
	—— 滕城縣志 4卷 康熙22		31—ST 6
(清) 謝香園等	—— 東昌府志 嘉慶13		31—ST 6
(清) 鍾 詒 等	—— 益都縣志 14卷 康熙11		31—ST 7
(清) 盧承瑛等	—— 堂邑縣志 20卷 康熙50		31—ST 8
(清) 龔 一 均 等	—— 鄒 縣 志 14卷 康熙55		31—ST 9
	—— 萊蕪縣志 10卷 康熙58		31—ST 10
	—— 齊河縣志 10卷 乾隆1		31—ST 11
(清) 梁 大 麟	—— 夏津縣志 10卷 乾隆5		31—ST 12
(清) 周 來 邵	—— 昌邑縣志 8卷 乾隆7		31—ST 13
(清) 賈 懷 祖	—— 平原縣志 10卷 乾隆13		31—ST 14
(清) 韓 廷 儒	—— 高密縣志 11卷 乾隆18		31—ST 15
(清) 王 允 深 等	—— 陽信縣志 8卷 乾隆24		31—ST 16
(清) 潘 遇 霖 等	—— 沂州府志 35卷 乾隆25		31—ST 17
(清) 王 誦 芬 等	—— 濰 縣 志 6卷 乾隆25		31—ST 18
(清) 嚴 文 典 等	—— 濰台縣志 4卷 乾隆28		31—ST 19
(清) 胡 德 琳 等	—— 濟陽縣志 14卷 乾隆37		31—ST 20
(清) 潘 田 敬	—— 曲阜縣志 100卷 乾隆39		31—ST 21
(清) 蔣 大 慶 等	—— 泰安縣志 12卷 道光8		31—ST 22

【漢 籍】

編者名	書名	卷數	刊行所	整理番號
(清) 王 遵 亨 等	山東省德州志	12卷 乾隆53		31-S T24
(清) 許 紹 錦 等	—— 莒州志	18卷 嘉慶1		31-S T25
(清) 周 以 勳	—— 濟平縣志	6卷 嘉慶3		31-S T26
(清) 劉 翰 周	—— 壽光縣志	20卷 嘉慶5		31-S T27
(清) 鍾 雨 泉	—— 長山縣志	16卷 嘉慶6		31-S T28
(清) 魏 禮 輝	—— 昌樂縣志	32卷 嘉慶14		31-S T29
(清) 吳 增 等	—— 鄒城縣志	10卷 嘉慶15		31-S T30
(清) 顧 文 燾 等	—— 青城縣志	12卷 嘉慶23		31-S T31
(清) 劉 廷 燾 等	—— 商河縣志	8卷 道光16		31-S T32
(清) 張 安 等	—— 沂水縣志	10卷 道光7		31-S T33
(清) 劉 士 頌	—— 城武縣志	14卷 道光10		31-S T34
(清) 楊 紹 勳 等	—— 博平縣志	6卷 道光11		31-S T35
(清) 吳 琦 等	—— 章邱縣志	10卷 道光13		31-S T36
(清) 成 瑤 等	—— 濟南府志	72卷 道光30		31-S T 2
(清) 沈 淮 等	—— 陵 縣 志	22卷 道光26		31-S T37
(清) 李 國 等	—— 平度縣志	27卷 道光29		31-S T38
(清) 楊 容 盛 等	—— 濱州志	27卷 咸豐		31-S T39
(清) 李 燾	—— 金鄉縣志	12卷 同治1		31-S T40
(清) 沈 淮 等	—— 臨邑縣志	16卷 同治13		31-S T41
(清) 劉 珠 等	—— 定陶縣志	10卷 光緒2		31-S T42
(清) 盧 崑	—— 東平縣志	27卷 光緒5		31-S T43
(清) 衛 葆	—— 棲霞縣志	10卷 光緒5		31-S T44
(清) 張 道 源	—— 荷澤縣志	18卷 光緒10		31-S T45
(清) 趙 奕 許 等	—— 魚台縣志	4卷 光緒15		31-S T46
——	—— 泗水縣志	16卷 光緒19		31-S T47
(清) 趙 翰 雲 等	—— 鄆城縣志	16卷 光緒19		31-S T48
(清) 李 敬 修 等	—— 費 縣 志	12卷 光緒22		31-S T49
(清) 劉 文 燾 等	—— 濰 縣 志	10卷 光緒24		31-S T50

編者名	書名	卷數	發行所	整理番號
(清) 汪鴻孫等	山東省恩縣志	10卷 宣統1		31-S T51
(民) 張方輝等	—— 無棣縣志	24卷 民14		31-S T52
(民) 袁榮安等	—— 膠澳志	12卷 民17		31-S T53
(民) 黃景曾等	—— 邱縣志	8卷 民23		31-S T54
(民) 孫 翹	—— 觀城縣志	10卷 民22		31-S T55
(民) 梁永陔	—— 冠縣志	10卷 民22		31-S T56
(民) 毛承霖等	—— 歷城縣志	54卷 民15		31-S T57
(清) 張 庚 等	臨沂直隸州志	11卷 乾隆50		31-S T58
(清) 于 始 龍 等	山東省掖縣志	8卷 乾隆26		31-S T59
(清) 張 彤	濰掖縣志	4卷 嘉慶13		31-S T60
(清) 吳 怡	山東省東阿縣志	24卷 道光9		31-S T61
(清) 張 岡 翠	—— 膠州志	40卷 道光25		31-S T62
(清) 楊 西 生 等	—— 齊東縣志	8卷 順治24		31-S T63
(清) 徐 致 倫	—— 新泰縣志	2卷 光緒17		31-S T64
(清) 董 錫 期 等	—— 禹城縣志	12卷 嘉慶13		31-S T67
(清) 李 勛 等	—— 惠民縣志	31卷 光緒25		31-S T68
(清) 張 金 雨 等	—— 濰縣志	14卷 道光25		31-S T 1
孫 霖 田 等	山東通志	300卷 宣統3		31-S T23
(清) 邵 承 照 等	山東省肥城縣志	6册 光緒17		31-S T69
(清) 陳 盤 等	—— 日照縣志	4册 光緒11		31-S T68
(清) 李 勛 等	—— 惠民縣志	7册 光緒12		31-S T65
(清) 姚 廷 福 等	—— 臨朐縣志	7册 光緒10		31-S T 3
(清) 黃 師 閏 等	—— 滋陽縣志	14卷 光緒14		31-S T70
(清) 林 鴻	—— 即墨縣志	同治12		31-S T71
(清) 張 鳳 羽 等	—— 招遠縣志	道光28		31-S T72
(清) 耿 顯 晉 等	—— 館陶縣志	光緒19		31-S T73
(清) 舒 化 民 等	—— 長清縣志	道光15		31-S T74
(清) 羅 宗 瀾 等	—— 鄒平縣志	道光15		

【漢 語】

編·著者名	書 名	發 行 所	整理番號
(清) 張 本 等	山東省蓬萊縣志 道光19		31-S T 75
(清) 王 爾 補 等	—— 續修蓬萊縣志 光緒8		31-S T 76
(清) 李 文 藻 等	—— 諸城縣志 乾隆29		31-S T 77
(清) 朱 明 海 等	—— 諸城縣續志 道光14		31-S T 78
(清) 許 鼎 等	—— 濟寧直隸州志 光緒20		31-S T 79
(清) 盧 朝 安 等	—— 濟寧直隸州續志 光緒20		31-S T 80
(清) 蔣 奇 錫	—— 樂安縣志 雍正11		31-S T 82
(清) 王 士 任	—— 威海衛志 乾隆7		31-S T 83
桓 台 縣 公 署	—— 桓臺縣志 民22	編 所	31-S T 84

【山 西 省 之 部】

(清) 覺 羅 石 麟 等	山西省山西通志 雍正13		31-1-10-85
(清) 劉 源 深 等	山西省沁源州志 10卷 乾隆28		31-S S 4
(清) 袁 保 剛 等	—— 太原縣志 18卷 道光6		31-S S 2
(清) 薛 元 封 等	續太原縣志 2卷 光緒8		31-S S 3
(清) 陸 元 德 等	山西介休縣志 8册 嘉慶24		31-S S 33
(清) 張 嘉 曾 等	山西壽陽縣志 6册 光緒8		31-S S 6
(清) 李 炳 杰 等	山西太平縣志 8册 道光5		31-S S 34
(清) 周 景 桂	山西省蒲州府志 10册 乾隆19		31-S S 8
(清) 胡 廷 孫	—— 絳 縣 志 4册		31-S S 9
(清) 盧 鼎 三	—— 代 州 志 6册 光緒8		31-S S 10
(民) 吳 命 新	—— 臨 縣 志 4册 民6		13-S S 11
(清) 王 正 茂	—— 臨 晉 縣 志 4册		31-S S 12
(清) 李 文 鼎	—— 汾 陽 縣 志 8册 乾隆37		31-S S 13
(清) 王 綬 等	—— 平 遙 縣 志 2函 光緒8		31-S S 14
(清) 張 鳳 奇 等	—— 孟 縣 志 2函 光緒7		31-S S 15
(清) 陳 時 等	—— 祁 縣 志 光緒8		31-S S 6
(清) 李 瀛 唐 等	—— 聞 喜 縣 志 乾隆30		31-S S 16
(清) 王 志 瀛 等	—— 靈 石 縣 志 嘉慶22		31-S S 17

【續 編】

編者名	書名	發行所	整理番號
(清) 戴世章等	山西省榆次縣志 同治2		31--S S 18
(清) 楊 庸 等	—— 五臺縣志 光緒10		31--S S 19
(清) 楊廷亮等	—— 趙城縣志 道光7		31--S S 20
(清) 葛士達等	—— 平定州志補 光緒18		31--S S 21
(清) 黎中輔等	—— 大同縣志 道光10		31--S S 22
(清) 楊立祖等	—— 直隸霍州志 光緒6		31--S S 23
(民) 盧承業	—— 偏關志 民4		31--S S 25
	—— 長治縣志		31--S S 25
(清) 李廷芳	—— 襄垣縣志		31--S S 27
(清) 賈訓恩	—— 渾源州續志 光緒7		31--S S 28
(清) 安嘉士等	—— 定襄縣志 雍正5		31--S S 29
(清) 王仲儀等	—— 定襄縣志補 光緒6		31--S S 29
(清) 李榮和等	—— 永濟縣志 光緒12		31--S S 31
(清) 鍾和相	—— 汾州府志 乾隆36		31--S S 32

【陝西省之部】

(清) 王魯泉	陝西志輯要 9册 道光7		31--S E 1
(清) 孫良烈	—— 武功縣志 同治13		31--S E 2
(清) 王兆烈等	—— 朝邑縣志 6册 康熙51		31--S E 3
(清) 湯桂森	—— 保安州志 4册 道光15		31--S E 4
(清) 張毓生	—— 保安州續志 2册 光緒3		31--S E 5
(清) 吳廷錫等	續修陝西省通志稿 123册 民23	陝西省公署	31--S E 6
(清) 李應麟等	陝西省同州府志 24册 咸豐2		31--S E 7
(清) 傅應奎	—— 韓城縣志 7册 乾隆19		31--S E 8
(清) 張殿元	—— 岐山縣志 4册 光緒11		31--S E 9
(清) 宋世學	—— 扶風縣志 4册 嘉慶21		31--S E 10
(清) 賈瑞麟	—— 三原新志 4册 光緒年間		31--S E 11
(清) 王霖文	陝西省續修潼關廳志 2册 嘉慶21		31--S E 12

【河南省之部】

【廣 西】

編者名	書名	發行所	整理番號
(清) 于 澹 湖	河南省鹿邑縣事情 6册 光緒22		31-KN 2
(清) 羅 崧 林	—— 洛陽縣志 乾隆10		31-KN 3
(清) 趙 開 元	—— 新鄉縣志 乾隆13		31-KN 4
(清) 田 雲 生	—— 新鄉縣續志 民12		31-KN 5
(清) 鍾 顯 坤	河 南 通 志 同治9		31-KN 6
(民) 阿 恩 哈	續 河 南 通 志 民9		31-KN 7

【江 蘇 省 之 部】

(清) 呂 燕 昭	江蘇省重刊江寧府志 光緒8		31-Ku 1
(清) 蔣 啓 勛 等	—— 續纂江寧府志 光緒7		31-Ku 2
(清) 宋 如 林	—— 淞江府志 嘉慶24		31-Ku 3
(清) 董 駿 澗	—— 甘棠小志 咸豐5		31-Tu 4
(清) 魯 一 同	—— 邳 州 志 光緒21		31-Ku 5
(清) 顧 維 益	—— 嘉定縣志 光緒7		31-Ku 6

【察 哈 爾 省 之 部】

	察哈爾省萬全縣志 道光14		31-C1
(清) 王 春 輔 等	—— 宣化府志 42卷 乾隆8		31-C2
——	—— 宣化縣志 康熙50		31-C3
(清) 顧 之 金 等	—— 蔚 州 志 20卷 光緒3		31-C4
(清) 楊 世 昌 等	—— 蔚州志補 12卷 乾隆10		31-C5
(清) 席 之 瓊	—— 重修懷來縣志 光緒8		31-C6
(民) 李 泰 葵	—— 陽原縣志 民21		31-C7
(清) 區 桂 瑞 等	—— 懷安縣志 光緒2		31-C8
(民) 許 開 詩 等	—— 張北縣志 民21		31-C9
(清) 黃 可 潤 等	—— 口北三廳志 乾隆23		31-C10
(民) 梁 建 華 等	—— 察哈爾省通志 民24		31-C11

【安 徽 省 之 部】

(清) 洪 亮 吉 等	—— 甯國府志 嘉慶30		31-A1
-------------	--------------	--	-------

編者姓名	書名	卷數	發行所	整理番號
【綏遠省之部】				
(清) 托 明	綏遠省和林格爾城志	成豐 ³		33-5a 1
(民) 鄒 符 亨 等	—— 歸綏縣志	民 ²⁴		31-5a 2
【江西省之部】				
(清) 陶 成 等	江西通志	雍正 ¹⁰		31-KS 1
(清) 朱 孫 齡	江西省清江縣志	同治 ⁹		31-KS 2
【四川省之部】				
(清) 寇 宗 等	四川省重慶府志	道光 ²³		31—S 1
(清) 韓 鳳 中	新疆大記	光緒 ³³		31—179
【新疆省之部】				
(民) 馬 俊 良 等	新疆省哈密志	民 ²⁵		31-SH 1
(清) 和 壽	回疆通志	12卷 嘉慶 ⁹		31-SH 2
【 32 河 渠】				
(清) 項 煥	水經注	40卷 康熙 ⁵⁴	群玉齋堂	32— 1
(清) 四 庫 館	欽定河源記略	35卷 民 ²	故宮博物院	32— 2
(清) 徐 瑞	劉澗紀要、安瀾紀要	2卷 光緒 ¹¹		32— 3
(民) 史 錫 水	四川峽江灘險志	民 ⁹		32— 4
(清) 齊 恩 閣	水道提綱	28卷 光緒 ⁴	置誠精舍	32— 5
(民) 吳 詠 淵	豫河志	民 ¹⁹	河南印刷局	32— 6
(清) 李 道 亨	永定河志	5卷 同治 ²⁰		32— 7
【 33 邊 防】				
(清) 阿 秋 澗	朔方備乘	81卷 咸豐 ⁸		32— 1
(清) 吳 棫 貞	延吉邊務報告書	4卷 光緒 ³⁴	學務公所	32— 2
滿日文化協會	明季遼事叢刊	附 ³	國 所	32— 3
(清) 樂 小 謙	呼倫貝爾邊務調查報告	宣統 ¹		32— 4
【 34 山 川】				
(清) 王 鑾 等	大嶽太和山紀略	28册 乾隆 ⁹		34— 1
(清) 顧 登	清涼山志	4册 順治 ^{辛丑}		34— 2

【漢 籍】

編·著者名	書 名	冊 數	發 行 所	整理番號
(清) 王 樹 枏	新疆山脈圖志	6册		34— 3
(清) 智 朴	盤 山 志	4册 康熙30		34— 4
(清) 毛 德 琦	廬 山 志	康熙59	明 德 堂	34— 5
(清) 張 榮 德	恒 山 志	乾隆20		34— 6
【 36 雜 記】				
(清) 張 燾	蒙古遊牧記	16卷 同治6		35— 1
(清) 吳 振 臣	蒙古塔記略	康熙50		35— 2
(清) 張 燾	津 門 雜 記	3卷 光緒10	遊 藝 山 莊	35— 3
(清) 楊 靜 亭	新增都門紀略	6卷 宣統刊	榮 德 堂	35— 4
(民) 王 樹 枏	新疆訪古錄	民6	聚珍書局	35— 5
—	新疆禮俗志	民6		35— 6
(民) 徐 雲	黑 龍 事 略	民15	東 方 學 會	35— 7
(清) 顧 大 均	廣 東 新 語	康熙49		35— 8
冀東防共自治政府	冀東紀念專刊	民25	編 所	35— 9
【 37 外 記】				
(清) 傅 國	西域見聞錄	乾隆42	復 四 山 房	37— 2
(清) 魏 源	海 國 圖 志	100册 同治6	陳 氏 重 刊	37— 3
(清) 鄒 嘉 士	西陲要略西域釋地	5册 嘉慶丁卯		37— 4
崔 福 坤	遊 日 紀 事	康熙2		37— 5
【 38 時 令】				
(清) 吳 廷 燾 等	月 令 輯 要	24卷 康熙55		38— 1
南書局翰林院武英殿	欽定授時通考	78卷 乾隆7	編 所	38— 2
○				
(民) 羅 宜 翰	方 志 考 稿	民19	京 津 印 書 局	38— 1
慶 豐 院	蒙藏院調查內外蒙沿邊統計報告書	民9	編 所	38— 2
【 4 政 法 部】				
(清) 徐 世 昌 等	東三省政略	44卷 宣統3	憲 政 編 查 館	40— 1
(清) 允 蔭 等	上 諭 八 旗	13卷 雍正9		40— 2

編者名	書名	卷數	刊行所	整理番號
(清) 允 綸 等	上諭旗務議覆	12卷 雍正刊	殿 版	40— 3
(清) 林 文 忠	林文忠公政書	16册 光緒11	—	40— 4
(清) 沈 文 鼎	沈文鼎公政書	8册 光緒8	—	40— 5
—	中興奏議	8册 光緒1	—	40— 6
(清) 趙 承 恩	歷代名臣奏議選	29卷 同治13	紅 杏 山 房	40— 7
(明) 于 燕 芳	制奴議提附建州志	1卷 民17	—	40— 8
(清) 林 翔	林文忠公禁烟奏稿	1卷	—	40— 9
(清) 戶部陝西司	戶部陝西司會議奏稿	8卷 光緒12,13	編 所	40— 10
(清) 趙文啟寫本	兩漢策要	12卷 光緒13	同 文 書 局	40— 11
(清) 郝 清 安	平番奏議	道光3	—	40— 12
(清) 姚 鎮 光	籌藏偶議	光緒24	京 師 福 齋	40— 14
(清) 盛 宣 懷	三公奏議	光緒2	恩 補 樓	40— 15
(清) 徐 嗣 霖	撫東政略	2卷	—	40— 16
(清) 宋 權 等	皇清奏議	2卷	—	40— 17
參議院編印	郵傳部奏議類編	光緒34	編 所	40— 18
—	— 奏議分類續編	民4	—	40— 18
—	硃批諭旨	雍正10	殿 版	40— 19
【 41 法 令】				
—	欽定宮中現行則例	—	—	41— 1
(清) 吳 曉 沔	大清律例通考	40卷 乾隆44	—	41— 2
(清) 允 綸 等	欽定八旗則例	乾隆7	武 英 殿	41— 3
軍機處戶部	欽定戶部軍需則例	9卷 乾隆50	殿 版	41— 4
刑 部	欽定大清律例	47卷 康熙7	武 英 殿	41— 5
—	大清律纂修條例	2卷 同治9	殿 版	41— 6
兵 部	欽定五軍道里表	10卷 嘉慶14	—	41— 7
工 部	欽定工部則例	116卷 同治19	—	41— 8
兵 部	欽定軍器則例	34卷 嘉慶21	—	41— 9
—	欽定兵部處分則例	76卷 道光3	—	41— 10

【編 目】

編者姓名	書名	卷數	發行所	整理番號
兵部	欽定兵部續纂處分則例	4卷 道光9	殿 版	41—11
勅 諭	大清律例彙輯備覽	40卷 光緒3	—	41—12
理 藩 院	欽定回疆則例	8卷 道光22	—	41—13
禮 部	欽定禮部則例	152卷 道光24	—	41—14
戶 部	欽定戶部則例	100卷 同治4	—	41—15
宗 人 府	欽定宗人府則例	31卷 同治7	—	41—16
(清) 奕 訢	秋審實緩比較成案	24卷 同治12	—	41—17
(清) 姚 雨 霖	大清律例增修統纂集成	42卷 光緒26	文 海 山 房	41—18
(清) 子 良 氏	秋 讞 輯 要	6卷 光緒10	—	41—19
史 部	欽定戶部則例	87卷 光緒11	殿 版	41—20
—	欽定吏部驗封司章程	5卷 光緒11	—	41—21
—	— 處分章程	33卷 光緒11	—	41—22
理 藩 院	欽定理藩院則例	64卷 光緒17	—	41—23
刑 部	增修刑部奏定新章	4卷 光緒18	榮 精 堂	41—24
—	各部院條例冊	47卷 光緒	—	41—25
—	大清光緒新法令	20冊 宣統1	高 務 印 書 館	41—26
—	宣統新法令	20冊 宣統2	—	41—27
宗 人 府	欽定宗室覺羅律例	4卷 宣統2	殿 版	41—28
憲 政 編 查 館	大清現行刑律	12冊 宣統2	—	41—29
戶 部	增修審酌事例條款	4冊 同治5	—	41—30
—	通行條例	光緒14	江 蘇 書 局	41—31
政 學 館	大清法規大全	46冊 宣統3	編 所	41—32
(清) 黃 魯 漢	名法指掌新纂	4卷 同治5	—	41—33
(清) 蔡 嘉 年	律 令 便 覽	8卷 附處分則例 同案 6卷 光緒14	江 蘇 書 局	41—34
總 督 內 務 府	欽定總督內務府堂現行則例	4卷 光緒10	編 所	41—35
(清) 程 德 全	漢 律 考	7卷 民8	—	41—36
(唐) 長 孫 無 忌	唐 律 疏 義	30卷 民18	商 務 印 書 館	41—37
(清) 薛 允 升	讀 例 存 疑	54卷 光緒32	翰 茂 齋	41—38

編者姓名	書名	發行所	整理番號
(清)農工商部	農工商部現行章程二十一種 宣統1	國所	41—39
(清)顧澤昭	東三省鹽法志 6册	—	41—40
會典館編	欽定國子監則例 道光4	—	41—41
(清)沈家本	刑法考 宣統1	—	41—42
壽心錄	評選四六法海 光緒1	—	41—43
【42 職官】			
(清)牟其政	宗室王公世職章京爵秩製次全表 10卷 光緒30	宗人府	42—1
(清)黃六鴻	福惠全書 32卷 光緒19	文島會館	42—2
(清)徐德	收令書 23卷 道光28	昭儀堂	42—3
(清)李益然	資治新書 18册 咸豐2	英德堂	42—4
(清)法式義	清秘述聞 16卷 嘉慶4	—	42—5
(清)徐德	保甲書輯要 4卷 同治12	牛城醫局	42—6
(清)永琛等	歷代職官表 72卷 光緒23	廣雅書局	42—7
(清)許乃普	宦海指南五種 6册 咸豐9	—	42—8
(清)方汝璣	州縣須知摘要 4册 同治1	豐仁堂	42—9
(清)臥牛山人	佐雜須知 4卷 同治1	—	42—10
(清)王正功	中書典故彙紀 8卷 咸豐30	嘉樂堂	42—11
(清)吳榮光	吾學錄初編 24卷 同治7	—	42—12
(清)世祖	御製資政要覽 3卷 順治12	—	42—13
汪 瑛 輯	國治要篇四種 同治9	海 興	42—14
(清)董守定	國民錄 4卷 光緒22	聚源書房	42—15
(清)松 筠	綏服紀略、西招閩略 道光8	國所	42—16
【43 儀制】			
政事堂通編餘	祭禮冠服圖、祭祀冠服制、祭孔典禮、關岳台祀典禮、忠烈祠祭禮 同3—4	國所	43—1
(清)穆克登額等	大清通禮 54卷 道光4	殿 版	43—2
(清)顧 沅	聖廟祀典圖考 5卷 道光6	—	43—3
(清)許之康	大金集禮 40卷 光緒21	廣雅書局	43—4
紀 昀 等	滿洲祭神祭天典禮 3册 康熙2	—	43—5

【漢 籍】

編者名	書名	卷數	發行所	整理番號
鈕 鈞 祿	滿洲四禮集	4册 嘉慶1		43— 8
【 44 軍 政】				
兵 部	欽定中樞政考	72卷 道光5	殿 版	44— 1
—	欽定中樞續纂	4卷 道光12	—	44— 2
(清) 多羅定郡王	金 吾 事 例	12册 咸豐1	部軍統綱衙門	44— 3
軍 機 處	樞 垣 紀 略	28卷 光緒1	編 所	44— 4
—	劉川姚氏本殿國策	嘉慶5	—	44— 5
(宋) 許 涇	虎 鈴 經		—	44— 6
【 45 通 制】				
(宗) 王 溥	唐 會 要	100卷 光緒10	殿 版	45— 1
(唐) 李 林甫	唐 六 典	30卷 正德10	掃 葉 山 房	45— 2
(清) 劉 啓 瑞	大 清 會 典	100卷 光緒25	會 典 館	45— 3
—	大清會典事例	1129卷 光緒25	—	45— 4
—	大清會典圖	270卷 光緒25	—	45— 5
—	九 通	9部 光緒22	浙 江 書 局	45— 9
(清) 劉 錦 藻	皇朝續文獻通考	320卷 光緒11	—	45— 10
(清) 崇 厚 等	盛京典制備考	8卷 道光4	盛京軍器局	45— 11
(清) 張 壽 錕	皇朝掌故彙編	100卷 光緒28	求 實 書 社	46— 12
(民) 曹 元 用	通 制 條 格	30卷 民19	—	46— 13
會 典 館	大 清 會 典	4册 嘉慶 戊寅	傑 文 書 局	45— 14
金 毓 麟	宣 統 政 紀	順德1	遠 東 書 局	45— 15
—	大元聖政國朝典章	光緒34	法 律 館	45— 16
【 46 邦 計】				
(清) 陳 子 壯	昭代經濟言	14卷 天啓5	尊 經 堂	46— 1
(清) 顧 方 綱	廣 治 平 略	44卷 順德3	—	46— 2
(清) 郭 燾 泰	欽定康濟錄	4卷 乾隆5	武 英 殿	46— 3
(清) 楊 景 仁	壽 濟 篇	33卷 道光5	詒 研 齋	25— 4
(後魏) 賈 思 謏	齊 民 要 術	10卷 光緒22	中 江 書 局	46— 5

編者姓名	書名	卷數	編年	發行所	整理番號
(清) 魏光燾	蠶桑萃編	15卷	光緒36		46—6
(清) 蔣兆奎	河東鹽法備覽	12冊	乾隆55		46—7
(清) 信山等	兩淮鹽法志	60卷	同治9		46—8
(清) 丁寶楨	四川鹽法志	41卷	光緒8	揚州書局	46—9
膠濟鐵路管理委員會	膠濟鐵路經濟調查彙編	民23		編 所	46—10
(清) 徐鼎霖	賜福履啓事			—	46—11
(清) 吳邦傑	畿輔河道水利叢書	道光4		社會科學研究所	46—12
(清) 方顯承	養食全圖	乾隆18		—	46—13
雲南清理財政局	雲南清理財政局調查全省財政說明書初稿			—	46—14
廣東 —	廣東財政說明書	宣統2		編 所	46—15
廣西 —	廣西財政沿革利弊說明書	宣統3		—	46—16
河南 —	河南財政說明書			—	46—17
福建 —	福建財政沿革利弊說明書			—	46—18
貴州 —	貴州省財政說明書			—	46—19
山東 —	山東全省財政說明書			—	46—20
直隸 —	直隸清理財政局說明書			—	46—21
黑龍江 —	黑龍江財政說明書	宣統2		—	46—22
奉天 —	奉天省財政沿革利弊說明書			—	46—23
(民) 齊 燮 鴻	吉林財政報告書	民10		—	46—24
山西清理財政局	山西藩庫內外銷收款說明書說			—	46—25
—	山西全省各府廳州縣地方經理各款說明書			—	46—26
奉天國稅廳	田賦草稿	民3		—	46—27
郵傳部編	軌政紀要初編	光緒33—34		—	46—28
湖南清理財政局	湖南財政說明書	宣統3		—	46—29
陝西清理財政局	陝西清理財政說明書	宣統1		—	46—30
鹽務部	鹽政彙覽	民6—15		—	46—31
(明) 譚希思	明大政纂要	光緒21		志賢書局	46—32
(民) 田中玉	政務輯要	民8		—	46—33

【漢 圖】

編·著者名	書 名	發 行 所	整理番號
【 47 考 工】			
遼瀋道尹公署	修瀋遼河報告書·民4	廣 所	47— 1
【 48 其 他】			
(清) 趙 斌	心 政 錄 5卷 乾隆8	—	49— 1
(民) 錢 學 嘉	中外交涉類要表光緒通商綜覽表 2册 光緒18	—	49— 2
(民) 稅 務 處	稅務處第1—4次 一覽統計表 4册 民18	編 所	49— 3
—	養 局 案 記 乾隆己卯	—	49— 4
(清) 度 支 部	度支部試辦宣統三年預算案總表 9册 宣統3	—	49— 5
山西村政處編	山西村政彙編 民17	—	49— 6
顧 希 階	東三省移民開墾意見書	—	49— 7
(民) 何 兩 孫	黑龍江墾殖說略 民4	—	49— 8
(民) 甘 國 雲	調查歸綏墾務報告書 民5	編 守 史 署	49— 9
南洋勸業會編	清光宣兩朝海關進出大宗貨價表 宣統2	編 所	49— 10
(清) 李 希 聖	光 緒 會 計 錄 光緒23	—	49— 11
農安縣公署	吉林農安戊巳政治報告書	—	49— 12
(清) 洪 侍 廉	中俄界約附注、中外交涉類要表、光緒通商綜覽表 光緒20	—	49— 13
—	宣統三年歲入歲出豫算表 宣統3	—	49— 14
會議政務處	奏定度量權衡畫一制度圖說總表推行章程	—	49— 15
郵 傳 部	郵傳部第一次統計表 光緒33	—	49— 16
(清) 董 瑛	御纂學政全書 嘉慶17	編 部	49— 17
(清) 侯 爵 生	中外大事彙記 光緒34	廣 智 報 局	49— 18
察哈爾全區墾務總局	墾 政 概 覽 民6	編 所	49— 19
山西省政府	山西六政三事彙編 民19	—	49— 20
(清) 李 詞 恩	農安縣丁未報告書 光緒34	—	49— 21
錦 州 府	錦州府政治報告書	—	49— 22
東 寧 廳	吉林東寧廳屯墾報告	—	49— 23
綏遠墾務局	綏遠墾務局 民21	—	49— 24

編者姓名	書名	卷數	年代	發行所	整理番號
【 5 子 部】					
(清) 黃宗羲	宋元學案	100卷	光緒5	文瑞樓	50—1
—	明儒學案	62卷	光緒8	文瑞樓	50—2
(清) 周敏慎	國朝學案小識	15卷	光緒10	四正齋	50—3
(清) 顧承燮	儒先訓要	30卷	光緒27—28	聽雨堂	50—4
(清) 牛樹楷	文廟通考	7卷	同治12	—	50—6
席題整理處	朱程段三先生年譜	康熙	—	編所	50—7
【 52 雜 家 類】					
(清) 鍾小亭	補註洗冤錄集證	4卷	道光23	—	52—2
(清) 徐光啓	農政全書	60卷	道光23	增補樓	52—3
(明) 李時珍	本草綱目	52卷	光緒11	—	52—4
(清) 吳其濬	植物名實圖考	38卷	光緒8	清文書局	52—5
【 54 藝 術 類】					
—	乾隆御製盛京賦	昭8	—	—	54—1
【 56 類 書】					
(清) 程明江	通俗編	38卷	乾隆16	竹園齋	56—1
(清) 傅翼石	六書分類	12卷	乾隆55	鐵岡堂	56—2
(清) 榮紹炳	省軒考古類編	12卷	雍正4	滄成堂	56—3
(唐) 林 賈	元和姓纂	10卷	—	文瀾閣	56—4
(民) 胡英等	淵鑑類函	民21	—	滄葉山房	56—5
【 57 小 說 家 類】					
(清) 施耐庵	水滸傳	—	—	商務印書館	57—1
【 6 集 部】					
(清) 徐愛等撰	王文成公全書	39卷	隆慶3	—	61—1
(清) 王夫之	王船山遺書	300卷	同治4	金陵刻書	61—2
(清) 吳汝綸	李文忠公全集	166卷	光緒34	—	61—3
(清) 李中孚	二曲集	46卷	光緒3	—	61—4
(清) 黃邦寧	岳忠武王文集	10卷	民10	潘氏重刊	61—5

【續編】

編者名	書名	卷數	發行所	整理番號
(民) 葉 啓 超	飲冰室全集	48卷 民5	中 華 書 局	61— 6
(清) 魏 昌 昌	壁動襄公遺書三種	2册 咸豐9	—	61— 7
(清) 蔣 子 楮	曾忠襄公全書	67卷 光緒20	—	61— 8
(清) 陸 敬 輿	陸 宣 公 集	康熙61	鎮 雪 齋	61— 9
(清) 朱 文 公	朱 子 集	咸豐庚申	紫 雲 閣 書 堂	61— 10
—	二 曲 全 集	康熙45	小 邱 山 館	61— 11
(清) 李 爾 章	曾文正公全集	光緒2	惟 忠 書 局	61— 12
(清) 黃 唐 室	香 屑 集	康熙46	—	61— 13
(清) 趙 子 昂	趙文敏公松雪齋全集	康熙癸巳	—	61— 14
(清) 李 來 京	禮 山 園 全 集	光緒9	—	61— 15
【 62 總 集 類】				
(清) 賀 長 齡	皇朝經世文編	120卷 道光6	—	62— 1
(清) 楊 國 毅	八 族 文 經	13册 光緒27	—	62— 2
故 宮 博 物 院	文 獻 叢 編	民10—22	編 所	62— 3
—	文 獻 重 編 增 刊	民20—21	—	62— 4
呂 祖 謙 等	六 朝 古 文	光緒13—17	江 蘇 書 局	62— 8
(清) 嚴 可 均	全上古三代秦漢三國六朝文	740卷 光緒20	—	62— 9
(民) 黃 任 恒	遼 痕	6册 民14	—	62— 10
【 63 詩 文 評 類】				
(清) 曹 寅 等 校	欽 定 全 唐 詩	光緒13	國 文 書 局	63— 1
袁 金 鎧	儲 廬 文 詩 存	康1	—	63— 2
洪 翰 孫	青 煙 山 人 詩	—	—	63— 3
(清) 王 陽 緒	欽 定 詩 經 傳 說 彙	光緒14	—	63— 4
【 7 目 錄 部】				
(清) 阮 飭 等	欽 定 四 庫 全 書 總 目	200卷 同治7	廣 東 書 局	71— 1
(民) 楊 立 誠	四 庫 目 略	4册 民18	編 所	71— 2
(民) 陳 援 毫	辦 理 四 庫 全 書 檔 案	2册 民23	—	71— 3
(民) 莫 友 芝	邵 亭 知 見 傳 本 書 目	16卷 民20	揚 州 山 房	71— 4

編者姓名	書名	卷數	刊行所	整理番號
(清) 丁 丙	善本書室藏書志	40卷 附1卷 光緒27		71— 5
(清) 范 滂 曾	書目答問補正	5卷 光緒1		71— 6
(清) 王 懿 榮	彙刻書目	20册 光緒12	編 譯 局	71— 7
羅 振 玉	續彙刻書目	20册 民44	雙 魚 堂	71— 8
(民) 國 國	國立北平圖書館方志目錄	4册 民20	編 所	71— 9
關 文 英	通志堂經解提要	4卷 康熙1	右 文 閣	71— 11
(清) 森 立 之 等	經籍訪古志	8册 光緒11	—	71— 12
(清) 楊 守 敬	日本訪書志	8册 光緒27	—	71— 13
金 鵬 麟	四庫全書原本提要		源 野 書 社	71— 14
商務印書館	嘉慶重修一統志索引	民23	編 所	71— 15
【 8 叢 書 部 】				
(清) 阮 元	皇清經解	1400卷 道光9	文 瀾 閣	8— 1
(清) 王 先 謙	皇清經解續編	1430卷 光緒14	南 菁 書 院	8— 2
(宋) 左 圭	百川學海	30册 同治6	陶 氏 涉 園	8— 3
乾 隆 勅 撰	武英殿聚珍版書	2170卷 同治10	—	8— 4
廣 雅 書 局	廣雅叢書	100册 光緒17	編 所	8— 5
	問影樓輿地叢書	光緒34	—	8— 6
羅 振 玉	敦煌石室遺書	4册 宣統1	羅 芬 堂	8— 7
(清) 廖 平	六經館叢書	光緒32—民10	存 古 閣 局	8— 8
四 存 學 會	顏李叢書	民12	編 所	8— 9
—	四部叢刊	民9—12	商 務 印 書 館	8— 10
—	四部叢刊續編	民23	—	8— 10
—	四部叢刊三編	民25	—	8— 10
(民) 石 渠 醇	蓉城仙館叢書三種	民23	編 所	8— 11
遼 寧 書 社	遼海叢書	康熙1	—	8— 12
(清) 鍾 謙 鈞	通志堂經解	同治12	粵 東 書 局	8— 13
(宋) 王 伯 厚	玉 海	乾統3	—	8— 14
(清) 關 英 武	槐盤叢書	光緒3	桐 葉 山 房	8— 15

【漢 籍】

編者姓名	書名	發行所	整理番號
	雪在山房叢書		8—16
(清) 孫星衍	平津館叢書 光緒20		8—17
(清) 葉德輝	雙槎景閣叢書 宣統3		8—18
北平圖書館	國立北平圖書館善本叢書 民25	編 所	8—19
【 9 雜 書 部】			
(民) 陳乃乾	室名索引 民33	共 國 樓	9—1
(民) 葉玉甫	題卷彙稿 民19		9—2
(民) 郭顯欽等	中國大學講義彙刊		9—3
(清) 孫 雲 水	十種古逸書 道光14	楹 瑞 軒	9—4
(民) 翁 潤 田	宦海伏波大事記 民3	新 民 書 館	9—5
(清) 姚 綱 傳	援鶴堂筆記 道光18		9—6
陳 澧	東塾讀書記 16卷		9—7



編者姓名

書

名

發行地

整理書號

歐文圖書之部

〔000 法制一般〕

André Prudhome	Tables générales 1905-1925. 1927	Paris	000.2—1
	○		
Hoche Werner	Die Gesetzgebung des Kabinetts Hitler. Heft. 1-23. 1934	Berlin	000.3—1
	○		
Société de législation comparée	Annuaire de législation Française. 1930	Paris	000.4—1
	○		
Martin Lawrence Ltd	Fundamental laws of the Chinese Soviet Republic. 1934	London	000.9—1
	○		
	Cobden Club essays, 1871-72, Second Series. 1872	New York	001—1
Amos Ebdon	The Science of Law. 1896	London	001—2
	○		
Hohenlohe Constantin	Corpus Einfluss des Christentums auf des juris civilis. 1937	Wien	002—7
	○		
Carl Alinge	Mongolische Gesetze. 1934	Leipzig	010—1

〔011 憲法〕

Wicks	The British Constitution and Government.	London	011—1
Burgen	Political Science and Constitutional Law (2 Vols) 1891	Boston	011—2
Chalmers & Asquith	Outlines of Constitutional Law. 1925	London	011—3
Dicey A. V.	The Law of the Constitution. 1902	—	011—4
Walter Bagehot	The English constitution. 1904	—	011—5
Howard Masterman	History of the British constitution. 1912	—	011—6
Hart	Constitution of the U. S. 1909	New York	011—7
Krishnaswami A.	The new Indian constitution. 1933	London	011—8
The India Office	Indian constitutional Reform. 1918	—	011—9

(歐 文)

編·著·者·名	書 名	發 行 地	整 理 番 號
Harrison and Son Ltd	The Constitutional Year Book. 1934-1937	London	011—10
Salant, E.	An Outline of the constitutional laws of the British Empire with appendice of Statues. 1934	—	011—11
H. M. Stationery Office	Joint committee on Indian Constitutional Reform. Report (session 1934-33) 1934	—	011—12
【 016 國 際 法 】			
Oppenheim, L.	Oppenheimer's International Law. Vol.1-2	London	016—1
Walter Y. C.	The International Legal Status of the Kwantung Leased Territory. 1931	—	016—2
Leone Levi	International Law. 1898	—	016—3
Shimoda, J.	International Law in the Shanghai conflict.	Tokyo	016—4
Lawrence T. J.	A Hand-Book of Public International Law. 1918	London	016—5
Hudson Mauley, O.	International Legislation. Vol.1-1. 1931	Washington	016—6
【 020 法 務 一 般 】			
Wellington Koo	The Status of Aliens in China. 1913	Columbia Univ.	020—1
Woodhead, H. G.	Extraterritoriality in China. 1929	Tientsin	020—2
【 030 宮 廷 事 項 】			
Johnson R. F.	Twilight in the Forbidden City. 1934	London	030—1
Ling Princes der	Two years in the Forbidden City. 1911	New York	030—2
Gilbert Reid John	Manchu the abdication and the powers, 1908~1912. 1935	California	030—3
【 11 政 治 】			
【 110 政 治 一 般 】			
Mallory Walter H.	Political hand-book of the world. 1934-37	Jena	110.2—1
Elster Ludwig	Handwörterbuch der Staatswissenschaften. 1933	—	110.2—2
○			
Epstein, M.	The Statesman's Year Book. 1932-33	New York	110.4—1
○			
Hugo Munsterberg	The Americans. 1904	New York	110.9—A1
Friedeman E. M.	American Problems of Reconstruction. 1918	—	110.9—A2
	America among the Nations powers. 1918	—	110.9—A3
American Jurist	America after the War. 1918	—	110.9—A4

編者名	書名	發行地	整理番號
Fiske John	American Political Ideas. 1885	New York	110.9—A6
Faber Viscount	After the War. 1918	London	110.9—A6
Wheepley	American Public Opinion. 1914	—	110.9—A7
Smith	America's Tomorrow. 1919	New York	110.9—A8
Weyl	American World Policies. 1918	—	110.9—A9
Ma Wen Hwan	American Policy towards China.	Shanghai	110.9—A10
Brogan D. W.	American Political systems. 1933	London	110.9—A11
○			
Beresford L. C.	The Break-up of China. 1899	London	110.9—B1
Blatchford Robert	Britain for the British. 1908	—	110.9—B2
Norman L. Hill	Background of European Governments 1935	New York	110.9—B3
○			
O'Donnell C. J.	The Cause of Present Discontent in India.	London	110.9—C1
Usher R. G.	The Challenge of the Future. 1916	Boston	110.9—C2
Moore Frederick	The Chaos in Europe. 1919	New York	110.9—C3
Walton Josef	China and the Present Crisis. 1900	London	110.9—C4
Bau M. J.	China and World Peace.	—	110.9—C5
Houn A. R.	China in transformation. 1939	—	110.9—C6
Stephen King-hall	The China of To-day, 1927	—	110.9—C7
Ransome Arthur	The Chinese Puzzle. 1927	—	110.9—C8
Kellog W. G.	The Conscientious objector. 1919	New York	110.9—C9
Lander H. F.	Corca or Chosen. 1835	London	110.9—C10
Smyth G. B.	The Crisis in China. 1900	New York	110.9—C11
Wu Chih-Fung.	Chinese government and Politics. 1934	Shanghai	110.9—C12
Cannes Harry	When China united in an interpretive history of the Chinese Revolution. 1937	New York	110.9—C13
○			
Garrand	Development of the U. S. 1918	London	110.9—D1
Latourette	The Development of Japan. 1918	New York	110.9—D3

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Lstourette	The Development of China. 1917	Doston	110.9—D3
○			
Arnold White	Efficiency and Empire. 1901	London	110.9—E1
Pott F. L.	The Emergency in China. 1912	New York	110.9—E2
Ogg F. A.	English Government and politics. 1936	—	110.9—E4
○			
Fallience F.	Facts about France. 1918	Paris	110.9—F1
Roosevelt Theodore	Fear God and Take own part. 1916	New York	110.9—F2
Pierce	Federal Usurpation. 1898	—	110.9—F3
Weale, B. I., Putnam.	The Fight for the Republic in China. 1918	London	110.9—F4
—	The Fight for the Republic in China. 1918	—	110.9—F5
Borton Wilber	French Stange-hold on Yunnan 1933	Shanghai	110.9—F5
Heinrich Walter	Der Fascismus ; Staat und Wirtschaft in neuen Italien. 1932	München	110.9—F6
○			
Peking Daily News	The General Policy of the Chinese Government. 1913	Peking	110.9—G1
—	Germany, The next Republic. 1917	New York	110.9—G2
Ackerman C. W.	German Ambitions. 1903	—	110.9—G3
Sequns V. B.	The Government of Europe. 1918	—	110.9—G4
Ogg F. A.	The Government of Great Britain. 1905	London	110.9—G5
Trotter W. F.	The Government of India.	—	110.9—G6
Macdonald J. R.	Greater European Government. 1918	Cambridge	110.9—G7
Lowell A. L.	The Government of Europe. 1933	New York	110.9—G8
Bennet M. W.	The Government of British Empire 1936	London	110.9—G9
Borridale K. A.	How to Settle the Irish Question. 1917	—	110.9—H1
Shaw B.	○		
Kennedy	Imperial America. 1918	London	110.9—I1
Lowell C. F.	Imperial England. 1918	New York	110.9—I2
Taraknath Das	India in World Politics. 1923	—	110.9—I3
O'Laghlin	Imperiled America. 1918	Chicago	110.9—I4

編·著者名	書名	發行地	整理番號
Rea G. Bronson.	The Independence of Manchoukuo. 1933	Washington	110.9—15
Fisher F. B.	India's Silent Revolution. 1919	New York	110.9—16
O'Moore, C.	Indian Studies.	London	110.9—17
○			
Porter R. P.	Japan, the new world-power. 1915	London	110.9—J1
Pooley A. M.	Japan at the Cross Roads. 1917	New York	110.9—J2
Saito Hiroshi	Japan's policies and Purposes. 1935	Boston	110.9—J3
Eleanor Tupper.	Japan in American public opinion. 1937	New York	110.9—J4
Kuno Y.	Japanese expansion on the Asiatic Continent. 1937	California	110.9—J5
○			
Etherton P. T.	Manchuria. The Cockpit of Asia.	London	110.9—M1
Cheng S. G.	Modern China, a Political Study. 1919	Oxford	110.9—M2
Toynbee A. J.	The New Europe; Some Essays in Reconstruction, 1915	London	110.9—N1
Leacock & other writers	The New Era in Canada. 1917	—	110.9—N2
Esmarh Fritz.	New Germany; national socialist government in theory and practice. 1936	Washington	110.9—N3
Tsao Lien Eu	Outline Study of Manchuria. 1932	Shanghai	110.9—O1
○			
Rodriguez G.	The People of Action. 1918	New York	110.9—P1
Wilson H.	The Peril of Hifalutin. 1918	—	110.9—P2
Rappoport A. S.	Pioneers of the Russian Revolution. 1919	—	110.9—P3
Debekker L. J.	The Plot Against Mexico. 1919	—	110.9—P4
Nordhoff	Politic for Young Americans. 1830	—	110.9—P5
Angell N.	The Political Condition of Allied Success. 1918	—	110.9—P6
Taft W. II.	Present Day Problems 1908	—	110.9—P8
Shaw A.	President Wilson's State-Papers and addresses. 1917	—	110.9—P9
Reid W.	Problems of Expansion (As Considered in papers and Addresses). 1960	—	110.9—P10
Dilke C. W.	Problems of Greater Britain. 1890	London	110.9—P11
Kirk G. L.	Philippine independence, Motives, problems, and prospects 1935	New York	110.9—P12

【歐 文】

編·著·者·名	書 名	發 行 地	整理番號
○			
Hopkinson Sir A.	Rebuilding Britain. 1918	London	110.9—R1
Shirophilus	The Revolution in China (Three Articles). 1912	Shanghai	110.9—R2
Lowell C. F.	Reconstruction and National life. 1919	New York	110.9—R3
Gynn	The Rebirth of Korea. 1920	—	110.9—R4
Masloff S. S.	Russia after Four Years of Revolution. 1923	London	110.9—R5
Bruggen	Russia of Today. 1901	—	110.9—R6
Dionno	Russia under the Bolsheviks.	Russian Liberation Committee	110.9—R7
○			
Jenks E.	State and the Nation. 1919	London	110.9—S1
Welsford J. W.	The Strength of Nations. 1907	—	110.9—S
○			
Teltman H. H.	The Terror in Europe.	London	110.9—T1
Thomas W. B.	To-day in Greater Britain. 1908	—	110.9—T2
Fitzpatrick J. P.	The Transvaal from within. 1899	—	110.9—T3
Arlington L. C.	Through the Dragon's eyes. 1901	—	110.9—T4
○			
Orloff Vladimir	Under World and Soviet. 1931	New York	110.9—U1
Coolidge	The United States as a World Power. 1918	—	110.9—U2
○			
Whitney C.	What's the matter with Mexico. 1928	New York	110.9—W1
Rasmussen O. D.	What's Right with China. 1928	Shanghai	110.9—W2
【 111 政 治 學 】			
Wu Kuo-Cheng	Ancient Chinese Political Theories. 1928	Shanghai	111— 1
Cocill L. H.	Conservatism (Home university library)	London	111— 2
Kester P.	Conservative Democracy. Principles and Practice of American Democracy. 1919	New York	111— 3
Dickinson G. L.	The Choice Before Us. 1918	—	111— 4
Hobson J. A.	Democracy after the War. 1918	London	111— 5

編・著者名	書名	發行地	整理番號
Hobson L. T.	Democracy and Reaction. 1909	London	111— 6
Molesworth Sir G.	Democracy and War. 1918	—	111— 7
Coar J. F.	Democracy and the War. 1918	New York	111— 8
Petre M. D.	Democracy at the Cross-roads. 1918	—	111— 9
Hearnshaw F. J. C.	Democracy at the Crossways. 1918	London	111— 10
Dye J. T.	Ideals of Democracy : Conversations in a Smoking Car.	Indianapolis	111— 11
Marriott J. A. R.	The Mechanism of the Modern State. 1927	Oxford	111— 12
Zimmerman A. K.	Nationality & Government With other War-Time Essays. 1919	London	111— 13
Harper of Brother	The Pan-Germanic Doctrine. 1904	—	111— 14
Usher R. G.	Pan-Germanism. 1913	New York	111— 15
—	Pan-Americanism. 1915	—	111— 16
Treitschke Von H.	Politics. 2 Vols. 1915	London	111— 17
Menas P. A.	Racial Factors in Democracy. 1919	Boston	111— 18
Wallace A. R.	The Revolt of Democracy. 1919	London	111— 19
Griggs E. H.	The Soul of Democracy. 1918	New York	111— 20
Amos S.	The Science of Politics. 1890	London	111— 21
Ban M. J.	Modern Democracy in China. 1927	Shanghai	111— 22
Rousseau J. J.	The Social Contract and other Essays.	—	111— 23
Balet J. C.	Drame de L'extreme-Orient la Mandchourie. 1932	Paris	111— 24
Hart A. B.	The Monroe Doctrine, an Interpretation. 1917	Boston	111— 25
Forester and Pierson.	American Ideals. 1917	—	111— 26
Roosevelt T.	American Ideals. 1908	N. Y. & Lond.	111— 27
Oppenheimer.	British Imperialism. 1905	London	111— 28
Owen H.	Disloyalty. The Blight of Pacifism. 1918	—	111— 29
Rhys E.	The Federalist (Everyman's Library)	—	111— 30
Burns C. D.	The Morality of Nations. 1915	—	111— 31
Holcombe A. N.	Government in a Planned democracy. 1935	New York	111— 32
Finer Herman.	Theory and practice of modern government. 1934	—	111— 33

【歐 文】

編者名	書名	發行地	整理番號
【 112 政 治 史】			
Johnson.	American Politics. 1903	New York	112— 1
Gorst H. E.	History of China, Political Commercial and Society.	London	112— 2
Marriot J. A. R.	European Commonwealth Problems Historical and Diplomatic. 1918	Oxford	112— 3
Seignobos, C.	A Political History of Contemporary Europe. 1901	London	112— 4
McLaren W. W.	A Political History of Japan during the Meiji Era. (1897~1912). 1916	New York	112— 5
Dickinson, G. L.	Revolution and Reaction in Modern France (1789~1871) 1892	London	112— 6
Hsieh Pas Chao.	The Government of China (1644~1911). 1925	Baltimore	112— 7
Jenks, E.	A History of Politics. 1906	London	112— 8
Chang Chun-Ming.	Chinese standards of good government. 1935	Tientsin	112— 9
【 113 國 家 學】			
Bluntschli.	The Theory of the State. 1892	Oxford	113— 1
Wilson W.	The State. Elements of historical of practical politics. 1893	Boston	113— 2
Muir Ramsay	The record of the national government. 1936	London	113— 3
Pitigliani Fausto	Italian corporative state. 1934	New York	113— 4
【 114 國 際 政 治】			
Wilson W.	International Ideals. 1919	New York	114— 1
Sayre F. F.	Experiments in International Administration. 1919	—	114— 2
Gibbons H. A.	An Introduction to world Politics. 1922	—	114— 3
【 115 立 法】			
Grew	Parliamentary Law. 1910	New York	115— 1
Courtonay	Parliament its History, Constitution and Practice.	London	115— 2
Wilson W.	Congressional Government (A Study in American Politics). 1913	Boston	115— 3
Pussell.	The work of the Liberal Party in the 19th Century. 1900	London	115— 4
Walpole S.	The Electorate and Legislature. 1832	—	115— 5

編者名	書名	發行地	整理番號
Macdonagh M.	The Book of Parliament. 1897	London	115— 6
Bentham J.	Bentham's Theory of Legislation.	—	115— 7
Muir R.	National Self Government. 1918	New York	115— 8
Mill J. S.	Considerations on Representative Government. 1905	London	115— 9
[119 政治 論 策]			
Fess.	Political Theory and Party Organization in the U. S. 1910	Boston	119— 1
	Mr. Lloyd George's Views on Important European Problems, Special Articles contributed to the Daily Telegraph.	London	119— 2
Coming J.	How China ought to be Governed. 1914	Singapore	119— 3
Muir R.	Politics and Progress. 1923	London	119— 4
Maioe H. S.	Popular Government. 1909	—	119— 5
Bright J.	Speeches: on questions of public policy. 1898	—	119— 6
Brady Robert.	The spirit and structure of German Fascism. 1937	Canada	119— 7
Boekhoff.	Völker-recht gegen Bolschewismus. 1937	Berlin	119— 8
Ashton E. R.	Fascist; his state and his mind. 1937	New York	119— 9
Walter Y. C.	Questionaries about Japanese jurisdiction in Manchuria. 1931	Dairen	119— 10
[120 行政 一 般]			
The Seoul Press Office	Administrative Reforms in Korea (Articles Reprinted from the seoul press).. 1919	The Seoul press office.	120— 1
Rudolf B.	Hitler gesetze 1~6. 1933	Leipsig	120— 2
Port F. J.	Administrative law. 1939	London	120— 3
Takekoshi Y.	Japanese rule in Formosa translated by Braithwaite.	—	120.1— 1
O			
Windt H. de.	Siberia as it is. 1892	London	121— 1
[124 地方 行政]			
Ashley P.	English Local Government. 1905	London	124— 1
Chalmers M. G.	Local Government. 1905	—	124— 2
Maxwells R. L.	English Local Government. 1905	—	124— 3

【歐 文】

編者姓名	書名	發行地	整理番號
Redmond L. G.	Home Rule. 1912	London	124— 4
Kala M. M.	Self-Government in the Philippines. 1919	New York	124— 5
【 125 都 市 行 政 】			
Whelen F.	London Government. 1898	London	125— 1
Rogers J. E. T.	The British Citizen. 1885	—	125— 2
Mackaye P.	The New Citizenship. 1915	—	125— 3
	An outline of the Greater Harbin Municipality. Kang Teh I	Harbin	125— 4
Shanghai municipal Council.	Shanghai municipal report (Report for the year 1931 and budget for the year 1935). 1935	Shanghai	125— 5
The Shanghai Civic Association.	Statistics of Shanghai. 1933	—	125— 6
Rasmussen O. D.	Growth of Tientsin. 1924	Tientsin	125— 7
Fairlie J. M. Kueiner G. A.	County government and administration. 1930	New York	125— 8
London County Council.	London Statistics, 1933~34. 1935	London	125— 9
L'office Permanent de l'Institut.	Annuaire statistique des grande villes 1927.	Haye	125— 10
【 130 官 廳 事 項 】			
Dept. of Foreign Affairs.	Information Bulletins, Nos 1~50, 51~120. 1934	Hsinking	135— 1
—	Publications of the Dept. of Foreign affairs Manchoukuo Government. 1933	—	135— 2
【 140 各 國 官 廳 事 項 】			
Institute for Government Research.	Service Monographs of the U. S. Government. No. 3~66. 1922-1934	New York	144— 1
	No. 3 Bureau of mines 1922 (Powell Ered wilbar)		
	No. 5 Tariff commission (Beruhardt Joshua)		
	No. 9 Weather Bureau (Weber Gustavus A.)		
	No. 10 Public health service (Schmoeckhier L. F.)		
	No. 11 National park service (Cameron Jenks)		
	No. 12 Employee's compensation commission (Weber, G.)		
	No. 13 General land office (Conover Milton)		
	No. 14 Bureau of education (Smith Darrell)		
	No. 15 Bureau of Navigation (Short Lloyd, M.)		
	No. 16 Coast of geodetic survey (Weber, G.)		
	No. 19 Railroad labor board (B. J.)		
	No. 21 Children's Bureau. (Tobey James A.)		

- No. 22 Women's Bureau (Weber, G.)
 No. 23 Office of supervising architect of the treasury (Smith Darrell H.)
 No. 24 Bureau of pensions (Weber G.)
 No. 25 Bureau of internal revenue (Ehle F.)
 No. 26 Bureau of Public roads (Holt W. Stull)
 No. 27 Office of chief of engineers of the army (Holt W. S.)
 No. 28 U. S. employment service (Smith, D.)
 No. 29 Bureau of foreign & domestic commerce (Schmeckbier & Weber)
 No. 30 Bureau of Immigration (Smith)
 No. 32 Office of experiment stations (C. M.)
 No. 34 Federal farm loan Bureau. (Holt U.)
 No. 35 Bureau of Standards (Weber, G.)
 No. 36 Government printing office (Schmeckbier)
 No. 37 Bureau of mint (Watson Jesse)
 No. 38 Office of the comptroller of the currency (H. T.)
 No. 40 Light house service (W. G.)
 No. 41 Bureau of animal industry (Powell, F.)
 No. 42 Hydrographic office (Weber, G.)
 No. 43 Bureau of naturalization (S. D.)
 No. 46 General accounting office (Smith, D.)
 No. 47 Bureau of plant industry (Powell, F.)
 No. 49 U. S. civil service commission (Smith, D.)
 No. 50 Food drug insecticide administration. (Weber, G.)
 No. 52 Bureau of chemistry and soil. (Weber, G.)
 No. 53 Bureau of census (Holt W. Stull)
 No. 55 Bureau of dairy industry. (Cameron)
 No. 57 Bureau of Prohibitor (Schmeckbier L.)
 No. 58 Forest service (Smith, D.)
 No. 59 Plant quarantine and control administration. (Weber, G.)
 No. 62 Bureau home economics (Better Paue U.)
 No. 64 Personnel classification board. (B. P. V.)
 No. 66 Veterau's administration (Weber, G.)

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Meyers L.	The Federal service. A study of the system of personnel administration of the U. S. Government. 1922	New York	144— 2
Shora L. M.	The Development of National administrative organization in the United States. 1923	Baltimore	144— 3
U.S. Printing Office.	First annual report of the Central Statistical Board. 1933	Washington	144— 4
Munro W. B.	Government of United States. 1936	New York	144— 5

〔 150 外 交 一 般 〕

Hertael	China Treaties, 2 vols. 1908	London	150.1— 1
Macnouray John	Treaties and agreements with and concerning China 1894~1911. 1921	New York	150.1— 2
	Treaties and agreements with and concerning China 1919~1929. 1929	Washington	150.1— 3
Mayers W. F.	Treaties between the Empire of China and Foreign Powers. 1902	Shanghai	150.1— 4
Pomsonby A.	Wars and Treaties 1815~1914. 1919	London	150.1— 5
Tyan M. T. Z.	Treaties obligation between China and other states. 1917	Shanghai	150.1— 6
	Treaty of peace between the Allied and Associated Powers and Germany, and Protocol. 1919	Signed at Versailles.	150.1— 7
Price E. B.	The Russo-Japanese treaties of 1907~1916 concerning Manchuria & Mongolia. 1933	Baltimore	150.1— 8

○

Robinson	The Foreign Policy of Woodrow Wilson, 1913~17. 1918	New York	150.9— 1
	The Game of Diplomacy. An European Diplomat.	London	150.9— 2
Moore J. B.	Principle of American Diplomacy. 1918	New York	150.9— 3
Shotwell J. T.	War as an Instrument of National Policy, and its Renunciation in the Pact of Paris. 1929	—	150.9— 4
Scott J. D.	The Hague peace conferences of 1899~1907 Vol. 1~2. 1909	Baltimore	150.9— 5
Lansing R.	The Peace Negotiations. 1921	Boston	150.9— 6
Huller A.	American Diplomacy in the Modern World. 1928	London	150.9— 7
Dickinson G. L.	Problems of the International Settlement. 1918	—	150.9— 9

編者姓名	書名	發行地	整理番號
【151 外交史】			
Ballows M.	History of the Foreign Policy of Great Britain. 1895	London	151—1
Blunt W. S.	Secret History of the English Occupation of Egypt.	—	151—2
Reisch P. S.	World Politics. 1900	New York	151—3
Coleman F.	The Far East Unveiled. 1916	Boston	151—4
Davis W. S.	Armed Peace. (A Non-technical History of Europe 1870~1914. 1919	London	151—5
Weigh ken Shan	Russo-Chinese diplomacy. 1928	Shanghai	151—6
Hsia C. L.	Studies in Chinese diplomatic history. 1925	—	151—7
【152 國際聯盟】			
The League of Nations Society	A Handbook for speakers on a League of Nations. 1918	London	152—1
Smith J. C.	The League of Nations. A Practical Suggestion. 1918	—	152—2
Pollock Sir F.	The League of Nations and the Coming Rule of Law. 1918	—	152—3
Murray G.	The League of Nations and the Democratic Idea. 1918	—	152—4
Marburg T.	League of Nations (Its Principles Examined). 1918	New York	152—5
Erzberger M.	League of Nations (The way to the World's Peace). 1919	London	152—6
Neely T. B.	The League of Nation's Danger. 1919	Philadelphia	152—7
Stallybrass W. T. S.	A Society of States or Sovereignty, independence and Equality in a League of Nations. 1918	London	152—8
MacLagan O. F.	The Way to Victory. 1918	—	152—9
Jackson & King-Hall	The League Year-Book. 1933	—	152—10
League of Nations	Statistical Year Book of the League of Nations, 1931~32. 1932-1938	Geneva	152—11
【157 極東問題・太平洋問題】			
Weale B. L. P.	The Coming Struggle in Eastern Asia. 1908	London	157—1
Marrit J. A. R.	The Eastern Question, an Historical Study in European Diplomacy. 1918	Oxford	157—2
Millard T. E.	Our Eastern Question. 1916	New York	157—3
Treat P. J.	The Far East. 1928	—	157—4

【歐 文】

編·著者名	題 名	發 行 地	發 行 年 號
Johnson Long	La Mandchourie et la doctrine de la Porte ouverte. 1933	Paris	157— 5
Colquhoun A. R.	The Mastery of the Pacific. 1902	New York	157— 6
Brown A. J.	The Mastery of the Far East.	—	157— 7
Millard T. F.	The Great War in the East. 1915	Shanghai	157— 8
Diosy A.	The New Far East. 1905	London	157— 9
Fletcher C. B.	The New Pacific, British policy & German aims. 1917	—	157— 10
Tominast	The Open-Door Policy and the Territorial Integrity of China. 1919	New York	157— 11
Ditcher G. M.	The Political Awakening of the East. 1925	—	157— 12
Fletcher C. B.	The Problems of the Pacific. 1919	London	157— 13
Carson Hon G.	Problems of Far East. 1894	—	157— 14
Millard T. F.	The Problems of the Far East. 1906	—	157— 15
	Problems of Pacific 1929. The Third Conference of the Institution of Pacific Relations. 1930	Chicago	157— 16
Scholfield G. H.	The Pacific, its Past and Future. 1919	London	157— 17
Bau M. J.	The Open Door Doctrine in relation to China. 1923	New York	157— 18
Morre H. B.	For Eastern International Relation. 1928	Shanghai	157— 19
Hyndman H. M.	The Awakening of Asia. 1919	London	157— 20
Millard T. F.	Democracy and the Eastern Question. 1919	New York	157— 21
Sokolsky G. E.	The Tinder Box of Asia. 1932	—	157— 22
Hornbeck S. K.	Contemporary Politics in the Far East. 1918	—	157— 23
Reinsch P. S.	Intellectual and Political Currents in the Far-East. 1911	Boston	157— 24
Clyde P. H.	International Rivalries in Manchuria (1689~1922). 1928	Columbus	157— 25
	Essays on the Manchurian Problem. 1932	Shanghai	157— 26
Kent P. H.	The Passing of the Manchus. 1912	London	157— 27
Coleman F.	Japan or Germany: the inside story of the struggle in Siberia. 1918	New York	157— 28
Tan Tennyson	Political status of Mongolia. 1932	Shanghai	157— 29
Mac Donald J.	Turky and the Eastern Question. 1912	London	157— 30

編者姓名	書名	發行地	整理番號
Lasker B.	Problems of the Pacific. 1931	Chicago	157—31
Das Taranath	Foreign Policy in the Far East. 1935	New York	157—32
En Tsang Yen	Open Door Policy. 1923	Boston	157—33
Blakeslee G. H.	Conflicts of Policy in the Far East. 1934	New York	157—34
Quigley H. S.	An Introductory syllabus on far eastern diplomacy. 1931	Chicago	157—35
Stein Guenther	Far East in ferment. 1936	London	157—36
Fargue La	China and the world War. 1937	Stanford University Press	157—39
Chamberlin W. H.	Japan over Asia. 1937	Boston	157—40
[158 居留地・租借地]			
	European Settlement in the Far East, China, Japan etc. 1900	London	158—1
Hsia Ching-Lin	The Status of Shanghai. 1929	Shanghai	158—2
[160 國際關係]			
Oxford University Press	Documents on International Affairs. 1932-1937	London	160—1
Bryce J.	Essays and Addresses in the War Time. 1918	—	160—2
Walpole S.	Foreign Relations. 1893	—	160—3
Wilson W.	Guarantees of peace. 1915	New York	160—4
Shaw B.	Peace Conference Hints. 1919	London	160—5
Grey of Fallodon	The Peace Conference and after. 1918	—	160—6
Tead O.	The People's Part in Peace. 1918	New York	160—7
Seldes G.	World Panorama. 1933	Boston	160—8
Douglas R. K.	Europe and the Far East, 1506~1912. 1913	Cambridge	160—9
Brown P. M.	International Realities. 1917	New York	160—10
Toynbee A. J.	Nationality and the War. 1915	London	160—11
—	Survey of international affairs. 1933-1934	—	160—12
[161 滿洲國對外關係]			
Walter Y. C.	The International Relations of Manchuria. 1929	Chicago	161—1
League of Nations	Relations of Japan with Manchuria and Mongolia. 1932	Tokyo	161—2

【歐 文】

編・著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Ling C. Y.	La Position et les droit ju Japan en Mandchourie. 1933	Paris	161— 3
Thomas F. Millard	America, Europe and the Manchuria Question. 1932	Geneva	161— 4
Walter Y. C.	Japan's Special Position in Manchuria. 1931	London	161— 5
—	Japanese Jurisdiction in the South Manchuria Railway Areas. 1931	—	161— 6
Mong G.	La Position juridique du Japon en Mandchurie. 1933	Paris	161— 7
Yamoto & Abiko.	Wiedergeburt der Mandchurei. 1932	Berlin	161— 8

【 162 日本對外關係】

Wada T.	American Foreign Policy Towards Japan During the Nineteenth Century. 1928	Tokyo	162— 1
Russel L.	America to Japan. 1915	New York	162— 2
Millis H. A.	The Japanese Problem in the United States. 1915	—	162— 3
Steiner J. F.	The Japanese Invasion. 1917	Chicago	162— 4
Stewl A.	Japan our New Ally. 1902	London	162— 5
Scherer J.	The Japanese Crisis. 1914	New York	162— 6
Aekawa.	Russo-Japanese Conflict. 1904	Boston	162— 7
Brindle E.	With Russian Japanese and Chunchuse. 1905	London	162— 8
Chesterton G.	Young China and New Japan. 1933	—	162— 9
Press of Byron S. Adams	Imperial Japanese Mission to the U. S. 1917	Washington	162— 10
Abbot J. F.	Japanese Expansion and American Policies. 1916	New York	162— 11
Meng C.	China speaks: on the conflict between China and Japan. 1933	—	162— 12
Funderland	Rising Japan. 1918	—	162— 13
Kawakami K.	Japan and World Peace. 1919	—	162— 14
Hishida	The International Position of Japan as a Great Power.	—	162— 15
Kawakami	Japanese in World Politics. 1917	—	162— 16
Gulick	American Democracy and Asiatic. 1919	—	162— 17
Siebold B. A.	Japan and the Comity of Nations. 1901	London	162— 18
Flowers Montaville	The Japanese Conquest of American Opinion. 1917	New York	162— 19

編者名	書名	發行地	整理番號
Akagi H.	Japan's foreign relations (1542~1936). 1936	Tokyo	162—20
Foster Rex Dallas	Forty years of American Japanese relations. 1937	New York	162—21

【163 民國對外關係】

Eargent A. J.	Anglo-Chinese Commerce and Diplomacy. 1907	London	163—1
Reichwein A.	China and Europe. 1925	—	163—2
Whyte Sir F.	China and Foreign Powers. (An Historical Review of their Relations.) 1927	—	163—3
Wheler W. R.	China and the World War. 1919	New York	163—4
Joseph P.	Foreign Diplomacy in China (1894~1900). 1938	London	163—5
Willoughby W. W.	Foreign Rights and Interests in China. 1937	Baltimore	163—6
Macnair H. F.	China International Relations and other Essays. 1926	Shanghai	163—7
Rockhill W. W.	China's Intercourse with Korea (from the 15th Century to 1895). 1905	London	163—8
Pollard R. T.	China's foreign relation. 1933	New York	163—9
Morse H. B.	The International Relations of the Chinese Empire. 3 Vols, 1910, 1918, 1919	—	163—10
Bau M. J.	The Foreign Relation of China. 1921	—	163—11
Willoughby W. W.	China at the conference a report. 1923	Baltimore	163—12
Southill W. E.	China and the West. 1925	London	163—13
Pick F.	China in the grip of the Reds. 1927	Shanghai	163—14
Wood G. Z.	Genesis of the open door policy in China. 1927	Peking	163—15
Ma W. H.	American Policy toward China. 1927	Shanghai	163—16
Hall R. O.	China and Britain. 1927	London	163—17

【164 蘇聯對外關係】

Lawlinson H.	England and Russia in the East. 1875	London	164—1
--------------	--------------------------------------	--------	-------

【165 英國對外關係】

Gooch G. H., Temperly	British Documents on the origins of the War 1898~1914, vol. 1-11	London	165—1
-----------------------	--	--------	-------

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理書號
【 166 美國對外關係】			
McLaughlin A. C.	American and Britain. 1919	London	186— 1
Jameson	Raid on the Transvaal.	—	166— 2
Chamberlain T. G.	Why We Fought. 1919	New York	198— 3
Woolsey T. B.	American Foreign Policy. 1898	—	196— 4
Foster J. W.	American Diplomacy in the Orient. 1904	Boston	196— 5
Fish C. R.	American Diplomacy. 1919	New York	180— 6
Angell N.	America and the New World-State. 1915	—	166— 7
Latane J. H.	From Isolation to Leadership. 1918	—	198— 8
Mcmaster	The United States in the World War. 1918	—	166— 9
Faivre P. L.	American's Hour in the War. 1918	Paris	186— 10
Shepardson W. H.	The United States in world affairs in 1934~1935: an account of American foreign relations. 1936	New York	196— 11
【 167 法國對外關係】			
Ganlicour H.	The Paternal State in France and Germany. 1898	London	187— 1
【 168 德國對外關係】			
Laur R.	Czecho-Slovak Claims on German Territory. (2 vols) 1919	Hague	188— 1
Dawson W. H.	The German Empire (1867~1914). 1919	London	188— 2
Smith M.	Militarism and Statecraft. 1918	New York	188— 3
Woods H. G.	The Cradle of the war. 1918	London	188— 4
【 169 意國對外關係】			
Svensken A.	Sweden's Right. 1907	London	189— 1
Gibbon T. E.	Mexico under Carranza. 1919	New York	189— 2
Innan S. G.	Intervention in Mexico. 1919	—	199— 3
League of Nations	Dispute between Ethiopia and Italy. 1935	Geneva	199— 4
Martelli George	Italy against the world. 1937	London	199— 5
【 170 軍 事 一 般】			
Bernhardt F.	German and the Next War. 1919	New York	170.9— 1

編者名	書名	發行地	整理番號
Cook E. T.	Rights and Wrongs of the Transvaal War. 1901	London	170.9— 2
Jones J.	The Fall of Tsingtau (with a study of Japan's Ambitions in China). 1915	Boston	170.9— 3
Lea H.	The Valor of Ignorance. 1909	New York	170.9— 4
【 172 國防軍備】			
McCormick F.	The Menace of Japan. 1917	Boston	172— 1
Wise J. C.	Empire and Armament: The Evolution of American Imperialism and the Problem of National Defence. 1915	New York	172— 2
Freytag-Loringhoven	A Nation Trained in Arms or amilitia? 1198	London	172— 3
Maurice C.	National Defence. 1937	—	172— 4
【 176 陸軍】			
Carter W. H.	The American Army. 1915	Indianapolis	176— 1
Grand Julian	A Citizen's Army. The Swiss Military System. 1915	New York	176— 2
Green E. V.	The Present Military Situation in the U. S. 1915	—	176— 3
Wheeler C. O.	The Story of our Army. 1903	London	176— 4
Maccann I.	With the National on the Border. (Our National Military Problem). 1917	St. Louis	176— 5
【 177 海軍】			
Coruford L. C.	The British Navy. 1918	London	177— 1
Cabane M.	The Freedom of Seas (The History of a German Trap) 1918	—	177— 2
Daniel J.	The Navy and the Nation. 1919	New York	177— 3
Haven M.	The Royal Navy (1815~1918). 1918	Cambridge	177— 4
Flennes G.	The Ocean Empire. 1914	London	177— 5
【 179 軍縮會議】			
U.S. Government Printing Office	Conference on the Limitation of Armament. 1922	Washington	179— 2
【 20 經濟・財政・商業】			
【 200 經濟一般】			
Green W. W.	Natural law in the economic world. 1937	Boston	200.1— 1
Field H.	Palgrave's Dictionary of Political Economy. 3 vols. 1904	London	200.2— 1

【歐 文】

編・著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Field F. V.	Economic hand book of the pacific area. 1934	New York	200.2— 2
○			
Gustav Gratz	Ungarisches Wirtschafts-Jahrbuch. 1933—1935	Wien	200.4— 1
○			
Julius Springer	Osterreichs Wirtschaft im Jaher 1932 1933	Wien	200.5— 3
Schultz Henry	Statistical Laws of Demand and Supply. (with special application to sugar). 1928	Chicago	200.5— 3
	Recueil international de statistiques economiques (1919~1930). 1934	Haye	200.5— 4
Bowman R. T.	Statistical Study of profits. 1934	Philadelphia	200.5— 5
Peter Haus	Statistik und Theorie in den Wirts- chaftswissenschaften. 1933	Stuttgart	200.5— 6
○			
Dairen Chamber of Commerce	Economic conditions in Manchuria. 1934	Dairen	200.9— 1
Karamisheff	Mongolia and western China: social and economic study. 1925	Tientsin	200.9— 2
Minnesota University Press	Impact of the Depression ou Business Activity & Real Income in Minnesota. 1934	Minnesota	200.9— 4
Dobbert Gerhard	Die faschistische wirtschaft (Probleme und Tatsachen). 1934	Berlin	200.9— 5
Dept. of Overseas Trade	Trade conditions in the Philippine Islands. 1933	London	200.9— 6
	Economic conditions in Ecuador 1932. 1933		
	Economic conditions in the republic of Panama and the Panama canal Zone, 1931-32 1933		
	Economic conditions in Portuguese East Africa, 1932-1933 (Ford H. A.)		
	Economic conditions in the republics of Guatemala, Honduras of Nicaragua, 1932 1933 (Lee. C. C. A.)		
	Economic conditions in Brazil, 1932 1933 (Harvey M. etc)		
	Economic conditions in Hungary, 1930-32 1933 (Carpenter. H. C. A.)		
	Economic conditions in Spain 1933 (Adams Alexander)		
	Economic conditions in Siam, 1932 1933 (Bailey. J. & Bird H. R.)		
	Economic and trade conditions in the United States of America, 1933 (Chalkley H. O.)		

編者姓名	書名	發行地	卷數	頁數
	Report on Economic conditions in Algeria, Tunisia and Tripolitania. 1932-1933			
	Economic conditions in Belgium. 1932-1933 (Reynolds N. E.)			
	Economic conditions in the Netherlands. 1933			
	Conditions and Prospects of United Kingdom trade in India. 1932-33. 1933 (Ainscough, M.)			
	Economic conditions in France. 1934-1934 (Cahill, R.)			
	Economic conditions in the Republic of Nicaragua. 1934-1936			
	Economic conditions in the British West Indies, British Guiana, British Honduras and Bermude, 1933-34. 1933 (Bollard A. E.)			
Buchanan D. H.	Developments of capitalist enterprise in India. 1934	New York	200.9	7
League of Nations	Report of the technical agent of the council on his mission in China. 1934	Geneva	200.9	8
National Bureau of Economic Research	Report of the President and report of the directors of research. 1931	New York	200.9	9
Chang Yin-Tang	Economic development and Prospects of Inner Mningolia. 1933	Shanghai	200.9	10
League of Nations	State and economic life. 1932	Paris	200.9	11
Librairie de Recueil Sirey	France economique en 1935 14e Anne. 1936	—	200.9	12
Reiner C. F.	Readings in economics for China. 1928	Shanghai	200.9	13
Chi Chao-Ting	Key economic areas in Chinese history. 1936	London	200.9	14
Falter Sir Arthur	China and the depression: impressions of a three months visit. 1934	Shanghai	200.9	15
Chinese Workers Correspondence	Economic conditions in China. 1934-35	—	200.9	16
	Economic organization of the Soviet Union. 1927	New York	200.9	17
Wagerführ Horst	Korporative wirtschaft in Italien. 1934	Berlin	200.9	18
【 201 經 濟 學 】				
Walker F. A.	A Brief Political Economy. 1897	London	201	1
Nicolson J. S.	Element's of Political Economy. 1906	—	201	2
Walter B.	Economic Studies. 1905	New York	201	3
Fawcett M. G.	Political Economy for Beginners. 1874	London	201	4
Marshall A.	Economics of Industry. 1907	Cambridge	201	5

【 歐 文 】

編・著者名	題 名	發 行 地	登錄番號
Farber F.	The Mind Mencius (or Political Economy Founded upon Moral Philosophy). 1897	Tokyo	201— 6
Morley Felix	The Economic world today. 1933	Chicago	201— 7
Hesse Albert	Grundritz der Politischen Okonomie. 1934	Jena	201— 8
Ross Charles Frederick	Dynamic Economics. Theoretical and Statistical Studies of Demand, Production and Prices. 1934	Colorad	201— 9
Wagemann E.	Economic Rhythm. A History of Business Cycles.	New York	201— 10
Merker Hans	National sozialistische wirtschaftsgestaltung. 1936	Berlin	201— 11

【 202 經 濟 史 】

Bank of Chosen	Economic History of Manchuria. 1921	Seoul	202— 1
Minbe S.	Economic History of Chosen. 1921	—	202— 2

【 203 經 濟 政 策 】

Chen Gideon	Chinese government economic planning and reconstruction 1927-1933	Tientsin	203— 1
Conolly Violet	Soviet economic policy in the East. 1933	London	203— 2
Meyers	A Hand Book of N. R. A. 1934	New York	203— 3
League of Nations	National recovery measures in the U. S. 1933	Geneva	203— 4
Cole G. D. II.	Principles of economic Planning. 1935	London	203— 5
Kleock M.	On economic Planning. 1935	New York	203— 6
Fischer Guido	Betriebswirtschaftslehre. 1935	Leipzig	203— 8
Burns E.	Russian productive system. 1939	London	203— 9
Adams A. B.	Our economic revolution; solving our depression problems through public control of industry. 1935	Oklahoma	203— 10
Bingham A. and Rodman S.	Challenge to the New Deal.	New York	203— 11
Corey L.	The Decline of American capitalism.	—	203— 12
Webb S.	Soviet Communism. 2 vols.	London	203— 13
Matthias W.	Die Staatliche Organisation der Kriegswirtschaft.	Berlin	203— 14
Berkenkopf G.	Die Finanzierung der Russischen Planwirtschaft. 1932	Rostock	203— 15
Bratzkus	Der Fünfjahresplan und seine Erfüllung. 1933	Leipzig	203— 16

編・著者名	書名	發行地	整理番號
Dieckmann	Die Behörden Organisation in der Deutschen Kriegswirtschaft. 1932	Hamburg	203—17
Lamb E.	The Planned economy in Soviet Russia. 1934	Philadelphia	203—18
Samuel M.	The great experiment. 1935	London	203—19
Chamberlin W.	The Soviet planned economic order. 1931	Boston	203—20
Atkins W. E.	Economic problem of the New Deal. 1935	New York	203—21
Fulton J. A.	Our economic nationalism; its purpose and importance.	London	203—22
Fuchs E.	Die Russische industrie-organisation. 1931	Berlin	203—23
Stolberg B., Vinton W. J.	The economic consequences of the New Deal. 1935	New York	203—24
【204 經濟施設】			
Lorwin L. L.	Advisory economic councils. 1931	Washington	204—1
【206 同業組合】			
Morse H. B.	Gilds of China. 1932	Shanghai	206—1
—	Gilds of China. 1909	London	206—2
Kleal Felix	Beruf und Betrieb. 1934	Berlin	207—2
【208 恐慌】			
Müller J.	Einführung in die Konjunkturstatistik. 1936	Jena	208—1
Stock G. H.	An Escape from National Bankruptcy. 1918	—	208—2
【209 資源國富】			
Colin Clark	The National Income (1924-1931.) 1932	London	209—1
Elsas M. J.	Volkswohlstand und volkseinkommen, messung des Wohlstandes und Dynamik des Lhus. 1934	Leipzig	209—2
Fisher F. E.	Resource and industries of the United States. 1929	Boston	209—3
Committee on Finance	National income. (1929-32) 1934	Washington	209—4
【211 世界經濟】			
Ernst Wagenmann	Struktur und Rhythmus der Weltwirtschaft. 1931	Berlin	211—1
League of Nations	World economic survey, 3rd-4th year 1933-35 1934	Geneva	211—2
Bearbeitet im Statistischen Reichsamt	Statistisches Handbuch der Weltwirtschaft. 1934	Berlin	211—3

[歐 文]

編者姓名	書名	發行地	整理書號
[212 國際經濟關係]			
Oxford University Press	Survey of International Affairs. 1934	Oxford	212— 1
Overlach	Foreign Financial control in China. 1919	New York	212— 2
Field F. V.	Economic hand-book of the Pacific Area. 1934	—	212— 3
Lien D. K.	Foreign Investments in China. 1929	Shanghai	212— 4
日 本 實 業 會 社	Foreign investments in China. 1939	Tokyo	212— 5
Remer C. F.	Foreign investments in China. 1933	New York	212— 6
League of Nations	The State and Economic Life. 1933	Paris	212— 7
Vanderlip F. A.	What Happened to Europe. 1919	New York	212— 8
League of Nations	Remarks on the Present Phase of International economic relations. 1935	Geneva	212— 9
Remer C. F.	Foreign investments in China. 1933	Baltimore	212— 10
League of Nations	Balances of Payments (1931-34) 1933	Geneva	212— 11
Remer C. F.	Study of Chinese boycotts. 1933	Baltimore	212— 1
[220 財 政 一 般]			
Wilhelm Gerloff und Franz Meisel	Handbuch der Finanzwissenschaft. Bd. 1-31 1926-27	Tübingen	220.2— 1
Mitsui M.	Bibliography of finance. 1935	Tokyo	220.2— 2
Statistical Dept.	Catalogue of customs Publications. 1934	Shanghai	220.3— 2
○			
Dept. of Finance	Financial and economic annual of Japan 1931-35. 1931	Tokyo	220.4— 1
Treasury Department	Annual report of the secretary of the treasury on the state of the finances for fiscal Year ended June 30, 1934, 1935	Washington	220.4— 2
○			
Shiomai Sakro	The Burden of Taxation on the Citizens of Big Cities in Japan- on the Osaka Citizens in Particular. 1930	Tokyo	220.5— 1
U. S. Bureau of Census	Financial statistics of Cities having a populations of over 30,000. 1931 1934-35	Washington	220.5— 2
○			
Timpe P. A.	Einführung in die Finanz und Wirtschaftsmathematik. 1934	Berlin	220.9— 1
Reddaway W. B.	Russian financial system. 1935	London	220.9— 2

編者名	書名	發行地	整理番號
League of Nations	Memorandum on Public finance. 1923-29	Geneva	230.9—3
H. M. S. Office	Finance accounts of the United Kingdom for the financial Year. 1933-34	London	230.9—4
Einzig Paul	World finance since 1914-1933.	—	230.9—6
Lee Chou Ying	System of Chinese Public finance. 1936	—	230.9—6
Chen D. T.	Reconstruction of the Indian financial and banking system. 1931	Shanghai	230.9—7
Padoux G.	Financial reconstruction of China and the consolidation of China's Present indebtedness. 1924	Peking	230.9—8
【221 財 政 學】			
Documents Office	Public Finance. 1895	Paris	231—1
Shirras G. F.	Science of public finance 1936	London	231—2
【224 歲 計】			
Wilson A. J.	The National Budget, National Debt, Taxes and Rates. 1882	London	234—1
Buck A. E.	Budget in governments of to-day. 1904	New York	234—2
【225 公 債】			
Commission for the Adjustment of Finance	The Outstanding Debts of the Ministry of communications,	Peking	235—1
—	Tables of Inadequately Secured Foreign Loans of the Ministry of Finance. 1925	—	235—2
Clerk E.	The International debts of the United States 1933	New York	235—3
Kann, E.	The History of China's internal loan issues. 1934	Shanghai	235—4
【226 租 稅】			
Reimar Hobbing	Die Besteuerung gewerblicher unternehmungen und ihre betriebswirtschaftlichen Grundlagen. 1934	Berlin	236—1
Gerasimobb A. E.	北滿稅捐誌(露文)	Harbin	236—2
【227 關 稅】			
Parker E. H.	Chinese Customs. 1899	Shanghai	237—1
Pierce F.	The Tariff and the Trusts. 1913	New York	237—2
Lin T. M.	Modern Tariff Policies with special Reference to China. 1925	Peking	237—3
Tanwig	Tariff History of the United States. 1898	New York	237—4

【 歐 文 】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
General Custom	Customs Imports Tariff of the Republic of China. 1933	Shanghai	227— 6
Wright S., Braud A.	Code of Customs Regulations and Procedure. 1933-35	—	227— 7
Budo J. F.	Customs House Guide: an Importer's Encyclopedia, 1933-L 1934	New York	227— 7
Wright Stanley	China's customs revenue since the revolution of 1911. 1935	Chicago	227— 8
Wright P.	American tariff and oriental trade. 1931	—	227— 9
Statistical Dept. of I. G. O.	Customs interport tariff of the republic of China. 1931	Shanghai	227— 10
—	Customs export tariff of the republic of China. 1934	—	227— 11
—	Privileged factory Products tariff. 1934	—	227— 12

【 228 官業・國有財產 】

Hirst F. W.	Monopolies, Trusts and Kartells. 1905	London	228— 1
Motte E. N.	The Opium Monopoly. 1920	New York	228— 2
Chan Chun-Ming	The Genesis and Meaning of Huan Kuan's "Discourses on Salt and Iron." 1934	Tientsin	228— 3

【 229 戰 債・賠 償 】

Allen J. E.	The War Debt. 1919	London	229— 1
Bordelonge, J.	Russian Portion of the Boxer indemnity.	Shanghai	229— 2
Liu S. Y.	China's debts and their readjustment.	—	229— 3

【 230 金 融 一 般 】

Ludwig, von Mises	Theory of money and Credit. 1934	London	231— 1
-------------------	----------------------------------	--------	--------

【 234 信 用 制 度 】

Straker F.	The Money Market. 1904	London	234— 1
Wügel S. R.	Chinese currency and banking. 1913	Shanghai	234— 2
Kaon E.	The Central Bank of Canton. 1928	—	234— 3
League of Nations	Commercial Bank (1929-1934). 1935	Geneva	234— 4
Ministry of Communication	Report on the Postal remittances and savings bank. 1930-33	Shanghai	234— 5

編者姓名	書名	發行地	整理番號
Bastel A. S. J.	The Imperial Banks.	Shanghai	234—7
【236 萬 替】			
Einaig Paul	Exchange control. 1934	London	236—1
Ministry of Communications.	Report on the Postal remittances and saving bank. 1935	Shanghai	236—2
【237 資金 投資】			
Mallock W. H.	Capital War, and Wages. 1918	London	237—1
Baylin J. R. & Kann Edouard	Chinese internal loans. 1929	Peiping	237—2
Kann E.	History of China's internal loan issues. 1934	Shanghai	237—3
—	Redemption tables of Chinas internal loan issues. 1933	—	237—4
【240 貨幣 一般】			
Madden J. T. & Uadler M.	International money Markets. 1935	New York	240.9—1
Pinnick A. W.	Silver and China. 1930	Shanghai	240.9—2
Koh Tsung, F.	Silver at Work (With special reference to China). 1935	—	240.9—3
Lewis A. B.	Silver and the Chinese Price level. 1933	Nanking	240.9—4
Kann Edouard	Currencies of China. 1927	Shanghai	240.9—5
Hsi, L. S.	Silver and prices in China. 1935	—	240.9—6
Lin Wei-Ying	China under depreciated silver. (1926-1931) 1935	—	240.9—7
Ivanoff P. E.	Technical analysis and the solution of the Chinese silver crisis. 1935	Hankow	240.9—8
Gurevich M. S.	China and the silver Problem.	Tientsin	240.9—9
【241 貨幣 理論】			
League of Nations	Report of the gold delegation of the Financial committee. 1932	Geneva	241—1
Cole G. D. H.	What everybody wants to Know about money. 1933	London	241—2
Puxley H. L.	Critique of the gold standard. 1933	—	241—3
Mc, Cracken Harlan Linnus	Value theory and business cycles. 1933	New York	241—4
Hall N. F.	Exchange equalisation account. 1935	London	241—5
Walter K. E.	Money. 1935	New York	241—6

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
【 243 貨 幣 政 策】			
Edkins J.	Chinese Currency. 1901	Shanghai	243— 1
China, Commission of Financial Experts	Project of Law for the Gradual Introduction of a Gold Standard Currency System in China together with a Report in Support thereof. 1929	—	243— 2
Kann, E	The Mystery of the Hongkong Dollar.	—	243— 3
Shea W. P.	Silver Dollars. 1935	New York	243— 5
【 244 鑄 貨 紙 幣】			
Director of the Imperial Mint	Report of the Director of the Imperial Mint. 1933	Osaka	244— 1
Kanu, E	Copper Banknotes in China. 1934	Shanghai	244— 2
○			
Luthringer G. F.	Gold-exchange standard in the Philippines. 1934	London	245— 1
【 250 物 價】			
Tooke and Newnarch	A History of Prices, and of the State of the Circulation. (6 vols) 1792~1856. 1928	London	250— 1
Research Dept. Bank of China	An Analysis of Shanghai commodity Prices 1923~1932. 1933	Shanghai	250— 2
【 261 保 險 學】			
Wilson A. J.	The Business of Insurance. 1904	London	261— 1
【 270 商 業 一 般】			
Commission on Extracriticiality	Regulations relating to commerce. 1923	Peking	270.1— 1
Dept. of Commerce	Commerce Year-Book 1929—1937.	Washington	270.4— 1
League of Nations	Review of world trade, (1934). 1935	Geneva	270.4— 2
Secretary of Commerce	Twenty first annual report of the Secretary of Commerce. 1933	Washington	270.4— 3
○			
Dept. of Commercial Intelligence and Statistics	Raw Cotten trade statistics for September. 1934	India, Delphi	270.5— 1
Hausser Henri	Germany's Commercial Clip on the World. 1918	London	270.9— 1
Gibus H. de B.	British Commerce and Colonies. 1899	—	270.9— 2
Ware Fabian	Educational Foundations of Trade and Industry. 1901	—	270.9— 3

編者姓名	書名	發行地	整理番號
James T. M. Moore	American Business in World Markets. 1919	New York	270.9—4
Verill A. H. U. S. Dept. of Commerce.	South and Central American Trade Condition of To-day. 1919	—	270.0—5
Smith Walter	China, a commercial and Industrial Hand book. 1923	—	270.0—6
Wright G. E.	Fluctuations in American Business. 1790-1960	Cambridge	270.9—7
	Trade and trade barriers in the Pacific. 1935	Honolulu	270.9—8
【272 商業史】			
Burnley, James	The story of British Trade and Industry. 1904	London	272—1
Gibbins H. de. B.	History of Commerce in Europe. 1905	—	272—2
Cunningham W.	The Rise and Decline of Free Trade Movement. 1905	Cambridge	272—3
【273 商業政策】			
Fuchs C. J.	The Trade Policy of Great Britain and Her Colonies since 1860. 1905	London	273—1
Wilmore A. W.	Business Budgets and Budgetary Control. 1932	—	273—2
Bastable C. F.	The Commerce of Nations. 1890	—	273—3
Fonmer Louise	Neugestaltung der Handelspolitik.	Berlin	273—4
【274 商業機關】			
Duguid, C.	The Stock Exchange. 1904	London	274—1
Hirst F. W.	The Stock Exchange.	—	274—2
Branson G. A. H.	The Stock Exchange and its Machinery.	—	274—3
Wenley C. M.	Business Cycles. 1930	New York	274—4
International F. of Trade Union	Activities of the international federation of trade Unions, (1930~1932) 1934	Paris	274—5
Fong H. D.	Terminal Marketing of Tientsin cotton. 1934	Tientsin	274—6
【276 商品】			
Watson E.	The Principal articles of Chinese commerce. 1930	Shanghai	276—1
【278 貿易】			
Charles, M. Pepper	American Foreign Trade. 1919	New York	278—1
Vadder G. C.	American Methods in Foreign Trade. 1919	—	278—2

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Bowley A. I.	England Foreign Trade in the 19th Century. 1905	London	278— 3
Tozer H. J.	British India and its Trade. 1902	—	278— 4
Smith G. A. M.	The British in China and Far Eastern Trade. 1937	—	278— 5
Reiser C. F.	The Foreign trade of China. 1928	Shanghai	278— 6
Shuey H. S.	Bibliography of Foreign Trade Publication. 1918	San Francisco	278— 7
Farrer T. H.	The State in its Relation to Trade. 1902	London	278— 8
Johannes von Gumpach	The Treaty-rights of the foreign merchant, and the transit-system in China.	Peking	278— 9
Hobson J. A.	International Trade: An Application of Economic Theory. 1934	London	278— 10
League of Nations Statistical Dept. of the Inspectorate General of Customs	Review of World Trade. 1933	Geneva	278— 11
Morse Hosea B.	Annual Trade reports and Returns (1923-1925)	Shanghai	278— 13
China I. M. Customs Order of the Inspector General of Custom	The Trade and administration of the Chinese Empire. 1908	—	278— 14
Societe des Nations	China the Maritime Customs. 1931-33	—	278— 15
League of Nations	Foreign trade of China. 1931	—	278— 15
Conolly Violet	Satistiques du commerce international. 1933	Geneva	278— 16
Dept. of H. M. Customs	International trade Statistics. 1934	—	278— 16
—	Soviet trade from the Pacific to the levant. 1935	London	278— 17
Statistical Dept. of L. G. C.	Annual statement of the foreign trade and navigation of the Kingdom of Siam. 1934	—	278— 18
—	Annual Statement of the trade of the United Kingdom with British countries and foreign countries. 1934 vol. 1-3 1935	Bangkok	278— 19
—	Report of the Marine Dept. 1934	Shanghai	278— 20
—	Trade of China. 1936	—	278— 21
—	Guide to the import tariff (1934) and classification of returns. 1934	—	278— 22
Ho Franklin L.	Index numbers of the quantities and prices of imports and exports and of the barter terms of trade in China. 1907-1928	Tientsin	278— 23
Ho Ping Yin	China's foreign trade for the first half-year. 1932-33	Nanking	278— 24

編者名	書名	發行地	整理番號
League of Nations	International trade in certain raw of Origin materials and foodstuffs by countries and consumption. 1936	Geneva	278—28
[280 會計・簿記]			
League of Nations	Enquiry into creating agreements. 1935	Geneva	280—1
[3 產業]			
[300 產業一般]			
Bornhak, Conrad	Deutsches Reichs-Gesetzbuch Für Industrie Handel und Gewerbe. 1923	Berlin	300.1—1
○			
Bureau of Foreign Trade	China industrial handbooks Chekiang, Kiangsu. 2 Vols. 1935	Shanghai	300.2—1
○			
Industry Book Department	Industry Year Book and Directory. 1934	Calcutta	300.4—1
League of Nations	World Production and Prices 1925-1932 1933	Geneva	300.4—3
H. M. S. Office	Final report on the fourth census of production. 1933-35	London	300.4—4
○			
U. S. Department of Commerce	Statistics for industries and states, Manufactures. 1924-1932	Washington	300.5—1
International Labour Office	Enquiry into production. 1929	Geneva	300.5—2
Departament Nacional de Estatística	Estatística da produção industrial do Brasil, 1915-1929 1933	Rio De Janeiro	300.5—3
Cutter William Parker	Industries List, a classified List of industries and occupation with a numerical notation. 1930	Boston	300.5—4
○			
Alford L. P.	Cost and Production Handbook. 1934	New York	300.9—1
Lawson W. H.	American Industrial Problems. 1903	—	300.9—2
Howard, Earl Dean	The Cause and Extent of the recent Industrial Progress of Germany. 1907	London	300.9—3
Len D. K.	Preliminary report on Shanghai industrialization. 1933	Shanghai	300.9—4
Macgregor D. H.	Industrial Combination. 1906	London	300.9—5
Stadwell Arthur	Industrial Efficiency. A Comparative study of Industrial Life England, Germany and America. 1909	New York	300.9—6
Wright G. D.	Industrial Evolution of the U. S. A. 1895	—	300.9—7

【歐 文】

編者姓名	書名	發行地	整理番號
Lyman Abbot	The Industrial Problem. 1905	Philadelphia	300.9— 8
Jones Arthur	The Industrial Revolution. 1890	London	300.9— 9
Mcrey F. L.	Modern Industrialism. 1904	New York	300.9— 10
Clarke J. J.	Outlines of Industrial and Social Economics. 1919	London	300.9— 11
Djang Siao-mei	Position of China as a Producer of Raw Materials and a Consumer of Manufactured Products. 1933	Shanghai	300.9— 12
Nieh C. Z.	China's Industrial Development: its Problems and Prospect. 1933	—	300.9— 13
Vakil, C. N.	Growth of Trade and Industry in Modern India. 1931	London	300.9— 14
Morgan, Ben. H.	The Trade and Industry of Australasia. 1908	—	300.9— 15
H. M. Stationery Office	Factors in Industrial and Commercial efficiency. 1927	—	300.9— 16
Information Bureau	Industry of Manchoukuo: A rough sketch. 1934	Hanking	300.9— 17
Tawney R. H.	Memorandum on agriculture and industry in China. 1931	Honolulu	300.9— 18
Arthur F. Burn	Production trends in the United States since 1870-1934.	New York	300.9— 19
Fong H. D.	Rural weaving and the merchant employers in a north China district. 1935	Tientsin	300.9— 20
Burns A. B.	Decline of competition: A study of the evolution of American industry. 1936	New York	300.9— 21

【 301 產 業 史】

Collar George	Industrial and social History of England. 1930	London	301— 1
Allsopp Henry	Introduction to English Industrial History. 1930	—	301— 2
Gibbins H. de B.	Industrial History of England. 1907	—	301— 3
Cunningham W.	Outlines of English Industrial History. 1919	Cambridge	301— 4

【 302 產 業 政 策】

Frank G.	The Politics of Industry. 1919	New York	302— 1
Norman Thomas	After the New Deal. 1936	—	302— 2
Lengyel Emil	New Deal in Europe 1934	—	302— 3

編者名	書名	發行地	卷期號
【 309 度 量 衡】			
Blockhys E. J.	Vade-mecum of modern metrical units for business men and students of Commerce. 1931	Tokyo	309— 1
Molesworth Guilford	Weights measures and decimal tables. 1932	London	309— 2
Wu, Chenlott C.	Unification of weights and measures in China. 1934	Nanking	309— 3
【 310 農 業 一 般】			
U. S. Dept. of Agriculture	Year book of Agriculture. 1932	Washington	310.4— 1
○			
I. I. of Agriculture	International year book of Agricultural statistics. 1932-38	Rome	310.5— 1
Statistisches Reichsamt	Deutscher Landwirtschaft. 1934	Berlin	310.5— 2
○			
King F. H.	Farmers of forty centuries. 1933	London	310.9— 1
Wagner Wilhelm	Chinesische Landwirtschaft. 1926	Berlin	310.9— 2
Rougens A. G. Z.	Business Side of Agriculture. 1904	London	310.9— 3
Tawney R. H.	Land and labour in China. 1932	—	310.9— 4
U. S. Dept. of Agriculture	Agricultural outlook for 1934.	Washington	310.9— 5
King F. H.	Farmers of forty centuries. 1933	London	310.9— 6
【 313 農 業 政 策】			
Antsiferaw Alexis N.	Russian Agriculture During the war. 1930	New Haven	313— 1
League of Nations	Considerations on the present evolutions of agricultural protectionism. 1933	Geneva	313— 2
【 314 農 地】			
Chen Han-feng	Present agrarian problem in China.	Shanghai	314— 2
Bureau of Statistics	Arable Land census of Japan Proper. 1929-30	Tokyo	314— 3
【 315 農 業 經 營】			
Buck J. L.	Chinese Farm Economy. 1930	Nanking	315— 1
Fong C. Y.	An Economic Study of Chinese agriculture. 1924	Shanghai	315— 2
Malone and Taylor	Study of Chinese Rural Economy. 1924	Peking	315— 3
Mattern Gehard	Die landwirtschaftliche Schuldenregelung. 1934	Berlin	315— 4

【歐 文】

編·著·者·名	書 名	發 行 地	整 理 番 號
【 316 農 事 諸 機 關】			
Edwin Morse G.	Legal Status of agricultural Co-operation. 1928	New York	316— 1
【 318 農 村 及 農 村 問 題】			
Kokin M. O.	The agrarian system of China. 1930	Leningrad	318— 1
Fong H. D.	Rural industries in China. 1933	Tientsin	318— 2
John D. Black	Research in rural institutions-scope and method. 1936	New York	318— 3
Fong H. D.	Growth and decline of rural industrial in north China. 1936	Tientsin	318— 4
【 321 農 作 物】			
Bowdidge Elizabeth	Soya bean: its history, Cultivation and uses. 1935	Oxford	321— 1
Horvath A. A.	As human food.	Shanghai	321— 2
○			
Torgashof, Boris, P.	China as a tea Producer. 1923	Shanghai	322— 2
Lee Hsien Wei	Tobacco in China. 1934	Tientsin	322— 3
【 325 園 藝】			
Meyer F. N.	Agricultural explorations in the fruit and nut orchards of China. 1911	Washington	325— 1
【 蠶 · 畜 · 林 業】			
Lien D. K.	Silk Reeling Industry in Shanghai. 1933	Shanghai	330.5— 1
○			
Beck Salim	Mongolia horse. 1926	Tientsin	345— 1
○			
Willard M. Porterfield	Bamboo, and its uses in China.	Shanghai	356— 1
【 370 鑛 業 一 般】			
Collins W. F.	Chinese mining Legislation. 1916	London	370.1— 1
○			
Wang Chung Yu	Bibliography of the mineral wealth of China from 1924-33.	Shanghai	370.2— 1

編·著者名	書名	發行地	【版 次】 整理番號
American Metal Market	Metal statistics. 1934	New York	370.5— 1
American Bureau of Metal Statistics	Year book of the American Bureau of Metal Statistics. 1936	—	370.5— 2
○			
Rowland R. Gibson	Forces mining and Undermining China. 1914	London	370.9— 1
Torgashev B. P.	Mineral Industry of the East. 1930	Shanghai	370.9— 2
【 373 鑛業經營】			
Moil A.	Mining and mining Investment. 1904	London	373— 1
Torgashev Boris P.	Mining labor in China. 1930	Shanghai	373— 2
Daugherty C. R.	The economics of iron and steel industry. vol. 2	New York	373— 3
【 375 金屬鑛物】			
Jears J. S.	Iron Trade of Great Britain. 1906	London	375— 1
【 376 非金屬鑛物】			
Torgashev B. P.	Gold mining Prospects in Manchuria. 1927	Shanghai	376— 1
【 377 鑛泉】			
Martin E. A.	The story of Piece of coal. 1905	Shanghai	377— 1
Torgashev B. P.	Digest of a coal, iron and oil in the far east. 1929	Honolulu	377— 2
【 380 工業一般】			
Chen T.	Study of the Applicability of the Factory Act of the Chinese Government. 1931	Shanghai	380.1— 1
○			
Marshall A.	Economics of Industry. 1907	London	383— 1
Fong H. D.	Industrial capital in China. 1936	Tientsin	383— 2
○			
Lán S. H.	Factory Workers in Tangku. 1928	Peking	385— 1
【 391 纖維工業】			
Fong H. D.	Cotton Industry and Trade in China. 1932	Tientsin	391— 1
Chapman S. T.	The Cotton and Trade. 1905	—	391— 2
Fong H. D.	Rayon and cotton weaving in Tientsin. 1930	—	391— 3
—	Hosiery Knitting in Tientsin. 1890	—	391— 4

【歐 文】

編·著者名	題 名	發 行 地	整理番號
	【 393 油 脂 工 業】		
Horrath A. A.	Soyabean oil of China and its manifold uses.	Shanghai	393— 1
	【 395 飲 食 料 品】		
Lee Hsien-Wei	Tobacco in China. 1934	Tientsin	395— 1
Fong H. D.	Grain Trade and milling in Tientsin. 1934	—	395— 2
	【 397 機 械 製 造 工 業】		
Pollock David	Ship Building Industry. 1903	London	397— 1
	【 398 電 氣 及 瓦 斯 工 業】		
Whyte A. G.	The Electrical Industry. 1904	London	398— 1
○			
Fong H. D.	Shoemaking in a north China port.	Tientsin	399— 1
	【 4 交 通 · 通 信 · 土 木】		
	【 410 交 通 一 般】		
Fellner F. V. de	Communications in the Far East.	London	410.9— 1
	【 414 會 議 · 協 定】		
League of Nations	Advisory Committee on Traffic in Opium and other Dangerous Drugs. 1933	Geneva	414— 1
	【 415 旅 客 施 設】		
Nippon Yusen Kaisha	Glimpses of the East, 1931-34. 1937	Tokyo	415— 1
Bianchi V. E.	Guide to Rome and its Environs. 1908	Rome	415— 2
Japan Dept of Railway	An Official Guide to Eastern Asia, (Vol.1) Manchuria and Chosen. 1913	Tokyo	415— 3
Baedeker K.	Hand-Book for Travellers (16 vols) (1894-1907)	Leipzig	415—
	Baedeker's London and its Environs. 1905		
	Baedeker's Paris and its Environs. 1909		
	Baedeker's Berlin and its Environs. 1905		
	Baedeker's Italy, from the Alps to Naples. 1904		
	Baedeker's Northern France, from Belgium and the English Channel to the Loire excluding Paris and its Environs.		
	Baedeker's Loire excluding Paris and its Environs. 1903		

編者姓名	書名	發行期	整理冊數
	Baedeker's Southern Germany. 1903		
	Baedeker's Northern Germany. 1904		
	Baedeker's Northern Italy. 1903		
	Baedeker's Southern France. 1907		
	Baedeker's Russia. 1903		
	Baedeker's the Rhine from Rotterdam to Constance. 1903		
	Baedeker's Switzerland and the adjacent Portions of Italy, Savoy, and Tyrol. 1895		
	Baedeker's Norway, Sweden and Denmark.		
	Baedeker's Belgium and Holland. 1905		
	Baedeker's Austria, including Hungary, Transylvania, Dalmatia, and Bosnia. 1900		
	Baedeker's Greece. 1894		
Murray John	A hand book for traveller's in India Burma and Ceylon. 1901	London	415—5
Fel-Shi	Guide to Peking and its Environs. 1909	Tientsin	415—6
Dept. of Foreign Affairs	General and detailed regulations governing granting of passports and passports vise of foreigners entering Manchoukuo. 1933	Hanking	415—7
Smith A. V.	Motor Touring in China. 1934	Shanghai	415—8
[421 道路交通]			
Statistisches Reichsamt	Das Deutsche Strassen-und Wegewessen. 1934	Berlin	421—1
[430 鐵道一般]			
Ministry of Communication	Statistics of Government rail-ways 1921.	Peking	430.0—1
Kadono C.	Railways for China. 1922	Geneva	430.9—2
Shaw A. M.	Economics of light railways for China. 1932	Shanghai	430.9—3
○			
Statistisches Reichsamt	Die Guterbewegung auf Deutschen Eisenbahnen im Jahre 1933-1934.	Berlin	432—1
○			
Chinese Eastern Railway Economic Bureau	Statistical Year Book. 1934	Harbin	439—1
Tao L.	The Chinese Eastern Railway. 1930	Shanghai	439—2

【歐 文】

編·著者名	題 名	發 行 地	整 理 番 號
【 446 港 灣】			
Owen Douglas	Ports and Docks. Their History, Working and National Importance. 1904	London	446— 1
Chi Heman	Port of Hulutao. 1930	Shanghai	446— 2
【 460 通 信】			
Cheng M. J.	Communication & Economics in China. 1930	London	460.9— 1
【 479 土 木】			
Hegeman W.	City Planning.	New York	479— 1
○			
Whangno Conservancy	Port of Shanghai. 1934	Shanghai	483— 1
【 5 土地·人口·移植民·統計】			
【 510 土 地 一 般】			
Pollock Sir F.	The Land Laws. 1906	London	510.1— 1
Thery F. S. J.	Code foncier de la republique de China. 1931	Tientsin	510.1— 2
○			
Statistisches Reichsamt	Amtliches Gemeindeverzeichnis für das Deutsche Reich auf Grund der Volkszählung. 1933-1934	Berlin	510.5— 1
○			
Nasu S.	Land Utilization in Japan. 1929	Tokyo	510.9— 1
Lamb J. D. H.	Development of the agrarian movement and agrarian legislation in China. 1912-1930. 1931	Peking	510.9— 2
【 520 人 口 一 般】			
	Anuario Demografico. 1932	Lisbon	520.4— 1
Co-operative Wholesale Society Ltd,	People's Year book. 1935-38	Manchester	520.4— 2
○			
	Guides to Vital Statistics in the United States. 1933	Micigan	520.5— 1
Japan, Bureau de la Statistique	Population du Japon depuis 1872.	Tokyo	520.5— 2
Willcox W. F.	Introduction to the Vital Statistics of the United States 1900 to 1930-1933.	Washington	520.5— 3
Whipple G. C.	Vital Statistics. 1932	New York	520.5— 4
Hies Franz	Methodik der Volkszählungen. 1931	Jena	520.5— 5

編・著者名	書名	發行地	整理番號
Wolfenden H. H.	Population Statistics and their Compilation. 1925	Jena	520.5— 6
H. M. Stationery Office	The Registrar-General's Statistical Review of England and Wales for the Year 1931-1934.	London	520.5— 7
Reinzer Hobbing	Die Bewegung der Bevölkerung im Jahre 1891-1934	Berlin	520.5— 8
Gabaria K.	Die unehelichen Geburten. 1884	Köln	520.5— 9
Alfred Cahen	Statistical analysis of American Divorce. 1882	New York	520.5— 10
Kuryaki R. R.	The Measurement of Population Growth. 1935	London	520.5— 11
Eidgenössisches Statistisches Amt	Schweizeri Volkssterbetafeln. 1876~1932.	Berlin	520.5— 12
Dublin Louis, Lotka Alfred	Length of life. 1926	New York	520.5— 13
U.S. Bureau of Census	Mortality statistics 1931~32. 1935	Washington	520.5— 14
L'Office I. I. S.	Apercu annuel de la demographie des divers pays du monde 1923, 27, 29, 31 1923-32	Haye	520.5— 15
—	Renseignements Sur L'organisation Actuelle des Statistiques de Letat civil dansdivers Pays. 1929	—	520.5— 16
Chiao C. M.	The Composition and Growth of Rural Population Groups in China.	Shanghai	520.5— 17
○			
Wong W. H.	The Distribution of Population and Land Utilization in China.	Tientsin	520.9— 1
【 521 人 口 理 論 】			
Florence P. S.	Over-population, theory and statistics. 1926	London	521— 1
	Apercu de la demographie des divers pays du monde. 1922	Haye	521— 2
Pearson Vere	The Growth and distribution of population. 1935	London	521— 3
【 523 人 口 問 題 】			
Spengler J. J.	The Fecundity of native and foreignborn women in new England. 1930	Washington	523— 1
Franklin L.	Populaton movement to the north Eastern frontier in China. 1934	Shanghai	523— 2
【 524 國 勢 調 査 】			
H. M. Stationery Office	Census of England and Wales 1931. 1933	London	524— 1
Rimet-Smith	The Census and some of its uses. 1921	Edinburgh	524— 2

【歐 文】

編・著 者 名	書 名	發 行 地	整理番號
U. S. Dept. of Commerce	Topical index of population census reports 1900~30. 1934	Washington	524— 3
Bureau of Social Research	Census tract tables of Population and families. 1932	Pittsburgh	524— 4
U.S. Bureau of Census	Abstract of the 15th Census of the United States. 1933	Washington	524— 7
	Resultats Statistiques du Recensement General du la population. 1933-35	Paris	524— 8
U.S. Bureau of Census	Occupation at 12th census 1900.	Washington	524— 9
The University of Chicago Press	Census data of the city of Chicago. 1934	Chicago	524— 10

【 530 移 植 民】

Chen	Chinese Migrations, with Special Reference to Labour Conditions. 1923	Washington	530.5— 1
Willeox Walter F.	International Migrations. 1929	New York	530.5— 2
International Labour Office	Statistics of Migration. 1923	London	530.5— 3
○			
Morrison G. E.	An Australian in China. 1896	London	530.9— 1
Josset E.	A Travers nos colonies. 1913	Paris	530.9— 2
	Chinese coolie emigration to countries within the British Empire. 1923	London	530.9— 3
Gorman G. W.	Two Millions to Manchuria.	—	530.9— 4
Sutherland G.	The South Australian Company. A Study in colonization. 1908	New York	530.9— 5
Birkket M.	The Emigration Snare. 1908	London	530.9— 6
Ito, Franklin L.	Population Movement to the North Eastern Frontier in China.	Shanghai	530.9— 7
Royal Colonial Institute	Proceedings of the Royal colonial institute. (vol. 38) 1906-1907	London	530.9— 8
Mercer W. M.	The colonial office List. 1904	—	530.9— 9
Helmut Haufe	Bevolkerung Europas stadt und Land im 19 und 20 Jahrhundert. 1934	Berlin	530.9— 11
Tsoo L. E.	Chinese migration to the three eastern Province.	Shanghai	530.9— 12

【 531 移 植 民 問 題】

Ichihashi Yamato	Japanese Immigration. 1915	San Francisco	531— 1
Whelpley I. D.	The Problem of the Immigrant. 1905	London	531— 2

國·著者名	書名	發行地	整理番號
McNair	The Chinese abroad. 1925	Shanghai	531—3
Willcox W. F.	International Migrations. 1931	New York	531—4
【 532 移 植 民 政 策 】			
Seeley G. R.	The Expansion of England. 1908	London	532—1
Paye J. E.	Colonies and Colonial Federations. 1904	—	532—2
Egerton H. E.	A Short History of British Colonial Policy. 1903	—	532—3
Cotton	Colonies and Dependencies. 1883	—	532—4
Angelino de Kat	Colonial Policy. 1931	Hague	532—5
Clark Grover	A Place in the Sun. 1936	New York	532—6
【 534 移 植 民 史 】			
Salmon E.	The Story of Empire. 1902	London	534—1
Kirkpatrick F. A.	Lectures on British Colonization and Empire. 1906	—	534—2
	The Colonization of Indo-China. 1894	—	534—3
Johnston H. H.	A history of the Colonization of Africa (Cambridge Historical Series). 1890	Cambridge	534—4
Payne E.	History of European Colonies. 1889	London	534—5
Greswell W.	The Growth and administration of the British Colonies. 1888	—	534—6
Bigelow P.	White Man's Africa. 1900	—	534—7
Scroggs W. O.	Filibusters and Financiers. 1961	New York	534—8
Ravenstein E. C.	The Russian on the Amur (Its Discovery, Conquest and Colonization). 1816	London	534—9
Egerton H. E.	The Origin and Growth of English Colonies. 1904	Oxford	534—10
Clifford H.	German Colonies. 1918	London	534—11
Schäfer Dietrich	Kolonialgeschichte Vol. 2 1921	Berlin	534—12
【 540 統 計 一 般 】			
	Guide to Current Official Statistics. 1933	London	540.3—1
○			
International Labour Office	System of Classification of industries and occupations. 1923	Geneva	540.3—1
—	Methods of Statistics of Wages and hours of labour. 1923	—	540.3—2

【歐 文】

編者姓名	書 名	發 行 地	整理頁數
	Methods of Statistics of Industrial accidents. 1928		
	International conference of labour statisticians. 1928		
	Economic barometers. 1924		
	Methods of Computing cost of living index numbers. 1925		
	Methods of statistics of unemployment. 1925		
	International conference of Labour Statisticians. 1925		
	Methods of conducting family budget enquiries. 1926		
	Methods of compiling statistics of Industrial disputes. 1926		
	Methods of Statistics of collective agreements. 1926		
	The third International conference of Labour Statisticians. 1926		
	Methods of compiling housing statistics. 1928		
	Methods of compiling Statistics of Coal-mining accidents. 1929		
	Methods of compiling statistic of railway accidents. 1929		
	Statistical methods for measuring occupational morbidity and mortality. 1930		
	Contribution to the study of Int. 1932		
	The International standardisation of labour statistics. 1934		
	International comparisons of cost of living. 1934		
His Majesty's Statistical Office	Statistical abstract for the United Kingdom for each of the fifteen years, (1913 and 1917, to 1930). 1932	London	540.9— 1
—	Statistical abstract for British India: No. 64-68 1932-1936	—	540.9— 2
English Board of Trade	Statistical abstract for the British Empire for each of seven years, 1924 to 1930~34 (No. 61-64) .1932.	—	540.9— 3
U. S. Dept. of Commerce.	Statistical abstract of the U. S. 1928-37	Washington	540.9— 4
Baehne G. W.	Practical application of the punched card method in colleges and universities. 1935	—	540.9— 5
[541 統 計 理 論]	Lehrbuch der Statistik. 1919	Tübingen	511— 1

編者名	書名	發行地	整理番號
Walker H. M.	Mathematics essential for Elementary Statistics. 1934	New York	541— 2
Tippet L. H. C.	The methods of Statistic. 1931	London	541— 3
Willhelm W.	Grundriss der Statistik. 1931-33	Berlin	541— 6
Yule G. Udney	Introduction to the theory of Statistics. 1923	London	541— 6
Rhodes E. C.	Elementary Statistical methods. 1933	—	541— 7
Fisher R. A.	Statistical methods for Research Workers. 1932	—	541— 8
	Elementary Statistics for Indian Students vol. 1. 1934	Allahabad	541— 9
Anderson N. O.	Einführung in die Mathematische Statistik. 1935	Wien	541— 10
Snider J. L.	Business Statistics: a book of case and materials. 1932	New York	541— 11
Davis Harold T.	Elements of Statistics 1935	Bloomington	541— 12
Rigglesman J. R.	Graphic methods for presenting business statistics. 1925	New York	541— 13
—	Statistique et applications. 1934	Paris	541— 14
Gleitze Bruns	Statistisches Lexikon. 1935	Tübingen	541— 15
Sorenson Herbert	Statistics for students of psychology and education. 1930	New York	541— 16
Westergaard, Harald	Contributions to the history of statistics. 1933-33	London	541— 17
	Statistics methods: as applied to economics, business, education, social and physical sciences, etc. 1934	New York	541— 18
Bowley A. L.	An Elementary manual statistics. 1934	London	541— 19
	Handbuch der Mathematischen Statistik. 1930	Leipzig	541— 20
Dawson Shepherd	An Introduction to the computation of statistics. 1933	London	541— 21
Connor L. R.	Statistics in theory and practice. 1935	—	541— 23
Caumartin Jean	Les Principales sources de Documentation statistique. 1935	Paris	541— 23
Wagensann Ernst	Narrenspiegel der statistik. 1935	Hamburg	541— 24
Brown T. H.	Use of statistical techniques in certain problems of market reserch. 1935	Boston	541— 25
Brinton W. C.	Graphic methods for presenting facts.	New York	541— 26
[542 統計機關]	Reportoire International des Institutions Statistique. 1934	Hays	542— 1

【歌 文】

編・著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Zahn Friedrich	50 Annees de l'institut International de Statistique. 1931	Haye	512— 2
Institut International de Statistique	Bulletin de l'institut international de statistique. 1930-36	Paris	512— 3
Schneekbier L. F.	The Statistical work of the national government. 1925	Baltimore	542— 4

【 6 社 會・勞 動】

【 610 社 會 一 般】

Edwin R. A. Seligman	Encyclopaedia of the social sciences. 1931-1934	New York	610.2— 2
----------------------	---	----------	----------

○

Kurtz R. H.	Social work year book. 1937	New York	610.4— 1
-------------	-----------------------------	----------	----------

○

Stuart Rice A.	Satistics in social studies. 1930	Philadelphia	610.5— 1
Florence Du Bois	A Guide to the Statistics of social trends in the United States. 1933	Michigan	610.5— 2
White Clyde R.	Social Statistics. 1933	New York	610.5— 3

○

Justus Doolittle	Social life of the Chinese (2 vols). 1865	—	610.9— 1
George A.	Social research. 1929	—	610.9— 2
Hugh Yu Tinn	Progress and social control in China. 1923	Paris	610.9— 3
Fry, C. Z.	Technique of social Investigation.	New York	610.9— 4
Prelooker J.	Russia. What she was and what she is. 1904	London	610.9— 5
Lynn Fernyn Chihung	Social life of the Chinese in Peking. 1928	Peking	610.9— 6
Caradog J. D.	Social survey of messeyside. 1934	London	610.9— 7
Emory R. J.	China social and economic conditions. 1912	—	610.9— 8
Sewell W. G.	The Land and life of China. 1934	Philadelphia	610.9— 9
President's Research Committee	Recent social trends in the United States 1913.	New York	610.9— 10

【 611 社 會 學】

Sorel George	Reflections on violence. 1912	New York	611— 1
Spencer Herbert	The Study of sociology. 1904	London	611— 2
Hetherington H. J.	Social purpose. 1918	—	611— 3
Wells H. G.	The Future in America. 1906	—	611— 4

編·著者名	書名	發行地	整理番號
Modougall W.	Introduction to social Psychology. 1908	London	611— 6
Davies G. R. D.	Methods of statistical analysis in the social sciences. 1933	New York	611— 6
Spahr W. F.	Methods and status of scientific research, with particular Application to the social sciences. 1930	Paris	611— 7
Spencer H.	Descriptive Sociology, Chinese.	—	611— 8
Hecker J. F.	Russian sociology; a contribution to the history. 1934	London	611— 9
Lanson Herbert Day	Social pathology in China. 1934	Shanghai	611— 10
○			
Gomme G. L.	Village community. 1890	London	612— 1
【 614 社會組織】			
Douglas R. K.	Society in China.	London	614— 1
Shirokogoroff S. M.	Social Organization of the northern Tungus.	Shanghai	614— 2
Prinsep H. T.	Tibet, Tartary and Mongolia: their social and political condition. 1851	London	614— 3
【 615 社會思想】			
Beer M.	History of British Socialism.	London	615— 1
The Round Tables	Bolshevik Aims and Ideals. 1919	New York	615— 2
Russel, B.	Bolshevism and the U. S. 1919	Indianapolis	615— 3
	A Collection of Reports on Bolshevism in Russia. 1919. Abridged Edition of parliamentary paper, Russia No. 1.	London	615— 4
Forster M. O. A.	English Socialism of To-day. 1908	—	615— 5
John Spargo	Bolshevism: The Enemy of political and industrial democracy. 1919	New York	615— 6
Teuchida K.	Contemporary thought of Japan and China. 1927	Tokyo	615— 7
Woolsey T. D.	Communism and socialism in their history and theory. 1930	London	615— 8
Macswiney T.	Principle of Freedom. 1921	Dublin	615— 9
Spargo, J.	Socialism. A summary and interpretation of socialist principles. 1918	New York	615— 10
Russell, B.	Roads to freedom. 1918	London	615— 11
Coulton G. G.	The Main illusion of pacificism. 1916	California	615— 12
Mill J. S.	On liberty.	London	615— 13

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Webb, Sidney	Toward social democracy, a study of social evolution during the past three-quarters of a century. 1919	London	615—14
Kautsky K.	The Social revolution. 1907	San Francisco	615—15
Quin M.	The Politics of the proletariat. 1918	London	615—16
Spargo J.	Syndicalism, industrial unionism and socialism. 1913	New York	615—17
Eldridge F. R.	Dangerous thoughts on the orient. 1933	—	615—18

【 616 社 會 國 體】

McDonald J. R.	Socialist Movement.	London	615—1
Brisenden P. F.	I. W. W. (A Study of american syndicalism) 1919	New York	615—2
Louis Lovine	Syndicalism in France. 1914	—	615—3

○

Reifenmeh R. W.	Arbeitsdienst unser Erleben. 1938	München	616.9—1
-----------------	-----------------------------------	---------	---------

【 617 民族及人種問題】

Winkler Wilhelm	Statistische Hand buch der Europäischen Nationalitäten. 1931	Leipzig	617—1
Tourville, De.	The Growth of Modern Nations. 1907	London	617—2
Reclus Elie	Primitive Folk. 1891	New York	617—3
Bachelor	The Ainu of Japan. 1892	London	617—4
Holderness T. W.	People and Problems of India. 1911	—	617—5
Friedlaender Israel	The Jews of Russia and Poland. 1915	New York	617—6
Brawley B. C.	Short History of the American Negro. 1913	—	617—7
Row A. M.	The American People. (2 vols). 1911	Boston	617—8
Perlman	History of the Jews in China.	London	617—9
Stone	Studies in the American Race Problem. 1908	—	617—10
Griffe	The Japanese Nation in Evolution. 1907	London	617—11
Greel G.	Ireland's Fight for Freedom. 1919	New York	617—12
Kelaw M. M.	The Case for the Filipinos. 1918	—	617—13
Townsend M.	Asia and Europe. 1903	Westminster	617—14
Blacon A. de	What Sinn Fein Stands For.	Dublin	617—15

編·著者名	書名	發行地	整理番號
Good J. W.	Ulster and Ireland. 1919	Dublin	617—16
Demoline E.	Anglo-Saxon Superiority, to What it is due. 1899	—	617—17
Coltman R.	The Chinese, their present and future: medical, political and social. 1891	Philadelphia	617—18
Elwell-Sutton A. S.	The Chinese people, their past, present and future. 1934	London	617—19
Leon D.	Where the ghetto ends. Jews in soviet Russia. 1934	New York	617—20
Woo T. L.	Preliminary Classification of Asiatic races based on cranial measurements. 1932	Nanking	617—21
Buxton L. H.	Peoples of Asia. 1925	London	617—22
	Problem of Indian administration. 1928	Baltimore	617—24
Seng O. S.	One hundred Years history of the Chinese in Singapore. 1923	London	617—25
【 618 社會保險 】			
I. L. O.	International survey of social services. 1933	Geneva	618—1
King and Len	Compulsory Pension Insurance. 1933	—	618—2
【 620 社會問題 】			
Hall F. S.	Social work year book. 1935	New York	620—1
【 621 生活問題 】			
University of Stockholm	The Cost of living in Sweden 1830-1930. 1933	Stockholm	621—1
Gamble E. D.	How Chinese Families Live in Peiping. 1933	London	621—2
Fowle T. W.	The Poor Law. 1908	—	621—3
Mackay T.	The State and Charity. 1898	—	621—4
Palmer H. E. F.	Russian Life in Town and Country.	—	621—5
Compton H.	Indian Life, Town and country. 1904	—	621—6
Smith A. H.	Village Life in China. 1899	New York	621—7
Leong Y. K.	Village and Town Life in China. 1915	London	621—8
Tso L. K.	The Standard of living Among Chinese Workers. 1931	Shanghai	621—9
M. G.	Cost of living in Sweden, (1830~1930). 1933	London	621—10

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
【 622 職 業 問 題】			
	Business cycles and unemployment. 1923	New York	622— 1
H. M. S. Office	Classification of occupations Census. 1931-1931	London	622— 2
—	Occupation tables. 1934	—	622— 3
U. S. Bureau of Census	Woman in Gainful occupations. 1920	Washington	622— 4
—	Occupation Statistics, U. S. Summary. 1932	—	622— 5
【 623 階 級 其 他 問 題】			
Simons A. M.	Class Struggles in America. 1907	Shanghai	623— 1
○			
Starke C. N.	The Primitive Family in its Origin and Development. 1898	London	624— 1
○			
John Mr. and Mrs.	Feminism: its fallacies and follies. 1916	New York	625— 1
○			
Du Cane, Sir, Edmond, F.	The Punishment and Prevention of Crime. 1885	London	626— 1
【 629 阿 片】			
Owen D. E.	British opium Policy in China and India. 1934	London	629— 1
Chinese Statement	The Geneva opium Conferences. 1926	Baltimore	289— 2
Willoughby W. W.	Opium, as an international problem. 1925	—	629— 3
Edkins J.	Opium, Historical Note. 1898	Shanghai	629— 4
Lo, R. Y.	The Opium Problem in the Far East. 1933	—	629— 5
	The War against opium. 1922	Tientsin	629— 6
Woodhead H. G. W.	Truth about opium in China. 1931	Shanghai	629— 9
【 630 勞 働 — 般】			
League of Nations	Occupation and health. 1930	Geneva	630.2— 1
○			
I. L. O.	The International Labour Office Year-Book. 1934	Geneva	630.4— 1
○			
	Nombre des ouvriers au Japon et Leurs Salaires. 1930	Tokyo	630.5— 1

編者姓名	書名	發行地	整理番號
H. M. S. Office	Twenty-first abstract of labour statistics of the United Kingdom. (1919-1933). 1934	London	630.5—2
O			
Oble G. P. H.	Labour in the Commonwealth.	London	630.9—1
Stanley Levons W.	The State in Relation to Labour. 1894	—	630.9—2
Lowé Chuan-Hua	China's labour movement.	Shanghai	630.9—3
【631 勞働政策】			
Cohen	An American Labour Policy. 1919	New York	631—1
【633 勞働組合】			
Friedman E. M.	Labour and Reconstruction in Europe. 1918	New York	633—1
Lin Tung-hai	The Labour Movement and labour legislation in China. 1933	Shanghai	633—2
Ceayton J.	Trade Union.	London	633—3
Drage G.	Trade Union. 1906	—	633—4
Lozovsky A.	Trade Union in Soviet Russia. 1930	—	633—5
Hoxie	Trade Union in the U. S. 1919	New York	633—6
Hunter L.	Violence and the Labour Movement.	—	633—7
Murphy J. T.	Modern trade unionism. 1935	London	633—9
【635 勞働條件】			
	Labour conditions in Soviet Russia.	London	635—1
Rawe J. W. F.	Wages in Practice and theory. 1928	—	635—2
Zagorsky B.	Wages and regulation of conditions of labour in the U. S. S. R. 1930	Geneva	635—3
Gamble E. D.	Peking Wages. 1929	Peking	635—4
League of Nations	Guide to statistical series relating to wages in the United States. 1933	Michigan	635—5
Hyacinthe Dubrouil	Employeurs et Salaries en France. 1934	Paris	635—6
B. W.	La Travail industriel des femmes et des enfants in Chine. 1933	—	635—7
League of Nations	Wages Changes in various countries 1914 to 1925	Geneva	635—8
Bagge Gösta	Wages in Sweden, 1860~1930. 1933	London	635—9

【歐 文】

國·著者名 書 名 發 行 地 整理番號

【 7 文化·教育·宗教】

〔 700 文化 — 般〕

	Encyclopaedia Britanica. 1929	New York	700.3— 1
Mescheriskoff N. B.	蘇 聯 邦 小 百 科 辭 典 1929	Moskba	700.2— 2
Routledge	Universal Encyclopaedia. 1934	Tohyo	700.2— 3
—	The Illustrated Chambers's Encyclopaedia. 1906	—	700.2— 4
Madgwick H.	Enquire Within upon everything. 1908	London	700.3— 5

○

	The Third biennial conference of the institute of pacific relations. 1929	Kyoto	700.9— 1
Augur	Soviet Versus civilization. 1927	London	700.9— 2
Mill J. S.	Dissertations and discussions.	—	700.9— 3
The Daily Chronicle	The Mind of the century. 1907	—	700.9— 4
Swann W. F. G.	Essays on research in the social sciences. 1931	Washington	700.9— 5
King-Hall S.	Western civilization and the far east. 1933	London	700.9— 6

〔 701 文 化 理 論〕

Benjamin Kidd	Principles of western civilization. 1908	London	701— 1
---------------	--	--------	--------

〔 702 文 化 史〕

Giles H. A.	Civilization of China. 1913	London	702— 1
Cunningham W.	Western civilization ancient times. 1902-1904	Cambridge	702— 2
Dickinson G. L.	Essay on the civilizations of India China and Japan. 1913	London	702— 3
Romesh R. Ci Dutt	The Civilization of India (The temple primers). 1901	—	702— 4
Taylor Isaac	The Origin of the Aryans. 1906	—	702— 8
Anderson R. E.	Story of extinct civilizations of the west. 1908	—	702— 9
Seignobos C.	History of contemporary civilization.	—	703— 10
Christie Dugald	Thirty years in Moukden. 1914	—	702— 11
Fitzgerald G. P.	China : a short cultural history. 1935	—	703— 12

編者名	書名	發行地	整理番號
Wilhelm Richard	Short history of Chinese civilization. 1929	London	702—13
【704 文化事業】			
La Societe Asiatique,	Journal Asiatique Recueil de Memories et de Notices relatifs aux Etudes Orientales. 1918	Paris	704—1
—	Liste des membres. Status et reglements. 1912-1913	—	704—2
Leonard Alton	The White man's Work in Asia and Africa. 1907	London	704—3
【705 出版物】			
Cordier Henri	Bibliotheca Japonica. 1912	Paris	705—1
Hibiya Library	Books about Japan, Selected from European Books in the Hibiya Library. 1930	Tokyo	705—2
Smith W. H.	Catalogue of W. H. Smith and Son's Library. 1909	London	705—3
Sester J. H.	Book collecting: (A guide for Amateurs). 1908	—	705—4
Honazono Kanesada	The Development of Japanese Journalism. 1921	Osaka	705—5
Sargent and Wishaw	A Guide Book to Books. 1891	London	705—6
Weathlet H. B.	How to form a Library. 1902	—	705—7
The R. A. Society	Catalogue of the library of the Royal Asiatic society of great Britain and Ireland. 1883	—	705—8
Royal Asiatic Society	Index to the Publications of the Royal Asiatic society. 1888	—	705—9
The Oriental Library	Catalogue of the Asiatic Library of Dr. G. E. Morrison (Part 1-2) 1924	Tokyo	705—10
The Tottori Agricultural Collidge	A Classified catalogue of the books written in European languages in the library of the Tottori Agricultural College. 1932	Tottori	705—11
Kelly and Walsh	Kelly & Walsh's List of Books. 1900	Shanghai	705—12
University of London	The Library of London. 1908	London	705—13
M. S. Library	Mudies Sereet Library Catalogue. 1907	—	705—14
Rawlings G. B.	The Story of Books. 1901	—	705—15
The Times	The Times Book Club Catalogue. 1906	—	705—16
Tōa Keizai Chōshūkyoku	Catalogue of the library of the Tōa Keizai. 1931	Tokyo	705—17

【文】

編·著者名	書名	發行地	整理番號
	Pitman's Where to Look: An Essay Guide to Book of Reference.	London	705—18
Askew J. B.	Pros and Cons. 1908	—	705—19
League of Nations	Catalogue of Publications 1920-35. 1936	Tokyo	705—21
【707 各國研究並批判】			
Brooks J. G.	As others See Us: A Study of Progress in the U. S. 1909	New York	707—1
Bashford	China, An Interpretation. 1916	—	707—3
Parker E. H.	China, Past and Present. 1903	London	707—4
Tyau	China Awakend. 1922	New York	707—5
Montgomery H. B.	The Empire of the East. 1908	London	707—6
Stead A.	Great Japan. 1905	—	707—7
Watson W. P.	Japan Aspect and Destinies. 1904	—	707—8
Ransome J. A.	Japan in Transition. 1899	—	707—9
Hershey S. W.	Modern Japan. 1919	Indianapolis	707—10
Holcombe C.	The Real Chinese Question. 1909	New York	707—11
Archibald Little	Round about my Peking garden.	London	707—12
League of Nations	The Present condition of China. 1932	Geneva	707—13
	Date papers prepared council for the fourth biennial conference of the Institute of Pacific relations. 1931	Shanghai	707—14
China United Press	Suppressing communist-banditry in China. 1931-36	—	707—15
Tang Leang-Lied	Reconstruction in China. 1935	—	707—16
King Kang-Hu	Chinese civilization. 1936	—	707—17
Lin, Y.	My country and my people. 1936	New York	707—18
Gilbert, R.	What's wrong with China. 1932	—	707—19
Martin, W.	Understand the Chinese. 1931	London	707—20
P. N.	China the collapse of a civilization. 1930	New York	707—21
Parker E. H.	China. 1917	—	707—22
【710 教育一般】			
Odell C. W.	Statistical method in education. 1935	New York	710.5—1

編者名	書名	發行所	整理番號
○			
Department of Education	A general survey of education in Japan. 1900	Tokyo	710.9— 1
University of London	Calender for Fourteenth Session. 1908	London	710.9— 2
Henry C.	The State in its Relation to Education. 1896	—	710.9— 3
	Publication of the citizenship Education Committees. 1919	Honolulu	710.9— 4
Becker C. H.	La reorganisation de l'enseignement public en Chine. 1932	Paris	710.9— 5
【 716 社 會 教 育 】			
Papilln G.	Guide illustré du musée céramique. 1909	Paris	716— 1
Victoria & Albert Museum	China Art. 2 vols.	London	716— 2
Wallis Budge E. A.	A Guide to the Babylonia and Assyrian Antiquities. 1908	—	716— 3
【 730 宗 教 一 般 】			
Than Tse Tai	The Creation, the Real Situation of Eden and the Origin of Chinese. 1914	Hongkong	730.9— 1
Bennett J.	How are the Clergy Paid? 1908	London	730.9— 2
Price E. D.	The Story of Religions.	—	730.9— 3
○			
	Religion des Buddha und ihre entstehung. Bd. 1-2, 1906	Berlin	734— 1
○			
Merrill W. P.	Christian Internationalism. 1919	New York	735— 1
Umbreit S. J.	The Christian Movement in Japan. 1922	Tokyo	735— 2
Carpenter B.	History of the Church of England. 1908	London	735— 3
Spence	A History of the Church of England. 1906	—	735— 4
Witnesses Eye	The Korean Situation (Authentic Accounts of Recent Events). No. 1-2	New York	735— 5
Ross Jhon	Mission Methods in Manchuria. 1908	London	735— 6
Ellot H. A.	The State and the Church. 1890	—	735— 7
	L'invaison et L'occupation de la Mandchourie jugées à la lumière de la doctrine catholique par les écrits du cardinal mercier. 1833	—	735— 8

【歐 文】

編·譯者名	書 名	發 行 所	裝 璜 書 號
(736 回 回 教)			
Morgenthau D. S.	Mohammedanism.	London	736— 1
Aston W. G.	Shinto (The Ancient Religion of Japanese). 1907	—	738— 1
[740 哲 學]			
Mill J. S.	Utilitarianism. 1914	London	740.9— 1
Marvin	An Introduction to Philosophy. 1903	New York	740.9— 2
Phys E.	Philosophy and Theology (Everyman's Library).	London	740.9— 3
[743 論 理 學]			
William S.	Principles of Logic.	London	743— 1
Mill J. S.	System of Logic. 1884	—	743— 2
	Elementary lessons in logic. 1897	—	743— 3
[744 倫 理 學]			
Huxley J. H.	Evolution and Ethics. 1898	London	744— 1
Sugimori K.	The Principles of the Moral Empire. 1918	—	744— 2
Lloyd H. D.	Wealth against Commonwealth. 1902	New York	744— 3
Lubbock Sir J.	The Pleasures of Life 1895	London	744— 4
Rashdall, C.	Ethics.	—	744— 5
[745 心 理 學]			
Shirokogoroff B. M.	Psychomental complex of the Tungus. 1935	London	745— 1
[750 文 學 語 學]			
James Henry	The American.	London	750— 1
Edkins F.	China's Place in Philology. 1871	—	750— 2
Giles H. A.	Chinese Literature. 1900	—	750— 3
Reading	French. 1918	Paris	750— 4
Whitney W. D.	The Life and Growth of Language. 1903	London	750— 5
Carlyle	Heroes, Chartism, Past and Present. 1891	—	750— 6
Obata S.	Li, Po : The chinese poet. 1928	New York	750— 7

編者名	書名	發行地	整理番號
Parker L. N.	Disraeli: A Play in Four Acts. 1911	New York	750—8
Bahadurgan] C.	Humanity and Hindu Literature. 1909	Allahabad	750—9
	Macaulay's Essays and Lays. 1886		750—10
Carlyle T.	Oliver Cromwell. 1890	London	750—11
Grantham E.	Pencil Speakings from Peking. 1918	—	750—12
Lefevre A.	Race and Language. 1894.	—	750—13
	Siamese self-taught. 1915	Bangkok	750—14
Clodd Edward	The Story of the Alphabet.	London	750—15
	Traveller's Manual of conversation in four languages.	—	750—16
Hart Henry	The hundred names. 1933	—	750—17
Kowalewski J. K.	Dictionnaire Mongol-Russe-Francais. 3 vols. 1844-46-49	Kasen	750—18
Oxford University	The Shorter Oxford English dictionary on historical principles. 1933	Oxford	750—19
Fowler H. W.	The Concise Oxford Dictionary. 1932	—	750—20
Hjalmar K.	An Italian and English dictionary.	London	750—21
Karl, B.	Cassell's German and English dictionary.	—	750—22
Cassell Ltd.	Cassell's French-English and English-French dictionary.	—	750—23
—	Cassell's Latin dictionary.	—	750—24
Fowler H. W.	A Dictionary of modern English usage. 1930	Oxford	750—25
	A New dictionary of the English, and Italian language. 1925	Paris	750—26
Burt, A. L.	Burt's Swedish-English dictionary.	New York	750—27
Alfred Elwes	Spanish dictionary. 1923	London	750—28
Möllendorff P. G. von	A Manchu Grammar with analysed texts. 1892	Shanghai	750—29
	Chinaman's opinion of us and of his own people. 1927	New York	750—31
	Concise Oxford dictionary of current English. 1935	Oxford	750—32
[760 美術 音樂]			
Clacker J. E.	Chats on Orient China. 1913	London	700—1

[歐 文]

編·著·者 名	書 名	發 行 地	整 理 番 號
Hodgson W.	How to Identify Old-Chinese Porcelain. 1912	London	760— 2
Chavannes E.	La Sculpture sur Pierre en Chine (Au Temps des Deux Dynasties han). 1893	Paris	760— 3
Dyke J. G.	Studies in Pictures An Introduction to the Famous Galleries. 1907	London	760— 4
[830 理 學 一 般]			
Henri B.	Matteo Ricci's Scientific contribution to China. 1935	Peking	830— 1
○			
Pryde J.	Chambers's Seven-figure Mathematical tables consisting of logarithmus of numbers 1 to 108,000 trigonometrical, Nautical and other tables. 1904	Tokyo	831— :
○			
Murakoshi N.	The Years report of the meteorological observations made at Kungchuling Agricultural Experiment Station of the South Manchuria Railway company. 1925	Kunchuling	834— 1
○			
Wilson B.	The Story of Lost England. 1902	London	835— 1
Geike A.	Physical Geography. 1899	—	835— 2
	Geology of Mongolia. 1927	New York	835— 3
	The Geology and Mineral resources of South Manchuria. 1926	Dairen	835— 4
[836 博 物 學]			
Qutrefages A. D.	The Human Species. 1908	London	836— 1
Deniker J.	The Races of Man. 1900	—	836— 2
Munro J.	The Story of the British race.	—	838— 3
Schmitt O.	The Doctrine of Descent and Dawinism. 1905	—	836— 4
Haberlandt M.	Ethology. 1900	—	836— 5
Ozaki Kin-emon	Bulletin of the Shanghai Science institute. Vol. 1. No. 6 1931	Shanghai	836— 6
Shirokogoroff S. M.	Ethnical Unit and Milieu (A Summary of the Ethnos) 1924	—	838— 7
Emil A.	Handbuch der biologischen arbeitmethoden. Teil 10 Heft 5. 1935	Berlin	830— 8
Grabau A. G.	Stratigraphy of China. 1923-1928	Peking	830— 9

編者姓名	書名	發行地	整理番號
【 910 地 理 一 般】			
Gibert Lucien	Dictionnaire historique et géographique de la Mondchourie. 1834	Hongkong	910.2— 1
Fisher Alois	Geographisch-Statistisches Handbuechlein. 1935	Wien	910.5— 1
○			
Lyde Lionel W.	Commercial Geography of the British Empire. 1907	London	911— 1
Febure Lucien	A Geographical Introduction to History. 1925	—	911— 2
Chisholm G. G.	A Smaller Commercial Geography. 1907	—	911— 3
	Atlas Historique, ou Nouvelle Introduction: a l'histoire, a La Chronologie & A La Geographie Ancienne & Moderne, Représentée dans de Nouvelles Cartes (7 Vols.)	Amsterdam	911— 4
Establishment F. E. G.	The New atlas and Commercial Gazetteer of China.	—	911— 5
【 912 地 圖】			
Gibbons H. A.	The New map of Asia (1900~1919) 1906-1909	New York	912— 1
Gibbons H. A.	The New map of Europe (1911~1914). 1918	London	912— 2
	Philips authentic imperial maps-China.	—	912— 3
Alexander H.	Philip's commercial maps of China.	—	912— 4
	Philip's handy-volume atlas of the world.	—	912— 5
Cassell Ltd.	Cassell's new atlas. 1935	—	912— 6
○			
Woodhead H. G. W.	The Yangtze and its problems. 1931	Shanghai	913— 1
【 914 探 險 調 查】			
Bland J. O. P.	China, Japan and Korea. 1931	London	914— 2
Lyautey Pierre	Chine ou Japon. 1933	Paris	914— 3
Iander A. H.	In the Forbidden Land, An Account of a Journey in Tibet Capture by the Tibetan Authorities Imprisonment Tortur, and Ultimate Release (2 Vols.). 1898	London	914— 4
Williamson A.	Journeys in North China (2 Vols.) 1870	—	914— 5
Elliott, Sir C.	Letters from Far East. 1907	—	914— 6

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
Ros R. J.	The Manchus, or the Reigning Dynasty of China. 1880	London	914— 7
Wright J.	Marco Polo's Travels. 1899	—	914— 8
	Pioncering Where the world is old. 1917	New York	914— 9
The Earl of Dunmore	The Pamirs. 1893	London	914— 10
By Two of Them.	Three in Norway. 1904	New York	914— 11
Scott, A. M.	Through Finland to St. Petersburg. 1908	London	914— 12
Grenard F.	Tibet and the Tibetans. 1904	—	914— 13
	Travels of the Russian mission through Mongolia to China and residence in Peking in the years 1820-21. 1827	—	911— 14
	Travels in Tartary, Thibet, and China. 1844-6	—	914— 15
Condor E.	The Unveiling of Lhasa, 1905	—	914— 16
Fortune R.	Visits to the capitals Japan and China. 1863	—	914— 17
Taylor-Bayard	A Visits to India, China and Japan, in th year 1853	New York	914— 18
Robert F. M.	Western travellers to China. 1933	Shanghai	914— 19
Young A.	Travels in France. 1890	London	914— 20
	Travels in the regions of the upper and lower Amoor. 1869	—	914— 21
Bishop M. R. S.	Korea and her neighbours (2 vols.) 1898	—	914— 22
James H. E. M.	The Long White mountain: or a journey in Manchuria. 1838	—	914— 23
	A Short account of the origin. 1909	—	914— 24
Meizer Britbjof	Malaria Gold and Opium.	Leipzig	914— 25
	Russian travellers in Mongolia and China. 2 vols.	London	914— 26
	Manchonkuo revisited. 1935.	Shanghai	914— 27
Teichman Eric	Travels of a consular officer in Northwest China. 1921	Cambridge	914— 28
Körber Lill	Adventures in the East. 1837	London	914— 29
【 915 史 蹟 名 勝】			
Gourdon Henri	Guide to the Ruins of Angkor. 1913	Hanoi	915— 1
Sven Hedin	Jehol: city of Emperors. 1882	London	913— 3

○

編者名	書名	發行地	整理卷號
China International Famine Relief Commission	Annual Report. 1927	Peking	916—1
【 920 滿洲國地誌】			
James S.	Manchukuo. A birds-eye view. 1933	Tokyo	920—3
Taguchi M.	Les noms des lieux habites par les chinois en mandchourie. 1931	Paris	920—3
Adachi K.	Manchuria. 1925	New York	920—5
Bureau of Information	Manchoukuo: hand book of information. 1933	Hsinking	920—6
Piao Chih	A General outline of Manchoukuo's construction programme. 1933	Tokyo	920—7
Tullie A. R.	La Mandchouria et le conflit sino-japonais devant la Société. 1935	Paris	920—8
Weale P.	Manchu and Muscovite. 1904	London	920—9
【 932 民 國】			
Richard L.	Comprehensive geography of the Chinese empire and dependencies. 1908	Shanghai	932—1
Stevenson P. H.	Chinese-Tibetan Borderland and its Peoples. 1927	Peking	932—2
Cressy G. B.	China's geographic foundations. 1934	New York	932—3
	China. 1934	London	932—4
René Jouon S. J.	Geographie de la Chine. 1933	Shanghai	932—5
Buxton Dudley	China: the land and the people. 1929	Oxford	932—
【 933 亞 細 亞 洲】			
Keane A. H.	Asia (Stanford's compendium Geography.) 1909	London	933—1
Scott J. G.	Burma. A Hand book Practical Information. 1906	Edinburgh	933—2
Bretschneider E.	Medieval Researches from Eastern Asiatic Sources (2 vols.) 1910	London	933—3
Huntington E.	The pulse of Asia. 1907	—	933—4
The Times of India Press	Three Hours in Aden. 1902	Bombay	933—5
Parker E. H.	A Thousand Years of the Tartars. 1924	London	933—6
Karamisheff W.	Mongolia and western China. 1933	Tientsin	933—7
Hsulong H.	Men and God in Mongolia. 1935	New York	933—8

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	裝 訂 冊 數
Haalung, H.	New Mongolia. 1936	London	933— 9
Stamp L. D.	Regional geography, Part 4 Asia. 1934	—	933— 10
—	Asia: A regional and economic geography. 1936	—	933— 11
Dunn, Edward	Truth about outer Mongolia. 1935	Shanghai	933— 12
Cocherouvet II.	L'Indochine d'hier et d'aujourd'hui. 1936	Hanoi	933— 13
【 934 歐 羅 巴 洲】			
Rudler F. W.	Europe (Stanford's Compendium of Geography and travel) 1885	London	934— 1
Eltzbacher O.	Modern Germany. 1906	—	934— 2
Mackinder M. J.	Britain and the British Seas. 1907	Oxford	934— 3
Constable and Company	The New Europe (Vol 899.10)	London	934— 4
Pelet L.	France as it is. 1888	—	934— 5
Collet A. K.	The Race of England. 1908	—	934— 6
—	The New Soviet library.	München	934— 7
Oxford University Press	The British Empire. 1937	London	934— 8
Richard Freund	Watch Czechoslovakia. 1937	—	934— 9
Zischka A.	Italien in der Welt. 1907	Leipzig	934— 10
【 935 亞 米 利 加】			
Whiting L.	Canada. The Spell Binder. 1917	London	935— 1
Bulnes F.	The Whole Truth about Mexico, (President Wilson's Responsibility). 1916	New York	935— 2
Jordan D. S.	California and Californians. 1907	San Francisco	935— 3
○			
Babson	The Future of South America. 1918	Boston	936— 1
【 937 亞 弗 利 加】			
Macmillan & Co.	Modern Egypt. 1911	—	937— 1
【 938 大 洋 洲】			
Benson	New Zealand Affairs. 1929	Christchurch	938— 1
Harris P. A.	New Zealand and its Politics.	London	938— 2
Jose A. W.	Australasia, the Commonwealth and New Zealand. 1930	—	938— 3

編者名	書名	發行地	整理番號
Bryce J.	Impressions of South Africa. 1899.	London	938—4
【 342 東洋風俗習慣】			
Alock, Sir R.	Capital of the Tycoon. Vol. 2 1863	London	942—1
Batchelor J.	The Ainu and their Folk-Lore. 1901	—	942—2
Katharine C. A.	With the Empress Dowager of China. 1906	—	942—3
Weale R. L. P.	The Human Cobweb; A Romance of Old Peking. 1910	—	942—4
Steinmitz	Japan and Her People, 1859	—	942—5
	Oriental Life. 1910	Boston	942—6
Rissanovsky V. A.	Customary law of the Mongol tribes. 1929	Harbin	942—7
Cormack J. G.	Chinese birthday, Wedding, funeral and other customs. 1923	Peking	942—8
【 951 歷史學】			
Jane L. C.	The Interpretation of History. 1915	London	951—1
【 958 考古學】			
Chavannes E.	Mission Archeologique dans la Chine-Septentrionale. 1915	Paris	958—1
Joly N.	Man before Metals. 1904	London	958—2
	In research of old Peking. 1935	Peking	958—3
【 960 世界史】			
Weyl W. E.	The End of the War. 1918	New York	960—1
Mackenzie R.	The Nineteenth Century. 1909	London	960—2
Vorst, B. van	A Popular History of the War (1914-1918) 1918	Paris	960—3
Lensch Paul	Three Years of World Revolution. 1918	London	960—4
Justin M.	A History of our own Time, vols. 1-7 1908	—	960—5
—	A short History of our own Times. 1908	—	960—6
Gooch, G. P.	History of our Time. 1885-1911	—	960—7
Lodge, Sir O.	The War and After. 1918	New York	960—8
Gerani J. W.	My Four Years in Germany. 1917	London	960—9
Ritsumeikan Publishing Department	Current history. 1938	Kyoto	960—10

【歐 文】

編者姓名	書名	發行地	整理番號
【 961 滿洲國史】			
Hosie	Manchuria its People Resources and Recent History. 1901	London	961— 1
【 962 日本史】			
Davis Hadland	Japan: from the Age of the Gods to the fall of Tsingtau.	London	962— 1
Ross J.	Corea, its History, Manners and Customs.	—	962— 2
【 963 民國史】			
Hirth F.	The Ancient History of China. 1911	New York	963— 1
Clements P. H.	The Boxer Rebellion, A Political and Diplomatic Review. 1915	—	963— 2
Davis Bart J. F.	China: during the war and since the peace. (3 Vols). 1893	London	963— 3
Griffin W. E.	China's Story. 1911	Boston	963— 4
Allen H. J.	Early Chinese History. 1906	London	963— 5
	The History of China (Upon the Plan of Mr. Rollein Ancient History.)	—	963— 6
Macnair H. F.	Modern Chinese History Selected Reading. 1927	Shanghai	963— 7
William E. T.	A Short History of China. 1926	New York	963— 8
Boulger	A Short History of China. 1893	London	963— 9
William B. W.	A History of China. 1931	New York	963— 10
【 964 東洋史】			
Michele, A.	The Englishman in China during the victorian era. (3 Vols). 1900	Edinburgh	964— 1
Vine, H. M.	A History of Far East in Modern Times. 1928	New York	964— 2
McCarthy M. J. E.	The coming Power. (1898-1905)	London	964— 3
Hannak, Ian C.	Eastern Asia, A History. 1911	—	964— 4
Steiger-Beyer B.	A History of the Orient. 1928	Boston	964— 5
【 965 西洋史】			
Goodman Paul	A History of the Jews. 1919	New York	965— 1
Hearnshaw F. J. G.	Main Currents of European History. 1815-1915	London	965— 2
O'Hegarty P. S.	The Indestructible Nation. A Survey of Irish History from the English Invasion. 1918	—	965— 3

編者名	書名	發行地	整理番號
Modougall E. H.	Landmarks of European History. 1905	London	965—4
Sergi, G.	The Mediteranean Race. A Study of the Origin of European Peoples. 1901	—	965—5
Philips Alison	Modern Europe. European History 1815-1899. 1903	—	965—6
Willnot-Buxton	Makers of Europe. Outlines of Europeans History. 1906	—	965—7
Thorold E.	The Story of the Nations. 1888	—	965—8
Miller W.	The Story of Nations (The Balkans). 1896	—	965—9
Morsill W. R.	The Story of Russia (War Edition). 1904	—	965—10
Rappoport A. S.	Russian History. 1905	—	965—11
Gardiner	Outline of English History. 1905	New York	965—12
Ransome	A Short History of England. 1903	—	965—13
Trotsky L.	The History of the Russian Revolution to Brest-Litovsk	London	965—14
Brown Horatio	The Venetian republic. 1903	—	965—15
Hart A. B.	The American Nation, A History. 1907	New York	965—16
Forbes and Toynbee	The Balkans. A History of Bulgarin, Serbia, Greece, Rumania, Turkey. 1915	Oxford	965—17
Cressy E.	The Fifteen Decisive Battles of the world. (from Marason to Waterloo). 1887	London	965—18
Joubert C.	The Fall of Tsardom. 1905	—	965—19
Complete	Epochs of English History. 1888	—	965—20
Issac J.	Everyone's History of France. 1919	Paris	965—21
Belloc H.	The French Revolution.	London	965—22
Carlyle T.	The French Revolution. 1909	—	965—23
Memo	The Making of Europe. 1900	—	965—24
Dyer and Hamall	Modern Europe (Vol. 1-4, 1453-1900) 1907	—	965—25
Barker J. E.	Modern Germany. 1919	—	965—26
Gregory T. B.	Our Mexican Conflicts. 1919	New York	965—27
James J. L. B.	The Story of France. (1819-1919) 1916	London	965—28
Gibbon E.	The History of the decline and fall of the Roman Empire.	—	965—29
Chamberlin W. II.	Russian revolution (1917-21) 1935	New York	965—30

【歐 文】

編·著者名	書 名	發 行 地	整理番號
	【 970 傳 記】		
	Admiral Phillip : Builder of Greater Britain. 1899	London	970— 1
Stevenson	American Men of Action. 1813	New York	970— 2
Stiride W. K.	Empire-Builders. 1906	London	970— 3
Laski H. J.	Karl Marx. An Essays.	—	970— 4
Lane-Poole S.	The Life of Harry Parkes. 1894	—	970— 5
Forbes B. C.	Men Who are Making America. 1918	New York	970— 6
Carlyle T.	Oliver Cromwell's Letters and Speeches, with Elucidations. 1888	London	970— 7
Archer W.	The Peace-President (H. W. Wilson).	—	970— 8
Whibley	The Political Portraits. 1917	—	970— 9
O'connor T. P.	Sir Henry Cambell-Baunerman.	—	970— 10
Walter Frewen Lord	Sir Thomas Maitland. (Builders of Greater Britain). 1897	—	970— 11
Hume M. A. B.	Sir Walter Raleigh (The British Dominion of the West). 1908	—	970— 12
Chang Id Hung	Public Men of Today, an International Series. 1895	—	970— 13
Cannon W. E.	Northcliffe. 1918	New York	970— 14
Pooley A. M.	The Secret Memoirs of Count Hayashi. 1915	London	970— 15
Aitken W. F.	The Marquess of Salisbury. 1901	—	970— 16
Ganesh & Co	Mahatma Gandhi. 1921	Madras	970— 17
Morley J.	Walpole. 1890	London	970— 18
The China Mutual Life Insurance Co.	Who's who in Japan. (1915). 1915	Tokyo	970— 19
Biographica Research Bureau inc.	Who's who in Government, Vol. 1. 1930	New York	970— 20
China Weekly Review	Who's who in China, Vol. 1-2. 1929-36	Shanghai	970— 21
A&C. Black Limited.	Who's who. 1930-1938	London	970— 22
Morley J.	Life of Gladstone. 1905	—	970— 23
Rosebery L.	Lord Randolph Churchill. 1905	—	970— 24
Jerrold W.	Lord Roberts of Kandahar, V. C. 1900	—	970— 25
Hamerton J. A.	Lord Rosebery, Imperialist. 1901	—	970— 26

編者名	書名	發行地	整理番號
Mee, Arthur	Joseph Chamberlain. 1901	London	970—27
Richard Timothy	Forty-five Years in China. 1916	New York	970—28
Brinckmeyer H.	Hugo Stinnes.	—	970—29
The Japan Chronicle	The Japan Chronicle directory. 1933-34	Kobe	970—30
Garnett R.	Builders of Greater Briatain. 1898	London	970—31
Wrong G. M.	The Earl of Elgin. 1905	—	970—32
Gorst H. E.	The Earl of Beaconsfield. 1900	—	970—33
Lowe C.	Bismarck's Table Talk (The Story of His-Life in His own worlds). 1898	—	970—34
The Hongkong Daily Press	The Directory Chronicle of China, Japan etc. 1934-'38	—	970—35
Harbin Observer	Fleet's directory of Manchurian cities 1931-35	Harbin	970—36
Hammerton J. A.	Concise Universal biography. 1935	London	970—37
Marquis A. N.	Who's who in America, 1936-37 Vol. 19 1936	Chicago	970—38
Fox R.	Genghis Khan. 1936	New York	970—39

【 990 各國年報・年鑑】

Epstein M.	The Annual Register (1894-1903) 10 Vols.	London	990—1
World Telegram	The World Almanac. 1933	New York	990—2
Ingram T. A.	The New Hazell Annual and Almanack 1916	London	990—3
Williamson D.	Daily Mail Year-Book (1913-1919-1921-1922) 1937	—	990—4
L'Office P. of I. I. S.	Annuaire international de statistique. 1916-'21	Haye	990—5
Woytinsky W.	Die Welt Zahlen 1-7. 1925	Berlin	990—6

【 991 滿洲國年鑑】

Ton-Kelzal Chosenkyoku	The Manchuria Year Book. 1931-31	Tokyo	991—1
S. M. R.	Report on Progress in Manchuria. 1929-36	Dairen	991—2

【 992 日本年鑑】

Foreign Affairs Association	The Japan Year Book 1933. 1933	Tokyo	992—1
The Japan Times	The Japan Times Year Book 1933	—	992—2
Gov. Gen. of Chosen	Annual Report on Reforms in Chosen (1918-21)	Keljo	992—3

〔歐 文〕

編者名	書名	發行地	整理番號
Gov. Gen. of Chosen	Annual Report on administration of Chosen. 1932-33	Keijo	992—4
【 993 民 國 年 鑑 】			
Woodhead H. G. W.	The China Year Book 1931-36	Shanghai	993—1
Kwei Chungshu	Chinese Year-book. 1936	—	993—2
【 994 ソ 聯 邦 年 鑑 】			
American-Russian Chamber of Commerce	Hand book of the Soviet Union.	London	994—1
Victor G.	U. S. S. R. Handbook. 1936	—	994—2
【 995 英 國 年 鑑 】			
Whitaker J.	Whitaker's Almanck 1919-27, 1934-38	London	995—1
Whitaker J.	Canada Year-Book, 1934-36	Ottawa	995—2
【 996 米 國 】			
Albert B. H. V.	The American Year Book (1931). 1933	New York	996—1
Trade and Travel Publications Ltd	South and Central America Mexico and Cuba, 1934-37	London	996—2
【 997 佛 國 】			
Hachette	Almanach Hachette. 1934-38	Paris	997—1
Gotha	Almanach de Gotha. 1934-38	—	997—2
【 998 獨 逸 】			
Statistisches Reichsamt	Statistisches Jahrbuch für das Deutsche Reich, 1932-37. 1933	Berlin	998—1
Wagemann Ernst	Konjunktur-statistisches Handbuch. 1936	—	998—2
【 999 伊 太 利 其 他 】			
Reed Stanley	The Indian Year Book. 1934-35 1934-38	Bombay	999—1
Commonwealth Bureau of Census and Statistics	Official Year Book of the Commonwealth of Australia No. 26 1933-36	Canberra	999—2
	Hong Kong blue book for the Year. 1936	HongKong	999—3
Robson R. W.	Pacific Islands Year-book. 1933	Australia	999—4
	The New Zealand official year-book. 1935	Wellington	999—5
Daily Mail	Daily mail Year-book. (35th) 1935.	London	999—6
Bundesamt für Statistik	Statistisches Handbuch für den Bundesstaat Osterreich 15 Jahrg. 1934	Wien	999—7

編者名	書名	【歐 文】	
		發行地	整理番號
Statistisches Staat- amt	Statistisches Jahrbuch der Cechoslova- kischen Republik. 1931.	Prage	999— 8
	Statistisk Arsbok für Sverige. 1934	Stockholm	999— 9
Alexander C.	Malayan yearbook. 1933	Singapore	999— 10
Statistisches Reichs- amt	Statistik des Hamburgischen Staates. 1932	Berlin	999— 11



歐文雜誌之部

- (A) Allgemeines Statistisches Archiv. (G) 1896—
American economic review. (A) Q. 1933—
American journal of sociology. (A) B-M. 1934—
Annalist. (A). M. 1934—
Annals of American Academy of political and social science. (A) B-M. 1933—
Annals of mathematical statistics. (A) B-M 1933—
Asia. (A) M. 1935—
- (B) Bulletin of the U. S. Bureau of Census.
Bulletin de l'Institut International de statistique. (F) Tome 1
Bulletin mensuel de l'office permanent. 1932—
- (C) Chinese social and political science review. (C) 1931—
Chinese economic journal and bulletin. (C) M. 1934—
Contemporary Japan. (J) 1934—
China weekly review. (C) W. 1934—
- (D) Deutsches Statistisches Zentralblatt. (G) 8 Heft. 1933—
- (E) Economist. (E) W. 1933—
Economic journal. (E) Q. 1933—
l'Economiste Francais. (F) W. 1933-36
- (F) Fortnightly review. (E) M. 1933—
Far eastern review. (C) M. 1933—
Finance and commerce. (C) W. 1934-36
Foreign affairs. (A) Q. 1935—
Federal reserve bulletin. (A) 1932-33
- (I) International labour review. (S) M. 1934—
Indian journal of statistique. M.
- (J) Jahrbucher für Nationalökonomie und Statistik. (G) 2bd. 1928—

- Journal of the American Statistical Association. (A) Q. 1933—
Journal de la societe de statistique de Paris. (F) 10 Nos. 1932-36
Journal of political economy. (A) B-M. 1933—
Journal of the Royal Statistical Society. (E) Q. 1931—
Journal of the Royal Asiatic society of Great Britain and Ireland. (E) Q. 1935—
- (L) Labour monthly. (E) M. 1933—
- (M) Ministry of labour Gazette. (E) M. 1934—
Monthly bulletin on economic. 1934—
Monthly bulletin of statistics. (S) M. 1933—
Metron. 1932-33
Monthly labor review. (A) M. 1933—
Manchuria monitor. (R) 1933-34
Monumentafrica. journal of Oriental studies of the Catholic Univ. of Peking.
(C) 1935-37
Monthly returns of the foreign trade of China, 1935-36
Magyer statisztikai szemle. (I) 1935—
Menesa Biletens. 1935-36
- (N) Nation. (A) W. 1933—
Nankai social and economic quarterly. (C). 1935-37
National petroleum news. 1935-36.
New York Times, weekly. 1931—
Nankai weekly statistical service. (C) 1931—
Norges Offisielle statistikk. 1935-36
- (P) Polish Chamber of commerce journal. 1932—
Pacific affairs. (A) Q. 1935—
People's Tribune. (C). 1936—
- (R) Round table. (E) Q. 1933—
Railway gazette. (E) 1934-37



【歐文雜誌之部】

- Review of economic statistics. (A) Q. 1933
Revue Hongroise de statistique. M. 1936
Revue statistique Tchecoslovaque. 1936
Revue de L'institut International de statistique. 1933-36
(S) Statist. (E) W. 1933-
Social & research. (A) Q. 1935
Sociology and social research. 1935
Statistique officielle de la Norvege.
Statisticky Obzor. 1936-37
Sankhya ; the Indian journal of statistics. (E) 1935-36
Statistik des Deutschen Reichs. 1925-35
(W) Wirtschaft und Statistik. (G) 24 Heft. 1921-
World review of reviews. (E) M. 1933-



資料名

【編 號】
著 者 名 整理番號

雜誌新聞資料

【雜誌資料】

A

安東經濟時報 昭7-

安 東 商 報 A— 1

B

文教月刊 大同2-

文 教 部 B— 1

C

中央公論 昭7-

中 央 公 論 社 C— 1

朝鮮 昭7-

朝 鮮 總 督 府 C— 2

千葉縣統計 昭7-

千 葉 縣 統 計 協 會 C— 3

朝鮮社會事業 昭7-

社 會 事 業 會 C— 4

地方行政 昭7-

地 方 行 政 學 會 C— 5

朝鮮總督府調查月報 昭7-

朝 鮮 總 督 府 C— 6

中外財界 昭8-13

商 業 新 報 社 C— 7

朝鮮銀行統計月報 昭7-

朝 鮮 銀 行 C— 8

經濟半月刊 庚16-24

中 國 經 濟 討 論 會 C— 9

地政月刊 民23

中 國 地 政 學 會 C— 10

調查彙報 昭7-10

東 京 機 式 取 引 所 C— 11

中國新書月報 民20

中 國 新 書 月 報 社 C— 12

D

ダイヤモンド 昭7-

ダ イ ヤ モ ン ド 社 D— 1

大日本農會報 昭7-

大 日 本 農 會 D— 2

大連商工月報 昭7-

大 連 商 工 會 D— 3

大日本紡績聯合會月報 昭7-

其 會 D— 4

大連商工經濟統計月報 昭8-

大 連 商 工 會 D— 5

電通經濟週報 昭9-

日 本 電 通 DE— 1

【雜 誌】

書 名	著 者 名	整理番號
F		
釜山商工會議所月報 昭8-	釜 山 商 工 會	F— 1
復縣公署公報 康1-	復 縣 公 署	F— 2
G		
外國鐵道調查資料 昭7-	鐵 道 省	G— 1
外國貿易月報 昭7-	門 司 稅 關	G— 2
外 交 時 報 昭7-	外 交 時 報 社	G— 3
外交貿易月報 昭12-	神 戶 稅 關	G— 4
外 交 評 論 民22	外 交 評 論 社	G— 5
外國貿易月表 昭8-	橫 濱 稅 關	G— 6
合 作 月 刊 民18	合 作 學 社	G— 7
業 務 資 料 昭9-	滿 洲 電 電	G— 8
外國貿易月報 昭7-	函 館 稅 關	G— 9
外務省通商局日報 昭10-	外 務 省 通 商 局	G— 10
外國ノ新聞ト雜誌 昭9-	日 本 讀 書 協 會	GA— 1
蓋平縣公署公報 康1-	蓋 平 縣 公 署	GA— 6
義縣縣月報 康2-	義 縣 公 署	GI— 1
H		
ハルビン特別市公報 民20-	哈 市 公 署	HA— 1
博多商工會議所報 昭7-	博 多 商 工 會	HA— 2
哈爾濱鐵路局局報 康1	鐵 路 局	HA— 4
邊 境 支 那 昭9-	支 那 問 題 研 究 所	HE— 1
廣島商工會議所月報 昭7-	廣 島 商 工 會	HI— 1
兵 庫 統 計 昭7-	兵 庫 縣 統 計 協 會	HI— 2
法學協會雜誌 昭8-	法 學 協 會	HO— 1
法 令 週 刊 民18-20	上 海 法 學 社	HO— 2
法 律 時 報 昭8	日 本 評 論 社	HO— 3
奉天省公署公報 大同1-	奉 天 省 公 署	HO— 4

資 料 名	著 者 名	【編 誌】	整理番號
奉天省教育 大同2-	奉天省教育廳	HO—	5
奉天市政公報 大同1-	奉天市公署	HO—	6
奉天省政府公報 民21	奉天省政府	HO—	7
奉山鐵路管理局公報 民21-	奉山鐵路局	HO—	8
北滿半月刊 民20	北滿鐵路局	HO—	9
北滿經濟月刊 民20	—	HO—	10
本邦財界情勢 昭7-	三菱經濟研究部	HO—	11
法制經濟研究 大正15-	滿洲經濟研究會	HO—	12
I			
石川縣統計時報 昭6	石川縣廳	I—	1
岩手縣統計界 昭7-	岩手縣統計協會	I—	2
移民情報 昭7-	外務省通商局	I—	3
J			
實業ノ日本 昭7	實業ノ日本社	J—	1
實業月刊 民18-	遼寧省農林廳	J—	2
工商半月刊 民22-	民間貿易局	J—	3
實業部月刊 大同1-	民間實業部	J—	4
重要經濟統計月報 昭7-	大連商會	J—	5
KA			
會計 昭7-	會計檢察院	KA—	1
會計雜誌 民23	—	KA—	2
關東廳觀測所氣象月報 昭7-	關東廳	KA—	3
改 造 昭7-	改造社	KA—	4
官 報 昭8-	內閣印刷局	KA—	5
海外經濟事情 昭7-	外務省通商局	KA—	6
關東廳廳報 昭7-	關東廳	KA—	7
關東州貿易月報 昭7-	—	KA—	8
科學ノ工業 昭7-	大阪工業研究會	KA—	9

【雜 誌】

資 料 名	著 者 名	整理番號
金 澤 月 報 昭7-	金 澤 商 議	KA— 10
監 獄 衛 生 月 刊 大同1-	司 法 部	KA— 11
關 東 廳 物 價 依 據 調 查 月 報 昭7-	關 東 廳	KA— 12
河 北 工 商 日 報 民17	河 北 省 政 府	KA— 13
河 北 農 業 公 報 民18	河 北 省 實 業 廳	KA— 14
河 北 實 業 公 報 民20	—	KA— 16
監 獄 月 刊 大同2	司 法 部	KA— 17
各 縣 政 況 大同2-	民 政 部 調 查 課	KA— 18
關 東 局 局 報 昭9-	關 東 局	KA— 19
海 龍 縣 公 署 公 報 康1-	海 龍 縣 公 署	KA— 20
關 東 遞 信 局 報 昭10-	遞 信 局	KA— 21
KE		
經 濟 往 來 昭7-	日 本 評 論 社	KEI— 1
經 濟 知 識 昭7-	經 濟 知 識 社	KEI— 2
經 濟 昭9-	改 造 社	KEJ— 3
經 濟 聯 盟 昭7-	日 本 經 濟 聯 盟 會	KEI— 4
經 濟 論 叢 昭7-	京 都 帝 大	KEI— 6
經 濟 學 論 集 昭7-	東 京 帝 大	KEI— 6
經 濟 統 計 季 刊 民21	南 開 大 學	KEI— 7
經 濟 金 融 概 況 大同2-	滿 洲 中 央 銀 行	KEI— 9
經 濟 月 報 昭8-	京 城 商 團	KEI— 10
景 氣 週 報 昭7-	景 氣 研 究 所	KEI— 11
計 量 界 昭8-	日 本 度 量 衡 協 會	KEI— 12
經 濟 滿 日 昭9-	滿 洲 日 報 社	KEI— 13
經 濟 金 融 概 況 大同3-	滿 洲 中 央 銀 行	KEI— 14
經 濟 半 月 刊 民17	經 濟 討 論 處	KEI— 15
KI		
吉 黑 糧 運 月 報 大同2	糧 運 署	KI— 1

資	料	名	著	者	名	【	號
資	料	名	著	者	名	號	整理番號
京都經濟時報	昭7-		京	都	商	K1—	3
吉林省公署公報	大同1-		吉	林	省	K1—	5
金融三層	昭7		三	層	社	K1—	3
吉林民政月刊	民18		吉	林	省	K1—	4
調查月刊	大同2		吉	林	省	K1—	6
吉林省永吉縣政月報	康1-		永	吉	縣	K1—	7
金融合作月刊	大同2-		金	融	合	K1—	8
教育雜誌	民33		商	務	印	K1—	9
京都手形交換所月報	昭7		京	都	交	K1—	10
吉林警團公報	民16		吉	林	省	K1—	11
吉林省公署公報週刊	康1-2		—			K1—	12
吉林鐵路局局報	康2-		吉	林	鐵	K1—	13
錦州省公報	康2-		錦	州	省	K1—	14
KO							
國際評論	昭8		日	本	外	KO—	1
交通經濟	昭7		交	通	經	KO—	2
國際通商時報	大同2		外	交	部	KO—	3
國勢グラフ	昭7-		國	勢	社	KO—	4
工政	昭8		工	政	會	KO—	6
國際重要經濟統計月報	昭7		東	京	商	KO—	7
統計統計月報	昭7		神	戶	商	KO—	8
國際法外交雜誌	昭8-		國	際	法	KO—	9
國家學會雜誌	昭8-		國	家	學	KO—	10
國民經濟雜誌	昭7		神	戶	商	KO—	11
國際評論	大同1		外	交	部	KO—	12
工商半月刊	民18		國	民	政	KO—	13
興安總署彙刊	大同2		興	安	總	KO—	14
黑龍江省公署公報	大同1		黑	龍	江	KO—	15

【雜 誌】

表 料 名	著 者 名	整理番號
〔呼海鐵路局〕局報 大同2	呼海鐵路局	KO— 16
呼海鐵路旬刊 大同1	—	KO— 17
國憲起草委員會公報 民14	同 委 員 會	KO— 18
工業現勢 昭11	東大工業調查部	KO— 19
交都部月刊 大同3	交 通 部	KO— 20
興京縣公署公報 康1	興 京 縣 公 署	KO— 21
神戶銀行集會所月報 昭7	神戶銀行集會所	KO— 22
黑龍江省公報日譯 大同2	黑龍江省公署	KO— 23
黑河省公署月刊 康2	黑 河 省 公 署	KO— 24
講 演 昭9-	東 京 講 演 會	KO— 25
公法雜誌 昭11	良 書 普 及 會	KO— 26
M		
滿 蒙 昭7-	滿洲文化協會	MA— 1
滿洲評論 昭6-	滿洲評論社	MA— 2
滿洲經濟統計月報 昭7	滿 鐵 調 查 課	MA— 3
滿鐵調查月報 昭7-	—	MA— 4
滿日調查通報 昭7	滿洲日報社	MA— 5
滿洲國外貿易統計月報 大同3	財 政 部	MA— 6
滿洲國政府公報 大同1	國務院總務廳	MA— 7
滿洲改造 昭8	滿洲改造社	MA— 10
滿鮮經濟 昭5	滿鮮經濟社	MA— 11
滿洲土木建築業協會報 昭9	建 築 業 協 會	MA— 12
滿洲行政 康2	滿洲行政學會	MA— 13
滿洲農產物收穫高豫想 昭	滿 鐵 經 調	MA— 14
滿洲農產物收穫量豫測 大同3	商 業 部	MA— 15
滿 航 康3	航空株式會社	MA— 16
棉花棉糸旬報 昭7	日本棉花同業會	ME— 1
棉花棉糸棉布月報 昭7	日本棉花同業會	ME— 2

資料名	著者名	整理番號
民政部旬刊 大同1-	民政部文書科	MI— 2
民族 民22	民族雜誌社	MI— 3
道 大同3	國道局	MI— 3
民政月刊 民18	遼寧省民政廳	MI— 4
蒙古報 大同1	興安總署	MO— 1
N		
內務省納本月報 昭7	國野研究會	NA— 1
統計時報 昭7	奈良縣統計協會	NA— 2
經濟統計月報 昭7	名古屋商議	NA— 3
內外商工時報 昭8	商工省貿易局	NA— 4
長野商工會議所 昭7	長野商議	NA— 5
南關統計週報 民18	南關大學	NA— 7
內外調查資料 昭5	資料協會	NA— 8
熱河省公署旬刊 大同1-	熱河省公署	ME— 1
熱河省公署公報 昭1-	—	NE— 2
日本興業銀行調查月報 昭10	日本興業銀行	NI— 1
調查月報 昭8	—	NI— 2
金融 昭7	日本銀行	NI— 3
日本讀書協會會報 昭8-	日本讀書協會	NI— 4
日本水產學會誌 昭7	日本水產學會	NI— 6
日本評論 昭10-	日本評論社	NI— 7
農村復興委員會會報 民22	農村復興委員會	NO— 1
農業ノ滿洲 昭9-	滿洲農事協會	NO— 2
O		
資料室報 大正15	大原社會問題研究所	O— 1
[大阪商工會議所]月報 昭7	大阪商議	O— 2
大阪銀行通信錄 昭7	銀行集會所	O— 3

書 名	著 者 名	整理番號
大藏省理財局調查月報 昭6	大藏省理財局	O— 4
研究資料彙報 昭8	大分高商	O— 6
P		
北京國立圖書館々刊 民17	北京圖書館	P— 1
R		
遼寧教育公報 民19	遼寧省教育廳	R— 1
勞務時報 昭8-	滿鐵調查課	R— 2
勞工月刊 民21	實業部勞工司	R— 3
嶺南學報 民18	嶺南大學	R— 4
梨樹縣公署旬刊 康1-	梨樹縣公署	R— 5
S		
產業 昭8	日本產業學會	SA— 1
支那 昭9-	東亞文會	SI— 1
支那時報 昭8-	支那時報社	SI— 2
資 源 昭7	內閣資源局	SI— 3
四洮鐵路局報 大同1	鐵路管理局	SI— 4
司法公報 大同1-	司 法 部	SI— 5
資料彙報 大同1	總務廳統計處	SI— 6
新 創 造 民21	新創造半月刊社	SI— 7
瀋海鐵路運輸統計表 民20	瀋海事務處	SI— 8
瀋陽警察廳月刊 民21	瀋陽警察廳	SI— 9
新 天 地 昭8-	新 天 地 社	SI— 10
新聞發表 大同1	總務廳情報處	SI— 11
瀋陽教育月刊 大同3	教 育 會	SI— 12
新京特別市公報 大同2.5	新 京 市 公 署	SI— 13
新京鐵路局局報 康2	新 京 鐵 路 局	SI— 14
[滿鐵]社報 昭7	滿 鐵	SH— 1
社會政策時報 昭7-	協 調 會	SH— 2

書 名	著 者 名	整理番號
社會雜誌 民20	社會雜誌社	SH— 3
書物展望 昭8-	書物展望社	SH— 4
殖 民 昭7	日本殖民通信社	SH— 5
職業紹介公報 昭7	中央職業紹介所	SH— 6
商標局商標公報 康1	實業部商標局	SH— 7
上海銀行週報 民23	銀行週報社	SH— 8
瀋陽縣公署公報 康1-	瀋陽縣公署	SH— 9
社會科學雜誌	社會調查所	SH— 10
社業統計 昭11	滿洲電業會社	SH— 11
石油時報 昭7	石油時報社	SE— 1
世界經濟 昭7	經濟研究社	SE— 2
世界知識 昭8-	世界知識社	SE— 3
專賣月刊 康1-	專賣公署	SE— 4
西安縣公報 康1-	西安縣公署	SE— 5
民國政府公報 民1-17	國民政府	SE— 6
政治經濟學報 民23	大學研究所	SE— 7
ソヴエト聯邦事情 昭7-	滿鐵經濟調查會	SO— 1
村 治 民19	村治月刊社	SO— 2
ソヴエト極東地方事情 大同2	外交部	SO— 3
綏中縣公署公報 康1-	綏中縣公署	SU— 1
T		
統計學雜誌 明治19-昭6-	統計學社	T— 1
統計集誌 明治13-	東京統計協會	T— 2
統計集誌總目錄 昭11	—	T— 2
統計時報 大正11	內閣統計局	T— 3
統計月報 民7	民國統計局	T— 4
統計彙誌 康3	總務廳統計處	T— 7
統 計 昭10	統計協會	T— 8

【圖 錄】

著 者 名	整理番號
統計研究會誌 昭11	T— 9
臺灣時報 昭7-	TA— 1
拓殖大學論集 昭8	TA— 2
臺灣金融經濟月報 昭7	TA— 3
鐵嶺縣公署公報 大正3-	TE— 1
帝國圖書館報 昭7-	TE— 2
鐵路總局局報 康2-	TE— 3
東 亞 昭7-	TO— 1
東 洋 昭8-	TO— 2
都市問題 昭7-	TO— 3
東京銀行通信錄 昭7-	TO— 4
圖書評論 民21	TO— 5
政務周刊 民21	TO— 6
東洋經濟新報 昭7-	TO— 7
〔東三省〕經濟月刊 民18	TO— 8
東洋鐵道商業部事業成績概要 大正8	TO— 9
統計月報 昭7	TO— 10
洮南縣公署公報 大正1-	TO— 11
東省特別區市政月刊 民20	TO— 12
洮南鐵路局局報 康1	TO— 13
東京手形交換所月報 昭8	TO— 14
東豐縣公署公報 康1-	TO— 15
同胞愛 昭10	TO— 16
東亞政情 康2	TO— 17
禹 貢 民24	U— 1
Y	
季 報 大正15	Y— 1
〔橫濱商工會議所〕月報 昭7	Y— 2
技 計 研 究	T— 9
臺 灣 時 報 社	TA— 1
拓 殖 研 究 會	TA— 2
臺 灣 銀 行 調 查 課	TA— 3
鐵 嶺 縣 公 署	TE— 1
帝 國 圖 書 館	TE— 2
鐵 路 總 局	TE— 3
東 亞 經 濟 調 查 局	TO— 1
東 洋 協 會	TO— 2
市 政 調 查 會	TO— 3
銀 行 集 會 所	TO— 4
圖 書 評 論 社	TO— 5
特 別 區 長 官 公 署	TO— 6
東 洋 經 濟 新 報 社	TO— 7
東 三 省 官 銀 號	TO— 8
關 東 都 督 府	TO— 9
東 京 株 式 取 引 所	TO— 10
洮 南 縣 公 署	TO— 11
市 政 管 理 局	TO— 12
洮 南 鐵 路 局	TO— 13
東 京 手 形 交 換 所	TO— 14
東 豐 縣 公 署	TO— 15
朝 野 社 會 事 業 協 會	TO— 16
外 交 部	TO— 17
禹 貢 學 會	U— 1
橫 濱 統 計 研 究 所	Y— 1
橫 濱 商 議 所	Y— 2

【編 號】

著 者 名	著 者 名	整理番號
エコノミスト 昭7	東日大 日エコノミスト	Y— 3
交 易 昭7	橫濱貿易協會	Y— 4
橫濱稅關外國貿易 昭9	橫 濱 稅 關	Y— 5
Z		
財 界 觀 測 昭7	野 村 證 券	Z— 1
財政經濟時報 昭7	財 政 經 濟 時 報 社	Z— 2
稅 昭7-	帝 國 地 方 行 政 學 會	Z— 3
稅 關 康2	財 政 部	Z— 4

【新聞資料】

滿洲新聞	大 同 報
新京日日新聞	盛 京 時 報
滿洲日日新聞	國 際 協 報
國境每日新聞	濱 江 時 報
哈爾濱日日新聞	滿 洲 報
東京日日新聞	延 邊 晨 報
東京朝日新聞	
中外商業新報	
奉天每日新聞	
奉 天 新 聞	
大阪每日新聞	
大阪朝日新聞	
讀 賣 新 聞	
東京帝國大學新聞	
京都帝國大學新聞	
黑龍江民報	
泰 東 日 報	
民 報	
大 亞 公 報	



索 引

注 意

本編使用假名遣表

イ	キ	ニウ	ニュー、ニフ
エ	エ	ニヨウ	ニヤウ、ネウ、ネフ
オウ	アウ、アフ、オホ、ワウ	ノウ	ナウ、ナフ、ノフ
カ	カ	ヒヨウ	ヒヤウ、ヘウ
キウ	キフ、キユウ	ホウ	ハウ、ハフ、ホフ
キヨウ	キヤウ、ケウ、ケフ	ミヨウ	ミヤウ、メイ
コウ	カウ、カフ、クラウ、コフ	モウ	マウ
シウ	シユウ、シフ	ユウ	イウ、イフ
シヨウ	シヤウ、セウ、セフ	ヨウ	エウ、エフ、ヤウ
ソウ	サウ、サフ	リウ	リュウ、ルフ
チウ	チュウ、チフ	リヨウ	リヤウ、レウ、レフ
チヨウ	チャウ、チウ、チフ	ロウ	ラウ、ラフ
トウ	タウ、タフ、トフ		

書 名 索 引

(ア)	アダムスミューラーと演義的普通主義	アルミニウム及其ノ合金	155,186
	経済學概説	アルミニウム總覽年誌	155
愛川村	194	安東縣概況	271
愛媛、長門、博川、宮崎縣	111	晏子、賈誼、新書、公孫、龍子	242
愛蘭海關島放牧納法	55	安西西線の建設と其異同に就て	290
阿ゲマウス明治天皇ノ御覽書	26	安東經濟事情	65
青森縣勢一覽	274	安東省公報圖書分類目錄	220
青森縣勢要覽	274	安東省に於ける商會	116
青森縣之産業	126	安東省鳳城縣	142
青森縣林業要覽	150	安東商工會議所統計年報	102
赤字公債消化ノ基調ト其動向	91	安東省工業題名錄	113
赤字公債ノ消化	63	安東商工名錄	111
朝日經濟年史	69	安東ニ於ケル會社及工場一覽表	78
朝日時局讀本	219	安東の作蠶業	148
朝日東亞年報	225	安東の豆船	165
朝日年鑑	294	(イ)	
アジア的生產方式ニ就テ	69	伊エ紛争と歐洲政局	51
アジア年鑑	395	イェリネフター一般國家學	93
亞細亞民族大會準備會報告書	208	醫學大辭書	248
アジア民族の中心思想	241	醫學統計の理論と其應用	248
亞細亞西亞總論政策	171	英吉利政治經濟研究	90
亞細亞西亞の住民	276	イギリスの印度統治	196
阿城縣政一般狀況	41	イギリスの經濟及經濟政策	73
アダムスミスに於ける自由主義社會の概念的構造に就て	69	イギリスの都市計畫	184
	アダムスミューラーと演義的普通主義		
	經濟學概説		
	新シイ景氣循環理論ト株価暴落		
	新シキ産業市場精神		
	アツシユレエ英國經濟組織ノ史的考察		
	アフトリヨンの貨幣心理説に就て		
	アフリカ年鑑		
	阿片論		
	阿片參考資料		
	鴉片法及其他關係阿片法令集		
	阿片問題		
	阿片問題之研究		
	アミノ酸の研究		
	アメリカ貨幣政策批判		
	アメリカ金融制度改革論		
	アメリカ經濟及經濟政策		
	亞木利加經濟史講話		
	アメリカ産業の知識		
	アメリカの新經濟政策と金融統制		
	アラスカ及北米合衆國ニ於ケル砂金採掘法調査報告		
	アラブル會合ノ運用ニ必要ナ會談ノ仕方		
	アルス工學全集		

選挙前法 13
 離群郷土誌 255
 後背河水系 187
 移住関係法規彙考 191
 移住ノ東洋洲へ招ク 195
 礎 54
 衣通の研究 251
 倉匠法 11
 移住民関係法規 191
 移住民精神と信仰 263
 維新の始に於ける聖書の國是 62
 爲政三節 35
 伊太利亞 231
 伊太利移民の研究 105
 伊太利金融制度論 98
 伊太利刑法典 20
 伊通縣郷土誌 270
 伊通縣政概況 41
 一八六七年度の選挙法改正と自由主義 34
 1000—1901年ニ於ケル關東州統治状況ニ關スルアレキセフ總督ノ上奏文 45
 一九一二年海牙に於ける爲替手形及約束手形に付ての詳察會 104
 一九二七年度に於けるソヴェート聯邦の對東方諸國貿易 121
 一九三〇年關通刑法草案並ニ現行獨逸刑法典 20
 一九三〇年關通株式會社法及株式合資會社法草案並ニ說明書 21
 一九三一年關通新民訴訟法草案並ニ說明書 22
 一九三二年之關通政治 33
 一九三五年六月二十八日の關通刑法改正並ニ刑事訴訟法及裁判所編成法の改正條件と各理由書 20
 一條條法 289
 一般會計證入歳出豫算各目明細書 90
 一般會計證追加豫算第一號各目明細書 90
 一般會計會議經過概況 53
 一般經濟史 71
 一般統計論 201
 伊藤博文公修正憲法原本 17
 移民政策の根本方針 262
 移民團長會議々事録 195

銘物四講 196
 イタタ經濟事情 60
 イタタ經濟事情並ニ日本との貿易事情 121
 依蘭縣一般狀況 268
 岩手縣國作誌 117
 岩手縣昭和震災誌 260
 岩手縣勢要覽 274
 岩手縣統計書 209
 國語辭典 241
 辭典 241
 印度產業貿易情勢 126
 印度統治に對する批判 199
 印度ノ金融輸出ニ就テ 108
 印度の銀相 278
 印度民族史 207
 インフレ景氣ノ進行ト株式

(ウ)

ウイン市財政事情 87
 京氏大學辭典 245
 動く諸國經濟 65
 宇宙の有限性及無量性に就て 321
 內蒙古長城地帶 281
 內蒙古、地理、産業、文化 264
 內蒙古察蒙旗下ニ於ケル住血吸蟲 149
 運河論 180
 運轉 175
 運轉費表 177
 關南外交問題 49
 關南省農村調査 140
 關南問題 49

(エ)

英印比率問題ノ歴史的背景 84
 映畫音樂全覽 247
 映畫番組に關する調査 236
 英漢大辭典 215
 英語字典 246
 英漢政治法律商業教育辭典 27
 英漢大辭典 215
 營業稅問題 94
 營業聯絡貨物 177
 營口及普蘭店ヲ中心トスル官廳檢査狀況 152
 營口環衛法取莊河廳與地全圖 259
 營口縣統計彙編 40

營口港瀋河ノ水運 179
 營口農村概觀 140
 營口の過渡期 106
 營口の現勢 273
 英國經濟事情 68
 英國經濟史要 71
 英國最近の經濟情勢 68
 英國最近ノ通商政策 114
 英國産業ノ合理化問題 127
 英國産業聯盟派遣日本滿洲國使節團報告書 127
 英國自治制度の特質 41
 英國自治制度の歴史的考察 41
 英國ニ於ケル失業及其對策 209
 英國の危機と勞務組合 215
 英國の刑事裁判 20
 英國の住宅政策 260
 英國の四川侵略と關税の五千萬元借款の償還 37
 英國民間航空政策と英帝國航空協會 181
 英國棉業の長進と其對策 197
 英語熟語考 221
 英支西歐問題交涉略史 49
 衛生行政法 8
 衛生局年報 248
 衛生法規彙編 248
 營業管理司營業事務年報 47
 英國佛教育法規 210
 英國米に於ける糧食團體ト其ノ活動 206
 英佛に於ける勞務事情 213
 英米關稅留主組合 206
 英米關稅に於ける金移動問題 109
 英米の取引所 119
 英米佛露ノ各國及支那關ノ條約 48
 英米法 14
 英法に於ける「相當期間」 221
 瀋陽局與瀋陽工程 185
 英國印度統治の現状と英國國民對統治政策の批判 207
 英國印度の民族運動 207
 英國印度の棉業 157
 英國馬來に於ける重要資源の調査 82
 英和大事典 215
 英和中字典 216
 役牛ノ體型ニ關スル生物測定學的

考察	149
易經、書經	242
液體燃料工業最近の進歩	162
譯考一覽	177
譯別貨物運送統計	175
譯別旅客收入取扱數量其他一覽	176
降雨子	242
L. M. S. 鐵道會社と従事員の待遇	174
蒸化後考	239
延吉縣行政一瞥	41
警察統計	152
豌豆及菜豆に關する調査	144
團、弗、譯法の話	106
遠東漁業	153
鹽政叢刊	152
鹽務資料	152
鹽務調查統計表	152
鹽務法規	152
鹽務法令	152

(オ)

王安石の史土合一策會法を中心として	289
煤煙無燻化學	250
大成者調査資料	80
大成者年報	85
機關學派の價値學說	71
大阪外國語學校一瞥	232
大阪經濟史研究	71
大阪通商監督局管内鹽區一覽	157
大阪山陽監督局管内鹽區一覽	151
大阪三品取引所業務規程	115
大阪三品取引所事業報告書	115
大阪三品取引所定款	115
大阪市財政要覽	86
大阪市住宅年報	209
大阪市内主要商店街調査報告	116
大阪商科大学經濟研究年報	60
大阪商工會議所統計年報	111
大阪商船株式會社50年史	78
大阪稅務統計書	93
大阪大會演說彙錄	66
大阪帝國大學一覽	243
大阪通信局業務統計要覽	162
大阪手形交換所規約	101
大阪手形交換所成績一覽	101
大阪手形交換所報告	101

大阪鐵道局重要貨物統計年報	175
大阪鐵道局年報	172
大阪堂島米穀取引所營業報告書	115
大阪ニ於ケル中小工商業金融調査	100
大阪府軍事統計速報	232
大阪府人口速報	190
大阪府勢一覽	274
大阪府生産統計の概要	125
大阪府統計書	200
大阪貿易叢書	118
大阪より滿蒙北支へ	259
歐洲經濟史	58
歐洲球に露西亞に於ける東洋研究史	280
歐洲諸國に於ける關稅制度	94
歐洲鐵鋼業調査報告	154
歐洲に於ける農村共同組合	137
歐洲に於ける滿洲大豆其他の取引事情	114
歐人の支那研究	230
歐米の生産と取引	131
王公華族族表	1
王道學	32
王道管理	32
王道主義研究資料	32
王道政治指導原理、孔教新編譯義	32
大原社會問題研究所雜誌	203
歐米年鑑目錄	219
歐米各國兒童保護に關する法規	211
歐米經濟界の印象	60
歐米最近の經濟事情	68
歐米最低賃銀法	216
歐米人の支那に於ける文化事業	237
歐米に於ける主權概念の歴史及再構成	33
歐米の農産と取引	131
歐米文明記	225
應用語學十個講義	214
應用統計學	200
鶴崎江ノ木村ト蒲洲ニ於ケル木村事情	151
小川博士遷葬紀念史學地理學論叢	257
侯内電氣設備	159
オセアニア年鑑	295
小樽高等商業學校創立25週年記	111
念論文集	113
小樽商工會議所統計年報	111

オタク英帝國經濟會議ノ考察	83
織物	158
恩給法解説	47
恩給法傳義	47
恩給法精解	47
恩給法精述	47
恩給法の解説	47

(カ)

會員購讀外國新聞雜誌表	228
海運及經濟調查報告	180
海運概況	180
海運より見たる浦羅斯德商港	180
海外關稅調查報告	154
海外諸國に於ける人選給職物事情	103
海外新設茶市場調査報告	115
海外製茶市場調査報告	146
海外労働年鑑	213
概觀世界近世史	282
海關與民國前途	96
海關常關地址沿革表	96
海關通誌	96
回教事情	240
回教民族ノ活動ト亞細亞ノ將來	207
希臘評議	205
海軍省年報編纂規則別冊	55
會計	24
會計學(高瀬)	58
會計學(長谷川)	123
會計學講義	122
會計監査第一編詳論	122
會計監査要論	122
會計實務誌	122
會計讀本	122
會計法	6
會計法規彙解	122
會計法規彙	122
會計法規圖覽	122
會計法規通論	122
會計例規彙集	122
成 績	24
開原縣一般狀況	268
開原縣事情	269
開原要覽	260
外交	2, 24
外交及外交史研究	49
外交とは	48

外交部公表集	48	外人在華投資統計	83	價格統計論	73
外交誌	28. 49	外人在華之地位	53	下関突出の地理學的研究	223
外國爲替概論	104	外人農家概況	126	加賀の概論	246
外國爲替管理貿易管理法規集	106	外人の見たる最近の朝鮮	274	徳義合體増補字彙	245
外國爲替管理法規集	106	改正農商紹介法に就て	210	雇 傭	196
外國爲替管理法ノ機能	106	改正税法早わかり	92	漢國ノ現勢ト神戸ニ於ケル華僑	196
外國爲替ト金銀	106	會制度ノ要旨	30	單位大系博士氏名録	202
外國爲替の常識	105	解説實用利息計算表	250	學校教育統計	232
外國爲替論	98	外務工事	168	學校生徒兒童身體検査統計	236
外國經濟統計	60	改造年鑑	204	學校と活動寫眞	247
外國人名地名表	293	村制育成概況	41	學校令及學校規程	237
外國特許要覽	162	解題過程にある支那の經濟と社會	66	學務院一覽	333
外國貿易月表	118	開拓總論	172	學士會會員氏名録	293
外國貿易原論	117	回轉機洗滌及壓洗機器	159	學事統計	232
外國貿易政策	118	概念と體験	263	學事統計表	232
外國貿易統計月報	119	重平縣事情	208	學生生徒兒童身長體重胸圍平均年果	
外國貿易統計年報	118	改變地方行政制度紀念特刊	39	年比較	216
外國旅券及外國人入境旅券査閲規		改變警察行政制度紀念特刊	30	學制改革案	234
則及同施行細則	171	海 法	7	學制問題法律學公法要論	17
回國還本安整の俱合論議叢書	291	外務局圖書分類目錄	229	學徒至誠會會員名簿	226
回國文學尼婆徒新韻文の斷簡	290	外務省年報	49	學徒至誠會底通函報告	226
開墾地移住探察事例	134	外蒙共和國	276	各級法院司法行政實務編	24
開墾土地移住狀況調査	134	海軍編制の轉經に就て	223	各區公費收入出決算表	90
開墾ト努力ノ開始ヨリ見ケル大正		回國國民回國講習會	28	各縣警察總局組織參考條例各縣警察	
二十三年ニ於ケル滿洲農産額	133	海龍縣概況	41	隊組織參考條例	38
海産物ニ關スル調査報告	117	海關、關山、嶺山、豐寧、寧城縣	141	各縣臨時改組辦法	39
海事摘要	178	海陸空軍公文格式	53	各國インフレーション形體ノ研究	101
海事年鑑	178	改良大豆の普及獎勵事業	144	各國經濟統計の實態	73
會社かかみ	78	海陸縣農作物品野倉概況	143	各國憲法之比較	17
會社四季報	78	海林地方に於ける水田業	131	各國勞務調査法編	192
會社統計表	78	開墾統計彙編	40	各國賦稅資金關係法規集	216
會社年鑑	79	海防樹	184	各國原動力及建設概要	137
會社篇(一)重工業、海運業	79	海防照明	184	各國商標法編要	21. 111
會社法	6. 12	かうす五折の對數表及三角函數表	249	各國殖民地銀行制度	102
會社法概論	21	荷捐帶稅下の河北農村	140	各國殖民地租稅制度概要	92
會社法講義	21	科學者の觀たるソ聯邦	278	各國所得稅論	98
海城縣誌	265	科學的工場經營の實際	161	各國選舉法通論	34
海城縣地方事務概略	268	科學的工場組織の理論	161	各國地價稅論	94
海城縣統計彙刊	40	科學と社會	226	各國通商の動向と日本	115
海商法(鳥賀隆)	8	化學と化學	164	各國經濟發展概況表	174
海商法(王)	13. 21	化學工業ヲ概スル	164	各國統計經濟に關する調査	71
海商法草案	13	化學工業概論	165	各國に於ける原料問題	163
海上保險	111	化學商品辭典	117	各國に於ける輸入制限	117
海上保險體験	110	化學肥料	158	各國の社會政策	205
外人在華沿岸及内河航行權	179	化學兵器の理論と實際	55	各國護照稅制度ニ關スル調査	96
外人在華鐵業之調査	185	化學用語新辭典	250	各國勞務界の情勢	213
外人在華的新聞事業	290	價格政策論	110	各國勞務組合運動史	215

各國労働組合の法規と其の現勢	215	家族統計	211	貨幣論 (カウツキー、向坂)	106
各國労働争議統計	215	家族の研究	210	貨幣論叢書	106
各國労働賃金統計	216	價值學叢書	70	瓦房店要覽	273
各國豫算制度	90	家畜衛生統計	149	河北礦物産刊	153
各市歳入歳出決算	91	活魚、野菜、生果、米の部	175	河北財政特派員公署年報	86
各種資料ヨリ摘錄セル滿洲土産ノ		合作講習會講義集	137	河北省工業試驗所報告	161
踏性質ニ就テ	251	合作事業	76	河北省工場及事業場調査	101
各省區縣金收數表	93	合作社之理論與經營	76	河北省省政統計概要	40
各省區縣年財政彙覽	86	活動寫眞の保存と取捨	205	河北省豫縣農村概況	139
各省府縣別戸口統計表	193	家庭と婚姻	210	河北省通縣棉作試驗場成績報告	110
各地勞務新選合約期間	217	家庭毎日	209	河北省定縣之田賦	94
各特別會計預算	90	逐次期間療法	93	河北省定縣之田房契稅	94
鈔票概一統狀況	285	金澤商工會議所統計年報	111	河北省農村經濟調查書	111
革命支那農村ノ實地的研究	138	金澤商工人名錄	112	河北省棉產概況	146
確率及最小自乘法	249	假名遣の歴史	244	河北省棉產調查報告	146
確率論	249	河南省農村調査	140	河北分縣詳圖	268
確率論及ビ其ノ應用	249	株式會社資本論	106	河北物價指數季刊	109
重要皇帝巡遊變遷圖	282	株式會社設立、清算、實務必携	79	河北棉花之出產及販運	145
家計調査提要	209	株式會社年報	78	華北棉村織布工業與商人履生制度	103
家計調査報告	209	株式會社發生史論	78	華北水利月刊	185
家計調査論	197	株式會社本質論	78	華北地券(契)制度ノ研究	188
過去十箇年間ニ於ケル兩滿洲労働		株式相場ノ觀測株式調々ノ選擇法	104	華北織造工人工賃統計	170
争議統計	216	株式二十年	117	華北農村問題の實際考察	139
過去十箇年日英棉布輸出數量比較		貨幣及金融原理	107	貨物運賃及料金規則附貨物特定運	
表、海外市場ニ於ケル各國棉布		貨幣學說研究	106	貨率表	176
輸入状況	121	貨幣價值の研究	107	積子	165
過去20年間ニ於ケル移民移住並自		貨幣價值論	107	樺太殖民の沿革	195
然增加人口推定	73	貨幣金融及物價の史的的研究	101	樺太國勢調査	193
過去20年間滿洲人口增加狀態調	73	貨幣金融統計資料解説	99	樺太廳治要覽	274
過去23年間在滿蒙本邦人及外國人		貨幣項話	106	樺太總領事務所年報	173
口變動表	72	貨幣需要と貨幣の流通速度	61	樺太町村財政一斑	86
華語辭典	245	貨幣政策と景氣變動	106	樺太要覽	273
華語讀本	243	貨幣制度	68	カルテル研究	77
華語讀本詳解	244	貨幣讀本	105	カルテル論争論	77
鹿兒島高等農林學校一覽	232	貨幣と爲替	106	爲替市場論	98
加州に於ける米作	114	貨幣と景氣變動	79	爲替相場ト物價	104
貨幣先行論	175	貨幣の収配	107	爲替理論ト爲替問題	104
果實栽培基礎知識	117	貨幣の發給	107	爲替清算協定概論	105
俄人東遷史	53	貨幣の生成	107	カン支那通貨論	107
ガス	158	貨幣の中立性に關する一考察	62	官 規	34
瓦版事業買収市場論	168	貨幣の本質	106	官製事務規程總覽	213
澤川經單行法規彙編	39	貨幣本質の諸問題	107	官公署刊行圖書目錄	229
河川法	8	貨幣滿洲中央銀行關係法規	108	官商交通	24
河川法關係法規彙集	181	貨幣問題叢書	706	官製局附目録	229
滿洲動産調査統計表	189	貨幣論 (總論)	58	官職階	2
家族制度研究	210	貨幣論 (服部)	98	官 制	24
家族的獨立小量法	134	貨幣論 (齊本)	106	官制及官印	1

官制關係資料 27.47
官廳會計 122
官廳刊行圖書目錄 227
官廳契約規定論 47
官廳簿記法解説 122
官廳簿記法通解 123
官吏 1
官話指南自修書 213
官話指南談論新編適用問題並解答 242
監獄 24
監獄長會議錄 25
監獄と言ふ文字の起源及其の變遷に就ての研究 251
監獄制度考 45
神戸博士選考實況記論文集 62
簡易生命保險の死亡率に關する調査 180
簡易農家經濟調査日誌 126
簡易農家經濟調査表 126
簡易保險局統計年報 110
關西學院一覽 232
關西主要會社ノ解剖 78
關西風水禍罹災者就職轉業事業法 210
關稅及稅關 96
關稅與國稅 96
關稅法全書 96
關稅問題調査資料 96
關東都督府通信統計要覽 182
關東都督府統計書 204
關東廳管内現住人口統計 189
關東廳產業調查結果表 210
關東廳警務統計書 37
關東廳國勢調査 192
關東廳施政二十年史 45
關東廳社會教育要覽 236
關東廳職員錄 47
關東廳人口動態統計 189
關東廳々勢一紙 278
關東廳長春取分所年報 116
關東廳通信統計要覽 182
關東廳統計要覽 272
關東廳ノ法廷ニ現ヘタル支那ノ民事慣習 16
關東廳報告例 199
關東廳要覽 272
關東廳勞務統計書 213
關東局業態調査記述稿 112

關東局業態調査結果表 112
關東局局政一覽 45
關東局施政三十年業態調査資料 45
關東局人口動態統計 180
關東局統計書 45
關東局土地要覽 272
關東局勞務調査結果表 214
關東州農業底圖 152
關東州農業統計 152
關東州粟田田疇ニ關スル調査資料 152
關東州及滿洲農業統計 152
關東州府誌 272
關東州昆虫目錄 251
關東州事情 272
關東州稅制度改正方ニ關スル建議書 96
關東州租借地稅制度小論 60
關東州租借地滿洲附屬地及國內定住外國人之旅券査證、暫行辦法 171
關東州特種稅法の實況 97
關東州土地評價提要 16
關東州土地制度論 187
關東州各地農耕地平均實價價格調査 73
關東州に於ける司法 21
關東州に於ける水源調査報告書 251
關東州ノ關稅制度 96
關東州ノ經濟概観 179
關東州貿易統計 119
關東州輸出入植物取締規則、地方稅法、地法、計量法、酒稅法、家畜自用酒稅法 96
關門地方經濟調査 65
關於日滿兩國的特殊關係 52
關稅費の研究 193
關島韓民保護に關する施設 207
關島產業調查書 125
關島省概況 269
關島省例規集 39
關島地方概要 269
關島問題の概観 32
關島調査問題 15
咸鏡南道商工業内 113
甘珠網嶺及ピ定期市 114
寬甸縣一般狀況 269
管子 212
管内支那人ノ農家經濟 135
管内に於ける主要農作物 143

管理通貨論 107
韓國戶口表 193
韓國施政年報 36
韓國ニ於ケル土地ニ關スル權利一斑 189
韓混之詩集 243
韓非子節子 242
廣西省經濟概況 68
廣西凌雲縣人調査報告 207
廣東新會縣溪土地分配調査 131
廣東通誌 275
漢英新辭典 245
漢韓史記に關はれたる日韓古代史資料 281
漢軍烏巢起略に就いて 283
漢口市政概況 41
漢口貿易經濟統計 119
漢語解題 227
漢千秋萬歲頌 269
漢代婚喪禮俗考 270
漢代土俗誌 279
漢代風俗制度考 279
漢國統計名詞 197
漢律略考 290
漢和大事典 244
勸定學程研究 122
鑑證資料編 37
緒ニ因ル死亡實態病ニ因ル死亡女 189
維新及近ニ因ル死亡統計 191
旱地農業 131
碓氷工原別實 185
兩數生物學 219
甲板積貨物の發賣に就いて 225
運魂記、漢宮秋 243
關東廳の断面形に關する研究 223
(キ)
生 菜 153
九州帝國大學一覽 233
運魂記波瀾致給概観 196
舊東支路道を中心とする北滿大豆 114
舊滿時代ノ耕地墾殖改良事業ニ關スル調査 134
舊奉天熱河省移交邊界目錄 229
西北滿鐵路營業統計年報 173
朝鮮農業發展程度考 38
舊來の朝鮮農業社會についての研

究の爲に	201	北支那の天然資源	81	吉林省政府奉新成國之統計材料報	
急性傳染病=因ハ死亡統計	189	北支那の羊毛	149	告表	40
牛結核ノ研究	118	北支那文化便覽	226	吉林省政府行政會議紀要	40
議會政治讀本	27	北支那文獻彙覽	275	吉林省政府全體職員統計書	40
機械工學便覽	159	北支那貿易年報	178	吉林省政府舉行章程彙編	39
機械工作實習指導	159	北滿洲	284	吉林省政務年鑑	40
機械辭典	107	北滿洲廳廳	284	吉林省統計年報	40, 199
機械部分の設計	100	北滿洲支那農民經濟	135	吉林省東北部松花江沿岸地方經濟	
機械學實習全書	159	北滿洲の燃料問題	162	事情	85
機械工學	159	審中圖書	53	吉林省東北部林業	159
數學參考	217	吉會確定地地方調查報告	151	吉林省內三姓勃利地方經濟事情	64
植民財政と金融統制	89	吉黑兩省ノ民事慣習調査=就テ	16	吉林省=於ケル土地整理=關スル	
企業金融論	98	吉黑兩省蒙旗行政調査書	36	法律	181
企業形態論	77	契丹國誌	282	吉林省ノ財政	85
企業合同法の研究	77	契丹佛教文化史考	236	吉林省立學校々長會議議	236
企業的結合	76	吉教區沿線の水田	134	吉林新誌	209
企業と租税	92	吉林を中心として見たる滿洲民族		吉林全省近五年住戶及人口比較表	133
企業の實務知識	58	變遷史	207	吉林圖籍地質說明書	251
企業の發展と資本の集積	76	吉林市發達計年報	41	吉林東南部經濟調查資料	64
歌曲、發明と自由戀愛	220	吉林省安撫外來難民情形紀要	195	吉林之林業	450
過去來り	226	吉林省概況	270	吉林方正縣統計報告書	269
養蠶概要	268	吉林省各縣學田狀況	287	吉林興地圖說	270
氣候學	259	吉林省各縣保費調查暫行簡章	38	規定類型(滿鐵)	172
祀孔禮	218	吉林省各縣保甲費徵收率及徵收方		規程類型(滿鐵)	177
奇克縣事情	284	法概況	94	冀東報覽	275
起債市場論	98	吉林省各縣誌誌	270	冀東防共自治政府所轄地區區賦一	
冀察政務委員會公報	20	吉林省伊通縣	141	覽表	91
冀察調查統計叢刊	200	吉林省扶餘縣事情	269	輝南縣一般狀況	268
紀州吉柑	147	吉林省延吉縣	141	輝南縣統計彙誌	40
記述粗文	103	吉林省輝甸縣事情	270	教 育	1
技術と軍事工業	153	吉林省乾安縣事情	270	教育映畫研究資料	237
魏晉南北朝通史	287	吉林省雙陽縣事情	260	教育行政	231
魏晉南北朝經濟事情	67	吉林省長春縣事情	269	教育行政法	8
貴族院要覽	33	吉林省農嶺縣事情	269	教育施設要覽	231
基礎的研究に關する新考察	223	吉林省教化縣	141	教育大辭典	231
北アメリカ年鑑	295	吉林省樺甸縣	269	教育廳長會議記錄	231
北支那沿岸ノ航路網	179	吉林省各市場調查戶口辦法	193	教育的觀望施設一覽	237
北支那外國貿易統計年報	118	吉林省行政全圖	253	教育統計學綱要	234
北支那經濟概論	67	吉林省推廣工作經過情形紀要	212	教育統計學初步	231
北支那經濟事情	67	吉林省縣治人員訓練所所員必讀	46	教育統計圖表	232
北支那經濟綜覽	68	吉林省公署圖書目錄	228	教育綜合一之系統研究	234
北支那縣業紀要	154	吉林省公署定期報告例規綱覽	200	教育と文化の基礎	235
北支那事情	275	吉林省產業施設概要	125	行刑法規	7
北支那=於ケル協作地農村事情	130	吉林省產業ノ現状	135	行政學原論	26
北支那=於ケル外國ノ利益	53	吉林省城街工概要	111	行政學と法律學	31
北支那の外國貿易と外國の商勢	121	吉林省管理田賦局報告書	94	行政學之理論與實際	35
北支那の地理	275	吉林省森林調查復命書	150	行政機構ノ基礎原理	31

行政裁判法(美濃部)	5	極東に於ける棉業	163	金融財政一般概理	100
行政訴訟	1. 24	極東に於ける露西亞準備工作	53	金融事項参考書	98
行政法	13	極東の植産業	153	金融市場金利論	99
行政法(美濃部)	35	極東露領交通機關開通十年計畫	171	金融市場の世界的動向	97
行政法各論解説	35	極東露領に於ける黄色人種問題	207	金融辭典	97
行政法各論拾遺	11	極東露領に於ける農業概要	131	金融市場としての日本銀行週報	225
行政法規	35	極東露領の印象	278	金融市場年報	99
行政法規提要	35	曲阜孔廟建築及其修葺計畫	183	金融大辭典	97
行政法總論	35	漁業者賃銀統計表	215	金融統計と貿易政策	59
強制執行法(加藤)	4. 5. 6. 8. 9	漁業法	9. 10. 11	金融統計論	100
強制執行法	13	漁船保險調査資料	151	金融統計學論	98
強制執行法(岩本)	23	漁村經濟ノ研究	151	金融の常識	97
強制執行法釋義	14	漁村更生策に於ける問題	83	金融法典	97
恐慌と恐慌と植民	82	義和團運動史	288	金融論(牧野)	58
恐慌ノ新段階ト世界經濟ノ動向	82	汽力及内燃力發電所	159	金融論(福爪)	98
共済統計要覽	211	金	155	金融出解算問題	101
共済ロイヤル法義論	34	金銀替本位制ノ研究	105	金利概論	105
共同經營組合の實行成績	137	金貨銀貨之根本的研究	109	金利計算表	105
協同組合研究	76	金貨銀貨現潮	108	金利と物價	110
協同組合存続論	76	金貨銀貨問題叢刊	107	金利ノ前途感	105
協同會とは何ぞヤ	206	金銀鑄本	155	銀及通貨論	107
京都府工會議所統計年報	111	金銀の將來と我對外政策	109	銀價と銀貨替	104
京都帝國大學一覽	232	金屬材料(山田)	186	銀價の騰落と支那の幣制問題	50
京都帝國大學卒業生名簿	233	金屬材料(日本學術)	186	銀經濟論	109
京都帝國大學新學期調査會報告	132	金屬材料に關する外國特許要覽	182	銀 號	198
京阪線及背後地經濟事情	64	金屬材料の發券研究上の二三の意 見	223	銀行及金融	102
京濱線及背後地經濟事情	177	金屬材料ハンドブック	186	銀行會計	122
京濱線經由漢人移民調査報告	191	金と銀	109	銀行關係法令集	101
海上教材參考資料	237	金と世界經濟	82	銀行局年報	103
郷土經濟史研究提要	71	金の經濟知識	109	銀行業中ノ大勢	112
郷土生活の研究法	279	金本位制の研究	108	銀行實務ヨリ見たる英國手形解説	104
郷土地理の調べ方と實例	255	金本位離脱後の通貨政策	108	銀行總覽	102
郷土地理の觀方	255	金問題研究	108	銀行鑄本	102
郷土地理野帖	255	金問題と發券に於ける金本位制	108	銀行發行法	98
郷土の地理的研究法	255	金融外交史序説	101	銀行法	7
業債展示會並農具賣渡展覽會報 告書	131	金融合作社管內經濟事情	100	銀行法並ニ銀行法施行ニ關スル勅 令及省令	103
業務報告書	102	金融合作社業務統計	101	銀行簿記論	123
業務要覽	152	金融合作社鑄本	100	銀通貨爲替論	105
競賣法	10. 11	金融合作社の全體	100	銀と支那	109
滿洲電氣傳	292	金融機關論	100	銀之發券動向的研究	108
極東阿片問題	211	金融恐慌論	79	銀の問題	109
極東外交論叢	50	金融組合要覽	108	銀問題ノ大要	108
極東露領企業一覽	77	金融景氣トソノ限界	100	銀號要覽	259
極東露領氣象實況	250	金融經濟情報	100	銀號公署舊巻目錄	228
		金融經濟大綱	100	錦州省概覽	268
		金融經濟統計	99	錦州省概覽事情	268

錦州省興城縣事情	268	軍艦保護法	54	經濟金融概況年鑑	69
錦州省黑山縣	142	軍事行政	55	經濟金融統計年報	60
錦州省彰武縣事情	268	軍事航空と民間航空	65	經濟警察はどう運用されるか	75
錦州省錦山縣	142	軍事産業資料	55, 124	經濟原理	69
錦州省錦山縣事情	268	軍事上の見地よりする滿洲國の治		經濟原理 (小泉)	58
錦州府管内經濟調査資料	64	安維持	262	經濟原理 (高田)	69
錦州府屬地全圖	253	軍事洗濯	51	經濟學基本部論	59
錦西縣事情	269			經濟十年史	71
近思錄集註	240	(ケ)		經濟市況の全知識	117
近世中華民族史	268	ケインズ貨幣論の研究	107	經濟史研究	71
近世日本國民史	260	ケーンズ金融理論概説	100	經濟施設概要	45
近代株式會社論	78	ケーンズ金融理論ト管理通貨	100	經濟思想の革命	70
近代支那史	288	經營	78	經濟支那の開發	75
近代支那社會史	205	經營學年報	78	經濟循環期の統計的研究	60
近代支那の政治及文化	29	經營學の基礎概念たる資本企業及		經濟上ヨリ關ケル滿蒙ノ道路	171
近代資本制發達史	71	經濟	62	經濟資料	62
近代政治思想と皇道	31	經濟學の基礎的諸問題	76	經濟資料一覽	58
近代戰とプロパガンダ	54	經營經濟學	58	經濟新聞活法	61
近代村落の研究	205	經營經濟學と社會理念	70	經濟新話	57
近代中國實業通志	126	經營經濟學の成立	70	經濟地域に關する諸問題の研究	256
近代日本史	235	經營計算全案	123	經濟地理學概論	256
近代農村經濟的趨向	142	經營計畫の體係と成果分割	225	經濟地理學講話	257
近代蒙古史研究	268	經營體の生活と合理性對非合理性	232	經濟地理學の方法論	257
近東及阿弗利加各地ニ於ケル茶葉		經營統計 (小林)	77	經濟地理學文獻總覽	257
調査	115	經營統計 (郡)	198	經濟地理學方法論	258
今世中國實業通志	126	經濟推新原則	75	經濟地理研究	258
勤勞所得及關係法規	92	經濟界季節的變動ノ研究	79	經濟地理通論	258
勤勞所得税ノ徵收手續便宜	95	經濟界長氣變動の研究	70	經濟地理の概要	256
勤勞所得税之徵收繳納手續便宜	95	經濟學 (土方)	69	經濟調査の仕方	61
均衡理論と資本理論	71	經濟學 (區)	70	經濟通話	57
縣要區片想與談	212	經濟學概論	70	經濟圖表の見方書き方使ひ方	61
縣談枯例	222	經濟學研究	78	經濟手帳	63
(ク)		經濟學原理	70	經濟哲學序説	70
空襲ト關係法	23	經濟學史	68	經濟哲學通論	70
縣管抄の歴史哲學性	231	經濟學史上のコブムニクス	225	經濟哲學の二問題	70
區政大全	38	經濟學辭典 (改造社)	57	經濟統計 (森本)	60
區村便宜	41	經濟學辭典 (大藏省大)	57	經濟統計 (上海銀行同報社)	61
區ノ研究	188	經濟學說史	70	經濟統計 (統計院)	198
宮内省恩給令要義	47	經濟學說ノ史的研究	69	經濟統計學	61
縣本現務統計書	93	經濟學前史	70	經濟統計概要	60
縣本通信局業務統計要覽	189	經濟學總論	58	經濟統計摘要	61
縣學書山研究序説	63	經濟學通論	60	經濟統計年鑑	59
桑野博士還曆記念東洋史論叢	288	經濟學入門	71	經濟統計の作り方と見方	61
タレムウキアに就て	62	經濟學文獻大匯	57	經濟統計	59
縣位	1	經濟關係法令並佈書集	57	經濟統計下の日本	74
軍艦商船の賠償統計	221	經濟記事の基礎知識	61	經濟資本	57
		經濟金融概況	99	經濟都市大運	273

経済年鑑	59	刑法研究	20	決算報告書のウオーホ式見方企業	
経済の重要問題	57	刑法講義	20	財政の比率分析	78
経済の統制と新立法	73	刑法釋義	20	ケトレーの研究	201
経済編	2	刑法總則	12	ケネー經濟論	69
経済方面ヨリ見たル呼倫貝爾事情	63	刑法總則釋義	13	ケルゼン—經濟家學	32
経済法合集	57	刑法總論	6	健康増進施設の實踐	213
經濟法史	240	刑法と社會思潮	20	健康保險法	7
經濟學詞	240	刑法刑罰總論	23	健康保險法釋義	248
經濟の生産性	231	刑法分別	12	健全なる社會傳統	226
經濟會計	177	刑法分別釋義	13	建國一週年ニ際シ再ビ身分登記法	
景氣短期統計論	197	刑法論攻	19	ノ實施ヲ提唱ス	19
景氣指數論	90	警察衛生及監獄	1	建國一周年回顧録	284
景氣循環ノ調査研究	80	警察行政衛生行政	37	建築技術學	238
景氣循環論	78	警察行政研究	37	建國軍事實踐集	54
景氣政策批判	80	警察權の擴張移置に關する準備概		建國慶祝紀念	282
景氣轉換ノ可能性	79	況	38	建國後道路行政概要	172
景氣ト貨幣	107	警察統計報告	37	建國週年紀念	283
景氣資本	80	警察資本	37	建國大綱草案	33
景氣變動論	58	警察犯處罰令釋義	3	建州右衛門の居住地に就て	290
景氣豫測ノ方法	80	警察權、衛生篇	3	建設途上の滿洲國	28
景氣豫測法研究	60	警察豫算提要	37	建築	153
景氣論 (渡多野)	99	種族雜種研究	123	建築業	198
景氣論 (關崎)	99	計畫經濟に就て	75	建築工事仕樣及算法	185
景氣論序説	80	輕工業	59	建築保健學	185
景氣論通説	80	敬語法の研究	243	建築用語新辭典	183
計算尺精義	249	球體鑄工業	164	縣區村制度ノ事案前ニ於ケル狀態	39
計算精表	249	慶祝蔡元培先生六十五週年紀念文集	230	縣政入選判決	91
計算圖表學	249	慶祝承認四年紀念高辭	53	縣政彙編	34
計算法	249	慶祝承認四年紀念大會錄	62	縣政建設	33
計算法及び計算器械	249	慶祝承認二周年紀念特刊	52	縣政大全	38
刑 事	21	慶南の商工	113	縣農事合作社概要説明	128
刑事政策	20	慶南ノ棉	146	乾安縣一般狀況	270
刑事訴訟法	1. 12	鏡實法	10. 11	檢査院	1
刑事訴訟法 (小野)	5	契約概論	4	檢査警察法編總覽	3
刑事訴訟法 (孫)	13	契約各論	6	檢査報告書	123
刑事訴訟法 (牧野)	22	京城醫學專門學校	232	現行豫行法汎論	37
刑事訴訟法海峽	22	京城法學專門學校一覽	233	現行支那通關關係法規	153
刑事訴訟法釋義	14	京兆通商銀行十年史	102	現行神祕法令題誌	239
刑事訴訟法大綱	22	激變中の日本經濟	65	現行租稅法規	92
刑事訴訟法理論	22	下水道事業の經濟	185	現行統計法規彙抄	157
刑事統計年報	24	結核感染を後發せる口蓋齒齦の一		現行內國旅費規則詳解	171
刑事被告人ニ關スル統計材料	24	例	222	現行標點公文格式詳解	47
刑 法	13	結核死亡統計	189	現行法規制度要覽	3
刑法各論	8	結果概釋	197	現行法律條義叢書	13
刑法各論編	20	結果中間報	192	現行法令全書	1
刑法監獄法裁判法	14	結果表	192	現行滿洲帝國公文提要	15
刑法詳則	20	結晶學に關する特殊計算	223	現行六法ニ命全書	16

現行六法全書	16	現代労働問題論叢	315	興城縣々政概況	41
現代海運論	160	現段階に於ける租税體系	63	工會法	160
現代外國法典	14	現住戸口統計	193	工業會計	160
現代貨幣問題	106	現住人口調査ニ關スル統計材料	189	工業會社に關する諸統計	157
現代金融經濟全集	98	原價會計概論	123	工業化學講座	157
現代金融論	100	原價會計學	122	工業化學讀本	161
現代經濟學全集	58	原價計算	122	工業經濟概論	157
現代經濟學論	60	原價計算と價格政策の原理	123	工業經濟學	70
現代經濟總動員	74	原價計算論	123	工業經濟學講座	160
現代公債政策	91	原始共產社會	205	工業經營總論	160
現代國防經濟論	74	原審簿籍對照簿書目錄	230	工業經濟地理	257
現代國民經濟の趨勢	57	原料經濟	59	工業經濟理論	160
現代財政學の理論	87	研究調査參考文獻總覽	227	工業經濟論	160
現代産業叢書	124	研究年報經濟學	70	工業研究一覽	157
現代産業地理講話	256	官 語	244	工業所有權法(鳥賀陽)	14
現代支那事情の研究	276	雜語大辭典	244	工業所有權法(葛)	157
現代支那社會研究	203	支米食に就て	262	工業政策(小島)	58
現代支那社會勞務運動研究	206	元山商工會總所統計年報	111	工業政策(山田)	160
現代支那の根本的經濟	29	元史學	280	工業大意	157
現代支那の根本問題	29, 231	元代社會階級制度	206	工業人辭典	157
現代支那の政治機構と其の構成成分	20	元代の農民生活に就いて	287	工業調査書	157
子	20	元朝札魯忽赤考	289	工業と工業政策	160
現代支那の政治と人物	29	憲 法	19, 24	工業取引案内	158
現代社會學に於けるパレット社會學	62	憲法及關係法規	1	工業日本精神	160
の地位	62	憲法解釋資料	17	工業年鑑	168
現代社會思想講話	206	憲法關係法規集	17	工業部要覽	158
現代社會の病的標榜	221	憲法研究專號	17	工業藥品大辭典	157
現代新編	276	憲法講話	18	工業藥品大全	164
現代人口問題	191	憲法提要	17	工業用語と略解	157
現代人種問題研究	207	憲法述義	17	工 作	177
現代政治の諸問題	34	憲法讀本	18	工作機械最近の進歩	160
現代黨派經濟論	65	憲法資料	17, 28	工作統計年報	176
現代中華民族滿洲國人名鑑	293	憲法提要	17	工場委員制度研究	161
現代中小商工業論	127			工場及鑛山ニ於ケル労働狀況調査	213
現代哲學辭典	210	(コ)		工場監督年報	161
現代統計學	171	五院政府研究集	34	工場寫真術	160
現代都市計畫	181	興安各省々長官讀々事錄第一回	36	工場批當法	5
現代國體論序說	237	興安同國書目錄	228	工場統計表	161
現代日本工業全書	157	興安區屯墾第一年工作概況	134	工場内労働教育事業の目的	62
現代日本人名鑑	283	興安西省察曼旗事情	272	工場に於ける職長の任務及教養	161
現代の外交	48	興安西省林西縣事情	272	工場名簿	161
現代の教育哲學	231	興安南省概覽	272	工場労働關係諸條	161
現代の植民政策	196	興安東省概覽	272	工場労働統計	161
現代文化と國民教育	234	興安屯墾區事情	271	工場標準仕樣書	183
現代米國讀本	279	興京縣政況概覽	41	工 廠	198
現代貿易と貿易政策	118	興京府屬興地地誌	268	工廠法	161
現代法學全集	4	興行狹間調査	247	工商法詳解彙編	124

工商問題之研究	153	高青野野集	213	耕作狀況季報及縣農況報告要綱	113
工人意外遺族救済法	213	高等學校高等科入學者選拔ニ關スル調査	216	耕種概要圖	117
工務統計	184	高等學校卒業生ノ大學ニ關スル調査	219	耕種重要圖	117
公營事業論	78	高等警察要論	37	耕地墾復改良事業要覽	171
公益慈善團體	198	高等小學校用教科書	237	耕地管理組合に就て	61
公債年鑑	91	高等商品學	177	江蘇省農村調査	140
公算論	240	高等諸學校一覽	232	江蘇省紡織業狀況	164
公社株式論	98	高等諸學校統計	236	江蘇武進南潯田賦課稅調查報告	91
公文公報	24	高等諸學校ニ關スル法令	231	江南調查誌卷本書目	228
公文程式全引	47	高等農事講習會議錄	131	交際全書	221
公文格式製作管	47	高等物理學	250	交通經濟論	170
公文何規及公文例	47	高等法院民事判決例	23	交通原論	170
公法學ノ總問題	16	高麗元宗朝の設立事件と蒙古の高麗西北面占領	290	交通政策	58
公法と私法	14	高麗朝に於ける如神に就て	200	交通地理學原理	257
公法判例詳解	23	高麗風俗に及せる蒙古の影響に就て	239	交通通信電氣	1
公法判例大意	23	高麗國境調査報告書	144	交通統制に關する當選論文彙	170
公海の私法的効力	221	黃河裁察日記	258	交通部統計年報	170
甲戌哈爾濱防水記録	185	黃渤海の漁業	151	交通部法規類纂	170
公民教育研究	236	廣辭林	214	交通部要覽	45
公務員辦理內政統計實行考成規則	199	廣州之銅業	109	交通誌	3
公用收用法原理	20	鑛害賠償責任論	151	交流機及變壓器	159
公立私立實業學校經費に關する總調査	236	鑛業經濟地理	257	交流電氣機械	168
公司登記規則(滿)	13	鑛業法要義	153	交流理論	159
公司登記規則(遼寧省政府)	21	鑛業法令彙	153	交流理論と過渡現象	168
公司法(民、王效文)	13	鑛山の開發と經營	155	航空機及航空發動機設計資料	160
公司法(高橋印書館)	21	鑛山變災	153	航空機材料	159
公司法釋義	13	鑛產法	7	航空機に關する外國特許要覽	162
公司法上の株式の得喪	235	鑛山用器具及機械	153	航空機燈籠	151
臥宮	26	鑛物學	155	航空機照明	151
臥宮憲法學	17	鑛物學概論	151	航空統計年報	151
臥宮の軍備と國勢	65	鑛物學名詞	154	航空機本	151
臥宮皇族聖蹟	26	鑛物岩石鑑定要覽	151	航空發動機(大友)	160
臥宮聖蹟講義	25	鑛物資源便覽	151	航空發動機(神澤)	160
臥宮聖蹟政編	2	鄉村教育概論	213	航空法論	151
臥宮聖蹟日記	26	鄉村建設實錄	139	航空用紙	151
臥宮陛下御訪日ニ關スル記録	26	鄉村自治	38	材料標識編	179
臥宮訪日記念寫真帳	26	鄉村社會調查報告書	206	港灣工學	180
臥宮訪日與友邦日本	26	鄉村社會調查大綱	140	港灣調査規則	82
康熙辭典	244	鄉村小學行政	235	光緒朝代之滿洲關係	263
康熙大帝	292	鄉村小學實際問題	236	光緒33年順天府統計表	199
順德元年度歲入歲出總決算各特別會計決算	90	鄉村民眾教育	236	光電管及光電池	168
順德元年度預算ニ就テ	91	地農學校專號	245	孔子聖蹟志	240, 240
順德元一五年度總預算	90	地約制度研究	39	考古司法記	24
順德五年度預算の話	91			杭州市經濟調查	57
順平縣行政報告書	41			厚生省原本	47
				校正の研究	237
				行動政治哲學	31

購買管理、倉庫管理	116	國際金融論	98	國際聯盟に於ける日支問題議事録	49
神戸市工業調査速報	157	國際經濟關係現下ノ容相	81	國際勞工組織	217
神戸市商業調査速報	114	國際經濟研究	83	國際労働機關ニ係法規	217
神戸商工情勢	112	國際經濟時報	83	國際労働總會議題ニ關スル參考資	
神戸手形交換所報告	101	國際經濟政策	83	料	214
香料と化粧品製造業	161	國際經濟戰略	81	國際労働總會概況報告	214
小賣商店並中小工業の自衛策	116	國際經濟と金融	83	國際労働年鑑	212
紅樓夢	243	國際經濟ノ諸問題	83	國債統計年報	91
發原天皇御即位式ニ關スル研究	290	國際經濟ノ理論ト問題	83	國債新明細表	91
故西谷陽二君記念碑建設報告書	293	國際經濟要覽	83	國策參謀本部設置案	34
五郎正義博士追悼門	289	國際經濟論	83	國策ト移民事業ノ重大性	105
伊藤大典與協勝孝敬老合録	211	國際時事解説	33	國勢調査	193
國營と民營	75	國際事情	51	國勢調査員必携	192
國家學論集	33	國家事情及評論	51	國勢調査計劃準備ニ關スル件	103
國家觀念より見たる小學校の教育	262	國際社會の將來と新國際主義	204	國勢調査結果概要	192
國家經濟學	20	國際商工會議所總會報告	76	國勢調査參考書	192
國家經濟と公債經濟	87	國際私法(山田)	9, 10, 11, 23	國勢調査事務概要	192
國家原理提要	33	國際私法(烏賀陽)	14	國勢調査職業名鑑	210
國家構造論	32	國際資本移動論	83	國勢調査世帯及人口	193
國家財政概論	89	國際信用恐慌インフレーションへの		國勢調査ノ結果表單ニ用フべき產	
國家財政史統計學汎論	88	の論	70	業分類及職業分類	192
國家財政の機關と作戦	89	國際水産物並捕撈類貿易統計	119	國勢調査報告	192, 193
國家主義道徳一覽	27	國際政治ト國際行政	33	國勢調査論	193, 197
國家宣傳とジナリズム統制	230	國際協約集	43	國勢の伸張と學校増設	235
國家總動員の準備に就て	54	國際的に見たる我國の滿洲に於ける		國勢ヨリ見タル富山縣ノ地位	274
國家總動員法と國民生活	54	特殊地位	52	國稅徵收法南解	92
國家總動員法の解説	54	國際統計協會會議報告	202	國語法論	23
國家と階級	32	國際統計概要	204	國語法及國語法施行規則法律適用	
國家と經濟	70	國際統計協會便覽	202	條例	23
國家の研究	33	國際判例研究	22	國險沿線邊疆及施設一覽表	176
國家法人説の崩壞	32	國際不法行爲法論	23	國險沿線鐵路愛護村現勢一覽	176
國學論文索引四編	320	國際平和關係前途集	43	國險沿線ノ産業開發ニ就テ	193
國語白話政要	243	國際編	2	國險沿線愛護村概要並愛護村現勢	176
國境政治地理	257	國際法	12	國險沿線法講義	18
國境地方觀察復命書	273	國際貿易ニ於ケル貨幣ノ權分ト貨		國險の本義	231
國新	242	幣數量說	107	國語論	33
國語史	243	國際法學	23	國地財政劃分問題	87
國語政策	243	國際法ニ於ケル國家責任論	23	國語建設事業關係法令書式集覽	184
國際阿片制度の概観	212	國際法の基本觀念	5	國語建設批判及ビ提言	184
國際阿片問題	211	國際問題研究	51	國語新東京經濟事情	65
國際關係通論	51	國際問題ヨリ見タル滿蒙	40, 261	國語大新章	184
國際關係問題	96	國際聯盟全委員會最終報告書	109	國道局過去一年ノ回顧ト將來ノ展	
國際關係地理概論	54	國際聯盟日支紛争調査委員會報告書	52	望國道建設ノ地方ニ及ボス影響	
國際戰爭中之滿洲	49	國際聯盟便覽	49	調査	184
國際銀價取引ト其原價計算	109	國際聯盟理事會並に總會に於ける		國道局事業概況書	45
國際金融各論	83	日支紛争議事經過詳録	52	國土防空ト平時準備ニ就テ	55
國際金融總論	97	國際労働局長年報	213	國富及國民所得	81

國富統計及國民所得統計	198	法令	186	米統計(編并部)	145
國法及國法史の研究	15	黑龍江省其ノ黑河港	270	米統計表	144
國法、行政法、財政法	14	黑龍江省特種貸款辦法其他	137	米の調査	144
國防經濟論	51	黑龍江省東興縣事情	271	米麥及福洋額統計表	145
國防資源論	81	黑龍江省政務報告統計表	40	米麥及福洋額比較表	145
國防大辭典	51	黑龍江省統計報告第二次	200	米麥基本調査結果表	144
國民革命中之奉北國幣五大問題	63	黑龍江省に於ける風土及土着族に 關する調査	279	古來の米調に現はれたる敬神思想 と時勢の推移を論ず	231
國民經濟學體系	70	黑龍江省ノ財政	85	煤業場所	197
國民經濟、國民經濟學及び方法	70	黑龍江省地圖	269	呼蘭縣城鎮商會事情	116
國民經濟讀本	67	黑龍江流域的農民與地主	131	呼倫貝爾	271
國民所得及國富ニ關スル研究	81	黑龍江の氣候土壤植物研究誌	251	呼倫貝爾總商會地調查	159
國民所得ノ構成	80	黑龍江省煤礦	141	呼倫貝爾概要	273
國民所得ノ分配	80	黑龍江省煤礦縣農業品評價會概況	143	呼倫貝爾高產事情	148
國民政府救濟水災委員會聯絡各區 工程簡覽	185	黑龍江省烏蘇縣事情	271	呼倫貝爾問題	49
國民政府現行法規	2	黑龍江省通河縣事情	271	郭羅羅斯前期基本調査書	265
國民政府公文程式大綱	47	黑龍江省佛山縣事情	271	版圖發售卡片	261
國民政府重要政治外交年表	28	黑龍江省一遼河地方各縣事情並ニ主要 產業概況	127	コンサイス語會社職員錄	79
國民政府ノ外交及外交家行政	53	原稿史略	991	婚姻及親族法、經濟法	14
國民政府之財政報告	27	小口貨物輸送ノ現況	175	婚姻親族後見法	211
國民政府ノ產業政策	127	克東縣政概要	41	結婚學	134
國民政府法規彙編	3	古今工藝圖彙	246	混伴大豆規格調査	143
國民黨の產業政策	127	小作調停年報	136		
國民年鑑	294, 295	小作農民ニ關スル調査	126	(サ)	
國民保險に關する統計資料	245	小作法批判	135	財界の推移	68
國譯漢文大成	242	小作立法ニ關スル主要問題	136	在外本邦人國勢調査職業別人口表	193
國譯政治通論	243	五十世紀中國年表	287	最近アメリカ經濟の研究	68
國譯經濟通論	243	恩從訪日誌記	26	最近漢口港の港勢	179
國譯二十世紀記	243	恩從訪日誌記要纂	26	最近關島事情	289
國有財產調查論	97	個人主義の現代的意義と其の批評	225	最近九年間滿蒙在住外國人總數別 國別表	73
國有財產法概論	97	戶籍事務提要	44	最近經濟の重要問題	57
國有鐵路會計統計總報告	174	戶籍制度	44	最近經濟の展望	57
國立奉天圖書館概況	237	戶籍統計	201	最近經濟問題解説	57
國立奉天圖書館藏書目錄	228	戶籍法及寄附法	6	最近原料品減價問題	163
國立奉天圖書館藏書版圖目	228	戶籍法典	44	最近工場勞務者問題	161
黑龍江及其支流ノ航運	180	戶籍法令彙覽	44	最近三年本邦外國貿易要覽	123
黑龍江外記黑龍江速略	254	古代支那吳越吳晉に就いて	290	最近三年世界主要各國貿易要覽	119
黑龍江系水路誌	180	古代日本の末子相繼制度に就て	290	最近三十四年來中國通商口岸對外 貿易統計	119
黑龍江省	270	湖南年鑑	295	最近支那國際關係	53
黑龍江省鄉老會新記録	27	總商會上農民新村考查記録	140	最近支那主要港に於ける仲買貿易 と大連港	121
黑龍江省整務要覽	131	五一五農村家園之研究	140	最近支那財政概説	87
黑龍江省財政一斑並現行稅制	85	ゴム	158	最近商業政策	115
黑龍江省施政大綱三年計畫書	40	鹽漬の國產生産統制に就て	225	最近政治外交史	32
黑龍江省實施政綱概要	27	小麥粉ニ關スル調査報告	117		
黑龍江省奉天貸款手續	137	米	114		
黑龍江省職員錄	46	米ヲ中心トシテノ農村問題ノ其對策	139		
黑龍江省植民ニ關スル省單行土地		米統計(大阪府)	145		

最近世界生業と物價の動向	110	最新工業大辭典	157	在朝鮮居留地關係取極體	59
最近世界貿易概観	119	最新産業地理	266	最低賃銀決定に關する一考察	231
最近中國對外貿易統計概観	119	最新實務電氣工學	168	濟南市政計資料	198
最近地方財政要覽	86	最新支那史講話	287	濟南大觀	215
最近鐵道=發生セル就役=就テ	148	最新支那要覽	275	濟南に於ける製造工業	157
最近に於ける滿洲國の治安	37	最新上海金融論	100	歳入歳出詳論	90
最近に於ける列國の對支關係關係	96	最新常識精典	219	裁判所	1
最近ニ於ケル勞働爭議ノ事例	215	最新世界現勢地圖帖	258	裁判所構成法	6
最近日本及英帝國經濟關係の概観	83	最新世界地圖	259	裁判部、刑事廳	3
最近のアメリカ財界事情	69	最新ソヴェート刑事訴訟法	22	再分割の危懼に立つ支那	30
最近の歐米經濟事情に就て	69	最新ソヴェート聯邦地圖	259	再保險と共同保險との接近	63
最近の海外新市場	113	最新地租法要義	186	在滿洲日本人側主要銀行業況一覽	
最近の外交問題に就て	48	最新民法辭典	946	表	73
最近の外國爲替市場	105	最新日本都市總覽	43	在滿主要會社一覽	79
最近の爲替と國際金融	105	最新總村の知識	102	在滿朝鮮人墾拓事情	207
最近の日本經濟史	71	最新紡織原料論	163	在滿朝鮮人概況	196
最近の農民運動	128	最新蒙古雜	276	在滿朝鮮人教育調查表	233
最近の比價實	278	榮政一致の古義	231	在滿朝鮮人事情	185
最近ノ本邦社會統計資料	201	財政	1	在滿朝鮮人ノ現況	196
最近の滿洲國地誌	205	財政彙刊	87	在滿朝鮮同胞ノ重要性	196
最近の滿洲に於ける商品傾向	116	財政館論	87	在滿日滿人名錄	293
最近の山形縣勢	274	財政學(神戶)	59, 87	財務行政	87
最近奉天省教育統計表	232	財政學(尹文敏)	87	財務諸表演習解説	193
最近六年間滿洲農畜物生産度及作 付面積變動指數對照表	72	財政學原理(土方)	87	在滿支那貿易商	114
細菌學免疫學名詞	251	財政學原理(李耀時)	87	佐賀縣統計書	199
再軍備經濟觀	54	財政學原理財政×策論	87	佐賀縣統計速報	199
最惠國特許論	117	財政學者の鐵道經濟に關する研究 論著に就て	63	佐賀縣民ノ所得	82
債權各論	12	財政學大綱	87	作業に就いての興味	79
債權總論	5	財政學と經濟政策の交流	63	作況季報縣慶祝報告	113
債權法(村風林)	12	財政學ノ基礎概念	87	酒の事實に就て	61
債權法(我妻)	10, 11	財政學ノ基本問題	63	雜誌誌部新聞目錄	220
債權法講義案	19	財政學と關稅制度	100	朝鮮農民經濟的解剖	67
探險學	153	財政金融ノ前途=就テ	101	札幌視察統計書	93
探險學通論	153	財政現況	88	札幌運信局管内電氣事業要覽	167
探險必携	115	財政資料	27, 86	札幌運信局業務統計要覽	182
探險冶金工學最近の進歩	160	財政整理會經過情形及整理一切事 宜速要	10	札幌商局主要貨物統計年報	175
探險用品	153	財政說明書(各省別)	87	札幌鐵道局年報	172
探算ヲ中心トスル重要商品ノ實際 知識	117	財政統計(沙見)	85	雜錄	24
最小自乘法	219	財政統計(統計處)	86	佐藤駐佛大使歡迎茶會演說錄	57
最小自乘法講義	219	財政讀本	84	砂嶺年誌	165
最新各界適用辭書全書	224	財政年鑑	83	佐原文庫圖書分類目錄	228
最新各界運動規則	218	財政部	2	サラフタ勞務法	212
最新機關車工學	159	財政部監督無償擔保外債表	91	三學上傳	289
最新觀覽全書	37	財政部圖書目錄	209	三河地方及吉拉ノ概況	271
最新工業大意	157	財政部法令例規輯覽	84	產業案内	126
				產業及交易	1
				產業技術動員	127

産業金融論 128
 産業組合運動と青年の任務 128
 産業組合及農會ノ教育的活動 128
 産業組合金融論 128
 産業組合新講 128
 産業組合政策と課税問題 128
 産業組合判例通譯處分例集 128
 産業組合法 9
 産業組合法解説 128
 産業組合問題研究會報告書 128
 産業組合要覽 128
 産業組合要論 128
 産業組合論 128
 産業合理化と社會政策 137
 産業合理化の理論と實際 127
 産業爭議の調停及仲裁制度 216
 産業調査報告書 125
 産業地理學見 257
 産業地理講話 256
 産業統計ノ理論及實務 125
 産業統計論 197
 産業に於ける人間の價値及人事管理の範圍 137
 産業能率論 127
 産業ノ概況ノ失却防止 127
 産業部職員錄 46
 産業平和への道 127
 産業別人口ノ比較 190
 産業用品製給組織の特殊性について 225
 三江省段漢縣誌 270
 三江省通河縣事情 270
 三江省寶清縣事情 270
 三江省方正縣統計報告書 40
 參考統計學 200
 參考文獻總覽 227
 參考用圖表 55
 三國干涉以後 283
 蠶絲業經濟の研究 148
 蠶絲業對策調査資料 148
 蠶絲業統計 147
 蠶絲業問題特輯 120
 蠶絲業要覽 147
 蠶絲業及蠶絲統計表 148
 蠶絲業統計論 147
 山西省縣志略 151
 山西省河川測量報告書 259

山西省政建設十年計畫 29
 山西省の産業と貿易概要 126
 山西の石炭 155
 三編詩 243
 三大疑案考實 298
 山東遼濟南道農村經濟調査 143
 山東財政法規彙編 84
 山東省經濟調查資料 67
 山東省中部山地帯ニ於ケル農業事情 131
 山東中興煤礦工人調査 160
 山東地方ノ黃河水災狀況 260
 山東鐵道會社ニ關スル調査報告 174
 山東ノ畜牛 140
 山東の棉作 163
 山東の勞働者 214
 山東紡績業の概況 163
 山東棉業調査報告 140
 三品の粟 115
 暫編鹽務歲入歲出預算專表 89
 暫編各海常關歲入歲出預算專表 83
 暫編各省區國家歲入歲出預算分表 83
 暫編交通部所管各路電報航政特別會計歲入歲出預算表 90
 暫編國家歲出預算總表 90
 暫編國家預算總表 90
 暫編國家預算總表 90
 暫編國家歲出預算專表 83
 暫編財政部所管各局應特別會計歲入歲出預算表 90
 暫編中央各機關各部經費國家歲出預算分表 90
 暫編中央各部各機關歲入預算分表 90
 暫編中央各部各機關歲入預算分表 90
 暫編中央直接收入支出預算專表 90
 三民主義與人口政策 191
 山林誌 5
 (シ)
 基特(ジイフ)經濟學 70
 修改稅則始末記 93
 地蔵尊思想傳説信録 292
 衆議院議員會先例彙纂 34
 衆議院議員選舉法 0
 衆議院議員總選舉一覽 33
 衆議院議員答覆回數調 33
 衆議院議員略歴 33

衆議院議事概要 31
 衆議院先例彙纂 34
 衆議院圖書館圖書目錄 220
 衆議院報告 33
 衆議院要覽 34
 十九世紀歐洲思想史 241
 十九世紀前半の英吉利文學批評 235
 從業員株式購入制度 216
 宗教 108
 宗教及古蹟古物名勝天然記念物要覽 260
 宗教改革と日本農民戰爭 218
 宗教行政法要論 230
 宗教の諸形態とその現代化について 231
 宗教讀本 233
 宗教黨、社會黨 2
 集計原表 192
 十三經 210
 築壘學說による社會主義への批判 221
 英國社會學原理 204
 修聘特派員日記念宮西帖 346
 聚落形態論 209
 聚落調査報告 140
 聚落地理學 256
 聚落と地理 267
 跡 苑 244
 市街地の商圏 111
 齒牙製糖の化學的研究 222
 齒牙支持用鑲嵌の細菌性病因に就て 233
 齒科醫學に關する、異常レントゲン不透明映像に就て 232
 史記 242
 指揮同盟軍 54
 詩經 242
 事業沿革之概要 166
 事業學、人間學 77
 事業財政分析觀察法 78
 事業統計圖表 76
 事業統計論 70
 時局會社の檢討 79
 時局國際法論 23
 時局と信仰 203
 四桁の對數表 249
 字源 244
 辭源 244

資源獲得と殖民地再分論	81	市町村例規提要	39	自動車講義	171
資源支那大觀	81	市場經濟と會社經濟	115	自動車に關する統計	172
時憲曆	250	市場組織論	115	四洩鐵路會計統計年報	174
資源資料要録	81	市場用語解説	111	支那(山本)	276
四庫大辭書	219	市場論	115	支那(大橋)	275
市財政學	87	新聞市經濟統計一斑	60	支那印度の木星紀念法の起源に就て	280
觀察餘刊	260	雜 通	244	支那をめぐると、ソ、英、米	63
時事年鑑	294	實業學校一覽	232	支那及び支那人	231
四書、孝經	242	實業工業資料	28, 126	支那及び滿洲關係條約及公文書	48
齒髓の血消化學的的研究	222	實業專門學校等入學志願者入學者ニ關スル調査	230	支那及滿洲に於ける治外法權問題	24
指數決定法としての算術平均の理論と滿洲國物價調査について	225	實業部蜂種製造取締規則其他	148	支那及滿洲の通貨と幣制改革	100
指數公式總論	249	實業部法令輯覽	121	支那可教徒の研究	239
至誠會員名簿	292	實業補習學校調査資料	235	支那會計學研究	122
市政學綱要	42	實業補習學校に關する諸調査	235	支那外交史論	40
市政全書	41	實業補習教育關係法規並實業補習教育概説	255	支那經濟總誌	179
市政調査資料	42	實業四年計畫	127	支那外史史論	91
市政調査要書	43	失業對策ニ關スル諸資料	210	支那各省經濟事情	67
市院徵收規則輯	92	失業統計調査報告	209	支那學	230
市部町村調查例總覽	30	失業統計論	197	支那學藝大辭彙	219
四川省綜覽	275	失業保險及失業救濟ニ關スル各國制度概要	310	支那學東漸私考	280
自然科學の世界像	249	失業問題と救濟施設	219	支那學論叢	230
自然學習書	238	實際政策と政策原則	62	支那貨幣金融變遷史	107
自然經濟と意志經濟	70	實業數學	249	支那貨幣研究	106
自然と數理	249	實地工作法講座	167	支那貨幣史錢莊考	197
自然科學子論	63	實地社會調査方法	203	支那貨幣論	106
思想家大辭典	293	實地踏査蘇聯邦を語る	30	支那貨幣總論	104
思想戰と宣傳	210	實務計算知識	122	支那國金融總論と東三省の對界	59
齒槽隙限定の細菌學的的研究	222	實務計算表及代用法	249	支那國通信施設に關する調査	183
市組織法	42	實務統計學全書	198	支那國ノ對鮮人政策ニ對シ日本ノ秋リタル處置	196
自治及修身教育批判	235	實用簿籍合作	77	支那關係條約集	43
自治研究全集	35	實用航空學	131	支那關稅制度論	65
自治指導員辦公須知	27	實用珠算講義	249	支那關稅定率表	90
七書求谷子、新語	242	實用商業辭典	111	支那官民ガ在滿鮮農ヲ追放シ其ノ耕地ヲ沒收セン事例	196
實治通鑑目錄	243	實用新案法	10	支那ギルトの研究	70
自治法規	30	實用通信文稱彙	214	支那銀行關係規定集	102, 103
市町村公債	91	實用鐵道會計	174	支那銀行論	103
市町村財務規程	84	實用法律叢書	12	支那近代農民經濟史研究	142
市町村財務總覽	84	室內音響に於ける響色の變化に就て	223	支那近代の政治經濟	30
市町村事務提要	42	指定農村振興方針	147	支那金融事情	69
市町村事務令規	42	史的觀點に立つ日滿關係と地理數有	283	支那經濟紀事解説	67
市町村稅戶數調查正誤	94	兒童就學獎勵概況	235	支那經濟總論	67
市町村誌例	30	自動車運送ノ經濟學的的研究	171	支那經濟研究	60
市町村の自然價	42			支那經濟研究に對する研究	66
市町村ノ考據	148				
市町村の豫算	99				
市町村別人口動態統計	189				

支那經濟現勢講話	67	支那古代社會史	205	支那租界論	50
支那經濟建設の全貌	68	支那古代功徳の風習に就て	250	支那大陸ノ人口及面積統計表=北	
支那經濟史研究	71	支那古代の封建制度	290	京ノ市勢調査研究	189
支那經濟事情講話	67	支那財政概説	87	支那重要商品誌	116
支那經濟辭典	57	支那財政經濟一斑	87	支那地名誌	275
支那經濟地理	257	支那財政經濟論	87	支那地名彙成	275
支那經濟地理概論	258	支那財政論	87	支那手形論	104
支那經濟地理誌	256	支那在留本邦人及外國人ノ口統計	189	支那哲學史概論	240
支那經濟讀本(王、田村)	67	支那産業革命概論	137	支那哲學史講話	240
支那經濟讀本(小島)	68	支那史	288	支那天文學の組織及び其起源	290
支那經濟年報	59.60	支那史概説	288	支那特別關稅會議ノ研究	96
支那經濟年報(東京商議)	60	支那事情講座	251	支那讀本	275
支那經濟の性質(伯虎)	66	支那思想研究	241	支那土地制度研究	137
支那經濟の性質(潘)	68	支那事業講話(放逸集)	281	支那土地利用地圖彙成	187
支那經濟の性質問題に關する研究	60	支那事業概説	280	支那内國公債事情	91
支那經濟の地理的背景	258	支那事業に於ける帝國海軍の行動	55	支那南北論	63
支那經濟の分析とその展開	66	支那事業の經過	290	支那南洋ニ對スル企業貿易論	117
支那經濟ノ崩壊過程ト方法論	67	支那事業の全貌	290	支那に於ける英國の帝國主義	29
支那經濟ノ崩壊ト日本	67	支那資本機關の關係	67	支那に於ける外國人の地位	53
支那經濟發展ノ基礎ト民権	67	支那資本主義の支那經濟に於ける		支那に於ける外國租界回收問題	51
支那經濟問題	66	地位	66	支那に於ける外人の高價權	103
支那經濟問題研究	66	支那社會經濟史	205	支那に於ける家族制度	210
支那經濟論	66	支那社會經濟史分析	71	支那に於ける國營材價	83
支那毛皮	149	支那社會研究	203	支那に於ける銀と物價	110
支那研究	231	支那社會史	206	支那に於ける新聞發達小史	290
支那研究叢書	274	支那社會史研究	201	支那に於ける治外法權撤廢問題	25
支那研究論稿	231	支那社會史講話	206	支那に於ける地租制度問題原稿(江	
支那現代史	298	支那社會ノ史的分析	206	航運に關する調査	94
支那雨量の研究	250	支那社會ノ測量	204	支那に於ける航運問題	173
支那工業組織論	157	支那首都計畫史上より考察したる		支那に於ける無盡の積蓄	103
支那工業論(有澤)	157	長安城	290	支那ニ於ケル棉花糖關志	146
支那工業論(劉)	157	支那趣味の誌	280	支那ニ於ケル列強ノ工作トソノ際	
支那工業誌規定類纂	152	支那省別全誌	274	濟勢力	83
支那航行權概論	179	支那資料	283	支那ニ於ケル外國の航運勢力	180
支那工場事情	181	支那新工業法と滿蒙に於ける表編		支那ニ於ケル勞務爭議論	215
支那國統論	53	山企業	60	支那に傳ふる二三の Myth に就	
支那國統關係概論	53	支那人口問題研究(飯田)	191	て	291
支那國民政府の財政	87	支那人口問題研究(人口問題研究		支那年鑑	295
支那國立銀行ニ關スル研究	103	會)	191	支那農家經濟研究	136
支那通關典	244	支那稅關制度要綱	96	支那農業經濟ノ諸問題	132
支那通關典	244	支那政治經濟年史	98	支那農村經濟概論	142
支那語大辭典	245	支那政治經濟の實相に就いて	30	支那農民運動論	198
支那古姓の研究	225	支那政治租界の研究	30	支那農民の農業經濟經營及家計	73
支那古代經濟思想及制度	69	支那稅關の沿革	93	支那農民ノ北清殖民ト其前途	106
支那古代史	288	支那制鋼廠トアメリカ	49	支那の外交關係	63
支那古代史論	288	支那政府組織	47	支那の家族と村落	210
支那古代社會研究	205	支那ソヴェート運動の研究	29	支那の家族と村落研究	210

支那ノ貿易ト金銀	104	支那問題總論	30	社會事業	1
支那ノ經濟恐慌ニ關スル調査	67	支那羊毛	140	社會事業關係縣令彙	208
支那の經濟と財政	67	支那歴史地理研究	256	社會事業年鑑	208
支那之礦産	154	支那種代前考	289	社會思想史	200
支那ノ國貨ニ關スル統計	91	支那種代地名更替	255	社會政策原理	205
支那の米に關する調査	144	支那種代年表	237	社會調査	203
支那の紙幣	108	支那労働者研究	214	社會調査大綱	204
支那の社會相	203	支那労働者の現状と全國労働争議	214	社會調査方法	203
支那の社會組織	205	字の起源に就いて	289	社會地理學	258
支那の新生活ト民衆生活	203	簡便學校ニ關スル調査	235	社會統計	203
支那の全境	29	四部精華	340	社會統計學史研究	203
支那の對外關係	53	四平書、齊々哈爾、哈爾濱間鉄道		社會統計大綱	203
支那の對外交通經濟借款	91	案内	171	社會統計論綱	203
支那の對外政治借款	91	シベリヤ極東地下燃料及水力資源		社會變動論	201
支那の東鐵回收運動前後の北滿に於ける露國の勢力	53	解釋	164	社會法と市民法	203
支那の動亂と山東農村	148	シベリヤ極東林産資源詳解	150	社會保險要論	203
支那の農業	132	西比利亞經濟狀態と日露貿易資料	68	社會問題各論	53
支那の農業經濟	135	西比利亞の運輸運輸	175	社會問題と社會事業	208
支那の養蠶と工業	131	西比利ヤの行政經濟事情	68	社會統計	167
支那の秘密結社と慈善結社	206	事變と經濟戰	75	社會宗教	1
支那の民族性と社會	204	事變前に於ける東北四省行政機構	36	瓜分經濟界の現況と關税及印度の原胎産業並取引	69
支那の理解	276	事變後に於ける糧食の變革	118	シヤモン獸の世界製に表はれたる佛敎的要害に就いて	200
支那物産價値論	18	司法院解釋輯編	25	僧家法	19
支那佛道年譜	239	司法院解釋輯編續編	25	僧想法	19
支那文化科學概説	224	司法事務彙計表	24	宿血に就ての實驗的研究	222
支那文化の研究	210	司法資料	25	寫眞色學概論	160
支那文獻の解題とその研究法	237	司法制度總論概況	25, 45	寫信必讀	242
支那幣制の研究	108	司法統計年報	25	寫信必讀	242
支那邊疆概説	275	司法部重要實施事項重要計畫事項	25	社檢及國籍區區物運賃料金要覽	176
支那邊疆ト英露角逐	53	司法部職員錄	16	シヤハト指導下のライヒスバンク政策	101
支那ポイントコフトノ研究	53	司法部編審分類目錄	229	通關行政及海路考	289
支那貿易年報	118	司法便覽	25	上海を中心とせる最近中支經濟事情	67
支那貿易の趨勢	121	資本主義工業と科學主義工業	158	上海を中心とせる支那の阿片問題	212
支那封建社會史	204	資本蓄積率の差異と固定資本	61	上海外國居留地行政概論	50
支那防殺令	129	市民黨論文集	43	上海銀元對日本圓法定相場表	117
支那法租界舊北滿關係第一輯	3	下關商工會議所統計年報	119	上海金融史	101
支那法制史論	15	社員錄	177	上海港	180
支那法制史論駁	15	社會科學大辭典	203	上海港大全	180
支那法制大辭典	3	社會學概論	201	上海公共租界股本章程	51
支那法令に於ける外國校書の制限	83	社會學原理	204	上海公共租界制度	50
支那滿洲經濟研究	59	社會學要論	204	上海工人生活程度的一個研究	209
支那滿洲圖史記	279	社會關係の研究	204	上海市公用局行政管理實況	42, 44
支那民情風俗調査	255	社會行政	205	上海自然科學研究所圖書雜誌分類目錄	229
支那民族の發展	279	社會經濟學	70		
支那問題概論	67	社會經濟史	71		
支那問題辭典	27	社會公共事業ニ關スル調査	208		
		社會集團と社會階級	203		

上海天津貿易統計	119	少年受刑者ノ處遇及統計彙報	211	商品の科學	117
上海特別市工資指數之試編	210	少年職業紹介施設及取扱成法	211	商品運給論	117
上海特別市工務局業務報告	184	少年法	5	商埠地關係法規集	51
上海特別市輕工業統計	215	尙書の虞夏書に見はれたる經濟思想	61	商法	12
上海特別市輕工業統計報告	215	想	61	商法關係法規	1
上海特別市勞務資料統計	215	松花江	181	商法研究	21
上海之鹽業	157	松花江沿岸地方經濟事情	64	商法總則(竹田)	9.10
上海之工業	155	松花江を中心とせる北滿水運の現狀	181	商法總則(野津)	21
受益者負擔制總覽	184	松花江下流の赫哲族	207	商法總論	21
祝酒	224	松花江漁業調査報告	151	商法大意	21
主税局統計年報	85	松花江航行權問題ノ研究	173	商法手形法小切手裁判例總覽	23
首都警察廳管内狀況	37	松花江黑龍江及兩江沿岸經濟概況	64	消費合作經營論	76
首都警察廳例規彙集	37	資料	64	消費合作原理	76
首都誌	276	松花江水運ト哈爾濱	180	消費合作社之理論與實際	76
自由職業稅關係法規	92	松花江の江運	179	消費組合研究	76
自由ト統制	73	松浦市政財政ニ關スル調査	83	昭和元年度海軍省年報	55
出版權の歸屬に就て	221	商會法	21	昭和三年中ニ於ケル道府縣外出稼者ニ關スル調査概要	185
出版年鑑(蜀道商)	228	商學	114	昭和五年國庫調査報告	80
出版年鑑(東京堂)	228	商業彙編	112	昭和五年國民所得調査報告	81
出版法	11	商業組合の話	115	昭和元年大連經濟年史	59
主要貨物關稅統計年報	174. 175	商業經濟辭典(中島・藤田)	57	昭和八年中ノ人口動態概要及現在人口概要	189
主要貨物年報	175	商業經濟辭典(高恒)	57	昭和八年度商路ニ依ル滿洲ヘノ上陸者	189
主要青果物統計	147	商業政策	59	昭和九年風水害誌	200
主要統計事件名索引	197	商業組織論	114	昭和9-10年度豫算の概説	90
主要農産物生産費	133	商業註冊暫行規則	111	昭和10-11年の國際情勢	51
酒類製造者名簿	105	商業統計の常識	112	昭和の及制改革	63
シユムベーター經濟發展の理論	70	商業問題	58	蒸氣罐	120
シユムベーター理論經濟學ノ本質ト主要內容	69	商行爲法	11	證券取引所論	98
シユビートホフ長氣理論	80	商行爲法講義要領	21	省政彙覽	35.36
シユレーデルの住宅金融論	62	商工行政	114	關 藩	158
準契約及事務管理の研究	18	商工施設概観	113	既經論草	22
句子、曇子	243	商工省要覽	47	昌圖縣事情	208
春秋左傳	242	商工省統計表	112	昌圖農科初級中學校一覽	211
純粹經濟學要論	69	商工統計表	112	滄土實業集の撰者に就いて	289
準期銀行と金融市場	102	商工統計表	111	斯明電燈及電熱	150
上越鐵道紀念博覽會誌	75	商關關係法規集	186	諸外國ニ於ケル自作農地ニ關スル法律	134
上野式辭彙大集成	226	商關關係法規	187	諸外國ニ於ケル小農地設定ニ關スル法律	129
上水道統計及報告	184	商店法に關する調査	116	徐旭生西遊日記	259
小銀金融制度論	101	商店法論	116	職員ノ負傷疾病ニ對スル救濟施設職員錄(内閣)	47
小學校改善の實地的研究	235	商人法選法會審法	12		
小學自然科詞彙	249	商標彙編	112		
小銀信用制度の研究	101	商標法(安達)	11		
小兒死亡統計	189	商標法(王叔明)	13		
小農經濟ト協同組合	135	商標法	117		
小農ニ關スル研究	136	商品學講義	117		
小波河水系	197	商品年鑑	117		

職員録(滿洲)	177	貿易事情	121	人口動態統計資料	180
職員録(奉天郵政)	183	資料彙存	220	人口動態=關スル統計資料	180
職業及産業分類表	193	資料彙報	229	人口法則ト生存理論	190
職業紹介關係法規	210	資料通信	182	人口問題(研究會)	181
職業紹介成績	210	新印度	291	人口問題(陳)	191
職業紹介年報	210	新英和大辭典	245	人口問題(矢内原)	191
職業調査=關スル若干ノ問題	200	新會社法精解	21	人口問題研究	191
職業統計問題研究	200	瀋海鐵路公司十九年工作報告	170	人口問題講演集	191
職業統計論	197	瀋海鐵路背後地の經濟事情	63	人口問題資料	191
職業別勞働事情	213	新亞細亞國庫調查會計	223	人口問題ト國際政策	191
職業名字彙	210	新亞細亞阿片印度阿片	145	人口問題=關スル調査項目及之ニ 對スル方策ノ參考案	191
職名別日本人名選	203	泰漢政治制度	32	人口問題=關スル方策ノ參考案	191
植物辭典	252	神祇辭典	238	人口理論	190
植物分類學	253	新吉林省概況	41	人口理論ト人口問題	190
植物名實圖考	251	新京事情	272	人口論(永井)	88
殖民政策	58	新京市商會々員記編	112	人口論(安部、高島)	190
殖民政策綱要	196	新京市政概要	44	人口論綱要	100
殖民政策通解	196	新京商工會議所統計年報	112	人口論發展史	190
殖民政策及民族心理	190	新京總領事館管内會社調	70	新興産業の基礎知識	166
殖民時代米國の土地保有制度	61	新京特別市商會々員彙編	110	新興代用品工業	167
殖民自治制度論	196	新京特別市に於いて施行せる臨時 家計調査概要	209	新興ナチス經濟通信	99
殖民地經濟の世界經濟的及世界政 治的研究	173	新京特別市文教概況	233	新興の興安省概要	272
殖民地農業	111	新京特別市臨時戸口調査概要	193	信仰と體験	262
殖民地農業問題特輯	120	新京圖書館和漢辭書分類目錄	220	清國行政法	35
殖民地地理	258	新京ニ於ケル貨物集散機關	171	清國行政法臨時委員會調查 新國際公法	22
殖民の世界史的意義	61	新酒大記	275	清國商業慣習及金融事情	100
食用作物相談	120	新金融論	101	清國商業概覽	112
食料與人口	191	新經濟政策實施以後のロシア經濟	68	清國地方事情	41
食糧品の需給推算生産及輸出入	191	新經濟全集	69	新國體諸省政方策	41
食料品ノ經濟概況	175	新經濟土誌	255	新コンサイス英和辭典	245
食糧問題に關する調査項目及食糧 品	149	人相の現状及將來	165	新財政學要義	27
食糧問題=關スル方策ノ參考案	194	人口を以て看たる日本の社會過 程	221	清支輸入戸口辦法	193
匯作=關スル統計	145	人口及人口問題	191	人事管理	214
曆式大全	47	人口耕地及農產物ヨリ見タル諸家 ノ大勢	191	人事管理に就て	214
女子財産繼承權詳解	18	人口資源殖民地	190	新式標點專用公文格式	53
諸子百家考	210	人口自然增加率ノ比較方法ニ就テ	190	人事與信條	293
初級中學校用教科書	237	人口思想史論	190	人事訴訟手續法	9,10
初等小學校用教科書	237	人口祖傳の原因論	62	新時代の經營幹部	226
初等小學校教科書教授書	238	人工的血量增多と血壓との關係	222	人事登記簿行條例	193
諸法	12	人口統計	198	新支那大辭典	245
庶民金融論	98	人口統計研究	186	新支那の誕生	29
所有と社會主義	206	人口統計に於ける諸問題	190	神社行政宗教行政	230
醫藥整理の研究	227	人口統計論	189,197	人體地理學、環境と人種	256
白鳥博士還國記念東洋史論叢	290	人口動態調查關係法規	188	野小體に就て	232
シリア地方經濟事情並に日本との				壬申哈爾濱水災紀實	260

晋授兵工總務年報 184
 新西域記 276
 新制公文程式 -47
 新稅精解(支那事實特別稅法) 92
 新稅の話 92
 人類と地體 202
 新撰大人名辭典 292
 清官統制中日交渉資料 52
 人造液體燃料工業 161
 腎臟炎ニ因ル死亡統計 189
 人造絹絲 164
 眞相探訪 30
 親族相続判例總論 19
 親族法 7.A.9.18
 親族法相續法講義案 19
 清代考試制度 47
 清代通史 287
 清代文集篇目索引 229
 清代通政通考 35
 信託業論 103
 信託金融論 98
 信託法及信託業 8
 信託法概論 103
 新著資料目錄 209
 清朝經費ノ研究 88
 清朝史 287
 清初時代ニ於ケル滿洲農業關係 134
 清初前記 287
 人的資源研究 53
 晉語小説 243
 神道大辭典 239
 神道之研究 239
 野動賦法格例 223
 展動理論に於ける構造物の耐震計
 算法 223
 新土耳其 291
 新日本人物大系 293
 新日本圖帖 258
 新日本の展望 29
 新農村の基調 139
 審判 24
 清賦一斑 93
 新文化辭典 219
 人文地理學講義 256
 人文地理學通論 257
 人文地理學ノ基礎知識 257
 人文地理研究 258

人文地理六講 257
 人文地理學叢 257
 新聞學概論 230
 新聞經濟面の讀み方 63
 新聞語彙典 230
 新聞紙法 10
 新聞集成明治編年史 285
 新聞に傳へられる情報の確定構造 173
 新聞法制論 230
 新彙新 291
 新貿易方策と露普 118
 申報年鑑 295
 新譯算術書 90
 新法律全彙 12
 新法令彙 2
 新滿洲 265
 新滿洲國慶本 261
 新滿洲國地誌 261
 新滿洲圖と一覽圖 263
 新滿洲風土記 230
 新民報一般狀況 268
 新民系訴訟法判例總覽 23
 國務報告書 269
 人名調査資料 293
 新勞務管理 214
 新露西亞風土記 279
 信用合作社經營論 103
 瀋陽縣政概況 41
 瀋陽縣統計彙編 40
 瀋陽市政公所章程彙編 43
 瀋陽市政統計彙刊 44
 瀋陽日記 254
 人類ト文化 228
 新和英大辭典 245
 (ス)
 綏遠及察哈爾西南部地質誌 251
 綏遠省政府行政報告 40
 綏遠省の交通 170
 綏遠分縣調查概要 276
 綏遠民生警察報告書 181
 綏化縣一般狀況 270
 綏化縣農村協同組合方針大綱 140
 水原高等農林學校學術報告 132
 水産傳 213
 水産學全彙 151
 水産經濟學及其課題 63

水産品 175
 水上生活者ノ生活現狀 209
 綏中縣一般狀況 265
 隨同軍隊分布配置期中地方財務總
 點特別調査計畫書 86
 水利帳 17
 水力發電所 159
 數學公式 249
 數學公式要覽 243
 數學ハンドブック 250
 數字上ヨリ圖タル滿洲新滿洲港 179
 數字的に見た最近通商關係 121
 數の概念 249
 數理統計 198
 數理統計學 197
 數理統計學概要 200
 スタンダード經濟事情 69
 スタンダード英和辭典 238
 ステアブル・ファイバー織物の調査 163
 ステアブル・ファイバーの製造と
 應用 164
 スバイ模範讀本 54
 (セ)
 西安縣一般狀況 208
 西安縣統計彙刊 40
 西城通商地名今釋 255
 西域文明史概論 226
 生活改善 219
 生活經濟學研究 70
 生活狀態調査 209
 生活費指數之編製法 208
 生活費指數編製法 209
 生活標準問題研究 209
 稅論 96
 制鋼電極用放電管を使用した逆
 變流器及其應用 233
 盛京通商盛京典制備考 254
 西康 275
 西康建省記 27
 西行見聞記 276
 西康問題 275
 齊克、四洗、洗島鐵道沿線經濟事情 64
 西齊養蚕二種 283
 生産鐵鋼の發達より熟たる支那棉
 業 149
 生産教育之理論與實施 234

生産と労働	214	西北研究	275	世界經濟地理(王)	258
生産の構造と貿易	63	西北外蒙古の今昔	276	世界經濟地理(コムアカデミー)257,258	
生産立地論	257	西北地理	275	世界經濟地理講話	257
生産力與産業選本	126	齊北、平齊沿線經濟事情	64	世界經濟調査	58
政治及政治史研究	32	成本會計	122	世界經濟統計	82
政治科學原論	31	成本會計研究	123	世界經濟統計調査	60,81
政治學	31	精製機械に關する外國特許要覽	162	世界經濟と國際貸借	82
政治學講義要旨	31	稅務會計(片岡)	91	世界經濟と世界政治	83
政治學史	31	稅務會計(船田)	91	世界經濟に於ける大豆の地位	143
政治經濟新聞問題典	27	稅務統計表編纂規則	93	世界經濟年鑑	82
政治經濟地理學	256	稅務統計年報	93	世界經濟年表	62
政治的方面ヨリ見タル呼稱具綱事 解	271	稅務統計年報書	93	世界經濟年報(外務省)	82
政治誌制論	31	生命統計學概論	203	世界經濟年報(グアルガ)	82
政治の基礎内理論	221	生命保險會社の批判	110	世界經濟の基礎知識	82
製絲織工及養蠶簡費統計表	216	生命保險論	111	世界經濟の現勢	82
製絲織工費統計表	216	西洋人名辭典	291	世界經濟の體制	59
生熟券支給制度考略	289	西洋民族制度研究	210	世界經濟の動向と金本位制度	107
聖上御感應錄	25	青龍驛一般狀況	41	世界經濟下況の過程並に採相	82
成人教育母の講座勞務教育實施 概要	236	世界偉人言行錄	292	世界經濟ノ現状及對策	82
精神病者と社會問題	208	世界外交史	49	世界經濟論	59
稅制改革に就いて	92	世界經濟所感	63	世界工業狀況	156
稅制と産業壓迫	92	世界科學に就て	62	世界交通狀況	170
西籍記、陸軍記	217	世界各國々語法資料集成	23	世界産業聯合中央聯合論	128
製鋼者必携	245	世界各國對外對日貿易統計	119	世界市場之廣延	143
製鐵所工場勞務統計	161	世界各國對日貿易業者名鑑	119	世界史上の支那	34
製鐵用術語集	167	世界各國鐵道統計	173	世界史大系	281
正統學派の價値學說	70	世界各國の關稅改正と通商政策	96	世界商業交通地理	257
青年訓練所關係法規及通譯解説	235	世界貨幣制上の若干問題	98	世界小國地誌	273
青年訓練資料	235	世界貨幣狀況	106	世界新市場觀察談	114
青年訓練ニ關スル調査	235	世界恐慌四ヶ年の總決算	79	世界人絹業の發達と米國生絲及人 絹の消費	161
政府會計	122	世界恐慌と財政	98	世界人口狀況	190
政府各官公署保存資料目錄	320	世界金融概觀	97	世界人造絹絲の需給趨勢	117
政府出資關係諸公司章程類集	78	世界金融狀況	90	世界政治經濟情報	27
政府出資主要會社關係法令定款集	78	世界計量經濟會議報告	83	世界政治經濟地理統計	256
西部西伯利亞經濟調査資料	68	世界景氣年報	80	世界政治經濟年鑑	28
成府人口調査	192	世界景氣分析	79	世界政治社會總覽	235
生物統計學	251	世界經濟概觀	82	世界政治論	31
製粉工業	153	世界經濟會議	83	世界石油界の情勢と現下の諸問題	156
稅法	8	世界經濟回復	82	世界大戰中の佛蘭工業	153
稅法類纂	84	世界經濟學	82	世界大戰並に歐洲政局を跨る猶太 秘密力の眞工作	208
西醫雜一般狀況	268	世界經濟學要論	82	世界大戰に於ける米國建勳員概況	54
西醫雜學事要覽	234	世界經濟概論と景氣變動	82	世界地名大辭典	253
西醫雜公署例規集	39	世界經濟概論	82	世界地理年鑑	255
西北	29	世界經濟地圖	82	世界的見地より見たる滿洲問題	51
		世界經濟地誌	256		

世界と日本	28	全國學校看護婦に関する調査	236	戦後の偽貨普及史	104
世界に於ける蔗糖産業	145	全國學校診療施設に関する調査	236	船隻貨物運賃計算の單位に就いて	179
世界年鑑	293	全國學校統計	233	千山萬里	226
世界年表	280	全國合作社統計	76	千秋節長樂考	331
世界農業恐慌	130	全國地土課業狀況彙編	274	戦時化學工業概論	127
世界農業史	133	全國銀行實務員債表	102	戦時下の經濟生活	75
世界農業狀況	131	全國銀行年鑑	103	戦時經濟講話	75
世界の銀と支那の通貨	106	全國經濟調査機關聯合會定時總會		戦時經濟強制と其前途	74
世界の魚鹽滿洲國	264	講演集	27.63	戦時經濟強制の現段階と其前途	76
世界の新聞通信網に就て	182	全國公債社債明細表	91	戦時經濟の基礎知識	74
世界の政治經濟地理的考察	256	全國工廠礦山勞務者教育協議會記		戦時經濟の現状と將來	76
世界の東郷元帥	292	録	214	戦時經濟方策論	73
世界文化年表	219	全國控訴院地方區裁判所管内戸籍		戦時經濟法令集	57
世界貿易狀況	119	事務協議會決議要録	44	戦時經濟論	74
世界貿易統計要覽	119	全國工場礦山名簿	166	戦時原料保障	162
世界貿易年鑑	118	全國工場通鑑	161	戦時國家の經濟法	57
世界糧食問題	194	全國高等女學校實科高等女學校に		戦時國際公法	8
世界勞働狀況	213	關する諸調査	235	戦時國際法論	22
赤 軍	64	全國公立私立中學校に關する諸調		戦時財政と金融統制	89
赤色支那	276	査	235	戦時財政論	89
石 炭	155	全國公立中學校高等女學校概要に		戦時産業施設考	137
石炭液化と代用燃料	162	關する調査	235	戦時準戦時經濟講座	69
石炭と石油	156.184	全國公路統計	173	戦時戦後の見方	29
赤崙縣地方事情	271	全國試驗研究調査機關要覽	232	戦時制度下の會社はどうなるか	79
石油及其工業	156	全國司法會議々案	25	戦時制度下の景氣觀	80
石油地質學通論	251	全國司法會議記録	24	戦時強制課本	74
石油專賣制度と石油の概念	97	全國私立中學校高等女學校實科高		戦時統制經濟論	72
石油便覽	156	等女學校概要に關する調査	236	戦時農村對策と戦後の經營	133
廣徳移民西北計畫	196	全國製絲工場調査	163	戦時貿易品物價論	74
浙江財稅論	68	全國體育ゲー實施狀況調査	238	前清欽定刑律例例譯註	20
浙江省政府民政廳土地特刊	187	全國實業專門學校長招待茶會に於		先秦經濟思想史	69
浙江省農村調査	140	ける演說	236	陝西省農村調査	140
浙江桐油調査報告書	165	全國重要銀行會社職員録	103	戦前戦後に於ける國富統計	80
浙江之紙業	164	全國鐵道貨物營業行理表	175	錢莊學	103
浙江之農業	132	全國鐵路代表大會々議録	174	戰爭と經濟	73
節孝史彙編	241	全國統計大會議演録	199	戰爭と經濟學	79
浙江民政統計特刊	40	全國農村娛樂狀況	140	戰爭と對峙	55
浙西農村貸借制度	137	全國物價統計表	109	戰爭と日本經濟力	66
新農學派の價値學說	71	全國物產調查報告	153	仙臺礦產監督局管内鐵礦一覽	153
纖維加工に關する外國特許要覽	162	全國無黨會社要覽	103	仙臺礦山監督局管内鐵礦一覽	154
織造工業經營	164	全國育學校及雙學學校に關する調		仙臺稅務監督局管内稅務一覽	96
選舉制度	33	査	236	仙臺稅務統計書	93
選舉訴訟	24	全國郵遞統計空實計畫書	182	仙臺鐵道局重要貨物統計年報	175
錢江水底通運計畫	173	全國郵船會會長副會長選舉錄	25	仙臺鐵道局年報	172
戰後歐洲に於ける土地制度改革史		全國聯合協議會記録	34	全體主義の理論と實際	204
論	188	戰國策	243	宣傳技術論	230

宣傳主任者會議錄 230
 宣統三年度奉天省豫算案 90
 勇健新運勇健極端宣和遊事 243
 傳と新國家 282
 專價及官公衆論 97
 專賣局年報 97
 專賣事業第三十年報 97
 船舶航路定期圖 179
 船舶積量噸に就て 179
 船舶用電力設備の交流化 223
 鮮滿經濟統計要覽 61
 前滿洲開國と日本 51
 鮮滿動物通鑑 251
 全滿土地買賣價格並主要農產物收
 獲量調査表 189

(ソ)

ソヴェート科學の達成 221
 ソヴェート經濟研究 76
 ソヴェート現勢資料 30
 ソヴェート五ヶ年計要綱案 30
 ソヴェート五ヶ年計畫の總結果 30
 ソヴェート國類法概論 23
 ソヴェート信用制度 101
 ソヴェート政府ノ民族政策ニ關ス
 ル法規彙成 207
 ソヴェート滯在記 30
 ソヴェート讀本 273
 ソヴェート並に國家の哲學的基礎 14
 ソヴェート農村ノ研究 133
 ソヴェートの重工業 153
 ソヴェート法論 14
 ソヴェート語彙辭典 245
 ソヴェート聯邦貨幣史 107
 ソヴェート聯邦計畫經濟史論 72
 ソヴェート聯邦經濟十年史 71
 ソヴェート聯邦經濟地理 257
 ソヴェート聯邦國勢統計年史 206
 ソヴェート聯邦資源地圖 81
 ソヴェート聯邦船隻 278
 ソヴェート聯邦大地理 269
 ソヴェート聯邦統計年鑑 206
 ソヴェート聯邦年鑑 206
 ソヴェート聯邦の近狀 30
 ソヴェート聯邦の國際貿易論 121
 ソヴェート聯邦の資源と産業 90

ソヴェート聯邦の實相 30
 ソヴェート聯邦の輸出入貿易 121
 ソヴェート労働法 212
 ソヴェートロシア經濟地理
 (川西、國忠) 256
 ソヴェートロシア經濟地理
 (セブコフ) 257
 ソヴェートロシアに於ける産業と
 教育 219
 莊河縣ニ於ケル柞羅事情 118
 宋徽宗皇帝の滿洲免誅 283
 綜合登記實務總覽 93
 綜合文化史論 227
 倉庫論 116
 搜查事務ニ就テ 20
 雙山地誌 255
 雙城教育 233
 増税及發稅論 92
 藏政摘要 36
 創法精神に基く兩蒙の經營 282
 相續法 10, 11
 相續法大意 18
 宋代の譯馬郡縣 280
 僧團會議の一編 200
 壯丁教育調査概要 236
 壯丁思想調査 206
 總動員物販の誌 76
 深地業 198
 副収課論 27
 宋元戲文本事 216
 宋の財政難と佛教 289
 造幣局長年報書 103
 造幣局六十年史 108
 雙陽縣一般狀況 270
 雙陽縣養育概況 133
 雙陽縣地誌 370
 雙陽縣統計表 40
 創立二十五周年紀念論文集 192
 所屬及所屬 1
 訴訟法傳義 14
 即位大典紀念寫真帖 26
 即位大典紀念哈爾濱特別市戶口調
 査摘要 193
 即位大典慶祝大會紀念錄 283
 薩菜園誌 147
 薩菜栽培便覽 147

楚辭 243
 租稅研究 92
 租稅原則學說の構成と生成 92
 租稅公課論 92
 租稅、公債、通貨新論 92
 租稅國家論 92
 租稅の產業に及ぼす影響 63
 租稅法規 92
 租稅論講義 92
 盛東牧詩集 243
 外蒙古事情 275
 外蒙古赤化の真相 277
 外蒙古と自治內蒙古の現情 278
 外蒙古の現勢 275, 276
 ゴムベルト周邊社會主義 204
 宋名臣言行錄 243
 ソ聯、英、米、佛、侵略の跡を踏みて 51
 ソ聯極東及外蒙調査資料 277
 ソ聯現狀讀本 278
 ソ聯戰時經濟地理 267
 ソ聯の日本研究 231
 ソ聯邦を語る 70
 ソ聯邦重要事項誌 28
 ソ聯邦重要統計集 109
 ソ聯邦建設統計集 173
 ソ聯邦と支那滿洲の共産運動 206
 ソ聯邦年鑑 28
 ソ聯邦の政治及經濟組織 30
 ソ聯邦の製造業 168
 ソ聯邦貨幣 235
 章經閣文庫漢籍分類目錄 229
 村落社會の研究法 140

(タ)

第一屆滿洲國童子團指導者實務研
 究會記錄 237
 第一次中國教育年鑑 231
 第一次奉天省城商學局報告書 51
 太一に就いて 250
 大英帝國主義批判 331
 大英プロット經濟及經濟政策 73
 大英和辭典 215
 對華經濟資料 69
 大金國志に見ゆる愛王の概に就い
 て 290
 大智海 214

第三期に於ける支那經濟	66	大哈爾濱	272	大連商工會議所統計年報	111
大字典	244	大哈爾濱案內	273	大連湖工名錄	112
大辭典	244	大哈爾濱市ノ建設	44	大連土木建築材料商組合要覽	113
大衆人事錄	293	大哈爾濱特別市ノ現狀	44	大連に於ける主要外商及其業績	114
對支回國錄	52	大百科事典	219	大連労働賃銀累年指數	73
貸借對照表の作成と吟味	122	輿論小説	290	臺灣兩片癩者の矯正	211
貸借對照表の作り方と見方	123	太平洋を圍繞する滿洲の地理	276	臺灣阿片志	145
貸借對照表分析論	133	太平洋會議と滿蒙問題	50	臺灣衛生要覽	248
退職手當制度の現狀	218	太平洋に於ける國際經濟關係	83	臺灣學事一覽	221
大法院民事判例集	24	太平洋に於ける日本の發展	262	臺灣講習大要	15
大法院判決錄	23	太平洋問題(劉毅)	49	臺灣選權制度調査一斑	15
大法院民事判例彙	24	太平洋問題(赤松)	50	臺灣行政法大意	35
大素傳に表れたる支那思想	289	大震災市事情總覽	44, 273	臺灣經濟資料報告	66
代 務	34	臺北建設年報	248	臺灣現住人口統計	189
大戦中の英國財政及當初の經濟政 策	89	臺北刑務所要覽	37	臺灣農業統計	153
大租取調書	93	臺北高等商業學校一覽	213	臺灣製糖調査	193
大中華省林各地誌	269	臺北大學附屬農林專門部	233	臺灣事情	273
大豆に關する調査報告書	144	大滿洲國ノ商業	125	臺灣社會事業要覽	208
大豆油より見たる米國植物性油脂 市場	165	大滿洲帝國國圖	259	臺灣新工統計年報	113
大典ニ關スル講話資料	26	對滿經濟政策に關する各種意見	75	臺灣商品概説	116
大同學院圖書分類目錄	229	對滿商地トシテ見タル漢日本ノ議 程	180	臺灣人口動態統計	189
大同元年度歳入歳出總豫算	90	ダイヤモンド實務知識	77	臺灣人事公業講習研究	16
大同二年九月十五日承認周年紀念 日講演要項	52	代用液體燃料問題	225	臺灣民族根柢論	18
大唐西遊記	288	大塚爲・最高法院・司法院解釋 編	25	臺灣水産統計	151
大唐西遊記撰人考辨	289	大陸科學院叢報	225	臺灣成務年報	93
大東文化學院卒業生紀要	220	大陸科學院研究報告	236	臺灣專賣法規	97
大東文化學院要覽	232	大陸科學院要覽	228	臺灣總督府學事年報	211
大環日辭典	246	大陸科學院の指導原理	29	臺灣總督府臺灣官設機關用品資金 特別會計歳入歳出預算計算書各 目明細書	87
第二五ヶ年計畫の全貌	30	大連河水系	187	臺灣總督府警察治事誌	36
第二次全國財政會議彙編	87	大連警察警備錄	37	臺灣總督府職員錄	47
大日本外交文書	48	大 連	272, 273	臺灣總督府中央研究所農業部要覽	132
大日本外地寫眞帖	245	大連安東兩港背後地ニ於ケル林業	148	臺灣總督府編造年報	173
大日本商工發展錄	112	大連ヲ中心トシテ見タル銀市場ト 銀相場ノ研究	108	臺灣總督府特別會計豫算參考書	89
大日本租稅志	93	大連卸賣物價指數	73	臺灣總督府報告例	199
大日本地名辭典並交通地圖大鑑	258	大連港貨物年報	118	臺灣總督府林業部要覽	150
大日本帝國議會誌	33	大連港施設概要	180	臺灣地方財政概要	86
大日本帝國憲法講義	4	大連港船移出統計	119	臺灣茶業統計	116
大日本帝國憲法ノ根本義	18	大連市に於ける營業分布に關する 調査	116	臺灣的租佃制度	132
大日本帝國地誌統計	179	大連市事情	273	臺灣旅遊旅行案内	171
大日本博上錄	293	大連商工業内	118	臺灣物産要覽	196
大日本麥酒株式會社總覽	166	大連商工會議所事務報告	76	臺灣特殊風景	173
第二滿蒙問題と社會の將來	283			臺灣上俗誌	279
太哈鐵路調査報告書	173			臺灣土地慣行一斑	188

臺灣農業年報	130	中國鐵路ノ土地制度及土地政策	188	中國醫學史	220
臺灣ノ柑桔產業	147	中華銀行史	103	中國醫學大辭典	243
臺灣ノ金融	99	中華銀行論	102	中國衛生法規	240
臺灣ノ糖業	153	中華全國最新公路圖	174	中國醫藥最近狀況	152
臺灣ノ小作問題	136	中華通史	288	中國憲政沿革史	152
臺灣ノ商工業	113	中華通史	107	中國憲政史	230
臺灣ノ高產附屬品產統計	118	中華歷史地理大辭典	280	中國憲政小史	152
臺灣ノ鐵道	174	中華民國及滿洲國貿易統計表	119	中國及滿洲國人名、地名便覽	293
臺灣ノ芭蕉產業	147	中華民國海關進口稅率	96	中國通史	220
臺灣ノ肥料狀況	138	中華民國外國貿易統計年表	118	中國海關制度沿革	96
臺灣ノ鳳梨產業	117	中華民國會社法	20	中國海關之實際狀況	96
臺灣犯罪統計	211	中華民國商標法	21	中國外交史資料輯要	19
臺灣番政史	32	中華民國教育統計圖表	233	中國外交年鑑	48
臺灣番族之原始文化	226	中華民國行政法令大全	85	中國外事警察	37
臺灣貿易三十年對照表	119	中華民國訓政時期約法	13	中國各省的地理	94
臺灣貿易年報	118	中華民國刑事訴訟法	23	中國學制史	234
臺灣林業統計	150	中華民國刑法	20	中國合作運動小史	76
拓務及對滿洲市詳錄	195	中華民國刑法總則	19	中國歷史史料	95
拓務統計概要	194	中華民國刑法・刑事訴訟法	20	中國近代經濟史研究集刊	71
拓務統計	191	中華民國現行法規大全	3	中國近代社會史解剖	205
拓務統計便覽	194	中華民國憲法	17	中國近代百年史資料初編	300
拓務要覽	194	中華民國憲法史	17	中國近代百年史資料續編	280
陀氏成本會計	123	中華民國憲法草案	17, 18	中國近代幣制問題彙編	108
多端なる支那	30	中華民國商業組合運動史	126	中國金融論	100
烟草專賣制度と農民經濟	112	中華民國實業名鑑	293	中國經濟學史	230
烟草に關する調査報告書	117	中華民國司法法令大全	34	中國經濟改造	73
田畑買賣價格及小作料	136	中華民國新地圖	258	中國經濟危機及其前途	66
田畑買賣價格及賃賃料	136	中華民國十一年史	268	中國經濟研究論叢	66
多倫貝子廟並大板上廟會事情	64	中華民國手形法	21	中國經濟大綱	66
塘沽工人調査	214	中華民國電氣事業	168	中國經濟地理	266
男女青年團體に關する調査	237	中華民國統計概要	199	中國經濟年鑑	59
擔保附社債信託法	8	中華民國に於ける電氣事業	168	中國經濟問題	66
擔保物權法	19	中華民國20年水災區域經濟調査	67	中國經濟問題研究	65
		中華民國の合作運動	126	中國經濟論叢	67
(子)		中華民國物權法論	19	中國警察行政	37
治安維持法(三宅)	11	中華民國法規彙編	3	中國繼承法論	18
治安維持法(風早)	9	中華民國民事訴訟法	22	中國建設	184
治安修正工作概況書	37	中華民國民事統計年報	18	中國現代經濟史	71
中英法外交辭典	48	中華民國商標商標調查報告書	16	中國現代交通史	171
中央亞細亞事情	276	中華民國民法	18	中國憲法史綱要	17
中央官制沿革表	47	中華民國民法總則	18	中國交易所論	115
中央銀行概論	102	中華民國民法總論	18	中國合會之研究	103
中央銀行制度概論	103	中華民國民法對譯	18	中國通商紀要	153
中央銀行兌換準備統計	67	中華民國郵政事務概論	193	中國工業調查報告書	157
中央銀行論	98	中外圖書統一分類法	227	中國工業問題	156
中央警察學校一覽	38	中俄邊境之新關係	53	中國通商	154
中央公論年報	294	中堅財閥の新研究	56	中國考古學史	220

中國鄉村合作社實際問題	138	中國人名大辭典	292	中國兩洋交通史	220
中國鄉村合作之理論與實施	137	中國人口密度圖	190	中國に於ける外國人の地位	53
中國交通史	220	中國人口問題	101	中國に於ける輕貨銅元問題、内地 取引所關係法規の改正と在滿洲 日本取引所	106
中國公路交通調查彙覽	170	中國人口論	190	中國年鑑	295
中國公路旅行指南	171	中國新聞事業	230	中國農家經濟	138
中國之外部見	104	中國人勞動者ノ賃銀	216	中國農業概況估計	131
中國之關貿易概論	121	中國水利問題	185	中國農業金融概況	137
中國之關貿易史	121	中國制憲史	17	中國農業之改進	133
中國之民黨史	33	中國稅務概論	92	中國農村	139
中國之民黨政策	30	中國政治思想史	31	中國農村經濟研究	142
中國古今地名大辭典	253	中國政治思想史大綱	31	中國農村經濟實況	142
中國古代教育	234	中國政黨史	220	中國農村經濟資料	142
中國古代教育思潮	234	中國政府會計論	122	中國農村經濟問題	142
中國古代經濟思想及制度	70	中國西北部之經濟狀況	67	中國農村信用合作運動	137
中國古代史	288	中國錢莊概要	103	中國農村問題	139
中國古代社會	204	中國大豆生產統計表	144	中國農村資源分布圖	150
中國古代政治哲學批判	31	中國中古時期的田賦制度	205	中國之雨量	250
中國古代旅行之研究	230	中國重要銀行最近十年營業概況	102	中國之家庭問題	210
中國古田調查	114	中國重要商品	116	中國之金融與匯兌	90
中國通商史	220	中國地學論文索引	253	中國之經濟地位	60
中國今日之財政	87	中國地價稅問題	44	中國之合會	101
中國最近金融史	101	中國長城沿革史	287	中國の指數	110
中國貨幣金融	101	中國地理沿革圖	259	中國の稅收政策及債務	95
中國財政史略	88	中國通都地方物產誌	126	中國の西北角	250
中國財政制度史	88	中國的銀行	102	中國之紡織業及其出品	163
中國作物論	142	中國的內債	91	中國煤礦	156
中國算學史	230	中國哲學史	240	中國秘密社會史	205
中國十大通商調查記	154	中國經濟史	172	中國憲法命令要覽史	15
中國市前審計制度	123	中國經濟便覽	174	中國貧窮問題	209
中國實業志	126	中國鐵路史	172	中國婦女生活史	211
中國史部目錄學	260	中國鐵路借款合同全集	178	中國文化史叢書	220
中國社會現象拾零	203	中國田制史	133	中國文字學史	220
中國社會史叢書	205	中國田制農政	131	中國分省新圖	258, 259
中國社會的經濟結構	66	中國田賦史	220	中國幣政及生計問題	108
中國社會與中國革命	203	中國田賦問題	94	中國幣制改進問題與有限銀本位制	106
中國社會之結構	205	中國陶瓷史	220	中國新文庫	220
中國社會之現狀	203	中國都市工業化程度之統計分析	157	中國法制史	15
中國社會之史的分析	204	中國都市交通警察	37	中國法律思想史	220
中國社會之變化	204	中國商標圖目法	227	中國法律大辭典	3
中國社會發展史	204	中國土地新法案	186	中國法律發達史	15
中國社會問題之理論與實際	208	中國土地制度	188	中國北寧鐵路管理局之長段岡氏を 中心とする座談會	53
中國審判制度	227	中國土地制度研究	188	中國北部人口の結構研究案例	193
中國商業史(王燮)	114	中國土地問題	188	中國北部的兵變與農夫	131
中國商業史(鄒行異)	114	中國土地問題之史的發展	189	中國保甲制度	38
中國商業史(王孝通)	220	中國土木行政	184		
中國通民史	197, 220	中國度量衡	128		
中國新工業發展史大綱	168	中國度量衡史	220		

中國民主史	194	重要貿易品の研究	117	地方行政制度改革記念特刊	39
中國民族海外發展狀況	195	中立地帶礦物調査報告	154	地方行政論	38
中國民族史	220	チェレン生活形態としての國家	33	地方財政改革論	80
中國民族自救運動之最後覺悟	207	治外法權	34	地方財政概要(民政部)	85
中國木材學	151	治外法權概況	25	地方財政概要(內務省)	86
中國問題之回顧與展望	49	治外法權廢止並滿洲附屬地行政權の調整乃至移管に對する滿洲國側の準備	24	地方財政調整問題	86
中國郵政	183	治外法權廢止に關する日露條約關係資料	48	地方財政調整論	85
中國郵政統計專刊	183	治外法權廢止の實踐	25	地方財政の實際問題	86
中國郵電航空史	182	治外法權廢止問題	50	地方財政ノ理論	87
中國羊毛之品質	149	地學叢書	253	地方財政要覽	86
中國預算與財政行政及監督	89	臺灣經濟地理	257	地方財務法規調查	84
中國地理學史	230	畜產品	176	地方自治學與村制學之起源	38
中國黃金史	94	逐條帝國憲法講義	17	地方自治制	4
中國黃金問題	94	地形學	257	地方自治制講話	38
中國近代耕地問題	133	地券樣式彙集	188	地方自治と東京市政	38
中國近代生計政策批評	209	地質彙報	250	地方自治の改造	38
中國近代民生政策史	194	地質現象の新解折法	251	地方自治の研究	38
中國勞工問題	214	地質博物學大辭典	250	地方自治の本質	38
中國勞動運動	215	地質調査所報告	251	地方自治法規彙編	39
中國勞動年鑑	212	地質調査所要覽	250	地方稅關係法令彙編	93, 94
中國勞動法之理論與實際	213	治清記	44	地方稅研究	94
中國勞動法と實況	212	治水及水道	1	地方稅制講話	94
中支の資源と貿易	81	治水事業に關する統計野	185	地方稅通彙	94
抽出方法に依る國勢調査結果の概観	102	地政概論	188	地方制度	1
中小學校農科實習指導要領	133	地籍整理事業概観	187	地方制度改正大憲	38
中小小工業	98	地籍思想史	188	地方制度解説	38
中西交通史料選覽	170	地代論研究	188	地方制度關係法令彙編	39
中世日耳曼法の分限に就いて	225	乳と乳製品の細菌學	186	地方制度講話	38
中等世界地圖表	258	興々哈爾濱市例規類纂	42	地方制度概論	39
中東鐵路運輸統計	175	興々哈爾濱・海濱及び松花江地方經濟事情	64	地方稅法	6
中東鐵路統計年鑑	172	秩父御名代宮殿下御奉迎記念寫眞帖	26	地方雜、教育編	2
中東鐵路圖說兩卷目錄	229	地圖學及地圖繪製法	258	地名の研究	255
中東鐵路問題	178	地圖と地形	258	治蒙獨習	31
中東鐵路問題之研究	178	地圖の廣方	254	茶	145
中東路交涉史	178	西藏蒙古秘傳神解放大觀	240	茶業組合中央會報所統計年表	148
中東支經濟地理	68	西藏問題	49	茶業統計	145
中南米諸國と日本との經濟關係	84	地方	177	茶業要覽	146
中日貿易統計	119	地方學校職員待遇調査	235	茶統計表	145
中部日本の事業と會社	79	地方教育行政	234	察哈爾經濟調查錄	67
礦物學講	106	地方教育財政一斑	235	察哈爾事情調査報告書	260
中米諸國ノ經濟事情	67	地方教育狀況調査報告書	233	察哈爾蒙古の近情	275
譯語彙編	254	地方行政	38	佳木斯を中心とする阿下特產事情	125
譯語彙編	254			長期暇下の財政經濟	74
中國管轄	230			長期暇時經濟體制	74
重要經濟統計	60			長江流域に於ける日本の經濟現勢と外國商運の消長	65
重要礦物資源資料目錄	153			長江流域に於ける日本の經濟的地	

目 名 索 引

14	65. 83	朝鮮總督府報告例別冊	199	朝鮮の選信事業	181
調査關係法規類集	197	朝鮮總覽	273	朝鮮の獨立思想及運動	206
調査戸口	193	朝鮮地誌資料	273	朝鮮の年中行事	280
調査資料協會事業内容	206	朝鮮地方財政要覽	86	朝鮮の風水民間信仰第二部	239
調査統計事務ニ關スル報告	203	朝鮮直轄河川工事年報	185	朝鮮の服装	280
調査法	11	朝鮮選信部内職員及唐人衛生統計	248	朝鮮の職業	166
長春塔子山間鐵道調査報告	173	朝鮮鐵道主要貨物ニ關スル各種統計表	175	朝鮮の林業	150
長春事情	272	朝鮮黨争の起因を論じて土禍と其關係に及ぶ	290	朝鮮の類似宗教	239
長春市商會市會執行業分別調査册	113	朝鮮統治三年間成績	36	朝鮮部落調査豫察報告	205
長生殿燕子箋	243	朝鮮同胞ニ對スル教訓	241	朝鮮米穀經濟論	143
朝鮮及朝鮮人問題の一轉機に際して	27	朝鮮讀本	273	朝鮮貿易年報	118
朝鮮河川調査年報	178	朝鮮土地制度要論	187	朝鮮法令輯覽	3
朝鮮習慣調査報告書	15	朝鮮土地調査事業報告書	180	朝鮮滿洲陸運總覽	171
朝鮮銀行二十五年史	103	朝鮮銀行所屬所法規	116	朝鮮開港を通じて見たる滿蒙問題	50
朝鮮金融經濟研究協會	99	朝鮮に於ける歴史調査	152	朝鮮要覽	273
朝鮮金融事項參考書	99	朝鮮に於ける甘蔗栽培ノ實態	146	朝鮮六法全書	16
朝鮮警察概要	37	朝鮮に於ける近代資本主義の成立過程	204	龍東縣一般狀況	11
朝鮮鐵業關係法規及出關手續並心得	153	朝鮮に於ける現行小作及管理契約取附實例集	134	長白縣事情	270
朝鮮交渉資料	28	朝鮮に於ける工業資源調査	81	長白府屬輿地全圖	258
朝鮮國勢調査報告書	193	朝鮮に於ける電氣鐵道計劃と其關係	169	徵兵制六十周年に當り徵兵制の沿革を偲び其將來に及ぶ	55
朝鮮語辭典	244	朝鮮に於ける内地人	195	町村の郵政貯金を府縣別に比較す	104
朝鮮史	283	朝鮮に於ける棉花増産ノ急務並策案對策	116	條約集	48
朝鮮事情	273	朝鮮農業會所關係例規	137	貯金局統計年報	103
朝鮮施政ニ關スル報告訓示並演說集	36	朝鮮發售ノ近代儲蓄箱	131	直隸廳	159
朝鮮支那文化の研究	219	朝鮮農作物主要害虫ト其防除法	147	著作權法	9. 10
朝鮮支那滿洲事情懇談會記事	65	朝鮮農務提要	131	女性問題討論集	211
朝鮮史のしるべ	293	朝鮮の鬼神民間信仰第一部	239	貯蓄銀行論	98
朝鮮社會經濟史研究	201	朝鮮の金融と重要儲物	153	儲蓄編	105
朝鮮社會史讀本	205	朝鮮の群衆	207	地理概説	255
朝鮮講學校一覽	232	朝鮮の經濟事情	65	地理講座	257
朝鮮戰料	283	朝鮮の小作習慣	135	ツンギスハン	292
朝鮮史編修會要覽	280	朝鮮の宗教及信仰	249	貨銀制度並純益分配制度	216
朝鮮人思想と性格	207	朝鮮の聚落	273	貨銀統計表	216
朝鮮人の商業	114	朝鮮の市場經濟	116	貨銀保護に關する外國法制	216
朝鮮稅務法規提要	92	朝鮮の私設鐵道	173	青島港貿易概況	121
朝鮮總督府及所屬官署主要刊行雜誌目錄	228	朝鮮の人口現象	192	青島港貿易統計年報	118
朝鮮總督府施政二十五年史	92	朝鮮の人口統計	189	青島市社會局現行規程彙編	206
朝鮮總督府施政年報	36	朝鮮の性	293	錦平縣自治概況	41
朝鮮總督府選信統計要覽	182	朝鮮の石炭及發電水力	81	陳列品目錄	229
朝鮮總督府選信年報	181	朝鮮の占卦と豫言	239		
朝鮮總督府鐵道年報	172	朝鮮の巫覡民間信仰第三部	230		
朝鮮總督府統計年報	199				
朝鮮總督府圖書目錄	229				

(ツ)

電話法 5
 典義 214
 戦後期に於けるアメリカ經濟の解
 剖 68
 傳道學上に於ける教導作用 231
 田畑買賃價格及小作料調 136
 田畑買賃價格及買賃料調 136
 田賦制度 91
 B賦州加税調査 91
 類本書 192

(ト)

獨逸行商人制度の研究と獨逸貿易
 の振興に貢獻せる朝野の諸機關 115
 獨逸金融田賦編 100
 獨逸經濟學の道 71
 獨逸經濟政策の根本問題 74
 獨逸刑法摘要 20
 獨逸國防經濟編 74
 獨逸獨有鐵道會社研究 174
 獨逸地主組合の歴史と政策 206
 獨逸裁判所構成法及刑事訴訟法 25
 獨逸社會政策思想史 205
 獨逸商法 14
 獨逸政治經濟研究 31
 獨逸大題 296
 ドイツ通信 230
 ドイツ都邑に於ける土地區劃整理 187
 獨逸に於ける株式會社改正法上の
 基本觀念としての企業自體 225
 ドイツに於ける刑事訴訟法手續並
 に行刑制度の改正に就て 23
 獨逸に於ける公園體の經濟的活動 68
 ドイツに於ける土地區劃整理の實
 例 187
 獨逸に於ける不動産金融制度 101
 獨逸ニ於ケル勞働者經營參與制度 214
 獨逸ノ經濟國家管理ニ關スル緊急
 法規 73
 獨逸の國家企業 73
 獨逸の戰時經濟 76
 獨逸の相対貿易關係と獨逸通商問
 題 129
 獨逸民事訴訟法 14
 獨逸民法 14
 獨逸民法不當利得の場合財産移轉

の非間接性 231
 獨逸労働組合運動史 215
 獨逸労働奉仕 214
 ドイマー獨逸信用組合論 103
 獨逸政と法律思想 27
 獨占の經濟理論 70
 獨逸兩國ノ信託管理並資金送還妨
 止ニ關スル法令 97
 獨逸劇 A B C 247
 獨逸辭典 246
 獨和大辭典 246
 獨和法律經濟辭典 3
 獨逸勸業株式會社於年史 78
 獨逸經濟問題 84
 獨逸貿易大綱 110
 獨逸民族學對舉要 108
 獨逸營林局統計書 150
 東京大阪兩市ニ於ケル職業婦人調
 査 211
 東京及其附近徴兵檢査時に於ける
 檢査成績に就て 292
 東京外國語學校一覽 232
 東京株式取引所 115
 東京株式取引所史 115
 東京株式取引所統計年報 115
 東京工業大學一覽 233
 東京鐵道監督局管内線區一覽 163
 東京高等商船學校一覽 233
 東京市及近郊町村労働統計實態調
 査 213
 東京市學事統計年報 231
 東京市郊外ニ於ケル交通機關ノ發
 展ト人口ノ増加 170
 東京市交通調査統計表 170
 東京市在學者生計調査 209
 東京市國政統計諸表 85
 東京市産業統計年報 124
 東京市社會事業批判 208
 東京市職業紹介所求職事情調査 210
 東京市職業紹介所求人事情調査 210
 東京市人口統計 189
 東京市人口動態統計速報 190
 東京市政概要 44
 東京市考提要 43
 東京市勢統計原表 44
 東京市區間移動人口 192
 東京市統計年表 44

東京市ニ於ケル階級別出生率ノ調
 査 183
 東京市ノ國財政ニ關スル調査 80
 東京市實業補習教育 285
 東京市民ノ所得調査 81
 東京市養育院年報 211
 東京商工會議所統計年報 111
 東京稅務統計圖 93
 東京手形交換所一覽 104
 東京手形交換所年報 104
 東京鐵道局主要貨物統計年報 175
 東京鐵道局年報 172
 東京府會社要覽 78
 東京府管内社會事業施設要覽 208
 東京府工場要覽 161
 東京府統計書 200
 東京府不良住宅地區改良事業報告
 書 184
 東三省概論 261
 東三省關係條約法令 153
 東三省官憲の施政内情 27
 東三省官紳史 293
 東三省記略 264
 東三省金融概論 99
 東三省金融貨幣論 99
 東三省金融整理委員會報告 99
 東三省經濟調查錄 14
 東三省財政に關する一考察 50
 東三省主要官紳錄 292, 293
 東三省森林法規草案 160
 東三省水田誌 133
 東三省政府公報索引目錄 228
 東三省畜産誌 148
 東三省地方法令 2
 東三省に於ける度量衡 128
 東支鐵道ヲ中心トスル經濟勢力ノ
 消長 178
 東支鐵道ガ特殊ノ運費政策ヲ取リ
 タルコトガ北滿産業開發上其他
 如何ナル結果ヲ生ジタカ 178
 東支鐵道經濟年報 60
 東支鐵道商業部及經濟調査局ノ組
 織ト事業ト班 178
 東支鐵道土地課回收問題 178
 東支鐵道年報 173
 東支鐵道附屬地ノ統治時代ト現在
 ノ比較 178

通貨調動論	106	帝國林業經營	150	鐵路總局統計年報	173, 176
通貨の種類と金融	106	帝室制度稿本	26	鐵路與公路	172
通 規	177	帝室制度資料	28	天後曆事及祭日	1
通關物作試驗物試驗成績概要	148	通信行政	183	天津ヲ中心トシタル支那及滿洲國	
通志堂經解提要	240	通信拾遺	182	羊毛ニ就テ	119
通商政策の趨向	114	通信省事務規程	181	天津針織工業	163
通商條約講話	111	通信省年報	181	天津製布工業	163
通信工學ポケットブック	182	通信統計要覽	183	天津地産工業	163
通信統計要覽	182	通信部内職員衛生統計	248	天津地方ニ於ケル製造工業	157
通信文藝叢	244	通信部内職員共済組合事業概要	211	天津特別市財政年鑑	85
通信稿	2, 182	帝制一周年建國三周年特刊	283	天津棉花運銷概況(南開大學)	146
通俗講演資料選輯	226	提存關係法合案	3	天津棉花運銷概況(滿鐵)	146
通運、伊胡塔、錢家店、甘旗卡商		帝都中心地ヲ範圍人口調査	183	天台山に於ける遺跡と佛教	289
工業狀況調査報告書	113	帝都復興區劃量進誌	184	天文學名詞	250
通 譯	241	テ—ラー全集	96	天方至聖寶錄	238
通解化學工業	166	手形及小切手法	31	天方典禮	238
國策滿洲產業大系	124	手形法	5	天序教綱要	240
國計算及圖表	249	手形法研究	21	電球檢方用及面燈光東計の新方式	223
		手形法、小切手法、商法	12	電氣回路論	159
		手形法國際統一と我國法改正	21	電氣化學	188
(テ)		鐵及鋼	163	電氣化學の理論及應用	163
定期刊行物一覽	229	哲學辭典	240	電氣機械	188
定期報告例集	199	鐵鋼及石炭業に於ける企業組織	156	電氣機器及用品の規格案	188
定縣社會概況調査	208	鐵鋼業合同問題批判	156	電氣機器設計及試驗法	189
定縣大王區人口調査	193	鐵鋼經濟讀本	156	電氣工學(荒川)	189
定縣農村工業調査	141	鐵鋼×村	182	電氣工學(日戶)	168
定縣農村工業調査統計圖	141	鐵鋼材料學	66	電氣工學講座	159
鄭孝胥傳	292	鐵鋼ニ關スル統計	155	電氣工學ポケットブック	160
鄭總理大臣王通講義集	31	鐵道運送概論	176	電氣周波數調査會議×事錄	168
帝國議會	1	鐵道營業法	6	電氣磁氣基礎論	169
帝國議會議事堂建築報告書	185	鐵道局年報發行規程並同様式	173	電氣磁氣測定	159
帝國議會議事堂竣工式典記録	34	鐵道警備打合會議×事錄	173	電氣事業評價の基礎	168
帝國議會五十年史	34	鐵道財政の話	174	電氣事業法及瓦斯事業法	6
帝國議會資料	28	鐵道省年報	173	電氣事業法編	169
帝國決算統計	90	鐵道線路の構造及強度	159	電氣事業報告書添附調査表	167
帝國憲法講義	17	鐵道總局統計便覽	173	電氣事業要覽(大阪)	167
帝國憲法講義案	17	鐵道統計規則並様式	173	電氣事業要覽(通信省)	168
帝國憲法制定の精神歐米各國學者		鐵道統計資料	173	電氣術語新辭典	168
政治家の評論	17	鐵道の貨物搬送試驗成績	175	電氣、通信、動力	177
帝國憲法経緯講義	18	鐵道要覽	174	電氣鐵道	169
帝國憲法要論	17	鐵煤及石油	165	電氣鍍金	160
帝國×防と滿蒙	263	鐵道ヲ中心トセル生牛及牛肉	149	電氣年報	168
帝國憲法沿革史	89	鐵道ヲ中心トセル運路及運河水運	170	電氣冷房	168
帝國憲法總覽	81	鐵道統計彙編	49	電氣鐵道及製鐵法	196
帝國殖民地現況一覽	93	鐵道商工會議所統計年報	112	電子工學概論	159
帝國生命保險株式會社報告書	110	鐵路總局事業概要	177	電動機應用	169
帝國圖書館和漢圖書×名目録	228	鐵路總局自動車關係規程類抄	171	電力問題講話	168
帝國圖書館和漢圖書分類目録	228				

東省自治論	50	東洋諸民族の歴史	261	統計選集	200
東省鐵路概論	178	東洋の理想	241	統計叢書	195
東省鐵路統計年刊	173	東洋の歴史	261	統計調査(高田)	201
東省特別區國庫稅委員會報告書	263	東洋文化概説	227	統計調査(統計局)	202
東省特別區警務總管理處統計報告	37	東洋文明史論叢	226	統計通論	201
東省特別區十九年度教育年鑑	231	東洋封建制史論	32	統計圖表ノ描キ方	201
東省特別區市政管理局市政概要	44	東洋倫理學史	241	統計圖表の理論と實際	198
東省特別區市政管理局章程輯覽	43	東國商人皇南彦ノ行跡	291	統計的研究法	201
東省特別區ニ關スル調査	272	統一國關稅規則の研究	118	統計的中數值論	202
東省特別區路警總統計書	37	統計學(沙見)	58	統計的認識と經濟統計ノ體系化	202
東省林業	150	統計學(有澤)	200, 202	統計汎論	198
東清鐵道	178	統計學(梅山)	200	統計表中之上海	44
東清鐵道用部沿線地方經濟調查資料	64	統計學(陳)	201	統計法	200
東清銀行	260	統計學(唐)	202	統計法概要	201
東清補助金ニ關スル調査	178	統計學概論(堀川)	200	統計法規(星)	197
東省縣事情	209	統計學概論(森)	201	統計法規(岡崎)	198
東部內蒙古產業調查	135	統計學概論(統計局)	202	統計報告	24
東部內蒙古調查報告	278	統計學論	201	統計方法(陳)	200
東部內蒙古察東旗一帶ニ流行セル口蹄疫ニ就テ	149	統計學研究(堀川)	201	統計方法(金)	201
東部內蒙古の概況並に其醫學衛生事情	248	統計學研究(高野)	201	統計餘談	199
東部蒙古誌	261	統計學研究(郡)	202	統計論叢	201
東支漢藏軌道	243	統計學研究の基礎	201	統計利用ニ於ケル基本問題	201
東邊道各縣經濟調查報告書	261	統計學原理	201	統計金融ト自由金融	100
東邊道資源概況	81	統計學原理及應用	201	統計經濟原理	72
東省統計年刊	40	統計學原理(竹下)	200	統計經濟財政論	73
東方國民文庫	220	統計學原理(ボレー、森)	201	統計經濟政治環境	73
東方文化學院京都研究所漢語目錄	228	統計學講義	201	統計經濟圖本	73
東北學院一覽	242	統計學講義案	200	統計經濟ト景氣ノ動向	73
東北研究	265	統計學全集	197	統計經濟ノ理論	74
東北五省區地方法令	3	統計學總論(堀川)	197	統計經濟の根本理論	72
東北史綱	262	統計學總論(錦織)	201	統計經濟批判	73
東北編年記	27	統計學大綱(最上)	201	統計經濟論叢	72
東北地方の產業と人口	191	統計學大綱(金)	202	漢安雜誌	271
東北地方の人口に關する調査	191	統計學大要	200	漢南商工事情	114
東北帝國大學一覽	223	統計學要論	201	漢南府屬興地全圖	268
東北鐵路統計	176	統計學ト樹理學	201	遼ノ沿革ニ就テ	36
東北年鑑	294	統計から見た最近五箇年鐵道築造	177	遼府縣勸業費彙算	91
東洋及南洋諸國の國際貿易と日本の地位	119	目表	177	遼府縣別米果年統計表	145
東洋外交史序説	49	統計協會パンフレット	198	遼理の感覺	241
東洋經濟採擇二十年	104	統計グラフの畫き方	201	遼路權設計に於ける二、三の事項	222
東洋經濟株式年鑑	78	統計研究文獻	197	遼路全圖	171
東洋史概説	291	統計實務	202	遼路法	5
東洋史ナテ	291	統計實務概要	197	遼路管内の面額抵抗を減ずる一考察	222
		統計上ヨリ類タル實業ノ地位	274	遼路の根本問題	185
		統計資料	198	遼路選	242
		統計新論	201	遼史官私工業	206
		統計數學	201		

唐宋時代の商人組合〔行〕に就いて	290	觸體飲器考	289	土地問題研究會記事	188
唐宋八家文	243	渡航移住組合	1	土地問題與土地法	186
唐宋官私雜研究	180	都市及農村ニ區別シタル抵當債務		土地利用及開發事業要覽	134
唐宋法合文書ノ研究	15	設定	103	土木行政	184
唐令拾遺	2	都市教育ノ研究	233	土木事業	184
魏與助業	165	都市金融ノ概況	99	土木事業統計年報	164
唐晉の意義功用及び〔華晉の名師〕		都市計畫	184	土木要覽	184
興島冠山について	289	都市計畫法	8	土木部	3
動産抵當について	235	都市行政ニ於ケル特別賦課問題	95	詞河縣一般狀況	265
動産滿洲、支那地理	264	都市失業保險の過程	110	鳥取高等農業學校學術報告	133, 234
動物金融會	100	都市ニ於ケル財産保險事業	211	鳥取農學會報	233
動物學辭典	251	度支部統計年報	85	杜小松詩集	243
唐藥要覽	166	都市問題・パンフレット	13, 43	國卒、串住、林密練及背後地概況	64
陶器明集、王右丞集	243	圖書學概論	237	豆滿江流域經濟事情	65
桃花扇	243	圖書論一覽	237	納漢爾河、呼魯爾河、流城地方匯	
刀劍の話、遼陽の沿革	65	圖書院學	236	濟事情	64
到青海去	259	圖書の受入から配列まで	237	富山縣概観	271
同調査事業報告	209	圖書の整理と運用の研究	227	富山縣勢要覽	2, 1
ドーソン蒙古史	291	圖書分類目錄（滿鐵）	238	富山縣統計書	260
多蒙蒙古史	291	圖書分類目錄（出版協會）	229	富山縣之景觀	271
海鹽の化學成分に就て	290	圖書保管法	237	取締法規違反の定型	20
東嶽風俗談	279	土維學各論並ニ土性	251	取引所實物化論と短期清算取引の	
總彙大字典	246	土俗學上ヨリ觀タル蒙古	259	應用に就て	63
徳川禁令考	20	土地改良地區調査書	187	取引所法	8
徳川時代裁判事例	50	土地關係審判法規	186	取引所論	115
徳川時代に於ける國民的思想	62	土地關係課稅法規類案	94	度量衡法概要	128
總論史綱	201	土地關係統計資料	187	度量衡法規	128
特許司裁計年報	183	土地局史	45	塗料製造と使用法	165
特許國民會社制度研究	196	土地局圖書目錄	229	土耳其經濟事情並ニ日本との貿易	
特許法	9, 10	土地局調查簿ノ歷史ト法制	186	事情	121
特許統計年報	37	土地經濟學	186	教化縣年報	40
特許取引事情	116	土地經濟史考證	186	敏地野見〔櫻尾光佛教義集〕に	
特產品案内	117	土地經濟論	58	見よたる二三の言語に就て	290
特殊會社法及定款要覽	78	土地收用法	8	敏地哈爾濱開闢豫定區域調査報告	173
特殊金融機關論	98	土地收用法講義	180	敏地、磐石、檢測、延吉、莊河、	
特殊利益の歴史的考察	50	土地高田權論	188	鳳城縣	141
特殊論	166	土地森林	1	敦化縣建設工事寫真帖	176
特別會計貸入費出控算各目明細書	90	土地制度整理の話	188		
特別市及市生死統計暫行規則	197	土地増加税と土地未改良價税の研			
特別法規判例總覽	3	究	94		
特別法府事編	23	土地確公有問題言論集	187	内外經濟四季報	60
特別法公法編	33	土地登記トルレンス氏制度	188	内外產業資料	126
特別法商事及產業編	23	土地法	13, 186	内外製茶統計	145
特別法民事手續編	23	土地法釋義（李）	13	内外蒙古後援地城附近一般調査	276
讀史圖記	281	土地法釋義（朱）	184	内外蒙古の植植	276
讀史摘要	283	土地法論	186	内閣統計講習會講演錄	199
讀莊私言	289	土地問題	186	内政年報	6

(ナ)

内政法規彙編	36	南洋ニ於ケル支那人(滿鐵調査課)	196	日滿新交通路トシテノ拉濟線	177
内地及朝鮮に於ける工場賃銀制度 の調査研究	316	難民的東北逃亡	211	日滿生徒體力ニ關スル調査	238
内地化學工業に對する滿洲の價值	164	(二)		日滿協約關係資料	48
内地燃機開氣筒内の燃焼速度	233	乳學	166	日滿統制經濟	72
内務省統計報告	36	經濟金融市場研究	99	日滿統制經濟ニ就テ	73
内務統計地方表式	36	肉畜繁殖に關する調査報告書	149	日滿統制經濟論	72
内務報告例	199	西突厥史料	291	日滿日支貿易の現勢	121
内蒙諸多赤錫鑛建設圖	174	西日本主要會社の解剖	78	日滿の古代國交	51
内蒙盟旗自治運轉紀實	31	西蒙古部族考	207	日滿兩國の特種關係	53
長崎高等商業學校一覽	933	日埃貿易統計	119	日用百科全書	219
長崎高等商業學校三十年史	276	日印支間貿易調査ニツイテ	119	日露通商管見	290
中支那及南支那	275	日印貿易統計	119	日露通商ト關連印度ノ情勢	84
名古屋商工會議所統計年報	111	日露通商問題	115	日電年鑑	203
名古屋稅務統計書	93	日露貿易の發展と其將來性	122	日華辭典	246
名古屋鐵道局主要貨物統計年報	175	日大病院に於ける胸部レントゲン 線の統計	222	日華新辭典	244
名古屋鐵道局年報	173	日露防共協定の意義(米野)	52	日華大辭典	215
ナチス經濟法	57	日露防共協定の意義(松岡)	52	日支外交六十年史	40
ナチス準戰時國家體制	33	日文尺牘大全	244	日支學界ノ發育調査並ニ二三ノ疾病 調査成績	238
ナチス新統制經濟讀本	74	日米通商訂議會の成立	121	日支關係條約總覽	48
ナチスの經濟政策	73	日米貿易の推移	121	日支間並支那ニ關スル日本及他國 關係條約	48
ナチスの經濟と哲學	69	日滿關係ノ研究	61	日支大事業と帝國の國防	55
ナチスの刑法	20	日滿關係の將來に處すべき對策管 見	62	日支通商航海條約改訂問題	48
ナチスの青年運動	206	日滿關稅政策ノ研究	95	日支鐵道問題の鳥籠	50
ナチスの文化統制	227	日滿技工の技能比較と滿洲國機械 工業私見	167	日支文化ノ交流	226
ナチスの法制及び立法要綱	14	日滿經濟五ヶ年計畫	74	日支紛争に關する國際聯盟調査委 員會の報告	52
ナチス勞働法	212	日滿經濟復興方策の批判	75	日支貿易の概況	122
奈良縣統計書	200	日滿經濟統制と農業移民	70	日清戰爭	280
南阿爾邦ノ國情ト本邦トノ經濟關 係	83	日滿經濟ブロックの再吟味	75	日清日露兩戰役及世界大戰に於け る我が國特財政	88
南京黨政府の批政	29	日滿關稅工作	237	日鮮史話	285
南米アルペン山	279	日滿産業大博覽會誌	76	日歷年鑑	204
南方開發論	34	日滿實業協會々別及會員名簿	114	日比ノ經濟關係トイグアオ問題	83
南北支那及滿洲視察報告書	67	日滿實業協會規程二年度施設概要	36	日本移民ト北滿小農作及製粉事業 發展策ノ研究	146
南滿工業事情	158	日滿實業協會事業報告	126	日本インフレと世界經濟會議とそ れから	101
南滿三港海運事情	190	日滿實業協會事業報告書	75	日本外交論	48
南滿視察旅行報告書	260	日滿實業協會總會報告	128	日本外國貿易四半期表	119
南滿地方支那警察制度	37	日滿實業協會理事會評議員會議事 錄	126	日本外史	286
南滿ニ於ケル種有ナル鼻風濕症 例ニ就テ	148	日滿支經濟問題講話	83	日本會社法論	21
南滿ニ於ケル木炭ニ關スル調査	151	日滿支經濟論(日滿實協)	73	日本海滿委員會會議事錄	113
南洋華僑與調查社會	204	日滿支經濟論(猪谷)	83	日本學術振興會要覽	225
南洋群島ノ勢調査書	200	日滿支提議に關する座談會記事	62	日本學としての日本國家學	33
南洋群島要覽	273	日滿支に於ける工業製品供給狀況 調査	158	日本家族制度史研究	211
南洋群島統計年鑑	109	日滿商工名鑑	112		
南洋洞本	273				
南洋ニ於ケル支那人(神田)	194				

日本官制沿革史	47	日本國勢圖會	80	日本精神史論	240
日本行政觀察日誌	36	日本國體論	33	日本精神文化大系	223
日本行政法	86	日本國民思想讀本	241	日本政治經濟年鑑	38
日本銀行開辦目錄	228	日本コンファエレン全書	77	日本政治の革新	54
日本銀行論	98	日本債權法	18	日本税制改革史	93
日本近世商業資本發達史論	114	日本債權法各論	18	日本政府	29
日本近代經濟史序説トシテノ近代 ヨーロッパ經濟史	71	日本保続法	154	日本鐵道工業總覽	163
日本金融工作論	101	日本財政經濟資料	89	日本鐵道工業年鑑	164
日本金融史	98	日本財政政策	74, 89	日本船員統計	178
日本金融市場論	98	日本財政論(牧野)	86	日本全國鐵道線路野覽	176
日本金融論	100	日本財政論(太田)	86	日本戰時經濟政策	75
日本軍本發達史	54	日本財政論(大藏省)	86	日本戰時經濟の全史	65
日本經濟及經濟政策	74	日本茶業組合論	128	日本勸業投資	105
日本經濟研究	66	日本茶業資料大系	124	日本重工業讀本	157
日本經濟講話	66	日本資源政策	74	日本茶業史	116
日本經濟史	68	日本礦業旅行日記與感想集	260	日本地學總覽	258
日本經濟史概説	71	日本十進分類法	227	日本地學統計總覽	266
日本經濟四季年報	59	日本資本主義の次の發展	68	日本地理年鑑	255
日本經濟史辭典	58	日本資本主義發展史	69	日本帝國々勢一覽	294
日本經濟政策	74	日本社會事業大年表	208	日本帝國死因統計	189
日本經濟政策大系	74	日本社會政策史	205	日本帝國司法省行刑統計年報	21
日本經濟地理學	256	日本商學政策	74	日本帝國人口動態統計	188
日本經濟圖表	63, 61	日本商事慣例叢書	16	日本帝國人口動態統計摘要	188
日本經濟統計總覽	60	日本建築大系	210	日本帝國統計摘要	199
日本經濟統計圖表	60	日本殖民地統計論	196	日本帝國統計年鑑	199
日本經濟統計論	72	日本資料	283	日本帝國の石油事業	156
日本經濟年誌	59	日本新會社法	21	日本帝國文部省年報	231
日本經濟年報	59	日本人咬傷の統計的研究	222	日本鐵鋼業論	166
日本經濟の軍事的形態	75	日本人口政策	74	日本統計學會年報	199
日本經濟の戰時編成	74	日本人口地理	256	日本統計經濟全集	72
日本經濟の飛躍と世界危機の前途	65	日本人口密度圖	169	日本經濟表	179
日本刑法	20	日本人口問題研究	191	日本運輸統計要覽	241
日本毛織三十年史	163	日本人口論	190	日本都市大觀	43
日本研究叢書	231	日本人腎小體の高度、容積等に就 て	222	日本都市年鑑	43
日本憲政史	32	日本人の舌輪乳頭及其味覺に關す る研究	222	日本と北滿の新交通路	170
日本憲法	18	日本人の注意すべき支那交際上の 習慣	280	日本内地視察旅行感想集	259
日本憲法比較對照世界各國憲法	17	日本人の注意すべき支那交際上の 習慣	280	日本内地ニ於ケル家畜飼料ノ需給	149
日本工業統計論	160	日本人發達報告書	196	日本内地ニ於ケル煤礦炭及支那炭 ニ關スル調査	156
日本工業發達論	158	日本人新興產業讀本	126	日本年鑑	294
日本工業論	157	日本紳士録	293	日本農業概論	133
日本航空史	181	日本新聞協會二十年史	230	日本農業經濟論	125
日本孝子傳	241	日本新聞年鑑	230	日本農業研究	132
日本臨床學	154	日本人は甘いトスパイは嚙く	54	日本農業史	133
日本耕地價格の研究	184	日本戰時概説	249	日本農業通論	129
日本國家主義と經濟統制	74	日本憲法法規	2	日本農業年鑑	130
日本國體年鑑	61				

日本農業の展開過程	131	いて	221	農家労働調査報告書	136
日本農業論	171	人間理解の根本問題	241	農業恐慌五ヶ年	130
日本農産要覽	143			農業恐慌の全體的展望	129
日本ノ技術的經濟的基礎	81	(ネ)		農業金融經濟論	137
日本の季節金融	98	寧佳維林虎嶺の經濟的價值	64	農業金融問題	130
日本の經濟	231	寧古塔ヲ中心トセル東北部滿洲之沿革	282	農業金融論	137
日本の經濟的發展	65	熱河	271	農業經營	135
日本の産業と貿易的發展	126	熱河事情	271	農業經營改善事例	135
日本の史學と文化史	290	熱河事情	271	農業經營改善必行事項	135
日本の思想文化	241	熱河省教育概況	233	農業經營設計の實例	136
日本の需要より見たる滿蒙の農畜		熱河省經濟の現状と其將來	65	農業經營事例	136
林畜資源	81	熱河省雜旗事情	271	農業經濟學	132
日本の人口問題	191	熱河省統計要覽	199	農業經濟學大綱	132
日本の政治	231	熱河省寧城縣	142	農業經濟研究	132
日本の南洋群島	273	熱河省豐寧縣	142	農業經濟地圖	267
日本之農村合作與農業倉庫	137	熱河省豐寧縣事情	271	農業經濟ノ諸問題	132
日本の發電所(中部日本)	160	熱河省隆化縣事情	271	農業經濟論	132
日本の勸業と政治の轉機	29	熱河省凌源縣十五里堡ニ於ケル土地墾行	188	農業研究統計法	132
日本の滿洲に於ける施設が原因となりて支那の施設が改善されるものありや	52	熱河鐵道ノ經濟的價值	176	農業小辭典	139
日本之棉紡織工業	163	熱河ニ於ケル墾業耕種概要	146	農業信用	137
日本の歴史	231	熱河ニ於ケル耕作ニ就テ	146	農業政策	58
日本標準規格	157	熱河ニ於ケル墾業ニ就テ	166	農業政策立案委員會速記録	133
日本物價政策	74	熱河蒙古地方ニ關スル調査	261	農業政策批評	139
日本文化團體年鑑	231	根室原野ニ於ケル移民ノ經濟狀況ニ對スル考察	196	農業政策論	133
日本文化史	241	年刊書目録定期刊行月録考據狀寄	228	農業全書	129
日本民族史論	133	聯合社錄	228	農業會社の經營	138
日本貿易政策	71	年代對照便覽並陸海關對照表	280	農業會社論(河田)	137
日本貿易論	118	燃料工學最近の進歩	158	農業會社論(王)	138
日本建設社會意識論	208	燃料動力經濟讀本	162	農業租稅問題	130
日本封禁制度成立史	32			農業大辭典	129
日本紡績業と原棉問題研究	164	(ノ)		農業團體論	137
日本法制經濟史	15	農安事情	270	農業調查結果表	130
日本法令索引總覽	3	農會ニ關スル調査	137	農業調查從業員必携	130
日本法令年表	2	農學關係諸學會聯合大會講演集	132	農業地學	256
日本民事慣例類案	18	農家經濟收支	136	農業土地政策論	133
日本民事訴訟法論	22	農家經濟調查(愛知)	136	農業土地問題	130
日本民族の政治哲學	31	農家經濟調查(長野)	136	農業年鑑	130
日本民法總論	18	農家經濟の新研究	135	農業法	8, 9, 10, 11
日本労働組合會議ノ沿革ト現勢	215	農家小組合ニ關スル調査	135	農業法規綱要	129
日本労働年鑑	213	農家の負債と負債能力	62	農業法研究	129
日本は敵か味方か	63	農家の負債並に貸借關係	142	農業保險ニ關スル調査	137
ニユーデイルの構成	72	農家負債並に貸借關係	135	農業労働之小作制	136
女紅語研究の新資料	200	農學用語新辭典	129	農家相談叢書	129
人間存在の抱庄としての中今に就		農學用語辭典	129	農工商要覽	125
				農作物農用地産物及林野被覆統計表	147
				農作能率及肥料表	216

農作物被害統計表	147	農村振興運動の全貌	140	煤炭業	198
農産加工相談	129	農村生活叢書	138	配電及送電	159
農山漁村に於ける中堅人物養成施設の概要	234	農村生活の調査	140	馬寅初經濟論文集	69
農産品	175	農村政策	138	馬寅初講演集	69
農産物生産費の研究	131	農村組織	139	阿多高工會職所統計年報	111
農産物の價格統制	116	農村調査	139	齒切機及齒切法	159
農産物販賣統制問題	130	農村調査録	140	怡和幣制と貨幣史の概観	107
農事関係試験研究機関調査速記録	132	農村通訊	139	煤礦北支を語る	29
農事生産に於ける水平的分化と垂直的分化	61	農村統計時報	130	幕末の商民論	62
農事統計表	130	農村與都市	139	幕末明治新聞全集	230
農商統計表	130	農村と農家組合	139	幕末明治大正回顧八十年史	285
農商統計表式	130	農村の機械工業	167	白樂天詩集	243
農政學	132	農村の工業	163	巴彥縣公署規則集	39
納稅須知	95	農村負債調査	141	巴彥縣村務概況	86
農村合作運動	137	農村復興之理論與實際	133	兩館商工會職所年報	111
農村家畜調査	140	農村問題	138, 139	兩館稅關外國貿易年表	118
農村金融制度論	137	農村問題研究	138	破産法(方面)	7
農村協同資本の展開	139	農村問題講話	139	破産法(附)	13
農村經濟	138	農村問題と社會理想	139	破産法保護	14
農村經濟及合作	142	農村領袖	139	破産法例解	21
農村經濟研究	142	農地價格論	133	馬政局關係法規	148
農村經濟政策論	142	農民運動	139	民政統計	149
農村研究	138	農民經濟の諸問題	142	初島の經濟地理に關する研究	256
農村建設	139	農民戰爭	133	發生學名詞	248
農村工業	139	農務統計表	130	發賣額市禁止單行本目錄	228
農村更生計畫ノ圖テ方	133	農林行政	151	馬場財政と財界の前途	86
農村産業機構史	139	農林省統計關係法規	130	巴爾幹を見て露州圖を過す	263
農村産業組合の研究	137	農林省統計關係法規詳覽	130	巴爾虎(呼倫貝爾)ノ經濟概観	84
農村自衛研究	138	農林省統計表	130	哈市教育	223
農村自治	139	農林省累年統計表	130	哈爾濱概況	174
農村事情ニ關スル調査	140	農林統計グラフ	130	哈爾濱	272
農村實態調査	140	農林統計の要	130	哈爾濱ヲ中心トスル各國商工業ノ動向	113
農村實態調査一般報告書	141, 142	伸び行く朝鮮	274	哈爾濱經濟年鑑	60
農村實態調査報告書	141	伸びる工業	157	哈爾濱市現行市稅々率表(貨幣)	95
農村實態調査の仕方	140	野村銀行二十年史	102	哈爾濱市勢年鑑	284
農村社會	138	野村證券株式會社10年史	78	哈爾濱市政ノ沿革及現状	44
農村社會學	138	(ハ)		哈爾濱大洋流通史	107
農村社會學研究	139	排外支那の解剖	89	哈爾濱特別市戶口調査結果表	193
農村社會學史	140	陪都大演習報告	55	哈爾濱特別市市勢年鑑	43
農村社會學大綱	138	配給機構の變革と中小商業諸問題	221	哈爾濱特別市々政報告書	43
農村社會經濟史	143	配給市場組織	115	哈爾濱特別市政局ノ財政	85
農村社會經濟調査	141	配給組織の常識	115	哈爾濱特別市道外商會々刊	113
農村社會文化の起點としての土地調査事業に就て	204	配給理論	116	哈爾濱特別市道外商號名簿	113
		賠償及び賠償問題	97	哈爾濱特別市の概観	272
		陪審法	8	哈爾濱特別市の業種	272
		拜泉縣事情	270	哈爾濱特別市法令輯	42

哈爾濱特別市法令摘要	42	非訟事件學說判決實例綜覽	22	賓州府政傳	44
哈爾濱特別市例規暫定彙集	42	非訟事件手續法	6	品性の陶冶に關して	225
哈爾濱特別市例規集	43	非常時國民全權	223	(7)	
哈爾濱に於ける治外法權國民の課 税問題	96	非常時財政讀本	86	法西斯主義與新意大利	37
パルプ及紙	164	非常時對總轉業と轉職	75	ファッシズム	37
パルプ工業に關する調査	164	非常時對總經濟論	72	ファッシズムの經濟組織	69
パレスチン經濟事情並に日本と の貿易事情	121	非常時の財源問題	86	ファッシズムの社會觀	204
パレスチンの近情、シリアの近 情希臘及近東地方見聞雜錄	89	協定類纂	26, 27, 28, 32	ファルク貨銀の別論	216
飯粒業	198	希特勒(ヒトラー)與新總意誌	31	フィリピン大觀	279
風動學草略誌	26	ヒットラー—スーヴント	206	風水禍—凶凶産業被害統計	126
兎野編成事實と違法性	231	評價總論	123	虱 土	234
総山縣地誌	270	輿圖法	13, 104	夫婦財産法の批判	19
総山縣誌	268	契據法學義	13	復讐權概況	266
飯神京濱地方ノ朝鮮人労働者	216	兵隊聯合社一覽	78	武漢之商工業	113
汎太平洋佛教育年會大會準備經過 概要	239	兵庫縣家畜統計表	150	不換紙幣通貨論	107
當地事情	273	兵庫縣管内學校幼稚園其他一覽	236	普及應酬精神之教育資料	234
富有科學大系	218	兵庫縣工場一覽	161	福井縣統計圖	200
判例小話	4, 5, 6, 7	兵庫縣工場統計表	161	復讐農產物品評會概況	143
判例婚姻法解説	19	兵庫縣春置及桑地統計表	147	復交前後ノ露支關係並に中國共産軍 の現状	53
文獻ヨリ見タル清朝時代ヨリ民國 時代ニ至ル蒙地ニ對スル取捨令	15	兵庫縣統計書	200	復州ニ於ケル鹽業調査	152
判例總覽	23	兵庫縣ノ面積及人口	190	復州製粘土公司並ニ煤礦公司ノ現 況	156
判例と理論	23	兵庫縣炭統計表	146	福島縣第33回統計書	200
(七)		標準機械工作法	187	報制總覽	24
比較總論	33	標準原價の研究	123	府縣市町村法規總覽	39
比較水法論	185	標準工業會計圖解	160	府縣別地方別公私立學校生徒兒童 身體検査統計	336
比較租税	92	繅桑業	198	普濟會施療班報告書	211
東アフリカ經濟事情並に對日本貨 品狀況	121	苗族調查報告	207	釜山商工業案内	114
東蒙古	263	總監符號使用方	242	釜山商工會事務所統計年報	111
東蒙古ノ價相	264	日韓労働者問題	214	釜山優良製品協會案内	127
東蒙古遠金傳城探考記	276	狹ヶ浦要	267	撫順縣統計並刊	40
東蒙古近代圖城探考記	281	狹ヶ行く滿洲	264	撫順商工業要覽	113
東遼河水系	187	肥料ノ常識	136	撫順炭の性質と其用途	156
樂器基南大觀	184	肥料ハ高過デマカ	138	撫順炭の販路	117, 166
飛行機取扱法	181	肥料要覽	138	西ビ市ノ郵便貯金ヲ比較ス	104
美國退還庚子賠款餘額經過情形	91	成島商工人名簿	112	普通銀行論	98
美國與滿洲問題	61	廣島稅務統計書	93	普通新尺價	242
美國に於ける裁判と警察	23	廣島通信局業務統計要覽	182	佛、英、伊、智、米、諸國に於け る戰時經濟の國家組織	75
美國之市行政	44	廣田外相の拜米外交を撃て	48	物價指數豫説	109
英國聯合準備銀行制度	102	濱江市政籌備處財政ニ關スル調査	86	物價指數の理論と實際	109, 197
非訟事件	24	濱江省各縣商工概況	113	物價指數論	110
		濱江省工商視察團觀光目錄	113	物價水準の理論	99
		濱江省呼羅縣事情	270	物價實業調查年報	100
		濱江省稅務監督署所屬稅捐局管内 概要	46		
		濱江省郭爾羅斯後旗事情	271		
		濱江省青山及虎林地方土壤調查書	251		
		濱江省例規集	39		

物價統計表 109
 物價統計論 109
 物價の話 109
 物價問題 109, 110
 物價問題に就いて 109
 物價論 110
 物權法(我撰) 7, 9
 物權法(司法研究會) 12
 物權法論 10
 佛蘭西刑事訴訟法 22
 佛蘭西民法論 15
 佛蘭西民法典 212
 物産制限の法規と解説 75
 佛和大事典 246
 不動産金融論 100
 不動産金融実論 98
 不動産抵當個人間貸借金利調 105
 不動産抵當個人間貸借状況 100
 不動産登記及戸籍審判法規 19
 不動産登記法 7
 不動産の評価 188
 フラウダイズグエスタ社説集 278
 ブラッシュ人文地理學 257
 佛蘭西インフレノ全貌 101
 佛蘭西銀行總説ノ更迭ヲ總リテ 103
 佛蘭西商法 14
 佛蘭西政治經濟研究 30
 佛蘭西ニ於ケル不動産金融制度 101
 佛蘭西の金融組織 101
 フランス農村社會史 149
 佛蘭西法ニ於ケル營業財産ノ法律
 的保護ニ就テ 114
 佛蘭西民法 14
 既婚資金の利用法 183
 ブリス氏財政表比率論 225
 ブリヤート蒙古の全貌 276
 浮浪者ニ關スル調査 208
 プロック經濟地理 257
 プロックダイアグラムの描き方 258
 扶餘縣事情 269, 270
 扶餘志 270
 文化進化論 225
 文化哲學の諸問題 226
 文化統計研究 198
 文化の消長と民族の運命 236
 文教統計摘要 232
 文教の施設 234

文教部報告例 232
 文藝整理の理論と實際 227
 文廟祠四庫全書要略 230
 文獻記典概要 239
 分類尺牘大成 242
 (ハ)
 平安北道史 280
 兵役施行令第百條第三號ノ規定ニ
 依ル認定各種學校ニ關スル調査 236
 米價の長期變動 110
 米價變動の智識 110
 兵器讀本 55
 米國加州銀行法 102
 米國加奈陀の旅より歸りて 60
 米國金融組織論 98
 米國失業保險問題 210
 米國社會經濟組織の變革 68
 米國新聞記者ノ見タ日本ノ孫洲 331
 米國新油船運送法と日滿油船貿易
 の將來 105
 米國政治經濟研究 30
 米國税制發達史 93
 米國聯邦實權政策 194
 米國總動員概説 81
 米國總動員計畫 54, 81
 米國炭坑労働事情 155
 米國に於ける恩賞法案 28
 米國ニ於ケル國主國體 207
 米國に於ける失業準備金制度 310
 米國に於ける指紋採取法 20
 米國の鐵礦産に就いて 225
 米國の政治組織及其活動 30
 米國の對歐馬投資とその影響 61
 米國の都市教育組織 234
 米國國主の勞務關係觀と其の實際 206
 米國ユター州ニ於ケル不定利當渡
 宣告廢止及假設放ニ關スル調査 20
 米國聯邦準備法 102
 米國勞務者ノ生計狀態 214
 米國勞務爭議ニ對スル裁判所ノ狀
 止命令制限立法ニ付イテ 316
 米穀需要法則の研究 143
 米穀計測經濟講話 133
 米穀日誌 143
 米穀ノ性状ト貯藏 145
 米穀法關係法規 130

米穀法規 143
 米穀法制定の經過資料 143
 米穀問題 133
 米穀問題特輯 129
 米穀要覽 144
 兵事 2
 兵事編 2
 兵務關係資料 23, 55
 不平等國際公法 7
 不平等國際法論 22
 不 疑 174
 平壤市工會議所統計年報 112
 米人ノ見ヨリ日本ノ國工業ト其智
 易 194
 米麥及蘆産額統計 145
 米麥及蘆産額比較表 145
 米麥基本調査結果 144
 米佛蘭西聯合法制度概要 215
 ヘーゲル市民社會論之經濟學 62
 ヘーデマン土地法要綱 186
 北平郊外之鄉村家庭 141
 北平市營業稅特刊 94
 北平市工商業概況 113
 北平司法部犯罪統計的分析 211
 北平社會概況統計圖 203
 北平稅捐考略 93
 北平生活費之分析 208
 波斯阿片、土耳其阿片 146
 ベルリ提督日本遠征記 52
 辯護士法 5
 (ホ)
 法院組織法 13
 法院組織法條義 14
 法院組織法並附屬法令 26
 貿易會計 117
 貿易爲替計算の常識 105
 貿易實務 118
 貿易思想史 118
 貿易上ヨリ觀タル滿洲國ノ關稅支
 ノ將來 84
 貿易政策論 118
 貿易統計の話 121
 貿易統計の研究 118
 鳳凰廳屬輿地全圖 258
 奉天職重要日誌 280
 法學通論 15

法學入門	4	奉天省西豐縣統計彙編	40	奉天實業廳管理機關章程並表決草案	46
法學問答	4.5.6.7	奉天省新民縣	141	奉天取引所年報	115
陸軍演習演習演習録	34	奉天省遼安縣事情	269	奉天郵政管理局管區郵政典禮	259
修給生活者職工生計調査報告	209	奉天省遼陽縣	141	包頭一般經濟事情	67
防共世界地圖	259	奉天省東豐縣事情	268	訪日宣詔紀念美術展覽會圖録	246
防空讀本	64	奉天省盤山縣事情	269	訪日中華民國經濟考察團歡迎晚宴	
封建社會的農村生産關係	142	奉天省復縣事情	268	會に於ける演説	66
芳香族アミンとフォルマリンとの		奉天省法庫縣	141	豐寧縣下に於ける土地墾殖關係	187
綜合反應に就て	222	奉天省本溪縣事情	269	包頭鐵路建設設計書	172
亡國滅種的鴉片煙禍	212	奉天省瀋江縣事情	269	法の基本問題	15
防護團員必携	54	奉天省清河縣事情	268	奉天赴日考察司法記録	24
奉山鐵路經濟事情	63	奉天省遼中縣	141	法理學大綱	15
奉山鐵路沿線及背後地經濟事情	63	奉天省梨樹縣	141	法律學概論	9.10.11
方志學	287	奉天省梨樹縣事情	268	法律學辭典	4
法制關係資料	15.27	奉天省吉林省に於ける警察保衛局		法律學小辭典	3
法政經濟商業辭典	4	鄉村制度	38	法律經濟辭典	7
法制史	7	奉天省教育會章程	235	法律講話	4.8.9
紡績原論	164	奉天省教育統計表	243	法律政治經濟大辭典	3
紡績經濟使節所感	63	奉天省警察編覽	36	法律大辭典(譯)	3
法治通史	15	奉天省縣長會議々事録	41	法律大辭典(汪)	
奉直關係論	32	奉天省公署實業廳要覽	46	法律辭書	3
邦人移民農家經濟調査報告	135	奉天省公署國書目録	223	法律辭典	3
邦人海外發展史	197	奉天省公署要覽	46	法律上の滿洲	14
邦人農家經濟調査報告	135	奉天省公署規則集	39	法律哲學原論	15
邦人の滿洲國移住民に就いて	225	奉天省財政一紙	85	法律に於ける倫理と技術	15
邦人請蒙への發展と安穩生活	262	奉天省財政統計年鑑	86	法律年鑑	14
法人一覽	207	奉天省城商工名録	112	法律用語辭典	8
奉天各縣現行警察章程	36	奉天省政府租稅制度並民國20年度		暴力行爲等犯罪法	3
奉天漁業商船保護局要覽	151	豫算	96	法令輯覽	3
奉天經濟十年誌	71	奉天省政府國書目録	228	法令全書	2
奉天經濟事情	65	奉天省中心教育調査	234	簿記原論	123
奉天經濟統計年報	60	奉天省地方稅(縣)收入實價調査表	96	簿記組織論	123
奉天市市政統計彙刊	44	奉天省統計年鑑	40	北歐の林業と製紙工業	150
奉天市政公署行政會議總記録	44	奉天省に於ける自動車業の調査	172	卜魁省賦	254
奉天市政公署高埠局拆費租稅規則		奉天省に於ける司法制度	23	北海道及障太經濟統計要覽	60
表解	95	奉天省の財政	85	北海道博覧年鑑	294
奉天市同善堂要覽	211	奉天省民衆展覽制度調査	122	北海道概況	274
奉天市日滿工業工場名簿	161	奉天省民衆別慣習調査=就テ	16	北海道廳許可移民事業成績調査	196
奉天市例風習俗	42	奉天省輿地全圖	258	北海道帝國大學一覽	232
奉天省各縣教育視察報告書	233	奉天省令規輯覽	30	北海道通信事業概況	182
奉天省各縣視察報告	268	奉天省聯合協議會要綱	74	北海道に於ける小作契約實例調査	126
奉天省營口縣々事情	268	奉天商工會議所統計年報	112	北海道漁業に現存の漁獲實貨價	
奉天省蓋平縣	141	奉天昭陵調查報告	185	關係	63
奉天省盤山縣事情	269	奉天全省警察報告書	37	北海道農家負擔調査	136
奉天省瀋陽縣事情	268	奉天全省警甲報告書	37	北海道の商工要覽	126
奉天省西豐縣	141	奉天全省輿圖	258	北海道の農業	131
奉天省西豐縣事情	268	奉天單行法令彙存	39	北海道米麥統計表	144

本邦經濟統計	60	北滿特別區公署要覽	45	本邦農業の趨勢	154
北支經濟案内	68	北滿特別區に於ける土地問題	187	本邦工場職山職長制度概要	161
北支經濟開發の根本問題	68	北滿與東省鐵路	178	本邦事業成績分析	81
北支經濟圖說	68	北滿に於ける各特産商の大豆取扱 數量	114	本邦社會統計論	203
北支經濟讀本	68	北滿に於ける農業經濟收支表	136	本邦需給資源總覽	80
北支經濟年鑑	60	北滿に於ける露人及外人關係事業	79	本邦食糧問題と肥料	194
北支經濟事情	180	北滿農業	131	本邦食糧問題と滿洲	194
北支經濟要覽	180	北滿の農業	131	本邦吾誌の吾誌	227
北支財政金融講座	255	北滿糧糧調查附表	116	本邦人口増加の傾向及數量的變動 に就て	191
北支資源講座	255	牧野概論	149	本邦人商社の營業に係る出商業取 引	115
北支事件特別税法解説	93	穆綏河水系	187	本邦製造業の生産數量指數	158
北支事情綜覽	275	北滿誌稿	260	本邦重要資源需給要覽	80
北支自治運動の推移	38	ポケット會社要覽	79	本邦高産要覽	148
北支主要工場一覽表	162	保險會社金融論	98	本邦煤鋼業と關稅	155
北支地運交通講座	255	保險學要論	58	本邦煤鋼業の現勢	155
北支通商	275	保險業法	8	本邦統計資料解説	198
北支讀本	81	保險經濟學	110	本邦煤礦工業調査	165
北支に關する日支關係條約	48	保險契約法	7	本邦動力電化の趨勢	168
北支農業要覽	131	保險年鑑	110	本邦都市計畫事業と其財政	183
北支農村經濟と植棉改進問題	139	保險編	110	本邦土地利用ノ研究	186
北支の産業貿易と列國の利權關係	265	保險法	13	本邦並に歐米諸國の出生率死亡率 及人口自然増加率の比較考察	190
北支の政治及社會講座	255	保險法要義	13	本邦に於ける小麦の播種	145
北支の政情	29	保甲制度	38	本邦に於ける體育運動團體に關す る調査	238
北支八省の資源	81	保甲制度概説	37	本邦農業要覽	130
北支雜	255	保甲制度論	37	本邦農産物の生産數量指數に就て	143
北支棉花に關する一考察	146	保全處分の研究	23	本邦の工業と滿洲の原料	158
北支問題の經過と將來	53	牡丹江水系	187	本邦麥酒業の現狀に就て	166
北支三港比較	180	牡丹江の現勢	270	本邦紡織業經營調査	164
北支經濟事情	280	保長甲長日本旅行報告書	260	經濟實習指導書	241
北支地運概況	178	ポテンシャルを用ひて解き得る彈 性體力學の諸問題	233		
北支糧食供給記事索引	230	ポランタリー、チエーンの研究	76	(マ)	
北支接收が北滿に及ぼせる影響	178	本溪縣經濟調査(商業編)	64	マーンシャル經濟學に於ける生物學 的世界	235
北支沿綫に於ける農業事情	131	本溪湖城廠開業調査報告	174	毎日年鑑	294
北支鐵路沿綫棉花試作成績	146	本溪湖地處の發達と是が將來	156	麻袋調査	164
北支鐵路之黃金時代	178	本溪湖煤礦有限公司事業概要	155	マヂヤール支那農業經濟	135
北支に於ける灌溉事業附滿洲の選 遺	134	本市(大股)に於ける朝鮮人工場勞 働者	160	松本高等學校一覽	233
北滿沿烏蘇里地方	272	本市(大股)に於ける朝鮮人の生 計	209	松山高等商業學校一覽	233
北滿河川水運統計	181	本邦を中心とせる石炭需給	156	松山商工會議所統計年報	112
北滿氣象報告	250	本邦及朝鮮に於ける無煙炭の需給 並滿洲産無煙炭	156	原尼敦旅行中國考	240
北滿經濟調査資料	64	本邦企業集積の現勢	77	豆粕の飼料化に就いての考察	165
北滿經濟調査所資料分類表	238	本邦基礎産業集中の現勢	126	豆類要覽	144
北滿經濟統計年報	60	本邦教育の概況	234	編成計表	148
北滿金融資源	154				
北滿主要都市商工概覽	113				
北滿水災狀況並救濟報告	260				
北滿鐵路接收記念特刊	174, 178				

滿洲國軍事講座	254	滿洲國稅關輸出稅則	95	滿洲國經濟政策ノ現在ト將來	73
丸船船川式遊報告滿洲に於ける滿洲大豆工業の現況	165	滿洲經濟統計圖表	61	滿洲國經濟調查報告書	65
マルクス經濟學	58	滿洲經濟統計年報	00. 61	滿洲國經濟地理圖說	268
マルクス主義政治論の解釋上の係争問題	31	滿洲經濟統計文獻目錄	67	滿洲國警察概要	36
マルクスの認識論原理	61	滿洲經濟ト日本及列強經濟トノ關係	83	滿洲國警察職員階級別一覽表	38
マルサス人口論 (伊藤)	190	滿洲經濟と日本經濟	64	滿洲國現行內國稅制度	92
マルサス人口論 (谷口)	190	滿洲經濟と日本帝國主義	64	滿洲國現行內國稅制度便覽	95
マルサスに關する文獻集	191	滿洲經濟年報	59	滿洲國現行內國稅ノ率表	95
マルサス批判の發展	190	滿洲經濟ノ發達	71	滿洲國鐵道之價額	282
マルサス以後百年記念人口問題資料展覽會高島集	191	滿洲建國通史略	254. 283	滿洲國鐵道之價額	294
滿洲	284	滿洲建國所設公務員紀念錄	293	滿洲國鐵道	254
滿洲軍の師内事情	144	滿洲建國正史	282	滿洲國工業調查	254
滿洲移民ノ最大性狀ニ滿洲ノ集團移住地ニ就テ	196	滿洲建國ト五省ノ富源	80	滿洲國鄉村社會實態調査抄	140
滿洲移民ノ實況	106	滿洲建國と滿洲上海大事變史	282	滿洲國工場統計	161
滿洲移民の特殊性と補匪問題	62	滿洲建國の鐵道	28	滿洲國交通調查	254
滿洲印象	285	滿洲建設の標識	34	滿洲國皇帝	26
滿洲運動手鑑	238	滿洲工業事情	158	滿洲國皇帝ヲ迎ヘ奉リテ	26
滿洲及北支那ニ於ケル漢骨ト骨粉	140	滿洲工業統計表	153	滿洲國皇帝陛下奉迎報告書	26
滿洲及中國各南省別自作、小作自作、小作農家戸數	72	滿洲工業勞働事情	157	滿洲國公文作法解説 (文部省)	45
滿洲概觀	294	滿洲滿山勞働事情	213	滿洲國公文作法解説 (劉)	45
滿洲會社考課表集成	78	滿洲工場名簿	161	滿洲國公法大意	17
滿洲各種紙幣流通額統計表	106	滿洲工場要覽	161	滿洲國々稅制度提要	92
滿洲軍工論	50	滿洲交通統計集成	170	滿洲國々法講座	254
滿洲果樹園經營	147	滿洲高梁統計	144	滿洲國國民所得表ニ關スル計算書	81
滿洲華商名錄	112	滿洲高梁に關する調査	144	滿洲國々民道徳概論	241
滿洲貨幣史	107	滿洲國阿片制度と阿片の概要	212	滿洲國財政狀態の概要及內國稅徵收事務の概況	80
滿洲貨幣相場集成	108	滿洲國安徽省勸業勸導局勸業總覽	260	滿洲國財政に關する王道政治	86
滿洲國	134	滿洲國移民ニ關スル資料	196	滿洲國産業概觀	125
滿洲國關係和議條件名目録	237	滿洲國鹽務概況	152	滿洲國産業資源ト其ノ開發	82
滿洲國光復盟創立總會經過報告	171	滿洲國及中華民國在滿本邦人及外國人人口統計表	189	滿洲國史	282
滿洲慣習調査報告	16	滿洲國及北支ノ金鑛及砂金	154	滿洲國資源提要	81
滿洲國誌	260	滿洲國概觀	266	滿洲國施政概要	23
滿洲氣象資料	250	滿洲國概覽	261	滿洲國施政綱要	30
滿洲氣象報告	250	滿洲國概要	261	滿洲國施政の根本方針	261
滿洲紀要	264	滿洲國各縣觀察報告	264	滿洲國私設機關關係法令の解説	172
滿洲銀行會社年鑑	102	滿洲國課稅輸出入品詳細統計	96	滿洲國司法資料	24
滿洲金融支善調査資料	99	滿洲國國慶節日	279	滿洲國社會事業概要	208
滿洲計器股份有限公司內容	123	滿洲國家商會登記部登記簿數	149	滿洲國出現の合理性	28
滿洲經濟指針	61	滿洲國官公署名鑑	45	滿洲國主要工場統計	161
滿洲經濟地圖	65	滿洲國官公有財産	97	滿洲國商業講座	254
滿洲經濟圖表	60	滿洲國課稅ノ制	97	滿洲國職業別商工者名鑑	203
滿洲經濟統計	60	滿洲國官吏錄	46	滿洲國人商工名鑑	113
		滿洲國企業統制概況	76	滿洲國新制度量衡概要	128
		滿洲國協和會之概要	207	滿洲國人名鑑	293
		滿洲國銀行總覽	102	滿洲國水運法規	179
		滿洲國金融機關其他ニ關スル法令	97	滿洲國稅務通關事務に就テ	96

滿洲國税關ト輸出入貨物ノ通關手續	95	滿洲國之獨立地位	37	滿洲亦變及上海事件關係公表集	51
滿洲國稅關輸出口則	93	滿洲國の領々關と其市場研究	113	滿洲事定外交史	49
滿洲國稅關輸入税率一覽	95	滿洲國の風俗	170	滿洲亦變後新設滿洲關係會社	79
滿洲國政府組織便覽	43	滿洲國の由來	261	滿洲亦變と不融協約關係聯盟	48
滿洲國船名錄	179	滿洲國幣制と大連銀市場	108	滿洲亦變と滿鐵	177
滿洲國大圖	265	滿洲國法權問題の考察	24	滿洲亦變の日録史	280
滿洲國大系	25, 266, 285	滿洲國邦人課稅情況	93	滿洲亦變の世界史的意義	32
滿洲國體育聯絡會觀戰記	233	滿洲國法令輯覽	1	滿洲社會事業年報	208
滿洲國中央社會事業聯合會趣意書並章程	208	滿洲國民之總意	230	滿洲社會事業要覽	206
滿洲國中心支那地理	264	滿洲國名士錄	45	滿洲主要會社定款表	78
滿洲國地圖	259	滿洲國有線道路及背後地各縣概況	178	滿洲主要礦山出產額統計	167
滿洲國地方事情	260	滿洲國有線道と背後地資源	176	滿洲主要礦產分布圖	154
滿洲國地誌大觀圖	259	滿洲國輸出入稅率表	96	滿洲主要新設會社目錄見書集	79
滿洲國地方規程輯覽	39	滿洲國より大同世界へ	34	滿洲主要都市日人増加大勢	190
滿洲國地名大辭典	253	滿洲國留日學生錄	236	滿洲主要都市の木材需給	151
滿洲國政興ノ天童	29	滿洲國里程表	255	滿洲主要都市要覽	287
滿洲國通貨金融制度統一誌史	108	滿洲國禮俗調査	279	滿洲主要農作物作付面積	72
滿洲國通信區畫便覽	189	滿洲國歴史	282	滿洲史要	282
滿洲國鐵道貨物運賃率表	176	滿洲國歴史講座	264	滿洲商工概覽	112
滿洲國鐵道經營の方針	177	滿洲國六法全書	16	滿洲商工事情	113
滿洲國興隆意志圖問答好條約	48	滿洲國は進歩す	28	滿洲商工事情概要	113
滿洲國重子關奉天省地方要狀	237	滿洲語と漢語を混同したる歌本吃料覽	242	滿洲商工年鑑	111
滿洲國重子關訪日感懷錄	260	滿洲在來農業	131	滿洲植物研究案内	252
滿洲國當前問題之檢討	29	滿洲産業開發ノ難問題	137	滿洲新史	282
滿洲國讀本	261	滿洲産業開發ノ難問題	126	滿洲紳士錄	292
滿洲國と門戶解放問題	50	滿洲産業統計	125	滿洲新設會社一覽	79
滿洲國に於ける砂糖事情	166	滿洲參考物價統計	100	滿洲森林の現況と將來	151
滿洲國に於ける畜牛と種羊	149	滿洲產物分析試驗成績	125	滿洲水産調査資料	151
滿洲國ニ於ケル通貨ト金融	99	滿洲史	282	滿洲水田の活	134
滿洲國に於ける度量衡とメートル法	138	滿洲宗教概要	239	滿洲生活30年奉天の聖者クリステイの思ひ出	226
滿洲國に於ける日本の意義	34	滿洲史研究	282	滿洲制穀法規類纂	3
滿洲國年鑑	294	滿洲事業會社總覽	78	滿洲政治經濟事情	28
滿洲國農業統計	130	滿洲資源產業視察便覽	82	滿洲青年聯盟史	206
滿洲國の現住民族	208	滿洲資源要覽	80	滿洲西北部の地質及地誌	251
滿洲國の交通事情	171	滿洲視察報告連發會	65	滿洲生命營業報告	110
滿洲國の交通將	262	滿洲事情	264	滿洲大圖	265
滿洲國ノ財政經濟	85	まんじう事情	278	滿洲大豆	144
滿洲國の産業	127	滿洲亦變案内所要覽	268	滿洲大豆及其製品	143
滿洲國の自然	265	滿洲亦變案内所製料集	265	滿洲大豆と北滿	144
滿洲國の全貌	261	滿洲實業案内	126	滿洲大豆品質等調査定	141
滿洲國の前途	261	滿洲支那移民統計	194	滿洲大豆暴落とその對策	143
滿洲國の租稅と專賣	92	滿洲支那經濟辭典	57	滿洲對北支貿易詳察統計	119
滿洲國の傳説と民話	270	滿洲支那財政金融關係資料邦譯目録	84	滿洲拓殖ノ研究	196
滿洲國の動物	262	滿洲支那朝鮮	241	滿洲炭鐵株式會社概要	156
				滿洲中央銀行現狀一覽	102

書名索引

滿洲重要統計資料	200	滿洲特産界ニ於ケル官商ノ活躍	114	の概観	60
滿洲重要物産統計年鑑	142	滿洲特産關係海外情報	126	滿洲に於ける日本取引所	115
滿洲重要輸出商品價格構成	117	滿洲特別自衛移民ノ現況	195	滿洲に於ける日本の通信權益	50
滿洲重要輸入商品價格構成	117	滿洲特別農業移民概況	195	滿洲に於ける日本の文化的貢獻	50
滿洲地産製引下に關する要讀書	158	滿洲讀本(東亞要聞)	261	滿洲に於ける日本の法權	14
滿洲地誌及附圖	261	滿洲讀本(長野)	265	滿洲に於ける農業金融(近視)	136
滿洲地方財政概要	86	滿洲と相生山太郎	292	滿洲に於ける農業金融(滿鐵)	137
滿洲地方志考	267	滿洲と支那本部との關係	64	滿洲に於ける農業經營の實際と移民問題	134
滿洲地名考	255	滿洲に於ける通關事情	145	滿洲に於ける農村協同組合運動の概況	140
滿洲地名索引	258	滿洲ニ於ケル板硝子工業ト其ノ需給趨勢	165	滿洲に於ける農村聚落狀況耕作面積、地價	140
滿洲地名辭典	253	滿洲に於ける外商の勢力	114	滿洲に於ける農民の租稅負擔と農村邊境	91 136
滿洲島嶼分布目錄	150	滿洲に於ける外人經濟勢力狀況	65	滿洲に於ける邦人の現況	195
滿洲通商問題の研究並資料	196	滿洲に於ける紙の需給と製紙工業	164	滿洲に於ける邦人の倉庫業	115
滿洲通史	282	滿洲に於ける硝子器工業と其の需給趨勢	166	滿洲に於ける紡績業	163
滿洲通誌	261	滿洲に於ける歸稅及鐵道運費に就て	96	滿洲に於ける麻袋	163
滿洲帝國衛生法規	248	滿洲に於ける教化運動と禁酒	262	滿洲に於ける硝子工業	164
滿洲帝國憲法	265	滿洲に於ける鋼鐵物價指數	117	滿洲に於ける蒙古民族	207
滿洲帝國學校教育概況	236	滿洲に於ける現下重要諸問題に就いて	34	滿洲に於ける糧食	115
滿洲帝國學事要覽	234	滿洲に於ける言論機關の現勢	230	滿洲に於ける労働運動概況	216
滿洲帝國經濟和會指導要綱案	206	滿洲に於ける合設	113	滿洲に於ける労働の過去及現在	216
滿洲帝國勳章章	26	滿洲に於ける鎮山労働者	165	滿洲に於ける譯國の利權外交史	49
滿洲帝國經濟全案	58	滿洲に於ける高粱釀酒業	166	滿洲に對する支那移民	50
滿洲帝國現住人口統計	193	滿洲に於ける國際爭執	50	滿洲に對する支那の植民	195
滿洲帝國編纂法令	152	滿洲に於ける穀物の生産消費剩餘の關係	73	滿洲年鑑	294
滿洲帝國と勢グラフ	294	滿洲に於ける炸製穀米業	148	滿洲農家の生産と消費	125
滿洲帝國と鐵路線地方概況	178	滿洲に於ける産業組合	128	滿洲農業移民十講	196
滿洲帝國最高法院裁判例要覽	25	滿洲に於ける自動車並自動自轉車の現勢調査	172	滿洲農業移民と綿羊	196
滿洲帝國司法要覽	25	滿洲に於ける支那銀行の概要	102	滿洲農業氣象報告	134
滿洲帝國總覽	264	滿洲に於ける支那の特許權制度	96	滿洲農業調查	254
滿洲帝國特許發明法解説	162	滿洲に於ける水産物の需給	151	滿洲農業自由移民の策	196
滿洲帝國中華民族治外法權關係條約集	48	滿洲に於ける製粉業	168	滿洲農業の特質と日滿農業の比較研究	141
滿洲帝國の現勢	266 267	滿洲に於ける赤化宣傳事情概要	206	滿洲農耕地生産力並に人口支持力に關する研究	133
滿洲帝國文教部年鑑	231	滿洲に於けるセメント工業と其の需給狀況	165	滿洲農作物收穫量推測	143
滿洲出稼移民移民ノ數的考察	195	滿洲に於ける通貨及金融の概要	106	滿洲農業地帯分布圖	134
滿洲鐵道運輸總覽	175	滿洲に於ける通貨金融の過去及現在	106	滿洲農作物收穫高推想	143
滿洲鐵道運輸機關及施設一覽表	45	滿洲に於ける鐵道運費關稅に關する報告	176	滿洲農作物生産分布狀態一覽表	143
滿洲鐵道營業	165	滿洲に於ける電氣事業概況	163	滿洲農村社會實態調査報告	141
滿洲電氣協會概要	169	滿洲に於ける日本人の居住營業概況	114	滿洲の家屋建築	265
滿洲電氣協會名簿	169			滿洲の果園	147
滿洲電業株式會社營業報告書	168			滿洲の機械農業に就て	142
滿洲電信電話株式會社概要	183				
滿洲電信電話株式會社統計年報	181				
滿洲鐵道紀念寫真帖	246				
滿洲統計論	34				
滿洲東北部の地質及地誌	251				

目 名 索引

滿洲の農業と乾地農業	125	滿洲幣制の現在及將來	100, 261	課税	26
滿洲の金融機關と通貨	90	滿洲幣	264	滿洲附屬地農事統計	120
滿洲の畜力	214	滿洲貿易詳細統計	113	滿洲要覽	178
滿洲の礦業	153	滿洲貿易年報	118	滿日年鑑	294
滿洲の鐵産資源	163	滿洲包米に関する調査	144	滿蒙移殖民問題	196
滿洲の耕地面積調査表	72	滿洲北部の地質及地誌	261	滿蒙移民問題	196
滿洲の探金に就て	155	滿洲民法	19	滿蒙學術調査研究報告	226
滿洲の在來農具	136	滿洲問題	50	滿蒙慣習概要土地部編	16
滿洲の作庭	148	滿洲問題の葛藤	49	滿蒙慣習法の研究	16
滿洲の産業革命	127	滿洲油切現勢	165	滿蒙完成の原動力	262
滿洲の茶	265	滿洲畜養手引	140	滿蒙既設鐵道の收買狀態	73
滿洲の食鹽と化學工業	80	滿洲要覽	261	滿蒙經濟事情	64
滿洲之實業鑑	125	滿洲歴史地理	282	滿蒙經濟統計圖表	60
滿洲の新興工業	156, 261	滿洲労働事情總覽	213	滿蒙經濟の實勢	64
滿洲の人口と耕地の分布狀態	72	滿支國際經濟事情	64, 69	滿蒙經濟の真相	63
滿洲の森林と文化	220	滿支幣制改革問題	09	滿蒙經濟發展に對する日本の奮闘	50
滿洲の水産業	151	滿支關	264	滿蒙經濟要覽	63
滿洲の水田	133	慢性傳染病に因る死亡統計	180	滿蒙權益要覽	62
滿洲の水田事業と盛頓米の考察	134	滿鮮國境越境石鹼河調査	190	滿蒙研究総論	264
滿洲の纖維工業	163	滿鮮國境問題の解剖	51	滿蒙交界地方調査資料	64
滿洲の總面積と耕地面積との割合	72	滿鮮史研究	280	滿蒙講習會開會の辭	261
滿洲の總面積と人口密度	72	滿鮮支那興經濟	81	滿蒙講習會收辭	261
滿洲の地質及礦産	260	滿鮮地理歴史研究報告	261	滿蒙講座	261
滿洲の地方別人口分布狀態	73	滿鮮の統	260	滿蒙交通統計	170
滿洲の通貨不信用の支那土居民及 關係外國人に及ぼせる影響	109	滿鮮文化史蹟	326	滿蒙產業誌	125
滿洲の通貨問題と金融事情	100	滿蒙支邊境事情	278	滿蒙産業統計圖表	125
滿洲の電気事業	168	滿蒙の風雲を劃く	51	滿蒙資源給要覽	81
滿洲の農業	131	滿蒙營業報告書	177	滿蒙資源調査	73
滿洲の農業機構	137	滿蒙及滿洲國有鐵道運費改正の影 響	178	滿蒙事情(大連訪談)	263
滿洲の農畜産業の現勢	131, 261	滿蒙改組概案	177	滿蒙事情(吳市校所)	265
滿洲の皮革	149	滿蒙各旗所使役差工調査報告	215	滿蒙事情總覽	264
滿洲の富源吉林省	299	滿蒙貨物運賃制	175	滿蒙紹介	261
滿洲の牧羊	140	滿蒙銀行物目錄	228	滿蒙州工務課誌	113
滿洲の真大小工業	163	滿蒙教育施設一覽表	234	滿蒙經濟要覽	10
滿洲の棉花	146	滿蒙大連圖書館和滿蒙書目録	227	滿蒙植物誌	261
滿洲の棉花問題	146	滿蒙中央試驗所一覽	168	滿蒙成分論	34
滿洲八旗戸口	193	滿蒙中國人生計調査表	209	滿蒙史論叢	291
滿洲發達史	282	滿蒙地方經營概論	45	滿蒙水産講座	254
滿洲百萬戸移民國策の全貌	196	滿蒙地方經營統計年報	45	滿蒙政治經濟提要	28
滿洲物産の内地需要趨勢	143	滿蒙調查課刊行目錄	230	滿蒙全集	254
滿洲文學興廢考	241	滿蒙調查課附屬資料索引目錄	228	滿蒙全書	263
滿洲文化を語る	224	滿蒙統計年報	173	滿蒙概論	254
滿洲文化の發展	261	滿蒙の概要	177	滿蒙探險四十年	250
滿洲米作論	144	滿蒙附屬地衛生概況	248	滿蒙治安と日本	50
滿洲幣制史料	107	滿蒙附屬地居住者私經濟報告	64	滿蒙中央亞細亞燃料及水力資源解 説	163
滿洲幣制年表	108	滿蒙附屬地内に於ける支那幣不當		滿蒙調査復命書	63

滿蒙地理講座	251	滿蒙貿易統計總覽	119	史	32
滿蒙通覽	260	滿蒙民族誌	207	民國16—17年ノ滿洲出稼者	194
滿蒙經濟特許權制定方に関する 建議	170	滿蒙問題	49	民國18—19年ノ滿洲出稼移民移地 狀況	194
滿蒙鐵道の社會及經濟に及ぼせる 影響	173	滿蒙要覽	261	民國21年貿易報告	131
滿蒙鐵道網と交通問題	173, 261	滿蒙より何を期すべし	81	民國二十二年之建設	205
滿蒙鐵道網の發達	174	滿蒙林業講座	254	民國鐵道年鑑	173
滿蒙傳説集	379	滿蒙歷史地理辭典	260	滿蒙法與協會	18
滿蒙都邑全誌	264	(三)		民 事	24
滿蒙と佛教	262	三井寺所屬の礦山所に就て	260	民衆教育	230
滿蒙に於ける各團の合併事業	83	三藩統計計書	199	民事慣例集不動產、動產ノ部	16
滿蒙に於ける自動車輸送狀況	171	水ト土地ニ關スル事例	186	民事訴訟強制執行法	13
滿蒙に於ける鐵道の概要	174	水の法律	17	民事訴訟傳達	13
滿蒙に於ける日本の投資額、滿蒙に 於ける世界各國の投資額	84	港工學	180	民事訴訟法(審判)	7, 11
滿蒙に於ける日本の投資狀況	83	兩河弗利加聯邦經濟事情法に貿易 狀況	121	民事訴訟法(郭)	13, 22
滿蒙ニ於ケル荷馬車	171	兩アメリカ年鑑	295	民事訴訟法概論	32
滿蒙に於ける農業經營の研究	136	兩支那に於ける農村問題	180	民事訴訟法記錄	22
滿蒙に於ける鐵道に就て	148	兩太平洋讀本	273	民事統計年鑑	19
滿蒙に於ける未完成鐵道一覽表	73	兩滿洲各縣藥物學綱	73	民事籍	2
滿蒙に於て表權益の託屬せられた る事例	63	兩滿洲吉林附近森林並ニ林業ニ就 テ	150	民主政治と獨裁政治	31
滿蒙年鑑	294	兩滿洲經濟調查資料	64	明初の開闢と莊田の發生に就て	290
滿蒙農業移民機關の事業及基金	196	兩滿洲礦産地及鑛産統計	153	民政年報	30
滿蒙の化學工業	263	兩滿洲主要都市ト其背後地	268	民政部衛生例規輯覽	248
滿蒙の茶畜及畜産講座	254	兩滿洲主要都市勞働賃額一覽表	73	民政部各省公署重要行政規程彙編 告習	36
滿蒙の氣象	262	兩滿洲河川堤防問題	187	民生部戶口調査及各家估計	103
滿蒙の經濟建設	72	兩滿洲鐵道株式會社營業一統	177	民政部資料分類目錄	229
滿蒙の鐵道實況	263	兩滿洲鐵道株式會社三十年略史	177	民政部統計年報	36
滿蒙の財政	262	兩滿洲ニ於ケル宗教概觀	238	民生部選野目錄	229
滿蒙の宗教	263	兩滿洲に於ける支那人の經濟的對 外關係	84	民政部要覽	45
滿蒙の植物	262	兩滿洲ニ於ケル支那勞働者募集及 移動狀況	313	民族の問題	207
滿蒙の森林	262	兩滿洲ニ於ケル商業	113	明末清初の開闢	290
滿蒙の水道	263	兩滿洲農業概要	131	明南京東營司職掌	171
滿蒙の製絲業	263	兩滿洲農村土地及農家經濟の研究	133	明の太祖教育勅語に就て	291
滿蒙の探査	259	身元保證法釋義	10	民 法	12
滿蒙の地理地質	263	瓦城縣庚辰治沿革史	134	民法概論	17
滿蒙の鐵道問題商榷問題に就て	174	明日の貨幣	107	民法繼承	13
滿蒙の天然資源と其利用に就て	263	明日の滿蒙經濟	262	民法繼承附義	13
滿蒙の動力	263	民國以降に於ける支那語文運動	225	民法講話	19
滿蒙の鹽を解く	264	民國財政史(滿蒙調查)	88	民法關係法規	1
滿蒙の農牧林業	50	民國財政史(實)	88	民法債權	13
滿蒙の風俗習慣	262	民國財政史	88	民法債權附則釋義	13
滿蒙の文化的開發と日本の密與	219	民國十四年度に於ける軍費入關小		民法債權附則釋義	13
滿蒙之歷史地理的研究	264			民法罰則	13
滿蒙物資吞吐口トシテノ管口	180			民法債權集解	18

書名索引

民法税則釋義	13	綿布並に綿織物工業に関する調査		蒙務公債發給	254
民法親族編	18	醫	151	盲目飛行の理論と實際	181
民法總則(我妻)	4. 19	綿羊飼育精説	149	蒙和辭典	245
民法總則(胡)	42	綿羊飼育法	149	木材乾留生産物の北滿に於ける動向	169
民法總則釋義	13			木材貿易表	151
民法總論	19	(モ)		門司港海事要覽	179
民法大意	19	蒙 覆	278	門司港道局重要貨物統計年報	176
民法判例總覽債權	23	蒙古(山本實齊)	250	モノアミン類の結晶學的試驗並に其化學構造との關係に就て	222
民法物權	13	蒙古(農商務省)	296	物の經濟	57
民法物權釋義	13	蒙古及蒙古人	276	極楽佛印大辭典	249
民有地ニ關スル統計材料	186	蒙古概況與内蒙自治運動	288	モロッコ經濟事情並に日本との貿易事情	121
明律と新律綱領	221	蒙古鑑	278	問 事	24
		蒙古近世史	288	文 選	242
(△)		蒙古史記	291	文部省在外研究員表	236
蒙其他教物要覽	145	蒙古語作文基礎	344	文部省推選映畫目錄	237
蒙統計表	145	蒙古語大辭典	245	文部省推選認定レコード目錄	237
無線電信電話	159	蒙古史	291	文部省表彰男女青年團名簿	237
無線電信電話概論	183	蒙古史研究	289		
無線電大要	183	蒙古事情概要	261, 265	(ヤ)	
		蒙古シベリヤ踏破記	260	冶金學	154
(メ)		蒙古社會制度史	266	ヤクウト共和國	276, 279
明仁鑑	27	蒙古人名錄	292	躍進會社の再檢討	79
明治維新史講話	287	蒙古大要	298	躍進過程の滿洲帝國	286
明治銀行史	99	蒙古地誌	276	躍進ゾグエート經濟讀本	68
明治孝節錄	241	蒙古地名辭典	253	躍進朝鮮の意義と對路	20, 274
明治財政史	88	蒙古地名ノ解説	255	約法釋義	13
明治史要	283	蒙古鐵路交通圖	259	セ克力考	280
明治初中葉ノ滿洲文獻	230	蒙古と新滿	295	靖國神社臨時大學記念寫眞帖	239, 246
明治初年の官營產業に就て	62	蒙古年鑑	294	入籍製鐵所應募	155
明治生命保險株式會社報告	10	蒙古の許馬雲と貝孫曼	291	山岡博士教授二十五年紀念論文集	230
明治大正國事年譜	283	蒙古の天然資源	156	山形縣蠶桑統計	148
明治大正選舉總覽	80	蒙古民族自治運動	208	山形縣の觀光と物産	260
明治大正財政史	38	蒙古民族の慣習法	15	山形縣米作統計	154
明治大正財政詳覽	88	蒙古遊牧記	276	山形ラーメンの固有振動數計算に關する一つの研究	233
明治大正昭和資料(近代日本史)	283	蒙古要覽	276	山口高等師範學校改稱三十四年紀念論文集	225
明治大正昭和歷史資料全集	283	蒙古律令	19	山田會長遺體祝賀紀念論文集	132
明治天皇と立憲政治	32	蒙古旅行	259	大和の展覧	274
明治文化全集	223	蒙政部管内主要都市及村鎮戶口統計	193	山縣縣報告例	199
明治文獻目錄	228	蒙政部調査資料	277	山本博士遷葬祝賀紀念論文集	61
明治編年史	285	蒙政部法規類纂	3	山本英樹乃博士年譜及著書論文目録	62
送 信	262	蒙政部法規類纂	3		
メートル法の促進と實行	128	蒙政院召集蒙事會議々事錄	31		
棉 業	198	蒙政事紀略	270		
綿業と國際經濟	162	蒙政狀況	276		
綿絲紡績事情參考書	163	蒙文丹珠爾記	289		
免稅點以下の小額所得者	82	蒙務行政ノ沿革	26		

(ユ)

噴物監製典	240
ユ—ゴ—スラヴキヤ新民事訴訟法	22
遊就館年報	54
郵政局所務理事務便覽	188
郵政事務總記	183
郵政事務年報	183
郵政職員錄	183
郵政補助金利用法	183
有線電信電話	159
有線農業用線	129
郵便貯金府縣別職業別統計表	103
郵便貯金郵便局別統計表	103
雄邦日本東亞復興	28
有用木材の性質及用途	151
油脂化學及油脂各論	185
輸出關係の rags 及 wastes に就て	121
輸出組合關係法規	21
輸出信用補償論	98
輸出入税率新舊對照表	96
輸出入税率表	96
輸出入貿易上の諸問題	122
輸入税額と國內物價との關係	63
輸入税率表	96
ユマイ民族の世界支那獲得運動	207
油中浴面コロムに就て	221

(ヨ)

養蠶家畜相續	129
養蠶—關スル經濟調査	150
養蠶之秘訣	150
揚子江水誌誌	179
揚子江中間金融論	100
用途別需要ヨリ觀タル滿洲石炭ノ過去現在及將來	159
獲得證書—關スル調査	209
羊毛工業	158
羊毛ノ配給ト滿洲綿羊ノ將來	149
要覽表	193
ヨーロッパ年鑑	205
現金通貨ノ研究	100
預金部論	98
四桁の對照尺	249
橫濱電氣覽	179
橫濱商工會議所年報	111
橫濱手形交換所報告	104

豫算統制ノ研究	90
豫算統制論	89
豫算編成ノ理論ト實際	90

(ラ)

禮記	242
落花生検査事業概況	145
拉薩建設工事寫真帖	176
羅北縣事情	264
喇嘛廟及喇嘛教	240
關於印度民族史	207

(リ)

羅化縣一般狀況	41
流官實錄	226
龍江省五大通池火山地形地質圖	251
龍江省五大通池火山地質調査報告	251
文	251
龍江省安東縣事情	270
龍江省甘肅縣事情	271
龍江省雙陽縣事情	271
龍江省克東縣事情	271
龍江省洮南縣事情	270
龍江省嫩江縣事情	271
龍江省拜泉縣政概要	41
龍江省富裕縣事情	270
龍江省杜爾伯特旗事情	271
龍江省歸化縣事情	271
龍沙紀略	264
理化學辭典	249
理化詞典	248
理化年報	248
釐金税に就て	95
陸軍省統計年報	55
陸軍讀本	55
六朝秘史註	288
刊子論研究	105
リストの國民生産力説	63
李太白詩集	243
吏治管見類鈔	46
李朝末期の農林	204
律師	24
リフトン報告書	53
立法院年鑑	45
李唐本後漢書の考索	289
理髮業	198
利源計算ノ仕方	105

縣地圖描法	254
瀋河	181
遼河水運	180
遼河ト松花江	180
遼寧縣行政年報	29
遼寧縣事情	269
遼史源流考與遼史初校	298
遼中縣統計彙刊	10
遼東志	261
遼の文化を探る	227
遼寧省工場暫行規則	21
遼寧省財政統計年報	86
遼寧省商業公司施行附則	21
遼寧省政府委員會議事錄	41
遼寧農林總局暫行農林例規	129
遼陽附近ヲ中心トスル太子河ノ流	
遼ト洪水記録	200
遼陽石刻集錄	246
糧業	198
領事裁判權に對する司法部の處理	
概況	25
兩宋思想述評	241
兩宋田賦制度	94, 206
旅館業	198
旅順を漁港とする問題に就て	151
旅大及金大間自動車輸送旅客統計	173
理論電氣學	159
林業經濟學	150
臨江縣一般狀況	41
臨時工問題—關スル參考資料	214
臨時產業調査局資料目錄	229
臨時臺灣關係調査會第一部隊夜報	
告警	15
臨時臺灣戶口調査	193
臨時土地調査局々報抄錄	186
隣邦ロシヤ	278
林邑建國の始末について	289
倫理佛道講草案	241

(ル)

果樹開拓の起源に就いての小考	289
ル—イス國債統治論	196
ル—バー照明法に就て	223

(レ)

禮教資料彙編	246
--------	-----

例規類纂 183
 零賣物價統計表康慶元年度 110
 黎明大亞細亞 34
 歴史語言研究所集刊 290
 歴史上ヨリ見タル南北支那 290
 歴史資料全集 283
 現代文化史綱要大綱 283
 歴代名人年譜 293
 曆法及時法 250
 列強軍需資源論 65. 81
 列強對滿工作史 51
 列強の戰時經濟政策 74
 列強海軍の情勢 56
 列強議會同盟並同日本職員團概要 33
 列強の勞年鑑 292. 293
 列強の勞要覽 293
 列強實業概要 80
 列強ノ對支投資 83
 聯盟技術合作と支那經濟の前途 68

(ロ)

勞作教育 263
 勞資協調の諸方法 214
 老子莊子列子 242
 勞資運動調査報告 215
 勞資關係法規 212
 勞資協約の法學的構成 217
 勞資協約理論史 217
 勞資組合及勞資爭議統計 215
 勞資組合ニ關スル各國法令 215
 勞資組合法案の沿革 215
 勞資組合法ニ關スル調査 214
 勞資關係狀態 214
 勞資時間と失業 216
 勞資者災害扶助法案ニ關スル意見
 並參考資料 212
 勞資者餘暇利用法 215
 勞資爭議ニ關スル各國法令 215
 勞資統計 213
 勞資統計概説 213
 勞資統計實地調査結果概要 213
 勞資統計實地調査提要 213
 勞資統計實地調査の概要 213
 勞資統計實地調査報告 213
 勞資統計要覽 213
 勞資統計實地調査報告 213

勞資統計論 193. 213
 勞資年鑑 213
 勞資法 4. 212
 勞資法規及社會法規 212
 勞資法原理 213
 勞資法土地法 11
 勞資問題調査報告 214
 勞資黨團研究報告 279
 勞資黨團土地法の研究 186
 勞資黨團の産業と文化計畫 126
 勞資黨團の生産と消費 68
 勞資黨團の産業狀態と外國貿易
 の前途 126
 羅馬元帝政の起源と本質 32
 ローマ國體人口會議資料 191
 羅馬文化 292
 羅馬法の世界史的使命 14
 勞務管理 214
 六十年間に於ける郵便貯金經濟史
 圖 103
 六十五年來中國の貿易統計 119
 六法全書 16
 六法理由判解彙編 16
 露國亞細亞鐵路との契約 48
 露國に於けるボリシエイズム發
 達史 206
 露國農民の課税及其他負擔重度の
 研究 91
 露國の對外貿易 131
 露語熟語辭典 245
 露西亞刑法 19
 ロシア新辭典 245
 ロシヤ史 291
 露西亞社會經濟史 71
 露西亞諸民族の研究 207
 ロシヤ大綱 279
 露西亞帝國滿洲侵略史 51
 ロシヤ圖本 276
 ロシヤに於ける協同組合 76
 ロシアノ協同組合 76
 露西亞民事訴訟法 23
 露西亞民法 19
 ロシヤはどら出るか 30
 露支關係ノ研究 53
 呂氏春秋 242
 露滿鐵路關係史 51
 露國極東に於ける職業組合の組成 210

露國極東地誌 278
 露國極東の活葉判牒 154
 露國極東の資源と産業 81
 露國極東の農業と牧民問題 137
 露國極東の林業と林況 150
 露和辭典 245
 露和大辭典 245
 論華北經濟及其前途 69
 論極東 210

(ワ)

ワーゲンマン經濟理論の研究 221
 淮河流域地理學導論問題 185
 和英植物學用語新辭典 251
 和英動物學用語新辭典 251
 吾が委任統治地たる南洋群島と吾
 か國との法律關係 231
 若き滿洲 265
 我國過小島問題と共同經營 136
 我が國株式會社に於ける株式分散
 と支那 78
 我國工業に於ける小企業の殘存に
 關する一研究 61
 我國最近の經濟と財政 66
 我國最近の地租問題 94
 我國主要産業の諸構成 125
 我國主要都市に於ける瓦斯事業發
 達契約 167
 我國主要都市に於ける電氣事業發
 達契約 167
 我國人口問題と滿蒙 191
 我國人口問題の解決方針 191
 我國農業經濟狀況 135
 我國貿易統計に關する關係當業者
 の意見並參考資料 118
 我國民間航空事業と其將來 225
 我國木材需給と木材滿洲材 151
 我國ニ於ケル解雇手當制度ノ現状 216
 我國に於ける化學工業の發達 164
 我國ニ於ケル國民政策學ノ發達 62
 我國ニ於ケル國際交渉及團體協約 210
 我國ニ於ケル貨價及ビ物價ノ統計
 的研究 109. 216
 我國ニ於ケル農業委員會制度ノ新
 我國ニ於ケル勞務委員會制度 214
 我國ニ於ケル勞務者退職手當制度
 ノ現状 216

我國ノ各機關	105	我財界の現状と其對策	75	和議法	10
我國ノ關稅	96	我社の統計作成方法	183	和	115
我國ノ金融市場	99	我大體經營失敗の眞相	34	和の病虫書	147
我國ノ長氣運價ト長氣變動	79	我が華國の精神	221	私の見たソヴェートロシア	259
我國ノ國貨	98	我農村經濟の真相	186	和尙辭典 (澤井・辻)	216
我國ノ戰時經濟	74	和歌山縣統計書	200	和尙辭典 (櫻田)	216
我國勞務法債及判決例	313	和歌山高等商業學校一覽	232	和佛辭典	216
我國民經濟の目標と國民の態度	65	和漢書書名目錄	229	輪中聚落地誌	273
我が工業所有權と滿洲國	162	和漢書分類目錄	228	和尙觀事績	270

漢 籍 之 部

(ア一才)

亞洲北部地圖	301	遊藝記要、安瀾記要	313	河北省昌平州志	306
安徽省安慶縣志	304	岳忠武王文集	321	河北省任邱縣志	306
安徽省懷仁(樹仁)縣志	304	各部院條例册	316	河北省新縣志	304
安徽省懷仁縣志	304	嘉慶重修一統志索引	323	河北省涇陽縣志	306
安徽省實地縣志略	304	河東鹽法綱要	319	河北省青縣志	306
安徽省岢嵐縣志	303	河南財政說明書	319	河北省清苑縣	305
安徽省莊河縣志	303	河南省新鄉縣志	312	河北省滄縣志	306
安徽省鳳城縣志	303	河南省新鄉縣續志	312	河北省井陘縣志	304
金野書目	323	河南省通志	312	河北省正定縣志	305
段氏說文解字註	296	河南省洛陽縣志	312	河北省遷安縣志	305
秋水室全集	323	河南省諸邑縣承情	312	河北省懷慶縣志補正	305
謝府治道	297	河北省安寧縣志	306	河北省長垣縣志	306
于省齋院長真思錄	300	河北省安次縣志西四種合刊	308	河北省趙州志	305
雲南省財政廳關於全省財政說明書初稿	319	河北省靈壽志	305	河北省直隸通化州志	306
豫誠通志	301	河北省永年縣	305	河北省大名府志	305
永定河志	313	河北省永年縣志	306	河北省定州志	305
龍運通志	321	河北省易水志	306	河北省天輝縣志	304
延吉邊務報告書	313	河北省灤縣志	305	河北省天津市概要	307
段錫堂軍記	324	河北省灤縣續考	307	河北省唐縣志	305
續段軍記	314	河北省開州縣志	305	河北省東陽縣志	305
劉川龍氏本國策	318	河北省博野縣志	305	河北省南宮縣志	305
王氏續古文辭類	297	河北省安鄉縣志	307	河北省南皮縣志	307
王船山遺書	321	河北省邯鄲縣志	306	河北省青縣志	305
王文成公全集	321	河北省新縣志	305	河北省無極縣志	305
		河北省新縣志	306	河北省文安縣志	305
		河北省景縣新志	307	河北省陽山縣志	306
		河北省獻縣志	306	河北省鹽山縣志	306
		河北省元氏縣志	305	河北省鹽山縣志	306
		河北省閻安文獻志	307	河北省晉縣志	306
		河北省香河縣志	306	河北省藁城縣志	306
		河北省高陽縣志	306	河北省樂亭縣志	305
		河北省故城縣志	305	河北省頭州志	306
		河北省三河縣志	307	河北省灤縣志	306
		河北省三河縣新志	307	河北省灤縣志	306
				河北省寶坻縣志	306
				河北省灤縣志略	306
				河北省容城縣志	306
				河北省藁城縣志	305
				河北省樂亭縣志	305
				河北省頭州志	306
				河北省灤縣志	306
				河北省灤縣志	306

(カ)

河北省臨榆縣志
 河北省靈壽縣志
 崑崙指南五種
 宦海伏波大事記
 廣西財政沿革利弊說明書
 廣東財政說明書
 廣東新話
 廣東圖說
 漢學通義
 漢籍六部成語
 漢名臣傳
 韻字源因
 漢律考

(キ)

舊五代史
 九通
 窮唐書
 九通圖論
 貴州省財政說明書
 魏書
 執政紀要初編
 義會全圖
 吉林外記
 吉林省財政報告書
 吉林省懷德縣志
 吉林省懷德懷德縣志
 吉林省農安縣志
 吉林省扶餘縣志
 吉林地理紀要
 吉林通志
 吉林東寧廳屯墾報告
 吉林農安戊辰政治報告書
 吉林輿地圖說
 冀東紀念專刊
 破補河道水利報告書
 漢籍通話
 玉海
 御纂學政全書
 御纂周易折中
 御製實政要覽
 御製孝經
 御批通鑑輯覽
 許氏說文解字
 許氏方輿考證稿
 金吾事例
 金史

306 錦州省義縣志
 304 錦州省鎮西縣志
 317 錦州省興城縣志
 324 錦州省彰武縣志
 319 錦州省中縣志
 319 錦州省鎮安縣志
 314 錦州省義安縣志
 301 錦州省朝陽縣志
 296 錦州省阜新縣志
 296 錦州省北鎮縣志
 299 錦州府政治報告書
 323 近代滿洲社會史
 316 欽定四庫全書
 欽定河源記略
 欽定宮中現行則例
 欽定康濟錄
 欽定工部則例
 欽定鑾子監則例
 欽定五軍遊軍表
 欽定戶部則例
 欽定河官義疏
 欽定辭林典故
 欽定四庫全書總目
 欽定授時通考
 欽定春秋傳說彙纂
 欽定全唐詩
 欽定總督內務府堂現行則例
 欽定宗室覺羅律例
 欽定宗人府則例
 欽定大清律例
 欽定中樞政考
 欽定中樞禮纂
 欽定同文韻鏡
 欽定熱河志
 欽定八旗則例
 欽定兵部職分則例
 欽定兵部禮儀處分則例
 欽定禮記義疏
 欽定禮部職分則例
 欽定吏部職分司取程
 欽定吏部職分取程
 欽定禮部則例
 御書
 輿地訪古志

(ク)

(ケ)

303 刑決考
 304 月令輯要
 304 元史
 304 元書
 304 元聖武統征錄
 304 元朝歷史
 304 乾隆御製盛京賦
 304 乾隆府廳州縣志
 304 元和郡縣志
 304 元和姓纂
 320
 300
 318 廣雅釋義
 313 後漢書
 315 興京縣志
 318 膠濟鐵路經濟調查彙編
 315 恒山志
 317 廣宗縣志
 315 香齋集
 316 皇清經解
 296 皇清經解續編
 322 皇清奏議
 314 光宣列傳
 296 江蘇省嘉定縣志
 322 江西省清江縣志
 316 江西全省輿圖
 316 江蘇省甘泉小志
 316 江蘇省溧江府志
 316 江蘇省蘇州府志
 318 江蘇省重刊江寧府志
 318 江蘇省蘇州志
 297 江蘇全省輿圖
 304 廣治平略
 315 皇朝經世文編
 315 皇朝聖典要覽
 318 皇朝李固堂編
 296 皇朝禮文獻通考
 318 皇朝輿地略
 318 光緒會計錄
 318 光緒職方府志
 318 江北通程
 吾學初稿
 後漢書
 黑龍省懷德縣志
 黑水先民傳
 黑龍事略

(コ)

國朝學案小叢	321	山西省直隸龍州志	311	山東省濟南縣志	308
國朝書款類微初編	299	山西省定襄縣志	311	山東省濟寧直隸州志	310
國朝宮史	299	山西省定襄縣志補	311	山東省濟寧直隸州續志	310
國朝史料拾零	300	山西省聞喜縣志	310	山東省濟陽縣志	307
國朝先正事略	290	山西省汾州府志	311	山東省濰水縣志	308
黑龍江外紀	303	山西省汾陽縣志	310	山東省壽光縣志	308
黑龍江疆域設略	320	山西省平定州志補	311	山東省壽張縣志	308
黑龍江財政說明書	319	山西省平遙縣志	310	山東省滋陽縣志	309
黑龍江志稿	303	山西省顯泰志	311	山東省招遠縣志	309
黑龍江述略	303	山西省蒲州府志	310	山東省商河縣志	308
黑龍江通志綱要	303	山西省孟縣志	310	山東省章邱縣志	308
國立北平圖書館善本叢書	324	山西省榆次縣志	311	山東省城武縣志	308
國立北平圖書館方志目錄	323	山西省臨縣志	310	山東省昌邑縣志	307
五代史	297	山西省臨晉縣志	310	山東省昌樂縣志	308
五朝紀事本末	298	山西省靈石縣志	310	山東省濰縣縣志	310
湖南財政說明書	310	山西全省各府廳分縣地方概況各款		山東省濰縣縣志	310
戶部陝西司會典奏稿	315	說明書	319	山東省新泰縣志	309
呼倫貝爾邊防調查報告	313	山西龍政彙編	320	山東省鄒縣志	307
虎豹集	318	山西太平縣志	310	山東省鄒平縣志	309
朝政綱要	320	山西澤州內外府牧歌說明書	319	山東省諸城縣志	308
		山西六政三事彙編	320	山東省青城縣志	308
		觀察萃編	319	山東省濟平縣志	308
(十)		山東考古錄及續編	300	山東省濰縣縣志	310
新編定縣縣志紀念製刊	317	山東省威海衛志	310	山東省即墨縣志	309
朔方屬考	313	山東省鄒縣志	307	山東省膠安縣志	307
佐營須知	317	山東省禹城縣志	309	山東省濰縣志	310
三公奏議	315	山東省鄒縣志	308	山東省長山縣志	308
三江省安陽縣志	303	山東省掖縣志	309	山東省長清縣志	309
三江省澤州縣志	303	山東省益縣志	307	山東省定陶縣志	308
三江省寶清縣志	308	山東省鄒縣志	308	山東省濰縣志	309
三關志	297	山東省濰縣志	309	山東省東阿縣志	309
三朝北監會議	298	山東省夏津縣志	307	山東省東昌府志	307
三朝通事官錄	298	山東省高唐縣志	309	山東省東平縣志	308
山西介休縣志	310	山東省冠縣志	309	山東省堂邑縣志	307
山西壽陽縣志	310	山東省鄒縣志	308	山東省德州志	308
山西省水滸縣志	311	山東省鄒縣志	309	山東省日照縣志	309
山西省祁縣志	310	山東省沂州府志	307	山東省博平縣志	308
山西省絳縣志	310	山東省沂水縣志	308	山東省臨沂縣志	309
山西省五臺縣志	311	山東省曲阜縣志	308	山東省費縣志	308
山西省澤州州志	310	山東省魚臺縣志	308	山東省肥城縣志	309
山西省澤州州續志	310	山東省金鄉縣志	309	山東省濮州志	308
山西省山西通志	311	山東省惠民縣志	309	山東省汶上縣志	307
山西省廣靈縣志	310	山東省濰縣志	309	山東省平陰縣志	307
山西省太原縣志	310	山東省滕州志	309	山東省平度縣志	308
山西省代州志	310	山東省高密縣志	307	山東省濰縣志	310
山西省大同縣志	311	山東省濟河縣志	307	山東省濰縣志	307
山西省地城縣志	311	山東省濟東縣志	309	山東省濰縣志	309
山西省具治縣志	311				

讀河南通志 312
 讀閩省通志 296
 讀修昌縣志 302
 讀陝西省通志 311
 讀太原縣志 310
 讀天津縣志 304
 蘇州志 306

(夕)

大嶽太和中記略 313
 大金綱目 296
 大金集禮 317
 大元聖政國朝典章 318
 大塚史料目錄 300
 大治一統圖 301
 大治會典 318
 大清會典事例 318
 大清會典圖 318
 大清現行刑律 316
 大清光緒新法令 316
 大清通禮 317
 大清法現大全 316
 大清律例修訂例 315
 大清律例增修條覽 316
 大清律例增修註釋集成 316
 大清律例通考 315
 大清歷朝官錄 298
 太祖高皇帝實錄稿本三種 299
 大名府續志 306
 豫省志 306

(子)

中外交涉類要表光緒通商條約表 320
 中外大事彙記 320
 中俄界約前注中外交涉類要表 320
 中興奏議 315
 中國大學講義彙刊 314
 中西典故彙記 317
 蜀漢圖 318
 西藏圖 315
 西藏史大綱 298
 西藏圖考 301
 察哈爾省蔚州志 312
 察哈爾省蔚州志補 312
 察哈爾省廣安縣志 312
 察哈爾省口北三廳志 312
 察哈爾省宣化縣志 312

察哈爾省宣化府志 312
 察哈爾省重慶懷來縣志 312
 察哈爾省察哈爾省通志 312
 察哈爾省張北縣志 312
 察哈爾省懷安縣志 312
 察哈爾省萬全縣志 312
 察哈爾省張家口縣志 312
 調查圖說報告書 320
 朝鮮史 296
 朝鮮史料彙刊 300
 趙文敏公松雪齋全集 320
 直隸清理財政局說明書 319
 陳 器 297
 沈文肅公政書 315

(ツ)

通化縣志 302
 通化省臨南廳志 301
 通化省輯安縣志 304
 通化縣輯安縣廳志 304
 通化省撫松縣志 304
 通化省臨江縣志 303
 通行條例 316
 通志堂經解 323
 通志堂經解提要 323
 通制略 321
 通俗編 321

(テ)

檉嶺街志及續 302
 天下郡國利病圖 300
 田賦草稿 310

(ト)

通學源流錄 296
 東華錄 298
 東華續錄 298, 299
 東三省移民開墾意見書 320
 東三省沿革表 301
 東三省警務志 317
 東三省政略 314
 東亞圖考 324
 唐會要 318
 唐 書 297
 唐律疏義 316
 唐六典 318
 讀史方輿記要 300

度支部試算宣統三年預算案總表 330
 歸治要錄四種 317
 國民錄 317
 敦煌石窟遺書 323

(十一)

內府地圖 301
 兩 史 297
 兩齊書 297
 二曲集 321
 二曲全集 322
 二十一史約編 298
 日本訪書志 323
 寶古塔記略 314
 熱河省承德府志 304
 熱河省赤峰縣志略 304
 農安縣丁未報告書 320
 農工商部現行章程二十一種 317
 農政全書 321

(ハ)

佩文韻府 297
 八旗氏族通譜要 299
 八旗文匯 323
 鍾山志 374
 海部要略 320
 統明史稿考 300
 百川學海 323
 評選四六法函 317
 浙江省呼圖縣志 301
 浙江省餘杭縣志 303
 浙江省豐城縣志 303
 浙江省寶縣志 303
 武夷殿參政書目 323
 福惠全書 317
 福建財政沿革利弊說明書 319
 撫東政略 315
 文獻叢編 322
 文獻重編增刊 322
 文獻通考 321
 平定志 299
 平谷縣志 306
 平津館藏書 324
 平書彙編 315
 北平史話叢書 300
 歐陽文忠公遺書三種 323
 編纂外藩蒙古圖部王公傳 299

編纂外藩蒙古圖部王公表
編纂四庫全書檔案

(水)

方志考稿 314
奉天省營口縣志 302
奉天省開原縣志 302
奉天省海城縣志 302
奉天省蓋平縣志 302
奉天省興京縣志 302
奉天省財政沿革利弊說明野 319
奉天省昌圖縣志 302
奉天省西安縣志 302
奉天省盛京通志 301, 302
奉天省遼寧縣志 302
奉天省遼中縣志 302
奉天省遼陽縣志 302
奉天省東寧縣志 302
奉天省瀋陽縣志 302
奉天省奉化縣志 303
奉天省梨樹縣志 302
奉天省遼中縣志 302
奉天省遼陽縣志 302
奉天省遼寧縣志 302
北史 397
北齊書 397
牧令書 317
保甲書綱要 317
牡丹江省寧安縣志 303
補註沈寧縣志 321
渤海國志長編 299
本草綱目 321

(マ一モ)

滿洲源流考 299
滿洲祭神祭天典禮 317
滿洲實錄 299
滿洲四禮集 318
滿洲名臣傳 399
滿洲老儀儀錄 299
滿洲公文成語 296
明季史料拾零 300
明季遼東叢刊 313
明元清系通紀 300
明史 298
明儒學案 321
明清史料 300

明大政要 319
名臣指掌新編 316
蒙古源流 299
蒙古源流考 299
蒙古史料校註 300
蒙古遊牧記 314
衆議院調查內外蒙古總統計報告書 314
蒙古史記 299
向影樓輿地叢書 323

(ユ一ヨ)
郵傳部奏請開辦 316
郵傳部奏請分類補編 316
郵傳部第一次統計表 320
遊日記事 314
雲南筆記 320
姚氏故鄉雜錄 297
遊城仙館雜書三種 323
餘瀝文鈔存 322
豫河志 313
輿地沿革志 301
輿地圖記 301

(リ一口)
開河縣志 302
龍江依安縣志 303
龍江訥河縣志 303
六四分類 321
陸食公集 322
六朝古文 322
六朝事跡編類 298
六譯館譯語 323
律令便覽 316
李文忠公全集 321
遼東戰事 323
兩漢策要 315
遼金元史新編 298
遼 眞 322
遼 史 398
遼史拾遺 298
樂 書 297
編譯法志 310
龍南直隸州志 300
林文忠公集續編 315
林文忠公政書 315
邵亭知見錄本書目 322
禮山園全集 322

歷代社會狀況史 300
歷代職官表 317
歷代帝王年表 298
歷代名臣奏議選 315
歷代輿地沿革要圖 301
禮山志 314



著者名索引

(7)

環環公署		青山秀三郎		解部	63
黒河省産物検査品評會概況	143	採礦冶金工学最近の進歩	160	萬田 均	
會田純治		明石國男		最近世界外交史	49
明律と新律附録	221	明治銀行史	99	極東に於ける露西砲の準備工作	52
愛知縣農會		赤坂高之澤		亞細亞民族聯盟	
農家經濟調査	136	人類と文化	226	亞細亞民族大會準備會報告書	208
臺灣-關スル經濟調査	150	赤松祐之		阿城縣公署	
青森西郡		太平洋問題	60	阿城縣政一般狀況	41
農家經濟地理	257	昭和10-11年の關稅情勢	51	亞新地學社	
青本孝義		關稅經濟關係下ノ容州	84	河北分縣群圖	258
ワグマン貨幣理論の研究	221	印度民族史	267	香島町教育會	
青本 保		關稅印度民族史	207	鮮滿の旅	250
兵器讀本	55	秋澤修二		安達祥三	
青本彌夫		ナチスの經濟と哲學	69	特許法	9, 10
外國公債論	104	秋永 肇		官用新案法	10
青本得三		一八六七年の選舉法改正と自由主義	34	意匠法	11
地方財政ノ理論	87	淺川勇吉		商標法	11
産入産出詳論	90	金屬材料の疲勞研究上の二三の意見	228	安達太郎	
特種金融機關論	98	淺田謙三		經濟市況の全知識	117
貨幣論	106	航空務職權	181	足立正行	
青本楠太郎		淺野 見		朝鮮滿洲運地覽	171
金算計算書	105	東洋の理想	241	厚本壽基	
青森縣		淺野檢次郎		バルブ及紙	104
青森縣之産業	126	日本紳士誌	280	人造絹絲	104
社會關係聯合規	208	淺野 真		東 季憲	
青森縣對一覽	274	企業の實務知識	78	出版權の擴張に就いて	221
統計ヨリ見タル青森縣の地位	274	淺野利三郎		東川徳治	
青森縣對更覽	274	滿蒙之歴史地理的研究	264	支那法制大辭典	3
青森縣山林會		朝日新聞社		典 海	244
青森縣山林要覽	150	朝日經濟年史	59	東本龍七	
青森縣町		日本經濟統計總覽	60	郷土地理對帖	255
移殖民精神と信仰	263	最近の海外新市場	112	阿比留乾二	
滿蒙講習會開會の辭	263	東亞貿易大觀	119	國際問題ヨリ見タル滿蒙	49
青山定男		朝日時局讀本	219	國際的に見たる我國の滿洲に於ける特殊地位	63
支那近代地名更覽	255	朝日年鑑	294	國際問題ヨリ見たる滿蒙	261
青山素司		朝日東亞年報	206	論本重吉	
保險契約法	7	朝比嘉知康		滿蒙問題	58
青山信雄		明治大正昭和資料(近代日本史)	283	外國貿易政策	118
植物學概論	154	淺見登野		阿部 勇	
青山勇夫		日本殖民地統制論	196	滿蒙經濟發展に對する日本の密與	50
馬占の經濟理論	70	淺宮政夫		日本財政論	86
		轉換期に於けるアメリカ經濟の		世界恐慌と財政	98

本邦の工業と滿洲の原料	158	統計學	200	安東の豆柏	165
滿洲工業事情	158	統計學講義案	200	安東省警務廳	
阿部市五郎		統計學(上・下)	202	羅織資料編	37
チエレーン生活形態としての園		有富光門		安東省公署	
家	33	滿蒙探險四十年	259	地方制度關係法令輯覽	39
阿部賢一		有限後二		安東省公署關野分類目錄	220
非常時財政權本	86	最新滿蒙軍事學	159	安東總商會	
阿部源一		有先金兵衛		安東商工業諸名録	113
人口資源殖民地	100	公文例規及公文例	47	アーナート	
阿部孝彦		有先次郎		滿蒙探險四十年	259
日大病院に於ける胸部レントゲン像統計	232	神社行政、宗教行政	209	アインチツヒ	
安部 浩		有本邦造		フアッシュムズの經濟組織	60
人口論	100	支那貨幣論	106	アグアリン	
阿部矢二		關東銀塊取引と其ノ原價計算	109	支那對滿工作史	51
米ヲ中心トシタル農村問題ト其		支那會計學研究	122	アダムス	
對策	189	有賀長造		現代都市計畫	184
天野敏太郎		帝室制度稿本	25	アツシユレ	
本邦得志の對峙	227	渡邊三郎		アツシユレ英國經濟組織の史的	
天野義雄		露和辭典	345	考察	71
道學の感覺	241	渡川麻一		アフタリオン	
天野植也		經濟地理論	256	金と世界經濟	82
私國憲法學	17	交通地理學原理	257	アルス	
國際法學	23	演習自治部		アイヌ工學全集	150
綾川武治		人事管理	214	(イ)	
滿洲事變の世界史的意義	82	安東縣公署		額河通雄	
我大陸經營失敗の真相	34	安東縣概況	271	官話指南自譯習	243
新居 敏		晏才 健		飯澤重一	
對相ノ學	30	田賦編纂	94	治外法權撤廢問題	50
龍尾 久		安 新 陳		飯島忠夫	
支那社會史講話	205	中國近代解部問題成編	108	支那古代史論	288
龍川文六		安藤正次		飯島輔司	
電氣工學	160	國語史	243	支那府制の研究	108
龍川保雄		安藤謙壽		飯田久一郎	
衣風の研究	251	北支那文化便覽	226	日華大辭典	245
瀧本光太郎		安藤秋夫		飯田清三	
貨幣制度	58	國家經濟と公債經驗	87	野村證券株式會社10年史	78
滿支幣制改革問題	99	安藤英夫		起債市場論	98
現代貨幣問題	106	支那問題概論	67	飯田茂三郎	
有澤廣巳		ノ弊ノ日本研究	231	支那人口問題研究	191
世界經濟統計圖表	60	安東商工會議所		飯塚敏夫	
日本經濟統計圖表	60	安東經濟事情	65	刑法論攷	19
世界經濟統計圖表	61	安東ニ於ケル會社及工場一覽表	78	飯塚友一郎	
戰爭經濟	73	安東商工會議所統計年報	113	宗教學の發展とその現代化に	
經濟統制下の日本	74	安東商工名録	114	ついて	221
支那工業論	157	安東の炸藥業	149	飯沼一省	
日本工業統制論	160	鶴嶺江ノ木村ト滿洲ニ於ケル木		都市計畫	194
		材事情	151		

飯野健次		石井義雄		我國最近の經濟と財政激變中の	
滿洲經濟の實勢	61	鐵及鋼	162	日本經濟	65
井川忠雄		電氣通線地及敷設法	166	最近ノ日本經濟史	71
國際金融論	98	石上林二郎		日本金融史	98
五十嵐修彌		北歐ノ林業ト製紙工業	160	石原重高	
工作機械最近の進歩	160	石川喜三郎		東支鐵道ヲ中心トスル支勢力	
伊本實雄		西藏蒙古秘密喇嘛教大綱	240	ノ消長	178
人造液體燃料工業	164	石川典二		石原 純	
釜島興治郎		ヘーゲル市民社會論と經濟學	62	自然科學的世界像	249
世界經濟論	59	維新の詔に於ける變革の圖景	62	石巻瓦夫	
現代の貿易と貿易政策	118	石川勝藏		金融統計論	100
津内 空		農學用語辭典	129	石丸藤太	
滿洲國及東省鎮安縣高句麗遺蹟	260	石川成章		共產ロシア抹殺論	34
滿鮮史研究	280	概念と體驗	262	石山實吉	
白鳥溥上選書紀念東洋史論叢	290	信仰と體驗	262	株式相場ノ觀測法株式例々ノ選	
池田 克		石倉新十郎		擇法	104
暴力行爲等諸論法	5	紡績原論	164	石山福治	
池田純久		石黒大介		新支那大辭典	245
軍事行政	56	フィリピン大觀	279	支那語大辭典	245
池田信行		石黒武重		石山實男	
經營經濟學と社會理念	70	漁業法	9,10,11	ダイヤモンド實務知識	77
池田秀雄		石坂國樹		ポケット會社要覽	79
滿洲統治論	34	農業法規綱要	129	コンサイス諸會社職員錄	79
池田龍代二		農業金融論	137	實業開發北支圖本	81
新日本の展望	29	石坂孝三		化學工業ヲ新ル	164
池田喜長		保險會社金融論	98	井關九郎	
農村社會學研究	139	石田幹之助		大日本博士錄	293
池本喜三夫		獸人の支那研究	230	井關孝雄	
フランス農村社會史	130	石田正七		中小商工業、庶民金融論	98
澤 昭		政治學史	31	小額金融制度論	101
滿洲地誌	255	石田四郎		實石重雄	
伊澤道雄		金屬材料ハンドブック	166	關東州租借地關稅制度小論	50
開拓總論	172	石田精一		支那銀行論概論	179
石井敬人		現代國勢經濟論	74	北支那沿岸ノ航路圖	179
近代資本制發達史	71	石田嶋夫		海運より見たる滿洲新運路	180
石井 忠		極東に於ける綿業	163	支那ニ於ケル外國運力	180
國家財政の發達と作設	80	石田文次郎		國語 雷	
石井秀彦		物權法論	101	石炭液化と代用燃料	103
統計圖表ノ描キ方	201	石塚 威		農村要一	
石井正孝		旱地農業	181	區の研究	183
滿洲及北支那ニ於ケル獸骨ト骨	149	獸米の農畜と取引	131	板倉實吾	
粉		石津 達		滿洲ニ於ケル日本人ノ居住營業	
滿洲の水産業	151	甲板積貨物の投棄に就て	225	爾ノ概論	50
關東州警察統計	152	石橋五郎		伊丹佐一郎	
關東州及滿洲國警察統計	152	小川博士選書紀念史學地理學論	267	絹と支那	100
滿洲ニ於ケル麻袋	163	岩		市川健兒	
		石橋滿山		最近經濟問題概論	57

市河三喜		外交概	4 ⁰	井上折次	
官話	244	兵政關係資料	55	最新國和法律經濟辭典	3
大英和辭典	245	財政資料	86	井上 啓	
市河三喜		實業、工業資料	196	支那語辭典	244
講義の森林	282	伊藤久秋		日華新辭典	244
市村環次郎		工業經濟理論	160	井上運雄	
支那史	289	伊藤秀一		滿記組織論	123
一般語言		マルサス人口論	190	井上辰龍	
アルミニウム經營年鑑	155	伊藤正一		講義に於ける肺疫に就て	149
伊藤顯公著		原價計算論	123	内蒙古系受旗下に於ける住血吸 虫の分布に就て	149
伊通縣縣政概況	41	伊藤正文		東部内蒙古系受旗一帯=流行+ 人口隨度=就テ	149
伊通縣縣誌	270	建築保健工学	186	井上貞藏	
伊豆公夫		井高半彌		商店法論	116
日本軍事發達史	54	統制經濟財政論	72	配給經濟の變革と中小商業者間 題	221
出原 侃		財政學原理と財政政策論	87	井上照九	
滿洲に於ける電氣事業概説	168	國家財政概論	80	マヂヤール支那農業經濟論	136
泉 隆治		租稅原則學說の構造と生成	92	井上啓二郎	
長春事情	272	稻田金次郎		閉点=就テノ實踐的研究	222
井上正壽		油中浴面コロナに就て	323	井上正明	
滿洲商業講座	254	稻田周之助		伯好滿洲調查各傳	293
伊藤藥三郎		植民政策通解	196	福岡 誠一	
電氣物產新辭典	168	關黨岩吉		日本經濟圖表	58.61
伊藤隆吉		龍滿洲探險と日本	51	世界經濟圖表	58
委實家黨相談	199	支那社會史研究	204	經濟圖表の見方盡き方使い方	51
伊東隆毅		滿洲經濟史	262	羅敏洪清	
世界年鑑	293	光復前時代之滿、朝鮮係 最新支那史講話	287	株式會社本質論	75
伊藤丈夫		稻村 隆一		經濟經濟批判	72
細菌の血清化學的研究	222	宗教改革と日本農民戰爭	288	今泉浦治郎	
伊藤武雄		大崎時男		視 酒	225
支那大陸の人口及面積統計並に 北京の市勢調査研究	189	經濟維新原則	76	今中次郎	
現代支那社會研究	203	肥料ハ高過テカ	138	政治統制論	31
滿洲文化の發展	261	滿鐵改組斷案	177	今西庄次郎	
伊藤千賀三		羅野三郎		取引所實物化論と短期清算取引 の應用に就て	62
日本精神史論	240	大衆人事錄	296	今野源八郎	
伊藤元司		井野春紹		米穀金融組織論	93
殖民地農業	181	各國商標法提要	21.111	今村莊實對稱官	
農業地理學	266	羅谷善一		東清鐵道	178
伊藤博文		世界經濟學要論	82	井村 龍雄	
秘魯類纂	27	戰時貿易、爲替、物價論	74	支那の爲替と金融	104
法制關係資料	15	日本經濟及經濟政策	74	世界の銀と支那の通貨	106
憲法資料	17	日滿支經濟論	88	通貨の隨別と金融	106
帝室制度資料	28	日本貿易論	118	中國之紡織業及其出品	161
雜纂	32	井上 國三			
朝鮮交涉資料	83	日本制法法規	2		
官制關係資料	47	井上 龍五郎			
		農業倉庫の經營	138		

五十子字平		岩手縣統計	200	日本人口問題研究	191
北支那ノ天然資源	81	岩手縣昭和實業誌	260	上田輝雄	
北支那資源講座	265	岩手縣勢要覽	274	電氣冷房	168
依田義賢公著		岩手縣作		龍田龍雄	
依田義一一般狀況	268	精製無機化學	250	支那外交史論	49
入江啓四郎		精製有機化學	250	滿洲に於ける國際争議	50
支那邊領ト英露角逐	53	岩波書店		支那田界論	50
中國に於ける外國人の地位	53	岩波哲學辭典	240	上野藥房	
入江 昂		理化學辭典	249	東洋文化史概説	227
銀行法	7	岩瀬隆一		上野誠一	
入江實次		滿洲支那移民統計	194	油脂化學及油脂各論	165
邦人海外發達史	197	岩松三郎		上野福一	
入澤泉壽		競賣法	10. 11	事業統計圖表	76
現代ノ教育哲學	217	岩村通世		事業統計論	76
岩井真太郎		少年法	5	テーラー全集	76
昭和と財閥	65	岩本勇次郎		購買管理、倉庫管理	116
戰時經濟の基礎知識	74	強制執行法	22	西藥船車論	127
長期戰時經濟控制	74	印鑄局官書科		種野武雄	
日本新興産業濼本	126	法令輯覽	3	滿洲地方誌考	267
岩堀 忠		股 票 法		上野道輔	
下顎突出の遺傳學的研究	222	中國土地新方案	196	簿記原理	123
岩崎二郎		尹 仲 材		上之國權太郎	
民法總論	12	地方自治學與村制學之紀元	38	滿洲に於ける自動車輪胎狀況	171
岩崎重三		尹 文 敬		上原秋三	
日本探險法	154	財政學	37	改正原船法精解	47
日本探險學	154	イオドコフスキー		于 燕 芳	
金	155	婚姻親族後見法	221	樹木園術	27
石 炭	156	イシチエンコ		魚谷傳太郎	
岩崎運記		堆物論辭典	340	原價計算	113
日本移民ト北滿小麦作及製粉事				守尾野家郎	
業興策ノ研究	145	(ウ)		經營體の生活と合理性對非合理	
岩田 新		上原西三		性	222
判例婚姻推約法解説	19	統一國際買賣規則の研究	118	于 恩 德	
岩田孝三		貿易實務	118	中國禁酒法令變遷史	15
支那土地利用地圖集成	187	上杉實言		烏賀陽烈真	
國境政治地理	267	大日本帝國憲法講義	4	海商法	8
岩田保次郎		憲法述義	17	商法總論	21
用途別需要より觀たる滿洲石炭		帝國憲法逐條講義	18	商法研究	21
の過去現在及將來	166	憲法讀本	18	現代外國法典	14
岩谷一郎		上田 清		牛窪愛之進	
支那農民の北滿殖民と其の前途	106	堀 子	165	阿片論	212
岩倉 至		上田常吉		牛場友彦	
會計實務誌	123	生物統計學	261	支那の農業と工業	131
岩城信治		上田貞次郎		牛丸源亮	
食用作物相談	129	商業政策	58	最近關島事情	269
岩手縣		日本人口政策	74	于 國 德	
岩手縣因作誌	147	最近商業政策	115	合作社之理論與經營	76

消費合作社之理論與實際 76
信用合作社經營論 103
于 澤 潤
西域通商地名今釋 265
内池康吉
商業問題 58
市場經濟と倉庫經濟 115
内田壽司
支那爲替論 104
内田寛一
初島の經濟地理に關する研究 256
經濟地域に關する諸問題の研究 260
于 珍
奉天全省管甲報告書 37
宇都宮俊彦
船舶用電力設備の交流化 293
鮎川龍夫
經濟支那の開發 75
宇野哲人
支那哲學史講話 240
梅澤重雄
國乙民法不當利得の場合の財産
移轉の非間接性 221
宇山兵士
大吟爾實 273
浦松佐藏太郎
支那の農業と工業 131
上原國夫
科學者の關たソ聯邦 278
海野幸徳
學校と活動寫眞 247
ヴァーリル
歐米最低賃額法 210
ヴァルガ
世界經濟年報 82
世界經濟景氣年報 82
國際經濟の諸問題 81
ヴァンダーリンツ
アメリカ金融制度改革論 101
ヴィシネフ
技術と軍事工業 158
ウキストラ
人類と文化 226
ウイツトフオーゲル
解體過程にある支那の經濟と社
會 66

支那經濟發展の基礎と段階 67
支那經濟史研究 71
ウエバー
社會經濟史 71
ヴェール
市場組織論 115
ウオールフマルト
新註海峽和圖辭典 246
ウラヂミルツフオ
蒙古社會制度史 206
チンギスハーン傳 203

(工)

鹽口商工會事務所
鹽口港と河ノ水運 179
兩派物資吞吐口としての鹽口 180
鹽口廳公署
鹽口縣統計彙編 40
鹽口廳封務局
納稅須知 05
衛 聚 賢
中國考古學史 220
衛 俊 生
中國今日之財政 97
江川三男治
探礦必携 164
易 家 鉞
西洋民族制度研究 210
野 加
支那經濟問題 66
枝吉 勇
本邦鐵鋼業の現勢 155
衛藤利夫
滿洲生活30年奉天の思い出 226
延吉縣公署
縣政一瞥 41
岡 備 山
晉察兵工業路年報 194
岩 智 博
最新各界適用辭世全書 224
瀧藤隆吉
國體論 83
瀧藤隆次
滿洲の地質及礦產 250
瀧藤操一
電氣事業法及瓦斯事業法
電氣事業 6

滿蒙地理講座 254
内外蒙古族屬地域附近一般調査 276
東部内蒙古調査報告 278
瀧藤正男
日本近世商業資本發達史論 114
瀧藤實雄社
鹽政叢刊 152
エコノミスト
最近經濟界の展望 57
經濟十年史 71
滿蒙の經濟建設 73
統制經濟讀本 73
景氣讀本 80
エルウード
文化進化論 226
エルマンズキー
科學的工場組織の理論 161
科學的工場經營の實際 161

(オ)

及川儀右衛門
滿洲通史 293
及川甚之丞
日本人口地理 256
及川儀忠
支那政治組織の研究 30
及川三男
文獻ヨリ見タル滿洲時代ヨリ民
國時代ニ至ル疆域ニ對スル各
種取捨令ト禁令 15
大井哲孝
滿蒙成分論 34
大井清一
滿蒙の水運 263
大分高等商業學校
年刊冊、定期刊行物目錄、考課
狀志禮會社録 228
大内武次
李朝末期の農林 204
大内 俊
ロシアはどう出るか 30
大内兵衛
財政學大綱 87
大賀一耶
滿洲植物研究案内 252
滿蒙の植物 263
大垣 進

イニテックター一般国家学	33	大蔵省警備官制局		労働者雇傭状態	214
大川則明		帝國議會議事堂竣工式典記録	34	大阪商科大学	
特許私民會社制度研究	196	大蔵省警備局		經濟學叢書	57
支那社會の史的分析	205	帝國議會議事堂建築報告書	186	經濟學文獻大題	57
大河原厚仁		大蔵省銀行局		大阪商科大学經濟研究年報	00
滿洲の高麗吉林省	269	銀行總覽	102	我國最近の地租問題	94
大原晃代夫		全國銀行實態負債表	102	大阪ニ於ケル中小商工業金融制	
日本の勃興と政治の轉機	29	銀行高年報	102	天	100
大石喜六		大蔵省主税局		都市失業保險の過程	110
財政金融ノ前途ニ就テ	101	主税局統計年報	86	本邦總選挙と關說	156
外國信託管理法ノ機能	105	大蔵省理財局		大阪商工會議所	
大久保清		米國に於ける恩賞法案	26	多岐なる支那	30
海濱探險の神標に就テ	222	關稅新明細表	91	滿洲經濟の實情	63
野島興成格例	222	關稅統計年報	91	赤字公債消化ノ基調ト其動向	91
紡政格例	222	金融事項參考書	99	大阪商工會議所統計年報	111
大久保 隆		大河内一男		大阪市内主要商店街調査報告	116
制御常備開放政策を使用したる		國造社會政策思想史	206	大阪造船會社	
遊樂施設と其應用	223	大河内正敏		大阪商船株式會社50年史	78
大久保 弘		資本主義工業と科學主義工業	158	南米アルゼンチン	270
防軍讀本	55	工業經營總論	160	大阪府務監督局	
赤色支那	276	農村の工業	163	大阪府務統計書	93
大久保正夫		農村の機械工業	107	大阪對支經濟聯繫	
勝城部分の設計	160	大阪朝日新聞社〔アサヒツ見ヨ〕		ソ聯邦と支那滿洲の共產運動	206
大塚 一		大阪外國語學校		大阪帝國大學	
商業組合金融論	128	大阪外國語學校一覽	232	大阪帝國大學一覽	233
大倉一郎		大阪鐵道監督局		大阪通信局	
關東州の蘆薈船	179	管内區區一覽	153	管氣事業要覽	167
大倉鐵道		大阪鐵山監督局		大阪通信局業務統計要覽	182
本溪湖鐵道鐵道の發達と是が將來	156	管内區區一覽	154	大阪手形交換所	
大藏公署		大阪三品取引所		大阪手形交換所交換成調一覽表	104
ソヴェート聯邦の實情	30	三品の茶	115	大阪手形交換所報告書	104
日滿控制經濟論	72	大阪三品取引所業務規程	115	大阪手形交換所規約	104
大 蔵 省		大阪三品取引所定款	115	大阪鐵道局	
管轄官制局管轄事業年報	47	大阪三品取引所事業報告書	115	鐵道局年報	172
大蔵省年報	85	大阪市役所		大阪堂島米穀取引所	
大蔵省調査資料	85	大阪市財政要覽	86	大阪堂島米穀取引所營業報告書	115
明治財政史	88	本市に於ける朝鮮人工場労働者	160	大阪府	
日清日露明戰役及世界大戰に於ける我が國時財政	88	大阪市産業部		風水禍ニ因ル産業被害統計	125
明治大正財政史	88	支那貿易年報	118	工業調査書	167
日本財政經濟資料	89	上海天津貿易統計	113	大阪府統計書	200
大戦中の英國財政及當初の經濟政策	89	大阪市社會部		大阪府勢一覽	274
大戦當初の獨逸財政經濟政策	89	最劣工場労働者問題	161	大阪府内務部	
昭和9-10年度豫算の解説	90	工場労働團體關係	161	大阪府生産統計の概要	125
外國貿易月表	118	大阪市住宅年報	209	米穀基本調査結果表	144
日本外國貿易四半期表	119	本市ニ於ケル朝鮮人ノ生計	209	大阪府人口速報	190
		大阪市調査課		労働統計作地調査の概要	213
		日僑労働者問題	214	大阪府農務部	

米統計	115	大谷彌十次		大原社會問題研究所雜誌	203
國勢調査結果概要	193	黒龍江省	270	日本労働年鑑	213
大政府學事統計速報	232	大谷美羅		定期刊行物一覽	236
大蔵府立貿易論新本貿易分誌		日本國體論	32	大原利武	
最近の滿洲に於ける商品傾向	116	大塚一郎		清洲史	283
大蔵府貿易誌		我國工業に於ける小企業の残存に關する研究	61	大道弘雄	
大蔵貿易叢書	118	工場内労働者教育事業の目的	62	最新日本都市誌	43
世界貿易統計要覽	119	工業經濟學講義	160	大村一蔵	
大蔵毎日新聞社		大塚辰治		石油地質學通論	251
日本都市大観	43	市町村例規概要	39	大村聖友	
戰時體制資本	74	市町村條例	39	株式會社設立清算實務必携	79
國際經濟要覽	83	市町村財務概観	84	大森洪太	
家庭毎日	209	市町村の豫算	90	陪審法	8
校正の研究	227	大塚久雄		人事訴訟手續法	9, 10
現代日本人名録	293	株式會社發生史論	78	人事訴訟法	9, 10
職名別日本人名録	293	大塚令三		大本利一	
毎日年鑑	294	滿洲に於ける言語接觸の現勢	280	公司法上の株式の得表	225
大澤米造		大槻昌八		大山彌文郎	
歴代文化史國史大観	283	銀・通貨爲替論	105	米國の政治組織及其活動	30
大澤龜雄		大槻 廣		アメリカ産業の知識	128
現代産業地誌講話	256	香料と化粧品製造業	16	王 亞 南	
大島堅造		大槻文彦		船租思想史	188
日本金融市場論	98	大書海	244	王 誠 謙	
最近ノ爲替ト國際金融	105	大友 博		經濟統計概要	61
大岡健一郎		航空發動機	100	王 一 鴻	
企業合同法の研究	77	大西邦敏		中國古代教育思想	234
太田宇之助		イェリネクター一般國家學	33	王 雲 五	
新支那の衛生	29	大西健吉		實用法律叢書	13
太田 亮		滿洲東の鮮内事情	144	中國文化史叢書	220
漢韓史籍に關はれたる日韓古代史史料	283	大野彌曾次		中外圖書統一分類法	237
太田哲三		個人主義の現代的意義と其の批評	226	外國人名地理彙	293
貸借對照表の作り方と見方	133	大塚彌平		日支外交六十年史	49
財務諸表準則解説	133	防空讀本	54	王 益 康	
太田正孝		大橋 哲哉		地學叢書	263
經濟讀本	57	支 那	275	王 寅 生	
物の經濟	57	大橋 辰一		中國北部的兵燹與農民	131
日本財政論	83	礦物岩石鑑定要覽	154	王 應 楹	
大竹虎雄		大塚彌一郎		黃河觀察日記	259
我國の國債	98	通信工學ポケットブック	183	王 開 化	
大竹博吉		大塚久七		國家經濟學	70
ソグエート法並に國家の哲學的基礎	14	租稅國家論	92	王 家 勳	
ソグエート科學の達成	224	大津信泉		奉天全省警察報告書	37
朝鮮西亞里士記	279	手形及小切手法	21	王 學 文	
大谷政敏		大原社會問題研究所		支那資本主義の支那經濟に於ける地位發展及將來	66
財政學の基本問題	63			中國古代經濟思想及制度	70

王煥燾		實用法律叢書	13	小川久雄	
首都誌	278	商標法	13	滿洲制政法規	3
汪翰章		王鏡先		小川福太郎	
法律大辭典	4	中國匯金問題	94	景氣循環論	78
王維錦		王正廷		小幡廉三郎	
東北農村問題の實際考察	130	中國西北部之經濟狀況	67	日本農業要覽	143
王適朝		王世穎		小倉金之助	
支那經濟讀本	67	合作事業	76	統計的研究法	201
王均安		農村經濟及合作	142	國計算及圖表	249
現行地方自治法規彙編	39	王先強		小倉武一	
王金枝		中國地價稅問題	94	產業組合法解說	128
中國經濟地理	256	王崇培		小倉知正	
西北地理	275	中國之合會	100	北支那在對邦人官商誌	293
王景春		王澐如		小栗忠七	
中國鐵路借款合同全集	178	政府會計	122	土地區畫整理ノ歴史ト法制	186
王鏡編		王仲武		評論 黨	
基特經濟學	70	漢譯統計名詞	197	結晶學に關する特殊計算	232
王光新		統計學原理及應用	201	日本人咬傷の統計的研究	222
英國與滿洲問題	51	王重民		小田内通敏	
王季邁		清代文集篇目索引	229	聚落と地理	257
實用法律叢書	13	王培顯		小田切真太郎	
中國海商法論	31	中國事前審計制度	123	新譯註解和國辭典	346
中國商業史	220	王鼎		小樽高等商業學校	
王敘文		中國地學論文索引	263	小樽高等商業學校創立25週年紀念論文集	113
實用法律叢書	13	王金相		小樽商工會事務所	
公司法	13	北支那路之黃金時代	178	小樽商工會事務所統計年報	111
現行法律保護叢書	13	龔駿堂		小野一郎	
歌德法釋義	13	公司法釋義	13	刑事訴訟法	6
海商法釋義	13	歐宗銘		特編六法全書	16
保險法釋義	13	中國鹽政小史	152	刑法講義	20
土地法論	186	小笠重光		刑事訴訟法講義	22
中國土地問題	188	教育行政	234	小野 薫	
王國真		小笠原徹三		山形ラーメンの固有振動計算に關する一研究	223
中國長城沿革史	287	朝鮮及朝鮮人問題の一轉接に際して	27	小野定雄	
汪胡翰		小川一郎		內蒙古察受旗下ニ於ケル住血販賣ノ分布ニ就テ	149
皖淮工廠把實	185	北滿接續調查附表	116	小野武男	
玉子雄		小川源太郎		郷土經濟史研究叢書	71
日本之棉織紡工業	163	預金部論	99	日本兵農史論	133
王憲華		小川太一郎		土地經濟史考證	186
農村金融制度論	137	航空讀本	181	近代村落の研究	205
農村金融經營論	137	小川琢治		小野島左右衛門	
農村倉庫論	138	支那歷史地理研究	256	人間理解の根本問題	211
王士達		人文地理學研究	257	小野寺二郎	
民生部人口調査及各家估計	103	最新世界現勢地圖帖	258	農學臨床學聯合大會講演集	132
王師復		小川 遵			
羅馬文化	282	滿洲に於ける紡績業	163		
王叔明					

小濱重雄		支那經濟辭典	57	國家構造論	33
臨時經濟方策論	73	岡野健記		長谷義正	
日本經濟の軍事的形態	75	結債及び破産問題	97	滿洲工場要覽	161
臨時產業施設考	127	岡隆保		押川一郎	
臨時原料保障	163	貨幣本質の諸問題	107	滿洲國通貨金融制度統一略史	108
小山田小七		岡本一雄		熱河省炭産額十五里儀ニ於ケル	
シニレーデルの王冠金庫論	63	品性の陶冶に關して	236	土地慣行	188
岡 一郎		岡本吉之助		滿洲民族志	207
滿洲國稅務輸出税則	95	北支那財政金融關係	265	恩賞局	
滿洲國稅務輸入税則	96	岡本清造		滿洲帝國勳章鑑	26
滿洲國稅務輸入税率一覽	95	北海道種魚業に現存の漁場賣貨		オーチヤード	
岡 邦雄		關係	62	日本の經濟的發展	65
ソグット科學の達成	234	岡本正行		日本工業論	157
岡 房吉		綿羊飼育精説	149	(カ)	
日本數學概説	249	岡山縣		海軍々事務及部	
岡川榮齋		昭和九年風水害誌	260	一般軍用會議經過概説	58
滿蒙の農牧林業	50	鐵方龍雄		海軍省	
滿蒙の農業	131	失業問題と救済施設	210	參考用圖表	55
滿洲米作論	144	尾形利二		支那本國に於ける帝國海軍の行	
岡倉由三郎		結核感染を發達せる口蓋膿瘍の		動	55
實用英語學十回講話	244	一例	222	昭和元年度海軍省年報	56
新英和大辭典	245	秋田才之助		海軍省年報編纂規則例册	55
岡崎三郎		重要貿易品の研究	117	列國海軍の情勢	58
支那工業組織論	157	我原貞雄		會計検査論	
岡崎二郎		印度ノ金流出ニ就テ	108	帝國決算統計	90
貨幣論	106	沖中愷章		檢査報告集	122
岡崎文夫		動的金融論	100	關原聖公著	
魏晉南北朝通史	287	泉泉欽次郎		關原縣一般狀況	268
支那史概説	288	自動車講義	171	外交時報社	
岡崎文規		奥田寛太郎		支那關係條約集	48
人口統計研究	188	比較國體論	33	支那及び滿洲關係條約及公文集	48
人口統計に於ける諸問題	190	奥田金松		外交部	
趨勢調査論	198	南滿ニ於ケル露有ナル鼻疽爆發		施政概要	128
統計研究文献	197	例ニ就テ	148	外交部	
統計的中數値論	202	遇近爆發ニ發生セル肺炎ニ就テ	148	滿洲國之獨立地位	29
職業統計問題研究	209	奥村喜和男		外交部公表集	48
岡田宗司		日本政治の革新	31	條約集	48
ロシア史	201	長 謙泰		國際事情及評論	51
岡田武敏		後付頭滿庭の細菌學的研究	222	外交前後の支那關係並中國共黨	
氣候學	260	尾坂俊夫		軍の現状	53
岡田直爾		新法津全案	12	觀察彙刊	260
國稅徵收法精解	92	刑法總則	12	恒惠軍領の印象	278
岡田文秀		尾崎史郎		滿洲國民之總意	282
河川法	8	肥料ノ常識	188	外交部通商司	
岡田銘太郎		尾崎行雄		外國債券及外國人入境稅券等證	
滿洲國歷史講座	264	日本國政史を語る	22	規則	171
岡野一朗		尾高新雄			

關東州租借地並滿鐵附屬地及國內居住外國人之旅券簽證暫行辦法	171	ソ連邦の政治及經濟組織	30	協同組合保險論	76
外交部宣化司		豫魯經濟政策の根本問題	74	日本道徳統計要覽	211
滿洲國建國之眞諦	283	世界經濟年報	82	香川幹一	
海軍省編纂部		イタリヤの經濟政策會議ノ考察	83	略地開拓法	268
海軍年鑑	178	各國稅關稅制度に關する調査	96	世界經濟地誌	268
海城廳公署		銀の問題	109	華企業	
統計彙月	40	英國最近の通商政策	114	雲南問題	40
海城縣地方事務概略	288	各國通商の動向	115	西藏問題	49
鐵道社		北支農村經濟ト輸送改造問題	139	滿蒙問題	49
戰時停戰時期經濟講座	59	支那に於ける棉花調査	146	郭 爾	
日本統制經濟全集	72	蒙古社會制度史	206	民事訴訟法釋義	13
現代金融經濟全集	98	同族事情	210	六法彙編	16
地理講座	253	中央亞細亞事情	278	郭 春 郎	
滿蒙事情總覽	264	歐洲特に露西亞に於ける東洋研究史	280	民事訴訟法	18
改定年鑑	204	外務省通商局		各國經濟研究會	
外務局		世界金融概觀	97	アメリカ經濟及經濟政策	68
滿洲國與德意志國間條約條約	48	支那金融事情	99	學醫院	
外務省圖書分類目錄	229	最近世界生産と物價の動向	110	學醫院一覽	233
外務省		世界各國對日貿易統計	113	學士會	
日支間並支那ニ關スル日本及他國間ノ條約	48	世界各國對日貿易業者名鑑	119	學士會々員氏名錄	232
英米佛露ノ各國及支那間ノ條約	48	現下の我通商問題	120	學徒至誠會々員名簿	226
外務省年報	49	最近原料品取得問題	162	學徒至誠會派選派報告	220
大日本外交文書	48	在外本邦人國考調査發見別人口表	193	滿洲踏査紀念寫真帖	246
國際事情	51	滿洲拓殖策ノ研究	196	郭 秉 文	
日支紛争に關する國際聯盟調査委員會の報告	52	阿片問題	212	英漢雙解羣氏大學字典	245
歐洲諸國に於ける關稅制度	52	北滿洲	264	郭 道 甫	
世界各國の關稅改正と通商政策	96	外務省東亞局		呼倫貝爾問題	45
南滿洲に於ける商業	113	滿洲國及中亞民族在留本邦人及外國人人口統計表	189	郭 人 全	
極東露領に於ける農業の概要	131	外務省文化事業部		梅村小學校行政	285
在滿朝鮮人概況	195	黑龍江省に於ける風土及土著族に關する調査	279	郭 汝 著	
歐米人ノ支那に於ける文化事業	237	關 藩 局		支那古代社會史	206
外務省亞細亞局		新印度	291	支那古代社會研究	206
支那在留本邦人及外國人人口統計表	189	海龍縣公署		額穆縣公署	
外務省情報部		縣概況	41	廣德縣一般狀況	285
國際時事解説	99	海龍縣公署		幕 優 美	
滿洲事變及上海事件關係公表案	51	海倫縣農作物品許會概況	143	工業所有權	157
南太平洋洲本	278	關魯縣公署		滿洲帝國特許發明法解説	162
ソヴェート國本	273	統計彙編	40	寬 克 彦	
支那地名集成	275	科學普及會		大日本憲法の根本義	18
現代中華民族滿洲國人名鑑	293	關魯縣化學工業	165	景山哲夫	
外務省調査部		加賀谷文治郎		ヒットラーユーゲント	206
ソ連邦重要事項誌	28	ブロックダイヤグラムの描き方	288	關山虎四郎	
		賈川重彦		支那職業誌規定類纂	152
				鹿兒島高等農林學校	
				鹿兒島高等農林學校一覽	273

並信太郎		夏會佑		加藤 一	
通貨信用統計批判	72	中國古代史	288	採算を中心とする重要商品の賣	
風早八十二		加田哲二		際知識	117
治安維持法	9	世界經濟の體制	59	加藤政吉	
日本社會政策史	205	現代の國民政策	196	夏三省官紳史	298
風早義隆		實田直治		加藤正治	
物價統計論	109	事理と經濟戰	75	破産法	7.8
笠原直造		片山信夫		和議法	10
蘇聯邦年鑑	28	煤物資源便覽	154	強制執行法	11
笠原 博		片岡政一		門岡達雄	
滿洲ノ金融機關ト通貨	99	稅務會計	91	無線電信電話概論	188
風岡 卓		北支事件特別稅法傳表	92	門倉三能	
近世中國國民國史	288	片山正雄		北滿金融資源	154
鹿島守之助		變解國和大事典	246	門多隆男	
現代の外交	48	片山清吉		新興代用品工業	157
何 恩 源		歐戰學獨習全書	159	門福真教	
國際經濟政策	83	樺子二郎		產業金融論	138
何 恭 壽		日本地理圖彙	258	金澤商工會事務所	
日華辭典	245	勝 正憲		金澤商工會事務所統計年報	111
賀 昌 壽		新稅の話	92	金澤商工人名録	112
新印度	291	企業と租稅	92	最近一ヶ年に於ける金澤市輸入	
柯 象 輔		稅法類纂	84	品調査	120
中國貧窮問題	206	日本稅制改革史	93	加賀の税關	216
柯 謙		譯英外吉		金澤庄三郎	
英國聯合準備銀行制度	103	アラムル會合ノ運用ニ必要ナ會		廣辭林	244
柯 凌 漢		議ノ仕方	224	鎌ヶ江信光	
民法物權	12	藤田貞次		民國以降に於ける支那語文運動	225
柏 正彦		日本資本主義の次の發展	65	金子 弘	
滿洲事變外交史	49	中南支經濟總論	68	獨逸經濟學の道	71
柏本好三郎		歐伊と經濟學	70	金持一郎	
四桁の對數尺	248	臨時化學產業濟本	137	精民政策	58
柏原孝久		伸びる工業	157	我國に於ける精民政策學の發達	63
蒙古地誌	276	藤野金政		藤 悠 生	
春田井繁		ソヴェート潛在記	30	民法物權傳表	13
國際金融各論	83	桂五十郎		瓦屋店事務所	
佛蘭西ノ金融組織	101	漢籍外題	227	瓦屋店要覽	273
貨幣金融及物價ノ史的研究	101	臺城三		河北財政特派員公署	
貨幣論講義	106	海上保險	111	河北財政特派員公署年鑑	85
不換紙幣通貨論	107	加藤於萬丸		河北省工業試驗所	
貨幣及金融學	107	地方行政	88	河北省工業試驗所報告	101
貨幣學說研究	107	加藤一雄		河北省實業廳	
最低貨價決定に關する一考察	221	加藤兼三郎		河北物價指數季刊	109
紀念碑誌報告書	292	滿洲國交通圖彙	254	河北省政府	
藤川國公署		北支地理交通圖彙	265	省政府統計概要	40
單行法規彙編	89	加藤三郎		華北水利委員會	
藤川縣公民團檢所		茶葉組合中央會事務所統計年報	146	華北水利月刊	185
南滿視察旅行報告書	260				

河北植産改進會		鐵道事務所年報	172	物價問題に就いて	109
河北省棉產調查報告	146	澤太尉農林部		農業經濟の諸問題	132
神尾式春		澤太尉民の沿革	195	工業と工業政策	160
契丹佛教文化史考	226	刈屋他人文部		川西 勇	
神藏信雄		最小自乘法講義	249	ソヴェートロシア經濟地理	256
新交運動機	160	河合樂治郎		川西正樹	
神谷尚志		社會政策原理	206	工業經濟地理	257
水産學全集	151	河合真成		滿洲國經濟地理概説	268
神山史邑		價格統制論	72	河野元三	
滿洲國地質大觀圖	269	川合貞吉		蒙古史	291
上加世田成法		支那の民族性と社會	204	河野省三	
支那新滿洲法と滿蒙に於ける我		河合 匡		神田の研究	230
礦山企業	50	金屬材料	166	河野輝夫	
上床國夫		川合正勝		振動理論による構造物の耐震計	
科學者の超たるソ聯邦	278	大豆油ヨリ見タル果國植物性油		算法	228
上村哲彌		脂市場	165	河野勉左衛門	
滿蒙の鐵道問題、高租問題に就		河出書房		上海港	180
て	174	經營計算全集	123	河原茂木郎	
藤 良		川江水峰		市場組織論	116
中國和蘭之實際狀況	96	滿洲國と滿洲上野事變史	282	河原田輝吉	
藤井高孝		川上三郎		ナブス労働法	212
西洋人名辭典	291	和、英、滿蒙學用語新辭典	129	河村東洋	
藤井秀夫		同 動物學用語新辭典	251	勸業抵當について	226
獨乙に於ける株式會社改正立法		同 植物學用語新辭典	251	川人定男	
上の基本觀念としての企業自		川口輝武		人口自然増加率比較方法ニ就テ	190
體	225	母類整理の研究	227	本邦法ニ對シテ國ノ出生率死亡	
藤田重治郎		川島富丸		率及人口自然増加率ノ比較考	190
確率論及ヒ其ノ應用	249	滿洲國幣制と大連市場	108	簡易保險局	
藤岡龍長		河濱龍雄		簡易保險局統計年報	110
滿蒙慣習概要土地高租	18	滿洲建設の概論	34	簡易保險ノ死亡率ニ關スル調査	189
藤山道入		河田綱郎		社會事業に關する諸調査	208
化學工業概論	165	土地經濟論	58	香田太郎	
電氣化學の理論及應用	108	農家の負債と負擔能力	62	世界農業史	133
加藤正雄		經濟學原理	70	香野和太郎	
機械工學概論	159	農業經濟學	132	大阪經濟史研究	71
實業興食		農業勞働ト小作制	136	成鐵南滿洲工業内	113
戰時下の經濟生活	75	農業倉庫論	137	關 嘉 慶	
東洋農學救災會		農村研究	138	英學大辭典	245
服務報告書	259	農村問題	139	漢口市政府	
賀 操 國		家族制度研究	210	市政概況	44
察綏蒙民經濟的解剖	67	河田喜代助		漢口日本商館	
澤太尉		社會地理學	266	漢口貿易經濟統計	119
澤太尉町村財政一斑	86	川田秀雄		韓國政府	
澤太尉國勢調査	106	近世滿洲經濟關係史	51	韓國戶口表	192
移住關係法規草案	194	日本經濟講話	65	韓國不動產法調查會	
澤太尉堂	273	河津 通		慣習調査問題	15
澤太尉治要堂	274	商業問題	58	監察院	
澤太尉鐵道事務所					

監察制度考察	45
藤松堂	
新體六法全書	16
滿洲帝國中華民國治外法權關係	
條約集	48
會計法規集	123
柳 相 龍	
南北支那及滿洲調査報告	67
關西學院	
關西學院一覽	232
神田孝一	
思想と宣傳	230
神田勝茂	
滿洲農業調査	254
神田正雄	
南洋に於ける支那人	194
四川省総覽	275
寛文縣公署	
寛文縣一般狀況	260
關島省公署	
例集	39
關島省概況	269
關東局	
高等一級	45
統計書	45
關東局業務調査結果表	112
關東局業務調査記録簿	112
關東局人口動態統計	189
關東局労働調査結果表	214
關東局土地要覽	272
關東軍參謀部	
最近滿洲國治安	37
關東産業調査聯合會	
産業に於ける人口の價值及人事	
管理の範圍	127
關東總	
施政二十年史	45
統治狀況上變文	45
關東廳職員錄	47
物價買掛調査年報	100
關東廳通信統計要覽	182
關東州貿易統計	119
關東廳管内現住人口統計	180
關東廳人口動態統計	189
關東廳國勢調査	192
國勢調査世帯及人口	193
關東廳報告例	199

關東廳業務調査結果表	310
關東廳要覽	272
關東廳統計要覽	273
關東廳々務一覽	273
關東廳警務所	
滿洲氣象報告	260
關東廳警務局	
警務統計書	37
關東廳植育研究所	
日滿生徒體力ニ關スル調査	228
關東廳長奉取リ所報告	115
關東廳調査課	
昭和八年中ノ人口動態概要及現	
在人口概要	189
昭八、海路ニ依ル滿洲へ上陸者	
及滿洲ヨリノ乗船者調査	189
關東廳内務局	
令制度ノ要旨	30
關東廳社會教育要覽	236
關東廳文書課	
關東廳勞務統計書	213
關東州廳	
愛川村	194
關東州廳土木部	
關東州に於ける水源調査報告書	251
關東州土地調査部	
關東州事情	272
關東州民政署	
滿洲水産調査資料	151
關東都管府	
滿蒙經濟統計圖表	60
滿蒙經濟要覽	63
滿蒙調査復命書	63
滿蒙經濟事情	64
滿蒙産業誌	125
關東都管府通信統計總覽	182
東部蒙古誌	261
統計書	294
關東都管府高等法院	
高等法院民事判決例	23
關東都管府臨時土地調査部	
關東州土地廳構提議	16
關東廳軍部	
東蒙古	261
關 仲 壽	
新運大記	275

韓 德 暹	
新西農村貸借制度	137
甘 乃 光	
先秦經濟思想史	69
龍野造明	
字 源	244
勸業局	
農務統計表	120
關 西 益	
東亞民族關係學要	106
關 西 益	
廣西凌雲嶺人調査報告	207
關 文 英	
通志堂經解提要	240
神戶正雄	
財政學	58
酒の專賣に就て	61
滿洲國ノ財政經濟	85
非常時ノ財源問題	86
財政學	87
増稅及増稅論	92
租稅研究	92
滿蒙の財政	262
韓 德 暹 阿	
蒙和譯典	245
甘 德 源	
鄉村民衆教育	236
カールソン	
社會地理學	266
ガウス	
ガウス五折の對數表、三角函數	
表	249
カウツキー	
貨幣論	106
農業經濟學	132
カザニン	
支那經濟地理	257
カラミソフ	
中國西北部之經濟狀況	67
カントロウイチ	
支那制國論とアメリカ	49
(キ)	
魏 以 新	
德國史綱	291
葵 開 明	
中國圖書編目法	227

丘 理 雄		青 島 新		北小島武貴	
上海公共租界制度	60	鐵道文化	282	明治孝節錄	241
九州帝國大學		吉林省		北 崎 義	
九州帝國大學一覽	233	吉林全省近五年住戶及人口比較表	183	新財政學要義	87
企畫院		吉林省教育會		北澤新次郎	
佛、英、伊、智、米諸國に於ける戰時經濟の國家組織	75	吉林省教育概要	283	各國經濟統制の實態	73
菊井維大		吉林省公署		工業經濟論	160
民事訴訟法	6.7.11	省概況	41	北野大吉	
菊井三郎		縣治人員調轉所員必携	46	貿易思想史	118
民事訴訟法	12	吉林省各縣保甲整頓收率及徵收方法概況	94	北原松太郎	
菊澤謙三		吉林省產業施設概要	126	新法令集	2
産業用品産給組織の特異性について	225	工事標準仕様書	183	北村小松	
特 清 通		清夜韓人戶口辦法	183	國際地理學概論	54
唐宋官私工業	205	吉林省各市縣國立戶口辦法	193	北村友生	
菊田太郎		吉林省安撫外事難民情形紀要	166	統計數學	201
生産立地論	257	特別市及市生死統計暫行規則	197	確率及最小自乗法	249
菊池眞三		吉林省統計年報	199	北山富久二郎	
警察行政研究	37	吉林省公署定期報告例總綱要	200	物價水準の理論	99
地方自治と東京市政	38	吉林省各縣略誌	270	譚南鏞公署	
農務公署		吉林省公署調查目錄	228	統計叢誌	40
農務概要	268	吉林省各縣學田狀況	233	湖南縣一般狀況	268
冀察政務委員會		吉林省立學校校長會議錄	236	木下龜城	
公 報	30	吉林省行政全圖	268	購物學概論	154
冀察調查統計叢刊	200	吉林省概況	270	木下通敏	
岸 信介		吉林省政府		滿洲に於ける農林經營の實際と移民問題	194
取引所法	8	各縣保甲總署行簡章	38	號 兼 鈞	
岸 忠助		軍行軍則彙編	39	黑龍江統計報告	200
長氣論通説	80	全體職員統計書	40	木全省吾	
雄田英治		革新成規之統計材料	40	陝西の國際生産統制に就て	226
法權問題の考察	24	行政會議紀要	40	木村嘉八郎	
滿蒙の風氣を論く	54	吉林省担應工作經過情形紀要	212	國、佛、露、法の話	108
露島外文研究室		吉林市公安局		金の經濟知識	109
排外支那の解剖	29	市勢統計年報	44	木村清司	
藤 永 雄		吉林省清田田賦局		財務行政	89
明南京軍器司職掌	171	吉林省清田田賦局報告書	94	勞働保護法	212
貴族院事務局		吉林滿鐵公所		木村龍康	
貴族院要覽	33	吉林省城商工概要	114	シムムベーター理論經濟學ノ本質ト主要内容	69
吉 風 館 運 書		鬼頭重雄		木村靖二	
復州に於ける墾業調査	152	戶籍法及寄留法	6	農村協同資本の展開	139
滿洲國憲法草案	152	本戸忠太郎		農村社會經濟史	143
關東州墾業概観	152	滿蒙の風俗習慣	262	木村 徹	
朝鮮に於ける墾政調査	152	本 田 開		寫眞色茶點論	160
奉天省民墾放實制度調査	152	非常時國民全集	234	木村敦雄	
麻袋調査	164	費田琢一		統計法概要	201
		工業用語と略解	167	木村彦一郎	

- | | | | | | |
|----------------|-----|-----------------|-----|-----------------|-----|
| 外人の滿洲國移殖民に就いて | 225 | 英國ニ於ケル失業及其對策 | 209 | 中國之金融與匯兌 | 93 |
| 本村輝八郎 | | 勞務法 | 213 | 曲直生 | |
| 新開經濟面の開み方 | 63 | 勞務年鑑 | 213 | 河北棉花之生産及販運 | 145 |
| 戰時體制下の景氣觀 | 80 | 海外勞務年鑑 | 213 | 許興斌 | |
| 本村増太郎 | | 各國勞務界の情勢 | 213 | 滿洲經濟と日本帝國主義 | 64 |
| 經濟通話 | 57 | 英佛ニ於ケル勞務事情 | 213 | 許志豪 | |
| 支那の經濟と財政 | 67 | 全國工場礦山労働者教育協議會 | | 戲學必考 | 247 |
| 支那經濟恐慌論 | 67 | 記録 | 214 | 許仕璋 | |
| 日滿支經濟論 | 73 | 勞資協調の諸方法 | 214 | 人口論綱要 | 190 |
| 支那財政論 | 87 | 我國ニ於ケル勞務委員會制度 | 214 | 中國北部人口の結構研究(附例) | 193 |
| 支那南洋に對する企業貿易論 | 117 | 各國勞務組合運動史 | 215 | 清宮四部 | |
| 現代支那事情の研究 | 276 | 勞務組合及勞務爭議統計 | 215 | ケルゼン一發國家學 | 39 |
| 本村和三郎 | | 勞務組合法案ノ沿革 | 215 | 桐原保見 | |
| 銀行通記論 | 123 | 獨逸勞務組合運動史 | 215 | 勞務管理 | 214 |
| 教育研究會 | | 勞務運動調査報告 | 215 | 金九經 | |
| 滿洲事情 | 264 | 米、佛、獨逸勞務組合法制綱要 | 215 | 滿洲語と漢語を混用したる歌本 | |
| 數化協會 | | 各國勞務爭議統計 | 215 | 「吃料體」 | 212 |
| 滿洲講座 | 261 | 各個最低賃金協定法規集 | 216 | 奉紀 | |
| 美英滿 | | 退職手當制度の現状 | 216 | 中國古代社會 | 201 |
| 滿洲地方財政綱要 | 85 | 従業員株式購入制度 | 216 | 儲蓄公署 | |
| 行政學會 | | 各國勞務賃金統計 | 216 | 益報公署遊藝日録 | 228 |
| 滿洲六法全書 | 16 | 各國に於ける團體交渉及團體協約 | 216 | 錦報要覽 | 269 |
| 鄉村工作討論會 | | 協同聯合會 | | 銀行研究社 | |
| 鄉村建設電報 | 139 | 緩化縣農村協同組合方針大綱 | 140 | 金融叢書 | 97 |
| 協議會 | | 京都研究所 | | 銀行關係法令集 | 101 |
| 英國年業ノ合理化問題 | 127 | 東方文化學院京都研究所漢語月 | | 金貫之 | |
| 産業合理化ノ社會政策 | 127 | 錄 | 228 | 吏治管見類抄 | 16 |
| 新シキ産業推進精神 | 127 | 京都商工會議所 | | 金國賢 | |
| 産業組合及農會ノ教育的活動 | 128 | 京都商工會議所統計年報 | 111 | 物價指數叢書 | 100 |
| 農村更生計畫ノ圖ヲ方 | 133 | 米穀問題 | 133 | 統計新論 | 201 |
| 小作立法ニ關スル重要問題 | 136 | 京都帝國大學 | | 統計學大綱 | 202 |
| 吾國過小農問題ト共同經營 | 136 | 山本博士還曆祝賀記念論文集 | 61 | 錦州省公署 | |
| 農業保險ニ關スル調査 | 137 | 神戸博士還曆祝賀記念論文集 | 63 | 錦州省電覽 | 268 |
| 最近ノ農民運動 | 138 | 大學一覽 | 232 | 金氏原 | |
| 我國ニ於ケル農業委員會制度ノ | | 卒業生名簿 | 232 | 統計方法 | 201 |
| 話 | 138 | 京野正樹 | | 金長佑 | |
| 農村實地調査の仕方 | 140 | ドイマー預借信用組合論 | 103 | 日本政府 | 29 |
| 農村事情ニ關スル調査 | 140 | 共立社 | | 金鼎一 | |
| 全國工場礦山名簿 | 156 | 實地工作法講座 | 167 | 鄉村小學實際問題 | 235 |
| 工業保健及能率 | 160 | 實用電氣工學講座 | 159 | 金廣賢之助 | |
| 本邦工場礦山職長制度概要 | 161 | 協和會 | | 國功經濟論 | 54 |
| 工場に於ける職長の任務及影響 | 161 | 全國協和協議會記録 | 34 | 金融統計と貿易政策 | 59 |
| 各國の社會政策 | 205 | 滿洲國協和會之概要 | 207 | 日本戰時經濟政策 | 75 |
| 社會思想史 | 206 | 協和會奉天省本部 | | 國際金融總論 | 97 |
| 英、米、獨、佛僱主組合 | 206 | 聯合協議會要則 | 34 | 金融の常識 | 97 |
| 俸給生活者、職工、生計調査報 | | 告 | 209 | 世界貨幣制度の若干問題 | 98 |
| 告 | 209 | 曲禮元 | | 外國爲替と金銀 | 105 |

世界經濟の動向と金本位制度	107	滿洲に於ける水産物の需給	151	民國16—17年の滿洲出稼者	194
産業金融論	128	滿洲の莫大小工業	163	民國18—19年滿洲出稼移民移地 狀況	194
貿易相場と物價	104	國松久彌		興安屯墾直事情	271
全 葉 書		ソウエートロシア經濟地理	250	車谷馬太郎	
日華辭典	245	最近の滿洲國地誌	265	金問題と開發に於ける金本位制	108
全 藤 光		世界小國地誌	273	吳市役所	
海關權與民國前途	96	久保田圭石		滿蒙事情	265
全 堀 盛		製鹽者必讀	246	墨極蘭美	
約法疏義	13	久保田晴光		歐米文明記	225
金融合作社聯合會		東部内蒙古の概況並に其經濟事情	248	黑岩貞雄	
金融合作社の全般	100	生事情	248	新興ナチス經濟と哲學	69
金融合作社管内經濟事情	100	體谷憲一		黑澤 清	
金融合作社業務統計	101	健康保險法解説	248	工業會計	160
金融研究會		體田克郎		黒澤謙吾	
銀行集中ノ大勢(米國、英國ノ 部)	103	現代經濟總動員	74	滿洲の水田	133
金融整理委員會		熊鷹野堂實兒		黒田甲子郎	
東三省金融整理委員會報告	99	滿洲包米ニ關スル調査	144	滿洲概要	264
金價大學		滿洲高粱ニ關スル調査	144	黒田 聖	
民國20年水災區域經濟調査	67	熊平源華		帝國憲法講義案	17
實用運銷合作	77	國勢の伸張と學校増設	235	黒正 隆	
キング		熊本製糖監督局		日本經濟史	68
統計學要論	201	熊本産務統計部		熊澤善山研究序説	63
(ク)		熊本通信局業務統計要覽	163	日本經濟地理學	256
區 幸 實		倉橋藤治郎		經濟地理學文献總覽	267
廣州之風景	100	燃料工業最近の進歩	158	島島正夫	
久米米三夫		液體燃料工業最近の進歩	163	電氣機器及用器の規格編	168
日滿技工の技能比較と滿洲國境		倉橋藤次郎		島島安太郎	
械工業私見	167	鑛物四講	166	最新產業地誌	256
鶴見一正		倉持 博		島田健雄	
獨逸金融組織論	100	支那工業論	157	新會社法解説	21
響 嵐		栗原昌夫		森原啓庸	
憲法大字典	246	工場抵當法	5	支那法制史論叢	15
響 貴 綱		擔保附社債信託法	8	唐宋貿易港研究	180
統計法規	197	經濟の統制と新立法	73	東洋文明史論叢	226
響 會 澤		公社債株式論	68	東洋史論苑	201
強制執行法律學	14	栗田書店		島原博士遺稿紀念祝賀會	
響 金 之		國語辭典	244	東洋史論叢	288
現代風俗制度考	279	栗林定治郎		島 原 香	
響 明 會		アリス氏財政表比率論	225	物價論	110
基礎的租佃制度	182	栗原勝七郎		軍政部	
具島敏三郎	83	農家經濟ノ新研究	185	建國軍事史叢書	54
九段書房		栗本 重		砲	54
最新世界地圖	269	滿洲に對する支那移民民	50	陪都大演習報告	55
工藤武夫		支那工場事情	161	クラウザー	
		滿洲出稼移民漢民ノ數的考察	196	ソウエートロシアに於ける産業 と教育	313

グリツフキン
 外國貿易概論 117
 クルイレンコ
 ソヴェート法並國家の哲學的基礎 14
 クレツシイ
 支那滿洲國土記 279
 クロバトキン
 清蒙成分論 31

(ケ)

慶應經濟研究會
 評 究 78
 慶應義塾
 大英プロック經濟及經濟政策 73
 イギリスの經濟及經濟政策 73
 恐慌の新段階と世界經濟の動向 82
 量產研究所
 新興産業の基礎知識 166
 計器公司
 滿洲計器股份有限公司內容 129
 京畿道廳
 商工水産統計 112
 經濟學會
 財政説明書(各省別) 87
 經濟學類典編纂委員會
 經濟學辭典 67
 經濟情勢研究會
 日本の經濟的發展 65
 日本工業論 167
 經濟新報社
 戰時經濟法令集 67
 經濟新聞社
 會計年鑑 70
 經濟知識社
 政治經濟新聞問題辭典 27
 經濟調查所
 浙江之農業 133
 經濟地理研究會
 ソヴェートロシア經濟地理 257
 世界經濟地理 257
 經濟年報社
 日本經濟四季年報 59
 經濟批判會
 國際信用恐慌インフレーションへの途 79
 世界經濟年報 82

金融市場の世界的動搖 97
 經濟部
 經濟施設概要 45
 勤勞所得稅課稅法規 92
 土地關係課稅法規彙集 94
 勤勞所得稅徵收納付手續便覽 95
 勤勞所得稅之徵收納付手續便覽 95
 滿洲國現行內國稅制度便覽 95
 關稅法令集 96
 輸入稅率表 98
 輸出入稅率表 96
 輸出入稅率新對照表 96
 滿洲國課稅輸出入品詳細統計 96
 滿洲國銀行總覽 102
 外國貿易統計年報 118
 外國貿易統計月報 119
 京城醫學專門學校
 京城醫學專門學校一覽 232
 京城商工會議所
 滿洲國經濟調查報告書 65
 滿洲大博覽會觀察報告書 65
 朝鮮に於ける工業資源調査 81
 朝鮮に於ける棉花増産の急務並
 希望對策 146
 慶尚南道々廳
 慶南の商工 112
 慶尚南道土木課
 土木要覽 184
 慶尚南道總務課
 慶南ノ概 145
 京城帝國大學
 朝鮮社會經濟史研究 209
 朝鮮支那文化の研究 219
 和漢書名目録 229
 京城法學專門學校
 京城法學專門學校一覽 203
 啓成社
 大字典 244
 煙山專太郎
 世界史上の支那 33
 乾安縣公署
 乾安縣一般狀況 270
 阮 毅 成
 中國郵政時期約法 13
 研究社
 礦物學 155
 地理概説 265

阮 元
 重刊廣東通誌 275
 元山商會
 元山商工會議所統計年報 111
 宓 笑
 大府西域記 388
 原 謙 周
 中國作物論 142
 菅 心 哲
 農村家庭調査 140
 社會調查大綱 201
 建設委員會圖書所
 杭州市經濟調査 67
 權度局
 度量衡法規 128
 滿洲國新制度度量衡要義 128
 度量衡法規要 128
 置文館
 農藝行政叢書 129
 麗 理 敏
 中國鄉村合作實際問題 128
 麗 理 敏
 中國經濟問題研究 66
 支那經濟問題研究 66
 ケネー
 ケネー經濟表 69
 ケメラー
 アメリカ貨幣政策批判 108
 ケルゼン
 民主政治と獨裁政治 31
 國家原理概要 33

(コ)

小 穴 昭
 滿洲國防經濟論 74
 關 維 鈞
 外人在華之地位 53
 小池善次郎
 通信行政 183
 小泉晋一
 爲首清算協定概論 105
 小泉信三
 經濟原論 53
 小泉 謙
 臺灣土俗誌 279
 小池隆一
 華僑契約事務管理 13

興安局		古今工藝圖説	246	答	242
興安局圖書目錄	228	幸田露伴		實 務 書	
興安區屯墾公署		日本外史	286	廣州之建築	109
興安區屯墾第一年工作概況	134	交詢社		實 越 川	
興安局署		全國主要銀行會社職員錄	102	東三省水田誌	133
產業調査報告書(興安北分省三		交通産業社		東三省高澤誌	148
河地方及海拉爾地方)	125	全國鐵道貨物營業所概況	175	實 公 榮	
熱河に於ける墾墾に就て	156	交通部		中國試事史	17
三河地方及吉林ノ概況	271	交通部要覽	45	實 孝 方	
新興の興安省概要	272	法規類纂	176	山東省濟南道農務科經濟調査	142
蒙古人名録	202	縣誌類	105	實 慶	
蒙古民族の慣習法	15	滿洲國私設鐵道關係法令の解説	172	論衡校釋	240
蒙古律令	19	郵政特種儲蓄利用法低蓄儲金の		實 士 復	
興安東省公署		利用法	183	綜合英漢大辭典	245
興安東省概観	272	滿洲國水運法規	179	實 鶴 銜	
興安南省公署		滿洲國船名簿	179	海關管轄地址選擇表	96
興安南省概観	272	直道探査會		實 著 勳	
興安銀行調査課		皇國の軍備と國勢	65	中國通商	154
滿洲農産物生産分布狀態一覽表	143	鐵物整理委員會		實 逸	
興奉縣公署		河北煤物産刊	153	土地問題	186
政況概要	41	康平縣公署		實 天 蘭	
興城縣公署		行政報告書	41	中國新聞事業	230
縣政概況	41	神戸市役所		實 勉 漢	
工業化學會		神戸市商業調査速報	114	各級法院司法行政實務類編	24
滿洲の資源と化學工業	80	メートル法の促進と實行	128	實 醫 生	
工業經濟研究會		滿洲國に於ける度量衡とメート		內務部統自治運動紀實	31
カルテル研究	77	ル法	128	實 右 昌	
工業調査協會		神戸市工業調査速報	157	民法債權傳義	13
航空機及航空發動機設計資料	160	船舶調査會ニ就テ	179	江 承 法	
機械辭典	167	船載貨物運賃計算の單位に就テ	179	近思錄集註	240
航空機工学調査部		國勢調査事務概要	192	江 藤 肇	
飛行機械技術	181	神戸商科大学		綜合英漢大辭典	245
航空調査會		重要經濟統計	60	江 徹 源	
航空用語	181	神戸商工會務所		中國關稅史料	95
厚生省		財界の推移	66	江 徹 源	
改正職業介紹法ニ就テ	210	神戸商工情勢	112	中國古代旅行之研究	280
關稅之助		小賣商店並中小工業ノ自助策	116	孔 憲 雲	
訪日中華民國民衆經濟觀察團歡迎晚		對英貿易機關	120	五院政府研究集	31
餐會ニ於ケル演説	66	數字的に見た最近通商關係	121	孔 祥 熙	
江蘇省實業廳		日米貿易の推移	131	天津特別市財政年鑑	85
江蘇省紡織業狀況	163	日滿日支貿易の趨勢	121	洪 瑞 瀾	
國府田賦一		輸出貿易上の諸問題	122	鐵路興公誌	172
腎動脈硬化病	222	華僑ノ現勢ト神戸ニ於ケル關係	195	洪 文 瀾	
腎小體に就テ日本人腎小體の直		神戸手形交換所		民法債權通則解説	111
徑容積等に就テ	222	神戸手形交換所報告書	104	侯 厚 吉	
訪談格例	222	産 總		世界人口狀況	100
國府田賦邊		官話指用誤論新編應用問題並解		侯 厚 培	

營業問題	04	現代風俗制度考	279	民國十大機關調查記	164
世界貿易狀況	119	吳敬恒		頁士敏	
世界工業狀況	156	國民黨史	33	民國財政史	88
廣樹丹		義和團運動史	288	關稅與國權	98
東三省金融概論	99	吳敬璽		賈豐璋	
換質卷		農業金融經營論	137	中國經濟史	220
消費合作經營論	76	吳經熊		古 傑	
消費合作原理	76	約法草案	13	中國農村經濟問題	142
世界貿易狀況	106	中國新憲史	17	古物時也	
農村合作運動	137	吳承諭		支那に於ける外人の商務權	162
群衆之助		中國的銀行	102	谷 秋 帆	
景氣指數論	80	支那銀行論	103	銀之發兌動態的研究	106
物價指數論	110	吳頌鼎		克 拉 諾	
統計餘談	199	治外法權	24	中俄邊境之新關係	53
統計學講義	201	吳 尚 璽		故宮博物院	
統計學研究	202	土地問題與土地誌	186	清宣統朝中日交涉史料	52
胡榮聲		吳承堯		克東縣公署	
中國煤礦	156	今世中國實業通誌	126	縣政概要	41
新印度	201	中國度量衡史	220	國際學術評議社	
胡 毅		吳仁敏		大日本地名辭典並交通地圖大鑑	258
教育統計學初歩	234	中國陶甕史	220	國際經濟學會	
胡善恒		吳先榮		北支經濟開發の問題	68
財務行政論	89	歷代名人年譜	208	國際經濟研究	83
胡長清		吳 崇 憲		國際經濟研究會	
民法總則	12	民國憲法史	17	資源獲得と純民地再分割論	51
民法總論	18	吳 煥 階		國際研究特報	83
繼承法	18	國民適用普通新尺貫	242	國際統計協會	
胡 超 然		吳季瀾		國際統計協會入報報告	202
工業藥品大全	164	煙煤及石油	165	國際問題調查會	
胡 權 安		吳文炳		オセアニヤ年鑑	295
中國文字學史	220	信託金融論	98	ローロワバ年鑑	295
胡 翼 聲		吳 麗 泉		アジア年鑑	295
票據法	13	生產教育之理論與實施	204	北アメリカ年鑑	295
古賀龜平		伍 玉 璋		南アメリカ年鑑	295
北支の商業貿易と列國の利權問題	256	中國合作運動小史	76	アメリカ年鑑	295
古賀元吉		經營學年報	76	國際聯盟協會	
支那治外法權權問題	24	伍 光 禮		國際聯盟便覽	49
吳 顯 鼎		十九世紀歐洲思想史	211	リットン報告書	53
世界農業狀況	131	伍 純 武		世界經濟概觀	82
吳 顯 鼎		社會經濟學	70	阿片問題研究	211
國民革命中之華北國際五大問題	53	聯 中		極東阿片問題	211
吳 貫 因		到青商法	219	國際聯盟事務局	
中國豫算與財務行政及監督	89	聯 準		手続法國際統一と商法改正	21
吳 其 遠		銀行會計	122	國際聯盟に於ける日支問題議事	
植物名實圖考	251	顧 炳 元		錄	49
吳 鏡 暉		中國勞務法令彙編	212	國際聯盟日支對等調查委員會報	

告書	52	大同二年九月十五日承襲週年記	日滿經濟五ヶ年計畫	74
國際聯盟理事會並に總會に於ける日支紛争の調事經過詳録	52	念日講演要項	國管と民管	75
世界經濟不況の過程並に前途論		國務院總務廳	金融恐慌論	79
貨物經濟報告	82	新年度預算書	世界經濟總論	82
國際稅關問題	95	一般會計歳入歳出預算各自明細書	經濟支新興經濟	83
國際聯盟金委員會最終報告書	109	各特別會計預算	鐵鋼經濟讀本	156
英米貨物に於ける金移動問題	100	特別會計歳入歳出預算各自明細書	日本重工業讀本	157
最近世界貿易概観	119	一般會計追加預算第一號各自明細書	ソビエトの重工業	158
世界農業恐慌	130	康徳元年度歳入歳出總決算各特別會計決算	燃料動力經濟讀本	162
國際勞工局		康徳元一五年度總預算	小島昌太郎	
工人意外運送統計法	212	大同元年度歳入歳出總預算	保險學要論	58
國際労働局東京支局		官公營刊行圖書目錄	經營學の基礎概念たる資本企業及經濟	62
國際労働年鑑	212	國務院法制局	赤字公債の消化	63
國際労働局局長年報	213	政府組織位置	世界經濟機關と景氣變動	82
實業院		法令輯覽	金融機構論	100
戰前戰後に於ける國際統計	90	澤河省公署	日本金融工作論	101
國勢社		布部四年建國三週年紀念特刊	交通經濟論	170
本邦重要資源開發要覽	90	黑龍江省	小島正秋	
商品年鑑	117	實施政綱要覽	乳と乳製品の細菌學	166
農業年鑑	130	婦老會議記録	小笠原正	
世界地理年鑑	235	黑龍江省廳務要覽	貸借對照表分析論	122
日本地理年鑑	235	黑龍江省特産貸款辦法其他	戶籍學協會	
外國々年鑑	291, 294	政務報告統計表	戶籍法典	44
國道局		施政大綱三年計畫書	小平權一	
事業要覽書	46	新滿鐵總省政方針	產業組合論	128
國道局過去一年の回顧と將來の展望國道建設の地方に於て影響調査	184	省職員錄	小平吉男	
國庫建設局		農商統計表式	計算法及び計算器械	240
國庫建設事業關係法令書式集覽	184	國立中央研究院	兒玉久一	
國庫大新京	184	歷史語言研究所集刊	神社行政、宗教行政	230
國民新聞社		國立編譯館	兒玉龍介	
國民年鑑	204	天文學名詞	國語法論	120
國民政府		國立華天圖書館	兒玉雄一	
國民政府現行法規	2	國立華天圖書館藏東西日藏書目錄	米國新聞記者の見た日本と滿洲	231
國民政府法規彙編	3	小島 肇	鐵鋼々村	162
國民政府經濟委員會		補民政務要綱	小玉眞一	
國民政府救濟水災委員會補助各區工程備覽	185	小島精一	ソ聯、英、米、佛侵略の跡を顧みて	51
國民政府教育部		工業政策	小堀新一郎	
第一次中國教育年鑑	231	北支經濟讀本	文化哲學の雜問題	226
國民文庫刊行會		非常時試點經濟論	現代文化と國民教育	224
國際漢文大成	242	日滿鐵制經濟	後藤朝太郎	
國務院		自由と統制	支那の社會相	203
施政綱要	20	ナチス新統制經濟讀本	支那文化の研究	219
			支那民情風俗講座	255
			支那の理解	276

支那民族の歴史	279
支那趣味の話	280
後藤一平	
新シイ農製糖理論と株園墾拓	80
後藤清	
労働協約理論史	317
後藤富男	
滿洲に於ける蒙古民族	207
世界大戦並に歐洲政局を視る論	
太極密力裏工作	206
後藤英男	
奉天入關小史	32
後藤英雄	
東三省主要官紳録	230
伍堂卓雄	
國方資産論	81
小中村清輝	
日本官制制度沿革史	47
湖南省政府	
湖南年鑑	295
小西重直	
勞作教育	262
小幡清金	
稼穡の生産性	221
小林新	
經營統計	77
金融經濟大綱	100
小林龍太郎	
支那財政經濟論	87
小林巳智文	
農業法研究	129
小林一三	
私の見たソヴェートロシア	259
小林丑三郎	
前清財政史統計學說論	88
小林久平	
石油及其工業	158
工業化學語彙	167
小林好日	
日本文法史	244
小林知治	
遼東北支を語る	29
小林行昌	
視察論	96
外國爲替の常識	105
倉庫論	115
商品船輪論	117

小林眞正	
露西亞社會經濟史	71
古澤安治	
野村鎮行二十年史	102
駒井徳三	
兩滿洲農村土地及農業經濟の研 究	133
高橋眞澄會政論	263
小松孝彰	
近代税とプロパガンダ	54
小松雄造	
傳道學上に於ける教諭作用	221
胡麻本蕃一	
露西亞民事訴訟法	22
最新ソ聯刑事訴訟法	23
ソヴェート労働法	218
小嶋三中男	
日本耕地價格の研究	134
小椋藤爾	
現行内閣法後規則詳解	171
米野野實	
滿洲國は縮進十	28
移住の業滿洲は招く	195
小山一耶	
滿洲國及北支の金融及鈔金	154
小山榮三	
宣傳技術論	230
小山勝清	
新滿洲國圖本	261
小山清次	
支那労働者研究	214
小山貞知	
滿洲國より大同世界へ	34
協和會とは何ぞや	206
小山猛男	
露西亞東の農業利用	164
郭爾羅斯前旗公署	
郭爾羅斯前旗基本圖考	265
權田保之助	
最新憲和辭典	245
近藤 奎	
支那學藝大叢書	319
近藤 誠	
指數法術法としての算術平均の 理論と滿洲國の物價調査に就 いて	225
近藤繁次	

日本の人口問題	191
近藤春雄	
ナチスの青年運動	306
ナチスの文化統制	297
近藤三雄	
滿洲に於ける農業金融	135
世界に於ける大豆の地位	148
近藤康男	
農産物生産費の研究	131
農業經濟論	132
農民經濟の諸問題	142
糧食專賣制度と農民經濟	142
コーキン	
中國古代社會	204
コムアカデミー	
世界經濟地理	258
コロウウイン	
過渡期國策論	23
コンラード	
日本の歴史	231

(サ)

三枝義智	
聯邦日本東亞復興	28
極東外交論叢	50
三枝博智	
日本の思想文化	241
財政經濟學會	
新聞集成明治編年史	295
財政經濟時報社	
日本鐵道工業總覽	153
日本鐵道工業年鑑	164
財政部	
滿支國境經濟事情	64, 82
財政部法令例規輯覽	84
各省區歷年財政總覽	86
滿洲軍需分布暨國防中地方財源	
國庫特別調査計費書	88
貨幣滿洲中央銀行議案法規	103
滿洲貨幣史	107
滿洲幣制史料	107
滿洲幣制年表	108
滿洲重要輸出品價格構成調査 表計表	117
滿洲重要輸入商品價格構成表	117

滿洲重要輸出品價格構成表	117	題	50	日本新會社法	21
北滿に於ける農業經濟收支表	135	佐賀縣		佐々木吉郎	
財政部關稅目錄	229	佐賀縣統計	199	評議經濟學の成立	70
財政部稅務司		佐賀縣統計速報	199	佐々木三治郎	
現行租稅法規	92	佐賀縣民ノ所得	82	東洋諸民族の歴史	291
稅務統計年報書	93	坂 千秋		佐々木清治	
稅務統計表編制規程	93	地方行政	38	旭土の地理的研究法	255
關稅法令	152	酒井正三郎		北支那の地理	275
關稅資料	152	保險經濟學	110	佐々木彦一郎	
酒類製造者名簿	166	坂口廣之助		經濟地理研究	256
財政部理財司		高等商品學	117	佐々木英夫	
政府出資主要會社關係法令定款		坂田謙吉		監獄と言ふ文字の起源及其の變遷に就いての研究	221
集	78	各國殖民地銀行制度	102	左 舜 生	
政府出資關稅公司章程草案	78	坂型文保		中國近代百年史資料初編	280
附錄二編		警察預算提要	37	中國近代百年史資料續編	280
支那をめぐる日、ソ、英、米	53	酒巻芳男		定方金藏	
支那の近三		皇室制度講話	25	電氣資金	160
滿洲に於ける權限	115	酒見重太郎		佐竹三吾	
滿洲に於ける邦人會學業	115	染料製造と使用法	166	鐵道營業法	6
支那大志		阪本眞山		佐治謙三	
滿洲の製鐵業	283	滿洲國史	283	國家法人説の崩壊	32
支那の三郎		坂本敏雄		日本學としての日本國家學	33
英和中辭典	240	滿洲の礦產資源	163	札幌稅務監督局	
支那の真		關田 茂		稅務統計書	93
滿洲國地問題ノ解剖	51	年代對照使署並發給對照表	280	札幌通信局	
酒井正之		關原 健		札幌通信局管内電氣事業要覽	167
滿洲水産調査	254	概観世界近世史	282	北海道通信事業概況	182
支那通商		向坂逸郎		稅務統計要覽	182
乳と乳製品の細菌學	106	統計經濟論總論	72	札幌通商局	
支那通商		貨幣論	106	通商局年報	172
近代東洋外交史序説	49	農業經濟學	132	佐藤丑次郎	
最近支那國關係	53	地代論研究	188	帝國書法講義	17
支那國關係概論	53	作田莊一		政治學	31
濟南市政府		現代國民經濟の趨勢	57	佐藤運雄	
濟南市統計資料	198	世界科學に就いて	62	齒牙支持組織の細菌性病因に就いて	222
藤 井 香		實際政策と政策原則	63	佐藤寛次	
中國學討史	234	自然經濟と意志經濟	70	日本農業通論	128
藤 野 重		日本國家主義と經濟統制	74	農業小辭典	129
企業の結合	76	世界經濟學	82	佐藤 真	
藤 正 雅		創造精神に基く滿洲經營	262	東洋の歴史	291
中日貿易統計	119	櫻井庄太郎		佐藤慶治郎	
藤 野 村		日本封建社會草創論	204	世界の無點滿洲圖	264
農民戰爭	133	櫻井忠通		佐藤雄助	
藤 野 健		國功大辭典	54	日本孝子傳	241
現存劇ABC	247	櫻井治作		佐藤定勝	
崔 桂		北海道神太年鑑	291		
朝鮮問題を通して見たる滿洲問題		佐々 隆			

ロシア大綱	299	佐渡宣平	再保険と共同保険との接近	63	山東鐵道會社	
佐藤四郎		佐野祐藏	朝鮮職業訓練規程及出願手續	153	山東鐵道會社に關する調査報告	174
滿洲國の檢々附會と其市場研究	113	心得			夢本晋七郎	
滿洲國年鑑	294	沙登諾夫	中國社會發展史	304	有富農業相談	129
佐藤輔吉		查良鑑	民事訴訟強制執行法	13	警謀本部	
滿蒙商工發展錄	113	蓮井要一	和蘭辭典	248	滿蒙資源要覽	80
佐藤精一		蓮田壯吉	滿蒙の畜産及畜産講座	264	滿蒙産業統計圖表	126
亞米利加經濟史講話	71	瀧村 康	ロシアの協同組合	70	サツグイン	
佐藤大西郎		ロシアの協同組合			近世滿蒙關係史	51
滿洲に於ける農村協同組合運動の状況	140	農業土地政策論	133	サファロフ		
佐藤忠雄		農業調査論	137	支那社會史	206	
日本外交論	43	中歐諸國ノ土地制度及ビ土地政策	188	近代支那社會史	206	
佐藤風治		三益 功				
滿蒙歷史地理辭典	280	滿洲ノ農畜産業ノ現勢	131	(シ)		
佐藤敏郎		豆粕の飼料化に就いての考察	166	衆議院事務局		
交通原論	170	滿洲の農畜産業の開發	261	研究調査同盟	33	
佐藤知恭		三省堂		衆議院報告	33	
王道學	32	英和大辭典	245	衆議院議事摘要	33	
佐藤 弘		新コンサイス英和辭典	246	衆議院議員選舉一覽	33	
原料經濟	69	世界年表	280	衆議院議員略歴一覽	33	
世界經濟地理	256	山西省實業廳		衆議院議員當選回数調査	33	
世界政治經濟地理統計	256	山西職務志略	164	衆議院先例彙纂	34	
經濟地理學概論	256	産業組合中央會		衆議院委員會先例彙纂	34	
政治經濟地理學	256	産業組合運動ト青年ノ任務	128	衆議院要覽	34	
世界經濟地理講話	257	産組問題研究會		衆議院圖書總覽書目録	239	
産業地理學見	257	産業組合問題研究報告書	128	周 麟		
人文地理六講	257	産業團體聯合會		新聞公法	22	
佐藤通男		産業平和への道	127	周 慶 生		
ソヴェート結語辭典	245	産業部		國策法大綱	23	
佐藤雄雄		職員錄	48	周 谷 城		
實用經濟會計	174	滿洲國産業概觀	126	中國社會之現狀	203	
佐藤進風		主要農畜物生産費	132	中國社會之變化	204	
蒙古の天然資源	156	農林政策審議委員會誌記録	133	中國社會之結構	205	
佐藤義亮		獻農事合作社概要説明	138	周 志 驥		
日本國民思想讀本	241	肉食開始に關する調査報告	149	中國重要商品	116	
佐藤進風		棉布並に棉織物工業に關する調		東三省概論	261	
外蒙古赤化の真相	277	査書	164	周 新 民		
佐藤龍馬		電氣局波數調査會議々事録	168	民法債	12	
特修六法全書	16	山東鄉村建設研究所		周 正 輔		
眞 正 義		鄉村學校專號	235	觀察事記略	276	
乳 學	166			周 定 教		
眞見岸雄				六法理由判解彙編	16	
西澤憲法講義	18			周 德 鴻		
佐渡愛三				全國郵政航空實施計畫書	182	
支那社會經濟史分析	71			周 葆 壘		
南支那に於ける農村問題	137			中華銀行史	103	
				周 予 同		

經濟歴史	240	施仁夫	支那學社	230
周 蘭 弟		陀氏成本會計	支那學	230
新選計分類尺讀大成	243	施 伯 珩	支那經濟研究會	
國野季彦		錢莊學	支那經濟現勢講話	67
發祥成親會傳説	3	施 裕 嘉	支那經濟事情研究會	
關谷安夫		山東中興煤礦工人調査	支那經濟年報	69
支那の農業	133	時事新報社	支那經濟年報刊行會	
沙見三郎		時事年鑑	支那經濟年報	60
統計學	58	史 尚 寬	支那研究社	
免稅點以下の小別所得稅	63	民法總則講義	日支關係條約總覽	48
昭和の民衆改革	63	至誠會	支那經濟研究會	
日本財政政策	74	至誠會員名簿	支那之煤炭	154
國民所得の分配	80	市政調査會	支那延宕軍調查部	
財政統計	85	瓦斯事業買收市管論	冀東防共自治政府所轄地區田賦	
日本財政政策	89	自治館	一覽表	94
各國所得稅制論	93	習式大全	支那問題研究所	
專賣及官公業論	97	自治指導部	支那問題辭典	27
志方益三		自治指導部條例	福地嘉郎	
東京帝國大學滿蒙調查會報告	132	評議會章程	北支自治運動の推移	38
國野信一		縣自治指導員辦公須知	滿洲森林の現況と將來の林政	151
滿洲の小作問題	136	各縣警察廳組織參考條件	滿洲及滿洲國有鐵道運費改正の	
高森博士		滿洲警察廳制度考	影響	173
ソ聯現狀圖本	278	奉天省地方稅(縣)收入復原圖	滿洲國阿片制度と阿片の概念	213
資源局		表裏	大 連	272
米國總動員計畫	54	奉天省に於ける自動車業の調査	滿洲と相生由太郎	282
再軍備經濟論	54	支那郵通信施設に關する調査	福地健一	
世界大戰に於ける米國總動員概		奉天省中心教育調査	中國人勞働者ノ實況	216
説	54	靜岡商工會部所	櫻田七郎	
列國資源提要	80	靜岡市經濟統計一覽	産業組合要論	128
米國總動員計畫	81	勝田 均	信夫清三郎	
資源資料要録	81	日本農業經濟論	日清論争	280
帝國資源總覽	81	實業部	柴垣和三雄	
米國總動員概説	81	實業部法令總覽	實踐數學	249
重要礦物資源資料目錄	153	實業部廣銷司	柴田 敬	
工業研究總覽	157	簡易農家經濟調査日誌	資本蓄積率の差異と固定資本	61
世界大戰中の佛國工業	158	簡易農家經濟調査表	關田龜彦	
河北省工場及事業場調査	161	耕作狀況季報及霖農況報告要領	事務用大法全書	16
本邦動力電化の趨勢	168	作況季報縣農況報告	不動産登記、戶籍寄附法規	19
米國戰時食糧政策	194	滿洲農作物收穫量豫測	府縣市町村法規總覽	39
資源整備局		實業部農務司	労働法規及社員法規	213
產業技術動員	127	滿洲國農業統計	柴野和喜夫	
資源整備調査局		指定農村振興方針	米穀法規	143
國策參謀本部設置案	34	情報 垣	關山泰四郎	
軍事產業資料	55.123	滿洲國	滿洲國軍事講座	264
日滿經濟プロフタの再吟味	76	西洗鐵路局	關山本爾	
列國軍備資源論	55.81	四洗鐵路會計統計年報	數の概念	249
			總論元治	

支那の家族と村落の物價 310
 電力問題講話 108
 四方 博
 朝鮮に於ける近代資本主義の成立過程 204
 司法協會
 最高法院制度要覽
 司法省
 日本商事慣例類纂 16
 日本民事慣例類纂 18
 司法省行刑司
 司法省行刑統計年報 24
 司法省刑事廳
 刑事統計年報 24
 司法省調査課
 ナチスの法制及立法要綱 14
 佛蘭法學通論 15
 德川時代民事慣例集 16
 獨逸刑法草案 (1930) 20
 米國に於ける指紋管理法 20
 ナチスの刑法 20
 取締法規違反の宗刑 20
 獨逸刑法改正 20
 伊太利刑法典 20
 中國刑法刑罰 20
 米國ニテ州不定刑罰法 20
 刑事政策 20
 英國の刑事裁判 20
 獨逸刑法提要 20
 德川禁令考 20
 德川時代裁判事例 20
 捜査事務に就て 20
 獨逸國株式會社法 21
 獨逸新民事訴訟法 22
 佛蘭刑事訴訟法 22
 ユーゴスラビヤ新民事訴訟法 22
 獨逸刑事訴訟法手續 22
 獨逸裁判所構成法 25
 英國の裁判と警察 25
 司法資料 25
 1913年匈牙利に於ける爲替手形及
 約束手形に付ての審判委員會々
 議記録 104
 司法省民事司
 民事統計年報 19
 司法部
 法律用語原典 3

北滿特別區に於ける土地問題 187
 全國律師會長期會長會議錄 26
 監獄長會議錄 26
 司法制度整備概況 25, 45
 職員錄 46
 司法部總務司
 滿洲國司法資料 24
 全國司法會議記錄 24
 司法統計年報 25
 法院組織法 25
 司法便覽 25
 全國司法會議議案 25
 司法部重要施政事項 25
 滿洲に於ける合股
 確證分類目錄 209
 司法部調査科
 滿洲帝國司法要覽 25
 司法部民事司
 提存關係法令集 3
 關東廳の法廷に關したる支那の
 民事慣習 18
 民事訴訟記録 22
 島 慈彦
 財政と經濟政策論との交流 63
 島田孝一
 自動車運送の經濟學的的研究 171
 島田善作
 會社論 (上) 重工業海運業 79
 島田武夫
 犯罪構成事實と違法性 231
 島津嘉孝
 公法要論 17
 島野三郎
 露西亞諸民族の研究 207
 露和辭典 245
 島本 融
 獨逸金融租稅論 100
 清水 玄
 健康保險法 7
 社會保險要論 208
 清水運藏
 刑事訴訟法理論 22
 清水 運
 逐條帝國憲法講義 17
 清水壽次
 支那の家族と村落の物價 210

清水黒木田
 流音講話 228
 清水滿重
 殖民地自治制度論 198
 志村真光
 最新工業大意 157
 下田 高
 齒牙支持組織の組織性研究に
 就て 233
 下中彌三郎
 神道大辭典 239
 大辭典 244
 下關商業學校
 關門地方經濟調查 65
 下關商工會議所
 統計年報 112
 下村龍一
 現代海運論 180
 下村 忠
 財政原本 84
 謝 榮
 外人在華遺棄之探査 155
 謝 觀
 中國醫學大辭典 248
 謝 宇 恒
 縣政總論 38
 謝 壽 昌
 中國古今地名大辭典 253
 謝 彬
 中國城道史 172
 中國郵電航空史 182
 謝 元 景
 中國古田制考 134
 謝 麗
 新印度 231
 社會局
 失業保險及失業救済に關する各
 國制度概要 210
 社會局勞働部
 工場監督年報 161
 社會事業研究所
 日本社會事業大年表 208
 社會思想社
 社會科學大辭典 203
 社會政策學會
 實業制度並純益分配制度 216
 社會調査所

中國之經濟地位	60	朱 劍 英	本邦人商社ノ經營ニ係ル出商業	115	
北平社會概況統計圖	203	國民政府公文格式大觀	47	駁引	
上海通商總局		朱 鴻 遠	123	各國に於ける輸入制限	117
上海港大全	180	工薪法律解説編	123	日印支間貿易關係について	119
上海銀行週報社		朱 采 眞		最近三年世界主要國外國貿易要	
經濟統計	61	中國法律大辭典	3	覽	119
上海自然科學研究所		中國民法債權總則	18	日印貿易統計	119
圖書雜誌分類目錄	209	土地法釋義	186	日埃貿易統計	119
上海市政府		朱 士 嘉		本邦外國貿易狀況	119
公用局行政管理實況	44	官廳局日彙編	229	イタリヤ經濟事情並に日本との貿	
上海市工務局		實業突人		易事情	121
上海特別工務局業務報告	184	中南米諸國ト日本トノ經濟關係	81	ベレスチン經濟事情並に日本	
上海市社會局		首都警察廳		との貿易事情	121
上海之工業	156	管内狀況	97	土耳其經濟事情並に日本との貿	
上海之機噐工業	167	例規集	37	易事情	121
上海特別市勞資糾紛統計	215	朱 乃 康		南阿弗利加聯邦經濟事情並に貿	
上海特別市罷工停業統計	215	中華民國產業組合運動史	126	易狀況	121
上海特別市罷工統計年報	215	朱 彬 元		モロコシ經濟事情並に日本との	
上海特別市工資指數之試編	216	世界金融狀況	99	貿易事情	121
上海數業調查總行		朱 敏 潔		東アフリカ經濟事情並に對日本	
金融商事年報	80	外人在華營業投資	155	貿易狀況	121
米	114	朱 方		シリア地方經濟事情並に日本と	
茶	144	現行六法全書	16	の貿易事情	121
棉	145	華秋社		日支貿易の概況	122
糖與雜業	165	日本コンツエール全書	77	最近三年本邦外國貿易要覽	122
上海申報社		順天府統計處		ステーブルファイバ製品の調査	163
中國分省新圖	259	光緒33年順天府統計表	199	海外諸國に於ける人番組織物事	
上海海關稅務司		商工行政調查會		情	163
中華民國海關進口稅率則	96	商工省委院	47	商工省保險部	
上海日報社		物資制限の法規と解説	45	保險年鑑	110
中國年鑑	296	商工省		商務印書館	
上海法學翻譯社		會計統計表	78	中華民國現行法規大全	3
民權司法法令大全	24	各國產業助長施設概要	127	憲法研究專號	17
行政法令大全	25	日本標準規格	157	中華民國刑法	20
現行標準公文程式詳解	47	全國工場通覽	161	海商法	21
朱 其 華		工場統計表	161	公司法	21
中國經濟危機及其前途	66	商工省鹽務局		商會法	21
中國五代社會史解題	205	本邦鹽業の趨勢	154	民事訴訟法大綱	22
朱 紹 鳳		商工省統計課		刑事訴訟法	22
辭 通	214	物價統計表	109	自治法規	39
蕭 一 山		商工統計表	111	市團織法	42
清代通史	297	商工省統計表	113	鹽務法	104
蕭 錦 綿		商工統計質疑應答集	125	上海公共租界根本章程	51
經濟學	70	貨價統計表	216	度量衡法規	128
蕭 森		商工省貿易局		工會法	160
海陸空軍公文程式	53	輸出組合關係法規	21	工廠法	161
		中米諸國ノ經濟事情	67	土地法	186

十三經	240	東三省紀略	264	食糧問題ニ關スル調査項目及食糧品ノ供給特ニ生産地地方策ノ參考案	194
薛源	244	徐壽康		人事興信所	
中國年鑑	296	最近上海金融史	101	滿洲國名士錄	48
商承繼		徐旭生		人事興信錄	208
廣西被擄人調査報告	207	徐旭生西遊日記	269	新亞書店	
費環章		徐公顯		國民年鑑	206
金貨銀錢之根本的研究	100	上海公共租界制度	50	新蘇州親屬	
蔣學楷		徐式委		新蘇州稅關貿易更置	120
特約勸業新進志	81	中國財政史略	88	新京特別市公署	
蔣鑄		徐石松		市政概要	44
農村經濟及合作	142	刑法	13	新京特別市臨時人口調査概要	193
蔣廷黻		徐錫綸		新京特別市文獻概況	208
近代中國外交史資料概要	49	比較租稅	92	新京市商會	
蔣履曾		徐仲迪		新京市商會ノ員會編	112
特約影片攝製談	212	英國退還庚子賠款餘額情形	91	新京特別市商會	
庄司登		徐 匯		新京特別市商會ノ員會編	116
世界政治論	81	黑龍江略	201	新京商工公會	
庄田作輔		徐通壽		經濟關係法令並佈告集	67
清葉林葉編選	264	日本は敵か味方か	68	新京商工會議所	
章 植		徐百爾		新京總領事館管内會社調	79
土地經濟學	186	民法繼承	12	統計年報	112
章中如		實用法律叢書	12	新京鐵道局	
清代考試制度	47	徐步蓮		開島地方概要	299
章 顯 著		刑法典例	20	新京日報社	
農村復興之理論與實際	133	如論社		新京事情	272
章 嶽		南方政策論	84	新光社	
中華歷史地理大辭典	280	職業紹介事業協會		莫有科學大系	218
中國通史	298	日本職業大系	310	新城新報	
鍾兆麟		白船亨一		送 信	262
社會變動論	204	商品の科學	117	滿蒙講習會叢書	263
文化進化論	228	統計グラフの畫き方	201	新庄健二	
鍾 肇 正		白老庄一節		ルーバー照明法に就て	222
現行滿洲帝國公文提要	46	リストの國民生産力説	63	新庄 博	
滿洲職業中學校		白谷忠三		信託業論	103
昌圖農科初級中學校一覽	281	列強の戰時經濟政策	74	新生命書局	
常 乃 眞		白松篤樹		中國中古時期的狂賦制度	206
中國財政制度史	88	衛生行政	37	中國社會史叢書	205
上水協業會		人口問題研究會		新報社	
上水道統計及報告	184	日本人口密度圖	198	關東滿洲產業大系	124
升巴富吉		人口問題	191	新天地社	
建國一周年ニ關シ再び身分登記法ノ實施ヲ揚揚ス	19	人口問題講演集	191	滿洲問題の基礎	49
徐 淵 著		支那人口問題研究	191	新聞研究所	
日本之農村合作與農業倉庫	137	人口問題資料	191	日本新聞年鑑	230
徐 家 寶		人口食糧問題調査會		新聞聯合社	
新刑法草案	14	人口問題ニ關スル調査項目及之ニ對スル方策ノ參考案	191	金と銀	108
徐 楨					

英米ノ取引所	116	シユムベーター		土地而租權概論	189
新滿洲情報社		理論經濟學の本質と主要内容	69	杉 道助	
滿洲大觀	205	經濟發展の理論	70	大阪より滿洲北支へ	259
新民報公署		(ス)		杉浦重剛	
新民報一般狀況	268	綏遠省政府		倫理學總論草案	241
新明正道		行政報告	40	杉之廣一	
フアツシズムの社會論	204	綏遠民生報告書	181	不動產登記法	7
社會學要講	204	綏化縣公署		杉村廣藏	
新村 出		綏化縣一般狀況	270	經濟哲學通論	70
謝 苑	244	綏中縣公署		杉村重三郎	
濱海鐵路公司		綏中縣一般狀況	265	地方自治制	4
濱海鐵路公司十九年工作報告二		綏濱縣公署		行政法規概要	35
十年進行計畫	176	三江省綏化縣志	270	杉本吉五郎	
濱陽縣公署		水原高等農林學校		關東州土地制度論	187
統計彙編	40	創立二十五周年紀念論文集	122	杉本正彦	
縣政概況	41	水原高等農林學校學術報告	122	不動產金融學論	98
濱陽市政公署		耕種畜産要綱	147	不動產金融學論	100
市政統計彙刊	44	水陸部		農地價格論	133
幸 安 瀧		揚子江水路誌	179	不動產の評價	189
中國陶瓷史	220	鄭 尚 友		杉森孝文郎	
幸 巖		呼倫貝爾概要	253	行動政治哲學	31
草鞋地土誌	255	末川 博		須佐嘉備	
幸 曾 綱		六法全書	16	西蒙古部法考	207
地方教育行政	214	民法大意	19	蒙古遊牧記	275
神保 椿		末高 信		西北外蒙古の今昔	275
官 話	244	生命保險論	111	鈴木榮太郎	
申報年鑑社		東弘嗣太郎		農村社會學史	140
申報年鑑	295	現代法令全集	2	鈴木於亮平	
ジイジエーク		法學問答	49	霜和大辨典	245
應用統計學	200	現代法學全集	4-11	鈴木敏藏	
濠特(ジイド)		債權總論	6	帝國總計沿革史	89
基特經濟學	70	新法學全集	12	鈴木小兵衛	
シツク		民法講話	19	滿洲の農業機構	137
ソグエート信用制度	101	末廣 量		鈴木利貞	
ジマン		滿洲國の前途	261	馬場財政と財界の前途	86
日本の經濟	231	東光高義		南洋讀本	273
シヤパンヌ		高等警察學論	37	鈴木直二	
フランス農村社會史	139	支那の秘密結社と慈善結社	206	米穀法制定の経緯資料	148
暹羅教流行中國考	240	菅 菊太郎		鈴木憲久	
西突厥史料	291	世界農業史	133	統制經濟と景氣の動向	73
シュタイン		菅野和太郎		鈴木久三	
社會思想史	206	大阪經濟史研究	71	光電管及光電池	158
シュパン		菅原香琳		鈴木文治	
經濟學說史	70	蒸氣機	160	農村問題講話	139
シュブランガー		菅原信雄		鈴木 稔	
文化哲學の諸問題	228			滿洲國財政に見る王道政治	86
現代文化と國民教育	234			鈴木雅雄	

港工學	180	西豐縣軍事要覽	234	石油專賣制度と石油ノ概念	97
港工學	180	西豐縣一般狀況	268	滿洲國安徽省績安縣高句麗遺蹟	260
鈴木益三		青龍縣公署		千家駒	
最近の外關爲替市場	106	青龍縣公署一般狀況	41	廣西省經濟概況	68
鈴木 隆		盛 開 函		中國的內債	91
工場寫眞術	160	中國書院制度	237	農村與都市	139
鈴木保真		練尾一雄		千石興太郎	
配給組織の常識	116	銀行取引法	98	中華民國の合作運動	126
須藤佐太郎		世界景氣研究會		全國經濟調查機關聯合會	
滿洲國々民道徳總論	241	世界景氣ノ分析	79	定率總會講演集	27,63
須田九一		世界經濟研究會		支那政治經濟の實情に就て	30
〔日本人は甘い〕とスパイは強く	54	世界恐慌四ヶ年ノ總決算	79	ソヴエト聯邦の近況	30
須藤真金		國際經濟ノ諸問題	83	最近の外交問題に就て	48
社説用語新辭典	183	世界狀況研究會		伊エ紛争と歐洲政局	61
砂田寛榮		世界經濟と世界政治	83	中國北平鐵路管理局々長殷國氏	
日本家族制度史研究	211	世界書局		を中心とする座談會	53
福原六郎		農村生活叢書	138	北支問題の經過と將來	63
人工的血量増多と血壓との關係	222	四部精華	240	日支經濟年誌	59
岡山誠太郎		關東二部		世界遊遊所感	63
會計監査	123	戶籍制度	44	滿洲視察報告座談會	65
駿河台圖書館		盛 星 岩		英國最近の經濟情勢	68
主要統計資料名索引	197	海城雜誌	265	最近のアメリカ材料事情	69
人名調査資料	292	關野 貞		歐米經濟界の印象	69
ステツダリツツ		熱 河		計畫經濟に就て	75
英國與滿洲問題	51	魯 州 公 署		日比の經濟關係とメグアオ問題	83
スピリドーウイチ		赤峰縣地方事情		日關會商と關漢印度ノ情勢	84
露國に於けるポリシエダイズム		義 國 濟		稅制改革に就て	93
發達史	208	中國土地問題之史的發達	186	滿洲の通貨問題と金融事情	100
スミット		薛 代 強		シヤハト指導下のライヒスパン	
統計學と標置法	201	中國外交年鑑	48	ク政策	101
(セ)		薛 華 權		日本インフレと世界經濟會議と	
西安縣公署		支那農村經濟總論	142	それから	101
統計彙刊	40	浙江省設計局		佛蘭西銀行總裁ノ更迭ヲ觸リテ	103
西安縣一般狀況	268	浙江之紙業	164	我國ノ爲替問題	105
生産調査會		浙江省民政廳		金利ノ前途感	106
米穀労働者ノ生計狀態	214	民政統計特刊	40	世界新市場視察談	114
政治經濟研究所		浙江省政府民政廳土地特刊	187	通商政策の趨向	114
經濟調査の仕方	61	瀋戸三郎		日滿通商問題	115
製鐵所勞務部		海上保險體系	110	我農村經濟ノ實情	136
工場勞務統計	161	瀧沼三郎		世界石油界情勢と現下の諸問題	156
製鐵所工場勞務統計	161	土地制度整理の話	188	人稱の現状及將來	165
聖德意發會		防日宣慰紀念美術展覽會圖錄	246	世界の新聞通信網ニ就テ	162
聖上御遊覽録	25	貞 永 源		滿洲移民ノ寛大性並ニ滿洲ノ集	
西豐縣公署		商標彙編	112	團移住地ニ就テ	196
例規集	39	錢 亦 石		會島嶼海外新聞雜誌表	228
統計彙刊	40	中國農村問題	139	全國財政會議秘書處	
		錢 貽 鏞		第二次全國財政會議彙編	87

全産業労働組合		事實總局		官務統計學全書	108
國家主義團體一覽	37	鹽務調査統計表	162	經濟地理學講座	257
通商ノ經濟國家管理ニ關スル案		善隣協會		遼寧局	
意法規	73	內蒙古	264	遼寧局六十年史	108
作業に就いての興味	79	外蒙古の現勢	275	遼寧局長年報書	108
商店法ニ關スル調査	116	ブリヤート蒙古の全貌	276	雙山縣公署	
英國綿業の衰退と其對策	163	蒙古大觀	278	雙山縣志	255
米國領土ノ勞務關係圖と其の實		蒙古年鑑	294	雙城教育會	
際	206	セテューコフ		雙城教育	233
國產業主組合の歴史と政策	206	ソヴェートロシア經濟地理	257	地方教育狀況調査報告書	233
英國米に於ける國主團體と其の				雙城縣公署	
活動	206	(ソ)		統計表	40
米國に於ける國主團體	207	聚 塵		村制育成概況	41
米國ニ於ケル失業準備金制度	210	近代農村經濟的趨向	142	雙陽縣倉庫概況	123
米國失業保險問題	210	朱 善 遠		遼國後通路行政概要	172
國際勞務協會概況報告	214	果樹栽培基礎知識	147	雙陽縣地誌	270
國際勞務協會調査ニ關スル參考		朱 時 烈		雙陽縣一般狀況	270
資料	214	三學士傳	292	總務廳人事處	
臨時工問題ニ關スル參考資料	214	泉 榮 宇		官吏錄	46
人事管理に就て	214	淮河流域整理與墾殖問題	186	總務廳會計處	
英國の危機と勞務組合	215	董 維 玉		財政統計	85
日本勞務組合會議ノ沿革ト現勢	215	產業風俗	147	財政現況	86
米國勞務學議ニ對スル批判所ノ		綿羊飼育法	149	會計例規類集	123
禁止命令制限立法ニ付イテ	216	會 仰 聖		總務廳統計處	
我國ニ於ケル解雇手續制度ノ現		中國憲政史	220	奉天省民事慣習調査に就て	16
狀	216	會 麗 化		吉黑兩省の民事慣習調査に就て	16
我國ニ於ケル勞務者退職手續制		中國鐵路史	172	東遼道資源概況	81
度ノ現狀	216	會 濟 寬		零賣物價統計表	110
勞務時間ト失業	216	林業經濟學	150	乘務調査報告	140
職員の自傷疾病等ニ對スル救済		會 志 履		人口動態統計資料	189
施設	217	中東路交通史	178	現住戶口統計	193
全國無毒集會所		會 迪 先		調査關係法規類抄	197
全國無毒會社要覽	103	市財政學	87	統計叢書	198
全羅南道		會 炳 鈞		滿洲重要統計資料便覽	200
特産品案内	117	國際勞工組織	217	統計實務	202
仙臺鎮産監督局		會 樂 平		統計學概論	202
管内産品一覽	152	社會統計	203	統計調査	202
仙臺鎮山監督局		會 泰 翊		鄉村社會調査報告書	206
管内産品一覽	154	法治通史	15	新京特別市に於て施行せる臨時	
仙臺鎮産監督局		戚 國 鈔		家計調査概要	209
稅務統計書	93	中國人名大辭典	282	政府各官公署保存資料目錄	229
管内稅務一斑	96	寇國四部		滿洲帝國國勢グラフ	294
仙臺鎮道局		大連土木建築材料商組合提議	113	滿洲國年報	294
線道局年報	172	農村秀雄		總務廳情報處	
事實局		南滿洲農業提議	131	治外法權廢止準備	24
專賣局年報	97	巖 文 閣		即位大典紀念寫眞帖	25
事實總局		世界經濟景氣年報	82	治外法權廢止の實狀	25

領事裁判權に對する司法部の整理概況	25	藤井秀雄		大審院判決錄	23
滿洲國大系—司法	26	滿蒙全系	254	大審院民事判例彙	24
皇帝陛下御訪日—關スル記錄	26	園田一磨		大東公司	
皇帝訪日與友邦日本	26	宋徽宗皇帝の滿洲國院	283	河北省農村經濟調查書	141
回響譯民器書譯義	26	東州國人嵐南秀ノ行状	291	大東文化學院	
皇帝訪日記念寫真帳	26	園田三次郎		大東文化學院卒業生紀要	226
大典—關スル講話資料	26	牧野概論	149	大東文化學院要覽	222
皇從訪日表記	26	園部一郎		大同印書館	
滿洲建國ノ眞事實	23	山林法	8	滿洲新法法規類纂	3
王道主義研究資料	33	岡島省三		大同學院	
省政彙覽	35	國際資本移動論	84	滿洲國鄉村社會實態調查抄	140
改變蒙旗行政制度紀念特刊	36	藤 經 閣		滿洲農村社會實態調查報告	141
警察權の擴張移讓準備	38	登錄問文庫漢語分類目錄	229	滿洲農村社會實態集計表一覽	141
改變地方行政紀念特刊	39	藤 健 仁		大同學院編者分類目錄	223
日滿條約關係資料	48	支那經濟現勢講話	67	日本内地視察旅行感想錄	259
治外法權廢止に關する日滿條約關係資料	48	藤 健 初		日本視察旅行日記與感想錄	260
慶祝承認周年紀念大會錄	52	移住及察哈爾西南部地質誌	251	滿洲國地方事情	260
慶祝承認二周年紀念特刊	53	藤 佐 實		遼北縣事情	264
慶祝承認周年紀念畫冊	52	中國田賦問題	94	奇克縣事情	264
滿洲帝國國體沿革地方概況	176	藤 師 毅		滿洲國各縣視察報告	264
北滿鐵路接收紀念特刊	174.178	中國現代經濟史	71	錦州省興城縣事情	268
滿洲國國體	264	中國現代交通史	171	昌圖縣事情	268
滿洲國大系	265	藤 紹 康		錦州省義縣事情	268
滿洲國大系	265	刑事訴訟法	18	錦州省彰武縣事情	268
新滿洲	265	藤田秀春		錦州省建昌縣事情	268
滿洲帝國概要	265	勞働法	4	奉天省西豐縣事情	268
滿洲國國體	266	我國勞働法規及判決例	212	奉天省東豐縣事情	268
離進過程の滿洲帝國	266	村落社會學會		奉天省營口縣事情	268
滿洲帝國の現勢	266	村落社會の研究法	140	奉天省各縣視察報告	268
滿洲帝國大系	266	ソグエート・マルクス主義學者協會		奉天省梨樹縣事情	268
滿洲帝國の現勢	267	アジア的生產様式に就て	69	蓋平縣事情	268
滿洲國國體節日	279	ソグエートアカデミヤ		奉天省柳河縣事情	268
支那事變詳談放談場	281	ソグエート科學の達成	224	奉天省復縣事情	268
即位大典慶祝大會紀念錄	282	ソールター		奉天省瀋陽縣事情	268
藤 甲 原		世界經濟回復	82	扶餘縣事情	269
中國地理沿革圖	259	ソロキン		吉林省長春縣事情	269
藤 園 園		社會變動論	204	吉林省雙陽縣事情	269
戶籍統計	207	(夕)		吉林省榆樹縣事情	269
十河正義		殿 季 陶		吉林省長嶺縣事情	269
滿洲特別自治移民ノ現況	195	西 北	29	吉林省扶餘縣事情	269
外國流亡記		殿 修 環		奉天省鎮江縣事情	269
婚姻親族後見法	211	刑事訴訟法釋義	14	開原縣事情	269
外村史郎		行政法規	35	遼源縣事情	269
ロシア語辭典	245	對支功勞者傳記編輯會		錦西縣事情	269
		對支回國錄	53	北鎮縣事情	269
		大審院		長白縣事情	269
				奉天省本溪縣事情	269

奉天省黑山縣事情	269	大陸科學院要覽	226	インフレ景氣ノ進行ト株式	101
奉天省遼山縣事情	269	大陸科學院研究報告	226	臺北醫藥	
奉天省蓋安縣事情	269	大連市役所		臺北醫院年報	218
浙江省呼蘭縣事情	270	大連	273	臺北刑務所	
浙江省寶清縣事情	270	大連商工會議所		刑務所要覽	37
龍江省富錦縣事情	270	經濟都市大連	273	臺北高等商業學校	
三江省通河縣事情	270	大連商工業内	173	爪哇經濟界の現況と蘭領東印度の原始産業並に取り撤廢	69
龍江省洮南縣事情	270	滿洲事變前に於ける我權侵害事例	62	臺北高等商業學校一覽	263
拜泉縣事情	270	昭和六年大連經濟年史	69	臺北大學專門部	
龍江省安廣縣事情	270	滿洲經濟統計年報	60	臺北大學附屬農林專門部一覽	233
吉林省輝甸縣事情	270	滿洲經濟圖表	60	臺灣社會事業協會	
吉林省乾安縣事情	270	滿洲經濟統計年報	61	精神病者と社會問題	208
和龍縣事情	270	北支經濟圖說	68	臺灣蔗作研究會	
熱河省溥陽縣事情	271	大連商工會議所事務報告	76	蔗作に關する統計	145
熱河省隆化縣事情	271	滿洲關稅制度概要	93	臺灣製糖會社	
龍江省嫩江縣事情	271	關東州輸入物取捨規則、地方稅法、屠宰場、計量法、酒稅法、家畜自用酒稅法	95	小葉沿革之概要	100
龍江省杜爾伯特旗事情	271	關東州稅制度改正方に關する述	96	臺灣總督府	
黑龍江省東興縣事情	271	綏密	96	臺灣行政史	32
龍江省龍江縣事情	271	關東州ノ關稅制度	96	消行行政法	35
龍江省克東縣事情	271	滿洲國輸出入稅率表	96	臺灣總督府警察沿革誌	36
龍江省景星縣事情	271	滿洲國金融機關其他法令	96	臺灣總督府職員錄	47
龍江省甘南縣事情	271	滿洲銀行社會年鑑	97	臺灣地方財政概要	86
龍江省郭爾羅斯後旗事情	271	外國爲替管理法規集	103	官設鐵道用品資金特別會計收入支出豫定	89
熱河省烏魯木齊縣事情	271	外國爲替管理法規集	105	特別會計豫算參考書	89
熱河省遼河縣事情	271	滿洲商工年鑑	105	稅務年報	93
熱河省佛山縣事情	271	大連商工會議所統計年報	111	臺灣ノ金融	99
興安西省林西縣事情	272	大連商工名錄	111	臺灣商工統計年報	113
興安西省奈曼旗事情	272	大連商工名錄	112	臺灣商品概説	116
大連市事情	273	大連市ニ於ケル營業分布ニ關スル調査	116	臺灣貿易年報	118
大工原鐵太郎		滿洲輸入本邦品と他國品の競争事情	120	臺灣貿易三十年對照表	119
時間と信仰	282	滿洲の棉花問題	146	臺灣貿易概要	120
大日本博士録編輯部		滿洲地質索引下に關する要綱圖	156	肥料要覽	138
學位大系博士氏名錄	292	大連港石炭輸入制限撤去に關する建議書	156	世界ニ於ケル蔗糖産業	145
大日本麥酒會社		滿蒙鐵道特定運賃制定方ニ關スル建議	176	臺灣阿片誌	145
大日本麥酒株式會社機覽	166	滿蒙事情	263	臺灣茶業統計	146
大日本紡績聯合會		タイムス社		新加坡阿片、印度阿片、波斯阿片、設羅阿片	146
綿絲紡績事情參考書	163	中國及滿洲國人名地名便覽	293	臺灣ノ柑橘産業	147
太平洋研究會		ダイヤモンド社		臺灣ノ芭蕉産業	147
日本研究叢書	291	經濟統計年鑑	59	臺灣ノ鳳梨産業	147
太陽堂編輯部		經濟記事の基礎知識	61	主要青果物統計	147
數學ハンドブック	250	時局會社の檢討	79	臺灣林産統計	150
平貞藏				臺灣水産統計	150
滿蒙移民問題	146			木材貿易表	151
大陸科學院				臺灣の蠶業	153
農事關係試驗研究機關懇談會連					
記録	102				
大陸科學院會報	226				

臺灣農業統計	153	司法事務集計表	24	通貨管理論	98
工場名簿	161	臺灣縣志會		金融景氣トソノ限界	100
臺灣糖業要覽	166	臺灣農業年報	130	高島半峰	
地氣事業要覽	167	臺灣の高産、附臺灣産物統計	148	滿洲に於ける教化運動と禁酒	262
臺灣鐵道旅行案内	171	田岡夏一		高橋虎六	
珠道年報	178	空想と國策法	93	農業經濟學大綱	132
臺灣ノ鐵道	171	多加万城		高橋莊太郎	
鐵道要覽	174	支那事情講座	254	會計學	58
附屬機關	179	高市麗雄		會計讀本	123
通信統計要覽	182	明治文獻目錄	228	高田眞男	
土木事業統計年報	184	高岡大輔		特別法規判例總覽	3
土木事業	184	印度の國情	276	高田太一	
土地登記トルレンス氏制度	188	高橋南次郎		統計圖表	201
臺灣人口動態統計	189	商業經濟辭典	57	高田保廣	
臺灣現住人口統計	189	貨幣制度	58	教育行政	204
臺灣國勢圖表	192	貨幣ノ本質	106	高田保馬	
臨時臺灣戶口調査	192	貨幣の生成	107	國家と階級	33
臺灣總督府報告例	199	貨幣の機能	107	景氣變動論	58
臺灣社會事業要覽	208	高道勳次郎		殖民の世界史的意義	61
礦業名簿	210	支那滿洲風土記	279	經濟と勢力	62
臺灣見聞統計		高木三郎		自然利子論	63
臺灣河川片斷者ノ矯正	211	宮内省恩給令要覽	47	經濟原理	69
サラック勞働法	212	高木壽一		利子論研究	105
臺灣學事一覽	231	職時財政論	89	社會關係の研究	204
臺灣總督府學事年報	231	高木眞助		社會學原理	204
文藝の施設	234	山本英造乃博士年譜及著書論文		社會學概論	204
臺灣衛生要覽	248	目錄	62	民族の問題	207
瘧疾事情	273	高木 武		高野三郎	
臺灣事情	273	我が臺灣の精神	221	國家宣傳とジナリズム統制	230
臺灣總督府交通局		高本 昇		高野三郎	
通信局	182	新運價額價值算計	223	統計學研究	201
臺灣總督府殖産局		高本陸郎		本邦社會統計論	203
臺灣の商工業	113	北支那經濟案内	68	最近の本邦社會統計資料	203
臺灣總督府商賣局		高城倫次郎		社會統計學史研究	203
臺灣專賣法規	97	金利論	105	高橋基一	
專賣事業第三十年報	97	物價問題	109, 110	貨幣論の漁業	151
臺灣中央研究所		高橋順次郎		旅順を據地とする問題に就て	151
林業部要覽	150	アジア民族の中心思想	241	高橋克巳	
臺灣中央試驗所		高遠喜八郎		ソヴェート聯邦の輸出入貿易	121
工業部要覽	153	民法現狀編	18	高橋吉吉	
臺灣土地調查局		刑法各論編	20	滿洲經濟と日本經濟	64
大租取調書	94	高砂三郎		現代臺灣經濟論	65
臺灣土地慣行一斑	188	地方財政糾纏問題	45	日本經濟の基礎と世界危機の前	65
臨時土地調查局々報抄録	186	高島位一郎		論	65
朝鮮土地調査事業報告	186	危機財政と金融統制	89	競争と日本經濟力	66
臺灣總督府法務課		租稅、公債、通貨新論	92	支那經濟ノ崩壞過程ト方法論	67
民法對照臺灣人新公衆廣習研究	16			日本經濟統計論	72

著者名索引

☆

日本物價政策	74	獨裁制と法律思想	27	比較水法論	186
長期下の財政經濟	74	高柳 保		武部 一	
戰時經濟統制の現狀と其前途	75	滿洲主要都市要覽	267	滿洲華工論	50
戰時經濟講話	75	高柳 一郎		勞働問題調査報告	214
現代公債政策	91	支那關稅制度論	95	滿洲の舌力	214
稅制と産業壓迫	93	勞働者餘暇利用法	215	竹内 潔	
金融統制論	98	高山 洋吉		高等物學學	250
統制金融と自由金融	100	科學的工場經營の實際	161	竹下清松	
日本金融論	100	科學的工場組織の理論	161	統計學概論	200
現代中小工業論	117	蒙古近世史	288	竹島 卓一	
日本工業發展論	158	對部 靜治		熱 河	271
高橋 幸郎		人口稠密の原因圖	63	竹田 省	
法律上の補償	14	支那南北傳	63	商法總則	9.10
高橋 慶治		ケトラーの研究	201	商行爲法	11
日本航空史	187	社會統計論概	203	竹田 哲馬	
高橋 源一		瀧川 龜太郎		特殊利益の歴史的考察	60
滿洲に於ける日本の文化的貢獻	50	支那史	288	竹田 武男	
高橋 次郎		瀧川 幸彦		應用統計學	200
量氣政策批判	80	刑法總論	6	竹田 照	
高橋 誠一郎		刑法各論	8	支那文獻の解題とその研究法	237
經濟學史	53	瀧口 義敏		武田 鳳雄	
經濟學前史	70	現代金融論	100	太平洋會議と滿洲問題	50
高橋 清吾		瀧本 誠一		武田 理一	
政治科學概論	31	日本法制經濟史	15	統制經濟の基本理論	72
現代政治の諸問題	34	瀧山 眞		武田 善次郎	
高橋 武雄		滿洲國の交通路	283	管理通貨論	101
農産加工相談	129	嶋 忠 謀		竹中 精一	
高橋 利雄		京兆通商農工銀行十年史	102	マニヤル經濟學に於ける生物	
實地踏査臺灣聯邦を語る	30	包海鐵路建設與計畫	173	學的世界	225
高橋 正雄		内蒙張多赤銅鐵錳鐵礦圖	174	武信 由太郎	
世界經濟統計圖表	60.61	蒙古鐵路交通圖	259	新和英辭典	246
世界經濟ノ基礎知識	82	最新蒙古圖	276	建林 正喜	
ケインズ貨幣論の研究	107	蒙古圖	278	人口問題と國際政策	191
高橋 本枝		田口 勉		竹原 常太	
アルミニウム及其の合金	155	明治初中葉ノ滿洲文獻	230	スタンダード英和辭典	246
アルミニウム及其合金	166	拓殖銀行		武部 一	
高島 素之		北海道及樺太經濟統計要覽	60	教育行政法	8
マルクス經濟學	58	拓務省		建部 運吾	
地租思想史	188	拓務要覽	194	第二滿洲問題と社會の將來	263
人口論	190	拓務省統計概要	194	鍋井 元龜	
高久 肇		拓務省統計便覽	194	滿洲國に於ける日本の貢獻	34
支那ノ國債ニ關スル統計	91	拓務統計	194	太田 松三郎	
高橋 明彦		移民關係諸法概	194	支那國歌徒の研究	239
商工行政	114	滿洲特別農業移民概況	195	田崎 仁藏	
高柳 實三		武井 靜剛		支那古代經濟思想及制度	69
法律哲學概論	15	土地收用法	8	中國古代經濟思想及制度	70
		土地行政	184	一般經濟史	71

尙書ノ虞夏書ニ見ヘレタル經濟思想	61	田中耕太郎	過去十周年間ニ於ケル南滿洲勞働爭議統計	216
大政官修史官		法律學辭典	4	
明治史要	263	手形法	5	田中 穂
田代善吉		法律學概論	9-11	巴爾幹を見て滿洲國を德ぶ
日本農業史	133	商行為法講義要領	21	藤橋初太郎
多田基一		會社法概論	21	小邊經濟と協同組合
國有財產制度論	97	經濟法合庫	67	田邊勝正
橋本三郎		政黨と文化の基礎	235	歐後歐洲ニ於ケル土地制度改革史論
家族的獨立小農法	134	田中秀作	261	田邊忠男
橋 種		新滿洲國地誌		經濟原論
支那社會研究	203	田中修治	260	谷川科善
支那思想研究	241	蒙古シベリヤ踏破記		滿洲の果樹
立作太郎		田中重芳	167	谷口憲太郎
國際法の基本觀念	5	標準機械工作法		地方稅通義
平時國際公法	7	田中次郎	17	谷口吉彦
戰時國際公法	8	中華民國憲法草案		恐慌と善價と飢民
時局國際法論	22	田中萃一郎	291	輸入制限と國內物價との關係
戰時國際法論	22	ドーソン製古史		國民經濟學體系
國際平和關係條約集	46	田中末廣	125	日本貿易政策
立田信夫		田中清之助	245	國際經濟ノ理論ト問題
日本産業組合論	128	訃言對譯華語辭典		貿易統計の研究
立野斗南		田中忠夫	18	爲替理論と爲替問題
金銀の將來と我對外政策	109	支那物價慣習論	29	マルサス人口論
版已實世		現代支那の根本的認識	29	谷津直秀
サダエートロンアに於ける産業と教育	233	支那經濟論	66	動物學辭典
田中 興		支那經濟讀本	67	谷村 武
滿蒙治安と日本	50	支那問題概論	67	南滿洲三港仲體貿易
田中稻園		北支那經濟概論	67	谷村重太郎
代用液體燃料問題	235	支那手形論	101	計算國支學
田中 重		支那農業經濟の諸問題	132	田 健 忍
經濟地理の教學	256	革命支那農村實證的研究	138	帝國憲法講義
田中勝吉		田中長三郎	156	田健爲彦
有用木材の性質及用途	151	技術と軍事工業		英吉利政治經濟研究
田中金司		田中長茂	151	佛蘭西政治經濟研究
中央銀行、日本銀行論	98	農林行政		獨逸政治經濟研究
田中 健		田中増太郎	219	銀及通貨論
國醫學概論	227	計算精表		田原 賢
田中 好		田中万造	20	滿蒙の謎を解く
土木行政	184	龜 宮		玉井 茂
田中廣太郎		田中萬次郎		人口思想史論
最新地方財政要覽	86	滿鐵管の内面障礙抵抗を減ずる一考察	223	玉井莊藏
地方稅制講話	94	田中有年		内外蒙古の擴張
地方稅研究	94	滿洲に於ける支那勞働者募集及移動狀況	213	玉城 肇
市町村稅戶數修正表	94			ベルリ提督日本遠征記
				玉木英夫
				支那銀行論
				103

田村一郎	羊毛ノ需給ト滿洲羊ノ將來	140	社會事業年鑑	208	中國工商管理協會	
田村市郎	經濟統計學	61	中央情報社		工商問題之研究	156
	我國ノ景氣循環ト景氣指數	70	拓務及對滿課事詳錄	105	中國々民經濟研究所	
	景氣豫測ノ方法	70	中央職業紹介事務局		日本對滿投資	105
	統計學要論	201	昭和三年中ニ於ケル道府縣外出 業者ニ關スル調査概要	105	中國社會學社	
田村幸雄	滿洲國出現ノ合理性	28	職業別勞務事情	213	中國人口問題	191
	支那外債史論	91	職業紹介法關係法規	210	中國通信社	
田村徳治	行政學と法律學	31	職業紹介成績	210	資料通信	182
	行政機構の基礎原理	31	東京大阪兩市ニ於ケル職業婦人 調査	211	中國農村經濟研究會	
	國際社會の將來と新國際主義	204	少年職業紹介施設及取扱成績	211	中國農村	189
田村敏雄	租稅篇	59	中央宣傳委員會		農村通訊	189
田村 豊	現行營業法汎論	37	滿洲國當前問題之檢討	29	中東鐵路經濟局	
關 風 池	中國都市交通營繕	37	宣傳主任會會議錄	230	世界市場之黃豆	143
タムソン	人口問題ト國際政策	191	中央酒業協會		統計年鑑	173
	(子)		滿洲市史日録史	280	東省鐵路統計年鑑	173
池 澤 運	北平市工商業概況	113	中外産業調査會		中東鐵路圖書館	
中央委員會	建國週年紀念	283	中外時間の新研究	66	中東鐵路圖書館圖書目錄	229
	建國一年回顧錄	283	中外商業新報社		駐日滿洲國大使館	
中央調查臺	極東經濟氣象實況	250	臨時經濟の現状と將來	75	滿洲國訂日學生錄	236
	滿洲氣象資料	250	市場用語解説	111	千倉書房	
	時憲書	250	日本産業資料大系	124	日本經濟政策大系	74
中央銀行	經濟金融概況年報	57	中華全國體育協進會		地形社	
	經濟金融統計年報	60	最新各項運動規則	208	防共世界地圖	259
	佳木斯を中心とする河下特産事情	125	中華法學社		千坂高興	
	黑龍江省存耕貸款手續	137	公文程式全書	47	農村と農業組合	139
中央警察學校	中央警察學校一覽	38	中華民國法制研究會		地質調查所	
中央研究所	臺灣總督府中央研究所農業部要覽	132	中華民國民法總則	18	地質彙報	250
	中央公論社		中華民國刑法總則	19	地籍整理局	
	中央公論年報	294	中華民國會社法	20	土地局史	45
	中央社會事業協會		中華民國商社法	20	土地關係統計資料	187
			中華民國商法	21	地籍整理事業概況	187
			中華民國手形法	21	地券標式彙纂	187
			中華民國民事訴訟法	23	全滿土地買賣價格並主要農產物 收穫量調査表	188
			中國銀行		齊齊哈爾市公署	
			東三省經濟調査錄	64	齊齊哈爾市例規彙編	42
			中國重要銀行最近十年營業概況 研究	102	千葉縣印刷業會	
			全國銀行年鑑	102	農業經營改善必行事項	135
			中國軍事委員會		千葉縣統計課	
			中國工業調査報告書	157	學校生徒兒童身體檢査統計	235
			中國之雨量	260	千葉縣議會	
			中國經濟學社		農業經濟事例	135
			中國經濟問題	66	千葉縣婦	
			中國建設協會		新聞雜誌辭典	230
			中國建設	184	千葉豐治	
					滿洲農業の特質と日滿農業の比	

穀研究 131
 滿洲ノ製菓ト乾燥地農業 135
 地方改良協會
 市町村事務令規 42
 茶業協會中央會
 海外新設茶市場調査報告 115
 日本茶貿易概観 120
 茶業統計 145
 内外製茶統計 145
 近東及阿弗利加各地ニ於ケル茶
 業調査 145
 海外製茶市場調査報告 146
 日本茶業史 146
 調査資料協會
 調査資料協會事業内容 236
 朝鮮銀行
 朝鮮經濟統計要覽 61
 朝鮮ノ石炭及發電水力 81
 朝鮮銀行二十五年史 103
 豌豆及菜豆ニ關スル調査 144
 朝鮮に於ける電氣統計計畫と其
 論議 169
 蒙古地名辭典 263
 熱河蒙古地方に關する調査 261
 朝鮮警察總監部
 同片參考資料 212
 朝鮮研究會
 元朝史註 288
 朝鮮總督府
 關島産業調査書 126
 朝鮮取引所關係法規 116
 朝鮮總督府
 法令輯覽 3
 朝鮮擴張調査報告書 15
 施政二十五年史 32
 施政年報 36
 朝鮮統治三年間成績 36
 朝鮮施政に關する報告演說並演
 述集 36
 朝鮮警察概要 37
 在朝鮮居留地關係取極書 50
 朝鮮の經濟事情 65
 朝鮮地方財政要覽 86
 各國殖民地租稅制度概要 92
 朝鮮稅務法規概要 92
 朝鮮金融事項參考書 99

朝鮮人の商業 114
 市内地の商團 114
 朝鮮ノ市場經濟 116
 朝鮮貿易年報 118
 朝鮮貿易要覽 120
 朝鮮の小作習慣 138
 小作農民ニ關スル調査 136
 農村振興運動の全貌 140
 朝鮮の林業 150
 朝鮮の漁業 165
 鐵道局年報 172
 朝鮮鐵道主要貨物ニ關スル各種
 統計表 175
 貨車行先別 175
 小口貨物搬送ノ現況 175
 朝鮮河川調査年報 178
 朝鮮總督府通信年報 181
 朝鮮總督府通信統計要覽 182
 朝鮮の通信事業 182
 通信給送 182
 朝鮮直轄河川工事年報 185
 朝鮮ノ人口統計 189
 朝鮮國勢調査報告 193
 朝鮮の人口現象 193
 在滿朝鮮問題ノ重要性 195
 朝鮮に於ける内地人 195
 舊關東波羅統治概觀 196
 印度統治に對する批判 196
 朝鮮總督府統計年報 199
 朝鮮總督府報告別冊 199
 朝鮮部落調査豫察報告 206
 朝鮮の獨立思想及運動 206
 間島移民保護に關する施設 207
 朝鮮人の思想及性格 207
 英國印度統治の現状と英國國民
 族統治政策の批判 207
 朝鮮の群衆 207
 英國印度の民族運動 207
 生活狀態調査 209
 工場及鑛山ニ於ケル勞働狀況調
 査 213
 阪神京濱地方ノ朝鮮人勞働者 215
 朝鮮總督府及所屬官署主要刊行
 圖書目錄 228
 朝鮮總督府圖書目錄 229
 朝鮮諸學校一覽 232
 農山漁村に於ける中堅人物養成

施設の概要 234
 朝鮮の鬼神民間信仰第一部 236
 朝鮮の宗教及信仰 236
 朝鮮の類似宗教 239
 朝鮮の占封と豫言 239
 朝鮮の巫覡民間信仰第三部 239
 朝鮮の風水民間信仰第二部 239
 朝鮮語辭典 244
 朝鮮通信部内職員及館人衛生統
 計 248
 朝鮮の聚落 273
 朝鮮史のしるべ 273
 朝鮮總覽 273
 國境地方視察復命書 273
 朝鮮地誌資料 274
 朝鮮事情 273
 朝鮮要覽 278
 羅漢朝鮮の意氣と針路 29, 274
 外人の見たる最近の朝鮮 274
 伸び行く朝鮮 274
 部落祭 279
 朝鮮の服裝 280
 朝鮮の年中行事 280
 朝鮮史編修會要覽 280
 朝鮮史 283
 朝鮮の性 292
 朝鮮總督府鐵道局
 豆滿江流域經濟事情 65
 朝鮮南洋縣其他
 人口問題ニ關スル方策ノ參考案 191
 食糧問題ニ關スル方策ノ參考案 194
 食糧品需要給推算生産及輸出入
 ノ狀態並ニ消費狀態ニ關スル
 調査 194
 朝鮮議會
 朝鮮農務提要 131
 高等農事講習會講義錄 131
 朝鮮ニ於ケル現行小作及管理契
 約證書實例集 134
 米穀ノ性狀ト貯藏 145
 棉ノ病虫害 147
 朝鮮會
 大日本租稅誌 93
 貯金局
 貯金局統計年報 103
 郵便貯金、局別狀況表 103
 郵便貯金府縣別、職業別統計 103

六十年間郵貯經濟史觀	103	定縣農村工業調查	141	陳翰笙	
町村ノ郵貯ヲ府縣別ニ比較ス	104	生命統計學概論	203	黑龍江流域的農民與地主	131
再び市ノ郵貯ヲ比較ス	104	張星娘		兩支那ニ於ケル農村問題	139
長江		中西交通史料匯編	170	封建社會的農村生產關係	143
中國の西北角	260	張折桂		難民的東北流亡	211
長春市商會		定縣大王振村人口調查	183	陳其虎	
長春市商會市會員行業分別調查	113	張鳳岐		統計學	201
長壽縣		雲南外交問題	49	陳慶麟	
齒科齒齦症の細菌學的研究	223	張穆石		中國大事年表	280
張印堂		蒙古遊牧記	270	陳國邁	
東北研究	265	張董治		中國法制史	15
張觀鵬		郵政三部書	95	中國婚姻史	220
公文格式與保管	47	張麗雲		陳彬和	
張家驊		中國農家經濟	136	經傳譯詞	240
中運幣制史	107	張從任		陳煥	
張其昀		中國郵政	183	中國商業史	114
人地學論叢	257	趙廣伯		陳捷	
張其軍		胡仁鑑	27	中國度量衡	123
扶餘縣誌	270	趙景深		陳鏡元	
張鏡予		宋之微文本事	240	兩宋思想述評	241
中國農村信用合作運動	137	趙志基		陳裝壽	
北京司法部犯罪統計的分析	211	最新警察全書	37	農業信用	137
張玉書		趙承德		陳煥賢	
康熙字典	244	廣東新會慈溪土地分配調查	134	現代勞動問題論叢	215
張廣白		趙敏恒		陳清華	
女子財產繼承關係詳解	18	外人在華的新聞事業	990	經濟學說史	70
新制公文程式	47	趙炳坤		陳清泉	
張金鑑		中國外事警察	37	諸子百家考	240
行政學之理論與實際	35	趙明高		陳正良	
美國之市行政	44	英漢政治法律商業教育辭典	27	中國各名的地租	94
張壽鳴		鹽東縣公署		陳代奇	
中國歷代耕地問題	133	一般狀況	41	中國農村經濟研究	142
張采芬		趙恩煥		陳輝	
思想家大辭典	293	中等世界地圖表	256	中國農林畜產分布圖	150
張資平		沈巨聲		中國人口密度圖	190
地圖學及地圖繪製法	258	奕漢政治制度	32	日用百科全書	219
張群蘭		沈瑞麟		陳遵	
中國金融論	100	各國憲法之比較	17	人口問題	191
張秀哲		以上乾德恭記	26	南洋華僑開導社會	204
國民政府重要政治外交年表	28	沈匯英		中國勞工問題	214
國民政府外交及外交行政	63	農業研究統計法	132	陳柱一	
張錫昌		陳安仁		中俄邊境之新關係	53
農村社會調查	141	中國政治思想史大綱	31	陳重其	
張心一		陳英才		西藥問題	275
中國農業概況估計	131	陳化詞典	248	陳重民	
張世文		陳標軒		今世中國貿易述誌	130
		實用商業辭典	111	陳長藩	

中國人口論 190
 三民主義與人口政策 191
 統計論證 201
 陳博綱
 中國土地問題 188
 陳天表
 人口問題研究 101
 陳登元
 中國土地制度 188
 中國田賦史 220
 陳東原
 中國婦女生活史 211
 中國古代教育 234
 陳德微
 金瓶梅詞話風潮 108
 陳伯謙
 中國田賦叢考 134
 陳炳權
 統計方法 200
 陳邦賢
 中國醫學史 220
 陳益勳
 中國工業問題 156
 青島市社會局
 青島社會局現行規程彙編 206
 青島守備軍民政部
 山東の勞働者 314
 青島日本商館
 青島港貿易統計年報 118
 青島港貿易概況 121
 關平縣公署
 關平縣自治概況 41
 チヤオ
 支那社會經濟史分析 71
 チョーノキ
 人文地理學の基礎知識 257
 (ツ)
 通貨制度研究會
 通貨制度研究會報告 106
 塚田一甫
 國家總動員法の解説 51
 戰時財政と金融統制 89
 塚本三吉
 世界經濟年報 82
 塚本文治
 金融財政一般概論 100

智務計算知識 122
 智務計算表及其他使用法 249
 塚本義澄
 ドイツ通信 290
 筑紫熊七
 滿洲國蒙與の天意 29
 日滿兩國の特殊關係に就て 52
 關於日滿兩國の特殊關係 52
 拓殖一夫
 支那馬ニ於ケル鼻疽檢疫智識 148
 辻 善定
 和漢辭典 246
 辻善之助
 日支文化の交流 226
 辻村太郎
 地形學 257
 津島基一
 最近の歐米經濟事情に就て 69
 世界經濟と國際貨幣 89
 津田龍之丞
 勞働原理 213
 津田 稔夫
 化學商品辭典 117
 土橋友四郎
 日本憲法比較論 17
 土屋善雄
 ベルリ視察日本憲法記 52
 土屋善新
 資料近代日本史 285
 嶋 翠
 廣田外相の拜米外交を撃て 48
 佃田喜文
 水と土地に關する判例 180
 恒次重義
 刑法分則 12
 恒藤 恭
 法の基本問題 15
 坪井九馬三
 最近政治外交史 39
 藤居 滋
 史的觀點に立つ日滿關係と地理 292
 教育 292
 鶴岡 操
 世界産業組合中央聯合會論 139
 (テ)
 帝國教育會

學制改革案 234
 帝國森林協會
 帝國林業協會 150
 帝國生命保險會社
 帝國生命保險株式會社報告書 110
 生命保險統計圖表 110
 健康増進施設の實績 248
 帝國地方行政學會
 滿洲國六法全書 16
 會計法規問答 123
 現行神社法合類纂 139
 帝國鐵道協會
 交通統計ニ關スル當選論文彙 130
 帝國圖書館
 帝國圖書館和漢圖書分類目錄 223
 帝國圖書館和漢圖書々々目錄 228
 帝國圖書會
 農業年鑑 130
 帝國判例法規出版社
 判例總覽 23
 帝國法規出版社
 現行法規全書 1
 逓信局
 業務要覽 189
 逓信省
 船舶航路定期限圖 178
 海運概況 190
 航空統計年報 181
 通信統計要覽 182
 逓信省管轄局
 海軍摘要 178
 日本船員統計 178
 逓信省電氣局
 電氣事業要覽 168
 逓信省文書課
 逓信省年報 181
 逓信省保健課
 逓信部內職員共濟組合事業要覽 211
 逓信部內職員衛生統計 248
 丁元普
 破產法律義 14
 丁同力
 生活費指數之編製法 208
 世界勞働狀況 213
 工人意外遺囑統計法 214

丁文江		統計上ヨリ見タル米國鐵道	173	統計會編	40
中國分省新圖	258	鐵道要覽	174	鐵道商工會事務所	
中華民國新圖	258	主要貨物調運統計年報	174.175	統計年報	113
丁裕長		食品品の製造統計	175	寺尾輝麿	
最新上海金融論	100	日本全國鐵道運輸年報	176	マルサス人口論	190
鄭 蘭 鑾		鐵道省運輸局		李中耀介	
中國史部材料學	280	鐵道の貨物輸送試驗成績	175	北支の政治及社會講座	255
鄭 漢 鑾		鐵道總局		照內 昇	
實用航空學	181	特別貨物運送統計	175	鐵道運輸に對する、異常レント	
鄭 經 鑾		濟南鐵路背後地の經濟事情	63	ゲン不透明映像に就て	229
法律大辭典	3	京山鐵路沿線及背後地經濟事情	63	鄭 經 鑾 等	
鄭 行 吳		零沽鎮林虎鎮ノ經濟的價值	64	人的資源研究	59
中國商業史	111	多倫、貝子廟並大板ノ廟會事情	64	生産と勞働	214
鄭 老 青		京張鐵路及背後地經濟事情	64	天海謙三郎	
鐵道學大臣王清濤演義	31	關平、寧佳、林西鎮及背後地概況	64	中華民國實業名鑑	293
王清濤	32	齊北、平齊沿線經濟事情	64	天津市財政局	
王道政治指導原理	33	滿洲產業開發ノ諸問題	127	財政叢刊	87
孔教新編釋義	32	國境沿線ノ產業開發ニ就テ	127	天理教委員會	
王道實錄	33	滿洲の機械農業に就て	132	天理教綱要	240
滿洲通關歷史略	354.283	呼倫貝爾高沼事情	148	電氣新報社	
鄭 本 朴		自動車運輸保險規定	171	電氣年報	168
社會經濟史	71	四平街、齊齊哈爾、哈爾濱間鐵道案内	171	傳記圖書會	
鄭 保 華		統計年報	173	對支回數論	62
法院組織法釋義	14	統計便覽	173	傅麟平	
程 鵬		國境開發變遷村觀變並變遷村現勢	176	中國文化史叢書	220
豫鄂同型軍	64	鄂豫沿線鐵路變遷村現勢一覽	176	傅斯年	
鄂漢河原道三期		統計年報	176	東北史綱	282
民事訴訟法概論	22	國境沿線鐵路及施設一覽表	178	デービス	
平島兵次郎		熱河鐵道ノ經濟的價值	178	經濟統計要綱	60
臺灣擴張大要	15	日籍交通路トシテノ拉張線	177	テーラー	
手塚善郎		奉天概要	177	人種地理學、環境と人種	256
純粹經濟學要論	69	滿洲國鐵道經營の方針	177		
國際貿易に於ける貨幣の發分と貨幣數量説	107	京張鐵路及背後地經濟事情	177	(ト)	
長孫國約款論	117	滿洲地名索引	258	東亞懇業會社	
フアルク貿易の理論	210	滿洲國地圖	259	東亞勸業株式會社十年史	78
鐵道法議會		牡丹江の現勢	270	營口農村概論	140
歐洲鐵道業調查報告	154	鐵 冷		東亞經濟調查局	
鐵道院		交際全書	224	滿蒙慣習法ノ研究	18
滿洲地方事情	41	鐵道學		滿蒙政治經濟提要	28
鐵道省		鐵道を中心とする生牛及生肉	149	支那政治經濟年史	28
鐵道省年報	173	鐵道を中心とする道路及遼河水運	170	支那に於ける英國の帝國主義	20
鐵道局年報發行規程並附錄式	173	鐵道總局		支那ソヴェート運動の研究	29
鐵道統計規則並附錄式	173	鐵道を中心とする生牛及生肉	149	マルサス主義政治論の解釋上の紛争問題	31
鐵道統計資料	173	鐵道總局		關島問題の検討	33
世界各國鐵道統計	173	鐵道總局		滿洲國西滿鐵道との條約	48

支那滿洲經濟研究	59
經濟資料	63
長江流域に於ける日本の經濟的 地位	65
支那經濟發展の基礎と段階	67
新經濟政策實施以後のソシア ル	68
獨立に於ける公團體の經濟的活 動	69
經濟哲學の二問題	70
經濟哲學序説	70
獨立の國家企業	73
ナチス經濟政策	73
ロシアに於ける協同組合	76
本邦企業集權の現勢	77
本邦露給資源總覽	80
長江流域に於ける日本の經濟的 地位	80
支那に於ける國際封閉	83
世界計畫經濟會議報告	83
列國の對支投資	83
支那國民政府の財政	87
日滿關稅政策の研究	96
我國の關稅	96
營口の過渡期	109
支那に於ける銀と物價	110
在留支那貿易商	114
世界人畜絹絲の需給趨勢	117
在留支那貿易商	120
支那貿易の趨勢	121
本邦基礎産業集中の現勢	126
支那産業革命地圖	127
國民黨の産業政策	137
産業合理化の理論と實際	137
支那農業經濟研究	136
支那近代農業經濟史研究	143
滿洲物產の内地需要趨勢	143
本邦に於ける小麦の需給	145
英領印度の棉業	146
我國木材需給と木材滿洲材	151
極東の礦産業	153
山西の石炭	153
本邦を中心とする石炭需給	156
工場委員制度	161
各國に於ける原料問題	163
世界人絹業の發達と米國生糸及	

人絹の消費	161
米人の見たる日本の植工業と其 貿易	161
我國に於ける化學工業の發達	164
内地化學工業に對する滿洲の價 値	164
亞細亞露西亞經濟政策	171
獨逸獨有經濟會社研究	174
L. M. R. 鐵道會社と從事員の待遇	174
本邦食糧問題と肥料	191
本邦食糧問題と滿洲	191
華僑	195
伊太利移民の研究	195
イギリスの印度統治	196
所有と社會主義	206
生活標準問題研究	209
歐文年鑑目錄	219
新廣交科目錄	229
支那に於ける新聞發達小史	230
露和大辭典	245
滿洲資本	261
支那通商地圖	275
最近の比律賓	278
最新支那要覽	275
東亞考古學會	
內蒙古長城地帶	281
東亞産業協會	
英國の四川段絡と鄧州の五千萬 元借款の真相	53
長江流域に於ける日本の經濟現 勢と死國獨關の消長	65
上海を中心とする最近支那經濟 事情	67
聯盟技術合作と支那經濟の前途	68
支那の紙幣	108
最近支那關稅問題の検討	109
北寧沿線に於ける農業事情	131
北寧鐵路沿線棉花試作成績	146
察哈爾事情調查報告書	200
察哈爾蒙古の近情	275
蒙古史	281
上海ヲ中心トセル支那ノ阿片問 題	212
東亞實業調查會	
大日本商工發展錄	113
東亞實業社	
支那研究報告	274

東亞同文會	
滿洲商業協會	112
支那鐵路場站	179
支那省別全誌	274
蒙古及蒙古人	376
支那年鑑	295
滿洲商工概況及金融事情	100
東亞同文書院	
千山萬里	226
東亞問題研究會	
蒙古要覽	276
統監府	
韓國施政年報	36
東海通信社	
大日本外地寫真帖	246
東京朝日新聞社(アサヒヨモビヨ)	
經濟新話	57
東京醫林局	
東京醫林局統計書	150
東京外國語學校	
東京外國語學校一覽	232
東京株式取引所	
東京株式取引所	115
東京株式取引所史	115
東京株式取引所統計年報	115
東京銀行業會所	
儲蓄銀行と金融市場	102
東京經濟新聞社	
日本戰時經濟の全貌	65
東京工業大學	
日露貿易の發達と其特性	122
シベリヤ極東林産資源詳解	150
シベリヤ極東地下燃料及び水力 資源詳解	151
滿蒙中央亞細亞燃料及水力資源 解説	153
東京工業大學一覽	233
東京鑛産監督局	
管内通氣一覽	153
東京高等商學學校	
東京高等商學學校一覽	313
東京市政調査會	
英國自治制度の特質	41
英國自治制度の歴史的考察	41
市政調査資料 4,5,7,9,10,11,13,15,16	
都市問題パンフレット	42

日本都市年鑑	43	東京市人口動態統計速報	190	中華民國及滿洲國貿易統計表	119
市政調査叢書	43	調査統計事務ニ關スル報告	202	勞務組合法ニ關スル調査	215
東京市財政統計彙表	85	東京市在職者生計調査	200	各國勞務組合の法規と其の現勢	216
東京市ノ區財政ニ關スル調査	86	家族統計	211	東京政治經濟研究所	
ウイン市市政事情	87	勞務統計實地調査結果概要	213	日本政治經濟年鑑	28
土地増價税と土地未改良價格税の研究	91	東京市及近郊町村勞務統計實際調査	213	世界政治經濟年鑑	28
各國地價稅制度	94	東京市社會局		世界經濟回復	82
都市財政ニ於ケル特別賦課問題	95	英獨佛救貧法規	210	東京稅務監督署	
都市金融の概況	99	佛國勞務法典	212	稅務統計部	93
小鎮信用制度	101	勞務爭議ニ關スル各國法令	215	東京地學協會	
我國主要都市ニ於ケル瓦斯事業報價契約	167	勞務組合ニ關スル各國法令	215	中支那南支那	275
我國主要都市ニ於ケル電氣事業報價契約	167	賃金保護ニ關スル外國法制	216	東京地方失業防止委員會	
本邦都市計畫と其財政	183	國際勞務機關ニ係法規	217	失業對策ニ關スル譯資料	210
受益者負擔制度總覽	184	東京市統計課		廣造勞働率仕制度	214
街路照明	184	第二〇回東京市政概要	43	東京帝國大學	
街路橋	184	宿部中心地域間人口調査	198	滿鮮地理歷史研究報告	261
現代都市計畫	184	滿洲八族人口調査	198	歴史編纂	283
イギリスの都市計畫	184	東京市ニ於ケル階級別出生率ノ調査	193	農村生活の調査	140
下水道事業の經濟	185	浮遊者に關する調査	208	東京手形交換所	
ドイツ都市に於ける土地區劃整理	187	東京市學事統計年報	231	東京手形交換所一覽	104
ドイツに於ける土地區劃整理の實例	187	東京出版協會		東京手形交換所年報	104
東京市社會事業批判	208	圖書分類目錄	229	最近五年間外國貿易の趨勢	120
英國の住宅政策	209	東京書籍商會		東京鐵道局	
都市に於ける妊産婦保護事業	211	出版年鑑	228	鐵道局年報	173
都市教育の研究	233	東京市養育院		東京天文臺	
本國の都市教育組織	234	東京市養育院年報	211	理化年報	218
自給及修身教育批判	235	東京商工會事務所		東京堂	
東京市の實業補習教育	245	支那經濟年報	60	出版年鑑	228
公民教育研究	236	支那經濟年報	66	東京統計協會	
東京市々勢統計彙表	44	支那の經濟恐慌に關する調査	67	全國統計大會講習錄	199
市政概要	44	支那經濟事情講話	67	東京府	
東京市統計年表	44	アメリカの新經濟政策と金融統制	73	東京府統計部	200
東京市役所		各國統制經濟ニ關スル調査	74	東京南學務部	
滿蒙經濟調査部	63	世界景氣年報	80	東京府不良住宅地區改良事業報告書	184
東京市民ノ所屬調査	81	世界經濟統計	82	要保護者ニ關スル調査	209
東京市産業統計年鑑	121	日滿支經濟問題講話	83	東京府社會課	
東京市郊外ニ於ケル交通機關ノ發展ト人口ノ増加	170	東亞經濟問題	84	滿洲國移民ニ關スル資料	195
東京市交通調査統計表	170	國際兩國の總督管理並資本逃避防止	97	東京市管内社會事業施設要覽	207
帝都復興區調査辦法	184	明日の貨幣	107	水上生活者の生活現狀	207
東京市人口統計	180	東京商工會最新統計年報	111	東京府調査課	
		中華民國外國貿易統計表	118	東京府會社要覽	78
		市民黨論文集	43	東京府工場要覽	161
				東光書苑	
				滿洲治國經濟全書	59
				東京市東區移動人口	102

東郷 實		會社かがみ	78	中國近代經濟史研究叢刊	71
移民政策と民族心理	196	會社四季報	78	北平生活費之分析	208
東支鐵道經濟調查局		西日本主要會社の解剖	78	唐 蒼 淵	
東支鐵道年報	173	株式會社年鑑	78	鄭信必讀	242
東省鐵路經濟調查局		關西主要會社の解剖	78	唐 吉 獻	
北滿農報	171	戰時體制下の會社はどうなるか	79	冶金學	154
東省林報	151	景氣轉換の可能性	79	唐 啓 宇	
遼東農報	153	中部日本の事業と會社	79	農政學	132
北滿與東省鐵路	178	隨進會社の再檢討	79	統計學	202
呼倫貝爾	271	明治大正滿蒙總覽	80	唐 毅 果	
東省特別區		世界經濟年鑑	80	新文化辭書	219
東省特別區市政管理局業務總覽	42	明治大正財政詳覽	80	唐 憲	
東省特別區市政管理局市政概要	44	東洋經濟世界二十年	104	俄國移民西北計畫	196
東省特別區十九年度教育年鑑	231	金本位制の研究	108	唐 文 粹	
東省特別區國庫廳稅務委員會		生命保險會社の批判	110	教學聯合之系統研究	234
報告書	283	株界二十年	117	唐 有 壬	
高麗皇帝東巡紀程及圖	282	東洋事情研究會		最近中國對外貿易統計圖表	119
東省特別區警察廳		北支通覽	275	唐 耀	
統計年鑑	37	冀東通覽	275	中國木材學	151
統計報告	37	東洋出版社		鹽 志	
東省特別區路警廳		統計學全書	107	區政大全	38
東省特別區路警廳統計部	37	東洋文化協會		鹽 清	
東省廳公署		日支大事變と帝國の國防	55	新式標語軍用公文格式	53
統計彙報	40	幕末明治大正回關八十年史	284	鹽 修 甲	
東邦電力會社		屬 語		市政學綱要	42
電氣事業報告附圖表	107	黑龍江興地圖	258	鹽 雲	
東方文化學院		罕天全省圖	258	法西斯主義與新意大利	31
東方文化學院京師研究所漢籍目		社 其 體		鹽 時 鐘	
錄	228	小學自然科詞書	249	食糧及人口	194
東北學院		社 俊 東		湯 象 龍	
東北學院一覽	232	經濟學概論	70	中國近代經濟史研究叢刊	71
東北交通委員會		社 魯 人		湯 爾 和	
東北鐵路統計	176	支那經濟讀本	67	東省創刊論	50
東北帝國大學		陶 象 曾		佟 希 曾	
經濟資料一覽	58	民法類編	12	ヘーダマン土地法要綱	198
研究年報經濟學	70	陶 希 聖		佟 燾 聖	
東北帝國大學一覽	233	中國政治思想史	31	東三省金融幣制論	99
東北文化社		襄漢政治制度	32	鄧 紹 先	
東北年鑑	284	中國問題之所關與展望	49	各國地假稅制度	91
東洋協會		中國社會現象拾零	203	鹽 政 貞	
鐵鋼業合同問題批判	155	中國社會與中國革命	203	美國聯合準備銀行制度	102
東洋經濟新報社		支那封建社會史	204	沈安齋公署	
日本經濟年報	59	中國社會之史的分析	204	沈安齋志	271
經濟年鑑	59	支那社會史綱要	205	遼東實一冊	
經濟手帳	62	陶 百 川		參考統計學	260
日本經濟の戰時編成	74	中國勞務法之理論與實際	212	嵩山道三	
		陶 孟 和		基礎抗の支持力に關する新考察	222

同済會		家族の研究	210	經濟統計の作り方と見方	61
同済會事業報告	209	戸田正雄		貨幣と景氣變動	70
同文館		ケネー經濟表	69	景氣論序説	80
教育大辭典	231	土地局		景氣豫測法研究	80
醫學大辭典	248	商埠地關係法規集	51	景氣論	99
煙草局		商租關係法規集	186	金利と物價	100
日本國憲表	179	土地關係法規	186	島居きみ子	
十國憲表		土地問題研究會記事	183	土俗學上ヨリ觀ルル蒙古	259
伊太利金融制度論	98	土地局圖目録	229	島居龍雄	
土賦政策		土地權公有討論會		苗族調查報告	207
原價計算と價格政策の原理	123	土地權公有問題實驗集	187	遼の文化を探る	227
糧食工業會計圖解	160	板倉正一		滿蒙の探査	259
常盤基一郎		新經濟論	109	蒙古旅行	259
鐵道財賦物語	64	訶河縣公署		島山喜一	
常盤大定		訶河縣一般狀況	265	滿鮮文化史觀	226
滿蒙と佛敎	202	鳥取高等農業學校		數化縣公署	
特許局		鳥取高等農業學校備報告	132	數化縣年報	40
特許局統計年報	163	加州ニ於ケル米作	144	ドーソン	
昭和六年ニ於ケル特許ノ實用新案立戻及商標ノ趨勢	163	和漢圖分類目錄	228	ドーソン蒙古史	291
國畫英功		鳥取高等農業學校學備報告	234	トーマス	
人種地理學環境と人種	250	鳥取農學會		近來金融論	128
國畫佐介		山田會長還曆收買記念論文集	132		
アゾムニユラーと演義的普遍主義經濟學概説	225	鳥取農學會報	233	(ナ)	
國畫清行		登張信一郎		内外經濟協會	
米穀の廢政策に就いて	225	大瀧日勝典	246	内外經濟四季報	60
國畫雅一助		沼 岡康		内外産業資料調査會	
明治、大正、昭和資料近代日本史	293	關東州足虫目録	261	滿洲國資源概要	81
近世日本國民史	290	富田文雄		内外産業資料	128
國畫彌十郎		戰時農村對策と發達の發聲	193	内閣印刷局	
蒙古國作文基礎	244	富田芳雄		法令全備	2
國畫葉太郎		補民地理	268	職員錄	47
アッシュユレエ英國經濟組織の史的考察	71	友田重孝		銀行診査に銀行法施行に關する勅令及び省令	103
戸倉 廣		化學機械學	164	官廳刊行圖書目録	237
羅馬法の世界史的使命	14	友松國雄		内閣統計局	
度支部大區官廳		宗教資本	298	刑事被害人に關する統計材料	24
度支部統計年報	65	富山縣		企業的發展と資本の集積	76
戸田武雄		富山縣統計書	200	昭和五年國富調查報告	80
國民經濟、國民經濟學及び方法	70	富山縣總務部		昭和五年國民所得調查報告	81
戸田國太郎		國勢ヨリ見たル富山縣ノ地位	274	農業調查結果報告	120
日本農業論	131	富山縣概説	274	農業調查從事員必携	130
戸田貞三		富山縣勢要覽	274	民有地に關する統計材料	186
社會調査	203	富山縣之景観	274	人口動態調査關係法規	188
家産と婚姻	210	富山市役所		日本帝國人口動態統計概要	189
		日滿産業大博覽會誌	76	現住人口動態に關する統計材料	189
		外山二郎		人口動態に關する統計材料	189
		滿洲農業氣象報告	134	日本帝國死因統計	189
		豐崎 稔			

市町村別人口動態統計	189	内務省衛生局		中川元治財	
痛に因る死亡胃腸病症候及産に 因る死亡統計	189	小兒死亡統計	189	電氣事業評價の基礎	168
慢性傳染病に因る死亡統計	189	結核死亡統計	189	中川友長	
腎臓炎に因る死亡統計	189	衛生局年報	248	統計研究法の基礎	201
産業人口の比較	190	内務省河川課		附富及國民所得	81
抽出方法に依る國勢調査結果の 概観	192	河川法關係法規類集	181	中川夏輔	
國勢調査参考書	192	内務省警保局		滿蒙に於ける自動車輸送状況	171
國勢調査報告	192	警察統計報告	37	中川彌之助	
國勢調査の結果表單に用ふべき 産業分類及職業分類	192	獨逸に於ける労働者の經營參與 制度	214	アダムスミスに於ける自由主義 社會の理念的構造に就て	62
各國々勢調査法則	192	産業爭議の調停及仲裁制度	216	長倉謙介	
國勢調査員必携	193	内務省社會局		室内音響に於ける音色の變化に 就て	228
國勢調査計畫準備に關する件	193	歐米各國兒童保護に關する法規	211	長崎高等商業學校	
國勢調査報告	193	内務省地方局		長崎高等商業學校一覽	233
列國々勢要覽	183	地方財政概要	86	長崎高等商業學校三十年史	235
國勢調査	193	内務省文書課		長崎税關	
現行統計法規類抄	197	日本帝國々勢一版	294	長崎税關貿易品要覽	120
内閣統計講習會講義録	199	内務省土木局		中澤清次郎	
日本帝國統計概要	199	港灣資源調査規則	92	米價變動の智識	110
日本帝國統計年鑑	199	大日本帝國港灣統計	179	米穀統制經濟講話	183
國際統計協會便覽	202	ナウカ社		封建社會の農村生活講話	142
家計調査報告	208	世界政治經濟情報	37	論中東亞地誌	278
家計調査提要	209	産井武夫		中澤良典	
失業統計調査報告	209	隆進ソヴェート經濟圖本	68	滿蒙の化學工業	263
國勢調査職業名鑑	210	中井武雄		長瀬武雄	
勞働統計要覽	212	新興代用品工業	157	實驗規則計算法	249
勞働統計實地調査報告	213	農業政策論	123	長瀬御作	
勞働統計實地調査提要	213	非鐵型工業	104	産業統計の理論及實務	125
列國々勢要覽	238	永井 享		中島宗一	
國際統計提要	294	人口論	58	滿蒙に於ける各國の合併事業	63
内政部		日本人口論	190	中嶋玉言	
公務員辦理內政統計暫行考成規 則	199	人口を通じて見たる日本の社會 過程	231	人種と地誌	262
中國警察行政	37	永堀彌郎		中島眞達	
内務局		殖民地鐵道の世界經濟的及世界 政策的的研究	172	英和商業經濟辭典	
地方税關係法令類纂	93, 94	滿洲農業移民十講	196	中島友正	
内閣院言		長尾景徳		交流電氣機械	168
支那論	30	臺灣行政法大意	35	中島英次	
内閣久寛		長岡市役所		非訟事件準裁判官例編纂	22
日本帝國の石油事業	156	上越鐵全通記念博覽會誌	75	中島弘通	
内務省		長岡徳治		非訟事件手續法	6
内務省統計報告	36	我國民經濟の目標と國民の態 度	66	長島 毅	
治水事業に關する統計書	185	中川善之助		辯護士法	5
内務報告例	199	親族相続判例總評	19	裁判所構成法	6
				長嶋隆治	
				電氣機械	105
				長島又男	

國家總動員法と國民生活	54	農業經營改善事例	135	改正税法早わかり	92
中瀬壽太郎		農家經濟調査	136	中村福郎	
會計監査要論	193	共同經營組合の實行成績	137	ユダヤ民族の世界支配機構考	207
中瀬古六郎		農村負債調査	141	中村萬吉	
太平洋に於ける日本の發展	262	長野 嗣		勞働協約の法學的構成	217
永田一生		支那農民運動圖	138	中村嘉元	
恩給法の解説	47	支那土地制度研究	187	職業法令集	153
永田第四郎		中國土地制度研究	188	長村 鑒	
公庫の私法的效力	221	支那の社會組織	206	蒙古遠記	291
永田 清		滿洲國本	265	中目陶義	
金と世界經濟	82	支那國本	275	滿洲國本	261
現代財政學の原理	87	中濱龍久		ロシア國本	276
長田三郎		東三省財政に關する一考察	50	長安百治	
米國の對政府投資とその影響	61	國民政府の財政報告	87	地方財政調整論	85
中谷重二		支那内國公債事情	91	中山伊知郎	
現代軍經濟本詳解	244	支那の對外交通經濟借款	91	シユムベーター經濟發展の理論	70
中谷 實		支那の對外政治借款	91	均衡理論と資本理論	71
貨幣需要と貨幣の流通速度	61	最近に於ける列國の對支關係圖	96	中山久四郎	
貨幣の中立性に關する一考察	62	中林賢一郎		國史廣記	287
預金通貨の研究	100	朝鮮に於ける甘蔗栽培の實際	146	東洋の歴史	291
永積清次郎		中平 亮		中山昌之介	
採煤學	153	現代新編	275	朝鮮農作物主要害虫と其防除法	147
中西實雄		中塚照久		名古屋高等商業學校	
經濟經濟學	58	美國都市大鑑	184	景氣循環の調査研究	80
中西利八		中俣興作		本邦農産物の生産數量指數に就	
滿洲紳士錄	292	滿洲國皇帝	26	て	143
新日本人物大系	293	中村久四郎		本邦製菓業の生産數量指數	158
中根 鑒		支那歷代年表	287	本邦紡績經營調査	164
上需式演説大集成	228	中村謙仁		本邦陶磁器工業調査	165
中根萬吉		敦化哈爾濱開通鐵道定線調査報		名古屋商工會事務所	
滿洲に於ける作製製米案	148	告	173	統計年報	111
中根不羅雄		中村如峰		名古屋稅務監督局	
滿洲新大法	18	我が工業所有權と滿洲國	162	稅務統計書	93
滿洲民法總則要旨物權要旨	19	中村新太郎		名古屋鐵道局	
破産法例解	31	滿洲の地理地質	282	鐵道年報	173
中野忠夫		中村清二		印刷紙客收入取扱數量其他一覽	176
極東に於ける綿業	163	自然と數理	269	那須 鑓	
中野登實雄		中村廣一		農業政策	54
國法及國史の研究	15	經濟方面より見たる呼倫貝爾事	64	農業經濟研究	132
國家原理提要	33	情		農村問題と社會理解	139
中野二郎		中村隆壽		新農村の基調	139
滿洲通誌	261	化學兵器の理論と實際	55	農村經濟の研究	151
長野 勲		中村重夫		本邦土地利用研究	186
日支外交六十年史	49	金融法典	97	館市本郎	
長野縣農會		中村龍野		滿洲の天然資源と其利用に就て	263
				清川忠夫	

請装の氣象	263	唐令拾遺	2. 15	日印協會	
亞夏編		唐宋法律文書ノ研究	2. 15	印度亞細亞貿易情報	136
奈良縣統計書	200	二階堂保剛		日経研究社	
大和の發展	274	統計學大要	300	漢籍詳註日文尺牘大全	244
鐵道概論		西 龍		日滿對經研究會	
滿洲、支那、朝鮮	241	電氣工學ボケフトブック	160	ナチス經濟法	57
橋崎城址		西尾 滋		日滿實業協會	
軍用航空と民間航空	55	鎮遠海軍地理	257	滿洲國皇帝陛下學迎報告書	26
貿易政策論	118	西龜正夫		建設途上の滿洲國	28
現代道路論	171	地土地理の調べ方と實例	255	山西省政建設十年計畫	29
成實清松		滿洲國中心支那地理	264	滿洲ニ於ケル獨下重要鐵道路線ニ 就テ	31
數理統計學要義	200	西川憲一		廣造二年施設概要	38
成田晴雄		財政金融ト關稅制度	100	日滿支提地に關する陸委會記事	62
滿洲國境鎮撫古蹟河川古誌	180	支那勞働者の現状と全體勞働爭 議	214	朝鮮、支那、滿洲事情懇談會記 事	56
成瀬勝武		西澤勇本智		岩手縣に於ける滿洲事情懇談會 記事	65
道路建設に於ける二・三の事 項	222	工業化學讀本	164	滿洲國經濟政策の現在と將來に 就テ	73
名和統一		鐵道學一編		滿支貿易の現状並に將來	78
日本紡績業と原棉問題研究	164	統計學理論	201	日滿統計經濟ニ就テ	73
藤波田春夫		西島芳二		日滿經濟發展策と其の批判	75
國家と經濟	70	民主政治と獨裁政治	31	事業報告書	75
ゾムバルト獨逸社會主義	204	西田卯八		滿洲事業發展新設されたる滿洲國 保會社	79
南開大學		地方自治ノ改造	28	貿易上ヨリ見タル滿洲國關稅收 支ノ將來	84
論華北經濟及其他建設	89	西田天香		滿洲國財政狀態の概要及内關稅 徵收事務の現況	86
天津棉花運銷地況	146	新滿洲國と一國體	263	滿洲ニ於ケル關稅及鐵道運賃ニ 就テ	96
華北棉花織布工業與商人團主制 度	163	西田博太郎		滿洲國稅關通關事務に就テ	96
南光社		纖維工業經營	164	關東州特種關稅法の實例	97
世界地名大辭典	263	西田興四郎		日本商會委員會會事錄	113
南野壽吉		世界の政治經濟地理的考察	256	日本商會委員會會事錄	113
銀價の騰落と支那の貨幣問題	60	日本地理學集	258	滿洲國人商工名錄	113
支那國立銀行に關する研究	102	西野喜一郎		會則及會員名簿	114
大連を中心として見たる關市場 と銀相場の研究	108	事業財政分析點檢法	78	總會報告	126
滿洲貨幣相場集成	108	近代株式會社論	78	事業報告	126
滿洲に於ける鑛寸工業	164	西村勝太郎		理事會、評議員會會事錄	126
藤波勝治		証券金融市場研究	99	北支農村經濟ト關稅改題問題	139
滿洲移民問題	196	西村雄三		熱河ニ於ケル棉作ニ就テ	146
南洋協會		東洋封港制史論	33	滿洲ノ棉作ト昭和九年ノ作例ニ 就テ	146
日本の南洋群島	273	獨逸の戰事經濟	75	滿洲帝國商會法令	153
南洋編		西本白川		滿洲の採金に就テ	156
南洋群島年鑑	199	廣田大衛	292		
南洋群島々等制書	200	西山樂久			
南洋群島要覽	273	支那古姓の研究	225		
		支那古代史	288		
		西山善治			
		小學校改善の實際的研究	235		
		西條六八			
		商品學講義	117		
仁井田隆					

(二)

滿洲貨物運賃調	175	滿洲農業移民機關の事業及基金	195	産業ノ不況ト失業防止	127
滿洲ニ於ケル鐵道運賃關稅ニ關スル報告	176	日本學術院興會要覽	225	英國産業勸勵使道日本滿洲親使	
北滿接收ガ北滿ニ及セル影響	178	科學と社會	226	監査報告書	127
對滿商港トシテ見タル裏日本ノ諸港	180	全國試驗研究調査機關要覽	232	匯米案對策調査資料	118
北鮮三港比較	180	國民保健ニ關スル統計資料	248	全國官業專門學校長招待茶會ニ於ケル演說	206
遼河と松花江	180	日本勸業銀行		日本毛織會社	
滿洲主要都市に於ける日本人増加大勢	190	金融經濟情報	100	日本毛織三十年史	163
滿洲移民ノ實況	195	昭和十年度不動産抵當個人間貸借狀況	100	日本工業學會	
滿洲農業移民ト綿羊	105	滿洲に於ける不動産金融制度	101	機械工作實習指導	150
日滿文化協會		佛蘭西に於ける不動産金融制度	101	日本興業銀行	
滿洲史論叢	291	都市及農村に區別したる抵當貸務設定高	108	全國公債社債明細表	91
日滿通信社		不動産抵當個人間貸借金利調	105	株式會社資本調	105
ソヴェート聯邦大地圖	359	田畑買賣價格及賃賃料調	138	本邦の麥酒業に就て	188
ブラウダ、イズグエスタフ社説集	278	田畑買賣價格及小作料調	136	日本工業俱樂部	
日露貿易通信社		工業會社に關する統計計	187	最近經濟の重要問題	57
日露年鑑	293	日本通商協會		勞務者災害扶助法案に關する意見並參考資料	213
日華實業協會		國產水産物並通商貿易統計	119	最近ニ於ケル勞働爭議ノ事例	215
支那近代の政治經濟	30	日本行政機關		日本工業新聞社	
日滿通信社		日本行政觀察日誌	36	工業年鑑	158
ソヴェート聯邦資源地圖	81	日本銀行		工業取引案内	158
日露年鑑	294	外國經濟統計	60	日本交通協會	
ソヴェート聯邦統計年鑑	295	本邦經濟統計	60	自動車ニ關スル統計	173
新田邦彦		勞務統計概況	213	日本國庫協會	
宗談行政法要論	239	關稅日誌	228	支那各省經濟事情	67
日本會計學會		日本經濟研究會		米關社會經濟組織の變革	68
評價理論	123	日本經濟研究	65	通貨經濟會議の概末	100
日本外事協會		日本經濟研究所		日本國際問題調查會	
世界經濟會議	83	日本農業研究	182	日本國際年鑑	51
滿洲地名辭典	253	日本經濟史研究所		國際問題研究	51
滿洲省圖總覽	264	日本經濟史辭典	58	世界政治、經濟、文化、社會總鑑	225
日本學術獎勵會		日本經濟聯盟會		日本年鑑	234
日滿經濟統計と農業移民	70	佐藤駐佛大使歡迎茶會演說筆錄	63	日本新聞協會	
米價の長期變動	110	大阪大會演說筆錄	68	日本新聞協會二十年史	230
朝鮮米穀經濟論	143	歐米最近の經濟事情	68	日本精神文化大系刊行會	
米穀日誌	143	國際商業會議所總會報告	78	日本精神文化大系	223
米穀需要法則の研究	143	南阿聯邦ノ國情ト本邦トノ經濟關係	83	日本政治經濟研究所	
滿洲の牧羊	140	最近日本及英帝國經濟關係ノ經過	83	日本政治經濟年鑑	28
外國特許要覽	162	關稅問題調查資料	96	日本租稅研究會	
精密機械ニ關スル外國特許要覽	162	佛蘭西ニ於ケル營業財産ノ法律的保護ニ就テ	114	租稅法規	92
航空機に關する外國特許要覽	162	我國貿易統計に關する關係營業者の意見並に參考資料	118	日本電報通信社	
金屬材料に關する外國特許要覽	162	日米通商評議會の成立	121	伊太利亞	211
纖維加工ニ關スル外國特許要覽	162			獨逸大觀	295
金屬材料	166			日本統計學會	

日本統計學會年報 109

日本動力協會

日本の發電所 169

日本農業研究會

日本農業年報 129

日本評論社

法律年鑑 14

現代經濟全集 68

新經濟全集 59

金融大辭典 97

現代産業叢書 124

農業大辭典 129

現代日本工業全集 157

日本殖産銀行

金融經濟統計 96

日本文化中央聯盟

日本文化調査年鑑 224

日本紡績研究所

ステーブルファイバーの製造と應用 164

日本郵船會社

海運及經濟調査報告

地川虎三

經濟統計要綱 60

經濟循環期の統計的研究 60

漁村更生策に於ける問題 62

水産經濟學と其課題 63

統計學概論 200

統計利用ニ於ケル基本問題 201

統計學研究 201

二宮丁三

金融指標としての日本銀行週報 225

丹羽七郎

選擧法 5

郡市計畫法 8

任 暉

中國經濟研究略論 66

支那經濟研究 66

任 清

遼東志 201

ニューネル

日本の政治 231

(又)

沼田隆次

厚生省原本 47

經濟警察はどう運用されるか 75

沼田龍輔

日滿の古代國交 51

ヌルクセ

國幣資本移動論 83

(ネ)

寧 恩 承

統計方法 201

榎 岸 翁

支那ギルトの研究 76

支那特別關稅會談ノ研究 96

支那及滿洲の通貨と幣制改革 106

熱河省公署

熱河省統計要覽 40

統計要覽 40, 199

鴉片法及其他關稅鴉片法令類 203

熱河省教育會

教育概覽 263

熱河省土地科

豐稔縣下ニ於ケル土地權利關係 187

根本松男

英法に於ける相當期間 221

ネストリーブケ

探險労働組合運動史 215

各國労働組合運動史 215

ネダーチン

現代新編 276

(ノ)

野 依 秀 一

戰時戦後の見方 29

農業學校長會

農村調査録 140

農業經濟學會

小作法批判 135

農商務省

東部內蒙古産業調査 135

諸外國に於ける小農地設置に關する法律 139

土地利用及關稅事業要覽 134

吉林省森林調查報告 150

歐米農低質級法 216

櫻 古

農商務省農務課

支那の米に關する調査 144

農商務省農林局

糖漿要覽 166

農林省

道府縣勸業費概算 91

芥菜組合要覽 128

米穀法關係法規 129

開墾土地移住狀況調査 134

農家小組合に關する調査 135

農林省農務局

本邦農業要覽 130

耕地擴張改良事業要覽 131

諸外國に於ける自作農地に關する法律 134

昭和時代の耕地擴張改良事業に關する調査 131

開墾地移住に關する調査 134

開墾地移住調査事例 131

小作調査年報 136

農會に關する調査 137

米穀要覽 144

豆類要覽 144

麥其他穀物要覽 145

芥菜要覽 146

農林省畜産局

本邦畜産要覽 148

馬政統計 149

家畜衛生統計 149

農林省蠶糸局

蠶絲要覽 147

全國製絲工場調査 163

農林省水産局

漁船保險調査資料 151

農林省統計課

農林統計の榮 130

農林統計表 130

農林省統計關係法規 130

農林省累年統計表 130

農林省統計關係法規編覽 130

農林省統計表 130

農林統計グラフ 130

農林統計時報 130

米統計表 144

道府縣別米累年統計表 145

米産及兩産額比較表 145

米産及兩産額統計表 145

麥統計表 145

茶統計表 144

農作物被褥統計表 147

農作物農用地澆給及林野被害統計表	147	野間知一	中國物學史	220
蠶絲類及真綿統計表	148	南滿洲商會問題	馬 福 麟	276
蠶統計表	148	野村淳治	蠶繭狀況	博多商工會事務所
農作能質統計表	216	行政法	統計年報	111
製絲織工及蠶繭製管統計表	216	行政法總論	夏 仇	農村經濟研究
製絲織工賃額統計表	216	行政法各論拾遺	李熙雲四	實用運銷合作
漁業者賃額統計表	216	野村碩峰	實川 主	77
野口翠一郎		王道政治指導原理、孔教關係論	市財政學	87
商人法、運送法、倉庫法	12	野村碩太郎	松 虎	支那經濟の性質
野口弘毅		新泰朝鮮六法	白 藤 奔	16
景氣と貨幣	107	野村舎名會社	中國交通史	220
野崎 重		ニユテイルの構成	博 明	西河雅著二種
南滿に於ける木炭に關する調査	151	野村證券會社	巴 登 公 署	恩從訪日誌紀要高
野崎禮七		經濟界季節的變動の研究	公署規則集	30
普通銀行、貯蓄銀行論	98	經濟界景氣變動	財務狀況	86
野澤新藏		我國主要産業の新構成	巴 克	各國預算制度(譯文叢書)
決算報告書のウォール式見方企		野本操之助	國總商工會事務所	111
業財政の比率分析	76	決算報告書のウォール式見方企	承館商工會議所年報	111
龍勢政秀		業財政の比率分析	國總視察	外國貿易年表
日本人發賣報告書	196	業本利喜太	外國貿易概況	120
野田隆二		十九世紀前半の英吉利文學批評	管内主要輸出入品表	120
支那經濟地理	257	(八)	扶 蘭 莖	地方自治制講話
野田精一郎		梅 公 任	地方制度改正大意	88
滿蒙の動力	263	亡國滅節的鴉片販賣	地方制度解説	88
野田國夫		梅 心 如	市町村の自治權	42
官廳登記法通解	123	西 康	徳川時維	滿洲文學與服考
野澤高次郎		梅 生	堀 爪 明 男	貨幣論
米國稅制發達史	93	女性問題討論集	金 融 論	98
野澤 隆		佩 萱	銀行資本	102
商法大要	21	法西斯主義與新憲太利	權本勝彦	世界經濟の控制
商法總則	21	拜泉縣公署	權本勝彦	最新朝鮮滿洲支那地理
野澤正忠		龍江省拜泉縣概要	權本誠四	經濟地理學の方法論
理論應用計算尺精義	249	馬 寅 初	權本文雄	
野中時雄		馬寅初經濟集、馬寅初經濟論文		
開墾と努力の電報より見たる大		緒		
正 33 年に於ける滿洲農産額	132	中國經濟改造		
北支那事情	180	中華銀行論		
滿鐵各屬所使役軍工調査報告	215	中國國外匯兌		
山西省河川測量報告書	259	馬 寅 初		
野波藤雄		歐政綱要		
關東阿片問題	311	馬 君 武		
野原四郎		中國現代生計政策批評		
支那日汪社會史	204	馬 宗 榮		
野間海遠		現代關東軍序説		
農業法	8-11	馬 宗 榮		

著者名索引

社會法と市民法	200	花田七五三	123	綿業と國際經濟	163
橋本吉郎		官廳會計	123	早川聖太郎	
和羅英漢化學用語新辭典	260	花田伸之助		齒牙硬組織の化學的研究	223
眞政島		寄中朝野	62	結晶學に關する特殊計算	223
房政局關係法規	148	滿洲國憲政の根本方針	261	モノアミン類の結晶學的試驗並 に其化學構造との關係に就て	223
長谷川澄		葵 修造		早川二郎	
北滿經濟計年報	80	滿洲國と門戶開放問題	60	アジアの生産様式に就て	89
長谷川安兵衛		羽田 亨		支那の農業經濟	136
豫算統制の研究	90	西域文明史概論	336	支那社會史	136
原價會計學	122	支那學論叢	230	近代支那社會史	206
標準原價の研究	123	馬場善治		原始共產社會	206
原價會計概論	123	經濟學の基礎的諸問題	78	早坂喜一郎	
會計學	123	經濟學研究	78	銀價と銀貨鑄	104
長谷川與三治		馬場善治		林英未夫	
太平洋の閉鎖と滿洲の地價	276	株式御名代高取下車事記念寫 價帖	36	社會問題各論	58
渡 澤 民		馬場謙太郎		工業經濟概論	157
第三期に於ける支那經濟	68	北支八省の資源	81	林 靖一	
渡 澤 三 郎		中支の資源と貿易	81	圖書保管法	227
國邦ロシア	271	支那重要商品誌	116	圖書の受入から配列まで	227
島中龍一		支那經濟地理誌	256	林 龍一	
勤定學說研究	123	支那經濟の地理的背景	258	數學警察公算論	249
渡多野淵		馬場幸吉		數の概念	249
經濟統制	59	孔子聖蹟志	240.260	早田文藏	
現代經濟學論	60	馬場 壯		植物分類學	252
價値學說史	70	檢察警察法規總覽	8	原 武	
經濟學入門	71	演習編		中華民國憲法	17
我國の戰時經濟	74	東三省地方法令	2	原 猛雄	
景氣論	80	東北五省區地方法令	8	外國貿易原論	117
渡多野乾一		重要前に於ける東北四省行政議 構	36	原 富男	
現代支那の政治と人物	29	濱田純一		支那文化科學概説	224
日支外交六十年史	49	蒙古地誌	276	原 勝	
渡多野賢一		濱田伍一		支那に於ける列國の工作と其國 濟勢力	83
研究調查參考文獻總覽	227	金融統制と貿易政策	69	原田 綱	
服部宇之吉		濱田徳海		歐米に於ける主權概念の歴史及 構成	28
辭源漢和大辭典	244	信託法概論	108	原田龍太郎	
服部 罪		濱田達之助		滿洲に於けるセメント工業と其 の需給狀況	166
ポテンシャルを用ひて解き得る 彈性體力學の諸問題	223	産業組合判例選錄處分例集	128	原田 一	
服部 編		濱田峰太郎		齒牙硬組織の化學的研究	223
滿 洲	264	現代支那の政治機構と其構成分 子	99	梅澤茂樹	
服部文四郎		支那資本機關	67	滿洲重要外交史	49
國際經濟と金融	82	中國最近金融史	101	植村專一	
貨幣論	98	濱谷源順		著作權法	9.10
植山勇夫		貿易會計	118	出版法	11
日本民法總論	18	濱野恭平			
花井卓藏					
証庭論草	23				

新聞法論	230	ノ動向	113	準備銀行と金融市場	102
哈爾濱案内社		湖北滿鐵路營業統計年報	178	ハイエク	
大哈爾濱案内	272	哈爾濱概況	174	貨幣と長氣變動	79
哈爾濱特別市公署		北滿沿線概況	178	長氣と貨幣	107
例規暫定彙集	42	哈爾濱運外商會		ハウゼン	
法令輯	43	哈爾濱特別市道外商號名簿	113	世界經濟年報	82
法令摘要	42	哈爾濱日本商會		バクロフスキー	
例規彙集	42	滿洲里海拉爾を中心とする蒙古		原始共產社會	206
哈爾濱特別市市勢年鑑	43	貿易調査	120	バスターニス	
哈爾濱特別市市政報告書	43	社協及國庫貨物運賃料金要覽	126	ソグエート國庫法概論	23
大哈爾濱特別市ノ現況	44	哈爾濱郵政管理局		バツク	
哈爾濱市政の沿革及現狀	44	例規類纂	183	支那の長氣	132
濱江市政籌備處財政に關する調		哈 勒 濱		支那長氣經濟研究	136
査	85	地圖史綱	91	ハツチスン	
哈爾濱特別市政局の財政	85	萬 國 圖		世界大戰並に歐州政局を觀る論	
松浦市政財政に關する調査	90	江蘇武進市通田賦調査報告	91	太極幣力の裏工作	204
市稅徵收規則類	92	中國田賦史	133	ハントン	
哈爾濱市現行市稅々率表	95	盤山縣公署		世界經濟新體系論	82
滿洲大豆と北滿	144	哈山縣誌	268	「日本人は甘い」とスパイは毒	
甲戌哈爾濱防水記録	185	哈山縣誌上誌	270	く	64
職業及產業分類表	193	潘 光 旦		バツハ	
即位大典紀念哈爾濱特別市戶口		中國之家庭問題	210	價格政策論	110
調査概要	193	潘 子 豪		標準工業會計圖解	160
哈爾濱特別市戶口調査結果表	193	中國錢莊概要	103	バルウ	
東省特別區に關する調査	272	潘 黨		協同組合存廢論	76
松花江水運と哈爾濱	180	中國經濟論叢	67	商業組合金融論	128
哈爾濱特別市の概観	272	潘 樹 藩		ハンセン	
哈爾濱特別市の素描	272	中華民國憲法史	17	長氣論叢論	79
建國慶祝紀念	282	潘 序 倫		(七)	
哈爾濱市勢年鑑	294	公司登記規則	13	議員論三	
哈爾濱市政籌備所		政府會計	122	改正恩給法解説	47
東滿補助金に關する調査	178	成本會計	122	新恩給法解説	47
哈爾濱市教育會		潘 大 達		樋口 弘	
哈市教育	283	中國憲法史綱要	17	動く滿洲經濟	65
哈爾濱商工公會		潘 軍 周		盛頓高等商業學校	
哈爾濱經濟年鑑	60	支那經濟論		職業調査に關する若干ノ問題	209
滿洲國陸運貨物運賃率表	176	支那經濟の性質	66	東 季 彦	
哈爾濱商品陳列館		潘 念 之		出版圖の圖説に就て	221
北滿に於ける露人及外人關係事		思想家大辭典	293	東瀛庄治	
業	79	樊 弘		日本農業概論	132
黑河濱河地方各縣事情並に主要		社會調査方法	203	葉川楨治	
産業概況	127	樊 仲 雲		支那法制史論	16
哈爾濱清理水災善後委員會		一九三二年之關稅政治	33	東本龍七	
壬申哈爾濱水災記實	260	樊 序		海土地理野帖	255
哈爾濱鐵路局		綏遠省分縣調査概要	276	東畑精一	
哈爾濱ヲ中心トスル各國商工業		バーヂェス			

シユムベーター經濟發展の理論	70	館青年團婦人會一覽	235	支那貨幣史叢考	107
日本農業の發展過程	131	馮 銳		浙江省公署	
久價治助		鄉村社會調查大綱	140	浙江省例規集	39
建築工事仕樣及積算法	185	馮 康 昇		中小學校農業科實習指導要項	133
久岡建一		西北研究	275	浙江省教育廳	
朝鮮農業の近代的標榜	131	歷史淵源考與遠史初探	288	鄉土教材參考資料	237
土方成實		馮 家 德		文廟祀典輯要	239
フアシズム	31	河北省定縣之田房契約	94	浙江省教育會	
國民經濟學本	57	河北省定縣之田賦	94	趙國波技集	238
經濟學總論	58	馮 華 年		浙江省實業廳	
現階段に於ける租稅繼承	63	中國之指數	110	浙江省各縣族高工概況	113
經濟學	69	馮 承 鈞		浙江省工商調查團	
統制經濟政治綱綱	72	中國南洋交通史	230	浙江省工商視察團觀光目錄	113
日本經濟政策	74	羅尼教流行中國考	240	浙江省稅務監督署	
國民所得ノ構成	80	東蒙古近代墓誌考記	275, 281	浙江省稅務監督署所轄稅務局管	
財政學本	84	多蒙蒙古史	291	內政要	46
財政學ノ基礎概念	87	西次版史料	291	平井善昌	
財政學原理	87	馮 靜 鐘		萬國勸業雜誌	26
租稅論講義	93	農村經濟及合作	142	平尾彌五郎	
豐川精一		高 友 園		貨幣政策と長氣變動	108
健全なる社會傳説	225	中國哲學史	240	平岡謙之助	
日高己雄		馮 樹 堂		蠶絲業經濟の研究	148
滿洲國公仕大章	17	中國歷代民食政策	194	平川健夫	
軍事法規	54	馮 和 法		文化の消長と民族の運命	228
軍隊保護法	54	農村社會學大綱	138	平田慶吉	
日比谷國壽翁		中國農村經濟資料	142	繅業法	7
原著譯對照圖譜目錄	230	萍 鄉		繅業法要覽	152
堀野謙一		海關通志	96	繅業法責任論	154
北支の政情	29	苗 文 章		平田五郎	
銅鑛經濟資料	59	北支防略	260	滿洲に於ける支那の特殊關稅制	96
北支那經濟事情	67	廣岡允治		平竹傳三	
日柳重九郎		露西亞刑法	19	ソヴェート聯邦經濟地理	257
中世日耳曼法の分裂に就いて	225	露西亞民法	19	ソ聯戰時經濟地理	257
兵庫縣		廣島定吉		平野常治	
兵庫縣統計書	200	支那制關稅とアメリカ	49	高粱田墾論	114
兵庫縣內務部		唯物論辭典	240	平野 博	
兵庫縣會社一覽	78	廣島商工會事務所		滿洲に於ける日本の通信權益	50
兵庫縣統計表	145	商工人名錄	112	支那事變の經過	280
兵庫縣警察及榮業統計表	147	廣島稅務監督局		平野壽太郎	
兵庫縣家畜統計表	150	稅務統計書	93	解體過程ニアル支那經濟ト社會	66
兵庫縣工場一覽	151	廣島鹽務局		平林久男	
兵庫縣ノ面積及人口	190	榮務統計要覽	182	產業組合新議	128
兵庫縣統計課		廣瀬實作		平山慶次郎	
兵庫縣工場統計表	161	會計法	6	會計法現狀解	123
學校幼稚園教員養成所管理課		廣 畑 茂		平山清次	
		支那貨幣金融發展史	107		

群法及時法	250	福井縣總務部		二木謙三	
平山 孝		米統計	146	玄米食に就て	203
鐵道財政の話	174	市町村ノ要覽	148	測 時智	
ピンニツク		福井縣統計書	200	支那整理法の理論と實際	221
絹と支那	107	福岡 勇		藤井乙男	
ピツク		福州經濟統計圖表	61	統計大辭典	244
勞働法	213	福岡縣議會		藤井寛太郎	
(7)		農村實業調査第3編	140	國策ト移民事業ノ重大性	195
武 埜 幹		復讐公署		藤井新一	
中國ノ關貿易史	121	復讐農産物品評會概況	143	政治の基礎的理論	221
中國ノ關貿易概論	121	復州國粘土公司並煤礦公司の現況	156	藤井基太郎	
傳 鶴 平		復興局		明治維新史講話	287
中國文化史叢書	230	土地收用法講義	186	藤井 謙	
傳 角 今		福島縣總務部		錦州に於ける支那銀行の概要	103
中東鐵路開闢之研究	178	福島縣地方司統計圖	200	支那銀行關係規定集	102
傳 松 杖		福島公司調査部		北滿に於ける各種産物の大豆収量數量	114
西廣總省記	37	滿蒙通覽	200	藤枝丈夫	
傳 新 年		福田敏太郎		支那問題總論	30
東北史綱	262	證券取引所論	38	支那古代社會史	205
傳 基 夫		福田牧作		支那古代社會研究	205
中國社會之理論及實際	208	關東州地誌	272	現代支那の根本問題	29,231
普及書局		福原 武		藤岡 啓	
群政大全	38	人間存在の把持としての中今に就いて	221	東省府日論	60
鐵道總公署		福本謙三		戰時經濟體制と其前途	74
鐵道概況	265	國勢統計	147	藤岡謙平	
深井英五		統計法	200	古來の家訓に現はれたる敬神思想と時勢の推移を論ず	221
金本位制度後の通貨政策	108	福山勝爾		藤曲政吉	
通貨問題論	108	最近漢口港ノ港勢	179	滿州總圖ト五省ノ富源	80
深尾邊雄		普濟會		藤澤健雄	
帝國議會五十年史	24	普濟會施設班報告	211	大陸郵船の指導原理	29
深田善治		釜山商工會議所		近代政治思想と奉道	31
上海港	180	統計年報	111	日本民族の政治哲學	31
粟谷佐市		釜山商工業内	114	藤田敏三	
東三省官紳錄	203	釜山視察		カメテル四争論	77
深谷善三郎		釜山港貿易概覽	120	藤田國之助	
現行法規制度要覽	3	釜山優異協會		取引所論	115
武漢實業部		釜山優良製品協會案内	127	西田 健	
武漢之商工業	113	釜原 謙		金屬材料の疲勞研究上の二三の意見	223
藤井敏太郎		滿州の水田事業と播種米の考察	134	内務省管內の燃焼速度	223
市場論	115	釜原縣公署		藤田仁太郎	
藤井才一郎		統計會刊	40	英和商業經濟辭典	57
全國性訴訟地方區域所管内戸籍事務協議會決議要録	44	釜原實業協會		藤田外次郎	
現行戸籍法令輯覽	41	釜原商工業覽	113	數學公式	249
藤井康雄		布野信平		藤田貞次郎	
國際不法行爲論	23	滿蒙權益要録	62		

泉空自伝秘鑑	26
藤田元孝	
世界商業交通地理	257
新日本郵帖	258
藤塚林平	
滿洲國の租税と専賣	93
藤塚誠長	
官廳簿記法精義	122
藤戸計太	
朝鮮金融經濟研究叢書	99
藤野 喜	
社會行政	8,9,205
藤原謙次郎	
支那の全貌	29
米國加祭陀の旅より歸りて	69
事業學人間學	77
工業日本精神	180
藤原保明	
電話法	5
藤本善太郎	
經濟統計	80
藤本善太郎	
商業統計の常識	112
藤本剛則	
明治大正國事年鑑	293
藤山一雄	
凶部建設批判及提言	184
新滿洲國土記	220
滿洲の森林と文化	230
過去來抄	236
佛敎青年聯盟	
汎太平洋佛敎青年會大會準備部	
總概要	209
不動産法調査會	
韓國ニ於ケル土地ニ關スル權利	
一斑	198
船越元雄	
朝鮮農業倉庫關係規則	137
船越義房	
觀覽席の斷面形に關する研究	223
船田 勇	
一稅務會計	91
船田孝二	
判例と理論	23
延馬元首政の起源と本質	32
國家の研究	33
碓 寶 山	

經濟學概論	70
農民協會	
日本農業年鑑	130
舊關店同業組合	
落花生検査事業概況	145
舊關店財政支器	
產業案内	126
舊關店財政簿	
管内支那人の農家經濟	135
舊關店履倉	
管内ニ於ケル主要農作物	143
種菜栽培便覽	147
古川 榮一	
豫算統制論	89
經濟科學の體係と成果分割	225
古屋芳雄	
醫學統計の理論と其適用	248
不破登一郎	
企業金融論	98
文教部	
滿洲國公文作法解説	45
生活改善	209
滿洲帝國文教部年鑑	231
學務統計	233
在滿朝鮮人教育調査表	233
普及建國精神之教育資料	234
教育廳長會議記錄	234
初等小學校用教科書	237
高等小學校用教科書	237
初級中學校用教科書	237
初等小學校教科書教授書	238
視孔錄	238
節孝優獎錄	241
御極大典皇極節孝敬老合錄	241
大滿洲帝國輿圖	259
滿洲國禮俗調查彙編	279
文教部總務司	
文教部報告例	239
文教部學務司	
全國學校統計	232
文教部實業學務局	
實業專門學校等入學志願者入學	
者ニ關スル調査	236
文教部禮務司	
通俗講演資料選輯	226
禮敎資料彙輯	238
通 禮	241

全國高士娛樂狀況彙編	247
岡 鈞 天	
中國保甲制度	38
文明教會	
支那の家族と村落	210
フィツシャー	
貨幣の幻燈	109
フーゴーミユラー	
爲替相場と物價	104
フオークナー	
亞米利加經濟史講話	71
フクシユバン	
支那の戰時經濟政策	74
フユター	
概観世界近世史	282
ブラーシユ	
ブラーシユ人文地理學	257
フレダアウトレー	
極東に於ける綿業	163
(へ)	
平安北道	
平安北道史	286
平壤府商議	
統計年報	121
平經雜誌局	
平 紙	174
平凡社	
大百科事典	219
世界史大系	281
新選大人名辭典	292
平民教育會	
定縣農村工業調査統計圖	141
北平市鹽業稅征收區	
北平市營業稅特刊	94
北平圖書館	
國學論文索引四編	259
劉枝蓮彦	
人文地理學通論	267
煙台政敎制度研究會	
滄代邊政沿革	35
(ホ)	
奉天共信所	
滿洲華商名錄	112
奉天省公署	
奉天省警務要覽	86

奉天銀行法令彙存	39	奉天市政公署行政會議總記錄	44	各國豫算制度	28	
奉天省統計年報	40	奉天市政公署調埠局調查租稅明細表	95	彭盛木	支那經濟記事解説	67
奉天省縣長會議 * 事錄	41	奉天市商會	112	彭 璽	龍圖渡地開闢決議錄	34
奉天省公署要覽	46	奉天市河善堂	211	龍 明 鈞	外人在港泊岸及內河航行權	179
奉天省公署實業要覽	46	奉天市同善堂要覽	211	廖 乃 文	中國地學論文索引	263
奉天實業管理機關章程並契約集	46	奉天總商會	112	廖 福 安	威府人口調查	132
宣統三年度奉天省預算案	90	奉天省城商工名錄	112	廖 秀 太郎	交流理論	50
農工商要覽	125	奉天商工公會	65	北 野 太 洋	熱 河	271
定期報告例集	199	奉天商工會議所	60	方正顯公署	方正顯統計報告書	40
奉天省政府調查目錄	228	奉天經濟統計年報	71	吉林省方正顯統計報告書	269	
奉天省公署調查目錄	228	奉天經濟十年誌	112	ト 關	中國農家經濟	138
奉天省教育統計表	232	統計年報	193	朴 栗 岳	朝鮮同胞ニ對スル教誨	241
教育統計圖表	232	奉天省官廳醫務所	237	朴 文 圭	農村社會文化の起點としての土地調査事業に就て	204
奉天省各縣教育觀察報告書	233	奉天省立圖書館	229	北海通商	北海道の商工要覽	126
奉天省教育廳		圖書分類目錄	290	北海道の農業	北海道の農業	131
自然學習冊	238	文淵閣四庫全書要略	237	外人農家概況	外人農家概況	135
奉天省教育會		國立奉天圖書館概況	246	北海通商に於ける小作契約實例調査	北海通商に於ける小作契約實例調査	136
奉天省教育會章程	235	遼東石炭集錄	3	亮	亮	144
奉天省財政廳		法學書院圖書館	16	北海道米穀統計表	北海道米穀統計表	274
奉天省財務統計年報	85	法律經濟叢書	8	北海道概況	北海道概況	195
奉天郵政管理局		法學翻譯社	16	北海道移住問題	北海道移住問題	196
職員錄	183	袖珍大法全書	23	北海道移住問題	北海道移住問題	196
奉天郵政管理局管區郵政與圖	269	法權討論委員會	24	根室原野ニ於ケル移民ノ經濟狀況ニ對スル一考察	根室原野ニ於ケル移民ノ經濟狀況ニ對スル一考察	149
奉天漁船保護局		國語法及國語法施行細則法律適用條例	24	北海道帝國大學	滿洲國ニ於ケル畜牛ト種牛	239
奉天漁業商船保護局要覽	151	考查司法紀	16	北海道帝國大學一覽	北海道帝國大學一覽	239
奉天、熱河省公署		法政學社	23	北海道農會	農業經營設計の實例	135
奉天熱河省移交卷宗目錄	228	現行大法 * 命令書	16	北海道農會負擔調查	北海道農會負擔調查	138
奉天省政府		法律研究學會	23	北支經濟通信社	北支經濟通信社	60
奉天省政府租稅制度並民國20年度豫算	95	行政法各論解説	23	北支日報社	支那政府組織	47
奉天省警務處		方 顯 廷	68			
奉天各種現行警察章程	36	支那經濟建設の全貌	157			
奉天商埠局		支那工業組織論	163			
第一次奉天省城商埠局報告書	51	天津地產工業	163			
奉天取引所		天津製布工業	163			
奉天取引所年報	115	天津針織工業	241			
奉天民政部經理科		方 光 源	288			
長白府屬興地全圖	258	關露實習指導書	143			
營口線南法庫莊河經興地全圖	259	方 範 九	143			
奉天市公署		蒙古概況與內蒙古自治運動	143			
例規類集	42	彭 桂 秋	143			
奉天市市政統計彙刊	44	中國農村經濟研究	143			
奉天市統計年報	44	彭 子 明	143			
奉天市日滿工業工場名錄	161					
大奉天市事情總覽	144.272					
奉天市政公署						

北滿經濟調査所		堀江 孝		ロシヤ史	291
函東郵船企業一覽	77	日大病院に於ける胸部レントゲン像の統計	223	ホツホー	
瀋京支線道ヲ中心トセル北滿大豆	144	堀江不器雄		現代國の經濟論	74
木材乾留生産物ノ北滿ニ於ケル動向	169	化學商品叢書	117	ホノー	
松花江を中心とせる北滿水運の現状	181	堀江保藏		世界的見地より見たる滿洲問題	61
京漢線經由滿人移民調査報告	194	植民地時代米國の土地保有制度	61	ホボフ	
北滿經濟調査所資料分類表	228	明治初年の官營産業に就て	62	日本經濟講話	65
江南兩省糖業本書目	228	堀江三一		日本ノ技術的經濟的基礎	81
北滿水災中央救濟委員會		支那新鐵道とアメリカ	49	俄漢合賦増補字彙	245
北滿水災狀況並救濟報告	260	支那經濟地理叢論	258	ホロツク	
北滿特別區公署		本位田祥男		ソヴェート聯邦計器經濟史論	72
北滿特別區公署要覽	45	歐洲經濟史	58	(マ)	
星田信隆		英國經濟史	71	前島秀博	
日支黨派問題の鳥瞰	50	經濟史研究	71	滿洲主要新設會社目録覽覽	79
滿蒙鐵道網と交通問題	172	統計經濟の理論	74	前田梅松	
滿蒙鐵道の社會及經濟に及せる影響	172	協同組合研究	76	利率計算ノ仕方	105
滿蒙に於ける鐵道の概要	174	農産物の價格統制	110	解説實用利息計算表	250
滿蒙鐵道網と交通問題	261	産業田舎政策と課税問題	128	農本傳五編	
保科孝一		歐洲ニ於ケル農村協同組合	137	經濟思想の革命	70
國語政策	243	本庄樂治郎		牧 健二	
星野直樹		日本經濟史	68	日本封建制度成立史	32
稅 法	8	德川時代に於ける植民的思想	62	牧野英一	
細野 孝		幕末の商稅論	62	法律講話	4, 8, 9
各國インフレーション形態ノ研究	101	日本經濟史概説	71	法律に於ける理論と技術	15
細野健三		人口及人口問題	191	刑法と社會思潮	20
北支那の外國貿易と帝國の商戰	121	本庄可樂		刑法研究	20
工業調査	264	世界文化年表	219	日本刑法	20
細谷 清		本田重雄		刑事訴訟法	22
滿蒙傳説叢	279	金融外交史序説	101	牧野武夫	
穂積重遠		本田誠二		議會政治讀本	37
判例小話	4—7	宇宙の有限性及無量性に就て	221	牧野輝管	
親族法	8, 9, 13	本間俊平		金融論	38
相続法	10, 11	滿蒙完成の原動力	262	日本財政論	36
法學學大綱	15	本間孝次郎		財政概論	67
民法論	19	滿洲史要	282	新金融論	101
穂積八束		本漢齋公著		物價の話	109
憲法提要	17	本溪縣經濟調査	64	牧野虎次	
保田與野		本溪湖鐵道有限公司事業概要	155	滿蒙の宗教	263
要 領	278	ホイツブル		關山學次	
堀 三也		生命統計學概論	202	國家觀念ヨリ見タル小學校ノ教育	262
國家總動員の準備に就て	54	ホール		探田秀春	
堀 義雄		支那國立銀行ニ關スル研究	102	勞働法	4
中國勞働運動	215	ホーレー		産業組合法	9
		統計概論	201	我國勞働法規及判決例	212
		ホクロフスキー		正井權次	

著者名索引

国際経済論	83	松尾篤作		国際関係通論	51
貨幣と為替	106	南滿洲に於ける宗教概観	238	松原 寛	
貨幣価値の研究	107	松岡孝兒		悉曇抄の歴史哲學性	221
正木 高		中央銀行兌換準備論	61	松原 史	
行利法規	7	アフタリヨンの貨幣心理説に就て	62	世界政治論	31
岡崎万里		金爲替本位制の研究	105	松村壽治郎	
綜合文化史論	227	金問題研究	108	農家労働調査報告書	186
正野友重		松岡重八		松村壽次郎	
甘珠喇湖及び定期市	114	現代人種問題研究	207	農村工業	130
増井光蔵		松岡洋右		松村健馬	
國際資本移動論	84	日獨防共協定の意義	59	諸州網里図表	256
増井幸雄		松本 快		松本潤一郎	
交通政策	58	商租概説	137	社會集團と社會階級	206
ケネディ経済学	69	松隈秀雄		松本憲治	
臺灣通商		財務行政	89	會社法	6
農家経営	135	松倉信次郎		商法大意	21
増島六一郎		市町村財務概説	84	日本會社法論	21
日本法令索引總覽	5	松崎憲之助		會社法講義	21
増地藤治郎		國家財政史	88	松本 茂	
企業形態論	77	統計學汎論	89	東亞古の眞相	264
我が國株式會社に於ける株式分配と支配	78	松崎 壽		東亞風俗談	279
岡谷 力		銀行及金融	102	松原竹二	
袖珍数学公式要覽	249	松澤傳太郎		最新工業大辭典	157
柴 統 新		石油便宜	156	松本高等學校	
呼倫貝爾概要	372	松下芳男		松本高等學校一覽	233
松井 清		日本軍車發達史	54	松山茂二郎	
生産の構造と貿易	63	松島龍夫		ソヴェート經濟研究	75
松井 茂		通商條約講話	111	松山哲二郎	
警察讀本	37	松田 甲		英海經濟事情	68
松井翠聲		日鮮史話	285	松山高等商業學校	
映画音楽全録	247	松田道一		松山高等商業學校一覽	233
松井孝生		國際平和關係條約集	48	松山商工會館所	
經濟多謀本部論	59	松田 壽		統計年報	112
日本資源政策	74	露和大辭典	245	眞講五郎	
松井 尊		松田今輔		拓け行く滿洲	264
支那現代史	288	廣善元年度預算に就て	91	丸毛信勝	
松浦睦三		松田波仁一郎		大滿洲國の産業	126
滿洲經濟と日本帝國主義	64	商 法	7	岡谷 弘	
松浦誠之		山岡博士教授二十五年紀念論文	220	支那社會の測量	204
商業組合の話	116	軍艦商船の賠償法則	221	樂道社會學叢刊	204
松浦 清		松葉榮重		集議學說による社會主義への批判	221
滿洲經濟統計圖表	61	我國民間航空事業と其將來	221	九山順太郎	
松澤有志太郎		松葉一雄		和佛辭典	246
邦人滿蒙への發展と安穩生活	262	滿洲事變と不戰條約國際聯盟	49	滿洲移民協會	
松浦茂夫		外交及外交史研究	49	拓け滿蒙	207
中國の西北角	260			滿洲觀光聯盟	

滿洲國光復型創立總會經過報告 171

滿洲經濟研究會

滿洲通貨問題の研究並に資料 106

滿洲經濟事情案內所

滿洲國に於ける砂糖事情 166

滿洲研究會

滿洲研究彙報 264

滿洲興業銀行

滿洲貿易要覽 120

滿洲航空株式會社

英屬民間航空政策と英帝國航空
路會社 181

滿洲國情報社

滿洲國之實業概観 125

滿洲國中央社會事業聯合會

滿洲國社會事業概要 208

滿洲國通信社

黎明大亞細亞 34

康慶五年度豫算の話 91

滿洲國の産業革命 137

修特使訪日記念寫真帖 246

滿洲國現勢 294

滿洲國童子團訓練
滿洲國童子團奉天省地方團團狀
況 287

第一屆滿洲國童子團指導者實修
所記錄 287

滿洲國童子團訪日感想錄 260

滿洲國防空協會

防空委員會心機 54

國土防空と平時準備に就て 55

滿洲資源誌

滿洲産業概観 125

滿洲事情案內所

滿洲國經濟地圖 66

國都新京經濟事情 65

奉天錦州縣經濟事情 65

滿洲國企業統制の現況 75

在滿主要會社一覽 79

滿洲國產業資源と其の開發 82

滿洲に於ける通貨金融の過去及
現在 106

滿洲國の産業 127

滿洲に於ける農村聚落狀況耕作
面積地價 140

滿洲工業事情 156

滿洲國の交通事情 171

新京に於ける貨物集散機關 171

國有鐵道沿線及背後地各縣地況 178

松花江遼河 181

滿洲百萬戶移民政策の全貌 196

滿洲の現住民族 208

滿洲地名考 255

蒙古事情概要 261

滿洲事情案內所資料集成 265

蒙古事情概要 265

滿洲國の自然 265

滿洲の産業 265

滿洲事情案內所要覽 268

農安事情 270

扶餘縣事情 270

新京事情 272

外蒙古事情 276

北支那事情 276

滿洲支邊事情 278

滿洲事情 278

滿洲國の風俗 278

滿洲國の傳説と民話 279

滿洲社會事業協會

滿洲社會事業概要 208

滿洲社會事業年報 208

滿洲書院

滿洲鐵道運輸總覽 175

滿洲商業會議所聯合會

滿洲金融改善調査資料 99

滿洲消費組合研究會

消費組合研究 76

滿洲青年聯盟

滿洲青年聯盟史 206

滿洲生命保險會社

營業報告書 110

滿洲拓殖公社

移民團長會議々事錄 195

滿洲農業自由移民の案 196

滿洲炭礦會社

滿洲炭礦株式會社概要 156

滿洲中央銀行

經濟金融概況 99

滿洲中央銀行各行現狀一覽表 102

營業報告書 102

滿洲國通信社

日滿商工名鑑 112

滿洲帝國政府

若き滿洲 265

滿洲印象 265

滿洲帝國司法研究會

新法律全集 12

滿洲電氣協會

滿洲の電氣事業 168

滿洲電氣協會概要 169

滿洲電氣協會々員名簿 169

滿洲電業會社

社業統計 167

滿洲電業公司

中運民衆に於ける電氣事業 168

中華民國電氣事業 168

滿洲電業會社

營業報告書 168

滿洲電信電話會社

統計年報 181

我社ノ統計作成方法 188

滿洲電信電話株式會社概要 183

滿洲統計協會

統計協會パンフレット 198

滿洲帝國現住戶口統計 193

滿洲特産中央會

歐洲に於ける滿洲大豆其他取引
事情 116

滿洲の相互貿易機關と滿洲通商
問題 122

滿洲特種保海外情報 125

米國新油脂課稅法と日滿油脂貿
易の將來 166

滿洲日日新聞社

滿洲國國稅々則 97

滿洲運動年鑑 238

支那事情の全貌 280

在滿日滿人名錄 293

滿洲年鑑 294

滿洲日報社

滿洲國の全貌 261

滿日年鑑 294

滿洲國產物調查聯合會

滿洲國產物收穫高預測 143

滿洲評議社

再分割の危機に立つ支那 30

滿洲物産組合

滿洲主要物産統計年鑑 142

滿洲文化協會

滿洲經濟指針 63

滿洲講座 261

熱河事情	271	滿洲原物分析試驗成績	128	西北列の行政經濟事情	68
外蒙古と自治内蒙古の關係	278	滿洲中央試驗所一覽	158	西部西伯利亞經濟調查資料	68
滿洲建國正史	283	滿鐵地質調査所		西伯利亞經濟狀況と日露貿易	
滿洲年鑑	294	滿洲調查統計表	153	料	68
萬國圖		滿洲主要鑛山出產統計表	153	ソヴェート聯邦經濟十年史	71
滿洲道上農民新舊考査記略	140	地質調査所要覽	260	滿洲國東の資源と産業	81
高田一治		滿洲西北部の地質及地誌	261	滿蒙より何を期すべきか	81
ポランタリー・チェーンの研究	76	地質調査所報告	261	滿蒙ニ於ケル日本ノ投資額	
滿鐵本社		滿洲東北部の地質及地誌	251	ニ於ケル世界各國ノ投資額	84
滿鐵地方支那警察制度	37	滿洲北部の地質及地誌	251	滿鐵ニ於ケル支那人ノ經濟的	
滿鐵鐵道沿線建設施設	45	吉林省地誌	251	對外關係、滿鐵ニ於ケル支	
滿鐵鐵道株式會社三十年史	177	滿鐵調査課		那人ノ繁榮狀況	84
滿鐵營業報告書	177	滿洲調查報告	16	滿洲ト支那本部トノ關係	84
滿鐵要覽	178	民國約法與國會	18	吉林省東北部松花江沿岸地方經	
滿鐵物品目錄	229	支那に於ける治外法權問題	25	濟事情	85
滿鐵紹介	261	奉天省に於ける司法制度	25	熱河省の財政	85
支那地名誌	275	東三省官廳の施設内情	27	黑龍江省財政一覽並現行稅制	85
滿洲概観	284	滿洲政治經濟事情	28	奉天省財政一覽	85
滿鐵太平洋問題調査會		奉天省保險	32	奉天省の財政	85
滿洲に於ける日本の法權	14	東省特別軍行政一般	41	吉林省の財政	85
滿鐵鐵道網の發達	174	日支通商航路條約改訂問題	48	最近支那財政概況	87
滿鐵文書集		上對外關係當地行政概論	50	民國財政史	88
規定類纂	172	支那東滿鐵道運動後の北滿に		滿鐵農民の課稅及其他負擔重	
編纂類纂	177	於ける經濟勢力	52	の研究	91
滿鐵人事課		日本の滿洲に於ける施設が原因		支那ニ於ケル地租制度問題	
滿洲に於ける鐵道物價指數	117	となりて支那の施設が改善さ		江航運ニ關スル調査	94
職員録	177	れたるものありや	52	中國の稅收政策及債務	95
社員録	177	滿鐵に於て我權益の保護せられ		重金制に就て	95
在滿鮮人壓迫事情	207	たる例	52	滿鐵附屬地内に於ける支那獨	
共濟統計要覽	211	支那の對外關係	53	營課稅	95
労働統計論	213	滿洲經濟年報	59	支那稅定率表	99
滿洲に於ける労働運動並に労働		巴爾虎(呼倫貝爾)經濟概観	64	支那銀行關係規定稿	103
學説	215	滿鐵附屬地居住者私經濟報告	64	支那ニ於ケル無産ノ慣習	103
滿鐵史料課		滿鐵經濟調查資料	64	中國ニ於ケル輕實業元問題、内	
關東廳の法廷に現はれたる支那		北滿經濟調查資料	64	地取引所關係法規ノ改正ト在	
の民事慣習	16	滿蒙交界地方調査資料	64	滿洲日本取引所	103
滿洲鐵道株式會社營業一覽	177	東滿鐵道南部地方經濟調查資料	64	滿洲ニ於ケル通貨及金融ノ概要	106
滿洲事變と滿鐵	177	本溪湖鐵道經濟調查資料	64	滿洲ノ通貨不信用ノ支那土農民	
東三省政府公報索引目錄	228	錦州府管内經濟調查資料	64	及關係外國人ニ及ボセル影響	106
北支事情總覽	276	吉林東南部經濟調查資料	64	哈爾濱大洋流通史	107
滿鐵情報課		松花江沿岸地方經濟調查資料	64	ソヴェート聯邦貨幣史	107
國民政府主要職員録	293	松花江黑龍江及兩江沿岸經濟調		銀問題ノ大要	108
滿鐵勞務課		査資料	64	滿洲特許罪ニ於ケル官商ノ活躍	114
内地及朝鮮に於ける工場貸與制		齊々哈爾濱南及び伯都訥地方經		濟進行商人制度ノ研究ト關連	
度の調査研究	216	濟調查資料	64	易ノ興興	115
滿鐵中央試驗所		滿洲に於ける外人經濟勢力狀況	64	滿洲ニ於ケル日本取引所	115
		勞農關係の生産と消費	68	滿鐵與ノ關係	117

滿洲貿易詳細統計 118
 北支貿易年報 118
 現在ニ於ケル日滿通商狀況 120
 大連港仲買貿易臨時委員會報告書 120
 最近支那主要港ニ於ケル仲買貿易ト大連港 121
 ソヴェート聯邦ノ國貿易論 121
 一九二七年ニ於けるソヴェート聯邦ノ對東方諸國貿易 121
 露國ノ對外貿易 121
 滿洲産業統計 126
 勞農露西亞の産業狀況と外國貿易の前途 126
 勞農露國の産業と電化計畫 126
 國民政府ノ産業政策 127
 東三省ニ於ケル度量衡 128
 滿洲ニ於ケル産業組合 128
 支那方聯合 129
 山東省中部山地帯ニ於ケル農業事情 131
 滿洲極東の農業と植民問題 133
 北支ニ於ケル灌溉事業附滿洲ノ灌溉 134
 滿洲水田ノ話 134
 滿洲農家ノ生活ト消費 135
 北滿洲支那農民經濟 135
 ソヴェート農村の研究 138
 臺灣の肥料問題 138
 支那の動産と山東農村 138
 滿洲農産物收獲高原因 143
 大連、安東兩港背後地ニ於ケル作物產 148
 東三省諸探礦業法令 152
 吉林省之林業 150
 滿洲極東の林業と林況 150
 吉林省東北部林業 150
 南滿洲吉林附近の森林並に林業に就て 150
 東滿州膠田芒硝ニ關スル調査資料 152
 吉會鑛定額地方礦山調査報告 154
 撫順炭の發掘 155
 滿洲工業勞務事情 157
 滿洲工場名簿 161
 ハルブ工業に關する調査 164
 滿洲交通統計 170

長春滿洲山前鐵道調査報告 173
 太哈鐵道調査報告 173
 朝鮮の私設鐵道 173
 支那に於ける鐵道問題 173
 新聞に傳へられる滿鐵の豫定鐵道 173
 本溪湖鐵道部鐵道調査報告 174
 全國鐵路代表大會ノ議程 174
 中東鐵路運輸統計 175
 西北利鐵道の連絡運輸 175
 鐵道運輸規程 175
 滿鐵の概要 177
 東支鐵道附屬地の露治時代と現在の比較 178
 東支鐵道會社概要 178
 東支鐵道ガ特殊ノ運賃政策ヲ取リタルコトガ北滿産業開發上其他如何ナル結果ヲ生ジタカ 178
 東支鐵道商業部及經濟調査局ノ組織ト事業一巡 178
 東支鐵道ノ滿洲經濟界ニ及ボセル影響ト創業二十五年間ニ於ケル運賃改正ノ變遷 178
 黑龍江系水路誌 180
 遼河水運 180
 南滿三港海運事情 180
 大通港施設概要 180
 奉天經濟調査報告 185
 勞農露國土地法の研究 188
 我國人口問題と露國 191
 人口耕地及農産物ヨリ見タル滿蒙大勢 191
 滿蒙ニ對スル支那ノ植民 195
 南洋ニ於ケル支那人 195
 在滿朝鮮人の現況 195
 滿洲ニ於ケル邦人ノ現況 195
 支那側の朝鮮人政策ニ對シ日本ノ執リタル態度 195
 支那官民ガ在滿鮮人ヲ取扱シ其ノ耕地ヲ沒收セン事例 195
 中國秘密社會史 205
 滿洲ニ於ケル赤化宣傳事情概要 206
 露國ニ於ケルポリシニシグイズムの變遷史 208
 ソヴェート政府の民族政策に關する法規策成 207
 極東露國ニ於ケル黃色人種問題 207

蒙古民族自決運動 208
 滿鐵中國人生計調査 209
 滿鐵中國人生計費調査 209
 滿洲極東ニ於ケル職率組合ノ組成 210
 支那ニ於ケル勞務爭執調査 215
 滿鐵の文化的開發と日本の富強 219
 圖書分類目錄 228
 滿鐵刊行物品目錄 228
 滿鐵資料索引目錄 228
 資料倉庫 229
 滿鐵調査課刊行書目 230
 支那降雨量の研究 250
 黑龍洲の氣候、土壤、植物研究誌 251
 最新ソヴェート聯邦地誌 259
 滿蒙要覽 261
 滿蒙全圖 263
 營口の現勢 273
 亞西亞露西亞の住民 276
 ヤタウト共和國 276
 外蒙共和國 276
 勞農露國研究叢書 279
 滿洲極東地誌 278
 ソヴェート聯邦總覽 278
 奉天重要日誌 280
 日人の注意すべき支那交通上の習慣 280
 中華民國第十一年史 288
 東三省重要官紳錄 292
 ソヴェート聯邦年鑑 295
 ソヴェート聯邦國勢統計年史 295
 蘇聯邦要覽 295
 滿洲經濟調查會
 支那ボイコットの研究 53
 支那ニ於ケル外國人地位 53
 滿洲經濟統計文獻目錄 57
 滿洲經濟統計年報 60
 滿洲經濟統計 60
 吉林省內三姓勃利地方經濟事情 61
 訥爾河、呼爾河河流域地方經濟事情 64
 熱河省經濟の現狀と其將來 65
 山東省經濟調査資料 67
 滿洲經濟の發達 71
 對滿經濟政策に關する各種意見 73

著者名索引

滿洲會社考課表集成	78	滿洲國川房簿事情	213	和漢圖書目錄	227
滿洲新設會計一覽	79	露文鐵路ノ聯極東及外蒙調査資料	277	東視 equal	260
ソヴェート聯邦の資源と産業	80	滿信臨時經濟調查會		北支那文獻總覽	275
國民所得及國富ニ關スル研究	81	在滿法人現狀調査要覽	77	滿洲奉天圖書館	
滿洲國々民所得並ニ國富計算書	81	帝國殖民地課稅一覽	93	滿洲關係和漢圖書件名目錄	237
滿洲經濟と日本及列國經濟との關係	83	滿洲に於ける外商の勢力	114	生原文庫圖書分類目錄	238
支那法合ニ於ケル外國投資ノ制限	83	大連に於ける主要外商及其業績	114	滿洲新方面書館	
滿洲國現行租稅制度	92	滿洲大豆品質等級査定に關する調査	143	和漢圖書分類目錄	229
支那稅制の沿革	93	混保大豆暴落とその對策	143	滿洲經濟圖書館	
滿洲國邦人課稅情況	93	高粱雜糧集調查報告四	144	北支那關係雜誌記事索引	230
滿洲國現行內國稅々率表	95	大豆に關する調査報告書	144	滿洲安東地方事務所	
支那稅制制度要綱	96	滿洲に於ける亞細亞事情	146	東邊道各縣經濟調查報告書	261
滿洲國官有財產	97	日本内地に於ける家畜飼料の需給	149	滿洲開闢事務所	
滿洲各區域幣流通統計表	106	支那毛皮	149	價廉要覽	269
事變後ニ於ケル豫北ノ變革	116	支那羊毛	149	滿洲鐵道部	
上海租界對日本國規定相場表	117	滿洲主要都市の木村需給狀況	151	大連港貨物年報	118
北支那外國貿易統計年報	118	本邦及朝鮮に於ける無煙炭の需給並滿洲產無煙炭に關する調査	156	大連港船隻出統計	119
滿洲貿易年報	118	日本内地に於ける無煙炭及本邦炭に關する調査	156	統計年報	173
滿洲農耕地生産力並ニ人口支持力ニ關スル研究	133	丸船輸出試驗報告、歐洲に於ける滿洲大豆工業の現況	165	經濟要覽打合せ會議々事録	173
滿洲時代ニ於ケル滿洲ノ産業關係	134	經濟上より見たる滿洲の道路	171	主要貨物年報	175
邦人農家勞働調査報告	135	滿蒙に於ける荷馬車	171	貨物運費及料金規則	176
邦人移民農家經濟調查報告	135	松花江の水運	179	工作統計年報	176
滿洲ニ於ケル農民ノ租稅負擔ト農村機構	136	吉林省に於ける土地整理に關する法律	186	工務統計	184
前滿州省下の河北農村	140	黑龍江省農民に關する省單行土地法令	186	拉滿鐵道建設工事寫真帳	176
改良大豆の普及獎勵事業	144	遼陽附近を中心とする太子河の澆勢と洪水記録	200	鐵道建設工事寫真帳	176
中國大豆生産統計表	144	滿鐵地方部		滿鐵統計係	
農業統計	153	地方經營概觀	45	鐵道一版	177
滿洲の農業	153	地方經營統計年報	45	滿鐵統計係	
滿洲ニ於ケル板硝子工業ト其ノ需給趨勢	155	各區公費歲入出決算表	90	滿鐵統計係	
滿洲ニ於ケル硝子器工業ト其ノ需給趨勢	155	滿鐵學務課		鐵道及金大間自動車輸送旅客統計	173
滿洲甜菜糖業	165	學務統計表	233	各國鐵道營業成績表	174
ソ聯糖業	165	教育施設一覽表	234	統計から見た最近五ヶ年鐵道營業	177
滿洲交際統計集成	170	教育施設要覽	234	鐵道統計係	
奉北地券(契)制度ノ研究	188	滿鐵衛生課		北支經濟總覽	68
ソ聯重要統計集	199	日支學堂の發育調査並二三の疾病調査成績	238	露英文滿洲支那行政金融關係資料邦譯目錄	84
統計的認識ト經濟統計ノ體系化	202	滿鐵附屬地衛生概況	248	滿洲西北支實業詳報統計	119
		滿鐵大連圖書館		日滿支に於ける工業製品需給狀況調査	158
				滿洲に於ける自動車並自動自転車の現勢	172
				滿洲鐵道統計集	173

北滿河川水運統計 181

滿鐵商工部

滿洲商工概覽 112

滿洲商工事情 113

滿洲商工事情概要 113

商工施設概観 113

滿洲主要都市と其背後地 208

滿鐵地質課

滿洲に於ける鐵山労働者 155

滿鐵農務課

日本の需要より見たる滿洲の農

森林資源 81

滿鐵附屬地農事情統計 130

滿洲在來農業 131

滿洲に於ける農業經營の研究 135

滿洲に於ける農業金融 137

滿洲大豆 144

滿洲の棉花 146

滿洲の果園經營 147

滿洲畜産手引 149

滿鐵産業試験場

滿洲の在來農具 136

滿鐵農事試験場

衆議院農事調査會報告書 131

滿洲の皮革 149

滿鐵地質課

滿鐵の性質と其用途 155

滿鐵東京支社

滿洲資源産業視察便覽 82

滿鐵北滿公所

北滿商工事情 114

滿鐵哈爾濱事務所

支那法規類纂 9

東支鐵道經濟年鑑 60

北滿主要都市商工概覽 113

蒙古貿易と東支鐵道 120

海林地方に於ける水田農業 131

北滿の農業 131

極東鐵道交通機關擴張十年計畫 171

松花江航行權問題ノ研究 178

數字上ヨリ見タル滿鐵新築商港 179

北滿洲氣象報告 250

北滿洲商觀 264

東支鐵事情 269

政治的方面ヨリ見タル呼倫貝爾事情 271

蒙古塔子中心トセル東北部滿洲之沿革 282

天津棉花運銷概況 146

通縣棉作試驗成績概要 146

山東棉業調査報告 116

北支主要工場一覽表 162

英支西蔵問題交渉略史 49

滿鐵天津事務所

包頭一般經濟事情 07

冀東特殊貿易の實情 130

山西省の商業と貿易概要 136

北支農業要覽 181

河北省滄縣農村概況 139

北支那ニ於ける棉作地農村事情 139

北支棉花ニ關スル一考察 146

河北省棉產概況 146

河北省通縣棉作試驗場成績報告 146

北支那の羊毛 149

山東の山羊 149

現行支那農業獎勵法場 152

北支那農業要覽 154

濟南ニ於ける製造工業 157

天津ニ於ける製造工業 157

山東紡績業の概況 163

山東の棉作 163

綏遠省の交通 170

北支那要覽 180

山東地方ノ黄河水災狀況 260

滿日文化協會

東方國民文庫 220

滿洲ニ於ける製粉業 166

滿鐵學術調査研究部

滿鐵學術調査研究部報告 225

滿鐵資源課

滿鐵資源館要覽 81

滿洲農産地帯分布圖 134

滿洲重要礦産分布圖 154

滿鐵圖書刊行會

口北三農誌 254

北征録、伏成記事、松亭行紀 254

北小抄外六種 254

滿鐵評議社

滿洲奉業會社總覽 78

マゲロウスキー

ソゴエート法論 14

支那問題概論 67

マジヤール

マジヤール支那農業經濟論 135

支那の農業經濟 136

マルサス

マルサス人口論 190

(三)

三浦周行

法制史 7

三浦壽作

東洋倫理學史 241

三浦實

金融市場金利論 99

三浦重雄

三浦輝計書 199

三上安實

滿洲に於ける各國の合辦事業 83

滿洲の炸薬 148

滿洲の鐵道工業 163

滿洲に於ける紙の需給と製紙工業 164

滿洲油坊現勢 165

三本 清

現代哲學辭典 240

三本典二

滿洲高粱研究 144

三島章道

日滿陸境工作 237

三島康夫

赤 軍 54

三浦信三

契約概論 4

契約各論 6

滿鐵奉地

關東州に於ける司法 24

三田同華會

國際經濟戰略 84

三井物産大連支店

滿鐵貿易統計總覽 110

水垣 清

國際法に於ける國家責任論 29

瀧川龍太郎

三國干涉以後 233

三浦壽尾

郷土地理の觀方 256

水島周平

仰キマフル明治天皇ノ御聖詔 26

水谷龍行

露滿熱地辭典	245	滿洲新史	282	富澤俊義	
水谷國一		滿洲州中等教育研究會		宗廟祀典員選舉法	6
支那に於ける外國租界回收問題	51	滿洲事情	264	公法學の諸問題	16
支那に於ける家族制度	210	滿洲真実		中華民國民法草案	17
水谷平吉		吉林省産業ノ現状	125	憲法關係法規場	17
市町村公債	91	吉林を中心として見たる滿洲民族變遷史	207	宮下忠雄	
水谷真一		滿村光野		カン支那通貨論	107
勞働統計論	213	戰時國家の經濟法	57	宮島幹之助	
水野 馨		製作新六		關東可片問題の経緯	212
滿洲島嶼分布目錄	150	電氣化學	103	宮島吉雄	
水野龍之丞		製作洋輔		支那語辭典	244
理論電氣學	159	石炭液化ト代用燃料	162	宮田嘉代雄	
無線電話大要	183	眞藤部運吉		生活經濟學研究	70
水野梅嶺		行政裁判法	5	宮田彌彌	
滿洲文化を語る	224	公法と私法	14	日本資本主義發展史	59
三菱經濟研究所		憲法提要	17	宮田保郎	
本邦事業成績分析	61	日本憲法	18	フアツシズムの經濟組織	69
我財界の現状と其對策	75	憲法講話	18	ソヴェート信用制度	101
世界經濟不況ノ現状及對策	83	公用收用法原理	20	日本貿易品檢閲	120
世界經濟の現勢	82	公法判例大系	23	宮野省三	
太平洋に於ける國際經濟關係	83	日本行政法	35	警察行政	87
東洋及南洋諸國の國際貿易と日本地位	119	行政法提要	34,35	宮本蘭吉	
日本の産業と貿易の發展	126	富屋康太郎		がらす五術の對數表及三角函數表	249
雜誌商標新聞目錄	230	支那事業變遷史	290	宮本英甫	
三菱合資會社		宮川眞一郎		刑事新法大綱	22
水閣炭坑勞働事情	155	新貿易方策と昌晉	118	宮脇賢之助	
三浦忠彦		宮城肇		滿洲支那經濟辭典	57
信託法及信託業法	8	宮城縣廣瀨沼沿革史	134	支那ノ新生ト民衆硯記	203
水本信夫		三宅喜二郎		現在支那社會勞働運動研究	205
借地法	19	我が國に於ける質銀及物價の統計的研究	109,216	三好重夫	
借家法	19	三宅正太郎		地方財政の實際問題	86
曾川輝彦		治安維持法	11	地方財政改革論	89
外交とは	48	三宅剛藏		三好豐太郎	
三奈木重則		會計學講義	123	新勞務管理	214
滿洲國稅關ト輸出入貨物ノ通關手續	06	宮藤 卓		三輪田元道	
南 信好		豫算構成ノ理論ト實際	90	最新常識精典	219
英和法政經濟商業辭典	-	都新聞社		民衆衛生部	
南 正樹		總動員物資の話	75	中國衛生法規	243
保險業法	8	生産力擴充産業資本	126	民衆清浦局	
南亮三郎		宮坂植朗		滿浦局與滿浦工程	185
人口理論ト人口問題	190	浜亦經濟地理	267	民衆服務書	
人口法則ト生存權論	190	宮崎力蔵		中國國政沿革史	153
人口論發展史	190	日本近代經濟史序説トシテノ近代ヨーロッパ	71	國務法規	152
滿洲洲教育會				全國場產調査報告書	152
				民衆外交部	

著者名索引

中英法外交辭典	48	歲入歲出預算表	90	動物學名詞	151
民國華洋義會		暫編交通部所管路電郵航四政特		發生學名詞	248
合作講習會講義集	137	別會計歲入歲出預算表	90	胡適學免皮學名詞	251
民國教育部文書彙		財政部詳登無確實保險外債表	91	民國法制局	
中華民國教育統計圖表	232	各省風產量收數表	93	中央官制沿革表	47
民國行政院		民國實業部		民國立法院編譯處	
中國農業之改進	133	中國經濟年鑑	59	中華民國法規彙編	3
廣南省農村調查	140	最近三十四年來中國通商口岸對		中華民國憲法草案	18
浙江省農村調查	140	外貿易統計	119	各國選舉法選輯	31
河南省農村調查	140	民國21年貿易報告	121	民國郵政總局	
陝西省農村調查	140	中國商業誌	136	郵政事務年報	183
江蘇省農村調查	140	實業四年計畫	127	民衆時報社	
人事登記暫行條例	193	浙江桐油調查報告書	165	臺灣特派員	273
民國經濟委員會		中國勞務年鑑	212	民政部	
中國公路交通圖表彙覽	170	民國司法行政部		奉天省輿地全圖	258
民國經濟調查局		中華民國民事統計年報	18	民政部	
直省鐵路概論	178	中華民國商標查閱調查報告	16	吉黑兩省蒙旗行政調查書	36
民國工商部		民國中央銀行		各省公署東漢行政視察報告	36
金貨銀錢問題叢刊	107	中國農業金融概要	137	民政年報	36
中東鐵路問題	178	中國債券介紹	104	統計年報	36
各地勞資新舊合約彙編	317	民國中央研究院		地方行政制度改革紀念特刊	39
民國交通部		慶祝孫元培先生六十五歲論文集	220	各縣臨時改組辦法	39
中國通郵地方物產誌	126	民國中央大學		滿洲國地方例規新覽	39
交通部統計年報	170	田賦附加稅調查	94	區村便覽	41
國有鐵道會計統計總報告	174	民國中央統計處		大哈爾濱市之建設	44
中華民國郵政事務總論	183	全國合作社統計	76	民政部要覽	45
中國郵政統計專刊	183	全國公路統計	173	地方財政概要	85
郵政事務誌記	183	民國二十二年之建設	286	在滿朝鮮人事情	196
民國財政整理會		民國地質調查所		滿洲國中央社會事業聯合總覽書	
暫編各省常關歲入歲出預算專表	89	中國礦業概要	163	並章程	208
暫編各省常關歲入歲出預算專表	89	民國鐵道部		資料分類目錄	229
暫編各省區國家歲入歲出預算分表	89	鐵道年鑑	173	熱河省縣政事情	271
暫編整務歲入歲出預算專表	89	中國鐵道便覽	174	北滿沿馬里里地方	273
暫編中央各部各機關歲入預算分表	90	民國統計局		民政部總務司	
暫編中央各部各機關歲出預算分表	90	中華民國統計提要	199	警務行政 / 沿革	36
暫編國家歲出預算總表	90	民國鐵路建設協會		縣區村制度 / 事變前 / 狀態	39
暫編國家歲入預算總表	90	中國公路旅行指南	171	民政部地方司	
財政整理會經過情形及辦理一切事宜概要	90	民國內政部		地方財務例規新覽	84
暫編國家預算總案	90	內務統計地方表式	36	各市歲入歲出決算	91
暫編中央各機關各部經費國家歲出預算分表	90	內政年鑑	36	縣歲入歲出預算	91
暫編中央直接收入支出預算專表	90	中國警察行政	37	民政部警務司	
暫編財政部所管各局處特別會計		民國內務部		世界各國之籍法資料集成	23
		內政法規彙編	35	治外法權概況	25
		民國農商部		滿洲國警察概要	36
		全國物價統計表	109	治安矯正工作概況書	37
		農商統計表	130	大體警務要覽錄	37
		民國礦務局		保甲制度概況	37

保甲制度	38
滿洲國警察職員一覽表	38
各省廳縣別戶口統計表	103
發賣頒布禁止單行本目錄	228
保長甲長日本見學報告書	259
民政部衛生司	
民政部衛生司概況	248
滿洲帝國衛生法規	248
民政部文書司	
最近奉天省教育統計表	232
民生部	
學校教育統計	232
滿洲帝國學事要覽	234
民生部圖書目錄	229
學校令及學校規程	231
滿洲帝國年報教育概要	236
滿洲宗教概況	230
衛生法規輯錄	248
宗教及古蹟古物名勝天然記念物要覽	200
民治研究所	
縣政彙編	38
(ム)	
夢 飛	
支那經濟研究に對する研究	66
向井 軍	
經濟學史上のコブルニクス	225
向井梅次	
配給理論	116
向井隆松	
商業問題	58
統制經濟原理	72
日本商業政策	74
配給市場組織	115
向井濟二	
滿洲大豆及其製品	143
飯塚榮治郎	
會計法規通論	122
飯塚長藏	
財政學者の經濟經濟に關する研究論叢に就て	63
飯塚富男	
滿洲帝國特許發明法解説	162
發明と自由戀愛	220
棟尾松治	
新聞學概論	280

泉慶圭三	
統計學原理	301
村井貞清	
金融合作社讀本	100
村上計二期	
非常時對應轉業と轉職	75
村上武次郎	
特殊講	168
村上知行	
支那及び支那人	231
村上重藏	
滿蒙の礦産資源	203
村上正雄	
滿洲國官公署名鑑	45
村越信夫	
青牧農道沿線の水田	174
村越三千男	
稻物辭典	262
村田和也	
石炭と石油	156,164
村田熊三	
日滿關係の將來に處すべき對策	
管見	52
村田致郎	
北支に關する日支關係的約	48
蒙古と新疆	275
村田福次郎	
市町村事務提要	42
村田忠勝	
鮮滿動物通鑑	251
最近關島事情	269
村林專之助	
實用珠算講義	249
村松過太郎	
製造用術語集	187
村松早苗	
實用通信久精義	244
村山 茂	
製氣冷房	168
空伏高信	
大英帝國主義批判	231
ムウリイ	
東蒙古近代滿洲探考記	281
ムリナルスキー	
金問題と戰後に於ける金本位制	108
(メ)	

明 志 閣	
滿洲實業叢	125
明治政治史研究會	
憲法解釋資料	17
明治文化研究會	
幕末明治新聞全編	230
明治生命保險會社	
明治生命報告書	110
明文社	
滿洲國人名鑑	233
目崎憲司	
鐵鋼及石炭業に於ける企業組織	155
目戸繁榮	
最新實務電氣工學	168
(モ)	
孟 憲 成	
民衆教育	236
孟 森	
清朝前記	287
三大疑案考實	288
蒙 恩 明	
元代社會階級制度	200
蒙古事情研究會	
前清欽定標準說文與例釋註	20
蒙政部	
蒙政部法規類纂	3
通遼、伊胡塔、錢家店、甘旗卡、商工業狀況調查報告書	113
蒙政部管内主要都市及村鎮戶口統計	193
蒙政部調査課	
喇嘛廟及喇嘛數	340
蒙古地名ノ解説	255
蒙政部調査資料	277
蒙藏院	
蒙藏院召集蒙事會議々々事録	81
蒙政委員會	
蒙古會議彙編	31
毛 榮 鶴	
社會統計大綱	203
毛利會彦	
國庫の整理と運用の研究	227
最上敏孝	
統計學大綱	201
門司商工會議所	

門司港商要覽 179
 門司税關 門司税關管内貿易趨勢 120
 望月基金支那研究會 支那研究 231
 望月敏之 シュベートホフ長氣理論 80
 望月芳郎 日本人の舌輪乳頭及其味覚に關する研究 232
 持永龍夫 社會行政 205
 本村武盛 在滿日滿人名錄 293
 百々正雄 現代米穀讀本 279
 百々巳之助 ヒットラ—ス—エージェント 206
 森 數典 人口統計論 189
 一般統計論 201
 統計學概論 201
 統計學論 201
 勞務統計 213
 森 桂 帝國々防と滿蒙 263
 森 清 日本十進分類法 227
 森 光三 交流理論と過渡現象 168
 森 武夫 戰時技術經濟論 72
 戰時經濟論 74
 ブロック經濟地理 257
 森 爲三 滿洲國の動物 262
 森川太郎 貨幣の性質 107
 森島儀一郎 東京及其附近徴兵検査時に於ける検査成績に就て 222
 森田優三 日本の季節金融 98
 物價指數の理論と實際 統計概論 109
 統計概論 201
 森谷克巳 ソヴェート聯邦計數經濟史論 79

滿洲の朝鮮農業社會についての研究の爲に 204
 支那社會經濟史 205
 守田利雄 滿洲地誌及附圖 261
 森村 豊 英語熟語考 221
 森本清吾 袖珍數學公式要覽 249
 森山二郎 最近紡織原料論 163
 龍岡 春 碑と新國家 262
 門多榮男 新時代用品工業 157
 門田重雄 改正恩給法通解 47
 門馬常次 文法應用東文漢譯範 243
 文部省 法人一覽 207
 團體の本表 231
 教育映畫研究資料 237
 滿洲國體育聯合會要記 238
 文部省文書課 日本帝國文部省年報 231
 文教統計概要 232
 本邦教育の概況 231
 文部省體育課 全國學校體育總綱—關スル調査 236
 府縣別地方別公私立學校生徒兒童身體検査統計 236
 全國體育デー實施狀況調査 238
 本邦—於ケル體育運動團體—關スル調査 238
 文部省統計課 學生々徒兒童身體量狀況平均異年比較 236
 全國學校診療施設—關スル調査 236
 文部省普通學務局 全國公立中學校高等女學校經費—關スル調査 235
 師範學校—關スル調査 235
 全國高等女學校資料高等女學校—關スル調査 235
 全國公立私立中學校—關スル調査 235

兒童就業獎勵概況 235
 地方教育財政一覽 235
 地方學校職員待遇調査 235
 全國私立中學校高等女學校資料 高等女學校經費—關スル調査 236
 全國盲學校及聾啞學校—關スル調査 236
 兵役施行令第百號第三號ノ規定—依ル認定各種學校—關スル調査 236
 文部省推薦認定レコード目錄 237
 文部省推薦映畫目錄 237
 文部省實業學務局 實業學校一覽 232
 公立私立實業學校經費—關スル調査 236
 文部省社會教育局 全國農村娛樂狀況 140
 壯丁思想調査 206
 實業補習學校—關スル調査 234
 青年訓練—關スル調査 235
 實業補習學校調査資料 235
 青年訓練資料 235
 青年訓練所關係法規及通譯解説 235
 實業補習教育關係法規並實業補習教育概況 235
 成人教育母の講座勞務者教育實施概要 236
 映畫番組に關する調査 236
 壯丁教育調査概要 236
 教育的觀覽施設一覽 237
 圖書一覽 237
 男女青年團體—關スル調査 237
 文部省表彰男女青年團名簿 237
 興業映畫調査 217
 文部省專門學務局 高等諸學校—關スル法令 231
 高等諸學校一覽 232
 高等學校卒業者の大學入學に關する調査 233
 文部省在外研究員表 233
 高等學校高等科入學者選拔—關スル調査 236
 高等諸學校統計 236
 柳生俊久

帝國憲法制度の精神歐米各國學者政治家の評論	17	滿洲の新興工業	256, 261	匯河論	180
八木眞三郎		滿洲に於ける高粱酒釀造業	166	矢野龍助	
滿洲酒類誌	280	安藤松之助		支那語彙典	244
八木芳之助		支那側金融機關と東三省の財界	60	八幡製鐵所	
農事生産に於ける水平的分化と垂直的的分化	61	滿洲國ニ於ケル通貨ト金融ノ概要	69	八幡製鐵所概要	155
耕地管理組合に就て	63	滿洲幣制の現在及將來	108	鐵道に關する統計	155
農村産業組合の研究	137	滿洲參考物價統計	109	矢部眞一	
農村問題研究	138	滿洲物價調査	109	哈爾濱に於ける治外法權國民の課税問題	95
八木澤喜次		滿洲幣制の現在及將來	261	矢部 茂	
農村經濟政策論	142	谷津直秀		アラスカ北合衆國に於ける砂金採取法調査報告	165
柳沼得三		動物學辭典	261	矢部貞治	
芳香族アミンとフォルマリンとの縮合反應に就て	232	矢内原忠雄		政治學講義要旨	31
圓師寺健良		滿洲問題	60	山一證券株式會社	
農村社會學	138	人口問題	191	公債年鑑	91
矢島玄亮		前内 互		山内三吾	
支那佛道年譜	239	滿洲歷史地理	282	地川の瀾方	254
靖國神社臨時大祭委員會		蒙古史研究	288	滿洲の家屋建築	265
靖國神社臨時大祭記念寫眞帖	203	柳井義男		山尾時三	
八杉貞利		活動寫眞の保護と取締	206	手形法研究	21
露和辭典	245	柳澤統計研究所		山岡亮一	
保田眞重郎		華族動態調査統計表統計選集	189, 200	租税の農業に及ぼす影響	63
森 雅	278	柳田國男		山形縣	
安井眞二		地名の研究	255	山形縣米作統計	145
地方自治の研究	38	郷土生活の研究法	279	山形縣農業統計	148
地方制度講話	38	柳田重治		最近の山形現勢	274
公營事業論	78	軍事上の見地よりする滿洲國の治安維持	282	山形縣商工課	
安井誠一郎		矢野庄太郎		山形縣の觀光と物産	260
社會問題と社會事業	208	佛羅西インフレの全貌	101	山上金男	
安井眞顯		矢野省三		浙江財相論	68
レジュメーター理論經濟學ノ本質ト主要內容	69	滿洲國職業別商工者名簿	203	山川龍市	
安岡正篤		矢野仁一		神祇辭典	239
爲政三部書	35	近代支那の政治及文化	29	山權三郎	
安川雄之助		滿洲國の由來	291	牛胎疫ノ研究	148
訪暹經濟使節所感	63	滿洲國歷史	282	山口貞夫	
安澤喜一郎		滿洲國歷史	282	ブラッシュ人文地理學	257
官廳契約規定論	47	滿洲國歷史	282	山口慎一	
安田正實		滿洲國歷史	282	支那研究論稿	231
水の法律	17	滿洲國歷史	282	山口重次	
水利權	17	滿洲國歷史	282	滿洲帝國協和會指導要綱案	206
安田眞四郎		滿洲國歷史	282	山口高等商業學校	
株式相場ノ觀測法株式相場ノ選擧法	104	滿洲國歷史	282	山口高等商業學校改稱三十週年記念論文集	225
安村眞一		滿洲國歷史	282	山崎榮文郎	
		滿洲國歷史	282	貨幣學本	105
		滿洲國歷史	282	貨幣學話	106

貨幣問題概論	106	滿洲國法講座	251	國際經濟叢書	51
山崎謙典		山田茂之助		國誌叢	
滿洲國地名大辭典	251	金屬材料	166	菊武館年報	54
山崎清一郎		山名篤三		郵政總局	
最新産業地理	256	航空法論	181	保險編	110
山崎晴純		吾が委任統治地たる南洋群島と		滿洲國通信區郵便覽	183
外國爲替、爲替市場論	98	吾が國との法律關係	221	郵政高新辦理事務便覽	183
山崎紀男		山名重雄		郵政職員錄	183
新時代の經營幹部	225	アミノ酸の研究	223	幸 勉	
山崎又次郎		山梨縣		官話指南談論新編問題並解答	242
帝國憲法要論	17	山梨縣報告例	199	遊佐慶夫	
山崎宗直		山根 謙		民法學論叢書	19
經濟學通論	69	金融組合要覽	103	織出錦織布同業會	
山下久四郎		山根重三		過去十ヶ年間日英綿布輸出數量	
砂濤年鑑	105	支那歷代年表	297	比較表	121
山下義郎		山野健四郎		海外市場に於ける各國綿布輸入	
黑龍江及其支流ノ航運	180	蒸氣機壓鑄に關する研究	223	狀況	121
山田久太郎		山之内一朗		俞 劍 華	
滿蒙都邑全誌	204	ソヴェート法論	14	中國檢閱史	220
山田三良		ソヴェート國際法概論	23	俞 承 修	
國際私法	9, 10, 11, 23	山邊六郎		刑法總則釋義	13
山田準次郎		價格政策論	110	刑法分則釋義	13
衛生行政法	8	山室宗文		油本重吉	
山田正三		我國ノ金融市場	99	商業問題	58
日本民事訴訟法論	22	山本熊太郎		外國貿易政策	118
山田孝雄		日本地理統計總覽	256	懷麓堂堂錄兒	
祭政一致の古義	221	山本實彦		滿洲高粱ニ關スル調査	144
敬語法の研究	243	梁 古		滿洲包米ニ關スル調査	144
假名遣の歴史	244	支 那		弓場盛吉	
山田春雄		山本直文		北滿洲の燃料問題	162
國有財産法釋義	97	模範簿和大辭典	246	(ヨ)	
山田隆清		山本義雄乃		橋 渡 博	
訂正最小自乘法	249	滿洲移民の特異性と播種問題	62	經濟新聞讀本	61
山田弘之		移民政策ノ根本方針	282	支那經濟記事解説	67
中華民國民法對譯	18	張吉光長		得著中國金融論	100
察天省吉林省に於ける警察保衛		研究調査參考文獻總覽	227	中國交易所論	116
國鄉村制度	38	(一)		權 開 道	
東三省森林法規類纂	150	熊 子 駿		地約制度的研究	39
山田文雄		經濟學前史	70	雍 家 源	
工業經濟學	70	熊 紹 堃		中國政府會計論	123
工業政策	160	法學通論	15	楊 家 駱	
山田復之助		有光社		四庫大辭書	210
鐵山の開發と經營	155	新西成記	276	編 建	
山田好久		有恒社		自動車に關する統計	172
滿洲國皇帝を迎へ奉りて	28	明治大正昭和歴史資料全集	283	橋 浦 詞	
山田隆雄		熊 得 三			

中國法律發達史	15	式	223	吉田翁彦	
中國法律思想史	230	橫濱監獄小田原分監		中立地帶礦物調査報告	154
編 實		少年受刑者ノ處遇及統計彙報	211	吉田靜政	
察哈爾經濟調查錄	67	橫濱經濟研究所		現代社會の病的様相	221
編 國 運		アメリカ金融制度改革論	101	吉田慶之助	
漢代婚喪禮俗考	270	アメリカ貨幣政策批判	108	新稅務解	93
編 國 版		橫濱高等商業學校		吉田虎雄	
國幣沿革	236	商 學	114	支那財政經濟一斑	87
編 西 孟		橫濱正金銀行		支那貨幣研究	106
中國合會之研究	103	齊克、四洗、洗昂、鐵路沿線經		吉田 寛	
生活費指數論製法	209	濟事情	64	輕工業	59
上海工人生活程度的一個研究	209	スダシ經濟事情	60	ケーンズ金融理論概説	100
指數公式總論	219	イラク經濟事情	69	ケーンズ金融理論と管理通貨	100
編 大 金		パレスタインの近情、シリアの		吉田秀夫	
近代中國商業通誌	126	近情希臘及近東地方見聞雜錄	69	マルサス批判の發展	190
編 續 六		英領馬來ニ於ケル重要資源ノ調		吉田眞三	
六十五年來中國々際貿易統計	119	査	81	開成費の研究	133
編 哲 明		英白比那問題ノ歴史的背景	84	吉野作造	
世界交通狀況	170	米國加州銀行法	102	明治文化全書	223
編 天 鏡		米國聯邦準備法	102	吉村兼富	
知村自治	38	銀行實務ヨリ見タル英國手形解		工業藥品大辭典	157
編 杜 宇		説	104	吉村萬治	
導徒之根本問題	185	駁後の磅爲替安定史	104	最新燃料の知識	162
編 萬 因		輸出關係の Rags & Wastes に		芳野周雄	
糧食出口研究	122	就て	121	貿易爲替計算ノ常識	106
成本會計研究	123	天津ヲ中心トシタル支那及滿洲		余 紹 宗	
編 德 森		國羊毛ニ就テ	140	行政法規	35
中國海關制度沿革	96	橫濱商工會議所		余 正 東	
編 幼 朝		橫濱商工會議所年報	111	法律政治經濟大辭典	3
中國政黨史	220	橫濱預備		真地學社	
葉 季		橫濱港外國貿易概説	120	中華全國最新公路圖	174
歐季菁傳	202	貿易統計の話	121	米澤秀夫	
編 隆 種		橫濱港概説	179	支那農村經濟概論	142
契丹國誌	282	橫濱手形交換所		米田庄太郎	
橫井時敏		預備手形交換所報告	104	マルサスの説論原理	61
小農ニ關スル研究	136	橫濱貿易協會		現代社會學に於ける・パレト社會	
編 內 茂 芳		世界貿易年鑑	118	學の地位	63
戶籍事務提要	44	橫山雅男		現代人口問題	191
編 川 次 郎		統計學	200	米野豐實	
支那經濟史研究	71	統計學通論	201	日獨防共協定の意義	52
編 田 喜 三 郎		吉井喜實		米村正一	
國際判例研究	22	選舉制度	33	過渡期國際法	23
國際法	33	吉川兼光			
編 田 春 吉		全體主義の理論と實際	204		
資源支那大圖	81	吉川大二郎		編輯 輝	
編 地 伊 三 郎		身元保證法律論	10	北平稅捐考略	93
電球檢査用多面體光束計の新方		保全處分の研究	22	編 晶	

(7)

農業全書	136
羅五東	
中國黃金史	94
羅志國	
教育統計學綱要	234
羅志如	
統計表中之上海	44
羅廣賢	
濟南大觀	275
洛夫	
農業研究統計法	132
ラーリン	
現地の臨時經濟	75
ライツク	
支那土地利用地圖集	197
ラウエツケル	
產業合理化と社會政策	127
ラテイモア	
滿洲に於ける蒙古民族	207
(リ)	
劉一亭	
大方至監官錄	236
大方典禮	299
劉蔭博	
治縣對言	31
劉焜	
中國都市交通警察	37
劉鏡園	
支那經濟の分析とその要諦	66
劉殿萬	
最近太平洋問題	49
劉啓賢	
電報之秘訣	150
劉鴻瀾	
中華民國物權法論	10
劉光華	
中國土木行政	181
劉實	
蘇州國公文作法解説	45
劉鏡英	
民法繼承條義	13
劉心詮	
山東中興煤礦工人調査	160
奉天鐵路工人工資統計	176
劉煥東	
中國幣制改造問題與有限責任本位	

制	106
劉興	
市編詳誌	265
吉林新誌	269
劉大鈞	
外人在華投資統計	83
我國個農經濟狀況	135
支那工業論	157
劉大伯	
五十一世紀中國農代年表	287
劉大方	
中國鄉村合作之理論與實施	137
劉道元	
兩宋田賦制度	205
劉文海	
西行見聞記	276
劉夢雲	
支那經濟の性質問題に關する研究	66
劉嗣生	
中國黨文史	220
劉冕執	
中國幣政及生計問題	108
柳蘊治	
最新地租法要義	186
柳克	
新土耳其	291
鹽化鹽公署	
一般狀況	41
龍江稅務監督署	
稅務統計年報	93
李延楨	
察哈爾經濟調查錄	67
李介如	
山東財政法規彙編	84
李五汶	
漢英新辭典	215
李景漢	
農村家庭之研究	140
北平郊外之鄉村家庭	141
實地社會調查方法	203
定縣社會概況調查	203
李景明	
修改稅則始末記	93
李儼	
中國算學史	220
李權時	

國地財政劃分問題	87
財政學原理	87
中國稅論	93
貨幣價值論	107
李思綸	
元史學	280
李子丹	
吉林礦地開發	270
李之屏	
土地法釋義	13
李鶴周	
中國農村經濟實況	142
李樹恩	
賓州行政警	44
李平文	
民法債編分別釋義	13
李如滿	
地政學綱	188
李書田	
中國水利問題	185
李心炎	
世界偉人言行錄	202
李清源	
朝鮮社會史讀本	205
李濟照	
朝鮮讀本	273
李積新	
鹽鹼學	134
李慕英	
方志學	257
李仲剛	
現代華語讀本	243
李致遠	
勞務統計	213
李長傳	
中國國民史	191, 220
李寶輝	
双解實用英漢辭典	246
李夢夢	
中國古代政治哲學批判	31
李秉權	
中國羊毛之品質	149
李柄衡	
詞典	244
李明遠	
哈爾濱特別市道外商會會刊	113

李 陵		陸 慶 博		臨時憲情調査會	
河北省定縣之田賦	94	世界糧食問題	194	臨時憲情調査報告	15
河北省定縣之田房契稅	94	陸 恩 成		臨時憲情調査會	
李 偉 人		曲阜孔廟建築及其修葺計畫	183	滿國行政法	98
中國社會發展史	204	陸 仁 輔		經濟資料報告	65
李 麗 洲		法院組織法	13	臨時憲理土地調查局	
南京黨政府の稅政	29	陸 漱 漢		臺灣憲法制度研究	15
罹災者救濟研究會		中國民族自救運動之最後實情	207	滿洲一版	93
關西大水禍罹災者救濟研究會		陸 純 豐		臨時地方制度調査	
誌	210	松花江下游的總開發	207	滿の沿革に就て	36
陸軍省		陸 嘉 濟		臨時憲法調査局	
陸軍省統計年報	55	數學參考	247	租稅公譯稿	93
徵兵制六十年に當り徵兵制の		陸 文 淵		呼蘭縣城鎮商會事情	116
沿革を述べ將來に及ぶ	55	中國醫業最近狀況	152	特許取引事情	116
蒙古語大辭典	245	真書普及會		安徽省に於ける商會	116
陸 丹 林		自治研究全集	95	小麥粉に關する調査報告書	117
市政全書	41	市町村制度研究會	39	海產物に關する調査報告書	117
道路全書	171	地方制度研究	99	烟草に關する調査報告書	117
陸 治		新憲法對照給法並關係法規	47	農家負債並に貸借關係	135
河清海夫	259	並順工科大學		農家經濟收支	136
陸 瑛		龍江省五大通池火山地形及地質		農村官廳調査	140
中國土地制度研究	188	圖	251	農村官廳調査報告書	141
立法院		龍江省五大通池火山地質調査報		農村官廳調査一般報告書	141.143
治審紀	44	告	251	農家の負債並に貸借關係	143
立法院年鑑	45	林 其 鏗		熱河に於ける蠶桑の耕種概要	146
立法院秘書處		地質礦物學大辭典	250	耕種概要	147
資料彙報	299	林 惠 海		莊河縣に於ける作務事情	148
遼寧省政府		人口理論(研究と方法)	190	滿洲國家高利貸戶數並に語數	149
遼寧省工廠暫行規則	21	林 惠 鈺		松花江漁業調査報告	151
公司登記規則	21	中國民族史	220	海外職務調査報告	154
政府委員會議事錄	41	臺灣原住民族之原始文化	226	滿洲國工場統計	161
商業註冊暫行規則	111	林 元 龍		滿洲國主要工場統計	161
遼寧省財政廳		統計實務概要	197	土地改良地區調査會	187
遼寧省財政統計年報	85	林 光 復		資料目錄	229
遼寧省實業廳		中國度量衡	190	浙江省徽山及虎林地方土壤調査	
遼寧省商業公司法施行附則	21	林 錫 河		告	251
官製蠶絲製法取締規則	148	蘇占工人調査	214	土壤學各論並に土性	251
遼寧省鹽務廳		林 梓		各種資料ヨリ摘錄セル滿洲土壤	
遼寧省鹽務暫行農村規則	129	農村經濟研究	142	ノ該性質ニ就テ	251
遼東兵站監督府		林 啓 輔		リーサー	
滿洲更置	204	支那上代之研究	287	國家財政の發端と作戦	89
遼寧廳公署		林 傳 甲		リスト	
行政年報	39	大中華吉林省地理誌	209	國民經濟學總系	70
遼中廳公署		林 恩 輔		國家經濟學	70
統計彙刊	40	債權法	13		
蕭 鉅 文		龍江廳公署			
中央銀行制度概論	102	一般狀況	41		

(L)

李鳳麟
 俄人東侵史 63
 李照堂
 中國國民黨政策 30
 歷史研究會
 滿洲史研究 252
 レウイゾン
 新しき産業指導精神 127
 レーマー
 列強の對支投資 83

(口)

船山政道
 政治及政治史研究 33
 國際政治と國際行政 33
 國家學論叢 33
 行政學取論 35
 地方行政論 38
 日滿關係の研究 61
 現代社會思想講話 206

西原啓
 中國民食史 194
 勞働事情調査所
 官業勞務組織總覽 219
 勞働法規研究會
 勞働關係法場 212

老邊春
 刑法釋義 20
 大刑院、最高法院、解任官廳
 司法解釋叢刊 25

醫學羅
 中國民族海外發展狀況 195

陸 誠
 中國都市工業化程度之統計分析 157
 中國新工業發展史大綱 188

露田大藏省
 獨逸行商人制度の研究と獨逸貿易の展開に與せる朝野の結構論 116
 滿洲通誌 201

露西亞通信社
 サグエート現勢資料 30

露西亞問題研究所
 ソグエート五ヶ年計畫草案 30
 ソグエート五ヶ年計畫の總結果 30
 第二次五ヶ年計畫全貌 30
 露西亞帝國滿洲侵略史 51

列強對滿工作史 51
 日本の技術的經濟的基礎 81
 舞 剛 香
 東北視察記 27
 盧 紹 嬰
 鄉村教育概論 233
 ロウアン
 スバイ漢語讀本 54
 ローレンス
 成本會計 122
 ロマノフ
 露西亞帝國滿洲侵略史 51

(ワ)

若井三子雄
 月日飛行の理論と實際 181
 航空發明 181
 若本 謙
 タレルウキアに就て 62
 ルーイス屬領統治論 196

我妻 榮
 岩波法律學小辭典 3
 民法總則 4.19
 債權法 11
 信託法講義案 19
 總論法附論法講義案 19
 擔保物權法 19

我妻東藏
 農村産業機構史 139

和歌山縣
 和歌山縣統計書 200
 和歌山高等商業學校
 米の調査 144
 紀州南田 147
 和歌山高等商業學校一覽 232

早稻田大學
 日本法令年表 2
 早稻田商學同好會
 最近アメリカ經濟の研究 63

和田 一 郎
 朝鮮土地制度要論 187
 和田幸一
 夫婦財產法の批判 19
 和田 篤 憲
 スバイ漢語讀本 64
 和田 信 夫

明日の滿洲經濟 262
 和田政一
 伯爵制と貨幣史の概観 107
 渡邊 一 郎
 經濟學說の史的研究 69
 渡邊 禮 治 郎
 明治天皇と立憲政治 32
 渡邊 安 八
 豫北統計論 147
 渡邊 實
 地質現象の新解析法 251
 渡邊 昌 太郎
 日本經濟學論 166
 渡邊 謙
 世界經濟新體系論 83
 渡邊 精 吉 郎
 日本と北滿の新交通路 170
 渡邊 宗 太郎
 日本行政法 35
 地方自治の本質 38
 渡邊 實 二
 貸借對照表の作成と吟味 122
 渡邊 久 夫
 外務工事 168
 渡邊 勇 基
 支那哲學史概論 240
 渡邊 辨 二
 朝鮮の全體と重要遺物 153
 渡邊 篤 次 郎
 金融學本 155
 地圖と地形 258
 渡邊 萬 葉
 コンサイス法律辭典 3
 法律辭典 3
 渡邊 記 之 次 郎
 回教民族の活動と亞細亞の將來 207
 純實 勇 彦
 聚落形態論 206
 聚落地理學 256
 純實 會 次
 關稅及役務 96
 和 士 留 邦
 風 土 224
 ワーゲマン
 世界經濟機構と景氣變動 82
 ワルラス
 純粹經濟學要論 69

康德6年10月15日印刷
康德6年10月21日發行

滿洲帝國國務院文庫

印刷者 營繕需品局

印刷所 營繕需品局印刷科



滿洲地質學物語

理學博士
遠藤隆次著
段寶堃譯

東方國民文庫第十三編



庫文民國方東

理學博士
遠藤隆次著
段寶堃譯

滿洲地質學物語



緒言

地學物語一書、乃以簡明方法、將滿洲國內所知之地質學的現象、由古代述起、順序的及於現代。但地質學本一極其難解且於一般人士、比較缺乏興味的學問、故此書內容、因爲上種關係、由專門家看來、難免覺有勉強個所。反之由一般人看來、也許有難以理解的地方。

但是、將地質學這種專門學問、極其通俗的說明一事、比較的是一種困難工作。如記述過於平易、則易惹有學問者之鑿蹙、如只依專門的見地而記述之、則一般人、難以接近、愈起敬遠之感。著者、務避以上兩種極端、取中庸辦法、小心翼翼、成此一書。如海內人士、因此書而能增地質學興趣、或對滿洲地質學能深其理解、則爲幸甚。

第一章之地殼與第二章之地質學的區分法兩項、對於會稍習地質學之讀者、雖屬無用、但一般讀者、務請一讀。

第三章以下、乃記述於滿洲發達之各地質學時代之岩層、化石、鑛床等、一

般讀者、固不待論、即在專門家方面亦可稍爲參考。惟於鑛床章內、關於鑛量、未能盡其微細、只止於大體之記述、尙希讀者之寬宥。

附圖中之地質年表、乃將本書內容、簡明表示。讀者可按此表、得理解地質學各時代之新舊、生物之構造及其進化發達之狀態、並可知滿洲各地鑛山之時代等。

讀者如於讀畢本書、更欲就實物、再爲深知者、可參觀滿洲國立中央博物館。此館現在奉天、本年末即可移至新京開設。本館將滿洲地質學的標本、或以實物、或以寫真、或以模型等、一一附有懇切丁寧之說明、而陳列之、俾一般人士、得深其理解、而於本書亦可借以窺悉其內容。

康德六年三月

誌於滿洲國立中央博物館

著

者

目次

第一章	地殼	一
第二章	地質學的時代區分法	五
第三章	始生代及原生代	一〇
第四章	寒武利亞紀	一七
第五章	奧陶紀	三二
第六章	戈蘭紀及泥盆紀	三六
第七章	二疊紀及石炭紀	四〇
第八章	三疊紀及侏羅紀	五六
第九章	白堊紀	七〇

附圖	第一〇章	第三紀	七
	第一章	第四紀	六



第一章 地 殼

關於地球之內部構造、因學者而異其說、甲派學者則謂地球之中心、因高熱存在故、所有物體均被熔融。乙派學者則謂地球內容、或因高熱、各物體成熔融狀態、但主張因外部高壓之關係、熔融物膠結而成固體。惟不論其爲甲乙學派、對於地球之比較外部、見解均屬一致。卽如吾人所見、地球外部乃由岩層構成之地殼所成、其厚約有六〇千米。

所謂地殼者、吾人如欲理解其構造、第一須想像地球生成時之狀態。

地球如何出現於宇宙之一角的問題、天文學者、各異其說。但所有天文學者均認爲地球生成之初、有若今日之太陽、光輝而有高熱、爲熔融所有物質之恆星。

地球在維持其高熱期間、其外部固無地殼之薄皮。但此白熱之恒星、隨其放散其熱於大氣中、而漸次冷却。最初在外部生成薄皮（如今日之火山活動後、於熔岩外方所見之薄皮）此即為地殼之最初期者。此種初期地殼、隨地球之漸次冷却、一方面稍加其厚、一方面因地球之縮小容積、而於地表生出皺褶、故地殼之厚度因處而異、生出比較強的部分及弱的部分。此時、地球內部之熔融物、突破其比較弱的部分、而噴出於外部、於地殼構成之初期、地球表面之所有地方、均現出大火山之作用。至其地表之皺褶、即連續的高低、為今日褶曲山脈之源。

因火山活動及褶曲作用、地表生出高低、充滿空中之水蒸汽化為大雨而降下、水流處、有均平地殼凸凹之作用、即起侵蝕作用、高處之岩層、因風化作用及流水作用、變形為大塊、砂礫、砂、粘土等、漸次向低處、即今日之湖底或想

像爲初期海底部分運搬之而堆積之、而成爲地球上最初之水成岩層。

今日吾人所見之水成岩、卽爲地殼初生時由十六億年前及於今日、流水作用不絕於地球、堆積湖底海底之砂、粘土、砂礫等、被次第運來之物質所壓縮而硬結、變化爲砂岩、粘板岩、礫岩等。如斯生成之岩石、次第增加其厚度、而構成今日之六〇籽之地殼。

在此十六億年間、所堆積之地殼、其舊時代之岩層並不限存於下方、而新時代之岩層、亦不限居於上位。於地殼構成歷史中、有斷層、衝上作用、火山作用、地震作用、逆轉作用等等、攪亂岩層之層序、故舊時代之地層有時在新時代地層之上位、或地層之順序、全部逆轉等、亦非稀奇。

一般讀者、或以爲費時十六億年間、厚達六十籽之岩層、地質學者一瞥卽斷定「此爲舊時代之生成者、彼爲新時代之生成者」一事、爲不可能、但大自然

造物有因、在水成岩中埋沒之化石、乃當時生物之遺骸、吾人如研究化石、則
斷定地層之新舊、亦非困難問題。茲於第二章說明其方法。

四

第二章 地質學的時代區分法

關於生物之如何出現於地球、於何時出現於地球一層、實是一個大問題中之大問題。此種生命起源問題、自應歸生物學者之探索、但生物遺骸變成化石、保存於地層中、其最古之岩層、大約在四億年前所堆積者、卽是寒武利亞紀時代之地層、乃地質學上之所可考察者。

生物由一種而進於多種、由下等而發展於高等、若此種發展進步問題、今日已成爲一般之常識。各地層中之生物化石、其在下部較舊時代地層中者、與在上部較新時代者、不但其種類、有非常之差異、卽其構造之粗密、進化之程度、亦有顯然不同之處。

茲假定有一連絡地層、其連絡由最古地層而及於最新地層、均可目睹。在此各地層中、因其新舊程度、其所保有之化石、各有特徵。即地殼初生之時、地球上毫無生物、故在最古時代之地層中、未曾發見化石、但約想於四億年前構成之地層中、發見多種多樣之三葉蟲之化石、想此時代爲三葉蟲獨尊時代。

其後、約越二億年、碳酸瓦斯充滿空中、惹起植物之繁殖、當時鱗木、封印木、輪木、痕木等今日之羊齒植物、或羊齒狀種子植物之蒼殷森林、生於世界之各地、而成爲今日所見本溪湖、煙台、復州灣等各煤田之源。

其後、距現代約六千萬年以至七千萬年前、爲今日之蛇、蜥蜴等之祖先出現其怪物巨形於世之時代。當時之空中陸上以及水中、到處均任奇怪之怪物之爬行。今日曾發現此時代雙龍之一種之完全的化石、由頭部至尾部、長有壹百五十二英尺。現在在美國必斯巴之克內基博物館及華盛頓之國立博物館保存之。

距今約百萬年前、乃哺乳類全盛時代、現代之象鹿犀等之祖先、充滿其巨體於世。在此時代、人類之祖先遺型、已竟出現、與當時極盛之哺乳類、作激烈之生存競爭。當時人類之力量智識均爲不足、未能征服其他動物而形成人類極盛時代。

以上僅就地殼年代之新舊、略述其所含化石之差別。但自生成以來、需年日十六億年、構厚六〇釐的地殼所包含之化石、實乃千差萬別、興趣津津。吾人地質學者、研究各地層之化石、識別其相似異同、以斷定地層生成之新舊、而順次排列其地層。

但地殼自生成以來、已愈時十六億年、對於時代年齡之斷定、難期正確、決非與歷史年表、所可同日而語。地質學者依據化石而區分地層之新舊、當表示其年代時、其最發達之地層即可視爲一單位。或於最初所研究之地層群、將其

地方之名稱、或居住民族之名稱附加之、而由舊時代及於新時代的順次排列。
姑列於次。

I 始 生 代

II 原 生 代

III 古 生 代

1. 寒武利亞紀
2. 奧陶紀
3. 戈蘭紀、或志留紀
4. 泥盆紀
5. 石炭紀
6. 二疊紀

IV 中生代

1. 三疊紀

2. 侏羅紀

3. 白堊紀

V 新生代

1. 第三紀

2. 第四紀

至於、對滿洲之地質學的現象、茲以別表、另行編成地球之進化年表。筆者以下即逐章說明、滿洲國各紀岩層中所含之岩石、化石及有用礦物。



第三章 始生代及原生代

在此兩時代中、現在尙未發見全世界地質學者所可共認之化石或生物之完全遺骸。但自次代之寒武利亞紀時代、三葉蟲之完全體制之化石、發見極爲豐富。由此可知、在此兩個時代、難以斷定其全無生物之生存、當有始原生物、至爲簡單者若干生存、不過其構造極爲簡單、缺乏甲殼、骨骼、不適於變爲化石、以至於毫無發見。

在滿洲國內、始生代之岩石有無分布、現在尙不明瞭。但自朝鮮或華北之地質推論時、構成大興安嶺脊梁之花崗片麻岩或花崗岩中、似有本時代之岩層發達。

至於原生代之地層、在滿洲國內發達極廣。若遼東之脊梁山脈、完達山脈、小興安嶺中所露出之花崗片麻岩及花崗岩等、純屬原生代。其他若旅順周圍之山岳、大連之南山、金州附近之大和尚山、遼陽附近之首山、橘山、安奉線之釣魚台、平頂山之珪岩、以及金州南山、得利寺之山陵、安奉線宮原隧道附近、橋頭之神社山及熱河省內各地所分布之珪岩、均屬本時代。

此種珪岩、在水成岩中最爲堅硬、硬度爲七度、故能耐風化。所有珪岩露出之處、常成爲奇石怪岩。所謂滿洲耶馬溪之安奉線釣魚台、乃珪岩層抗水蝕而成之風景、再於宮原附近、有名之平頂山、珪岩發達於山頂、其下部之花崗岩質片麻岩、受其保護而免風化削磨者。

更有可注意者、本時代之珪岩表面上、常有波痕存在。卽往時珪岩、堆積於極淺之海底、當時印於其表面之波形、保存其原形至現代、筆者稱此爲「波浪

化石」。雖化石乃指生物之遺骸而稱，但保存於地中之雨痕、乾裂痕、鹽之結晶、亦稱其爲化石，以便一般讀者之理解。旅順、大連、釣魚台等珪岩上之「波浪化石」與現在海岸乾潮時之波痕，爲同一現象，不過永久的保存於珪岩中而已。

原生代之發達於滿洲國者，在以上之外，尙有金州大和尚山之北西麓、鞍山、廟兒溝等鐵山、吉林有伊通縣大黑山山脈之石灰岩、雲母片岩、千枚岩、綠泥片岩、金州、三十里堡附近之卷渦狀石灰岩、周水子附近之白雲石、大石橋附近之苦土石、橋頭附近之硯石，以及熱河省南西部、興安北省滿洲里附近之石灰岩等均是。

在原生代中，由世界任何地方，雖未發見萬人共認可以斷爲生物祖先之化石，但在滿洲國內，現曾發見二種似爲化石之物。

一爲滿洲費克斯。此乃綠藻類之祖先型，發見於安奉線橋頭神社山之珪岩

中、外觀一見如乾燥裂罅、但如仔細觀察、其分歧點、漸形細滅、與乾燥裂罅異而與海松類之形態相近似。再製成薄片、用顯微鏡檢查時、可見絲狀之組織、縱橫存在。此植物化石、其組織至為明瞭、筆者信為世界最古之化石。但亦有唱導異論、謂滿洲費克斯不過一類似乾裂者而已者。

一為克列尼亞。世稱為卷渦狀石灰岩、似為石灰藻之化石。金州或二十里台均有產出、若大連滿鐵埠頭事務所、大和旅館及各地之大建築物廊下腰板等卷渦石灰岩均是。關於其卷渦之生成、學者間多有議論、筆者信為一種石灰藻克列尼亞之集團殼。但其他學者、亦有主張為類似圍球物體、無機的集積而成者。但無論其究竟如何、由滿洲原生代地層內、發見二種類似生物之始源的化石、乃一極有興趣之現象。

次述滿洲國原生時代中所胚胎之有用礦物。原生代地層為滿洲國有用礦物賦

存之母體、山金、鐵、硫化鐵、銅及其他種種均有產出。

山金。金山散在於國內各處、其中有名者、爲吉林省夾皮溝、奉天省香爐碗子、大金廠、熱河省撰山子、霍家地、鷄冠山子、灤平營子等。此種山金鑛床、其全部幾均賦存於原生代花崗岩質片麻岩、花崗岩、或片岩中之石英脈中、將來治安維持設備進步、產金量當愈能增加。

夾皮溝金山。屬吉林省樺甸縣、距吉林三二〇杆、鑛石乃係與角閃片麻岩之片理並行或交叉之裂隙充填含金石英脈、其延長二、七〇〇米突。本鑛在往年會盛極一時、現在水準上部之富鑛、概已探盡。但在水準以下、推定尙有相當富鑛存在、今後如能完備排水作業、應用系統的採鑛法、尙可採取相當之金。

香爐碗子。屬奉天省海龍縣、位於北山城子南東二十四杆、地質由片麻岩及石英斑岩所構成、鑛床爲充填石英斑岩裂隙之鑛脈、寬〇·六一—三米。乃

將來有望之金山。

大金廠金山。屬奉天省清源縣，位於奉吉線清源驛北北西三〇籽之地點，附近地質以片麻岩爲主，花崗片麻岩、閃綠岩、花崗斑岩及石英斑岩等次之。金鑛派有二種，一爲充填於片麻岩或花崗片麻岩之裂罅之鑛床，一爲花崗片麻岩與噴出岩之接觸面所生之鑛染鑛床，鑛脈寬約〇·三至五·〇〇米者有六，本鑛山之金鑛成分極佳，爲將來深堪注目者。

撰山子（轉山子）金山。屬熱河省建平縣，距縣城東北八〇籽，地質由石英岩及粘板岩所構成，花崗岩、閃綠岩貫之。鑛床乃爲胚胎於石灰岩與花崗岩或閃綠岩之接觸面，或完全胚胎於石灰岩或花崗岩中之石英脈中，其脈數大小合計約十條，延長四五·〇〇—六五·〇〇米。

霍家地金山。亦在建平縣，位於縣城北西六〇籽。地質由花崗片麻岩、結晶

片岩、閃綠岩及黃土所構成。鑛石爲花崗片麻岩及結晶片岩中所含之含金石英脈。其數約三十條、延長之小者約三〇—四〇米、大者約二五〇—三〇〇米、寬〇·六米—一·〇〇米、鑛石之含金率可稱良好。

鷄冠山金山。本金山在熱河省寧城縣、在赤峰南四〇料。地質由花崗片麻岩所成。鑛石乃胚胎於與片麻岩片理並行之石英脈中、凡三條、寬均在〇·一五米內外。

灤平營子金山。在熱河省豐寧縣、距縣城一三料、位於通往多倫諾爾之大道上。地質由片麻岩構成、鑛床爲充填其裂隙之石英脈。有二條、其一、延長之約四〇〇米、寬〇·三—一·三米。其二寬〇·二米。兩脈均伴生方鉛鑛、含金率甚良。

鐵。滿洲國內之有名鐵山、如鞍山附近諸鑛山、弓長嶺、廟兒溝、歪頭山及近來宣傳於世之東邊道大栗子溝、七道溝及老嶺等、皆爲賦存於原生代地層中

者。以上諸鑛山之埋藏量、極屬偉大、其五〇%以上之富鑛、鞍山已埋藏一三〇萬噸、廟兒溝三〇〇萬噸、弓長嶺二〇〇〇萬噸、大栗子溝二八〇〇萬噸、七道溝一二五萬噸、如將三〇%內外之貧鑛亦算入時、實爲莫大之鑛量。

滿洲各地之原生代鐵鑛中、其貧鑛、一見有若一種水成岩、赤鐵鑛、磁鐵鑛等與硅石片岩、形成互層、成爲所謂赤鐵磁鐵石英片岩、是乃由鐵黴菌之所生成者、其富鑛部乃爲此等貧鑛二次的受火成岩之接觸而純化者。

鞍山附近鐵山。以鞍山市爲中心、其周圍八籽——一六籽距離中、點點散在。由市之北東至東方、有櫻桃園、王家堡子、白家堡子、一擔山、新開門山及開門山。市之南東、有大孤山。千山站之南方滿鐵線兩側有東西兩鞍山。再湯崗子溫泉東西兩面則有小嶺子及鐵石山。現在昭和製鋼所、主要採取之原石、乃取自大孤山及次述之弓長嶺。鑛床下盤有花崗岩及片麻岩質花崗岩、上盤有珪

岩存在、鐵鑛床之自身、則由赤鐵石英片岩及赤鐵磁鐵石英片岩所構成、伴隨千枚岩及綠泥片岩。以上全鑛區內、其山麓中在水準以上之鑛石、已達七億噸。

弓長嶺鐵山。本鑛山屬奉天省遼陽縣、在遼陽市南東東約四八杼。鑛區分茨兒溝、楊木溝、後台溝、達石溝、大栢及大陽等。鑛床位於花崗岩接觸部之附近、以石英絹雲母片岩爲其上盤、綠泥片岩爲其下盤、而胚胎於磁鐵石英片岩中。富鑛部存於上盤附近、楊木溝以西多磁鐵鑛、茨兒溝附近之露頭部則多赤鐵鑛。但自全體看來、亦與鞍山、廟兒溝相同、均爲縞狀鐵鑛。其含鐵成分、貧鑛四〇%、富鑛六〇—七五%、埋藏量前者爲三億五千萬噸、後者爲二千萬噸。

廟兒溝鐵山。屬奉天省本溪縣、位於安奉線南坎站之北東、由該站敷設八杼之輕便鐵道以達山麓。其地質時代、大致與前二者同。下盤爲花崗片麻岩、上

盤爲硅岩。鑛床則在綠泥片岩或白雲母片麻岩中，在赤鐵磁鐵石英片岩之貧鑛中有主由磁鐵鑛所成之富鑛帶三處。溪谷水準面以上之埋藏量、貧鑛二億噸、富鑛之剩餘尙存二四〇萬噸。本溪湖煤鐵公司、利用本山鑛石而製鐵。

歪頭山鐵山。屬奉天省本溪縣、在安奉線歪頭山站之西北方附近。鑛床爲變質層狀、介在於片麻岩、斜長角閃石、陽起石、柘榴黑雲母片岩間。與前三者同一狀態、想最初爲水中堆積之鑛層、其後受變質作用而成者。鑛石爲磁鐵石英片岩、共含鐵成分爲三〇—四五%之貧鑛。鑛量相當豐富、約有五千萬噸、但富鑛部分殆無存在。

大栗子溝鐵山。屬通化省臨江縣、在縣城南西一二料。地質爲千枚岩、千枚岩質粘板岩、結晶質石灰岩及赤鐵鑛之累層所成。鑛床可分爲四種、(一)千枚岩層中之層狀赤鐵鑛床、(二)於千枚岩與石灰岩之境界面附近、不規則賦存之

鑛囊、(三)在千枚岩層、下部角礫岩或硅質砂岩中、鐵分交代沈積之交代鑛床、(四)於地域北方之花崗岩與千枚岩接觸面附近、生成之鑛脉。以上四種鑛床中之富鑛、聞達二千八百萬噸。

七道溝鐵山。屬通化省通化縣、位於縣城南東四〇料之地點。地質主要為結晶質石灰岩之薄層、挾介鐵鑛之粘板岩層、侏羅紀砂岩礫岩之累層、及貫入累層中之岩脈類所構成。鐵鑛床為交代鑛床、以層狀胚胎於粘板岩中。鑛層有二、鑛石殆均為赤鐵鑛、鑛量於水準面以上、其富鑛至少亦達一二五萬噸。

在滿洲國原生代地層中之鑛物、次於鐵之重要鑛物、厥為菱苦土鑛。

菱苦土鑛鑛床。由南滿線大石橋東方約五料之官馬山為起點、一向北北東約延長三五料、他向西南達於蓋平之南轉山子。轉山子、牛心山、(大石橋、蓋平兩站中間鐵道東側)白虎山、官馬山、朱家堡子及大嶺等為其主要產地。其埋

藏量至爲豐富、以二億噸稱。其成分之純、規模之大、爲世界冠。菱苦土礦、製成耐火磚而用於電氣爐製鐵爐等、更供製造陶磁器、玻璃、金屬鎂及硫酸鎂等。

白雲岩。此礦亦南滿一帶原生代地層中所含之有用礦物。周水子附近及大石橋附近、均甚爲豐富。白雲岩供建築用、水中築造用、橋梁架設用、鹽基性製鋼爐之內壁築造用及彫塑材料用。

滑石。主要產於大石橋及海城附近。該地域內之產地、在三十處以上。其中之規模宏大者則推大嶺、聖水寺、窰子峪、朱家堡、麻耳峪等。滑石供洋紙製造、白色顏料、耐火鉛油等製造。再加添加於白粉、石鹼、牙粉、外用藥等更可用之以爲滑劑、研磨劑、脫脂劑、防火劑及彫刻、陳列物、印材、石筆等。

原生代內所生之銀、鉛及鋅產地以青城子鉛礦、櫃子哈達銀礦、及雞爪溝銀

鑛等最爲有名。

青城子鉛山。屬安東省鳳城縣、在安奉線通遠堡站西南方四十五籽。鑛石爲含銀方鉛鑛、稍含硫化鐵鑛及微量之閃鋅鑛。鑛量爲三十萬六千噸。在青城子附近一帶、尙有頭道溝、三道溝、榛子溝、店南溝及蘆家南溝等銀鉛鑛山分布之。

櫃子哈達銀山。屬奉天省興京縣、在奉吉線南雜木站南方直距二五籽。鑛石主要爲輝銀鑛、其鑛量約六萬噸、在滿洲可稱爲雄大銀鑛之一。

雞爪溝銀鉛鑛山。屬熱河省灤平縣、約在同縣城之西西北直距三〇籽之地點。鑛石以輝銀鑛爲主、時伴孔雀石而生。鑛量約一千噸。

原生代之硫化鐵鑛山、有林家台及楊木溝兩處。

林家台硫化鐵鑛山。屬安東省鳳城縣、在安奉線林家台站西方一·七籽之小王

家大溝。鑛石以黃鐵鑛爲主、中雜磁硫鐵鑛、其可採鑛量有四萬一千噸。

楊木溝硫化鐵鑛山。在安東省鳳城縣、距草河口站東方約二〇浬、位於賽馬集街道之近傍。推定粗鑛量約八千六百噸。

原生代之銅鑛、有盤嶺及天寶山。

盤嶺銅山。位於本溪鳳城兩縣境界、距草河口站北東方約二五浬。鑛石以純良之黃銅鑛爲主、時雜斑銅鑛、其推定粗鑛約二萬七千噸。

天寶山銅山。在間島省延吉縣、京圖線老頭溝站西西北約一六浬之地點。鑛石由黃銅鑛、方鉛鑛、閃鋅鑛等所成、鑛量約一萬五千噸。爲滿洲銅山中之最堪注目者。

石棉。在原生代中、其產地之可大書特記者、惟有關東州金州站東方一二浬地點之和尙屯。此處所產石棉、其纖維之長爲一—四浬、有絹糸狀光澤、質甚

佳。鑛量爲二萬二千六百噸。

此外之石綿產地之堪注目者尙有寬甸縣大白菜地、石灰窰子、錦州省朝陽縣平頂山附近、熱河省青龍縣柳樹行等處。

石綿爲電氣及熱之不良導體、盡人皆知。故塗於電車及發電所之天井以爲絕緣體、塗於汽鍋及蒸氣管以防熱之放散、製成耐火鉛油塗於房屋之牆壁、天井以供防火、再織成火浣布而爲防火服、防火壁之用。

螢石。螢石於製鐵事業、及鋁之製鍊上、極爲必要。我滿洲原生代內之螢石產地有關東州普蘭店南東一二籽之上隋家屯、連京線盧家屯東方一〇籽之沙崗台、李家溝、破台子、瓦房峪、奉天省海城縣瓦子溝、興安北省阿爾山附近、多拉強克附近、熱河省圍場縣大字台十五地之空窿山等。但其鑛量均有不豐之憾。

以上之外、產自原生代地層中之尙可利用者、有岫巖石、硯石、硅石、石灰

石等。

岫巖石(軟玉)。產於安東省岫巖縣玉石溝一帶、色有淡紅、綠、淡黃、黃、黑等種種不同。依其彩色而製器物、玩物、裝飾物、腰板等。

硅石。原生代地層中之硅石、可隨處採取、因運費關係上、只採取鐵道沿線、海岸露出之良質部分、以供製耐火磚、及硅質磚之原料。片麻岩中所含之石英脈亦硅石之一種、無水硅酸之含有量極多、幾爲純品。用之以製削切玻璃及硬質陶器頗爲良好、至於鐵道沿線之硅岩層、以之爲碎石用、採取甚殷。

硯石。安奉線橋頭附近產赤紫色以及青灰色灰質頁岩、且分布甚廣、用之以爲硯石或煙盒、名牌之材料。其製成硯石者、雖屬美觀、但因其質硬關係、墨之附着難稱良好。

洋灰材料。關東州內分布甚廣之原生代石灰岩層中、介在有極少苦土部分、

適於製造洋灰。周水子小野田洋灰株式會社、利用此種豐富之原料、盛製洋灰。
裝飾用建築材。渦卷石灰岩、重用於裝飾建築、並可製棹、煙盒及其他器
物。

第四章 寒武利亞紀

在滿洲國內、寒武利亞紀層發達於奉天至圍場間連結線以南地方、此線以北、尙未聞有本紀層之發達。

本紀地層、主由紅紫色以及黃褐色頁岩、層狀石灰岩及板狀石灰岩所構成。含有腕足類、腹足類、三葉蟲類等多種多樣之化石。

本紀分布、由關東州金州北三崎山北麓達平頂山間、三十里堡附近、關東州七頂山會拉樹山屯附近一帶、奉天省復縣金家城子附近一帶、長興島北東半全部、遼陽縣煙台南東之當十嶺（卽化石山）附近以及淨寶山一帶、安奉線火連寨、石橋子附近、自牛心台達田什付溝各處、熱河省九佛堂村落南東各地方。

三十里堡站南西二十籽、由紅紫色頁岩所構成之化石山、金家城子南東一籽由板狀—鱗狀石灰岩構成之白家山（俗稱兔山）、渤海灣長興島西崖附近、煙台煤礦南之東當十嶺、自火連寨採石場至大嶺隧道間、所露出之寒武利亞紀層中、因產出大形美麗之三葉蟲化石、著名世界。

三葉蟲屬節足動物部門中之甲殼系、現世已無一匹之存在。其祖先生自原生代、及至寒武利亞紀、種類既多、繁榮亦極。經奧陶、戈蘭紀、達繁榮之極點、於泥盆紀漸呈衰敗、及至石炭紀及二疊紀、保持其生存者不過數種、隨古生代之終了而絕滅。

三葉蟲名稱之由來、因有溝紋二條由頭部前方、縱走達於尾部、分成中軸及左右兩側部分、即分成三葉、故以名（參照附圖寒武利亞紀寫真）。其中之中軸部分乃動物體中之重要部分、包含內臟諸器官、心臟及神經球。三葉蟲背面覆有

硬殼、體由頭、胸、尾、三部所構成。

頭部分二部、即中央之大形頭蓋及左右之遊離頰。胸部由二至六個之自由活動節體所構成、尾部一般由數個結合體節而成。

三葉蟲爲海棲動物、棲於淺海、匍匐於砂質或泥質之海底、或其身體之一部埋沒泥中。更有許多種類缺乏視覺器官、似爲棲於深海者。遇敵來襲之際、若蝟及穿山甲之衛身、將尾部末端、接觸於頭部前緣、而隱匿其全身於甲殼中。故今日在各地恒有斯種圓形化石出現、滿洲國長興島已產出數個。

三葉蟲之頭尾兩部雖甚堅硬、但胸部各環節較爲柔軟、且彼此容易分離、故頭尾兩部之化石雖多、胸部甚少。

下部寒武利亞紀之最初化石三葉蟲、多爲無眼・顆粒・棘等之簡單者、中部—上部寒武利亞紀、戈蘭紀、泥盆紀等、漸有眼、美麗之顆粒、碩大之棘。因其

各部種類之不同、用以爲決定地層年代之標準化石。滿洲之下部·中部·上部
寒武利亞紀、各產特有之化石、研究之、可斷定與歐美各大陸之寒武利亞紀層
之新舊、相似等異同性。

至於滿洲國內之有用礦物、其產自本紀者、除奉天省本溪縣小市南西方三〇
料之五里長堡銅山等、其他尙未有聞。

五里長堡銅山等、鑛床胚胎於中部寒武利亞之粘板岩中、長達六〇〇米、脈
寬平均〇·三米內外、鑛石爲孔雀石、往往有黃銅鑛、斑銅鑛等混在、鑛量約有
九萬噸。

第五章 奧陶紀

滿洲國內之奧陶紀層、亦與寒武利亞紀層同、僅發達於南滿之一小部分、北滿方面除一二處外、未見其分布。

於滿洲所發達之奧陶紀層、主要由板狀石灰岩所構成。分布於關東州金州西北部石灰窰屯之周圍、大魏屯愛川村附近、奉天省復縣、復州煤田之四周、沿太子河由遼陽至煙台南方、經本溪湖·牛心台·小市·及田什付溝煤田而東之一帶地域及熱河省凌源縣九佛堂村落南東方等地方。

本溪湖名之來源、根據在本溪湖北方一籽地點、大堡村落之本溪湖石灰洞、本石灰洞與牛心台東方臥龍石灰洞、同爲奧陶紀石灰岩中之洞窟。

於本紀石灰岩層中、雖有三葉虫化石之存在、但發見最多者爲亞美諾廳拉斯型之直角介式頭足類、馬庫爾黎拉斯型（附圖奧陶紀寫真參照）或洛斯比拉型之腹足類化石。

復州煤田周圍之山嶺、尤其是三稜山、煙台煤田南方之五頂山、五頂山東方紅窰村落之周圍、本溪湖煤田正北方之四眼溝、大堡附近、牛心台煤田四圍之山等、實爲本紀化石之大產地。研究此種化石、不惟於古生物學饒有興趣、卽於有用礦物發見上亦甚有功效。（讀者如欲詳知斯項者、希參照滿洲教育研究所發行、教育要報第三輯二五—二六頁）

由奧陶紀主要發見之直角介型之頭足類、乃今日之蛸、烏賊之祖先型、爲斯類中之幼稚者、直角介型之頭足類、已於中部寒武利亞時代出現、於同期之終了期、種類漸增、及至奧陶紀愈形繁榮、而及於戈蘭紀。

最爲祖先型之頭足類介殼成細長之圓錐體（參照附圖奧陶紀寫真）其斷面爲圓、橢圓、凸面形種種不同。此種直角介式之介殼、隨地質時代之進步、由其舊端次第廻旋。（參照附圖戈蘭紀寫真）、及至泥盆紀、石炭紀、先端廻旋者漸有發見、再進而達於完全廻旋。如將上部古生代而及下部中生代地層中所含之頭足類研究之、可窺知由直角介型之介殼達於完全廻旋介殼之進化過程。

中生代初葉時期、直角介型介殼、及鸚鵡介型介殼、相當共存。其後、鸚鵡型者漸盛、直角介型漸減、及至中生代之末期、鸚鵡型者亦極形衰退、現在世界上僅有四種類殘存而已。

頭足類之介殼、常被殼房間隔壁之薄壁、區劃成多數殼房。殼房間隔壁、於普通介殼之初生方向、現出凹面、其中附近、多有圓孔以連絡前後之殼房。成化石而保存者、普通介殼之外部恒消失之、故殼房間隔壁末端與介殼內側相

密着部分埋存於石基中。其顯出正切面上之線、名縫合線、於頭足類之分類上、甚爲重要。（關於頭足類之構造、希參照附圖奧陶紀及戈蘭紀項）

所謂腹足系者乃若田螺、赤螺之現代最普通之介殼。由古生代所產之化石、與其祖先型相近、其大體之構造、與現代種毫無差異。

屬腹足系動物之祖先、已於寒武利亞紀出現、其後、於奧陶、戈蘭兩紀、更增其種、但於古生代全紀通觀之、其構造比較幼稚。及至中生代、其構造驟形複雜、種類亦加。經第三紀而入現世時、種屬更爲繁榮、而於今日之海中河中到處可見。

滿洲國內之奧陶紀有用鑛床、有鉛鑛、銅鑛及錳鑛等。

楊家杖子鉛山。本鑛山、在錦州省興城縣及錦西縣之交。鑛床爲裂罅充填鑛床、胚胎於奧陶紀石灰岩中。鑛石爲方鉛鑛、閃鋅鑛及硫化鐵鑛等之硫化物混

合鑛、含有多量之銀成分。其鑛量之確實部分有十萬五千噸、但將來採鑛愈進想可達相當鑛量。

馬鹿溝銅山。在奉天省本溪縣、在同縣城之東東南約七〇籽、位於由本溪通田什付溝大道上蜂密砬子南東六籽之地點。鑛床爲接觸鑛床、胚胎於奧陶紀石灰岩與花崗岩之接觸部附近。鑛石除銅之外、含金、銀、鉛、及水鉛。鑛量約有一萬噸。

本紀之錳鑛則有藍家溝、黑松林等處。

藍家溝錳鑛山。在錦州省錦西縣江家屯（錦西）南方八〇籽、由藍家溝附近以至於西方七〇〇米張家溝附近一帶丘陵均有散在。鑛床賦存於本紀石灰岩與角閃花崗岩之接觸部。錳之成分約四〇%、鑛量約四萬五千五百噸。爲將來可堪注目之鑛山。

黑松林錳礦山。在錦州省興城縣黑松林村落，距奉山綫興城站北西西三六籽。鑛石爲硬錳礦，呈鋼黑色及黑色，由全體觀之稍多硅酸成分，但錳之平均成分爲四二%、適於製鐵用。但早已採取殆盡，殘存無幾。

在以上各鑛之外，其有望鉛鑛及錳鑛鑛山尙有興城縣松樹卯鑛山。

松樹卯鑛山。在奉山綫興城站北東三四籽，楊家杖子鑛山西南一二籽。鑛床之鉛、錳、均賦存於石灰岩中。錳爲軟錳礦，將來採鑛進行時，可得數千噸之錳礦。鉛鑛由方鉛礦、閃鋅礦及硫化鐵鑛所成，與楊家杖子同。鑛量不明，以其近接楊家杖子將來可值注目。

錳與銑鐵，混成錳銑鐵以供製鋼，或加入鋼內，而製錳鋼。錳鋼、質極堅牢，適製諸種武器。此外，錳更可混於銅、銀、鋁，而製成諸種合金。至於錳化合物，因其種類、用製氯素、溴素、沃素、養素，或供陶磁器、琺瑯之黑色劑、

玻璃之脫色劑及着色劑等。

發達於奧陶紀上方部分之石灰岩中、其比較不含苦土部分在全滿亦賦存甚多、本溪湖、煙台等、處處均用此種石灰岩製造石灰或洋灰。其含苦土部分亦有賦存、本溪湖用之以製白雲石。

第六章 戈蘭紀及泥盆紀

自華北而滿洲而朝鮮、以及於日本、戈蘭紀及泥盆紀地層未曾發見、舉東亞之地質學者意見均同。

一九三四年上海自然科學研究所之清水、尾崎、小幡三氏發表謂發見戈蘭紀化石群。其次一九三七年、一九三八年之交、現滿鐵調查部小貫義男學士、在東北帝國大學矢部教授指導之下、論斷自岩手縣北上山中、以及日本各地均廣有戈蘭紀之發達。以致喚起學界之驚嘆。

再關於泥盆紀層、一九二二年、據美國之蒙古探險隊報告、在外蒙古中央哥魯班捨坎附近、有泥盆紀、或下部石炭紀之化石存在。

其他滿洲國立中央博物館研究員野田光雄學士、亦在東北帝國大學矢部教授指導之下、於日本內地岩手縣長坡村、發見泥盆紀特有之化石、於一九三二至一九三四年間、發表報告、謂日本北半部有泥盆紀層之發達。

綜觀以上事實、在滿洲國雖未曾發見戈蘭及泥盆兩紀地層、但將來大有檢出之可能性。

第七章 二疊紀及石炭紀

滿洲國內二疊紀及石炭紀之分布地方約舉如下。關東州金州北西部八籽之前石灰窰屯、金州南東東二八籽之董家溝炭鑛附近、沿亞當灣之復州煤田、沿太子河所發達之煙台、本溪湖、牛心台、小市、田什付溝及鐵廠子諸煤田、錦州省之大窰溝、紅螺覬、南票、熱河省北馬圈子、老爺嶺、火神廟、大廟嶺、松樹台及五道嶺諸煤田。

滿洲各地之二疊—石炭紀層之岩層、大致略同。紅紫灰色—黃灰色之硅質雜色頁岩發達於下部。其上部、則有含四—五層凸面狀石灰岩之頁岩及砂質頁岩。再上部則爲砂質頁岩、砂岩、石灰岩及煤之累層、即所謂下部夾煤層部分。再

上部則上部夾煤層發達之。本層缺石灰岩、僅由砂岩頁岩及煤之厚累層而成。在嚴密之觀點論之、則下部夾煤層以下爲石炭紀、而上部夾煤層以上爲二疊紀。本紀之到處均有耐火粘土之發達、二疊紀層中概有四層、石炭紀層中則有三層。由石炭紀層中之凸面狀石灰岩中、發見甚多之腕足類、珊瑚類、有孔虫類之化石。

腕足類之化石、於復州、煙台、本溪湖、牛心台等石灰岩層中、完全保存、已有甚多之發見。其中之長刺介、石燕、小嘴介等爲最著者。

腕足類本屬擬軟體動物部門、其形小而體簡者、已於下部寒武利亞紀、有所出現、經中部上部、而次第進化、及奧陶紀而種類繁生、至泥盆紀而達其極巔。及至石炭紀、外形多奇、而漸呈衰勢、而於二疊紀更甚。

其後由三疊紀之終葉、又呈優勢、於侏羅紀有挽回古生代中期繁榮之觀。經

白堊紀入新生代時、非常衰退、不過僅保持其種族之命脈而已。故腕足類之系統自寒武利亞紀以至現代、連綿不絕、爲所有動物群中之最爲顯著者。其中、現代種有女冠之蛤牛屬、爲其代表者。腕足類於古生代及中生代中爲古生物學上及層位學上之標準化石。

腕足類之體軀、披覆二枚之介殼、其介殼由腹背兩方被覆動物體、稱腹殼及背殼。腹殼較背殼恒長且深。腕足類介殼與二枚介殼介殼、更有一見即可區別之特徵、卽二枚介殼介殼、左右爲非對稱、而腕足類介殼爲對稱。(參照附圖奧陶紀寫真)腕足類腹殼之後端、雖有長短、常現其多肉之肉基、以附着於海底或他物。

屬珊瑚系動物之大半、爲附着他物而生活之水棲動物。有口、食道、體腔於體軀之中央。口之周圍、觸手環生、體腔內壁由縱隔壁所區劃而分成爲輻狀房。多石灰或角質之骨骼。因其觸手及縱隔壁之數、分多放射類及八放射類。前者爲

古生物學上之重要者，又分爲四射珊瑚類、床盤珊瑚類及六射珊瑚類。

在古生代四射珊瑚類與床盤珊瑚類同盛一時。及至末期，前者絕滅。而至中生代，又有六射珊瑚類出現。所謂六射珊瑚類者，其縱隔壁恒爲六之倍數，而四射珊瑚類，其縱隔壁爲四之倍數。一般謂六射珊瑚類爲四射珊瑚類發達進化者。床盤珊瑚類在古生代之末期，幸免絕滅，進於中生代而生存者，尙有數種。

在滿洲國之石炭紀中，由其凸面形石灰岩所發見之珊瑚類爲阿拉克拿斯多利亞之四射珊瑚類及格得渥斯之床盤珊瑚類。茲就四射珊瑚類之骨骼構造稍加說明。此類之縱隔壁，第一次生四個，第二次第三次生數個插入第一次所生之間。其第一次與第二次者成長後，成爲同大，稱爲主隔壁，第三次者較小稱爲副隔壁。且縱隔壁綿延頗長，密集於中央，形成一軸柱。

床盤珊瑚類與六射珊瑚類、有密切親緣。一般、其縱隔壁之發達或不完全、或完全缺少、體腔由許多之床盤分爲橫切之分腔、此爲本類之特徵。

於下部夾煤層及上部夾煤層中之煤層上下兩盤或其夾石之中、多發見石炭根源之鱗木、封印木、輪木、星葉木等植物化石。本溪湖、煙台、牛心台、復州灣等煤田及其他屬於本紀之煤田、多產此種植物化石。

茲就石炭根源之陸棲植物化石、稍加說明。

確實認爲陸棲之植物、早已自戈蘭紀、有所出現、但其構成龐大之群集、意在中部泥盆紀以後。及至二疊—石炭紀、適逢高溫、高溫之氣候、空中又有炭酸瓦斯之充滿、以致高等隱花植物及羊齒狀種子植物等陸棲植物、非常繁榮、成爲大森林。(參照附圖石炭紀寫真)及至中生代、裸子植物、非常增多。於其終期、被子植物、漸次增加。入第三紀後、始漸類似今日之植物狀態。次述二

疊—石炭紀之陸棲植物中之著名者。

真正羊齒類。所謂真正羊齒類者、即今日之蕨、薇等所屬之種類。於前世紀之終期、均以爲二疊—石炭紀植物之大半、屬真正羊齒類、其後因化石植物學之進步、始知本紀之所謂羊齒類者、多爲有種子之高等植物、故名之曰羊齒狀種子植物。羊齒狀種子植物、具有隱花植物及顯花植物之中間形態、成爲本兩種植物之聯鎖。關於此項於四八頁詳述之。

與有孢子之現代真正羊齒類相同之植物、初現於泥盆紀時代、但迄於石炭紀、亦未曾繁榮。及至二疊—石炭紀、草本及木本之兩真正羊齒類、頓形繁榮、其木本者、幹高有達十六米以上者。

木賊類。現世之木賊類、雖多矮小種類、非爲重要植物。但化石木賊類、自泥盆紀至二疊紀之間、非常繁茂、多偉大者。其中之最大者爲蘆木類。此類之

大者、其直徑有○·三米、高達一○米以上、節之間隔、不爲等距、幼節較老節次第延長、枝亦甚大且多、於幹之頂點、葉成輪狀而叢生、子囊錐生於幹頂或生於上部分之枝上。

卷柏類。屬本類之化石、自泥盆紀至二疊紀之中期、早已發見。其中在石炭紀時代、曾極其繁茂。本時代之卷柏與現世之卷柏相比較時、其巨大狀態、有霄壤之別。種類亦可分二種。其一曰鱗木。其二曰封印木。均因其幹枝上之葉痕、若鱗若封印以名。幹高達三三米以上、其直徑有達一米餘者。其幹與枝、爲叉狀分枝、與現代樹木迥然不同、孢子囊長達○·○一—○·○三米、呈線狀或卵狀生於細枝之尖端。

鱗木之葉、常作針狀、較小者多。亦有基底部寬約一糲、長達二○糲者。葉主要生於幼枝上、其老朽部分、脫落極迅。葉痕恒呈菱形、列成螺旋狀、有若

魚鱗並列之勢。

封印木不與鱗木同、分枝極少、其幹之直徑於根部約二米、而其長則達三三米以上、幹之先端有直立之硬葉、恒較鱗木長且寬。封印木幹之表面多縱紋、於其各紋上有一列葉痕、其相隣接之葉痕、作雁木狀之排列。封印木未發見於泥盆紀、且於白堊紀終期以上、已經死滅。

鱗木與封印木均於其基部、有四至六本之幹根、水平的擴張於土中。各幹根無分枝根、僅分叉一二次。各幹根之周圍、爲吸收水分及養分起見、有輪狀附屬物配列之。有長達〇·五〇米者。

化石之卷柏類之生殖錐若今日之毬果植物類之毬果而無種子、以孢子囊充滿之。孢子囊藏精子之小孢子囊及雌器之大孢子囊。此種大小孢子囊有在一孢子囊之異部分者、有在異孢子囊者。

羊齒類種子植物類、外觀頗類真正羊齒類。其有種子之一點與羊齒植物、全不相同。雌雄別株、種子常在葉之先端或其裏面、其大者附着於葉之中紋、不形成錐狀體。種子之長、達五耗乃至五糲、其胚由質厚肉多之外皮及堅若石質之內皮所包圍、本類由中部泥盆紀之先期、自羊齒類所進化、及石炭紀及下部三疊紀、極其繁榮、中生代亦相當發達。

高爾代拉斯類。爲出於上部泥盆紀、繁榮於石炭紀時代之種子植物。本類爲常綠樹、幹細長、時逾四〇米、直徑逾一米、葉多肉表面有細脈。

幹之外觀類似毬果植物、但其中央有直徑一二糲之髓。

二疊—石炭紀之有用鑛物首推爲煤。

本溪湖煤田。爲本紀代表煤田。實層有十六、主要者八層、厚達〇·六乃至三米。露頭延長、東西約六耗。煤質爲高度瀝青煤乃至半無煙煤、有強粘結性、

適於製造製鐵用之骸炭、埋藏量推定爲一億噸、如合算其深部、可推爲二億二千萬噸。

煙台煤田。在奉天省遼陽縣、連京線煙台站之東方一六籽地點。夾煤層呈卅底形向斜構造。其長軸延長南北七籽、煤層有十八層、可稼行者八層、厚及一二乃至二〇米。煤質爲半無煙煤乃至高度無煙煤、硫黃稍多、火力極強、適於煉炭。其殘存埋藏量推爲四千萬噸。本煤田之附近有尾明山、攀盛堡之小規模煤礦。

牛心台煤田。在奉天省本溪縣、本溪湖東方二十籽溪城輕便鐵道之終點。

以牛心台站爲中心以二籽爲半徑、其半圓內之地域均有分布。有王官溝、紅臉溝、大南溝及小南溝諸煤礦。煤層有七、其中主要採取者爲具大層、有一・五米之厚。煤質爲無煙粉煤、埋藏量有一億一千萬噸。在牛心台之北部四籽地點

有小規模採煤地域、若桃園溝、窰子峪、腰堡、灰山、前廠子等是也。

小市煤田。在本溪縣東方七十籽、位於太子河及其支流之淌河合流點。占淌河流域東西一二籽、南北八籽、數個採煤地區散在其間。煤層因地而別、有二至七層、厚約〇·一米—一·二米。煤質一般爲粗惡之高度無煙乃至高度瀝青煤、中亦有富於粘結性、適於骸炭部分、煤量爲二千四百萬噸。

田師付溝煤田。在本溪縣第四區、由本溪湖溯太子河約八〇籽之地點。煤田之主要部分、占太子河支流田師付溝流域、東西、南北、約有一〇籽之面積。夾煤層中有二疊石炭紀及侏羅紀層兩層。前者之採煤地區爲北山堡、小嶺、南溝及孔家堡子北部諸區。後者之採煤地區、爲大堡、包子圈、柞樹崗、櫃石溝及廟西溝等區域。二疊—石炭紀之煤爲高度瀝青煤、半瀝青煤乃至半無煙煤。煤層二至一〇層。推定埋藏量爲一千九百萬噸、孔家堡子區域之煤適於製造骸

炭。侏羅紀之煤質爲不粘結無煙煤、煤層有九—十層、其推定埋藏量爲一億二千萬噸。

鐵廠子煤田。在通化省通化縣、占渾江支流之大羅圈溝及小羅圈溝間之山地、在縣城東方四〇料。採煤地區分大崗、小南溝、缸窰溝諸區。煤層分上下二層、含煤層七至八層、煤質爲高度瀝青煤、近於半無煙煤、且富於粘結性、適於製鐵用骸炭、爲東邊道重工業企業中最堪注目之煤田、埋藏量爲三五〇萬噸。

復州煤田。在奉天省復縣、位於普蘭店西方五〇料之海岸。分布於五湖嘴、趙家屯、遲家屯、羅家屯及丁香屯一帶。煤層有三、計其厚可達一·一五米乃至七·五米。埋藏量稱爲一千四百萬噸。煤質爲良好無煙煤、可爲骸炭原料。本煤田以其位臨海岸、對於國內諸港及日本方面之運搬至爲方便。

虹螺峴煤田。分布於錦州省錦西縣虹螺峴西大嶺附近、以虹螺峴爲中心、約

占十二籽之地域。煤層有二、質爲半無煙煤、缺粘結性。推定煤量概計爲三百五十萬噸。

大窩溝煤田。在錦州省錦西縣西南一〇〇籽、自奉山綫女兒河站至鑛山、有通裕鐵道之便。夾煤層中、有上下二層煤層、其厚合計爲三至一〇米、煤質爲樹脂狀光澤之有煙煤、稍帶粘結性、推定煤量爲一百萬噸。

南票煤田。界於錦州省朝陽縣錦西縣之交、位於錦州南西五〇籽、暖池塘村落西方一·五—二籽地點。包含葦子溝、石柱子一帶、全延長約八籽。夾煤層爲頁岩及礫岩之互層、五乃至六層之煤層介於其間。其可採取者凡三層、其厚合爲二·五—三米。煤質爲半無煙煤、有亞金屬光澤、無粘結性、燃燒緩慢、埋藏量爲一千二百萬噸。

北馬圈子煤田。位於熱河省承德興隆間大道上、距承德約八〇籽。含煤層由

砂岩、砂質頁岩及頁岩所成。含數層煤層，其最主要者爲第一層，平均厚達二、四米。其下方間尙有二、四米、一、八米之煤層兩層。煤質大體爲粘結性瀝青煤，推定埋藏量、約一億五千萬噸。

老爺廟及火神廟煤田。與北馬圈子煤田以柳河相隔，其東爲老爺廟煤田，再其東與老爺廟煤田由分水嶺而隔者爲火神廟煤田。夾煤層由礫岩、砂岩及頁岩所構成。含三層煤層，厚計十米，煤質爲瀝青煤，一部可預想產天然骸炭或無煙煤。埋藏量約二億一千萬噸。

門子溝煤田。在熱河省承德縣，位於承德南方一三三籽地點，在前記火神廟煤田之東南。煤層厚達四米，中介〇·六米之夾石。煤質爲不粘結性之瀝青煤，埋藏量推爲一千萬噸。

次於煤之有用礦物，其重要者爲耐火粘土。

耐火粘土。在滿洲、凡有二疊—石炭紀地層之分布地方、均有莫大之鑛量。其中自二疊紀層中、有A、B、C、D四層、石炭紀層中有E、F、G三層。其A、C、及G各層、產耐火度「階格爾維」三四番以上之硬質者。其最良者可達三七番以上。

小市、本溪湖、煙台、復州諸煤田及關東州金州管內前石灰窰屯所產者、品質優良、以含礬土四五—七〇%之礬土頁岩爲多。耐火粘土、用於製造金屬鋁、陶磁器、洋灰之原料、耐火材料、研磨材料等。撫順之滿洲輕金屬製造株式會社利用上述之礬土頁岩製鋁。

黑鐵鑛。煙台、本溪湖等處、產黃鐵鑛甚多。送於撫順、本溪湖等處、供製硫酸。

煙台所產者、以四層之層狀或圓盤狀賦存之、推定埋藏量、爲四十八萬噸、

年產額爲四千噸。鑛石之硫黃含有量爲三八—四四%。

本溪湖之十六層煤層中，其賦存硫化鐵鑛者只在下六層中，均以扁桃狀產出之。長約〇·一五米、寬約〇·〇七米。其鑛量爲十五萬五千噸。其硫黃含有量平均爲四五%。

二疊—石炭紀中，不伴煤而只有角礫岩層及石灰岩層之地層發達於奉天北方經海龍、西豐達於吉林省南西部。屬於本紀之石灰岩層，含苦土較少，用製洋灰、大同洋灰株式會社之吉林工場用吉林省磐石縣附近所產之此種石灰岩、以爲原料。

第八章 三疊紀及侏羅紀

現在滿洲國內古生物學及層位學上所公認之三疊紀層即謂尙未發達亦爲適宜。然於他方安奉線之本溪湖南方由發達之凝灰質赭色砂岩及頁岩而成之累層之下部及於各地二疊紀之上部所露出之粗粒硅質砂岩之上部等、得比敵於山東或朝鮮等已經大體認爲三疊紀。雖無作爲化石之相當證據、然有主張視爲三疊紀並無障礙之學說。

於滿洲國內之全地域雖有侏羅紀之稍露出地方、然尙未發見公認之海成侏羅紀層。故在阜新、賽馬集、老頭兒溝、穆稜、密山、鶴崗及扎賚諾爾各煤田發達之本紀地層皆爲侏羅紀以前之岩層爲基盤、沈積於盆地內之小規模陸成層。

於滿洲國內發達之陸成侏羅紀層、屬於中部侏羅紀者甚夥、其下部各地均爲厚基底礫岩、其上爲頁岩及砂岩之混合層、其中含有三層之煤層。三層之化石帶、一層之礫層帶、最上部又爲厚礫岩層。再本紀層之特徵所顯着者煤層中間或於其上層之部分有本特石質之粘土。

上部侏羅紀層之最發達者爲濱綏線之東寧附近、熱河山岳地帶之各地及自長山峪至古北口間及凌河上流地帶等、而東寧附近之主要者爲由礫岩、砂岩、頁岩之累層而成。其中含有含煤油頁岩、熱河山岳地帶之主要者爲安山岩流及其碎屑岩、集塊礫岩等並含有砂岩及頁岩。

自本紀於各地發見成爲煤之根源之裸子植物、羊齒植物等並二葉之魚介或爬虫等類之動物化石、於後就此等植物化石略爲記述之。

蘇鐵類。此類爲泥盆紀由羊齒種子植物之進化而生、然於古生代尙不得見一

般之分布、而中生代之前頗爲繁榮、於侏羅紀尤爲繁榮。故此時代又稱爲耶拉時代 (Jurassic period)、植物體之大小一般爲中等。由二疊至石炭紀之木本羊齒類與現代之毬果植物類等之大者不能比較。幹一般爲木質、中央具大形體質、其周圍爲一種由葉柄之基底部叢合而成似軟布之物質包圍者、葉分多種而一般似椰子葉之羽狀葉、雌雄之圓錐體各異、具雄花之圓錐體或其變形物生於莖之頂端、負有多數之雄花。具雌花之圓錐體或其變形物亦生於莖或小枝之先端而其數甚寡。

別捏地斯類。此類由三疊紀下部至白堊紀間最爲繁殖之種類、其外形並營養器官之解剖構造頗似蘇鐵類、而其生殖器官毫不相同具有雌雄全花。

毬果植物類。本類之植物爲現存裸子植物中最普通者、具針狀葉常綠質胚珠生於毬果中、花粉生於雄花圓錐體中。此類之起元似爲二疊紀而初生當時已分

別爲兩種。一爲含有瓦兒卡類葉之狀態似現在之軟喬。他之一種爲含有似世界翁類之波兒奇類。

毬果植物自古生代末期出現、經中生代及第三紀分布於世界各地、故有今日之大繁榮。

於滿洲國內所謂入於本類之植物化石、於中部侏羅紀之岩層中含有多種。以北滿之外山爲始由各處之煤田中亦多採取。再由第三紀層中於撫順豆滿江沿岸及三江省三姓附近等亦有各種種類之發見。

銀杏類。銀杏類與格爾代拉斯類頗爲相似、其葉極小且又分歧爲叉狀、以其幹之全部概爲分枝之點、是與後者之所不同者。此類於現代之全世界、只日本與中國存有一種。然中生代自侏羅紀至白堊紀時代則廣布於全世界、其種族亦爲多種多樣。在滿洲國內於中生代並中部侏羅紀層、以外山、沙河子、陶家屯、

火石嶺、田師付溝之各煤田爲始、由其他之各處亦多見本類之種種植物化石。

本紀之有用礦物之最著者爲煤炭。試舉全滿各地侏羅紀煤田中之著名者於下。

瓦房店煤田。在奉天省復縣、位於連京線瓦房店驛之正東、自車站分布至煤田北部之炸子窰煤礦中間。地層由粘板岩砂岩及礫岩而成、其中含有四層之煤層、煤質隨處變化、時爲半無煙煤、時爲有煙煤。埋藏量約爲七〇萬噸。

賽馬集煤田。在奉天省本溪縣、位於安奉線草河口驛北東方約五〇料之地點。煤層分上下二層、上部層主由礫岩及凝灰岩而成、無煤層之存在、下部岩層中所含之煤層由賽馬集之北西方至東方之丘陵地帶約賦存於一・五料之間、在平頂山區域其數爲最多、賦存五層。煤質爲無煙煤及高度瀝青煤亦時有粘結性之部分。至於埋藏量尙無正確之調查、然因長年以上法採掘殆盡、殘存鑛量似爲甚少。

西安煤田。在奉天省西安縣、位於奉吉線之北西平梅沿線、鑛區之東西約八料

南北約一籽。夾煤層爲凝灰質頁岩及凝灰質礫岩之混合層而成。煤質外觀爲漆黑色之瀝青煤、一般均有粘結性。由東方部分所產出者適於製造骸炭。以中生代煤而論頗屬良好、而埋藏量之最小限度在一億一千五百萬噸以上。

陶家屯煤田。寬城子又稱爲石碑嶺煤田位於新京之南南東約一八籽之地點。夾煤層由頁岩及砂岩構成、其中存有上下二層之煤層。煤質爲稍帶粘性之瀝青煤、煤量約爲一二〇噸。

火石嶺煤田。在吉林省九台縣、位於京圖線營城子驛之北西四籽之地點。夾煤層由凝灰質白色砂岩及灰黑色頁岩等構成。含有四層之煤層、煤質爲有煙之褐煤、煤量預想爲一八〇萬噸。

蛟河煤田。在吉林省額穆縣、位於京圖線蛟河驛附近。南北三三籽、東西占一〇籽乃至二〇籽之面積。從來之採礦地點只東部之奶子山附近及南西部之杉

松崗附近之一部耳。夾煤層由黑色頁之細粒砂岩及粗粒砂岩而成，其中含有四層乃至五層煤層。其厚平均二米，厚部爲六米。煤質爲無粘結性或弱粘結性之瀝青煤。埋藏量據報告爲三乃至四億噸，實際之想像爲非常過少之數量也。

缸窰煤田。在吉林省永吉縣，以吉林省城北北東七〇籽之缸窰鎮爲中心之煤田起，自缸窰鎮之南西方八·六籽之小口前附近，延於北東經五·六村落至棒槌溝。延長爲三五籽。夾煤層由粗鬆之花崗質砂、石塊砂、灰色乃至白色之粘土而成。煤層雖隨處而異，係屬二層乃至八層，其厚共計九·八米。煤質爲灰分及水分均多之褐煤。推測之埋藏最少亦在六千五百萬噸以上。

舒蘭煤田。在吉林省舒蘭縣，位於縣城之南南西二四籽之地點。煤層爲砂岩、頁岩之混合層。有上層爲一米，中層爲三·五米，下層爲二米之三層。爲瀝青煤，品質一致。據稱適於液化用，確實之埋藏量爲一億三千萬噸。

老頭兒溝煤田。在間島省延吉縣、位於京圖線老頭溝之附近。夾煤層由砂岩頁岩及礫岩之累層而成、其間存在四層之煤層、其厚一般爲〇·七米乃至一米。煤質約易風化、呈暗黑色之褐煤且易於燃燒、爲京圖線最佳之煤。據稱推定之埋藏量爲四〇〇萬噸。

臨江煤田。本煤田在通化省臨江縣、位於鴨綠江岸突破於該江岸所發達之玄武岩之大熔岩流即可見其下之頁岩、砂岩、礫岩之累層、此等岩層分上下二部、於各部均賦存數層之煤層、煤質爲富有粘結性之瀝青煤、適於製造製鐵骸炭、據稱煤量各在三千萬噸以上。

穆稜煤田。在牡丹江省穆稜縣、位於自濱綏線小城子驛向北之穆稜線終點之梨樹鎮南東約二料之地點。煤田之基盤由二疊至石炭紀之變質而成、夾煤層爲砂岩、頁岩所構成。其中含有三層之煤層、其厚爲〇·九、一·五、二·二米。煤

質係低度乃至高度、略具粘結性之瀝青煤、推定之煤量約八三〇萬噸。

密山煤田。在上記穆稜煤田之北東、位於牡丹江省密山縣之東方、距離一二〇斤之地點、賦存煤炭之區域東西占六〇斤南北占三〇斤之廣大地域。夾煤層由在礫岩層上之砂岩砂質頁岩及頁岩之混合層而成、基盤由二疊至石炭紀所變質之雲母片岩及結晶石炭岩而構成。在上盤有白堊紀之礫岩、煤層爲六層、其厚自上而下爲〇・六、〇・九、一・五、一・八、二・四、及三・〇米。煤質概係無光澤之脆弱質、又多爲無粘結性之低度瀝青煤、然隨處而異、尙有適於製造骸炭之高度瀝青煤、具膨脹粘結性者、據稱埋藏量約二億噸。

東寧煤田。位於濱綏線綏芬河驛南方六七斤之東寧縣城附近之東寧盆地內、基盤爲古生層雜斯石、角蠟岩、夾煤層爲燧岩、砂岩、頁岩之累層、於其中存在三乃至四層之煤層。從前採掘者爲一層、在佛爺溝地方之厚度爲〇・六乃

至一·三米、露頭延長爲一籽。佛爺溝之煤爲光澤強大之黑色「筋」與無光澤部分呈紋狀、前者爲漆黑脆弱扁平呈凸面狀、後者爲暗黑褐強韌呈斷白貝殼狀、伴隨普通煤之煤質爲油頁岩。本煤田之煤、卽普通煤與油頁岩之紋狀混合層、埋藏量約二〇〇萬噸。

滿洲各地之侏羅紀煤層雖多係中部侏羅紀、而本煤田之煤層斷定屬於上部侏羅紀者、是爲頗堪注意之點也。

雙鴨子山煤田。在三江省富錦縣之南西部第五區境內、位於富錦縣城之南西約一四〇籽之地點、分富安煤窰、富樺煤窰及馬蹄河西溝三區域。主要之夾煤層爲山砂岩、頁岩、凝灰岩所構成、其上覆有玄武岩之岩層。煤層之數量隨處不同、多之部分爲四層、其厚一·八乃至二米有餘。煤質爲漆黑色中度乃至低度之瀝青煤、因粘結性強大可製優良之骸炭。煤量最小限度亦在二千數百萬噸以上。

鶴崗煤田。在三江省湯原縣、位於松花江下流該縣城之北東、距離一二〇粁之地點、至松花江岸有五六粁之運煤鐵道。由此逆行四〇〇餘粁即達哈爾濱。最上部層爲一〇〇〇餘米之石灰岩及玄武岩床、其次約七〇〇米之砂岩及礫岩、其在下部爲三二〇米之夾煤層、基盤爲片麻岩、煤層爲六層、其厚各爲三乃至一二米、共計之厚度據稱爲二〇乃至五〇米、煤質爲中度瀝青煤、粘結性強大、品質優良、可作骸炭之原料、確實之埋藏量稱爲三億四千四百萬噸、實係北滿之一大煤田。

扎賚諾爾煤田。在興安北省位於濱洲線扎賚諾爾驛附近。本煤田自北東至南西之延長實占四〇粁東西之濶爲二〇粁之廣大面積。夾煤層爲砂、砂質乃至粘土質岩層。其中含有三層之煤層、共計之厚達二五米。煤質爲褐煤、其品質一見似爲不良、而實較所見優良、且具含煤層同一品質之特徵。如在屋外貯煤則

化爲粉煤、據稱埋藏量之最小限度在三億噸以上。

八道壕煤田。在錦州省黑山縣位於八道壕驛南方一米之地點、含炭區域爲二〇平方杆。煤質爲一二層、其中主要者爲六層、厚度共計九米。煤質爲無粘性之褐煤、埋藏量約六千萬噸、但據滿洲炭礦株式會社之發表稱爲二億噸。

阜新煤田。在錦州省阜新縣、位於上記八道壕煤田北西四〇杆之地點、含煤區域占有廣大之地域、自北東至南西之延長約六〇杆、其濶達二〇杆、其間有新邱、米家窩舖及孫家灣等之採煤地區。夾煤層由頁岩、砂岩及礫岩構成、並有安山岩及凝灰岩質流紋岩伴隨其中、煤層數雖因各採煤地區而異、然達十數層以上、約概括爲四煤層、共計之厚度有達三〇米以上者。煤質爲無粘結乃至弱粘結性之瀝青乃至高度瀝青煤、確實之埋藏量推測爲一〇億噸內外。

北票煤田。在錦州省朝陽縣、位於錦承線北票支線之終點。煤田之延長爲二八

料濶約五料之廣大區域。夾煤層主由砂岩及頁岩而成，並有凝灰岩及凝灰質礫岩之伴隨。煤層爲一〇層，其中可採之煤層爲第三、第六、及第九之三層。其厚各爲二·六五及一·五乃至二米。煤質爲佳好之瀝青煤，並有粘結性之部分，埋藏量推測爲約二千萬噸，他方又有報稱達於二億萬噸者。

水溝煤田。在熱河省凌南縣位於縣城南東約一〇料之地點。夾炭層由砂岩、頁岩而成，露頭延長四五〇〇米，炭層因地而異，爲三乃至一三層。其厚爲〇·三乃至三米。本炭田分爲六區，於北方東溝區域之南方其一般之煤層厚度劇見減縮且煤質惡劣，炭質爲無粘結性之瀝青煤，煤量爲二千四百萬噸。

本特石。混在侏羅紀乃至侏羅、白堊紀層之中有用礦物，頗堪注目者尙有「本特石」。呈灰白色、灰綠色乃至赭色之粘土狀，其厚自數糲而達一二米以上。據所知之產地爲牡丹江省穆稜縣梨樹鎮之穆稜煤田、濱江省賓縣之老山頭（哈爾

濱下流) 濱江省呼蘭縣之團山子(哈爾濱對岸) 吉林省額穆縣之蛟河煤田、錦州省黑山縣之八道壕煤田、錦州省阜新縣之阜新煤田等、分布於廣大之區域、至於其埋藏量在一千萬噸。

本特石爲脫色劑似較市井所販賣之酸性白土適於實用、又用爲油類或酒精之脫水劑亦頗有使用之價值。

第九章 白 堊 紀

滿洲國內從來認爲白堊紀之代表地層、發達於遼東方面者要以安奉線本溪湖煤田南部及間島省延吉附近並吉林省伊通附近。遼西方面以熱河省之南半部。

發達於北滿方面者、以五大蓮池火山附近之北、東自北安西至博根里附近一帶。及興安北省之「握葉爾夫屋爾」附近等地方。

本溪湖附近之白堊紀層、大體由赭色凝灰質砂岩、頁岩及礫岩層累層構成、發達於太子河南岸、東自臥龍附近西迄團山子、分布頗廣、尙於其北岸亦露出之。

如本溪湖附近之赭色岩層、而在撫順煤田之永安台及其東之東洲河附近、更

延至東方之營盤附近、又連京線雙廟子站之東自興隆店部落附近、延向東北至新京之南南東附近、再向北東延長至哈爾濱東部、亦分布殊廣。

熱河錦州兩省內、屬於白堊紀層之地域、分布極爲廣大。大概分上部中部下部三層構成、就中下部層、爲含有各地販賣之有名土產物「利柯波俄拉」之淡水產魚類化石、主由凝灰質礫岩及灰綠色頁岩而成、時有介有油頁岩處。本層分布於錦州省內者、以義縣之棗茨山附近、朝陽縣之黃家地、月見岡、星見嶺、太平房、波羅赤附近。分布於熱河省內者、以建昌縣之九佛堂、大新房子、劉四海溝、山咀子、要路溝、寧城縣之八里罕甸子、豐寧縣之饒饒營子附近。其他最下部之白堊紀層、含有煤層者、發達於赤峯附近、主由粗鬆脆弱之砂岩及礫岩之累層而成。

中部層、多由石英粗面岩質凝灰岩及石英粗面岩質角礫岩而成、其間介有凝

灰質頁砂岩、時伴石灰岩、含有二枚介及卷貝化石、發達於赤峯附近及平泉南部等。

最上部層、名曰承德礫岩層、由火山岩圓礫經水力磨蝕而成。此厚礫岩層、惟分布於承德附近及灤平等。本岩層因節理及斷層作用、其周圍軟部、多爲水蝕、硬部多爲殘存之處者、顯成奇岩怪石。如承德附近之棒槌岩、龜子岩、若自承德至灤平之途中、多見若槻岩等之奇岩、卽其好例。

北滿各地、對於本紀之地層、發達於間島地方者、亦如熱河境內、分布上述三部地層。特如下部層含有魚類化石及中部層含有二枚介或卷貝之地點亦甚多。現於間島省汪清縣羅子溝、和龍縣大拉子地方、亦多產如熱河之魚類化石。

本紀下部層雖爲產魚類化石之地層、然不僅產魚類化石、尙含有爲爬蟲類一種之雙龍類、龜類祖先型、兩棲類「散色屋俄」祖先型、硬鱗魚類祖先型、「雜利

干」祖先型等化石。更含有昆蟲類之「瑟蜜」「屯薄」「把塔」「阿布」龜蟲等祖先型各種化石、及羊齒類、卷柏類等諸多植物之化石。實際滿洲國內保存此等化石地層之處甚多。如建昌縣澆源北八籽之大新房子、同澆源南西十·五籽之劉四海溝（大南溝）及錦州省義縣縣城南西二十一籽之棗茨山等產出此等化石特別夥多。

魚類化石。魚類最古之祖先、自奧陶紀中葉至二疊紀以後、蕃生勢力最盛。魚類化石大體分類如左。

甲冑魚亞系

節頸亞系

軟骨亞系（又名鮫類）

棘魚亞系

眞口亞系

以上所記各種魚類、由滿洲發見者、僅眞口亞系一種而已。故本書對於此類化石略述明之。

本亞系之魚類、現世絕佔優勢者、爲總鰭肺魚及條鰭三目。

總鰭目。本目之魚類、所謂眞正硬鱗魚類之一種。有骨骼、其外部爲堅硬之硬鱗蔽覆。自二疊紀以迄現世仍發見之。茲僅於「諾以爾」河上流及熱帶「阿非利加」注入大西洋之河川、仍有此種存在於其中。

肺魚目。本目魚類在泥盆紀時期最佔重要、自石炭紀末期至三疊紀以後特別衰少。現僅於澳洲淡水產「列俄色拉司託答司」一種、於乾燥時期以鰾爲肺呼吸空氣。

條鰭目。本目舊時分類稱爲硬鱗魚類、其中除列入總鰭目外、其他全部均入此

目。條鱗目更細別之、有如今日軟質類之「特夫雜默」、中生代稱爲硬鱗魚之全骨類、及現世全盛之硬骨魚類、三亞目分類。

以上三亞目中、其軟骨類最初現於泥盆紀、經古生代最爲繁殖、至中生代日漸衰頹、而代此類之全骨類頗稱繁盛。硬骨類初現於白堊紀、而代此類之硬鱗魚類繁盛於中生代時期。

滿洲國產魚類化石、其最普通者、如「利可、鋪特拉」、在熱河山岳地發見不同類之魚類化石二三種、在間島省內所發見者亦屬於與熱河產不同者。

撫順煤田永安台附近、尙亦露見所謂白堊紀地層中之「利可鋪特拉」化石、雖能採集、但不易保存、故種名判別困難。

考「利可鋪特拉」魚類、一方由頭部骨骼狀態視之、猶如中生代硬鱗魚類性質、他方由軀幹部構造視之、大半具有、猶如硬骨魚類之形態、故認此種魚類

爲上記兩者中間形物。由上以觀、硬骨魚類之祖先型、爲近於淡水產之「利可鋪特拉」、故有說以硬骨魚類爲起源、涵生於淡水中云。

熱河省內產之「利可鋪特拉」入於總鱗目者、發見有大三十乃至五十糶之大型魚類化石二種。

撫順煤田第三紀油頁岩層中多發見常爲近代硬骨魚類之骨骼破片及鱗之化石、時有長三十糶之硬骨魚類化石、完全保存。

哈爾濱郊外顧鄉屯、有名第四紀化石層中、採得鯰科之硬骨魚類化石、胸鱗前端有棘骨。

雙龍類。在熱河之「利可鋪特拉」地層、發見保存比較完全之長二十乃至六十糶爬蟲類之雙龍類化石三種、現於滿洲國立中央博物館中保存。又在北滿黑龍江沿岸滿洲國界、發見大型且完全之所謂滿洲「弱雜爾司」大雙龍類化石、

現於「蘇俄聯邦列寧格勒」博物館中保存。由上述事實觀之、在滿洲國各地之中生代地層、能發見各種之雙龍類化石機會定甚多、今後究在吾人踏查搜探如何以爲定、故特筆以書之。

中生代之陸上繁殖「梭拉辭」「伊拉夫」球果植物、業已詳述於侏羅紀章、而各種雙龍之爬蟲類、盛行生活棲息於此等植物之間。

又有長頭長足、軀幹較小一種之肉食雙龍類、初次發見於三疊紀後期。然此大形雙龍類、其後腳二個甚大、發達進化於侏羅紀時期。其小形之前脚比後脚特別削小、而其形體類似如今之大形「嵌卡爾」。然今日保存此類化石最大者、有長達十四米、高七米者。

又有如上述不同之「託卡給卡」四脚極長且強、能匍匐或做步行狀態之草食雙龍類、初次發見於上部三疊紀層、但多分布於全世界之侏羅紀層、就中此等

之大双龍發見於西部「阿爾增慶」者、其全長二十六米半、而頭長十三米、重量約達四十吨。

又有一種「郭夫屋爾司」之大形雙龍類、亦具同樣四脚步行、由頭至尾端之背上、特有大形板骨。此類軀幹雖大、而脚端至背之中央高達二米半、不足以言珍奇。但頭比軀體特別細小、惟腦智覺比較發達。此種繁盛於侏羅紀時期、至白堊紀終期滅絕、現僅於北美發見之。

又有同種双龍類、其頭頂具有長一米至一米三十厘之角三個、以備禦敵武裝、名曰三角雙龍。

上述各種雙龍類、想多生存於陸上或沼澤之中、棲息於海者、稱曰魚龍。(參照附圖侏羅紀攝影)但以生存於白堊紀及侏羅紀之海中者、其身體狀態一見類似魚類、不過鰭形變化為四肢及尾並長嘴、而嘴具有猛烈之齒、主吞食魚類、

其嘴長時達八米以上。

其他又有一種翼龍如今之「加薩合利」、身之兩側前肢後肢與尾具爲羽翼、能自由自在空中飛翔。此類落於地上、時僅使用後脚而立、似於今日步行之「嵌卡爾」。此類比較小者、有時其兩翼長達八米以上。

以上雙龍類、今可發見於北美、阿非利加、中國、滿洲及「阿爾增慶」各地、就中發見甚多者、以北美合衆國之中部大平原之侏羅白堊紀層中、而北美合衆國「華盛頓」「紐約」「皮辭拔哭」「芝加哥」以及其他各地博物館、陳列該類多種。

對於雙龍類是否卵生抑係胎生諸問題、頗饒興味。如美國某學者在上部侏羅紀發見雙龍類之骨骼中有胎兒骨骼、故該人主張此類爲胎生、又一九二三年美國自然科學博物館蒙古探險隊一行、於戈壁沙漠之中央「西阿巴拉苦屋司」、發

見雙龍類之卵、猶似如今之諸多爬蟲類、故該隊認爲此類乃卵生。

關於發見雙龍類之卵尙有一頗富興味之記事、於連京線泉頭車站附近、適鐵路
施工中、發見類似雙龍類之大卵化石十數個、此雖一時在滿洲國內發見認爲雙
龍類之卵、嗣後經東北帝國大學矢部教授研究結果、斷定爲一種龜類之卵。

當侏羅紀終期至白堊紀中葉、東亞諸地、因造山作用而起之所謂燕山運動、
滿洲諸多噴出花崗岩乃至閃綠岩質火成岩、石英粗面岩、粗面岩質玄武岩及石
英斑岩等。卽如熱河省與察哈爾省之境界附近、及興安省東南部、露出石英粗
面岩、安山岩及玢岩區域殊廣、均爲此時代所噴出也。

燕山運動、迸發火成岩、惹起接觸變質作用、以促造成滿洲之鐵鑛床。因
此作用而成之鐵鑛床、均爲小規模、諸多散在各地。就中其顯著之例、奉天省
本溪縣小市南約十五籽之化皮峪鐵鑛及本溪縣城廠南約十五籽之駱駝背鐵鑛、

並濱江省小嶺站附近之小嶺鐵礦、均賦存於古生代乃至前寒武利亞紀水成岩與此時代噴出岩之接觸部。

滿洲國諸多之區、特如北滿。又自東北部滿洲至東部滿洲及南西部滿洲各地、所分布之花崗岩、花崗岩質片麻岩並結晶片岩中、賦存含金石英脈、均因燕山運動、隨伴火成岩漿噴出而生者也。惟此等之含金石英脈、乃又構成滿洲產砂金之根源、然與此關連之複雜問題特於沖積世項下詳述之。

其他滿洲國內、關於白堊紀時代之著名有用礦物、乃唯煤礦及油母頁岩、其煤之著名產地如東元寶山及西元寶山。

西元寶山。西元寶山屬熱河省赤峯縣、位於該縣東三十料之地點。其含煤層由砂岩層構成。其上為洪積黃土層、沖積層及玄武岩流所被覆。煤層有二、上層厚四米、下層厚六米、兩層間隔距離六米至十八米。煤質呈縞狀、為漆黑色

之輝煤部及黑色之無光輝部相間。煤之埋藏量爲一億一千一百萬噸。

東元寶山。亦屬熱河省赤峯縣、位於該縣東四十料之地點。其含煤層爲下部白堊紀砂岩層、其上爲洪積世黃土層、沖積層及玄武岩熔岩流所被覆。煤層有三、第一層厚平均一·八米、第二層只局部的存在、厚一·二米、第三層厚平均一·四米。煤質呈縞狀、爲黑褐煤、屬漆黑色之輝煤部與黑花之無光輝部相同、塊粉各半、埋藏量三千七百萬噸。

本紀之油頁岩著名產地爲熱河省建昌縣九佛堂、同省豐寧縣豐寧附近、錦州省朝陽縣南西之月見岡、星見嶺、間島省和龍縣大拉子、同省汪清縣羅子溝等地。

九佛堂附近油頁岩產地。位於奉山線綏中站北西百料之地點。分布於此者、賦存於下部白堊紀之岩層中、有油頁岩層上下二層。油頁岩呈黑色乃至灰黑色、

含油量多者之部分爲黑色塊狀、含油量少者之部分、層較稍薄易剝。此兩者之成分、大體爲石灰岩質頁岩、寧可謂石灰岩較爲妥當也。含油率爲二%乃至七%、頁岩層厚二〇糎乃至一〇·五米、多發見於大凌河兩岸諸地。鑛量爲一千二百萬噸。

豐寧附近油頁岩產地。位於承德北西八十料之豐寧市街。其油頁岩要以發達於豐寧市街東三料之饒饒營子附近爲主。其油頁岩層與九佛堂大致相同、爲黑色板狀石灰質、含油率爲三%至七%、層厚最高達四十二米、鑛量爲五百萬噸內外。

月見岡星見嶺附近油頁岩產地。本油頁岩產地位於錦州省朝陽縣南西四料至十料之地點。賦存於下部白堊紀之灰綠色頁岩礫岩中、有油頁岩層群三層。就中下部油頁岩層群有薄層三、中部及上部油頁岩層群各有三層至十層、其層厚

一米至十米。其埋藏量至水準以下三百米約達五億噸。其油頁岩之含油率本身固屬佳良、不過因其間介有薄層之砂質頁岩及石膏、故此等岩層全部包括之含油率不免低下三%至六七·五%。

大拉子附近油頁岩產地。本油頁岩產地位於間島省延吉縣龍井村南東十八軒之大拉子（一名和龍）為中心、賦存於礫岩頁岩砂岩之累層中。有油頁岩層上、下二部、就中上部油頁岩層群、最厚計六十米、其間挾有黑色頁岩及砂質頁岩。其富鑛油頁岩比較的僅在上位約十米、含油率在〇·三%至三%。而三%之部分鑛量、約一千五百六十萬噸。下部油頁岩層群、因露頭之故、層不甚厚。為二米至六米、一般富鑛帶缺乏、且鑛量亦不豐富。

羅子溝附近油頁岩產地。本地域位於間島省汪清縣東部即東寧縣西境大綏芬河上流之三流會合之山間小盆地。其油頁岩含有層、由砂質頁岩及頁岩構成、

時挾有砂岩。其上位漸次移化砂岩。本區域之油頁岩，特在三道河子附近賦存最多，約含九層，就中認爲良鑛者爲三層，其層厚由上往下爲三·七米、二米、一·五米。含油率爲三·三%至十二%。埋藏量最少達五千五百萬噸以上。然據最近之調查，從來認爲本區域之油頁岩，鑛質優良，鑛量豐富，將來對於油頁岩工業上，頗堪注目之處也。

再由本紀至第三紀，因噴出之玄武岩，而賦存之山金，如間島省延吉縣鶉鴿碓子，卽其著名之例也。

鶉鴿碓子金山。位於延吉縣八道溝上鳳舞村。鑛床胚胎於安山岩中之石英脈。走向有向北東及東西二種，兩者之間，鑛脈數多，互爲交叉，成網狀脈形，其他因母岩範圍，互達頗廣，成粒狀安山岩化，又爲鑛梁鑛床。

走向北東之鑛脈，最大延長一千二百米，脈寬〇·五米至四米。走向東西之鑛

脉、比前雖爲較小、而脉數頗夥、小則延長一米內外、寬一糲、大則延長一百米、寬一米種類雖多。但鑛石均爲鑛巢狀、呈不規則之散在。又溪谷中堆積粒狀安山岩之崖礫與所謂之土金、採集尙屬不惡。故本鑛山現處非常之活動性、將來誠屬最有希望之金鑛也。

第一〇章 第三紀

滿洲國內之第三紀、皆爲陸成者、如日本內地之海成第三紀、迄於現今、無一發現、且該陸成第三紀、皆爲以第三紀以前之岩層爲基盤而成盆地之堆積物、或又爲向地面斜出而發達之湖沼中之堆積物也。

滿洲國內第三紀層之分布地域、其著名者、爲奉天省撫順煤田及自其東北部之下章黨迄於營盤之間者、發達於間島省琿春附近而延長至朝鮮之會寧方面者、三江省三姓附近及黑龍江省烏雲附近等處是也。

在撫順煤田所發達者分爲上下二部、下部層以礫岩、凝灰岩、砂岩及頁岩所構成者。其中夾有二乃至三層之煤層、覆被花崗質變麻岩及白堊紀之赭色頁岩、

砂岩層群於其下方。

上部層以玄武岩及隨伴於玄武岩之凝灰岩而與下部層相區別、由下向上分爲主要煤層、油頁岩層及綠色頁岩層等。

三姓附近之第三紀層其發達狀態大抵與撫順煤田同出一轍、油頁岩層及煤層有極大之發達。

間島省附近之第三紀層可分爲上中下三部。下部層概皆以礫岩成之、時夾以砂岩之薄層、有時於其下部亦常夾有微薄之煤層。中部層以普通灰色砂岩、灰色頁岩、礫岩及介於其間之有煙煤之薄層而構成之。上部層以灰色頁岩及淡褐色頁岩而成、夾有砂岩之薄層。

由本第三紀所發見之化石、則爲撫順煤、琿春煤、三姓煤所由成之毬果植物類、濶葉樹類及含有以其樹脂所成的琥珀中之昆蟲類、蜘蛛類等是也。

濶葉樹類中、朴樹、楓樹、篠懸樹、檜木等類已現於白堊紀、於其末期凡有之北半球之植物像群已大近於現代者矣。在白堊紀前以羊齒植物及裸子植物占植物界之主要地位已述於侏羅紀。至第三紀初生同時、被子植物遂皆出現而占優越之地位。但於第三紀之前半植物界尙異於現代、以木本類爲多、至草本類則尙未如今日之發達也。故如撫順煤田其植物之化石似皆於第三紀之初而生成。試取而調查之、在該煤田所發見四十餘種被子植物化石中、最堪注目者僅爲胡桃樹、柳樹、山桃樹、檜木樹、無花菜、樺樹、櫟樹等等木本類。

若觀滿洲國第三紀層中之植物化石、於前述濶葉樹之外如針葉樹之「世界翁」之葉亦保有甚多、此類植物在滿洲國今雖已無生存、然於北美合衆國之西部山脉中即現今亦尙有繁茂生存、與世界最大之木「色魁」爲同一種類之植物也。此等偉大之樹木於第三紀之當初、滿洲、日本以及東亞各處似有極盛繁殖。今

若調查撫順煤田、琿春煤田等之化石其四〇%皆爲此「色魁」也。故撫順煤、琿春煤其四〇%以此針葉樹而構成之者當無錯誤。

因此似由針葉樹世界翁之樹脂硬結而成之琥珀、撫順煤田以及滿洲國第三紀煤田皆多產出之。

在撫順煤田主要煤層中之琥珀中或油頁岩層中常產形極完全之昆蟲類、凡在滿洲居住者無不知其事實也。

元來凡可確認爲昆蟲類者於較石炭紀且古之地層中則無所見。然自石炭紀及二疊紀之地層中於歐洲及美洲則常發見極多之種類、但於滿洲國內迄今、自二疊石炭紀中卽一匹之昆蟲類亦竟未發見。

熱河山岳地帶及間島省各處自下部白堊紀之利克普層、常產極多形仍完整之昆蟲類、於白堊紀項內已略述及之。但此等昆蟲類及第三紀之中者、現尙未至

從事研究之域。

於滿洲國第三紀之有用礦物、主爲煤、油頁岩及琥珀等。

其中煤之產地、其最著名者爲撫順煤田、該煤田東北之石門寨煤田、間島省之琿春及會寧對岸等煤田是也。

撫順煤田。奉天省撫順縣、位於奉天之東五〇籽、西自古城子東至塔連、東西延長約爲一六籽南北約爲一·五籽之大炭田也。其主要煤層爲露天掘有名之古城子。煤層厚約達一〇〇米、其層之厚可與世界其他煤層爭第一位。此厚煤層由下而上其間有數層夾雜物、在各夾雜物間之煤層均有多少特徵、故將其煤層由上而下附以富士、大和、朝日、常盤及櫻等名。由西而東有古城子、大山、東鄉、楊柏堡、老虎台、萬達屋、新屯、龍鳳及塔連等採煤所。煤質亦由東而西有多少變化、即水分及揮發分由東至西而漸多、固定炭素、窒素及灰分則由

西至東而漸多。以全體論之則皆爲低度瀝青煤。東部萬達層至塔連間者較富有粘結性適於製造骸炭、西部者概皆爲弱粘結性、其埋藏量除已採出者尙稱有九億五千萬噸。

滿鐵利用此豐富之撫順煤之一部、行液化煤而期液體燃料之增產、此書披露於讀者之同時、諒必開始操業矣。其液化方法爲將煤置於高溫高壓之下而添加水素。工場能力爲每時送煤一·五乃至二噸、一日之處理量約爲四二噸、液化量約爲煤之二分之一、但將製造水素及其他所用之煤亦加算時全煤處理量四分之一乃至五分之一爲其得油量、該工場第一期之油化量年約爲七千噸內外。

石門寨煤田。奉天省撫順縣、位於撫順煤田之北東東約二七籽之處、沿奉吉鐵道線、其區域東西延長約一六籽南北約二乃至四籽、其中有白龍山、抖溝子、石門寨、東房及腰堡等之小採煤所。夾煤層爲砂質頁岩及頁岩、煤層之上亦有

可等於撫順煤田之厚油頁岩及綠色頁岩、煤層爲上下二層厚各爲〇·二及〇·八六米、煤質爲瀝青煤弱粘結性、煤質不及撫順煤之優良、煤量約爲三五〇萬噸。

琿春煤田。本煤田在間島省之琿春縣、位於琿春河及豆滿江合流點附近之盆地、琿春縣城則爲其中心、大體可視爲朝鮮慶源煤田之延長者也。煤田之周圍爲其基盤之古生層及花崗岩而成之崇山峻嶺環繞亘連、於其盆地中賦有含煤層、其含煤層以膠結力甚弱之粗粒砂岩、粗而輕之灰青色頁岩及粘土所構成之。煤層之數隨處而異、然大體爲三乃至九層。煤質爲褐煤、若露天存貯則化爲粉煤、煤量推計約爲二千萬噸。

會寧間島煤田。本煤田層於間島省之和龍縣、隔豆滿江而於朝鮮之會寧煤田相對峙且可認爲其延長者也。夾煤層爲礫岩、砂岩及頁岩之累層、被覆二疊石

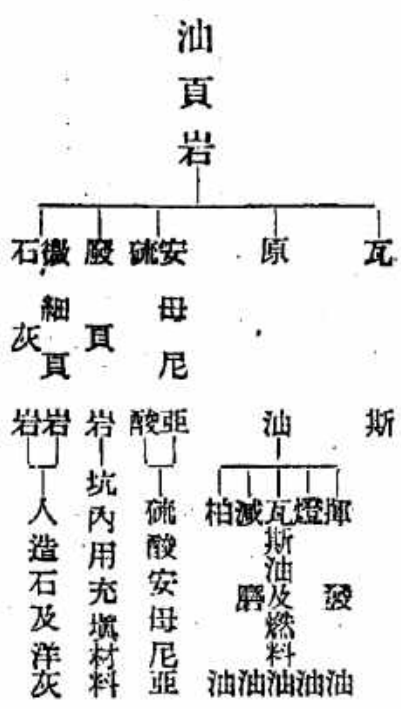
炭紀層全層厚達二〇〇米之上。煤層則發達於此大岩層之中部、有一乃至三層之煤層、厚達一乃至四米、煤質爲褐煤乃至低度瀝青煤、煤量推計約爲五〇萬噸。

以上諸煤田之外在滿洲國內第三紀層內之大煤田、最近於三姓附近亦曾發見、且其煤量及油頁岩亦稱豐富、惟尙未有詳細之報告、故本書不及記述之。

屬於第三紀層之油頁岩如撫順煤田、石門寨煤田、三姓煤田等是也。

撫順煤田油頁岩。本岩層被覆主要煤層而發達、厚平均約達一二〇米、褐色板狀之頁岩也。但此頁岩遇風化則變爲灰白色薄葉狀易於剝剝之性質。其含粗油量以其最上部即接於綠色頁岩之下者爲最多。約及九·五乃至一三·二%、由上而及於下部、含油量變化無常、迄於煤層之直上則最少含油量爲一乃至二%、若全體通算以標準乾溜法測定之則平均含油量爲五·五%、工場收油率爲五%、

內外。其埋藏量若計及地下一二〇〇米之深時約爲五〇億噸。但現用之於企業者則僅爲露天採掘時所剝之部分而已。以此部分撫順煤礦之油頁岩工場即能每日平均處理二四〇〇〇噸之柏頁岩生產粗油一二〇〇噸、其中六五%爲重油、三〇%爲柏油、他則爲揮發油、燈油等。自本年度起年可生產粗油三〇萬噸、今將撫順炭礦利用油頁岩所製造之工業原料表示如下。



石門寨煤田油頁岩。於本煤田所發達之油頁岩亦與撫順煤田之油頁岩相同，下部與夾煤層相接連，上部則爲綠色頁岩所被覆，油頁岩爲淡褐色或暗褐色，其間夾有灰白色砂質頁岩及薄層砂岩。油頁岩層厚一〇〇乃至二四〇米。砂質頁岩過多故質不及撫順煤田之油頁岩。惟石門寨西房西部鐵路剝土附近則有質較優良之油頁岩存在，中有含油量達一三·二%者。推定埋藏量謂爲一億三千萬噸。

琥珀。自撫順煤田之煤層中生產甚多可與世界產煤最多之德國規尼細結爾細相並稱。此種琥珀由於撫順煤生成根源之植物中毬果植物類之樹脂固結而成，形尙完整之昆蟲類及植物之葉等密閉於其中者所產亦夥。此種有昆蟲者，有草木者及普通之琥珀可製爲指環、領帶鑽上之石、煙袋、念珠及其他物品，年產額達數萬圓云。

煤細工。撫順煤田之西部古城子露天採掘及大山坑之富士、大和、朝日三層

其中產有性質與其他煤相異者稱之曰克巴利。色黝而無脂肪光澤，外觀均等質堅而緻密，可作彫刻材料故用以製造置物、花瓶、煙草盆、煙袋及其他物品，所謂克巴利細工而售之於市場者是也，年產額約達數萬圓。

頁岩肥皂。撫順煤田上部夾炭層最上部之綠色頁岩因其有脫油性豐富之性質，最近以該頁岩為原料而製造洗濯油類用之肥皂。

第一章 第四紀

第四紀層可分爲更新世所堆積之洪積層及現代尙繼續堆積中之沖積層。

洪積層。本層群以砂、礫、粘土及黃土等構成、被覆以第三紀以前所生成之岩層、露出於以此等岩層而生成之丘陵或山麓等處。

洪積層最應注意者爲黃土、於熱河山岳地帶之丘陵或山麓等處常有極顯著之分布。其厚有達三〇米以上者、黃土層又自四平街、公主嶺附近起向北東通過洮南而迄於大興安嶺沿黑遼分水界、而有極廣之分布、更延長及於遼東、關東州之旅順、大連以及於南滿諸處含有黃土小僧及陸棲貝類等之黃土薄層亦時見之。此種黃土層可分爲二種、一爲因藉風力一次的堆積者、一爲由一次的生成

而藉水力運至他處沈積於水中而爲二次的生成者。後者黃土中雖稍混有砂、礫等之薄層然尙未至成層故可與前者相區別、發達於熱河山岳地帶及關東州之黃土層中常發現巨象、野牛、有毛犀等之化石。

滿洲國之洪積層中尙有一種特質者在。卽以黃土狀粘土、粘土及砂礫而構成之一累層是也。本層群之分布狀態南起於昌圖、四平街附近、北經新京、哈爾濱而經海倫、克山迄於龍江省之嫩江市街附近。本層群之黃土狀粘土層下之鼠色微粒砂層及其下方之黃色細砂層中於公主嶺、四平街、新京附近以及北滿各地就中哈爾濱郊外顧鄉屯、克山附近等處常發見有毛犀、野牛、巨象、馬、鹿、麋、牛、野豬等之祖先型化石。又於顧鄉屯鳥類之化石亦發見一、二種。尤應注目者自顧鄉屯之此類化石中、疑似祖先型人類所使用之骨器、角器及石器等等亦多發見之。緣是可想現代人之祖先型人種亦曾生存於當時也。今日不幸於滿洲

國內雖尙未能發見此等化石人類之人骨、然俟今後之研究如何、實不能謂無發見此類人骨之可能性也。

此洪積世之時代較今世尤巨之哺乳類遍於山野、故又可謂爲哺乳類時代。

此哺乳類究於何時而出現、可信爲哺乳類之最古化石、於中生代三疊紀之最上部卽見之。德、英及西南非洲等處皆發見之。此等哺乳類之祖先型有二種、一爲後代之食蟲類（土龍·刺猬之類）、他則近於後代之有袋類（袋鼠類）。其後雖曾於中生代各地層中發見數百個哺乳類化石、然多爲不完全之齒牙、故難窺知其相互間之連絡。三疊紀之哺乳類雖不明其究爲次時代之何種動物之祖先、然自中部侏羅紀迄於上部侏羅紀有連續的進化之狀態則易明也。但上部侏羅紀與白堊紀間之間隙過大、故其間之連絡狀態則不易窺知。自上部白堊紀而向第三紀之進化系統則有相當之連絡、及入第三紀更有急激之發展、種類亦增多、

以後迄於更新世而構成所謂哺乳類時代矣。

滿洲國內在此時代所生存之巨象有毛犀、鹿、馬、野牛等之祖先型化石僅見其齒牙、角、頭骨或其四肢之一部、但在歐洲或美洲等處在此時代之哺乳類之完全化石則頗有發見。尤其如馬或象等按地層之新舊、自其祖先型以至近世者其變遷進化之狀態爲極有系統、其所發掘多數之個體全而且整皆足窺知此種事實。茲就人類之進化狀況略述及之。

人類之祖先究爲如何、以現代之科學言之尙未能窺其究竟、吾等常聞「人類乃由類人猿、黑猩猩、猩猩等之類人猿而進化者也」之說、但對此說尙有考慮之必要。人類之骨骼與大猩猩之骨骼相比較之固皆謂極相類似、然將此兩者後肢之構造及其作用相較而檢討之、則可謂兩者之間有大差異。卽人類之足適於步行而不適於登攀、後者相反、故輒近一般認爲「人類乃由今日之類人猿之共

同祖先而進步者、類人猿向適於以登攀爲主之樹上生活進化、則人類向適於步行爲主之地上生活而進化者也」。

人類之最初祖先由類人猿之共同祖先進化後、以腦、手之發達使當時之人類祖先能用石骨或角等製作極幼稚之鏃、鎚或槍等卽世所謂舊石器之器具、以此而使其易於征服其四周之哺乳類。其最初所造之舊石器極爲幼稚、與自然存在之有銳尖或有刀狀之自然石極不易區別。類此使用極幼稚器具之人類化石最初發見且於今日仍認其爲祖先型者則於爪哇所發見之「爪哇之猿人」或單稱「爪哇人」者是也。

「爪哇人」係於西歷一八九一—二年和蘭軍醫油根天保阿氏在爪哇東部怒牙威地方之西約一〇籽流入一寒村頭泥爾附近之索羅河左岸與其他多數之哺乳類同時發見。含有此等化石之地層、似係洪積層之最下部、至其所見之遺骨爲其

頭骨、左右第三大白齒及左大腿骨、視此頭骨一般較低、前頭部接近顱頂部、額強而向後方、眉則突起、極有近於猿類之性質、白齒之齒冠低根爲叉狀而向外方、實近於猿類也。但大腿骨則與人類極相類似。故此「爪哇人」謂之人類則爲其極幼稚者。可謂爲與猩猩之類人猿及後述寧安第塔爾人類之中間人類、此爪哇人就產地地層之時代及同時發見之哺乳類化石之種類而考察之約爲七、八千萬年前之人類也。

次於爪哇人類之化石人類則爲北京人類。

此化石出自北京之西南約六〇浬河北省房山縣之石灰洞、西歷一九二一年及一九二七年以後亘數年有系統的大發掘而發見。其化石材料如頭骨、頭骨破片、下顎骨、齒牙、鎖骨、指趾骨等之人類骨與約有六〇種哺乳類之骨骼同時報告於世矣。

今將北京人之頭骨觀察之。頭蓋較平，前顏部及顱頂部之隆起則甚發達，尤其前額部之發達實較爪哇人凌而上之。眉弓尤爲發達，形成眼窠上隆起，至其下顎骨則近於類人猿而有原始的性質，要之北京人類自後述化石人類乃至現存人類而觀察之，雖有近於爪哇人之狀態然較此尤有數段進化之形態，似爲寧安第塔爾人、羅地夏人及現代人類等真正人種之祖先型。

海定貝爾人，在德國海定貝爾之東南約一〇料、寧卡河之一支流愛爾生茲河畔之冒愛爾三多部落，於一九〇七年發見人類之下顎骨一個。此下顎骨與更新世最下部之哺乳類化石一同發掘之。其保存狀態亦極良好。形大厚而幅廣，頤則不發達，較近類人猿，然其附於下顎骨之齒牙，整然連接排列，既無間隙且各齒亦無墮落，完全爲人類式。故學者有主張此海定貝爾人爲類人猿及人類之理想的中間階段。

比爾杜旦人。此化石於一九一一年至一二年在英國沙思苦州比爾杜旦地方所發見者，爲以九個小片而組成四個頭骨片（前頭、顛頂、顛顛、後頭各部）及有第一、第二大臼齒之右側下顎骨、鼻骨等，視爲洪積世初期之物。比爾杜旦人之頭蓋骨厚而幅廣，眉弓則不甚發達，前額部雖有隆起而顛頂部則平坦，其爲人類式則無疑也。但以其下顎骨之下顎枝幅廣而無頤隆起等視之則酷似類人猿，然此下顎骨所殘存之大臼齒則完全與人類相同，此誠爲有興趣之人類化石也。

以上爲於洪積世（更新世）初期地層所發見之化石人類，自其中期地層所發見者有寧安第塔爾人及羅地夏人。

寧安第塔爾人。此係最初於一八五六年在德國寧安第塔爾地方所發見之頭骨及其他因就此而研究之化石人類也。故因是而命名之。此類以後於西班牙、法國、捷克等處，頭骨及其四肢骨等亦有多數發見，尤於比利時及法國其全骨骼

亦發見之。

今概觀此種人類其頭骨爲長頸、眉弓異常發達、而有強大之眼窠上隆起、前額部、後退、腦蓋低平、後頭部亦平而突出、顏面甚大、上顎強大而向前方突出、下顎亦強固而無頤隆起、齒牙亦與現代人無稍差異、脊椎、鎖骨、脛骨爲類人猿式、手骨爲人類式、足骨及橈骨則爲中間式、要之寧安第塔爾人多有類人猿之形質、而其形態上則有現存人類與類人猿之中間諸形質也。

羅地夏人。於一九二一年在南阿北羅地夏之布羅坤細爾地方所發見者、骨骼概皆完全、只無下顎骨而已、大體於寧安第塔爾人相類似、學者有主張謂爲寧安第塔爾人及現存奧地利亞人之中間形態。

在洪積世後期所發見之化石人類、與前述之洪積世中期所發見者相比較之、則有非常進步、大體漸與現代人相類似。在此種類內有古里馬爾地人及枯羅馬

尼恩人等。

古里馬爾地人。此係自意大利之古里馬爾地洞穴所發見者，其遺骸爲老婦及青年男子，腦蓋高前額發達，眉弓突出，顏面雖不高而較大，此類可認爲尼古羅、後天德德、布休曼種類之祖先型。

枯羅馬尼恩人。本人種係於一八六九年在法國之枯羅馬尼恩地方，共發見老幼男女遺骸五體，以該人種爲代表而命名之者也。遺骸之傍發見有穿孔貝殼及其他多數之裝飾品，似爲當時一同埋葬者。本種類於意大利、比利時、德國等地亦曾發見之。其特徵爲頭長前額廣而屹立，眉弓不甚發達，顏面廣大，上顎甚狹，下顎強堅而無頤隆起。再此人種身長甚高平均約達一八七糎，類似枯羅馬尼恩種類之現存人種爲現居於非洲之西加拿里島之哥休種類。

要之今日之人類與化石人類之連鎖關係，尙未至十分明瞭。現今橫行濶步於

世界之諸人種、究經何種進步階段而至現今之領域、尙須俟於各地發見多數之化石人類就而研究之、方可究明、此誠爲一大問題也。

於滿洲國內卽化石人類之一破片亦未能發見。但於流於哈爾濱郊外顧鄉屯之溫泉河河畔砂層中、約於一萬乃至四萬年前所堆積之哺乳類化石、與似爲人類所製造之石器、骨器、角器等類一同發見。故以今後之研究如何、亦可在滿洲國內發見使用此種舊石器之人類遺骸之化石、俾對世界文化發展史有許大之貢獻而無疑矣。

冲積層。本層可分爲風成層及河成堆積層。前者係風成砂及黃土、發達於熱河山岳地帶及興安省。後者係礫及粘土、砂等生成於現在之河床及湖水之四邊或海岸等處。

第三紀及其後之火山現象乃噴火相也。吉林附近之石英粗面岩似爲第三期初

期者、撫順煤田之煤層下部之數玄武岩岩床爲下部第三期時所生成、熱河之熔岩台地似爲第三紀中期而生成者、此處有玄武岩被覆安山岩、而安山岩又被覆石英粗面岩者、大興安嶺亦有與新第三紀層相互層之玄武岩、白頭山山頂之粗面岩爲第三紀後期者、以白頭山爲中心而分布於東部北滿廣大地域之玄武岩熔岩流漿之噴出時期、大體分爲三期、綏芬河、羅子溝、雙河鎮、圖門等之北東—南西一帶之玄武岩爲白堊末期所噴出者、東京城附近之谷底、敦化附近之谷底松花江流域、豆滿江流域之玄武岩似爲第三紀末乃至第四紀者、除以上兩地域而以白頭山爲中心所露出之玄武岩則似爲第三紀中期所噴出者。

散在於中部滿洲平原以至於北滿一帶之玄武岩丘陵其噴出時期似爲火山岩中之最新者。此種火山丘陵或孤立於洪積平地或群集於洪積平地者居多。其顯例爲龍江省克山南東之二克山及同省德都縣北鄉之五大連池火山等是也。尤以後

者於楯狀台地有一四個各高四〇乃至一六〇米之火山向北東—南西之方向而成三縱列者爲最有名。其中之老黑山及火燒山係一七二〇年（康熙三年）所噴出有最新歷史之著名火山也。

第四紀之有用礦物其最著者爲砂金及天然曹達是也。

砂金。於白堊紀時代隨火山岩漿噴出時而生成於片麻岩、花崗岩或結晶片麻岩等中之含石英脈中之金、經長年月之風化作用而與石英脈相離脫、藉流水之力而運至低處、堆積於現在之河床或一輪迴前之河床現爲河段丘等處而生成之。故滿洲之砂金產地常散在於片麻岩、花崗岩或結晶片麻岩等之大露出區域之四周、故大興安嶺及小興安嶺之四周地域砂金產地較他處爲多者卽在上述之理由也。

散在於滿洲國內各地之砂金產地爲數實多、茲將其著名者略述之。

吉拉林金礦。位於滿蘇國境阿爾公河畔吉拉林、經吉拉林山谷而向南東一七
籽、距濱洲線海拉爾站北約二三〇籽、埋藏砂金之沖積層由上而下爲：第一黑灰
色腐植土、第二黃灰色粘土、第三砂礫混粗粒砂、第四花崗岩之角礫圓礫、混
微粒土砂等層序。砂金則在第三層及第四層尤以第四層爲多、地表下〇·七乃至
一米即達永久凍結層、故以「燒石」融解而掘鑿之、含金砂層常埋藏於地下二米
附近、本吉拉林砂金礦山自開採以來迄於昭和十一年度共產金二千七百三十三
五匁。

五道溝及興安金廠附近。位於黑河省黑河市街西方小興安嶺西麓地帶、五道
溝則採額泥河之上流地域之砂金、興安金廠則採取泥鰍河上流地域之支流之沖
積層內之砂金。本地域之基盤爲花崗岩及古生代層。岩盤面爲凹凸形而不平坦、
含金層則堆積於凹處之一米前後、泥鰍河最近利用採金船而採取砂金。

漠河金廠、在黑河省漠河縣漠河市之南西約四八籽。產金地有大溝及小溝等處、大溝爲漠河產金地之代表鑛區、面積廣大其延長約及一四籽。砂金層厚爲一乃至一·三米餘、含金量昔甚豐富但近則不然、然尙爲有望之產金地也。

呼瑪爾河金廠。在黑龍江省呼瑪縣位於呼瑪河口之上流約一二五籽。同金廠之興隆溝之含金層厚約爲〇·六乃至二米、爲昔有名之產金地。

梧桐河砂金地。以松花江系梧桐河上流之老梧桐河、西梧桐河及黑龍江系札伊河上流隆興溝等處爲其主要產金地、而位於小興安嶺之主背部。其砂金地地形雄大、丘陵顯著、以花崗岩、片麻岩、結晶片岩類爲其基盤、地表層以第四紀之砂礫、粘土及土壤而成、沿河床賦有砂金鑛床、可採鑛區約爲二一〇平方米。

都魯河砂金地。在松花江系都魯河之上流。該產金地可分爲東都魯河、西都

魯河及葡萄溝三地域。谷皆廣潤、有幅員二〇〇乃至一〇〇〇米之洪涵原。基盤以花崗岩、玢岩、片岩及中生代層等而成。地表層爲第四紀層。賦存砂金平均厚有三·三米之砂金層、砂金雖僅一層、但東西都魯河之可採部分已約及六九〇萬立方米矣。

太平溝附近砂金地。在三江省之蘿北縣沿黑龍江河畔而有金鑛局。自太平溝二〇乃至七〇籽之間爲砂金產地。太平溝附近以花崗岩、片麻岩而成之。崇山峻嶺極爲發達。砂金則發見於該山地中之谷底堆積層中、現在金鑛局管下有五處採金地。

依樺勃金鑛局。本金鑛局之採金地爲三江省樺川縣之駝腰子溝、樺皮溝、太平溝、大溝砂金地、大石頭河子、八虎力河及七虎力河支流等地域、本地域之基盤岩主爲花崗岩、花崗片麻岩及玄武岩等。含金沖積層則發達於其上。含金

層深約三乃至七米、厚約〇·三乃至一·五米、昭和十二年度之產金額爲八十二萬五千五百二十圓。

小石頭河子砂金地。在三江省樺川縣、採金地爲七虎力河右岸山谷之雙龍溝。山谷略爲直線形、右岸下流方面以花崗岩而成、左岸則爲玄武岩。含金層之深度爲六乃至八米、厚約一米內外。最近始行開採、誠爲產金豐富之地域、昭和十二年度產金量爲三百八十二萬八千餘圓。

黑背砂金地。本砂金產地在三江省依蘭縣城之南東約六二籽之山地內。附近地層主以深成岩、片麻岩類之基盤岩類及其風化碎屑物堆積而成者。地表層可分爲崩積層段丘層、及河成沖積層。採取殘跡及現行採取地主爲河成段丘面上及崩積斜面端部、卽以黑背部落下流約二籽之興隆橋附近爲其下流限界而分布於北東部上流各支谷等處。此分布區域之總延長約爲二五籽、各谷之幅員約及一〇

○至三〇〇米。

五河林產金地。在牡丹江省之寧安縣、自圖佳線牡丹江起三一杆附近迄於上流五河林河本支流一帶地域。基盤爲花崗岩、含金層則賦存於隣接基盤岩之礫岩之下部約二〇糎附近。礫由花崗岩、半花崗岩及石英脈而成、砂金含量甚豐但多爲細粒。

琿春土門子砂金地。於間島省琿春縣內環繞盤嶺山脉之琿春河流域一帶、分布多數之砂金產地。故滿洲採金會社設置琿春營業所而統制本縣之各砂金地。琿春河流域之砂金地之地質爲花崗岩、片麻岩、變質岩類、第三紀層、玄武岩及第四紀層等花崗岩、片麻岩及變質岩類構成鑛床之基盤。其分布亦廣、第三紀層以後者則成地表層而賦有鑛床。賦有鑛床之第三紀層於琿春河流域分布稍廣、於其基底礫岩層中含有砂金、其含金砂礫層厚約一〇米內外、第四紀層受第三

紀層之再淘汰顯現金層於各處、於馬滴河附近所發見之鑛床是也。

大烏龍素溝砂金地。在熱河省隆化縣黃姑屯之東微南方約一六籽之地點。附近山地以花崗岩質片麻岩而成。砂金層在河道及東方丘陵地下約三米、層幅約爲三〇籽內外、含金地帶之延長約爲一五〇〇米寬約三〇〇米、產有粟粒大至豆大之砂金。

金廠溝梁附近砂金地。在熱河省建平縣即朝陽之北北西約七三籽之蘇子溝及二道溝之南東。砂金層厚約一米內外在地表下約二米之處賦存之、本地方之砂金產地其分布頗廣。

獅子清園砂金地。在熱河省承德縣位於熱河離宮之北七籽之地點。附近地質爲片麻岩、硅岩及砂岩等而成、砂金賦存於地表下二米乃至五米之基盤上之砂礫層中、產金區域長約四〇〇米寬爲二〇米乃至四〇米。

谷山子砂金地。在熱河省承德縣位於省城北西五〇籽武烈河下流與灤河支流金廠溝之分水嶺之南北山麓。地質上部爲黃土所被覆，下部以古生層及片麻岩而成，砂金則存在於河床下二米乃至五米附近。

劉家營子砂金地。在熱河省豐寧縣城南九籽之地點。產砂金之地層爲較現河床高二〇米之段丘層中，生成段丘之河床礫直徑爲五糲內外之圓礫，混有多量之雲母及石英砂。砂金賦存於舊河床之最下部。

熱河省內尙有其他多數之小砂金地散在於各處。

天然曹達。滿洲境內如熱河省之北半、平齊線沿線及海拉爾南西地方多曹達產地，此等區域內產天然曹達者亦爲數不尠。尤以鄭家屯隣驛臥龍屯之北西七籽之玻璃山、洮南之南東約九五籽之達布斯諾爾、自濱洲線安達驛至齊齊哈爾間之沿線、海拉爾南西一六〇籽之嘎斯諾爾湖等產地爲著名。此中以達布斯諾

爾湖爲尤著名。其直徑爲八籽。其中曹達分布區域約爲半數之二五平方籽。曹達厚約一〇籽、地表之曹達量爲三十七萬五千廛、又埋沒於地下一米以內之泥土中之哥留土、其三分之一爲曹達、其量約爲一〇〇萬廛、故其總埋藏量約爲百三十七萬五千廛。

植物名	科名	学名	形态特征		分布		用途		栽培		病虫害		其他				
			根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
1. 人参	五加科	<i>Panax ginseng</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
2. 鹿茸	鹿科	<i>Cervus mandchuricus</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
3. 冬虫夏草	麦角菌科	<i>Ophiocordyceps sinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
4. 天麻	兰科	<i>Gastrodia elata</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
5. 三七	五加科	<i>Panax notoginseng</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
6. 西洋参	五加科	<i>Panax quinquefolius</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
7. 刺五加	五加科	<i>Acanthopanax gracilistylus</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
8. 红景天	景天科	<i>Sedum spectabile</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
9. 雪莲	菊科	<i>Edulis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
10. 肉苁蓉	列当科	<i>Sarcocolla</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
11. 锁阳	列当科	<i>Moluccella laevis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
12. 肉桂	樟科	<i>Cinnamomum cassia</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
13. 沉香	瑞香科	<i>Aquilaria sinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
14. 苏合香	金缕梅科	<i>Gomolus sinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
15. 安息香	安息香科	<i>Styracis sinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
16. 降香	豆科	<i>Dalmanella chinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
17. 檀香	檀香科	<i>Santalum album</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
18. 降香檀	豆科	<i>Dalmanella chinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
19. 降香	豆科	<i>Dalmanella chinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果
20. 降香	豆科	<i>Dalmanella chinensis</i>	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果	根	茎	叶	花	果



康德六年六月二十五日印刷
康德六年六月三十日發行

譯者

發行人

印刷人

發行所

發售所

發售所

〔定價 參角五分整〕

〔送料 四錢〕

新東京特別市昌平胡同二二三

段寶堃

新東京特別市大同大街二〇二號

陳邦直

新東京特別市西七馬路十四號

滿洲圖書株式會社
駒越五貞

新東京特別市大同大街二〇二號

滿日文化協會
電話〇三七四六番

新東京特別市西七馬路十四號

滿洲圖書株式會社
電話代表〇一九一一番

新東京特別市豐樂路二二二番

株式會社東光書苑
電話〇五〇四四・五二〇一番
振替 新東京一八一一番

中国文献珍本丛书

伪满洲国史料(二十)

全国图书馆文献缩微复制中心



